

令和4年度 授業評価実施結果の概要について

本学では、毎年度全授業科目について学生による授業評価を実施しています。この授業評価結果については、当該担当教員にフィードバックし学生の記述内容を確認いただいた後、各教員から調査結果に対する授業内容・方法への改善などを記述したレポートを、所属の学科長等に直接提出することとしております。

各学科長等はこれを受けて「考察」をまとめ「内部質保証推進会議」で報告した後、授業評価結果と併せて公表しております。

- (1) 授業評価アンケートは、授業科目に対する評価をより正確に調査するため「講義・演習科目」と「実習・実験科目」によって質問項目を分けております。また、「この授業(実習・実験)を受けて良かったと思うことがありますか。」及び「この授業(実習・実験)の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。」を尋ねる記述式の質問項目を設けております。
- (2) 授業評価結果の各質問項目月の集計結果については、「そう思う」「ややそう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」「全くそう思わない」「無回答」のそれぞれの割合(%)により表記しております。
自由記述は「授業に対する肯定的評価」「授業に対する要望等」「施設・設備等に関する要望等」について、その内容の主なものを表記しております。
- (3) さらに、「講義・演習科目」及び「実習・実験科目」における共通質問項目について、肯定的な回答の「そう思う」及び「ややそう思う」の割合を前年度と比較しており、主な項目は次のとおりです。

<医療保健学部・助産学専攻科>

	令和4年度	令和3年度
あなた自身について	88.9%	87.6%
授業内容について	88.2%	86.0%
教員の考え方・姿勢について	85.1%	82.7%

<東が丘看護学部>

	令和4年度	令和3年度
あなた自身について	89.6%	89.5%
授業内容について	89.8%	89.5%
教員の考え方・姿勢について	86.8%	86.4%

<立川看護学部>

	令和4年度	令和3年度
あなた自身について	91.3%	91.6%
授業内容について	89.7%	89.5%
教員の考え方・姿勢について	87.5%	85.7%

<千葉看護学部>

	令和4年度	令和3年度
あなた自身について	95.3%	94.5%
授業内容について	94.5%	93.8%
教員の考え方・姿勢について	93.4%	91.8%

<和歌山看護学部・和歌山助産学専攻科>

	令和4年度	令和3年度
あなた自身について	96.7%	96.3%
授業内容について	96.7%	95.6%
教員の考え方・姿勢について	94.0%	92.4%

<大学院医療保健学研究科>

	令和4年度	令和3年度
あなた自身について	89.3%	91.5%
授業内容について	92.1%	94.2%
教員の考え方・姿勢について	91.8%	93.9%

<大学院看護学研究科>

	令和4年度	令和3年度
あなた自身について	86.1%	87.2%
授業内容について	88.4%	86.6%
教員の考え方・姿勢について	81.2%	84.6%

<大学院和歌山看護学研究科>

	令和4年度	令和3年度
あなた自身について	92.7%	80.9%
授業内容について	89.6%	89.3%
教員の考え方・姿勢について	91.5%	95.5%

<大学院千葉看護学研究科>

	令和4年度	令和3年度
あなた自身について	85.0%	83.5%
授業内容について	95.5%	95.0%
教員の考え方・姿勢について	95.6%	97.9%

- (4) 授業評価結果の経年比較では、各項目によってポイントに多少の増減が見られますが、これらの集計結果を公表することにより、授業評価に対する理解推進・意識啓発及び授業内容・方法の改善・充実がより一層図られるものと判断されます。

本学においては、これらの集計結果を公表し、教員の授業評価に対する理解推進・意識啓発及び授業内容・方法の改善・充実がより一層図られるよう、今後も努めてまいります。

令和4年度 医療保健学部看護学科の授業評価結果に対する考察

副学長・医療保健学部看護学科長
坂本 すが

看護学科での4年間は「いのち」に携わる医療人として、その基盤をつくる期間です。変化する社会で多様な人々のニーズに対応するために、知識・技術の向上に努めることはもちろん、自分と違う考え方も認めることができ、仲間と協力しながらあらゆる困難にも立ち向かい、心あるケア提供ができる力の育成を目指しています。

2022年度から新しいカリキュラムがスタートしています。科目間のつながり、学年進行に伴う学習目標の積み上げについて教員間でディスカッションを一層進めてまいります。学生が看護の魅力を理解し、主体的に学びを積み上げられる授業提供を目指していきたいと思えます。

1. 授業評価結果をお読みになって、どのような感想を持ちましたか。
 - 複数教員で担当している科目について、教員による課題量の差についての指摘があった。学生のレベルに応じて課題設定することは継続しつつ、教員間の情報共有をしっかりと行っていくことに致します。
 - グループワークにおいては、学生間の主体的な参加状況が異なり、一部の学生に負荷がかかることが指摘されていました。学生が多様であることを認めつつ、それぞれの能力を活かせるような授業運営を進めていきたいと思えます。
2. 令和4年度の授業において、特に工夫等をされたことがありますか。
 - オンライン授業が多くなる中、グループワークでの学びを取り入れている科目においては、グループ間でディスカッションの深まりに差が出ることもあるため、全体でのディスカッションを増やすようにしました。
 - 視野を広げ、キャリアビジョンを描くことができるため、様々な経験を持つ招聘講師の講義を効果的に採用しました。
 - オンデマンド授業において、提出された課題を名前を伏せて共有を行うことにより他学生の考えを知って学べるようにしました。他学生の考えを知って視野が広がったことを感想に書いている学生が多くおり、グループ対話だけでなく、オンデマンドでの考えの共有も大切であると感じます。
3. 今回の授業評価結果を今後の授業にどのように生かしますか。
 - 学生の指摘については、教員間で共有し、改善策を検討していきます。
 - 感染対策による規制がなくなったため、対面授業の効果を再確認するとともに、オンデマンド、リアルタイムオンライン授業の利点も活用し、質の高い授業運営を目指して参ります。

令和4年度 医療栄養学科の授業評価結果に対する考察

副学長・医療保健学部医療栄養学科長
小西 敏郎

医療栄養学科では、学生の皆さんが、4年間で医療に関連の深い栄養学を学び、卒業後には管理栄養士として、社会で医療にかかわる領域で活躍できるように、カリキュラムを編成し、授業を行っています。そのために、学科の教員全員は、毎年学生の皆さんから頂く授業評価を大いに参考にして、それぞれが担当する授業を、さらに改善する努力を続けてきています。

令和4年度は、3年前からのコロナ禍の影響で、講義授業の多くは引き続きオンデマンド型の遠隔授業を続けましたが、演習・実習・実験授業については、感染対策を十分に取り入れて、できるだけ対面授業あるいはオンライン形式の遠隔授業とのハイブリッド形式で行いました。そして令和4年度後期からは、講義授業も徐々に対面授業を再開してきました。遠隔授業開始当初は、ほとんどの教員にとって初めての経験でしたので、不慣れなこともあって学生の皆さんから不満・意見も多くいただきましたが、それぞれの教員がさまざまな改善の努力を続けながら授業改善を行ってききましたので、今年度は高評価していただく授業も多くみられたように思います。

1. 授業評価に関する感想

遠隔授業では、教員と学生や学生同士のコミュニケーションの機会が減少しました。とくにオンデマンドの動画配信授業では学生の皆さんの反応を直接確認することは極めて困難です。また遠隔授業になってからは、学生にとって課題レポート提出の負担が大きく増えることになりました。しかし、本年度はいただいた評価が前年に比べ向上したと感じた教員が多くみられました。これは教員が以下に述べるように、いろいろと改善の努力を重ねたことによると考えます。しかし、遠隔授業になってから評価に答える回答学生者数が少なくなりました。また回答したのは熱心な学生が多かったことによるかもしれませんので、学生全員から回答をいただけるように努力していきたいと考えます。

2. 授業において工夫した点について

それぞれの教員が、オンデマンドまたはオンラインの遠隔授業を行いながら、また対面授業においても、さまざまに工夫して、改善の努力を重ねてきました。令和3年度においてとくに改善した内容を大きく下記の3項に分けて、列挙しました。

- ① 授業方法や内容をよりわかりやすくし、学生が学修しやすい授業とすることとし、また配布資料も理解しやすいようにするとともに、授業の重要ポイントについては資料の中に学生が講義を聞きながら書き込む欄を設けることで、講義に集中できるように改善した教員が多くみられました。

* 授業のなかの重要なポイントについては、宿題やミニテスト、あるいは課題レポートのテーマとして指摘することで、学生の皆さんが重要ポイントを復習できるように工夫する教員が増えています。また宿題やミニテストについては、翌週の授業の最初にわかりやすく解説するように、多くの教員が努力しました。

* 学生から提出された課題レポートについては、学生にフィードバックすることが肝要なことから、各教員がレポートを丁寧にチェックして、お返しするように努めています。

② 学生と教員のコミュニケーションができるだけ増える授業とする

* 授業に対する質問は、対面授業ではなかなか質問しづらい状況もあるようですが、メールでの質問の他に小テストの解答時に直接質問ができるように設定したので、気軽に質問ができるようになった授業もみられました。

* 学生個々の学修に対する進捗状況を把握するため、シャトルカードの実施を行い、学生と教員とのコミュニケーションの一つとする授業もありました。

③ 学生自らが主体的に学ぶ（アクティブラーニング）授業をこころがける

* 学生が主体となり進めている実習に、前年度よりもなるべくグループの人数を少数にして全員参加で進められるようにすることで、学生の積極的な実習参加がみられるようになっていきます。

* 調理科学実験は実験動画を見てレポートを作成するだけでなく、自宅で実験ができるように内容を変更し、使用材料もできるだけ配布するようにしました。

* いつでも復習できるように WebClass 上で各回の授業終了後に、復習用として授業動画の掲載を継続して行うようにしました。

対面授業でも遠隔授業（オンライン授業、リアルタイム授業）でも、学生にとってアクティブな姿勢で学修できる授業となるように、教員間で話し合いながら改善していますが、まだまだ改善が必要と考えています。引き続き、①授業方法や内容がわかりやすく、学生が学修しやすい授業、②学生と教員のコミュニケーションができるだけ増える授業、③学生がアクティブな姿勢で学生自らが主体的に学ぶ授業、となるようにこころがけてゆきます。

3. 学生に対して

多くの教員は学生の皆さんからの意見・質問を待っています。残念ながら、授業評価アンケートに回答する学生数は、遠隔授業 Web 回答形式になってから全科目で大きく減少しています。学生の皆さんは授業評価アンケートを全員が提出するようにしてください。また自由記載の意見は大変参考になりますので、積極的に記入してください。

当学科では、従来のアドバイザー制度に加えて、3年前から学生問題相談委員会を立ち上げて、教員間で連絡を取りながら、学生生活、進路、学業等に悩みを持つ学生を早期に見出し、より適切に対応できる体制としました。学生の皆さんはオフィスアワーをもっと利用して、担当の主・副アドバイザーに相談してください。また授業に対する意見・希望などを教員に伝えて頂きたいと思っております。

令和4年度 医療情報学科の授業評価結果に対する考察

副学長・医療保健学部医療情報学科長
石原 照夫

1. 授業評価結果アンケート結果の感想

- 令和4年度は令和3年度に比し、コロナ禍による対面授業制限レベルが緩和されましたが、遠隔授業を完全にやめたわけではなく、対面授業、遠隔授業、対面授業と遠隔授業が混合したハイブリッド型授業の3つの授業形態で教育が行なわれました。当学科の基本姿勢は、教育改善のためにICTを活用して教育DXを推進していくことです。教育手法のリデザインにより対面授業のみとは異なる学修成果をあげる理想的な学修形態の確立に取り組んでいきたいと考えております。ただ、対面授業回数の制限や対面授業と遠隔授業が混合した状態での授業編成の難しさから、まだ、理想的な形態とは言えない面があり、引き続き理想的状態を目指して努力する所存です。教育の改善を進めるにあたっては学生による授業評価が重要で、その点、この授業評価アンケートの回答率が低いのが残念です。もっとも、アンケートに回答したくなるような授業、学修成果を実感させるような授業がおこなわれていないことの反映ではないかというご指摘もあるかと思っておりますので、その点の反省も必要と考えています。少なくとも回答された学生の意見を真摯に受け止め、個々の教員が授業を点検し、改善に務めるように指導する所存です。
- 遠隔授業については、これまでと同様、概ね肯定的な意見が多く、安堵しました。一方、「教員は学生が質問や意見を述べられるよう配慮したと思うか。」については、多くの遠隔授業科目で低めの評価であり、やはり双方向性にはまだ課題を残していると感じました。改善していきたいと考えております。
- 依然として、多くの科目で、シラバスの学修上での有用性の評価が低い結果でした。シラバスのもつ意義は重要と考えています。科目によっては、授業回毎のコマシラバスのような詳細な授業概要を提示し、その都度授業での到達目標を確認することも有用と考えています。単なる授業計画ではなく、より実質化したシラバスになるように改善していきます。
- レポート課題評価、出席の認定についてその基準が不明瞭との意見がありました。授業によっては、「受講にあたっての注意点等」で記載されており、そのような場合には受講にあたって、必ず目を通していただきたいと思っております。ただ、その場合も随時授業等で説明することは重要と考えており、授業評価の方法、出席の認定等について丁寧に説明するように指導してまいりたいと思っております。
- 医学・医療系の科目については、これまで学修していない分野の基礎知識が身についたよかったという半面、難しかったとか、興味がわかなかったといった両極端の意見がみられました。もともとが、診療情報管理士の受験を意識した科目が多く、必修科目とする科目を絞った方が良いと考え、令和5年度からの新カリキュラムでは医学・医療の基礎的な科目以外は選択科目に変更しました。また、医学・医療系の科目間の連携を密にして、理解の進む、授業内容や授業形態を模索していきたいと思っております。

2. 授業において工夫した点について

各授業科目の特性を考慮に入れ、担当教員によって以下のような工夫を行いました。十分な成果のみられていないものについては、改善あるいは変更を行っていく考えです。

また、評価の高かった取り組みについては、導入が可能な他科目にも広めていきたいと思いをします。

○ 遠隔授業の方法について

- ・オンデマンド方式では、基本、講義資料と動画コンテンツを配信、科目によってはユニット学習を導入しました。理解の確認のために、小テストを随時実施、また、リアクションペーパーによりコミュニケーションの確保を試みました。
- ・オンデマンド方式の動画コンテンツについては、隙間時間を利用しての視聴や集中力が途切れないようにテーマ毎に15~20分程度に分割して配信しました。
- ・科目によっては質問がしやすいようにSlackを活用して、インタラクティブなサポートを実施、学生には好評でした。

○ 授業内容の工夫

- ・授業形態は基本的には遠隔・対面いずれもLMSを活用しました。
- ・対面授業や遠隔授業の特徴、メリットを活かしたハイブリッド型授業（オンデマンド、対面を交互に行なうなど）を積極的に取り入れました。
- ・プログラミング演習では、習熟度に対応出来るように基礎的な穴埋め問題、標準的な問題、応用問題を用意しました。
- ・演習、再履修対応科目では、時間の制約がなければ個々の学生の質問に丁寧に対応することを心掛けました。

3. 今後の授業にどう生かすか

- 依然として受講の仕方、授業の進め方について資料等で記載しても理解が十分でないようです。口頭での説明も加えて内容がしっかり伝わるようにします。
- 演習は双方向性の確保のためには対面がやりやすいとは思いますが、そこにICTを活用しながら、対面のみとは違ったやり方で対面以上の学習効果が得られるように改善できないか、模索を続けたいと思いをします。
- LMSの活用がまだ十分ではありません。FD活動の一環として教員のスキルの向上に努めます。
- 本学科は、医学・医療の分野で情報学、データサイエンスを活用して貢献する人材の育成をめざしています。この分野でも、AI、IoT、VRなどの新しい情報通信技術が展開されており、また医療ビッグデータの解析を行うデータサイエンティストの育成が喫緊の課題となっています。また、教育界においても、小学校から各段階において学修者本位の学び、課題探求型授業の重視など教育改革が実施されています。このような背景を踏まえ、本学で養成すべき情報学・データサイエンスの人材像を大きく見直し、かつ、学修者本位の教育を実現するために、令和5年度入学生から新カリキュラムを導入しました。今後はその充実に努めて参りたいと思いをします。

4. その他

- 授業の改善は、教員のみでの努力では達成できません。学生自身も授業に能動的に参加し、授業に対する意見、授業内容に対する質問等を積極的に出して頂きたいと思いをします。授業改善にあたっての重要な手がかりになります。冒頭で述べたように、アンケートの回答率が低いことが懸念されます。教員もアンケートに回答したくなるような授業をめざす所存ですが、回答率をあげる施策を検討しています。
- 授業評価アンケートの結果の教員へのフィードバックを、次年度の授業に生かせるように、セメスター毎に集計して頂くことを検討して頂きたいと思いをします。

令和4年度 助産学専攻科の授業評価結果に対する考察

助産学専攻科長

坂本 すが

助産師を目指す学生たちが、学部を修了して、さらに、キャリアアップし、周産期医療および地域社会における妊産褥婦、ライフサイクルにある全ての女性に支援の手を差し伸べられるための学修を収めるのが助産学専攻科です。

1. 授業評価アンケートについて

1) 助産学専攻科の科目全体の授業評価集計結果は、概ね 4.0 以上の評価を頂き、特に、助産診断・技術学Ⅰ・Ⅱや助産学実習など、全体の科目の中でも単位数が多く、より学生の主体的な参画が求められる科目で高い評価が見られました。これらの科目は、課題の難解さから、個人だけで課題解決するだけでなく、グループ課題としても周産期各期の症例検討に取り組み、分娩介助演習等もグループメンバーで学修を重ねることで学生に求められる学修レベルは高いものでも相互協力により達成感を得ることにつながったと考えます。助産診断力をつけるために、問題基盤型学習:Problem-based Learning (PBL)、チーム基盤型学習:Team-based Learning (TBL)、症例基盤型講義:Case-based Lecture (CBL)といった教育方法を導入を試みていますがグループ型はこの取り組みの一つです。令和3年度は、コロナ禍によるICT教育と対面のハイブリッドでの授業でしたが、昨年からは対面中心の授業形態へと変更できてきています。

助産学実習は、コロナ禍でも従来の実習開始時期と同時期の開始となりました。実習を断られる施設もありましたが、施設との調整を重ね、全学生が臨地実習を経験できました。総合評価では、技術演習を伴う診断・技術学Ⅱや実習科目において点数が低い傾向がみられるのは、臨地実習でケアを実践することで自身の未熟さを認識することで評価は低下するものの、対象者の実在する臨地実習での臨場感や体験を通して学習達成度や満足度に繋がったと考えます。

2) 教員の姿勢については、講義内容や授業展開などに関する指摘はありませんでしたが、演習方法の見直し、実習施設での調整や教員間の引継ぎ、指導方法に関する課題がみえてきました。コロナ禍による演習や実習期間の短縮等、それに伴う臨地調整や指導の煩雑さ、過密スケジュール等は、教員も学生も負担は大きいと考えます。1年課程の助産学専攻科は、多重課題となりますので、学生の状況を丁寧に把握した上での学生のメンタルヘルスへの支援、適切な教育や指導を検討してまいります。

2. 授業において工夫した点

授業等では授業と演習科目の連動を意識し、進行状況に合わせた具体的な教育方法、演習形式の授業は、個々の学生の理解が図れるように、複数の教員でデモンストレーションや質問対応を継続しています。助産診断能力の強化を図るため、臨床推論を用いた症例検討、それを基に臨床実習での対象者の経過診断ができるように教育・指導しています。

コロナ禍による遠隔授業でもリアルタイムでの双方向型講義や、グループワークにおいても、対面と同様の学習効果を得ることができたと考えます。健康教育に関する学習では、産後の母子を対象とした集団支援クラスを遠隔で実施しています。ポストコロナにおける集団指導を企画運営する能力の向上にも繋がっていると考えます。母子保健法の改正等から産後1年までのケアの重要性が謳われ、本学の産後ケア研究センターにおける臨地実習の学生からの評価は高いことから、今後も地域の母子支援の学習強化に努めて参ります。

3. 授業評価結果を今後の授業にどの様に生かしていくか

課題やグループワーク、研究などの学生の多重課題への取り組みや、それらに伴うメンタルヘルスの問題に関して、教員間で教育目標や指導方針を共有し、引き続きよりよい授業や教育・実習が行えるように発展させていきます。

4. その他

今後も助産師として学生が自ら考え行動できる能力を培える教育を探求していきたいと考えます。

以上

令和4年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 医療保健学部・助産学専攻科

○全科目数 513 科目 ○調査対象者数 22,616人（延人数）
 ○総回答数 10,920 件（回答率 48.3%）

◆ 講義・演習科目及び実習・実験科目における共通質問項目別集計結果
 〈質問項目番号の()は実習・実験科目における質問項目の番号である。〉
 〈上段()は令和3年度アンケート結果〉

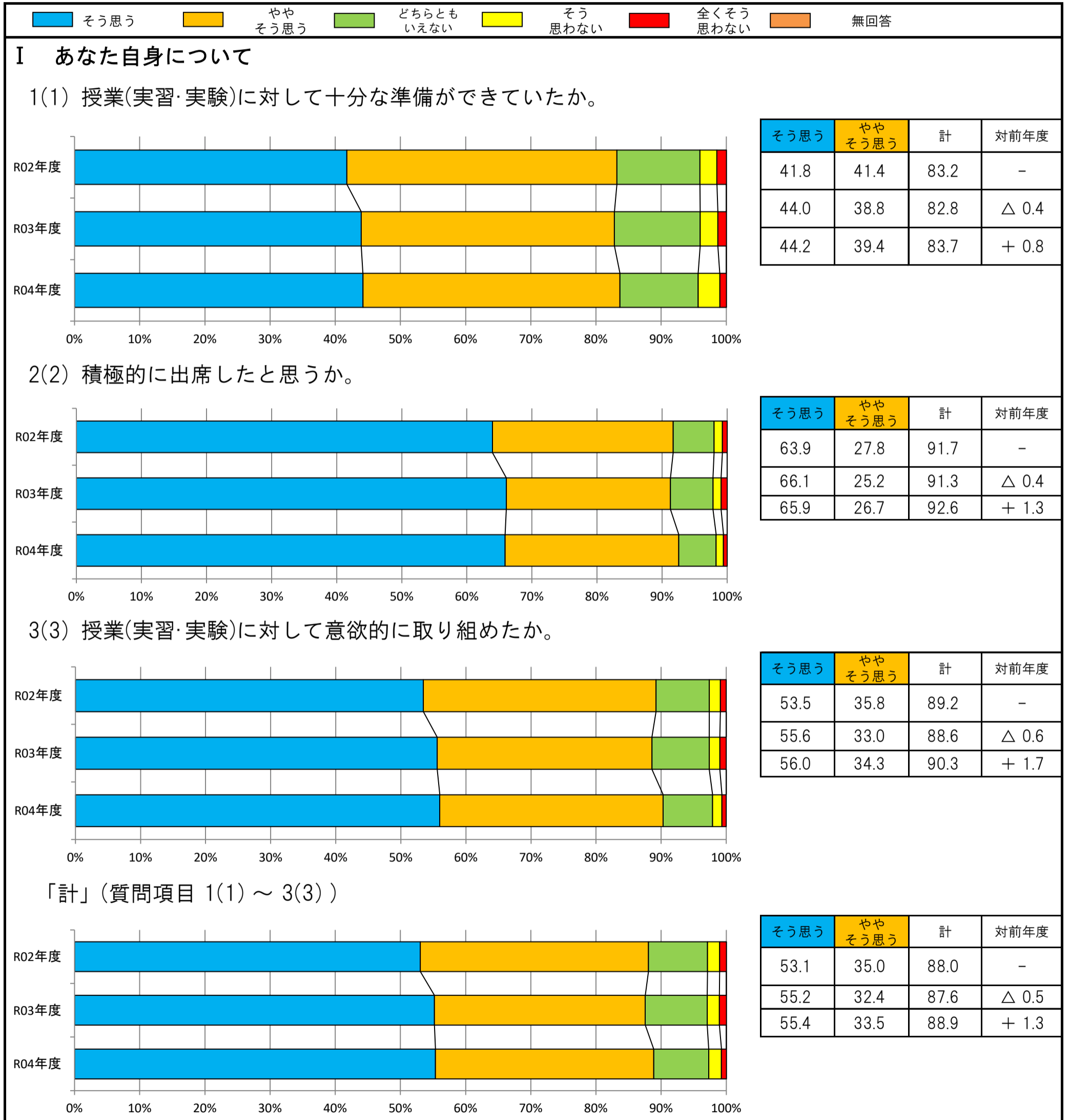
質問項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1(1) 授業(実習・実験)に対して十分な準備ができていたか。	(44.0) 44.2	(38.8) 39.4	(13.2) 12.0	(2.7) 3.3	(1.3) 1.0	0.0 0.0	(100) 100
2(2) 積極的に出席したと思うか。	(66.1) 65.9	(25.2) 26.7	(6.5) 5.7	(1.2) 1.1	(0.9) 0.6	0.0 0.0	(100) 100
3(3) 授業(実習・実験)に対して意欲的に取り組めたか。	(55.6) 56.0	(33.0) 34.3	(8.8) 7.6	(1.6) 1.4	(1.0) 0.7	0.0 0.0	(100) 100
計	(55.2) 55.4	(32.4) 33.5	(9.5) 8.4	(1.9) 2.0	(1.1) 0.7	0.0 0.0	(100) 100
II 授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4(4) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。	(42.6) 43.0	(41.0) 43.3	(12.0) 10.4	(3.0) 2.5	(1.5) 0.9	0.0 0.0	(100) 100
5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(54.3) 54.5	(34.0) 35.2	(9.0) 8.2	(1.7) 1.4	(1.0) 0.6	0.0 0.0	(100) 100
6(6) 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(51.0) 52.0	(33.1) 35.1	(12.3) 10.2	(2.3) 1.8	(1.2) 0.8	0.0 0.0	(100) 100
7(7) この授業(実習・実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(57.0) 56.8	(30.9) 33.0	(9.6) 8.2	(1.5) 1.4	(1.0) 0.6	0.0 0.0	(100) 100
計	(51.2) 51.6	(34.8) 36.6	(10.7) 9.3	(2.2) 1.8	(1.2) 0.7	0.0 0.0	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(44.1) 45.0	(31.3) 34.8	(19.7) 15.9	(3.3) 2.9	(1.6) 1.3	0.0 0.0	(100) 100
9(9) 学習しやすい授業(実習・実験)環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	(60.2) 58.9	(28.2) 31.8	(9.4) 7.5	(1.4) 1.2	(0.8) 0.7	0.0 0.0	(100) 100
10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(58.3) 56.6	(27.7) 31.0	(9.8) 9.0	(2.6) 2.4	(1.6) 1.1	0.0 0.0	(100) 100
12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(46.5) 46.6	(30.7) 33.7	(17.2) 14.9	(3.8) 3.4	(1.9) 1.4	0.0 0.0	(100) 100
13(12) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。	(57.0) 56.3	(29.1) 31.5	(10.4) 9.3	(2.3) 2.0	(1.2) 0.9	0.0 0.0	(100) 100
14(13) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(62.0) 60.6	(27.1) 29.9	(9.0) 7.7	(1.1) 1.2	(0.8) 0.6	0.0 0.0	(100) 100
15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習・実験)を行ったと思うか。	(45.4) 45.7	(30.8) 33.6	(17.7) 15.2	(4.1) 3.9	(2.0) 1.5	0.0 0.0	(100) 100
計	(53.4) 52.8	(29.3) 32.3	(13.3) 11.4	(2.7) 2.4	(1.4) 1.1	0.0 0.0	(100) 100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16(15) この授業(実習・実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(52.8) 53.8	(26.1) 26.0	(13.7) 12.6	(4.4) 4.2	(3.0) 3.4	0.0 0.0	(100) 100
17(16) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。	(51.5) 52.3	(33.9) 35.7	(11.1) 9.2	(2.2) 1.8	(1.3) 0.9	0.0 0.0	(100) 100
計	(52.1) 53.0	(30.0) 30.8	(12.4) 10.9	(3.3) 3.0	(2.2) 2.2	0.0 0.0	(100) 100
全質問項目の平均	(53.0) 53.2	(31.6) 33.3	(11.5) 10.0	(2.5) 2.3	(1.5) 1.2	0.0 0.0	(100.0) 100

授業評価アンケート集計結果 年度別比較

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果

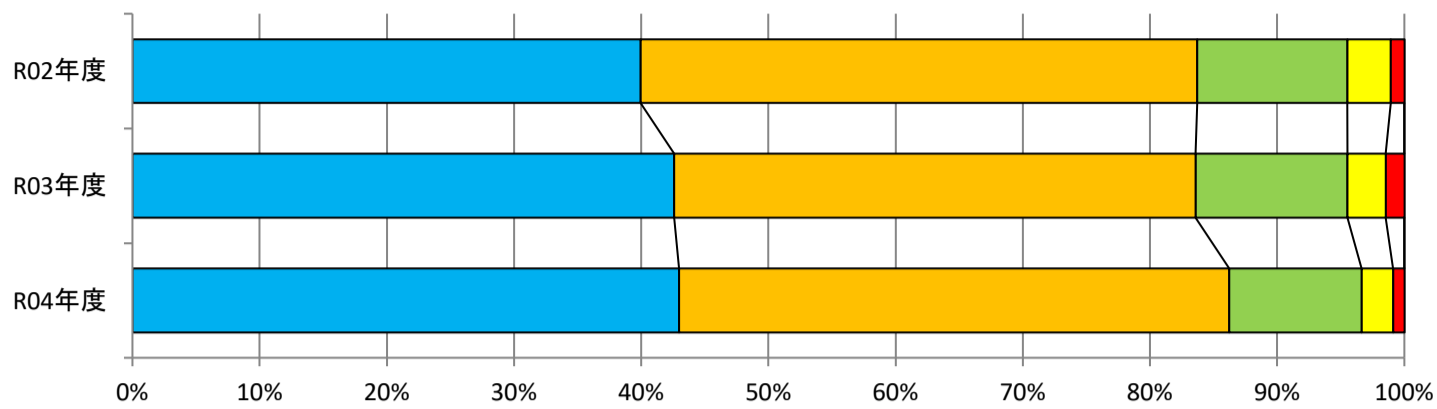
	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全科目数	363科目	360科目	391科目	541科目	513科目
調査対象者数	22,616人	22,689人	24,074人	24,981人	22,616
総回答数(回答率)	19,799枚(87.5%)	19,212枚(84.8%)	15,667件(65.1%)	15,234件(61.0%)	10,920件(48.3%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



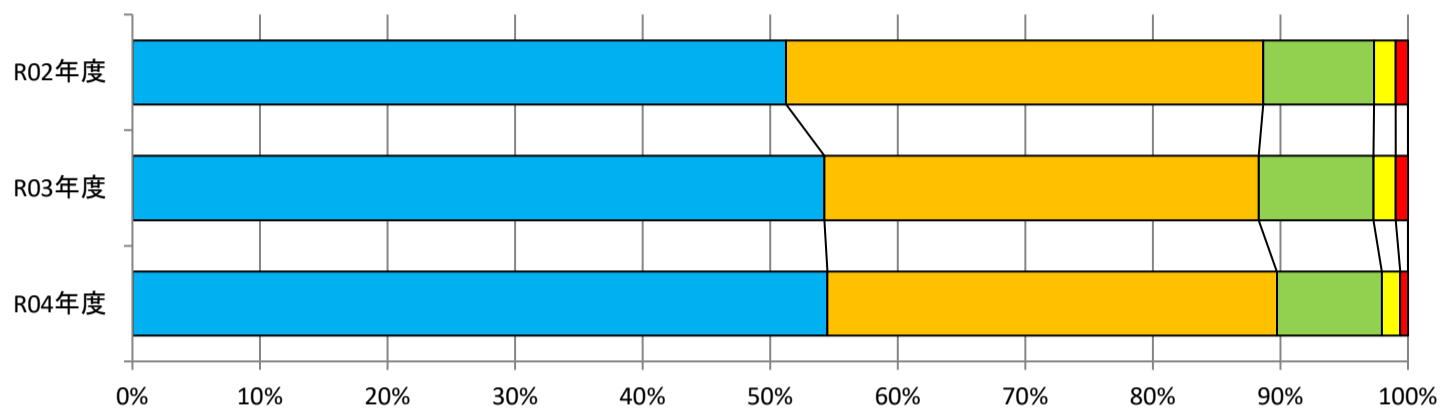
II 授業内容について

4(4) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。



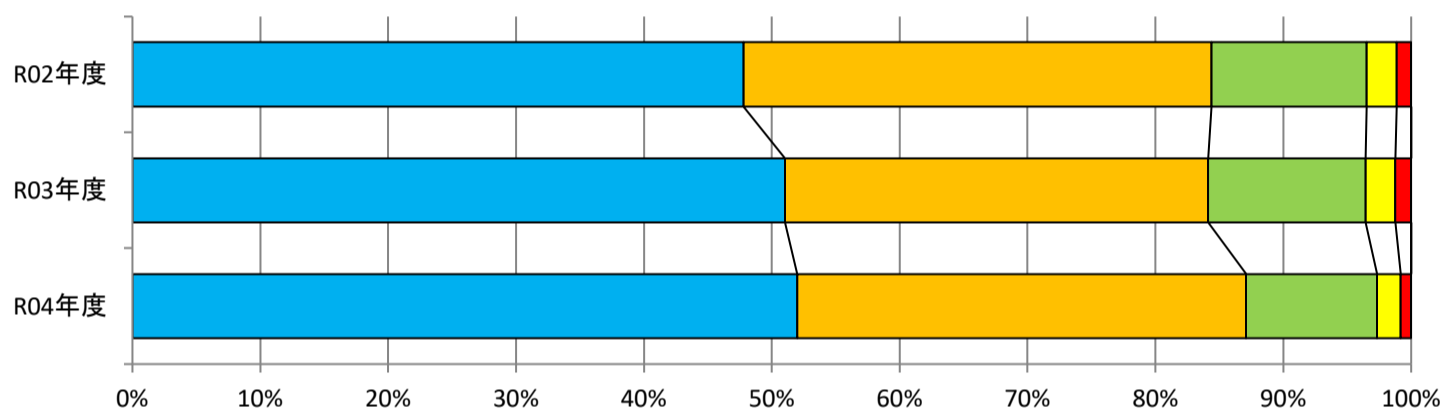
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
39.9	43.8	83.7	-
42.6	41.0	83.6	0
43.0	43.3	86.2	+ 2.7

5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。



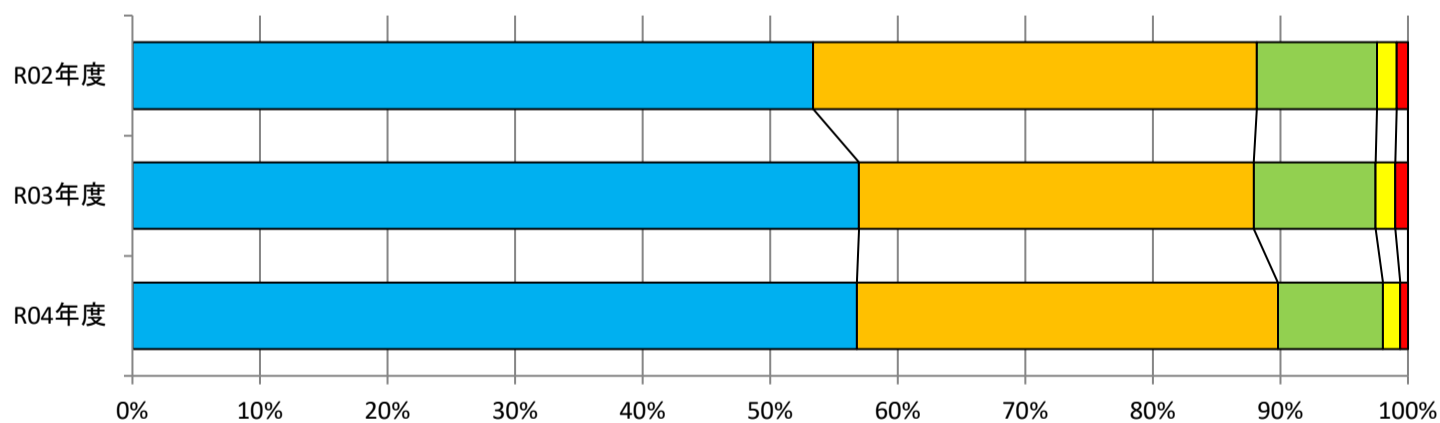
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
51.3	37.4	88.7	-
54.3	34.0	88.3	△ 0.4
54.5	35.2	89.7	+ 1.4

6(6) 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。



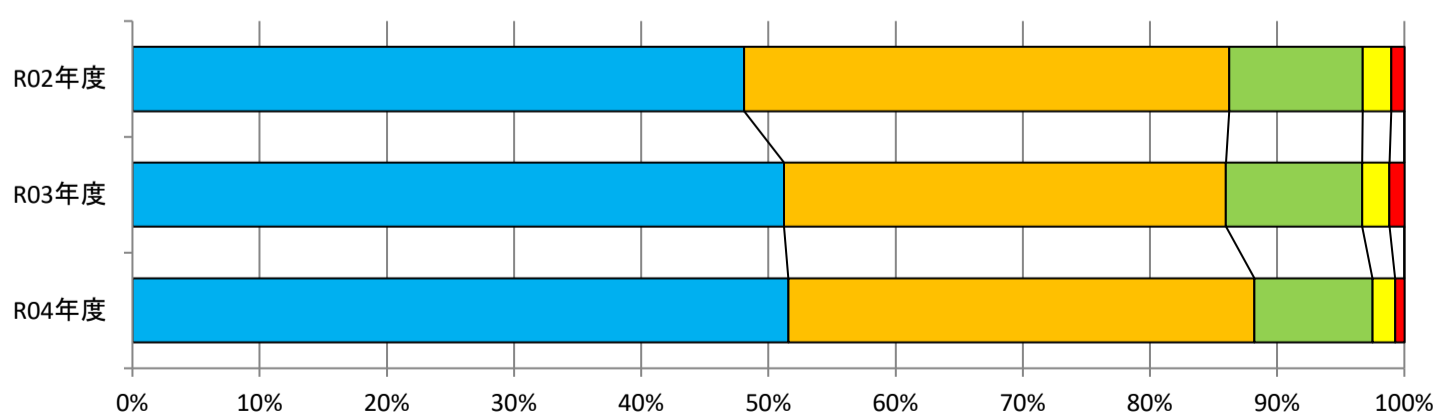
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
47.8	36.6	84.4	-
51.0	33.1	84.1	△ 0.2
52.0	35.1	87.1	+ 3.0

7(7) この授業(実習・実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
53.4	34.8	88.2	-
57.0	30.9	87.9	△ 0.3
56.8	33.0	89.8	+ 1.9

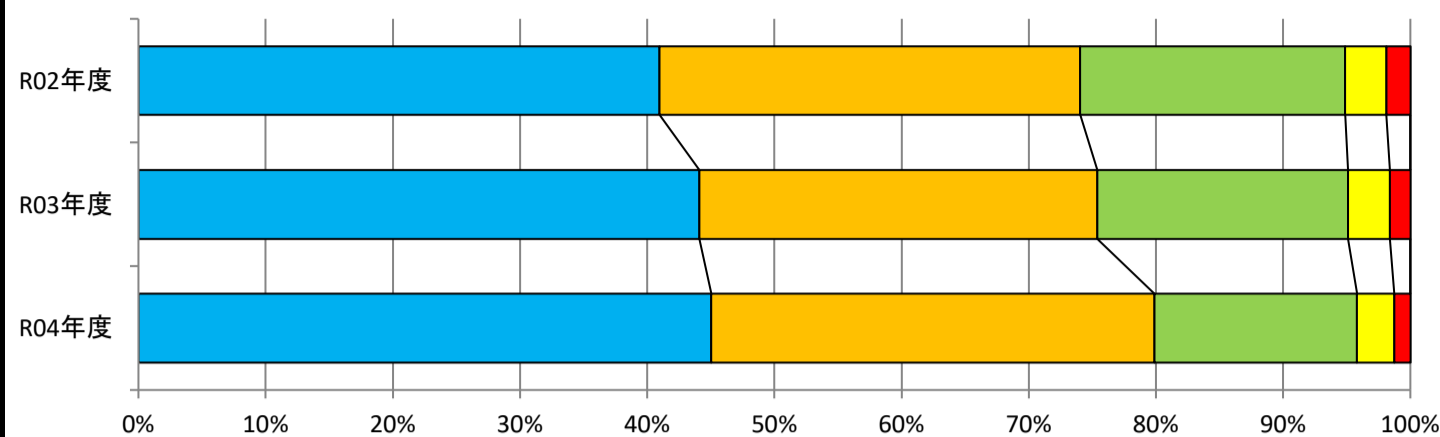
「計」(質問項目 4(4) ~ 7(7))



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
48.1	38.1	86.2	-
51.2	34.8	86.0	△ 0.2
51.6	36.6	88.2	+ 2.2

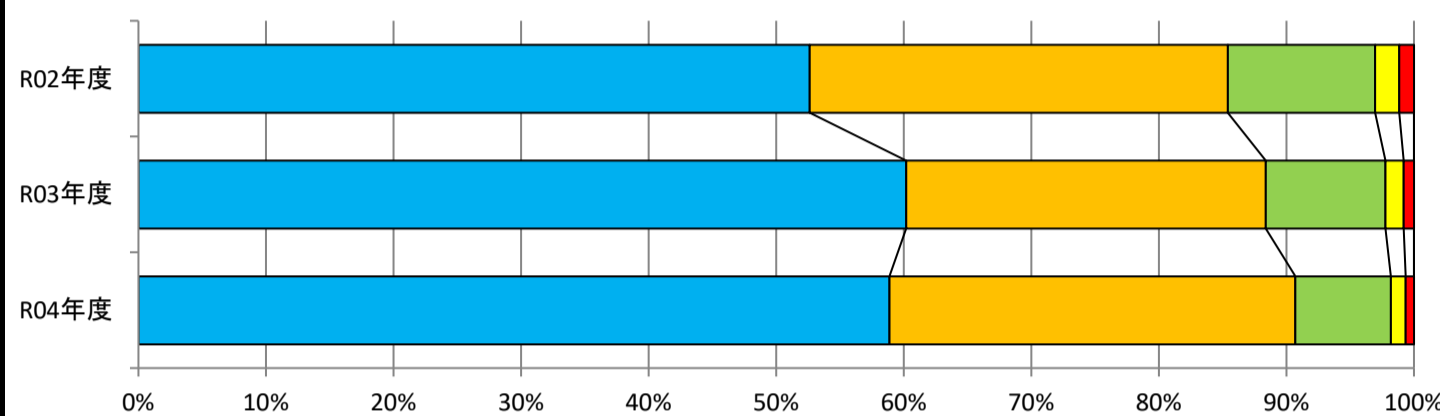
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



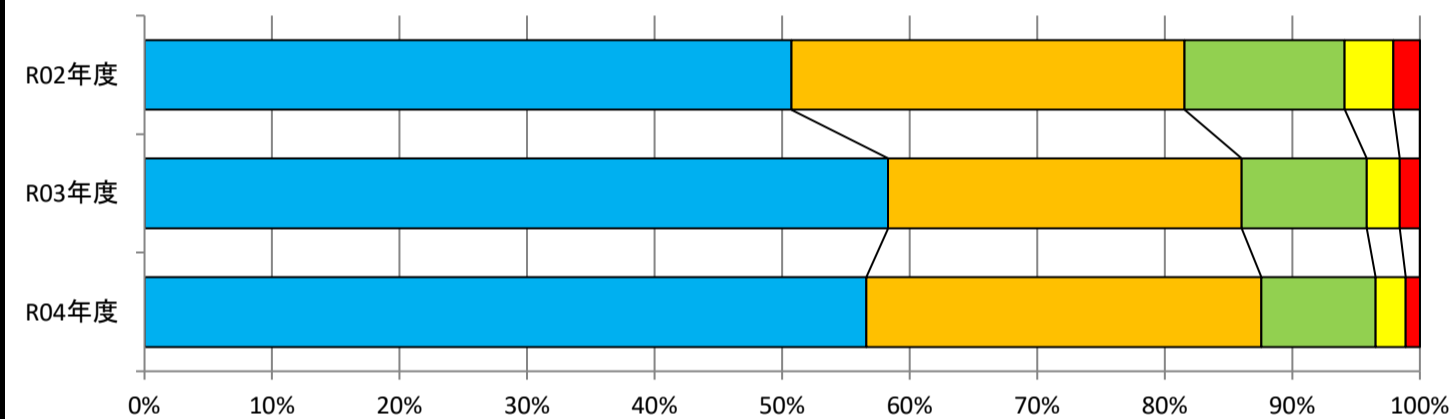
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
41.0	33.1	74.1	-
44.1	31.3	75.4	+ 1.3
45.0	34.8	79.9	+ 4.5

9(9) 学習しやすい授業(実習・実験)環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



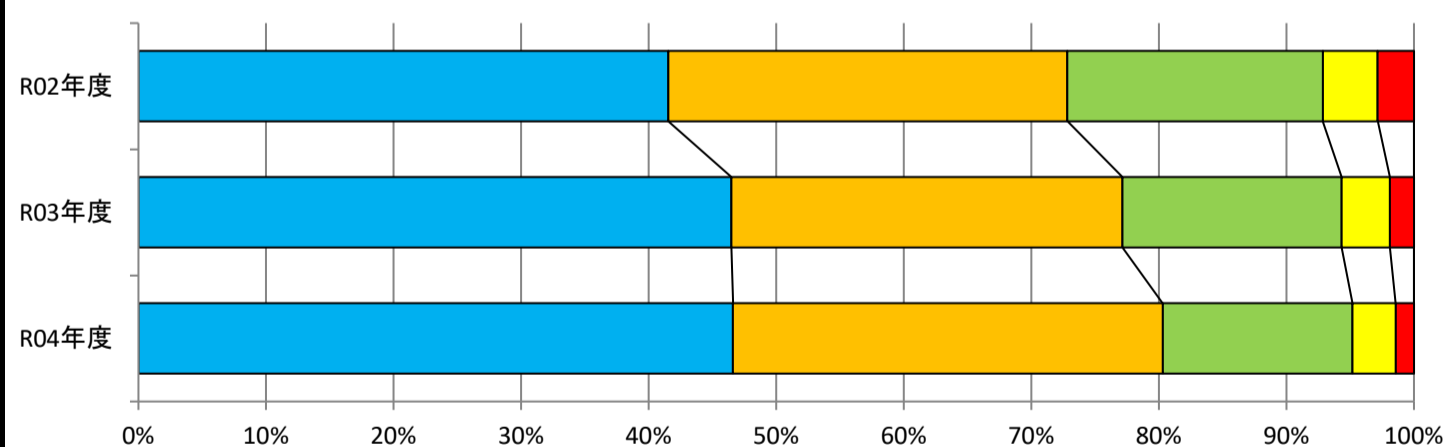
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
52.6	32.8	85.4	-
60.2	28.2	88.4	+ 3.0
58.9	31.8	90.7	+ 2.3

10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



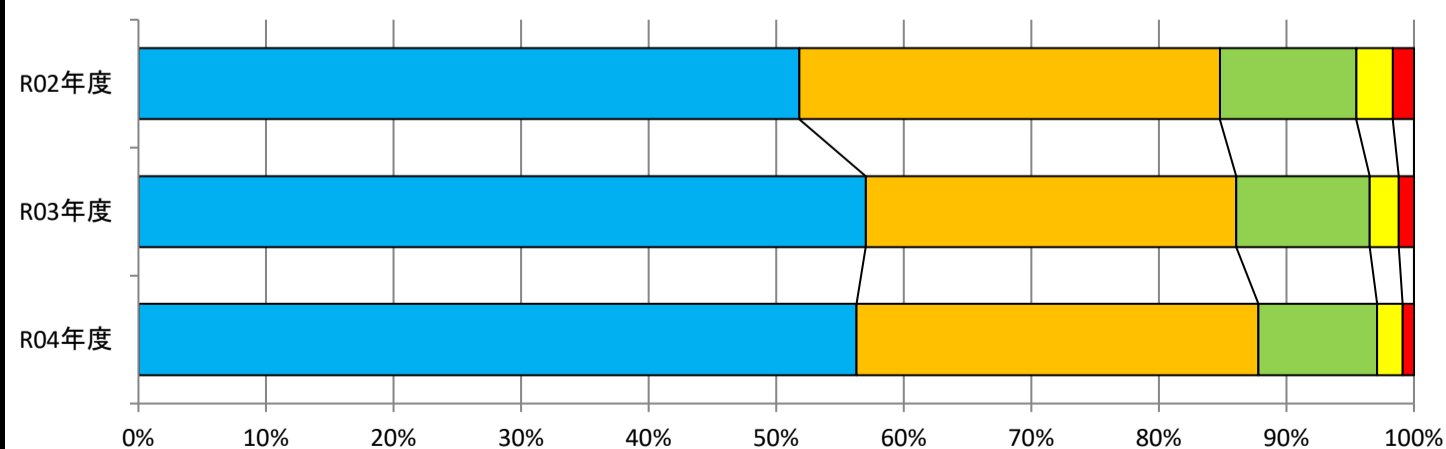
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
50.7	30.8	81.6	-
58.3	27.7	86.0	+ 4.5
56.6	31.0	87.6	+ 1.6

12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



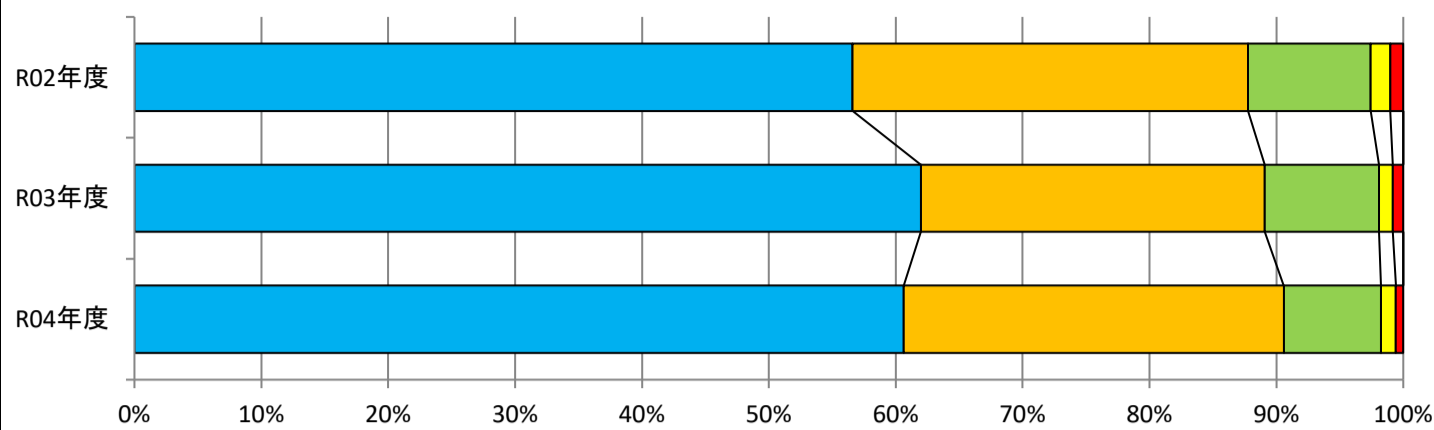
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
41.5	31.3	72.8	-
46.5	30.7	77.1	+ 4.3
46.6	33.7	80.3	+ 3.2

13(12) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。



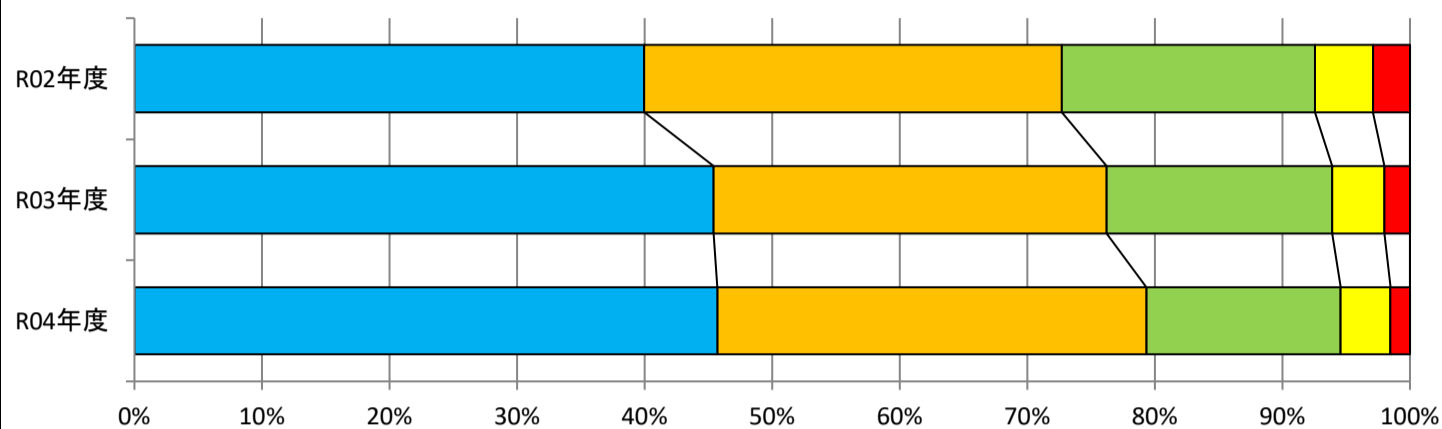
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
51.8	33.0	84.8	-
57.0	29.1	86.1	+ 1.3
56.3	31.5	87.8	+ 1.7

14(13) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。



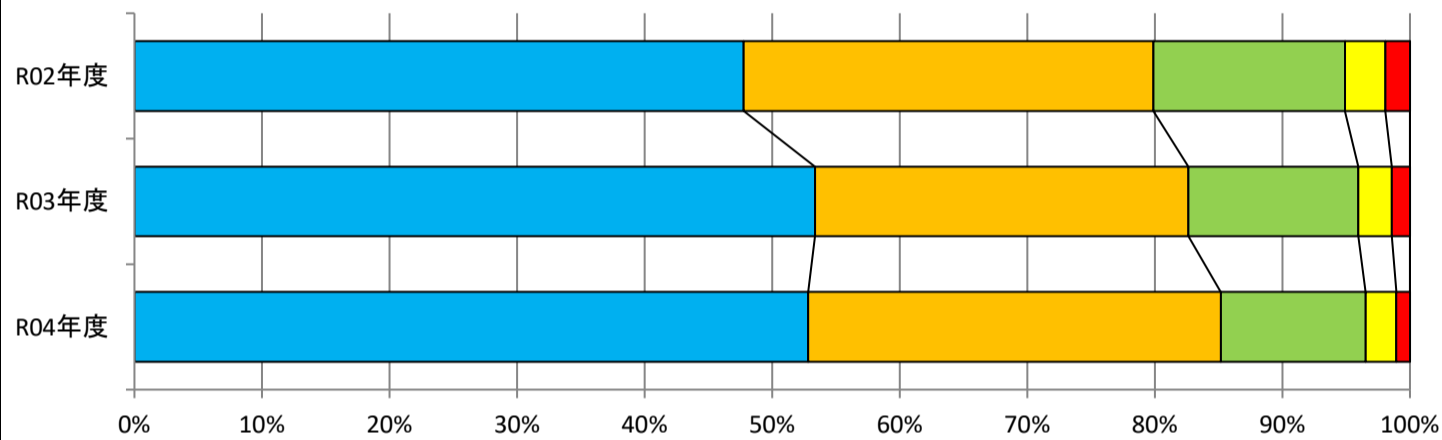
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
56.6	31.2	87.8	-
62.0	27.1	89.1	+ 1.3
60.6	29.9	90.6	+ 1.5

15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習・実験)を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
40.0	32.7	72.7	-
45.4	30.8	76.2	+ 3.5
45.7	33.6	79.3	+ 3.1

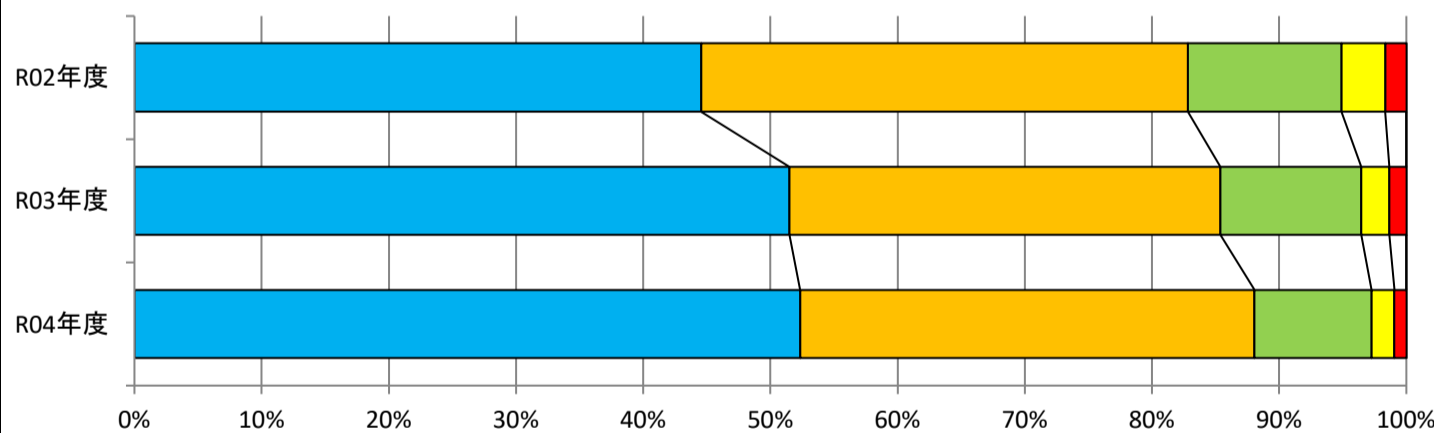
「計」(質問項目 8(8) ~ 15(14))



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
47.7	32.1	79.9	-
53.4	29.3	82.6	+ 2.7
52.8	32.3	85.2	+ 2.5

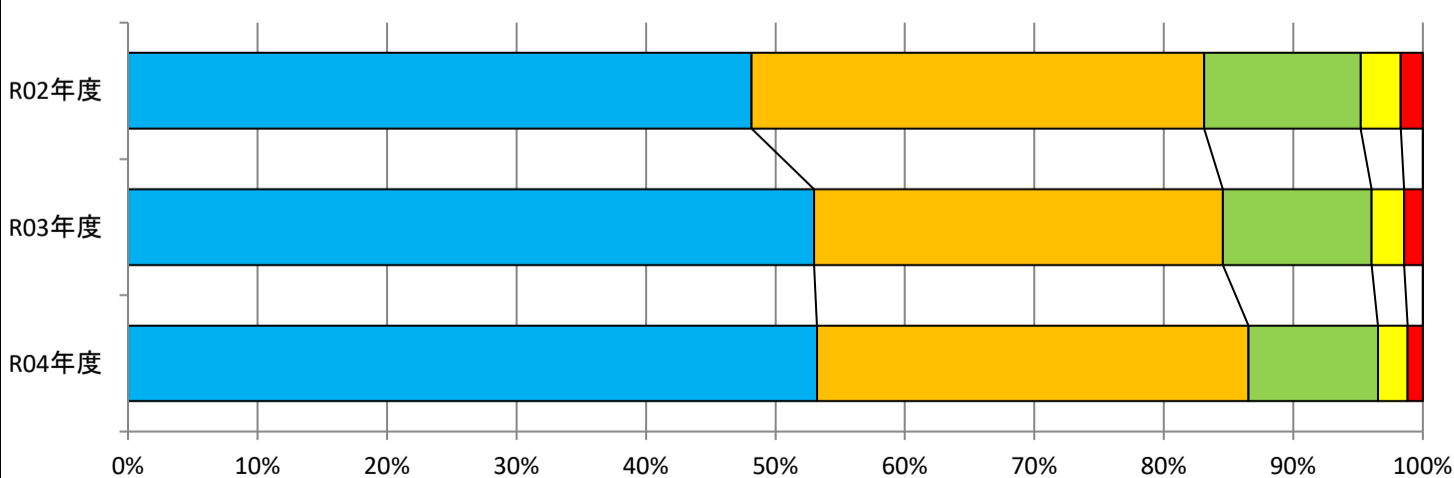
IV 総合評価

16(15) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
44.6	38.3	82.8	-
51.5	33.9	85.4	+ 2.5
52.3	35.7	88.1	+ 2.7

全質問項目の平均

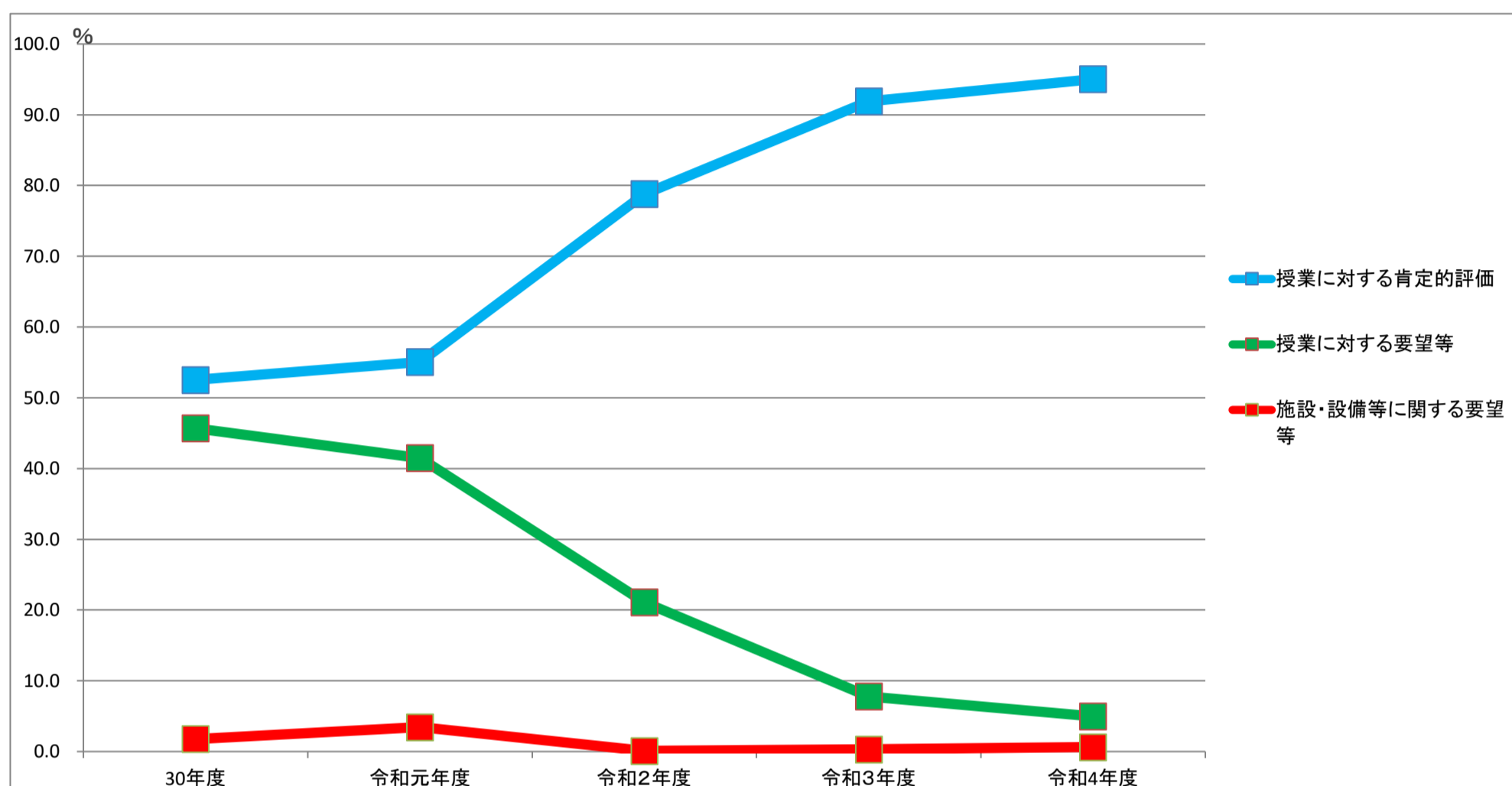


そう思う	やや そう思う	計	対前年度
48.2	34.9	83.1	-
53.0	31.6	84.6	+ 1.5
53.2	33.3	86.5	+ 2.0

◆ 年度別 自由記述集計結果

分類項目／年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
授業に対する肯定的評価	(52.5%) 207	(55.1%) 207	(78.8%) 583	(91.9%) 1,478	(93.8%) 684
授業に対する要望等	(45.7%) 180	(41.4%) 156	(21.1%) 156	(7.8%) 125	(5.5%) 40
施設・設備等に関する要望等	(1.8%) 7	(3.5%) 13	(0.1%) 1	(0.3%) 5	(0.7%) 5
総件数	(100.0%) 394	(100.0%) 376	(100.0%) 740	(100.0%) 1,608	(100.0%) 729

※ () 内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	684	<ul style="list-style-type: none"> ・2年の実習で1年で得た技術や知識を用いて、ケアができるよう復習をして備えていきたいとします。 ・最初は心理学は難しいと思っていたが、具体例を用いて授業を進めてくれたことで楽しく参加することができました。 ・AIと医療についてや価値観、医療サービスなど様々なことを学び、これらの情報を持ったうえで医療従事者として働く方が、より良い考えを持つことが出来ると感じました。 ・宿題の答えと間違っている所を1人ずつ発言するのがあったので、良い経験になった。 ・グループワークを行い、実際に発表するまでの期間でグループの人たちと交流を持つことが出来、嬉しかったです。 ・ジェンダーについて、幅広い観点からの理解を深めることが出来ました。
授業に対する要望等	40	<ul style="list-style-type: none"> ・イヤフォンをしても声が聞きづらい部分があったので、もう少し音について改善してほしいです。 ・使用する教材として配布された冊子の印刷についてなのですが、画像が見切れていたりしたのでその点改善いただければ見やすいかと思いました。 ・授業時間のオーバーをなるべく減らしてほしいです。 ・他の授業の課題などもある中で、復習用の授業動画を見たい時に時間がないので、倍速で再生できるようにしてほしいです。 ・前半のネットワークの授業について、ホームページを見ながらすべてPC上で行う実験だったので、オンデマンドでの受講も可能にする選択制を取るべきなのではないかと思った。 ・宿題の答えを配布して欲しかった。
施設・設備等に関する要望等	5	<ul style="list-style-type: none"> ・webで定期考査を実施するのであれば、Wi-Fi環境の整った場所を実施するべきであると思った。 ・雨の日に教室の換気扇に雨粒が当たる音が大きく、先生の声がよく聞こえず授業に集中できなかった。
計	729	

令和4年度 授業評価集計結果(講義・演習科目)

東京医療保健大学 医療保健学部・助産学専攻科

○講義・演習科目数 422 科目 ○調査対象者数 19,942 人(延人数)
○総回答数 9,738 件(回答率 48.8%)

◆ 質問項目別集計結果

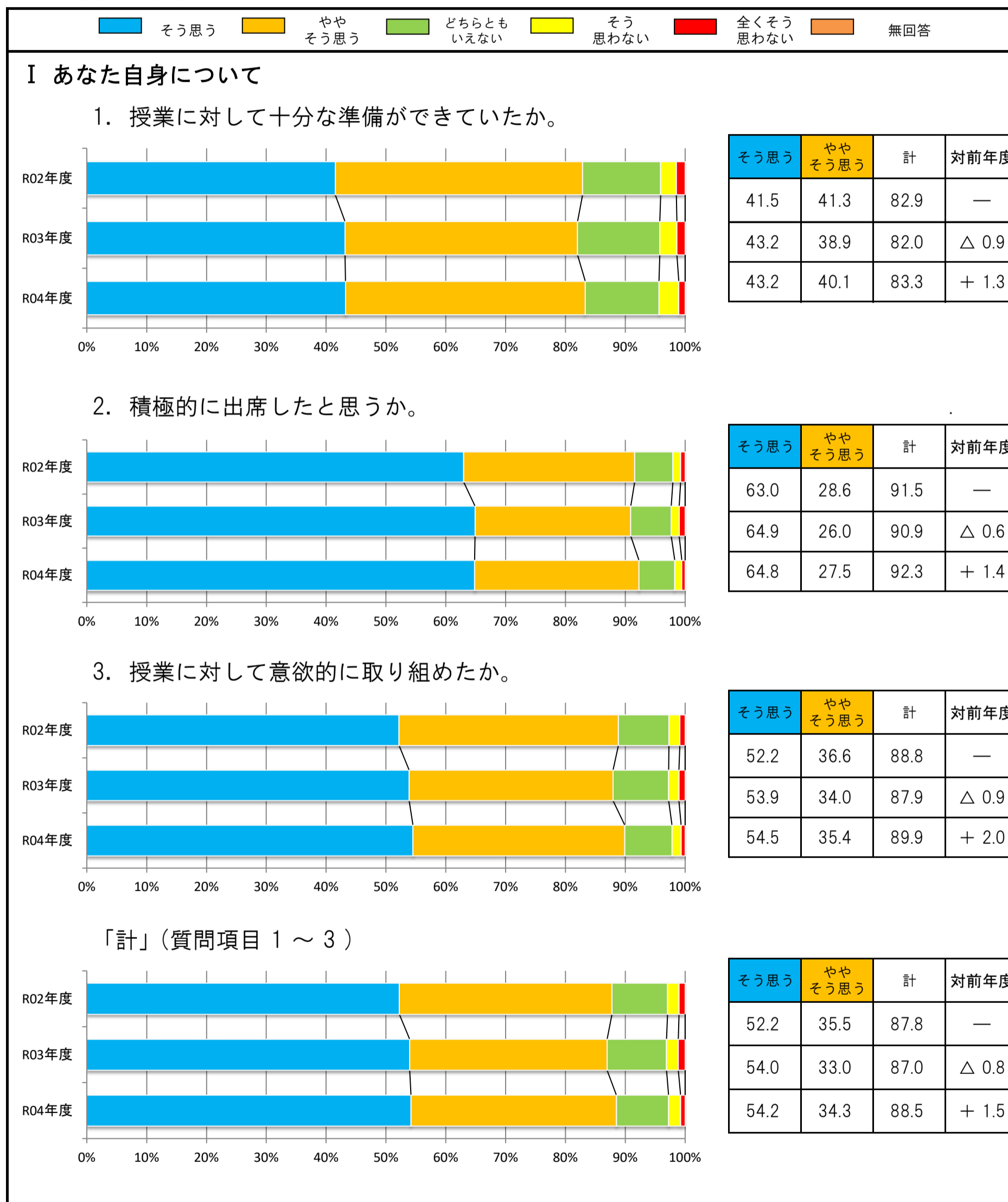
〈上段()は令和3年度アンケート結果〉

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
I あなた自身について							
1. 授業に対して十分な準備ができていたか。	(43.2)	(38.9)	(13.7)	(2.9)	(1.4)	0.0	(100)
	43.2	40.1	12.3	3.3	1.1		100
2. 積極的に出席したと思うか。	(64.9)	(26.0)	(6.8)	(1.3)	(1.0)	0.0	(100)
	64.8	27.5	6.0	1.2	0.6		100
3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。	(53.9)	(34.0)	(9.3)	(1.7)	(1.0)	0.0	(100)
	54.5	35.4	7.9	1.5	0.7		100
計	(54.0)	(33.0)	(9.9)	(2.0)	(1.1)	0.0	(100)
	54.2	34.3	8.7	2.0	0.8		100
II 授業内容について							
4. 授業内容をよく理解できたと思うか。	(41.3)	(41.5)	(12.5)	(3.2)	(1.6)	0.0	(100)
	41.9	43.7	10.7	2.6	0.9		100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(53.4)	(34.4)	(9.4)	(1.8)	(1.0)	0.0	(100)
	53.5	35.8	8.5	1.5	0.6		100
6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(49.7)	(33.6)	(12.9)	(2.5)	(1.3)	0.0	(100)
	50.8	36.0	10.5	1.9	0.8		100
7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(55.7)	(31.7)	(10.0)	(1.6)	(1.0)	0.0	(100)
	55.8	33.6	8.5	1.4	0.6		100
計	(50.0)	(35.3)	(11.2)	(2.3)	(1.2)	0.0	(100)
	50.5	37.3	9.6	1.9	0.8	0.0	100
III 教員の考え方・姿勢について							
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(43.5)	(31.8)	(19.8)	(3.3)	(1.6)	0.0	(100)
	44.3	35.5	15.9	3.0	1.2	0.0	100
9. 学習しやすい授業環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(60.1)	(28.2)	(9.5)	(1.4)	(0.8)	0.0	(100)
	58.4	32.2	7.6	1.2	0.6	0.0	100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(57.5)	(27.9)	(10.2)	(2.7)	(1.6)	0.0	(100)
	55.9	31.4	9.1	2.4	1.2	0.0	100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、 -1 わかりやすい板書であったと思うか。	(52.7)	(25.7)	(16.6)	(2.9)	(2.1)	0.0	(100)
	53.6	30.3	11.6	2.8	1.7	0.0	100
11. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、 -2 その実施内容はわかりやすかったと思うか。	(59.9)	(26.8)	(9.7)	(2.4)	(1.2)	0.0	(100)
	58.3	30.2	8.3	2.3	0.9	0.0	100
12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮した と思うか。	(44.7)	(31.2)	(18.2)	(3.9)	(2.0)	0.0	(100)
	45.1	34.2	15.7	3.5	1.5	0.0	100
13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	(56.2)	(29.6)	(10.7)	(2.3)	(1.2)	0.0	(100)
	55.4	32.1	9.5	2.0	0.9	0.0	100
14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(61.3)	(27.5)	(9.3)	(1.1)	(0.8)	0.0	(100)
	60.0	30.4	7.8	1.2	0.6	0.0	100
15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと 思うか。	(43.8)	(31.2)	(18.6)	(4.4)	(2.0)	0.0	(100)
	44.1	34.2	16.0	4.1	1.6	0.0	100
計	(53.3)	(28.9)	(13.6)	(2.7)	(1.5)	0.0	(100)
	52.8	32.3	11.3	2.5	1.1	0.0	100
IV 総合評価							
16. この講義・演習は遠隔授業環境でも学びやすかったと思 うか。	(54.3)	(26.5)	(13.0)	(3.8)	(2.4)	0.0	(100)
	55.5	26.7	12.0	3.6	2.3	0.0	100
17. この授業は総合的に満足できたと思うか。	(50.7)	(34.4)	(11.4)	(2.3)	(1.3)	0.0	(100)
	51.3	36.6	9.3	1.8	1.0	0.0	100
計	(52.5)	(30.5)	(12.2)	(3.0)	(1.8)	0.0	(100)
	53.4	31.7	10.7	2.7	1.6	0.0	100
全質問項目の平均	(52.5)	(31.9)	(11.7)	(2.5)	(1.4)	0.0	(100)
	52.7	33.9	10.1	2.3	1.1	0.0	100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（講義・演習科目）

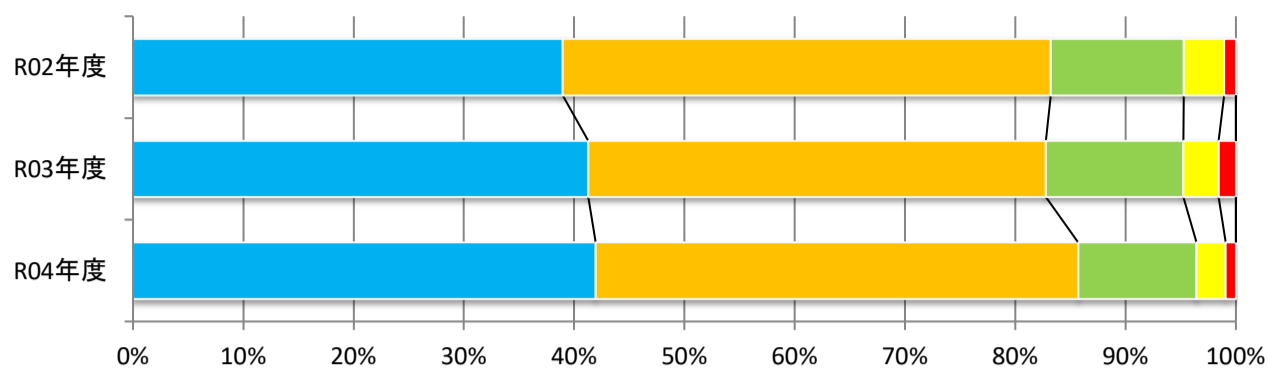
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全科目数	340科目	432科目	422科目
調査対象者数	20,844人	21,910人	19,942
総回答数（回答率）	13,606件（65.3%）	13,313件（60.8%）	9,738件（48.8%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



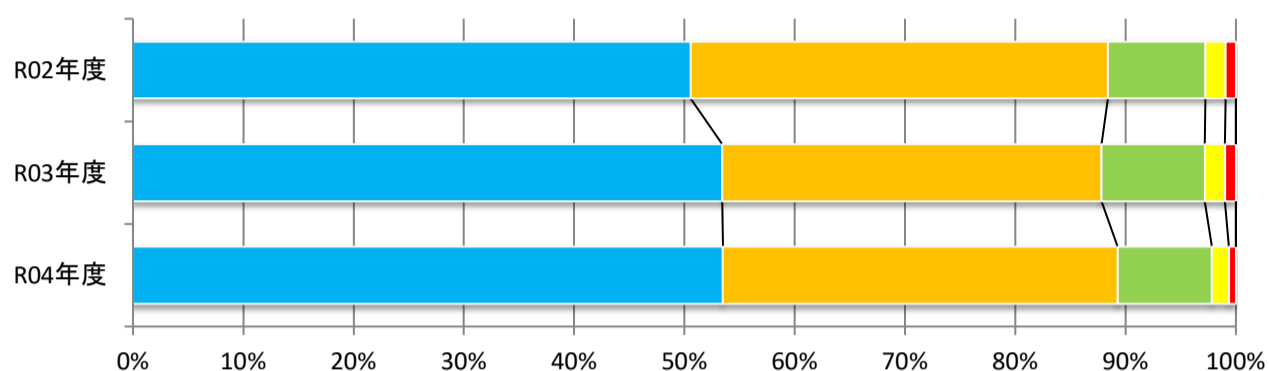
Ⅱ 授業内容について

4. 授業内容をよく理解できたと思うか。



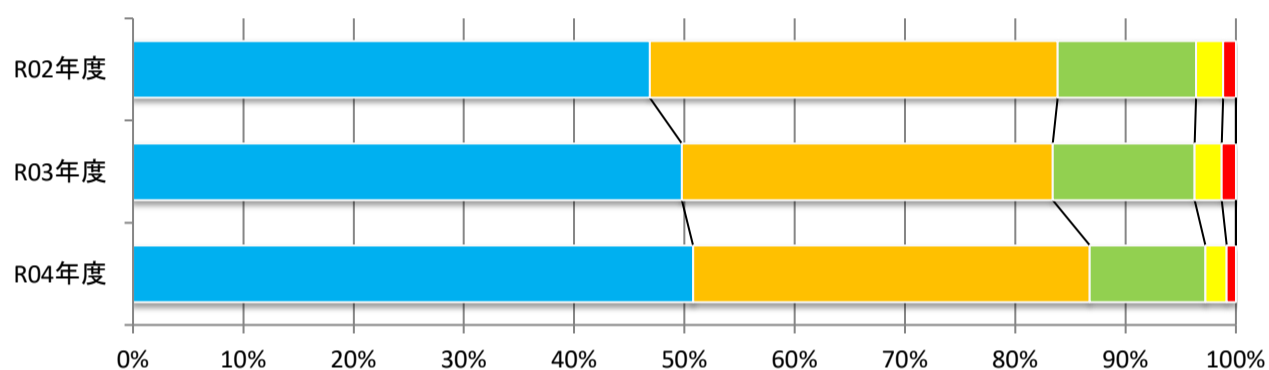
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.0	44.2	83.2	—
41.3	41.5	82.8	△ 0.4
41.9	43.7	85.7	+ 2.9

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



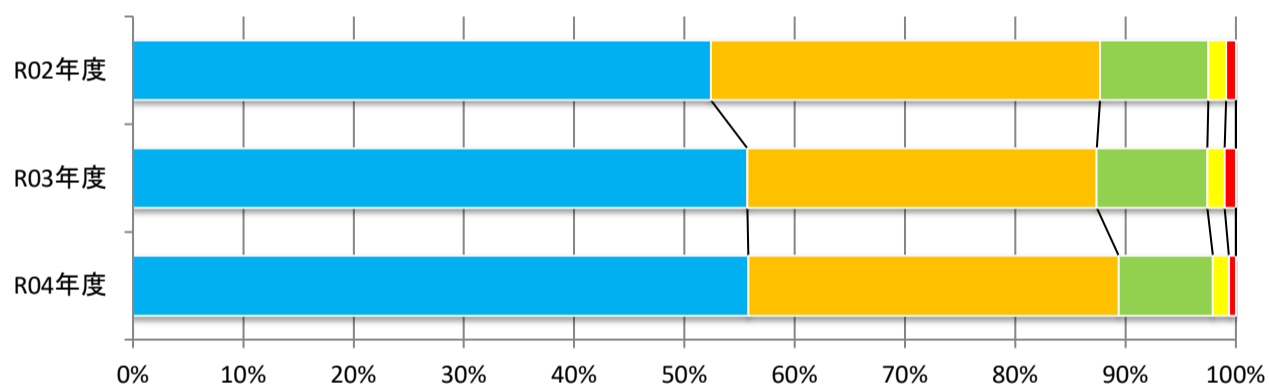
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
50.6	37.8	88.4	—
53.4	34.4	87.8	△ 0.6
53.5	35.8	89.3	+ 1.5

6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。



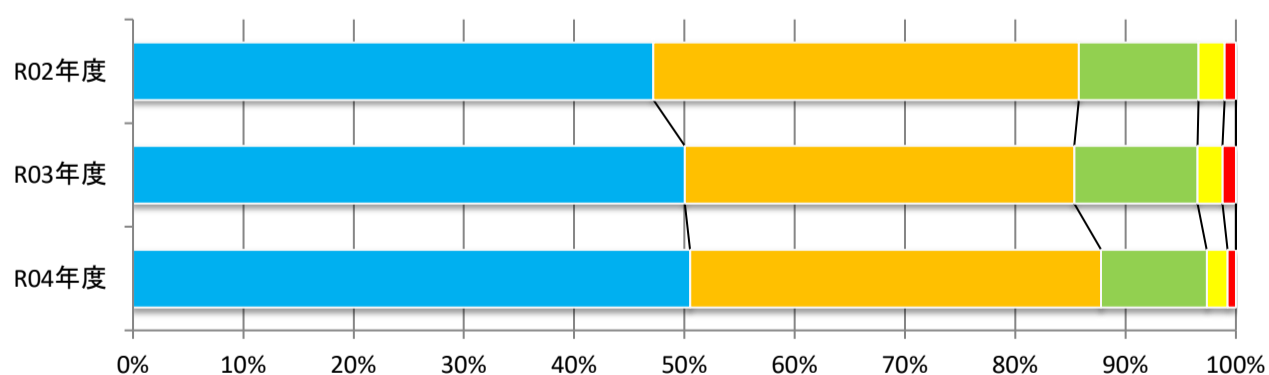
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
46.9	37.0	83.8	—
49.7	33.6	83.4	△ 0.4
50.8	36.0	86.8	+ 3.4

7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
52.4	35.3	87.7	—
55.7	31.7	87.4	△ 0.3
55.8	33.6	89.4	+ 2.0

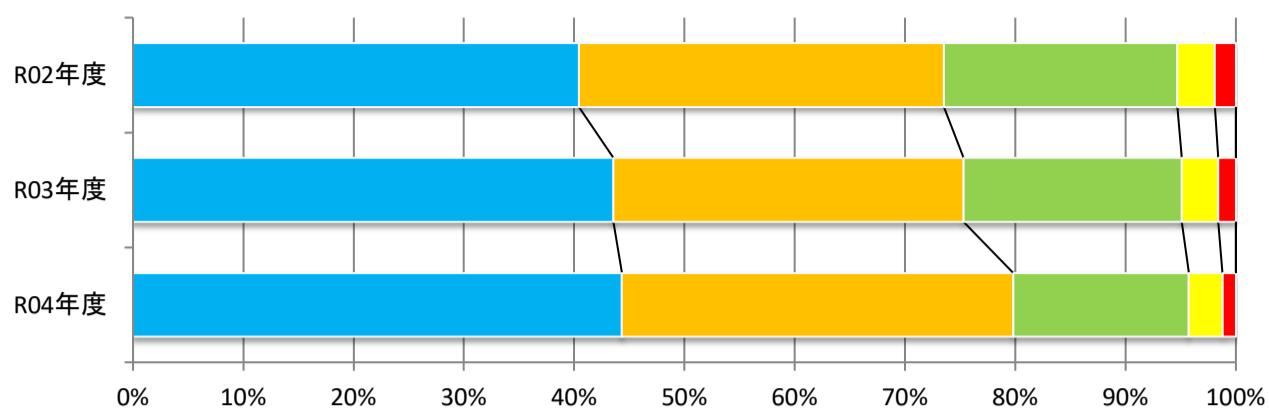
「計」(質問項目 4 ~ 7)



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
47.2	38.6	85.8	—
50.0	35.3	85.3	△ 0.4
50.5	37.3	87.8	+ 2.4

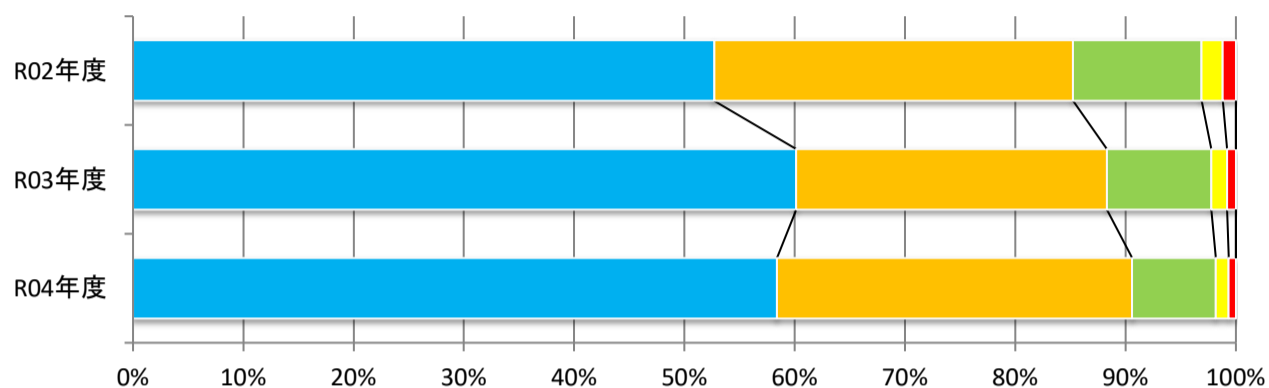
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



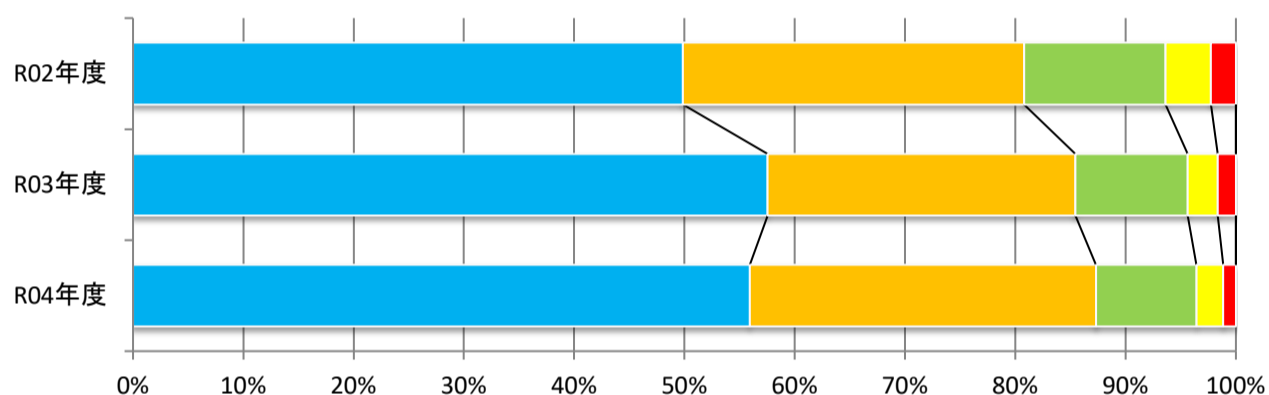
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
40.4	33.1	73.5	—
43.5	31.8	75.3	+ 1.8
44.3	35.5	79.8	+ 4.5

9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



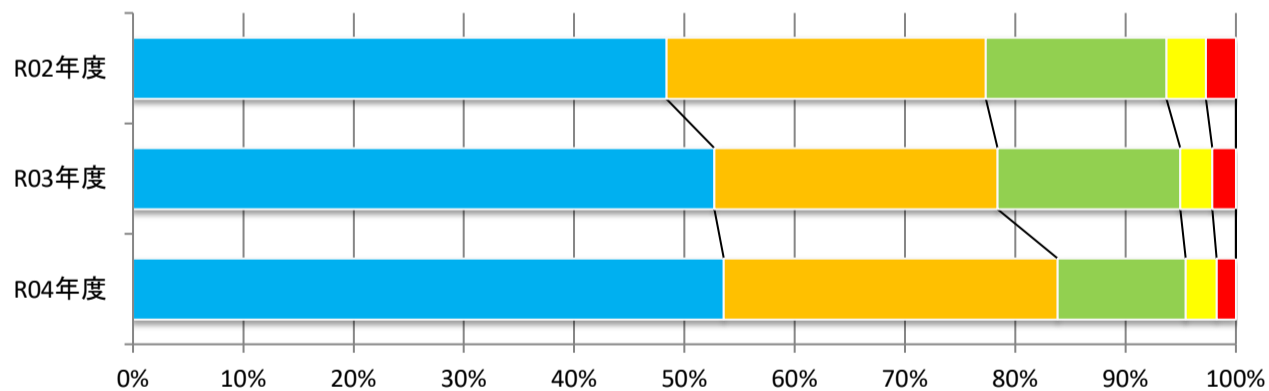
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
52.7	32.5	85.2	—
60.1	28.2	88.3	+ 3.1
58.4	32.2	90.6	+ 2.3

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



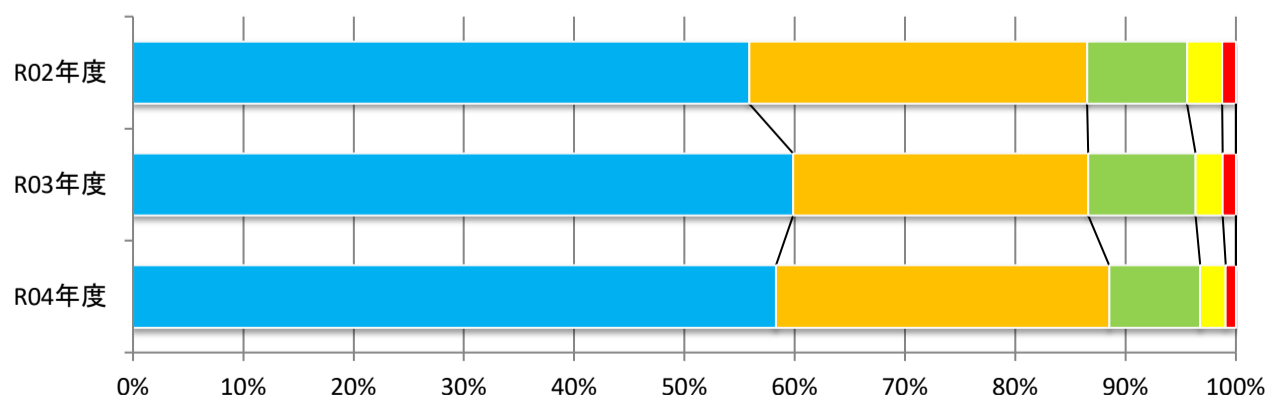
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
49.9	30.9	80.8	—
57.5	27.9	85.5	+ 4.7
55.9	31.4	87.3	+ 1.8

11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい
-1 板書であったと思うか。



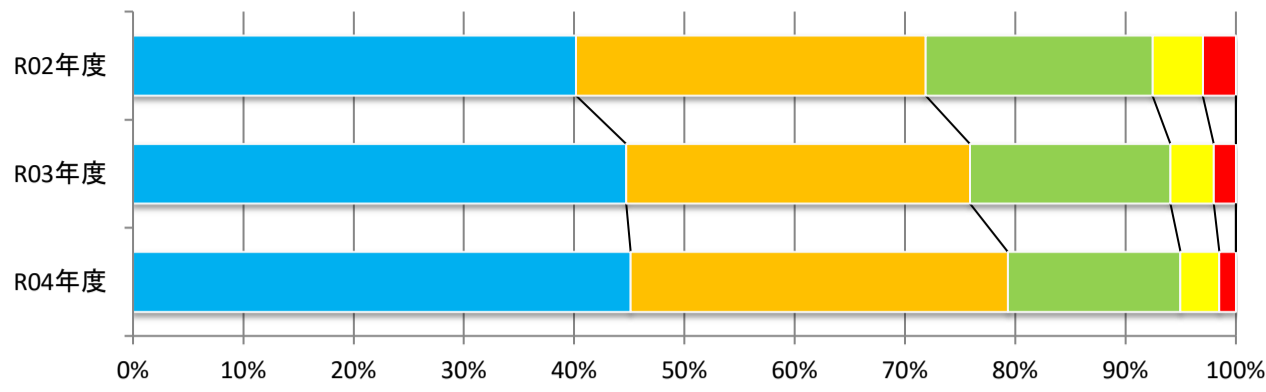
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
48.4	29.0	77.3	—
52.7	25.7	78.4	+ 1.0
53.6	30.3	83.8	+ 5.5

11. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容は
-2 わかりやすかったと思うか。



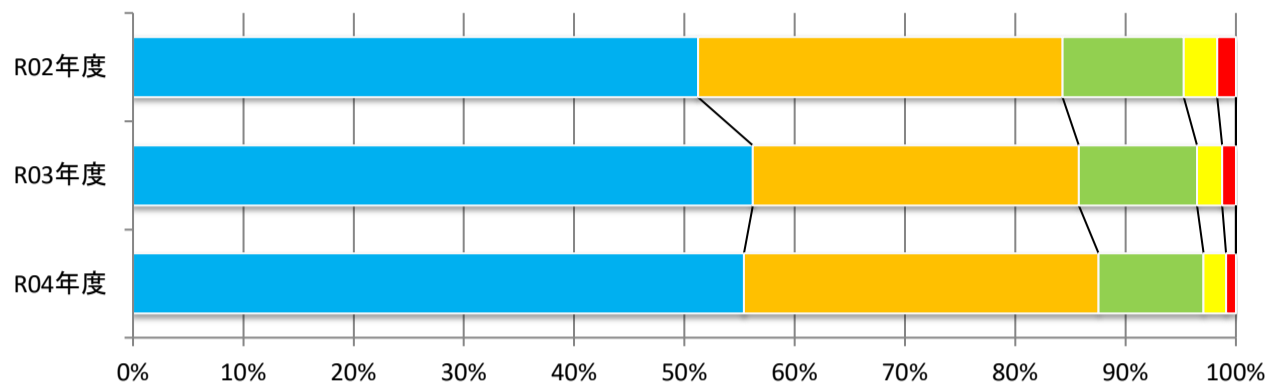
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
55.9	30.6	86.5	—
59.9	26.8	86.6	+ 0.1
58.3	30.2	88.5	+ 1.9

12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



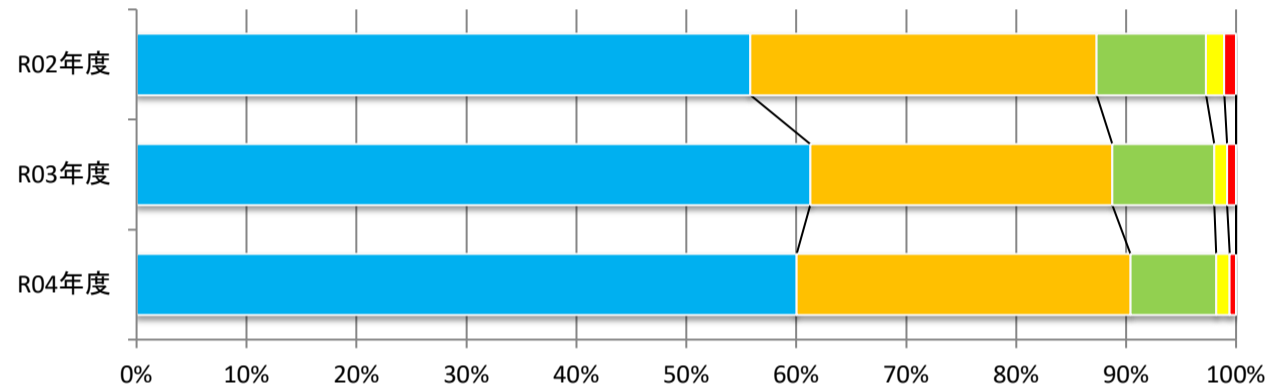
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
40.2	31.7	71.9	—
44.7	31.2	75.9	+ 4.0
45.1	34.2	79.3	+ 3.4

13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



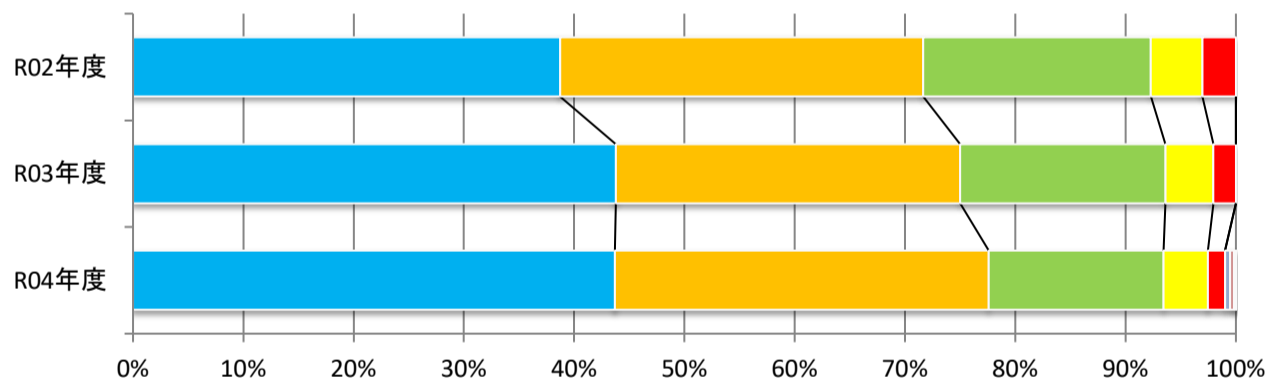
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
51.2	33.1	84.3	—
56.2	29.6	85.8	+ 1.5
55.4	32.1	87.6	+ 1.8

14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか



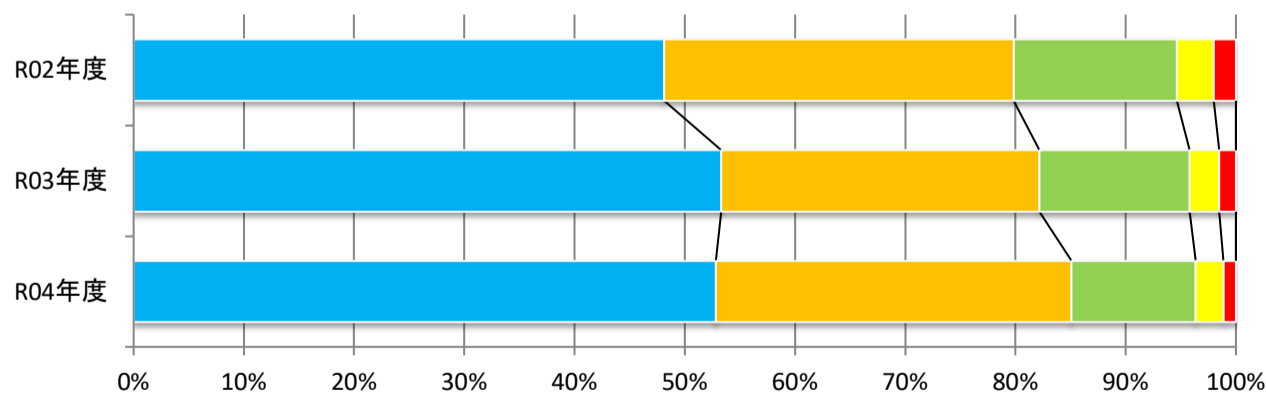
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
55.8	31.5	87.3	—
61.3	27.5	88.7	+ 1.4
60.0	30.4	90.4	+ 1.7

15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.7	32.9	71.7	—
43.8	31.2	75.0	+ 3.3
44.1	34.2	78.4	+ 3.4

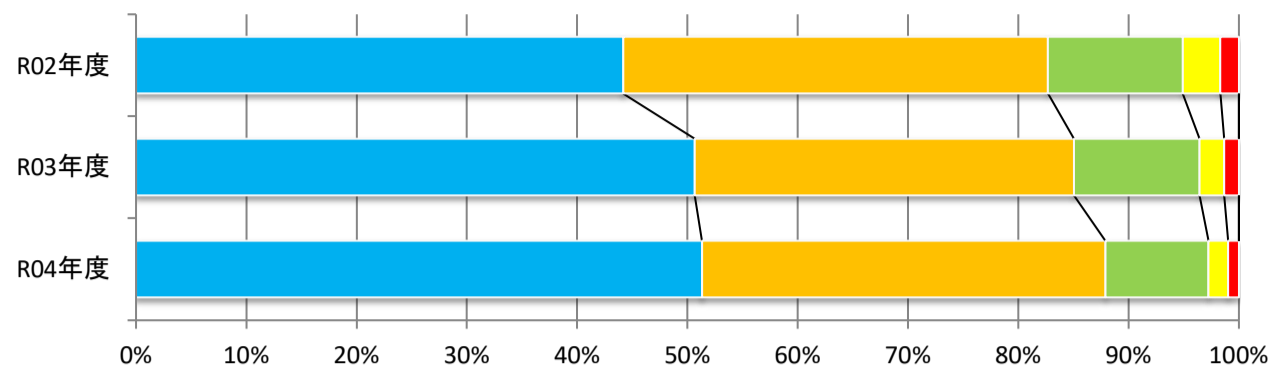
「計」(質問項目 8 ~ 15)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
48.1	31.7	79.8	—
53.3	28.9	82.2	+ 2.3
52.8	32.3	85.1	+ 2.9

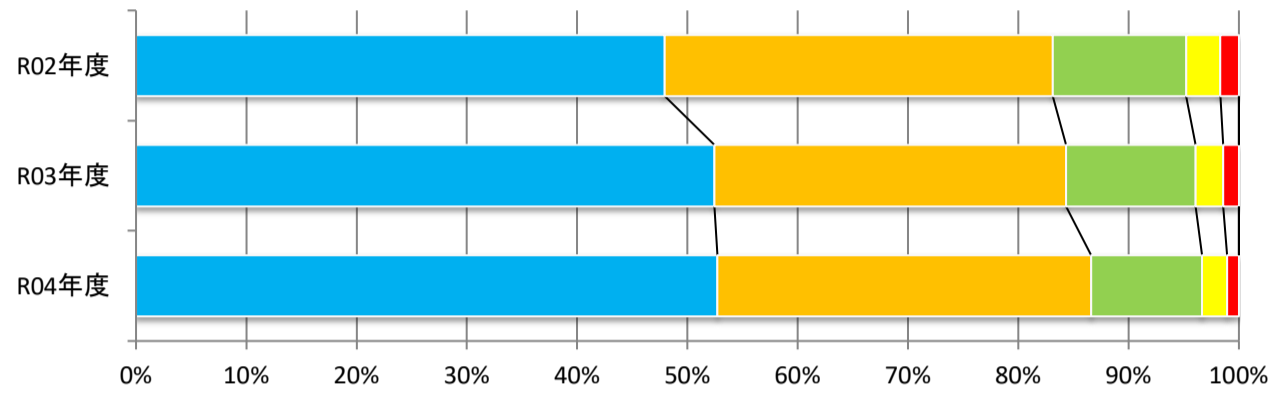
IV 総合評価

16. この授業は総合的に満足できたと思うか。



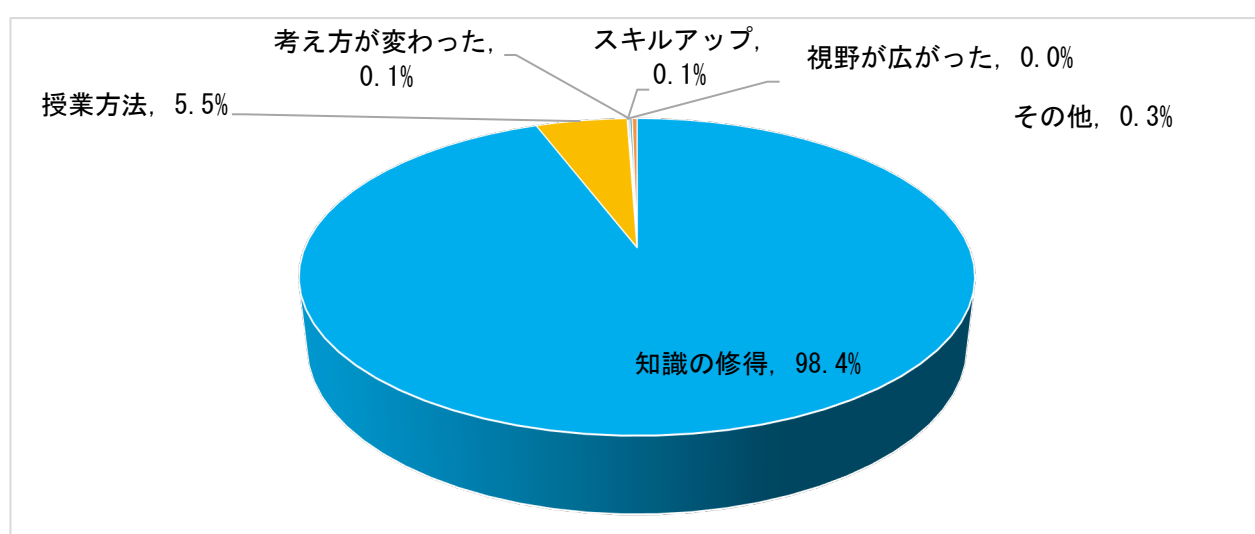
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
44.2	38.5	82.7	—
50.7	34.4	85.1	+ 2.4
51.3	36.6	87.9	+ 2.9

全質問項目の平均



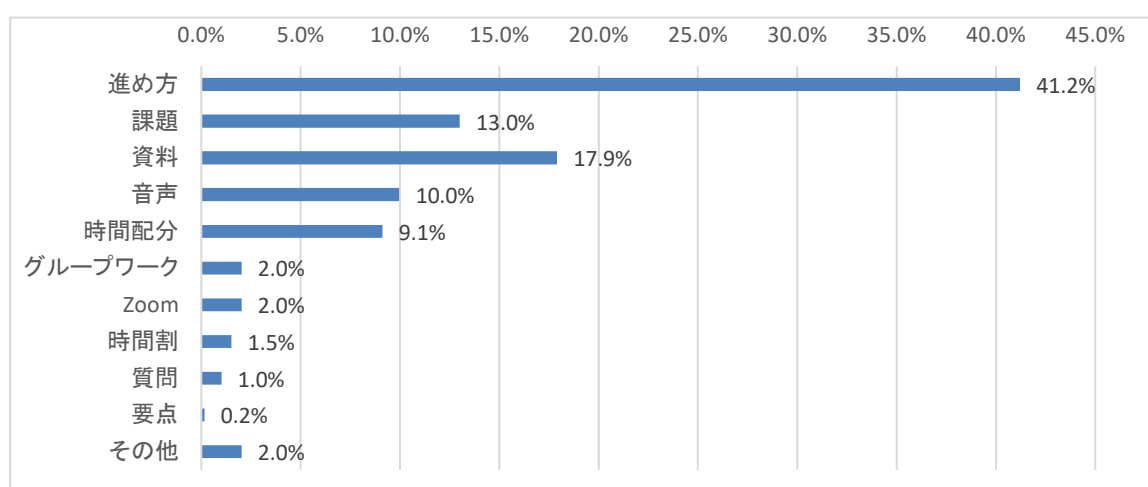
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
47.9	35.2	83.1	—
52.5	31.9	84.4	+ 1.2
52.7	33.9	86.6	+ 2.3

◆ VI この授業を受けて良かったと思うことがありますか。 【総数 2,016】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	看護学概論	60	看護とは何かや看護の本質などを学ぶことができ看護の基盤を学習することができました。見学実習を行い学習内容の理解がより深まりました。 自分の看護に対する概念が変わった。看護とは心身に不調を感じている人のみを対象であると思っていたが、健康な人も対象に含まれ健康管理を行って健康の保持増進に努めることも看護であると学んだ。
	ボランティア論	59	ボランティア活動について改めて考える機会をもらったのはこの科目だったので、とても良かったと思います。 授業を受ける前はボランティアについて考える機会がなかったが、自分がイメージしていたよりも奥深い世界が広がっているということを知ることができて良かったです。
	キャリア教育Ⅰ	58	レポートを書くための文章力がついたと感じました。また、基本的な計算も学ぶことができたので、看護師として働く以外の場面でも役に立つと思えよかったですと感じました。 グループワークを通して、自分の意見を伝えたり他者の意見を聞いたりして授業の理解を深められたこと。
	機能看護学Ⅰ	55	グループワークを通して自分で考えた意見をグループメンバーに共有してみんなの意見を一つにまとめていくことの大切さを理解することができました。
医療栄養学科	微生物学	14	コロナ禍の微生物学でウイルスや免疫について学ぶことで、他の大学の友達よりも知識が多くなったことに気付きました。
	医療安全管理学	13	実際の医療現場における医療事故や間違いを知ることができ、またそれらへの考え方など知ることができてよかったです。 医療以外でも起こりやすい危険な状況を知る事が出来ました。
	栄養教育論Ⅰ	12	栄養教育の基本的なことについて学ぶことが出来た。栄養教育の内容、進め方、方法について知ることが出来た。 パワーポイントに歯車の絵などをいれてくれて分かりやすかった。国試のような問題をつかってくれたので、より理解できた。
医療情報学科	キャリア教育Ⅰ	7	計算問題など高校時代からやり方を忘れてしまっていたところがあったのでこの講義をうけて思い出せた部分があったので良かった。 これから役立つ、計算や文章の読み書きにおいての考え方を身に付けることができたので良かった。
	IT入門Ⅰ	7	難しいITパスポート試験の内容をととてもわかりやすく噛み砕いて説明して下さった。動画の中のパワーポイントの資料を毎週レポートに文字起こしするのは本当に大変だったが、苦労した事で、なんだか身になったような気がした。 高校では学ばなかった分野で新しいことが知れたので良かった。
	ボランティア論	7	ボランティアに関してはもちろん、そこから派生して人生における新しい考え方も身に付けることができたので良かった。
専攻産科学	助産学研究	2	先生方の着眼点やアドバイスなどとても参考になりましたし、グループでディスカッションした点についても他の方の研究内容を一緒に学んだりできて良かったです。スケジュール的には大変でしたが最後にとってもやりがいある取り組みができたと思います。

◆Ⅶ この授業の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。【総数592】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	ボランティア論	27	イヤホンをして音量をほぼ最大にすれば対処はできることにはできるんですけど少し先生の声が聞き取りづらかったです。 可能であれば、テスト用紙をExcelではなくWordに変更してほしい。
	基礎看護援助方法Ⅰ	19	リアルタイムの時に、板書を写す間もなく次に飛ばされてしまい、本当の答えが分からないまま終わってしまったので改善して欲しいです。 実習室では場所によっては声が聞こえないところもあったので改善してほしい。奥の方のベッドではほとんど声が聞こえない時がありました。
	機能看護学Ⅰ	18	グループワークの時間が少し長く、発表前の準備の時間が短かった グループワーク時の教員からの質問が長く、グループワークが滞ることが多かったので改善してほしい。
	体の仕組みと働きⅠ	18	限定配信だと、学内で受ける際には、動画が重くなったりする。 授業の内容が充実していることから授業時間を過ぎてしまうことがあったため、少し改善いただけるとありがたいです。
医療栄養学科	食品衛生学	5	授業の復習をするにあたり、書き込みなどをするために資料を印刷したいので、資料の配布をして頂きたかったです。 講義ワークシートや小テストのやり方がよくわからなかった。
	運動栄養学	5	授業時間は長いのにプリントが何も配られないため、ノートを取っていると余裕で3時間以上かかってしまうため、書き込むファイルを添付して欲しい。 一本の動画が長かったので、分けた方が良い。
	臨床薬理学	5	オンデマンド授業の場合、他のすべての授業では事前に先生が作成してくださっているレジュメに沿って講義をしてください。資料を見ながら講義を聞くことができとても分かりやすいです。 1時間30分という授業時間を超える授業回が複数回あったので、授業時間内で授業動画を終わらせてほしかった。
	キャリア教育Ⅰ	4	計算トレーニングはもっと時間を費やした講義を受講したかったです。 理解しているか知識がある前提で説明をされても、僕のような苦手意識がある人だと置いてきぼりです。
医療情報学科	協働実践演習	9	個人ワークを行う時間が多すぎたと思う。せっかく対面で会っているのに、個人ワークの時間があるのはもったいないと感じた。
	臨床医学総論	5	可能であるならば、課題の提出可能期間を今より少し長く取って欲しいです。せめて、17:00締め切りではなく22:00や23:59といった、夜の時間の提出が可能になることを望みます。
	体の仕組みと働きⅠ	4	量が多い上に内容が難しすぎてついていけなかった 宿題が1回開いて閉じると2度と見られなくなってしまう形式なので勉強がしにくい。
	キャリア教育Ⅰ	3	計算の説明のところで進みが早い部分があり、理解できずに終わってしまった時があった。
助産専攻	助産診断・技術学Ⅱ	1	時間の関係上難しいのかもしれないがフリースタイルの演習を前期にやってほしかった。 実習で内診がぶっつけ本番で何もわからなかったので模型で練習してみたかった。

令和4年度 授業評価集計結果(実習・実験科目)

東京医療保健大学 医療保健学部・助産学専攻科

○実習・実験科目数 91科目

○調査対象者数 2,674人(延人数)

○総回答数 1,182件(回答率 44.2%)

◆ 質問項目別集計結果

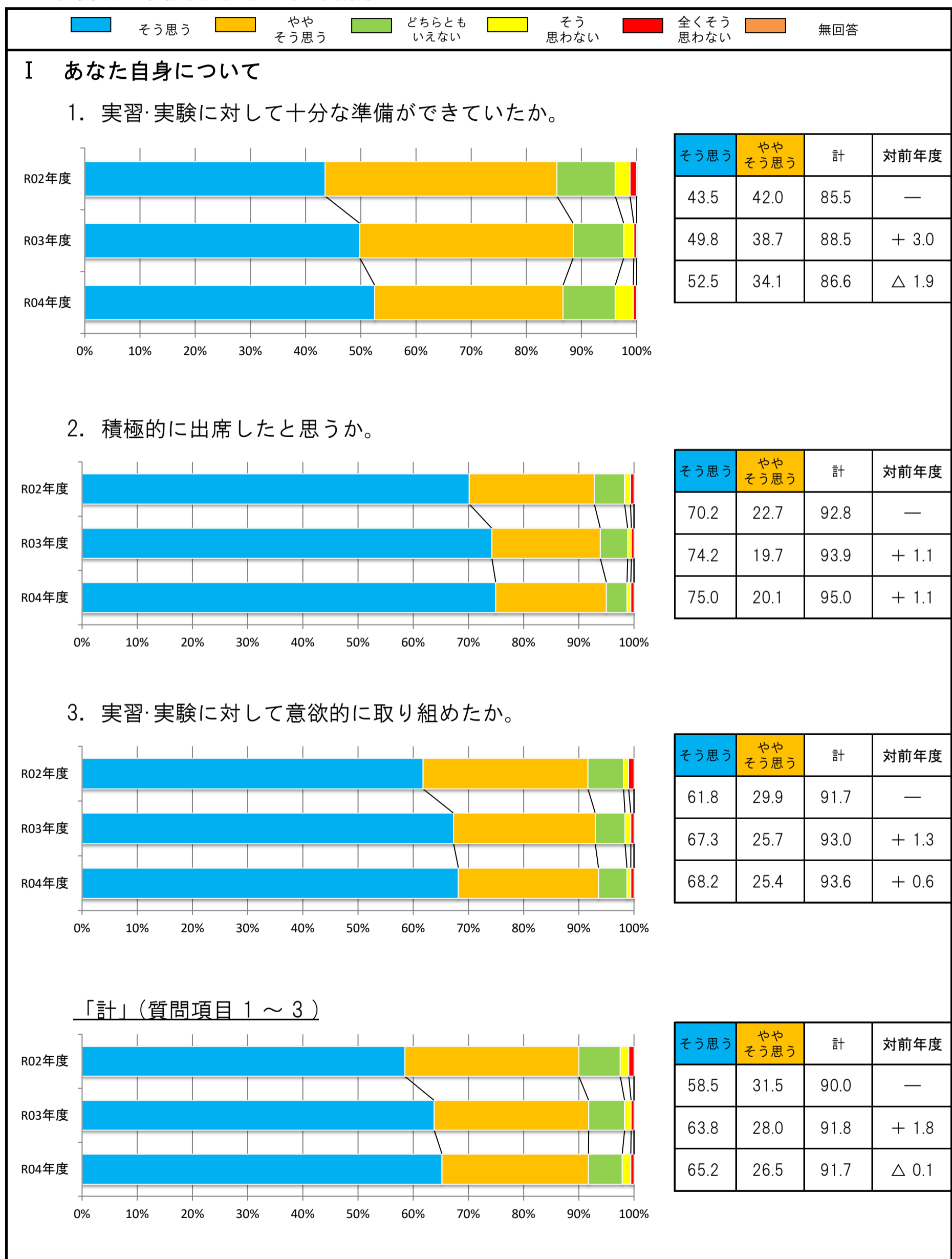
〈上段()は令和2年度アンケート結果〉

質問項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 実習・実験に対して十分な準備ができていたか。	(49.8) 52.5	(38.7) 34.1	(9.2) 9.5	(1.8) 3.3	(0.5) 0.6	0.0 0.0	(100) 100
2. 積極的に出席したと思うか。	(74.2) 75.0	(19.7) 20.1	(4.9) 3.7	(0.7) 0.7	(0.5) 0.6	0.0 0.0	(100) 100
3. 実習・実験に対して意欲的に取り組めたか。	(67.3) 68.2	(25.7) 25.4	(5.4) 5.2	(1.0) 0.7	(0.6) 0.6	0.0 0.0	(100) 100
計	(63.8) 65.2	(28.0) 26.5	(6.5) 6.1	(1.2) 1.6	(0.5) 0.6	0.0 0.0	(100) 100
II 実習・実験内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。	(51.6) 51.4	(37.6) 39.3	(8.4) 7.7	(1.6) 1.0	(0.8) 0.6	0.0 0.0	(100) 100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(60.1) 62.7	(31.5) 30.6	(6.5) 5.7	(1.2) 0.7	(0.7) 0.3	0.0 0.0	(100) 100
6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(60.0) 61.9	(29.2) 27.9	(8.4) 8.3	(1.5) 1.2	(0.9) 0.7	0.0 0.0	(100) 100
7. この実習・実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(65.6) 65.2	(25.9) 28.0	(6.4) 5.8	(1.4) 0.6	(0.8) 0.3	0.0 0.0	(100) 100
計	(59.3) 60.3	(31.1) 31.5	(7.4) 6.9	(1.4) 0.9	(0.8) 0.5	0.0 0.0	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(48.0) 50.9	(27.9) 29.5	(19.4) 16.0	(3.2) 1.9	(1.5) 1.6	0.0 0.0	(100) 100
9. 学習しやすい実習・実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(60.5) 62.9	(28.4) 28.6	(8.9) 6.8	(1.3) 1.1	(0.8) 0.7	0.0 0.0	(100) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(63.6) 62.0	(26.2) 27.7	(7.3) 7.7	(1.8) 1.8	(1.0) 0.8	0.0 0.0	(100) 100
11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(58.7) 59.0	(27.2) 29.4	(10.2) 8.5	(2.8) 2.2	(1.1) 0.9	0.0 0.0	(100) 100
12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。	(62.7) 63.5	(25.5) 26.4	(8.5) 7.5	(2.3) 1.7	(1.0) 0.8	0.0 0.0	(100) 100
13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(66.9) 65.7	(24.6) 26.3	(6.9) 6.6	(0.7) 0.8	(0.8) 0.6	0.0 0.0	(100) 100
14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習・実験を行ったと思うか。	(56.7) 58.6	(28.2) 28.6	(11.1) 9.1	(2.3) 2.6	(1.7) 1.0	0.0 0.0	(100) 100
計	(59.6) 60.4	(26.9) 28.1	(10.3) 8.9	(2.1) 1.7	(1.1) 0.9	0.0 0.0	(100) 100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
15. この実習・実験は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(42.1) 39.7	(23.2) 19.5	(18.1) 18.2	(9.0) 9.9	(7.7) 12.7	0.0 0.0	(100) 100
16. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。	(57.4) 60.7	(30.1) 28.6	(9.4) 8.0	(1.8) 2.0	(1.4) 0.6	0.0 0.0	(100) 100
計	(49.7) 50.2	(26.7) 24.1	(13.7) 13.1	(5.4) 6.0	(4.5) 6.6	0.0 0.0	(100) 100
全質問項目の平均	(58.1) 59.0	(28.1) 27.5	(9.5) 8.7	(2.5) 2.5	(1.7) 2.2	0.0 0.0	(100) 100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（実習・実験科目）

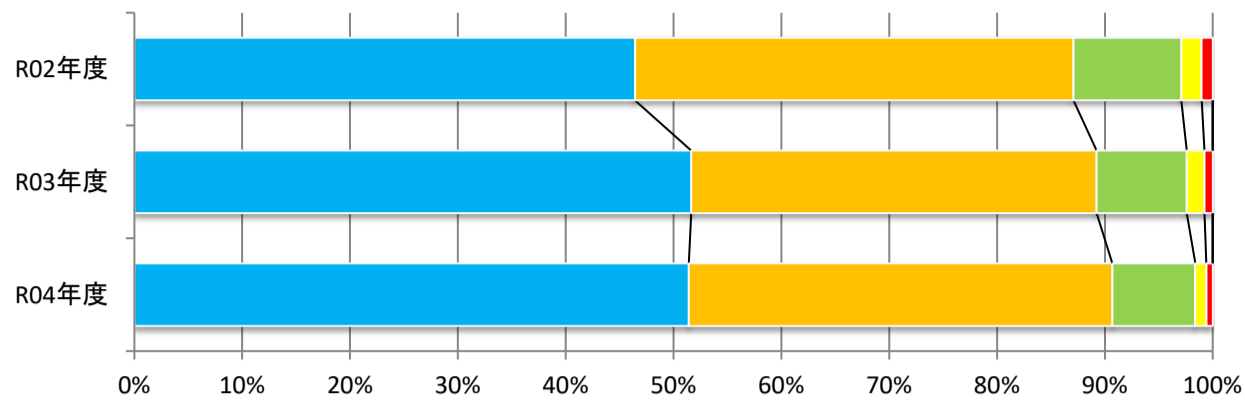
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全科目数	51科目	109科目	91科目
調査対象者数	3,230人	3,071人	2,674人
総回答数（回答率）	2,061件(63.8%)	1,921件(62.6%)	1,182件(44.2%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



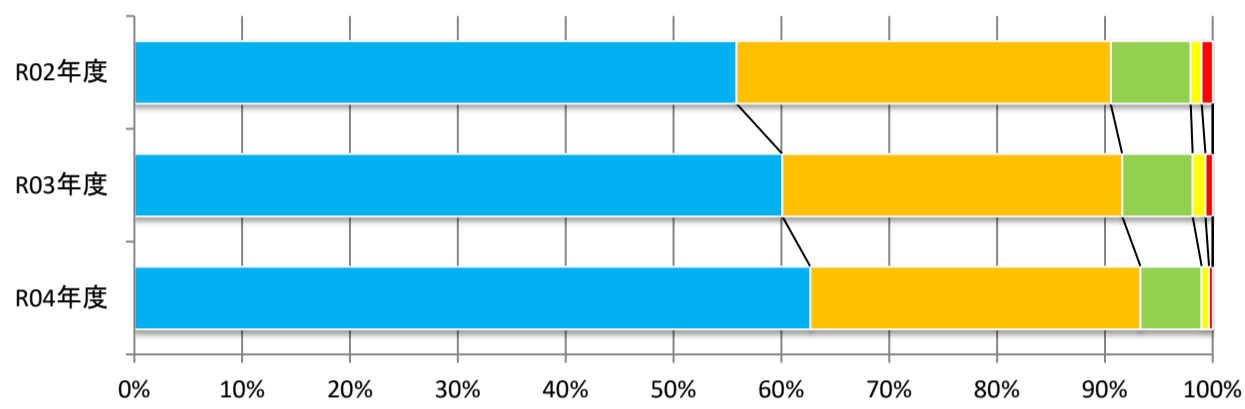
II 実習・実験内容について

4. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。



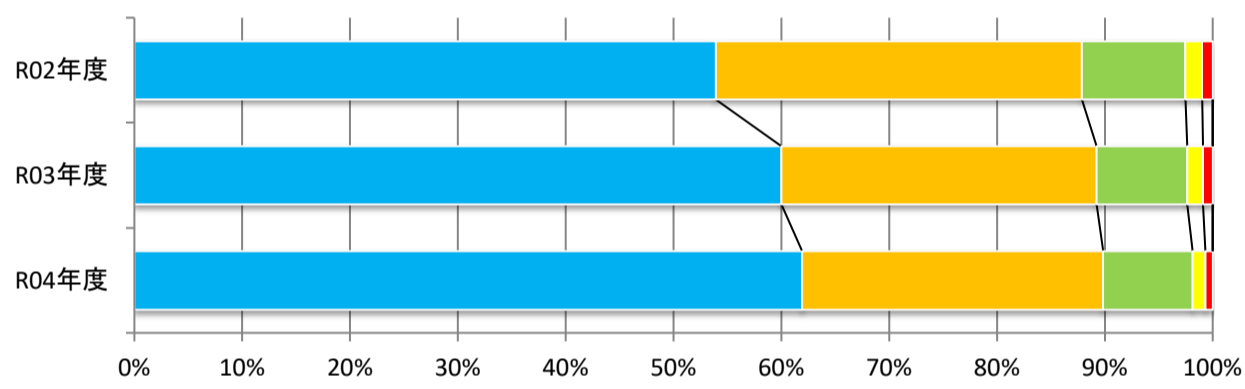
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
46.4	40.7	87.1	—
51.6	37.6	89.2	+ 2.1
51.4	39.3	90.7	+ 1.5

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



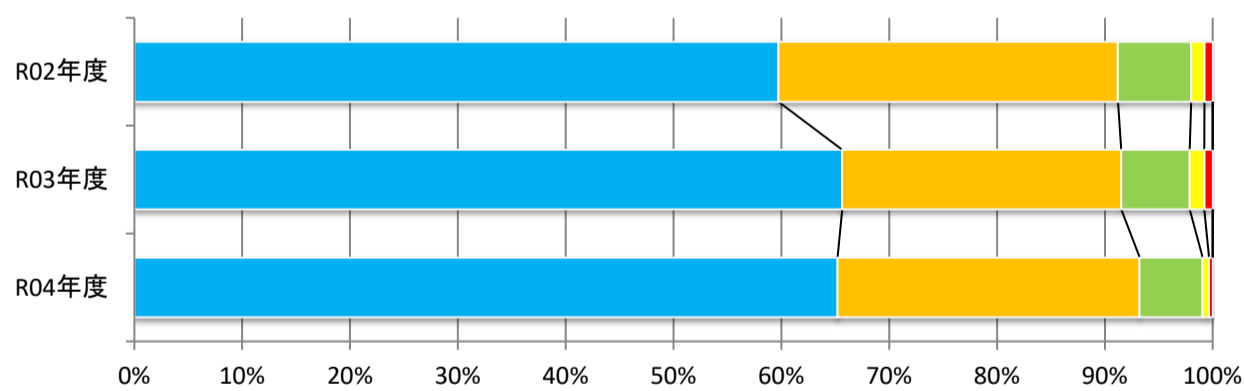
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
55.8	34.7	90.5	—
60.1	31.5	91.6	+ 1.1
62.7	30.6	93.3	+ 1.7

6. 自分にとって新しい考え方や発達が得られたと思うか。



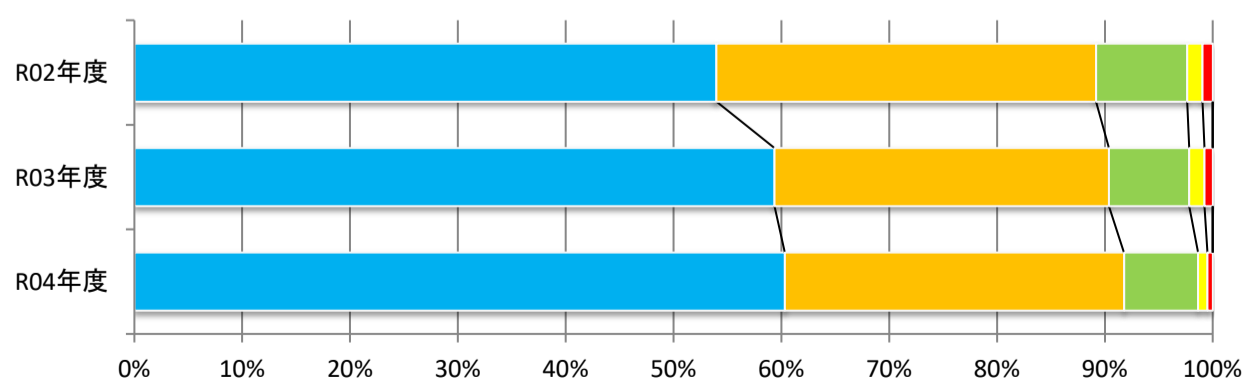
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
53.9	34.0	87.9	—
60.0	29.2	89.2	+ 1.4
61.9	27.9	89.8	+ 0.6

7. この実習・実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
59.7	31.5	91.2	—
65.6	25.9	91.5	+ 0.3
65.2	28.0	93.2	+ 1.7

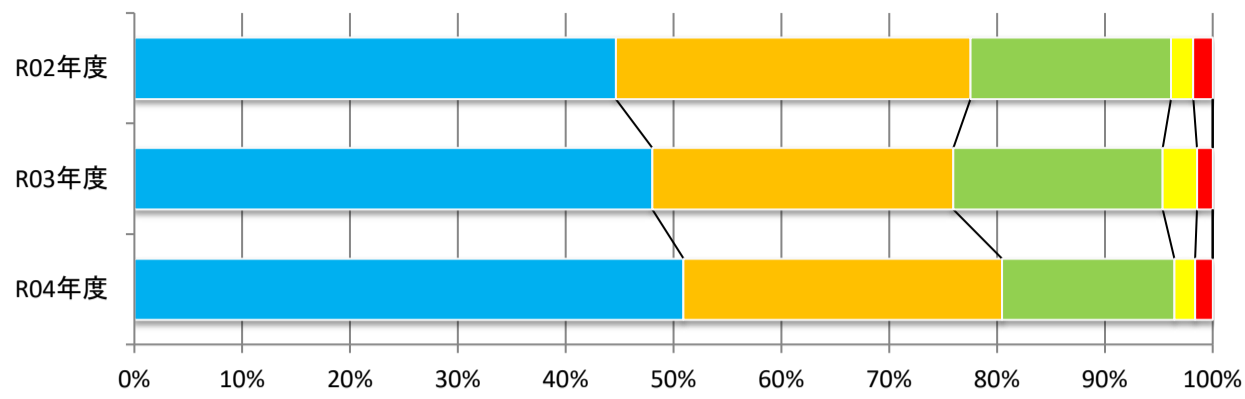
「計」(質問項目 4 ~ 7)



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
54.0	35.2	89.2	—
59.3	31.1	90.4	+ 1.2
60.3	31.5	91.8	+ 1.4

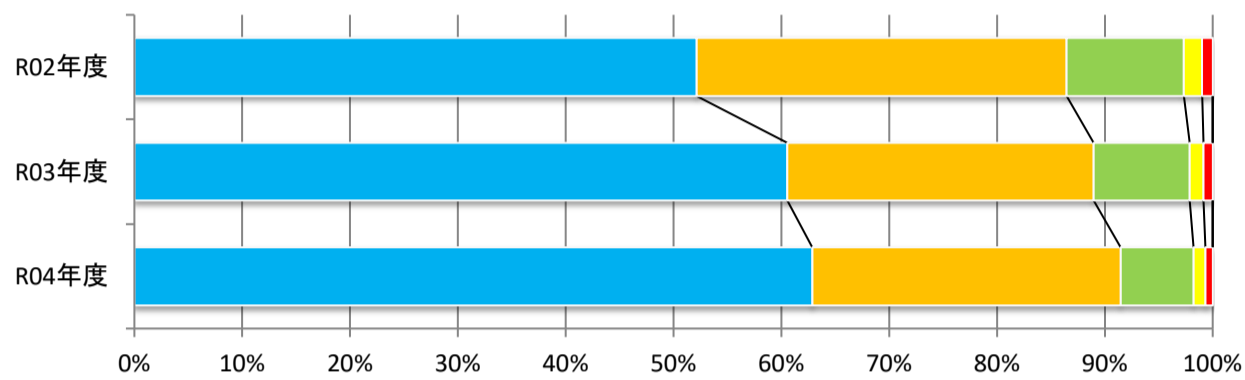
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



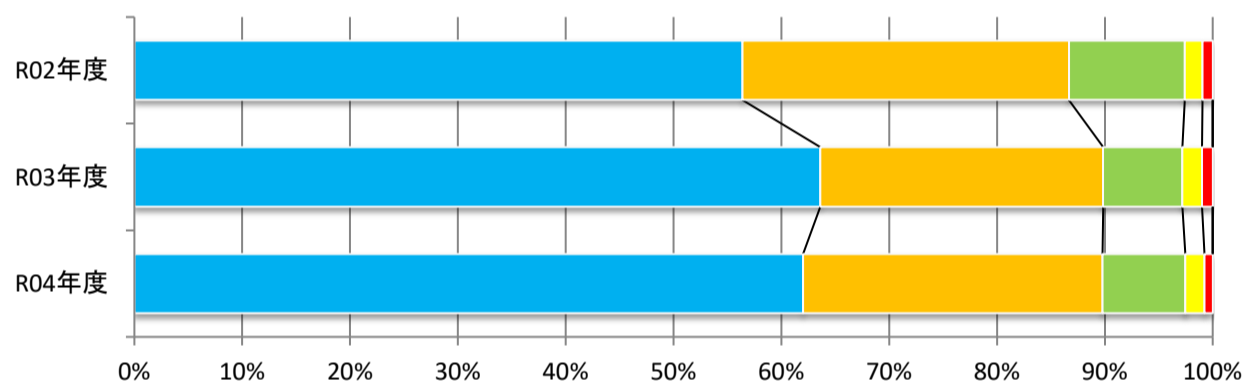
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
44.6	32.9	77.5	—
48.0	27.9	76.0	△ 1.6
50.9	29.5	80.5	+ 4.5

9. 学習しやすい実習・実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。



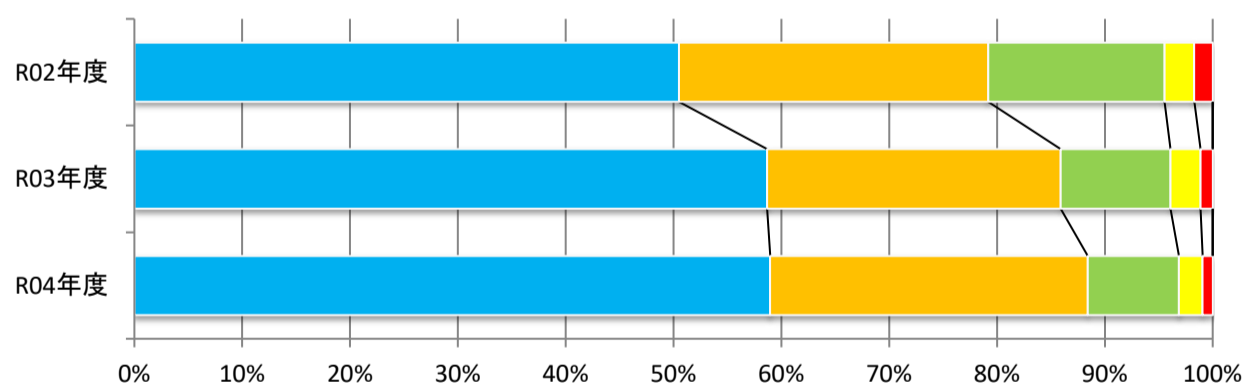
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
52.2	34.3	86.5	—
60.5	28.4	89.0	+ 2.5
62.9	28.6	91.5	+ 2.5

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



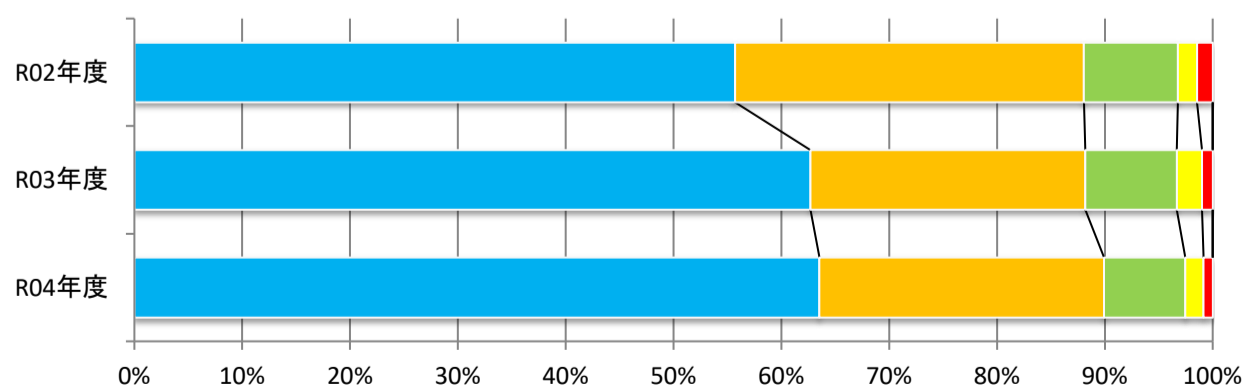
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
56.4	30.3	86.7	—
63.6	26.2	89.8	+ 3.2
62.0	27.7	89.8	△ 0.1

11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



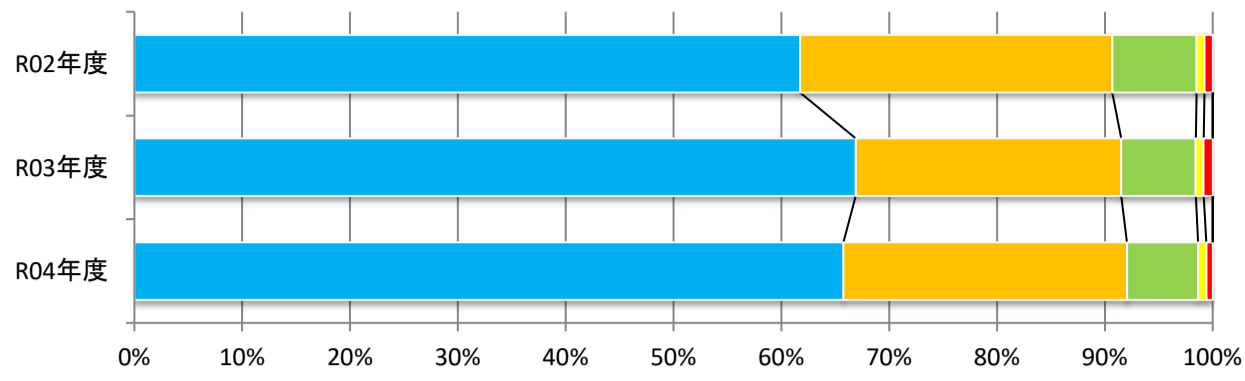
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
50.5	28.7	79.2	—
58.7	27.2	85.9	+ 6.7
59.0	29.4	88.4	+ 2.5

12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。



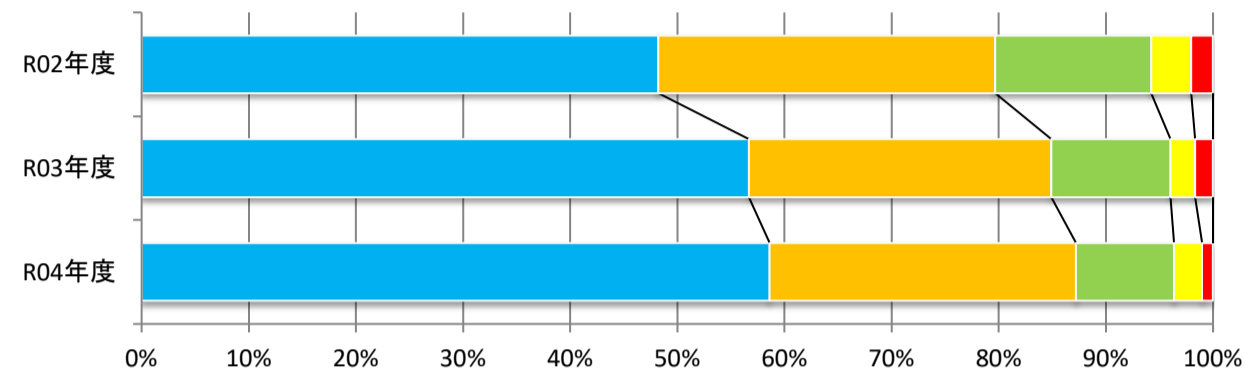
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
55.7	32.4	88.1	—
62.7	25.5	88.2	+ 0.1
63.5	26.4	89.9	+ 1.7

13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。



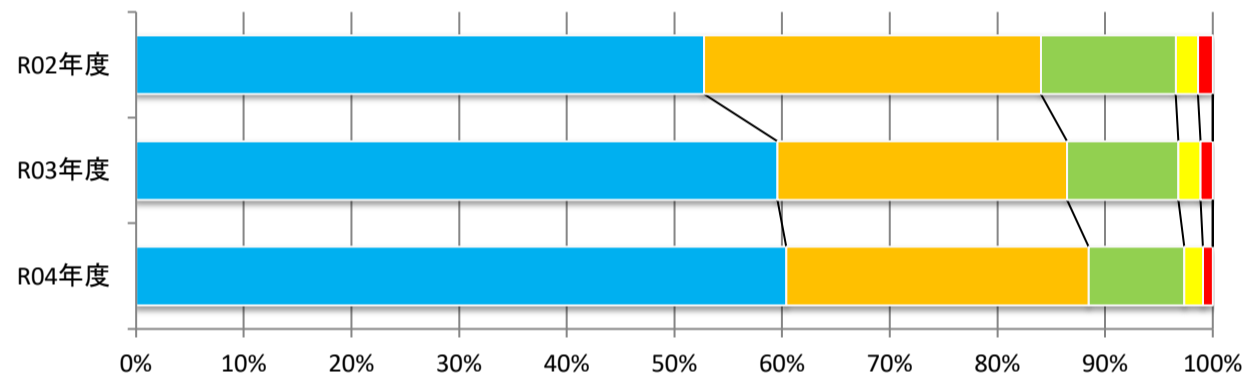
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
61.7	29.0	90.7	—
66.9	24.6	91.5	+ 0.8
65.7	26.3	92.0	+ 0.5

14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習・実験を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
48.2	31.4	79.7	—
56.7	28.2	84.9	+ 5.2
58.6	28.6	87.2	+ 2.3

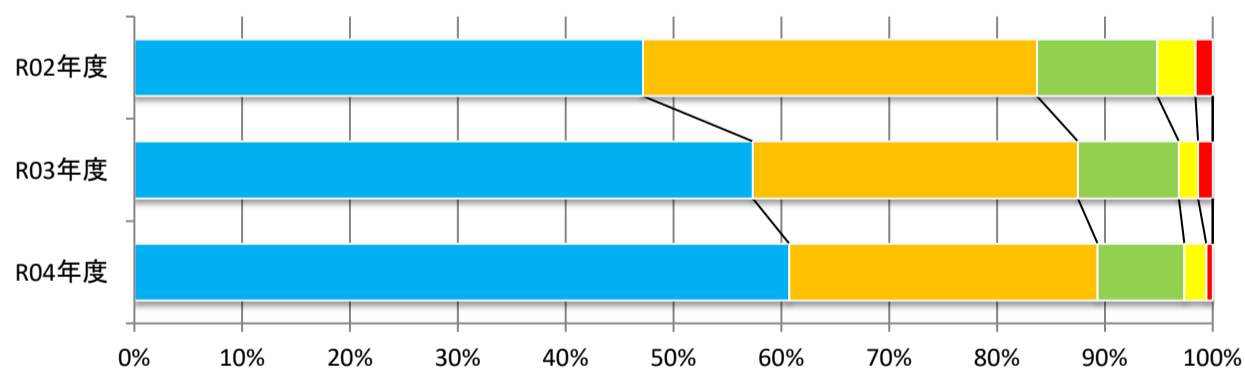
「計」(質問項目 8 ~ 14)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
52.8	31.3	84.0	—
59.6	26.9	86.5	+ 2.4
60.4	28.1	88.5	+ 2.0

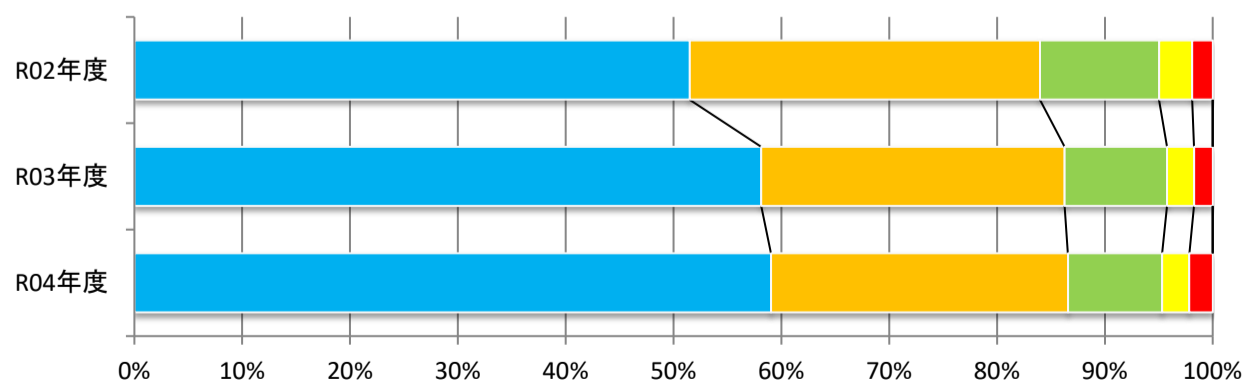
IV 総合評価

15. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。



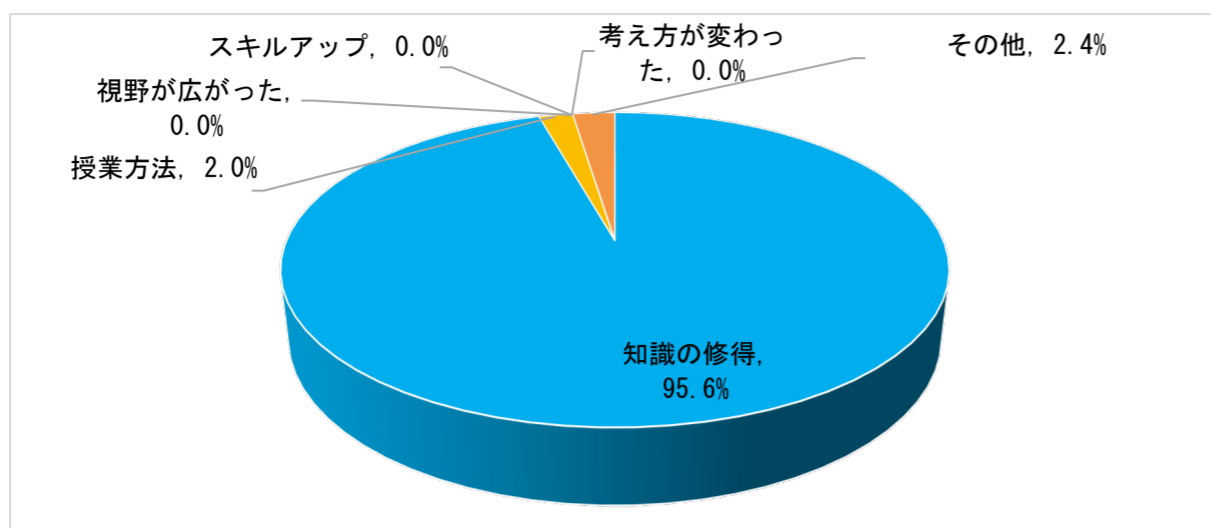
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
47.2	36.5	83.7	—
57.4	30.1	87.5	+ 3.8
60.7	28.6	89.3	+ 1.8

全質問項目の平均



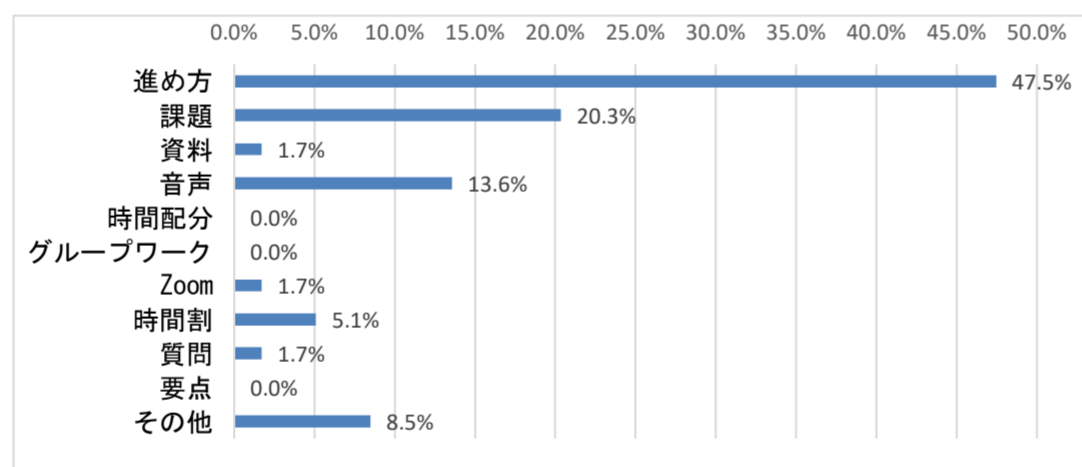
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
51.5	32.5	84.0	—
58.1	28.1	86.3	+ 2.3
59.0	27.5	86.6	+ 0.3

◆ VI この実習・実験を受けて良かったと思うことがありますか。 【総数 205】



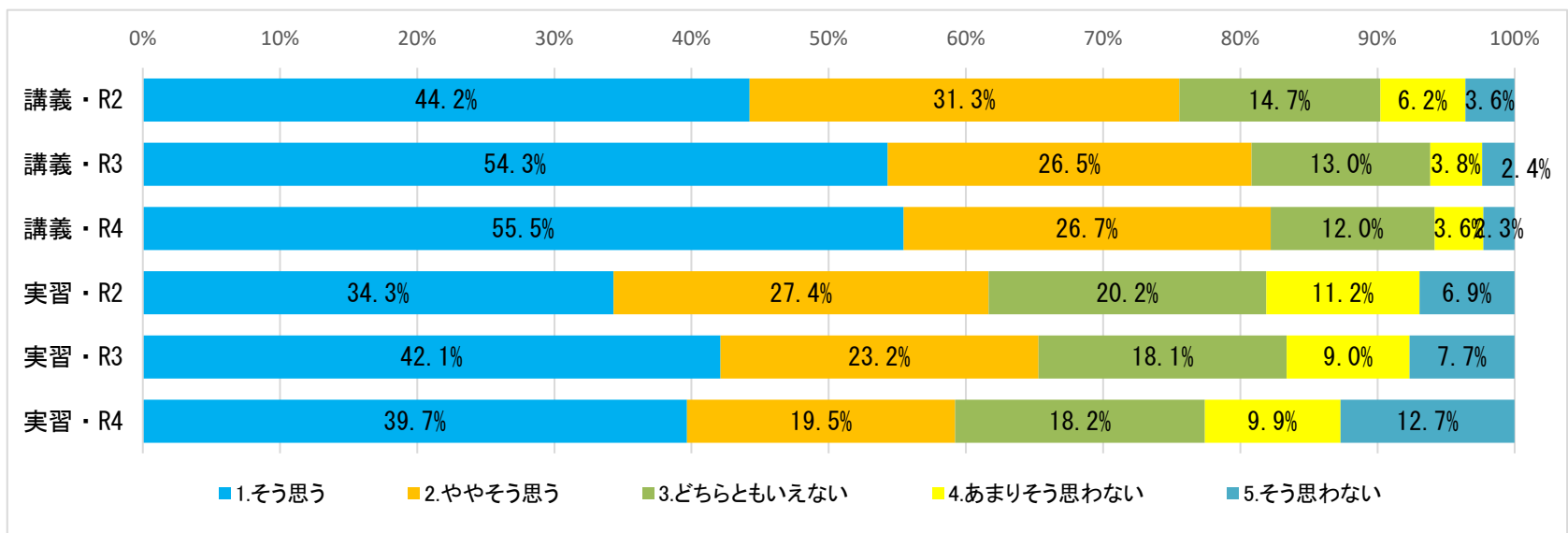
学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	基礎看護援助実習 I	24	<p>実際の現場で働いている看護師に付き添って患者の容態を見ることで、看護の在り方について学ぶことができた。また、基礎看護援助方法で得た知識や技術を用いて、患者に実施することで手技の不足点や改善点などを得られたと思う。</p> <p>基礎看護援助方法IIと往還型な学習で自分の改善点を見つけながら知識を身につけられた点。実習において必要な技能や知識を身につけることができた点。</p> <p>実際に講義での学びを現場で実行することによって、新しい発見や今後の自分自身の学習方法を見直すきっかけになりました。</p>
	スポーツ実習	19	<p>挨拶やちょっとした会話などを交わせる友人が増えたことです。スポーツを通して話す機会を得て、沢山の学生と話すことができたので、コミュニケーション能力の向上にもつながったのではないかと考えています。</p> <p>様々なスポーツを短期間で行うことができて良かったです。久しぶりにスポーツをする時間をとることができました。</p>
医療栄養学科	応用栄養学実習 I	5	<p>講義で学んだ内容を活用して実習を行うことが出来た。献立作成の基本について改めて確認することが出来た。</p> <p>講義で習った内容も実習をすることで理解が深まった。哺乳瓶などは実際に触ったことがほとんどなかったのが勉強になった。</p>
	生化学実験 I	5	<p>自分で解説を書くことで、この実験がどのようなことを表しているのかわかることができるのが良かったです。</p> <p>難しい実験でしたが先生が優しく教えてくださったので頑張れました。</p>
	臨床栄養学実習 II	3	<p>班で協力して献立を作成したり調理をしたりしたことで、経験を積むことができたことと共に交友関係を広げることができた。</p>
報医療情報	情報基礎実験 I	2	<p>データベース演習で学んだことを実際に行うことによって身につけることができたと思う。</p> <p>ネットワークの基本的な構築を体験することができた。</p>

◆ VII この実習・実験の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。 【総数 59】

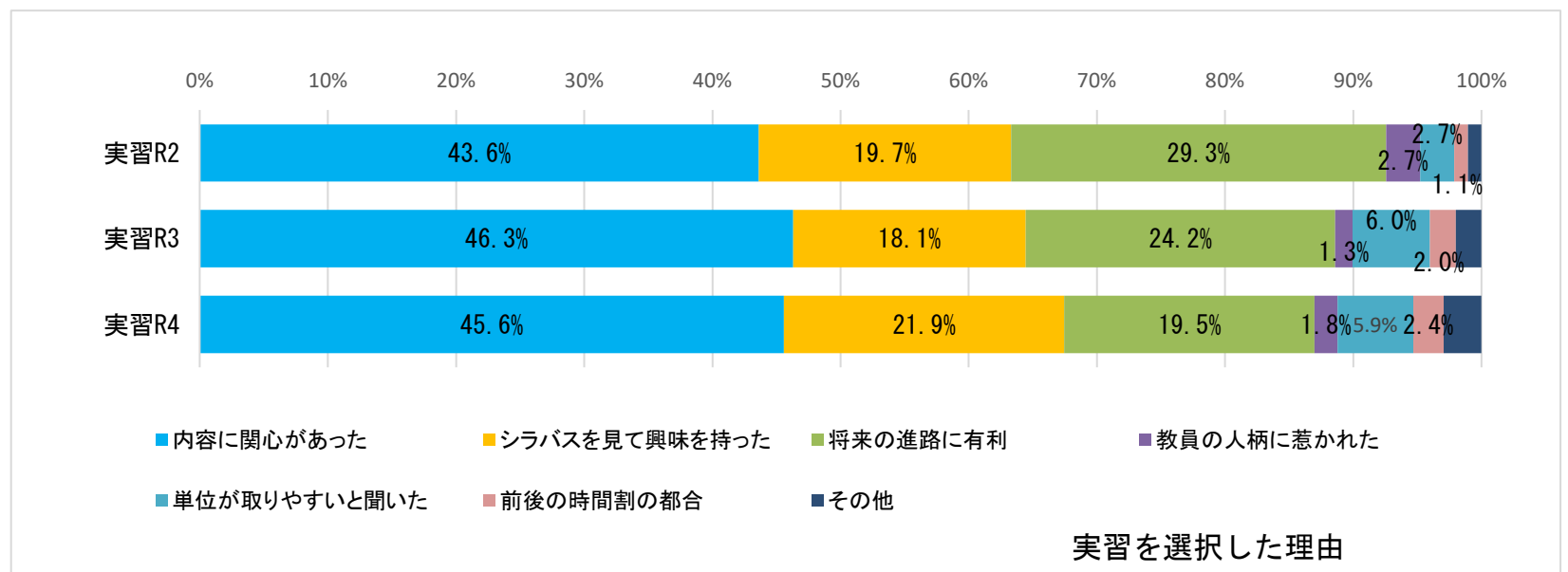
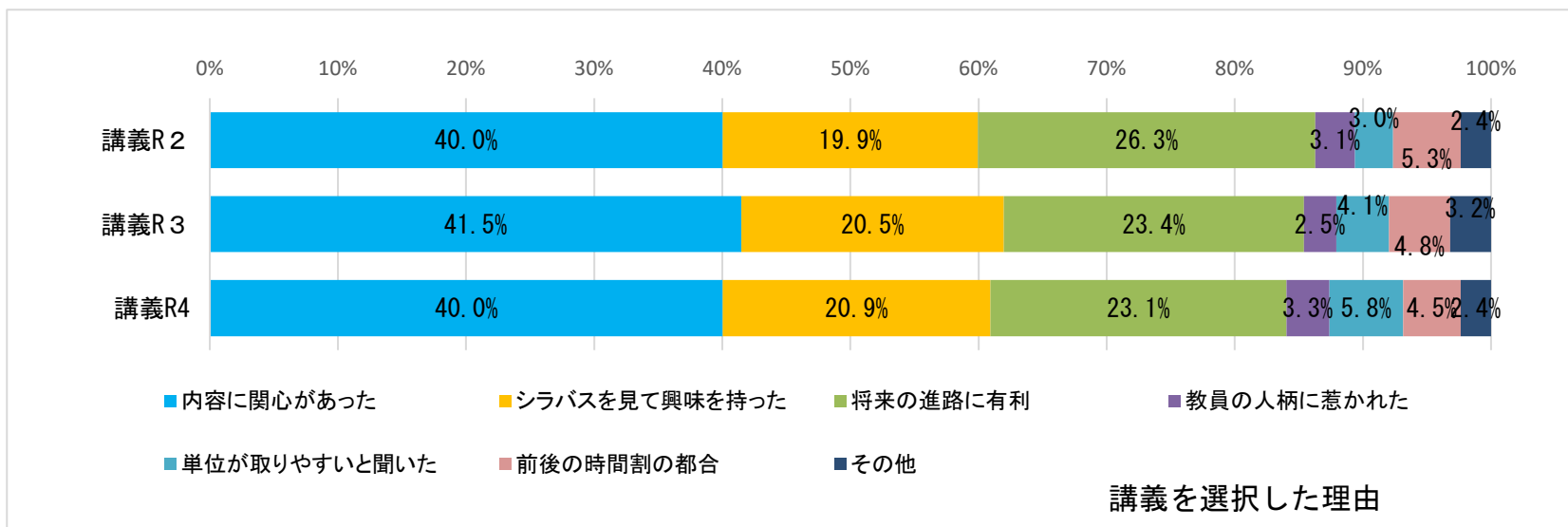


学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	スポーツ実習	5	<p>学習するにあたって、AI音声はあまり適していないように感じました。理解のしやすさは人それぞれなので、あくまで自分個人の意見ですが、AIの機械的な話し方が理解しにくいと感じました。</p>
	基礎看護援助実習 I	4	<p>AクラスとBクラスの時間を後期では入れ替えてほしかった。</p> <p>担当教員によって記録の書き方や評価基準が異なった点。</p>
	老年・在宅看護学実習	4	<p>スケジュールと開始時間を前もって教えて欲しい。とくにオリエンテーションの時間が出るのが遅かった。</p>
医療栄養学科	臨床栄養学実習 II	5	<p>献立やレジュメの添削が終わった後のメールがいつ来るかと焦ることが多く、確認が遅くなってしまったこともあったため、そこが改善できると良いと感じました。</p>
	公衆栄養学実習	3	<p>後ろの人達にも声が届くようにして欲しい。</p> <p>後ろの方の席の人たちは、質問がしにくかったと感じた。</p>
	解剖生理学実習	3	<p>出席確認の小テストのようなものの答えの解説が欲しかった。配布プリントには解答への導き方が書いてあったが全く分からず、結局、私の解答のどこが間違っていたのかが授業だけでは解決できなかった。</p>
報医療情報		0	
助産科学専攻	助産学実習 II	1	<p>助産学診断・技術学の授業の中で、グループワークで初期診断やバルトグラム、助産診断・助産計画などを作成して発表したが、その場の中で一部の考え方に対する意見のみで記載の仕方や全体的なアセスメント方法についての指導や改善方法についての意見をいただくことができなかったため、書き方や考え方が適切であるのかわからないまま実習が始まってしまい、実習開始時にどのように記載すればよいのかわからない状態のままであったため、事前にこれらのことに対する指導をしていただきたかったと感じた。</p>

この授業(実習・実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。



この選択科目を履修した理由は何か



令和4年度 東が丘看護学部および東が丘・立川看護学部臨床看護学コース の授業評価結果に対する考察

副学長・東が丘看護学部長
山西 文子

1. 授業評価の結果について

- 授業評価の対象になった科目数は、東が丘看護学部及び臨床看護学コース 128 科目で、授業評価に係る質問に回答した学生数は、延べ 10,046 人中の総回答数 5,749 人（回答率:57.2%）であった。修了要件の単位数が 129 単位から 124 単位に減った学年が 1~2 学年であったこと、回答率は前年と比し 14 ポイント下がっているが、コロナ禍にあって全員の授業評価が Web になったこと、学生の周知が不足気味で、比較的低くなったと考えられます。

自由記述の内容も含めて授業評価の結果を各教員に配布し、導入可能な科目に於いてはコロナ禍 3 年目で、臨地、オンラインに関わらず、学生のニーズに併せ、リアクションシートの活用、ルーブリック評価の活用による学生へのフィードバックを重ね丁寧に実施してきています。また全科目の 80% 以上にアクティブ・ラーニングによる方法導入の実施率を看護学領域毎に定めた年度の目標値は達成、実施しています。より学生の学びやすさ、満足度を上げるための追及・工夫の必要性を教員が認識し、努力をしている教員が多くなっております。ICT 活用については相手の反応を確認しながら展開可能になるように領域教員間で繰り返し試行し、工夫を重ねながら授業のあり方の改善に鋭意取り組んできた結果と前向きに受け止めます。具体的にはズームによる相互やり取り・議論を行う努力もしている。一部授業の資料が少ないことに対する学生の不評もありますが、次年度に向けて検討をし、謙虚に教員一同で努力して参りたいと思っております。

- 学生自身の授業態度（事前の十分な準備、積極的な出席、意欲的取り組み）については、3 つの質問項目平均は 89.6% の学生が肯定的な回答（「そう思う」及び「ややそう思う」）をしています。内訳は積極的な出席は 92.2% ですが、事前の十分な準備の質問項目は 86.5% と前年より 2.1 ポイント高くなっています。昨年と比較すると、否定的な回答（「どちらともいえない」を含む）をした学生は約 10.5% であり、前年度より消極的な回答は低くなっています。さらに「授業に対して積極的に取り組んだ」のは、前年と変わらず 90.3% と高い結果となっています。コロナ禍で ICT 活用の授業形態も影響しているかも知れません。約 10% の否定的な意見の学生のモチベーション、授業前の十分な準備をいかに高めていくかが今後の課題と受け止めています。

本学部学生は、全体的にコロナ禍でアルバイト時間が短くなり生活費の困窮による支援を望んでいる学生が前々年度から三割近く出ていました。コロナ禍においては、アルバイト時間が短くなり、生活時間の調査は実施してありませんが、学生自身の学修に対する姿勢が向上している結果から、学修に時間を当てた可能性があります。授業に対する肯定的評価がさらに前年度に比し 12.7 ポイント高く評価されました。意欲的に取り組むことができたという事です。この結果に満足せず、更に指導・支援を検討していく必要があると考えており

ます。

- 授業内容(4項目)に関する評価については、89.8%の学生が肯定的な回答をしています。その内容の内訳は、「授業の内容をよく理解できたか」「基本的な専門知識が得られたか」「自分にとって新しい考え方や発想が得られたか」「発展的な学びにつながる内容であったか」の質問項目です。講義・演習科目(107科目)では約8.3%、実習・実験科目(21科目)では2.4%の学生が、「どちらともいえない」と回答し、講義・演習科目の中には「理解できない」「専門知識が得られなかった」とネガティブな回答をした学生は前年同様僅かに存在しています。授業内容については、前年度より減少傾向でありましたが、学部としては新生よりカリキュラム改定もあり、各教員の教育力の向上を図るようFD活動に積極的に参加するよう推進したいと考えております。一方肯定的回答96.8%を100%にすることは学生の事情もあることから教員だけを原因と責められないと考える場合もあります。

- 教員の考え方・姿勢に関する質問項目評価(7項目)に関しては、講義・演習科目において肯定的回答は約86.3%、前年度と特別変わらずやや向上。実習・実験科目では約93.0%の学生が肯定的な回答をしており、前前年度、前年度ほぼ同様である。今回はどの項目もプラス評価となっております。

しかし、「シラバスは学修するうえで役に立ったと思うか」の質問に対する肯定的な回答は、他の質問項目に比べて低く、講義・演習科目(107科目)において78.6%であり、前年度より6ポイント向上しております。実習・実験科目(21科目)においては79.3%となり、前年度より11.1ポイント向上しております。前年度より教員に最初の講義のガイダンス時に必ずシラバスについて説明をし進めていくよう話し合ったことも影響したと思われる。講義・演習は僅かですが向上した可能性があります。現在、シラバスは全科目電子化され学生自身でデスクネットに入り確認するようになっております。自らデータを確認している学生は少なく、かつ学生の事前学習に繋がっている傾向は低いと考えていくべきであり、学生から印刷し配布して欲しいと希望は時々聞いています。授業の開始時にガイダンスを実施する時間にシラバス・詳細な授業計画の印刷したものを配布している科目担当者はおりますが、アンケートにも3割程度の学生が反応しております。

他の項目に関しては、講義・演習科目について80%以上～91%迄の学生が肯定的な評価をしており前年度より向上している結果です。

今後は授業に先立ち全ての学生が目を通し、事前学習、事後学習に「役立つ」シラバスにしていく必要があると考えます。授業の3日前になると学生のパソコンにシラバスの事前学習内容が案内されるようになると素晴らしい。また、チャット機能や手を挙げる機能を使用することなど、途中で質問を確認すること、自由に発言できるような時間を取ること等の工夫が必要と考えます。

- 自由記述に関する結果については、授業に対する肯定的評価は3ポイント向上し377(94.5%)件、授業に対する要望等は前年より3ポイント減り22(5.5%)件、施設・設備等に関する要望等は0件でした。

肯定的評価の例は、「2年生で老年について学ぶことが沢山あると思うので

1年に学んだことを活かせるように頑張りたいと思います」「コビッド19の感染拡大下でどのくらい育児ストレスがあるのか知ることが出来、また自分たちが看護師になってどの様な介入が出来るのか考えることができ、とても良い研究が出来たと思います」「オンライン授業の際は、感染面でも安全ですし、孤立しないためにも group work を取り入れて下さった所や毎回印象に残りやすい講義がとても良かった」「ニュースを見ることや社会問題に対して興味を持つ事の大切さを改めて学び、自分の身近な問題に興味関心を持つ事の大切さを学べました」「マズローの欲求5段階説やヘンダーソンの基本的欲求など学ぶことによって、患者が療養生活をよりよく過ごして貰える配慮が出来るようになると感じました」などであります。

要望等についての例は、「assessment guide について、どのように作成すれば良いのか想像がつかなく苦戦してしまったので、先輩の例などがあるともっと自由に作成できたと感じました」「レジュメの何処が大事なポイントなのかすごく見にくい」「授業資料の配布場所やレポートの提出先を Webclass に統一して欲しい」「パワーポイントで流している画像がだいたい教科書で言う何ページなのか毎度言っていたいただけると良かった」「試験問題が10問と少なく、一問当たりの配点が高くなっていったため、問題数を増やした方が良いと思う」「医療英語の教科書の答えはないのでしょうか」などでした。これらの要望は内容によっては出来るだけ解決の方向に向くようにしたいと考えています。

2. 授業において工夫した点について

- 講義の際に配布する資料については、学生からの要望が毎年繰返し出されていますが、資料は学生の理解を助けるうえでの重要な教材であり、教員の個別対応で徐々に改善でき、年々要望は減少しております。自由記載の中にありました「臨床のことを踏まえて教えて貰えてよかった」「授業のレジュメがどれも全部わかり易く、実習や今後の学習にずっと使えると思いました」とあるように肯定的な評価が増えました。

コロナ禍において自主的に技術の練習を実施したりグループワークの時間が十分に取りにくい状況にあり練習の映像を見直しして改善指摘したりする時間が少ない傾向です。学生のニーズを知って授業資料や映像の確認等の支援がもっと必要だということが学生の評価から受け取れるので、サポート体制を取れるよう検討・工夫していきたいと考えております。

- 「実習・実験」科目に対しては、すべての評価項目の結果が高く出ています。本学部は、基本的には臨床看護学コースの全実習施設の関係者に参加いただき実施してきた「実習施設説明会」や東京医療センターとの間で「よい実習」を目指して進めている「実習連携会議」を通して実習指導者との間で検討してきた成果ではないかと考えています。「実習で目標とする看護師さんに出会えました」との記述は、毎年見られ指導者側の励みになっています。また、コロナ禍であっても、教員と実習指導者との信頼関係が深まっていることから、実習施設に入院中の患者事例を患者さんの許可を得て、情報提供され、かつ学内に実習指導者も来られ直接カンファレンスに参加、指導を行って下さるという非常にリアルな状況での指導が行われたことも評価結果が高く出た原因と

考えられます。

- 本学部のカリキュラムの特徴である、1年次前期 Semester から基礎看護学実習を計画、さらに1～4年次全ての学年に「実習」を計画していることに対して学生から高い評価を得ています。この点に関しては、就職支援委員会を中心となって進めている「卒業生と語る会」「オープンキャンパスでの在校生の説明」においても、卒業生や入学希望者から高く評価されています。実習指導の差が少なくなるように常に臨地実習施設の担当者等と意見交換し教員や実習指導者の指導力アップに繋がる努力も検討しております。

3. 今後の授業への生かし方について

- 授業評価以外の本学部の教育全体に対する指標として「卒業時の看護技術の到達目標の達成レベル」「看護師国家試験の合格率」を目標に掲げております。「卒業時の看護技術到達度」(173項目)に関して、臨床看護学コースとしては、コロナ禍ではあったが目標レベルをほぼ達成しており、講義、演習・実習の連携等が効果的・効率的に進められています。最近就職した3施設の看護部長さんから問題意識が高く、根拠についての的を射た質問をされる卒業生が多いと言われていることも、後輩・教員の励みになっています。

また「看護師国家試験の合格率」(臨床看護学コース：98.1%)に関しては目標の100%を達成することはできませんでしたが、全国看護系大学の平均合格率(95.5%)を上回っており、授業評価結果と合わせて、効果的、効率的な授業の提供ができていると考えています。本学部が目標としている「tomorrow's Nurseの育成」を目指して教職員一同、教育の質の向上にさらに努めてまいります。

- 卒業研究について、本学部では3年次後期からグループによる「英語論文のクリティーク1単位」4年間最後の知識・技術・態度を踏襲する科目である「統合実習」「卒業研究3単位」の指導をゼミ形式で行っております。ここでは看護研究のプロセスを学びます。また必要な研究倫理・倫理申請、利益相反、ガバナンスなどの考え方の基礎を修得します。科学的・論理的思考はもとよりグループダイナミクス、論文の書き方、研究発表の仕方も踏襲され看護職としての基礎的な総合力、キャリア開発能力が身につきます。各領域の教員が全員で係わります。学生は教員の指導の差を指摘することもあります。大学院修士課程の研究指導を視野に入れて、FDマップを作成し、定期的に研修会を持ち、教員の教育・研究に対する指導力向上を身に付けていくように尽力いたしております。

- 学習環境とくに講義室の整備に対して、コロナ禍で学年を2グループに分け、講義する場合の環境において、講師がいない教室の学生からは声が聴きにくい、迫力が伝わらない、映像が明確ではない等の意見はあるが、マスク下、アクリルボードを通しての講義であるので個々に教員は努力しているが、席の間隔も空けており、望ましい教育環境ではないとは思っている。学生が集中できるよう、教育環境の整備・充実を図ってまいります。

4. その他

- 科目責任者である殆どの教員は、学生の授業評価を謙虚に受け止め、コロナ禍にあっても真摯に自分の責任として受け止め、学生の反応を励みになると前向きに受け止めている者が多い。より看護領域の専門性を活かし教育方法を創意・工夫しており、教育的には質の高い良い環境と捉えている。
- 体調不良、単位未履修などの理由で、留年、休学、退学する学生が増加傾向にあります。一人ひとりの学生は、健康に関わる専門職を目指していることをしっかり認識し、もっと日頃の学生生活から専門職意識を向上させ、セルフコントロール能力を高めていくことが必要であり、大学として統一した学生支援を強化して頂きたいと考えます。教員の能力に頼っていても負担だけが増え、全体的には良くなれないと考えます。また、就職施設の病院幹部から優秀な卒業生が欲しいと明確に言われるようになり、採用試験においても個別指導が必要ですが、一回の就職試験で内定結果が貰えるような指導を重ねて参ります。

以上

令和4年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 東が丘看護学部 看護学科

○全科目数 128 科目 ○調査対象者数 10,045 人（延人数）
 ○総回答数 5,749 件（回答率57.2%）

◆ 講義・演習科目及び実習・実験科目における共通質問項目別集計結果
 〈質問項目番号の（ ）は実習・実験科目における質問項目の番号である。〉
 〈上段（ ）は令和3年度アンケート結果〉

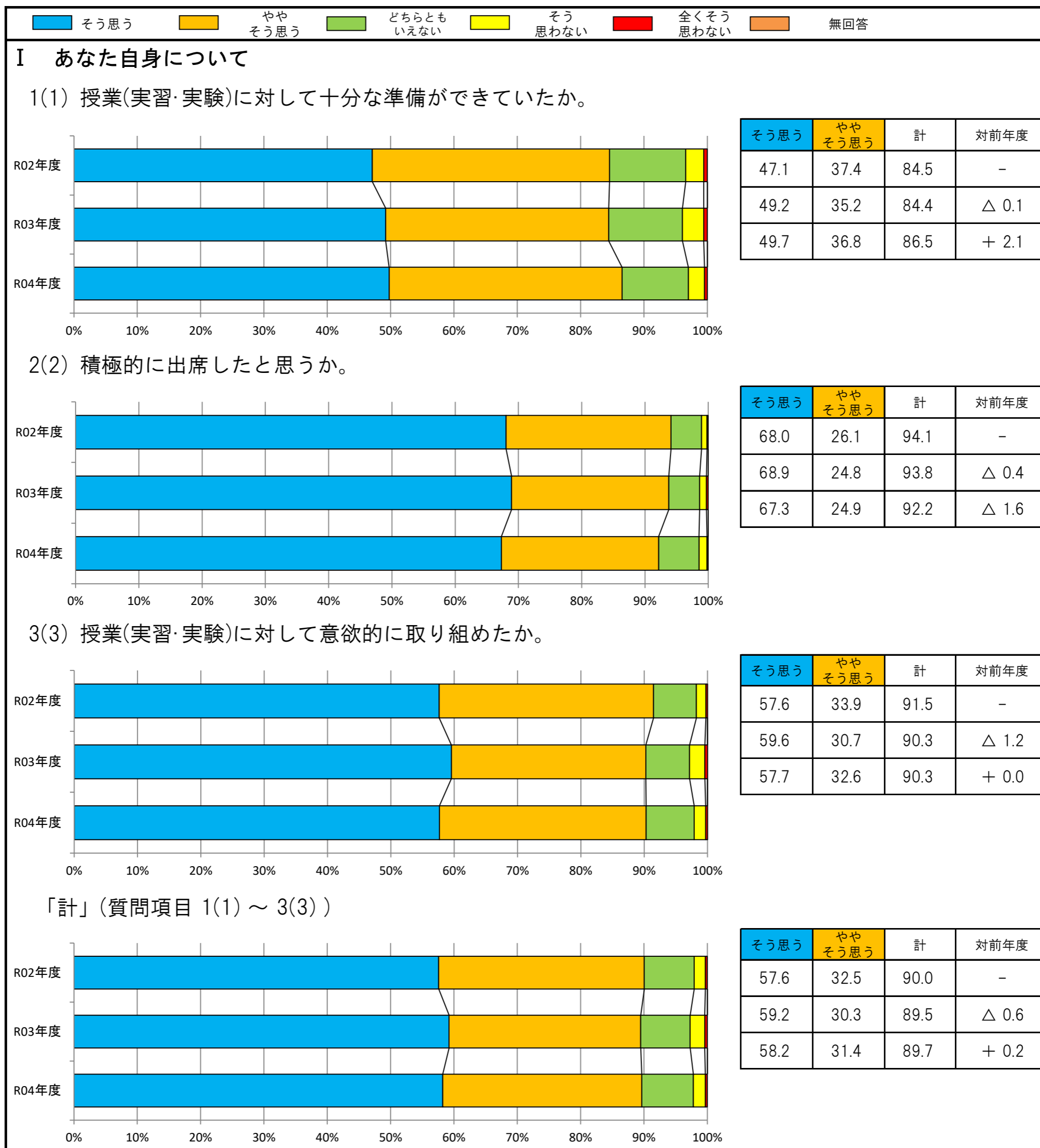
質問項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1(1) 授業(実習・実験)に対して十分な準備ができていたか。	(49.2) 49.7	(35.2) 36.8	(11.6) 10.5	(3.4) 2.6	(0.6) 0.5	0.0 0.0	(100) 100
2(2) 積極的に出席したと思うか。	(68.9) 67.3	(24.8) 24.9	(4.9) 6.4	(1.1) 1.3	(0.3) 0.2	0.0 0.0	(100) 100
3(3) 授業(実習・実験)に対して意欲的に取り組めたか。	(59.6) 57.7	(30.7) 32.6	(6.9) 7.6	(2.4) 1.8	(0.4) 0.3	0.0 0.0	(100) 100
計	(59.2) 58.2	(30.3) 31.4	(7.8) 8.2	(2.3) 1.9	(0.4) 0.3	0.0 0.0	(100) 100
II 授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4(4) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。	(52.0) 49.4	(35.8) 39.0	(8.7) 8.3	(2.8) 2.8	(0.8) 0.5	0.0 0.0	(100) 100
5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(60.3) 58.0	(30.8) 32.9	(6.8) 7.1	(1.7) 1.5	(0.5) 0.5	0.0 0.0	(100) 100
6(6) 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(56.7) 55.4	(31.3) 33.6	(8.6) 8.5	(2.7) 2.0	(0.6) 0.5	0.0 0.0	(100) 100
7(7) この授業(実習・実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(61.6) 58.6	(29.8) 32.1	(6.6) 6.8	(1.5) 1.9	(0.5) 0.5	0.0 0.0	(100) 100
計	(57.6) 55.4	(31.9) 34.4	(7.7) 7.7	(2.2) 2.1	(0.6) 0.5	0.0 0.0	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(44.5) 45.8	(26.3) 32.0	(21.5) 16.5	(4.8) 3.5	(3.0) 2.2	0.0 0.0	(100) 100
9(9) 学習しやすい授業(実習・実験)環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	(67.2) 64.3	(25.6) 27.1	(5.5) 6.6	(1.3) 1.4	(0.5) 0.6	0.0 0.0	(100) 100
10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(66.5) 62.2	(25.0) 28.3	(6.1) 6.8	(1.8) 1.9	(0.6) 0.7	0.0 0.0	(100) 100
12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(56.0) 53.4	(26.7) 30.0	(12.0) 11.9	(3.4) 3.5	(1.9) 1.3	0.0 0.0	(100) 100
13(12) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。	(65.9) 61.9	(25.0) 28.2	(6.2) 7.0	(1.8) 2.1	(1.1) 0.7	0.0 0.0	(100) 100
14(13) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(69.5) 65.6	(23.4) 26.0	(5.2) 6.5	(1.3) 1.4	(0.6) 0.4	0.0 0.0	(100) 100
15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習・実験)を行ったと思うか。	(56.4) 53.5	(26.3) 29.7	(11.0) 12.0	(4.3) 3.6	(2.0) 1.2	0.0 0.0	(100) 100
計	(60.9) 58.1	(25.5) 28.7	(9.6) 9.6	(2.7) 2.5	(1.4) 1.0	0.0 0.0	(100) 100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16(15) この授業(実習・実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(58.0) 56.2	(24.2) 24.6	(10.8) 11.0	(4.3) 4.0	(2.8) 4.2	0.0 0.0	(100) 100
17(16) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。	(61.1) 57.5	(28.8) 31.5	(7.3) 7.9	(2.1) 2.4	(0.8) 0.7	0.0 0.0	(100) 100
計	(59.5) 56.9	(26.5) 28.0	(9.0) 9.5	(3.2) 3.2	(1.8) 2.5	0.0 0.0	(100) 100
全質問項目の平均	(59.3) 57.1	(28.5) 30.7	(8.5) 8.7	(2.6) 2.4	(1.0) 1.1	0.0 0.0	(100.0) 100

授業評価アンケート集計結果 年度別比較

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果

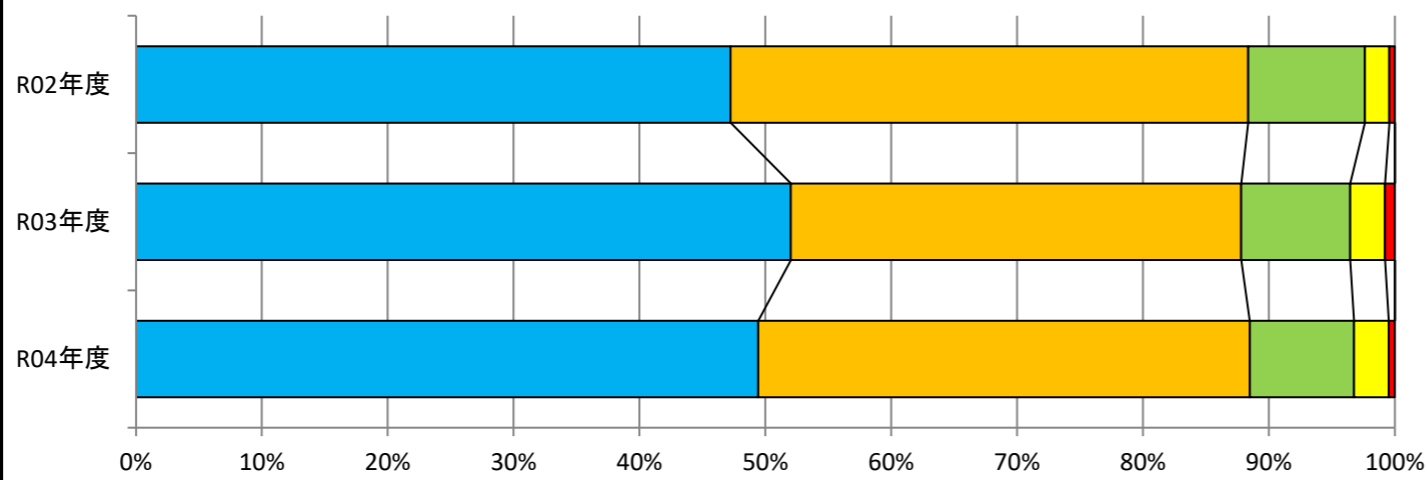
	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全科目数	195科目	192科目	107科目	120科目	128科目
調査対象者数	18,794人	18,211人	9,497人	10,161人	10,045人
総回答数(回答率)	17,185枚(91.4%)	17,510枚(96.2%)	7,400件(77.9%)	7,293件(71.8%)	5,749件(57.2%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



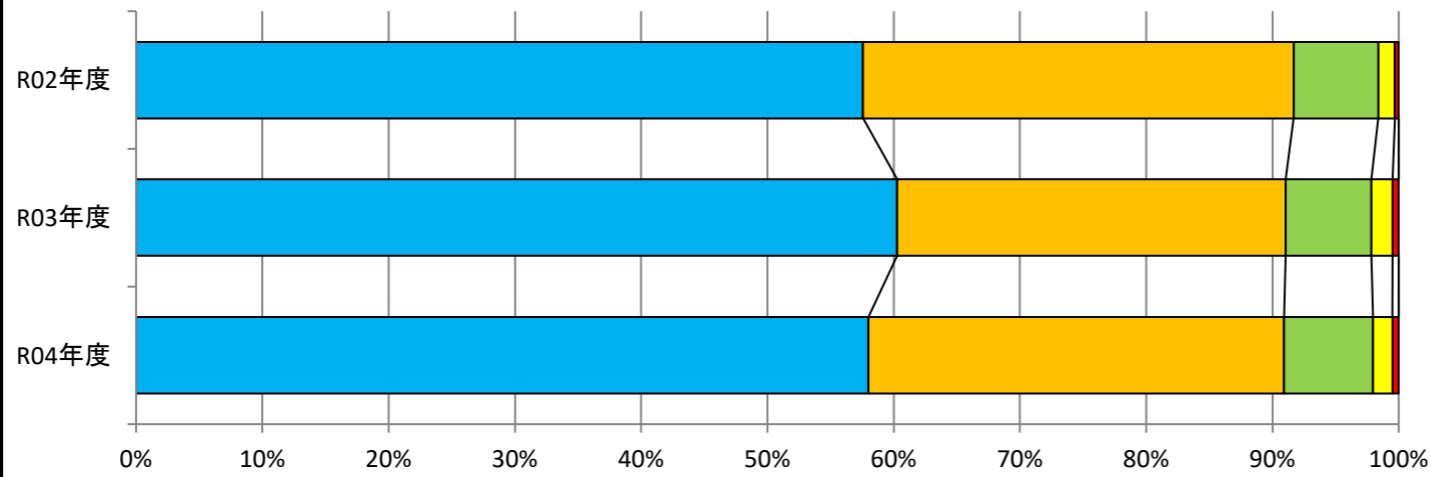
II 授業内容について

4(4) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。



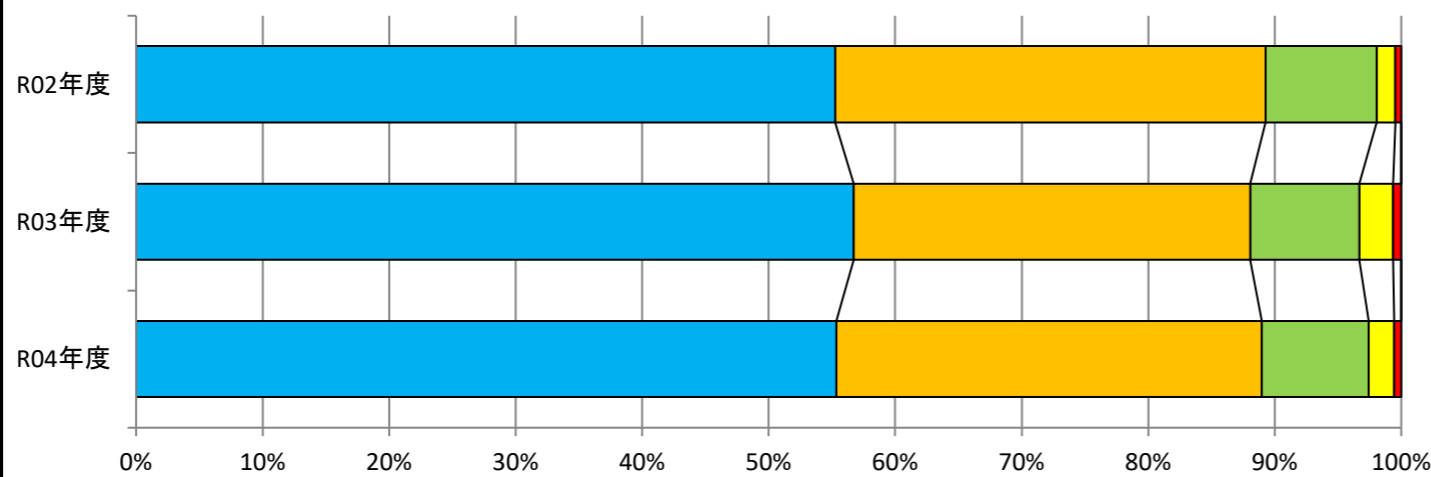
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
47.2	41.1	88.4	-
52.0	35.8	87.8	△ 0.6
49.4	39.0	88.5	+ 0.7

5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。



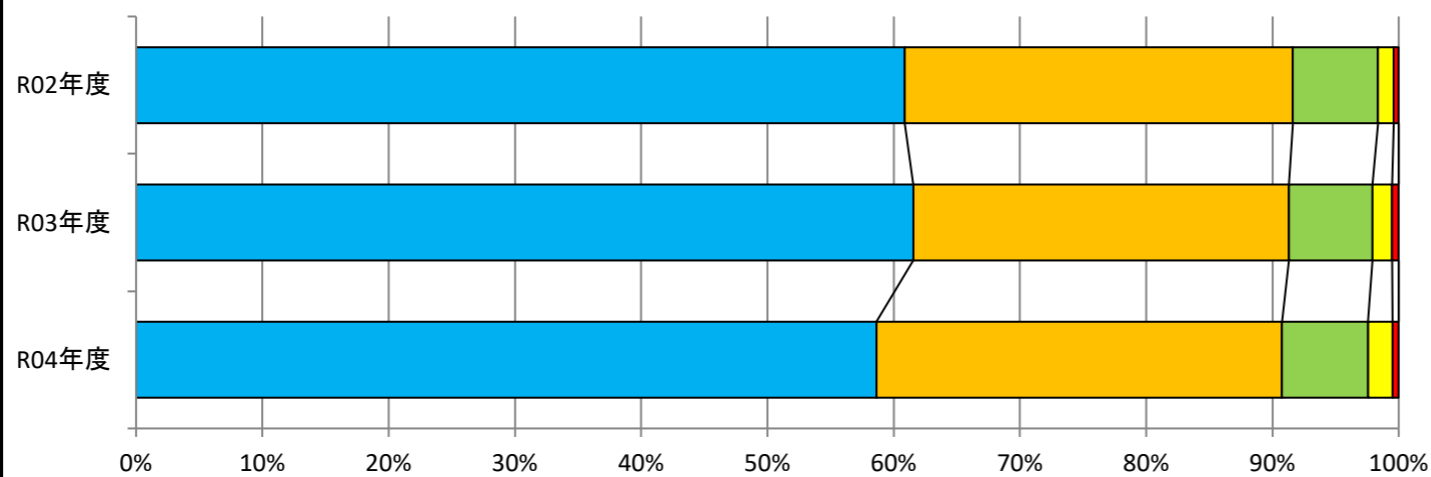
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
57.6	34.1	91.7	-
60.3	30.8	91.0	△ 0.6
58.0	32.9	90.9	△ 0.1

6(6) 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。



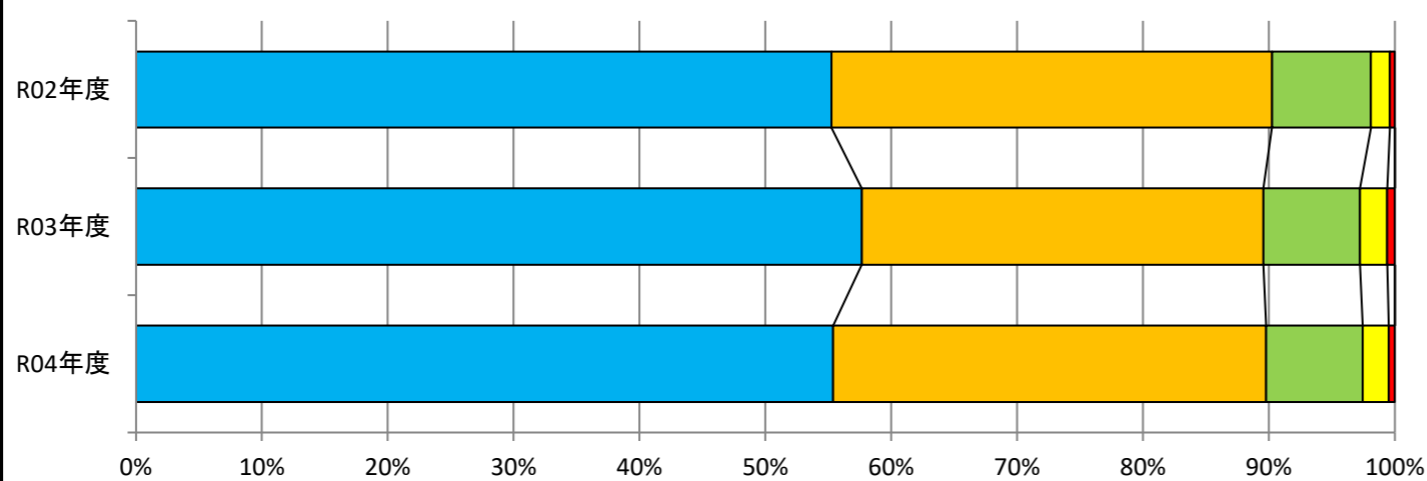
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
55.3	34.0	89.3	-
56.7	31.3	88.1	△ 1.2
55.4	33.6	89.0	+ 0.9

7(7) この授業(実習・実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
60.9	30.7	91.6	-
61.6	29.8	91.3	△ 0.3
58.6	32.1	90.8	△ 0.5

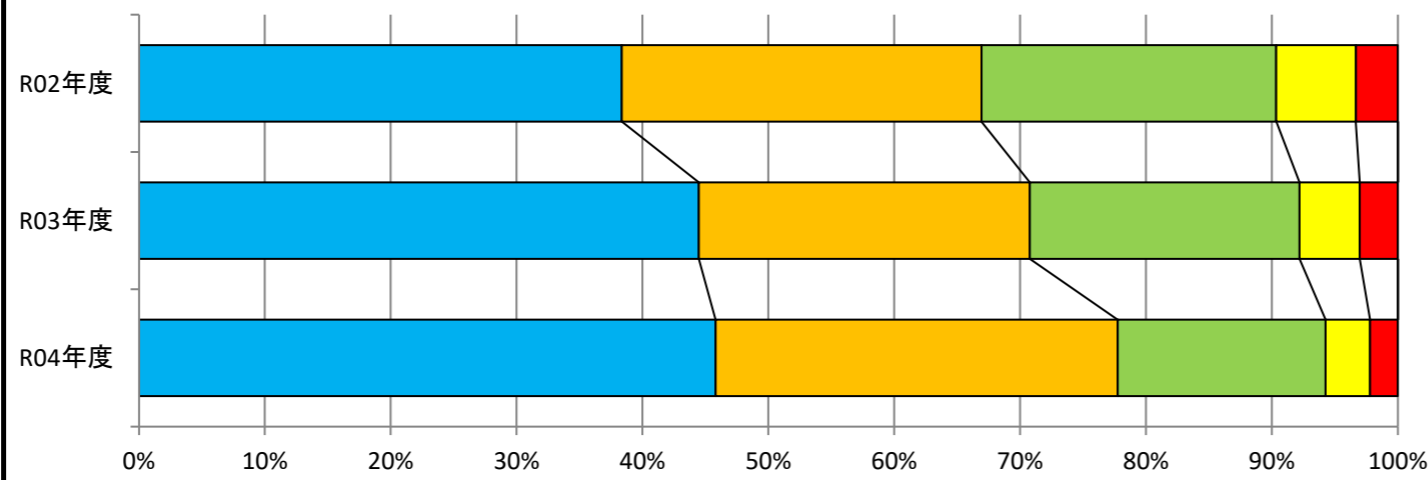
「計」(質問項目 4(4) ~ 7(7))



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
55.2	35.0	90.2	-
57.6	31.9	89.6	△ 0.7
55.4	34.4	89.8	+ 0.2

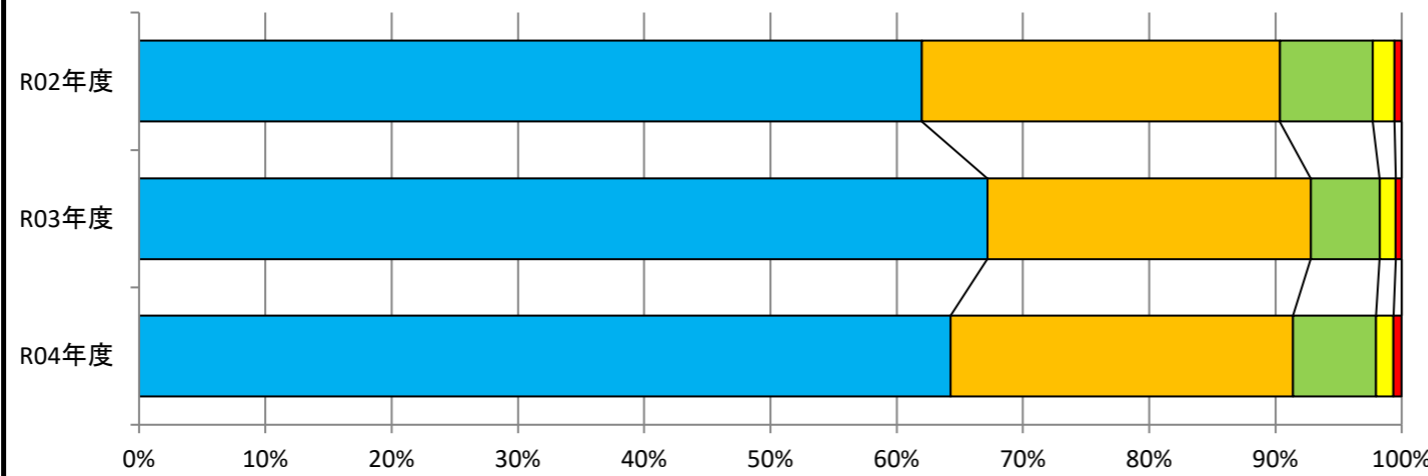
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



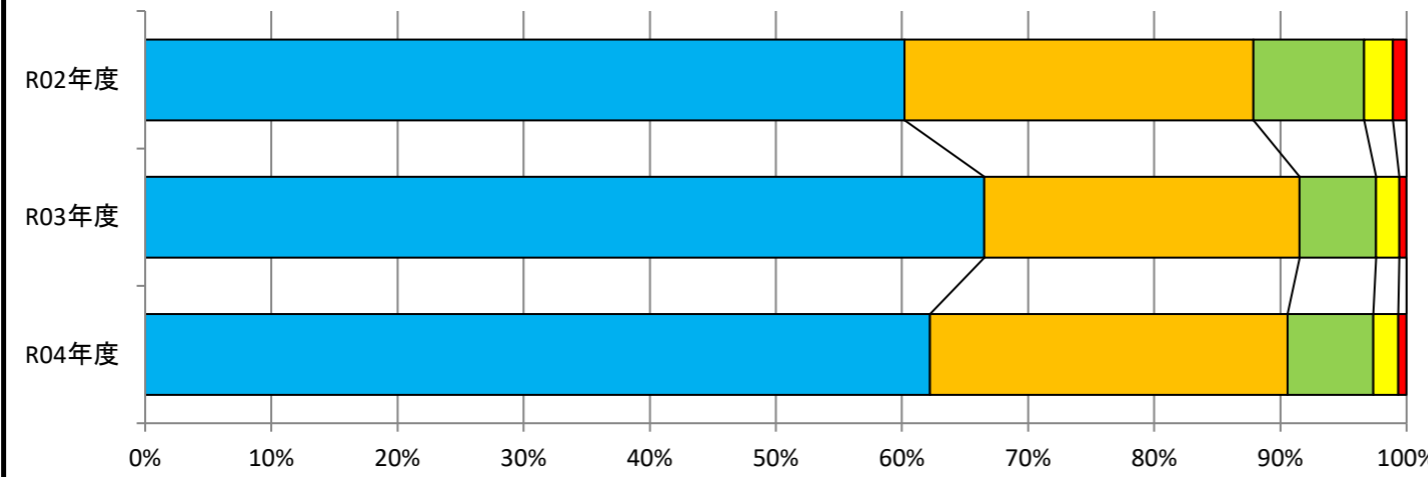
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.3	28.6	66.9	-
44.5	26.3	70.7	+ 3.8
45.8	32.0	77.8	+ 7.0

9(9) 学習しやすい授業(実習・実験)環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。



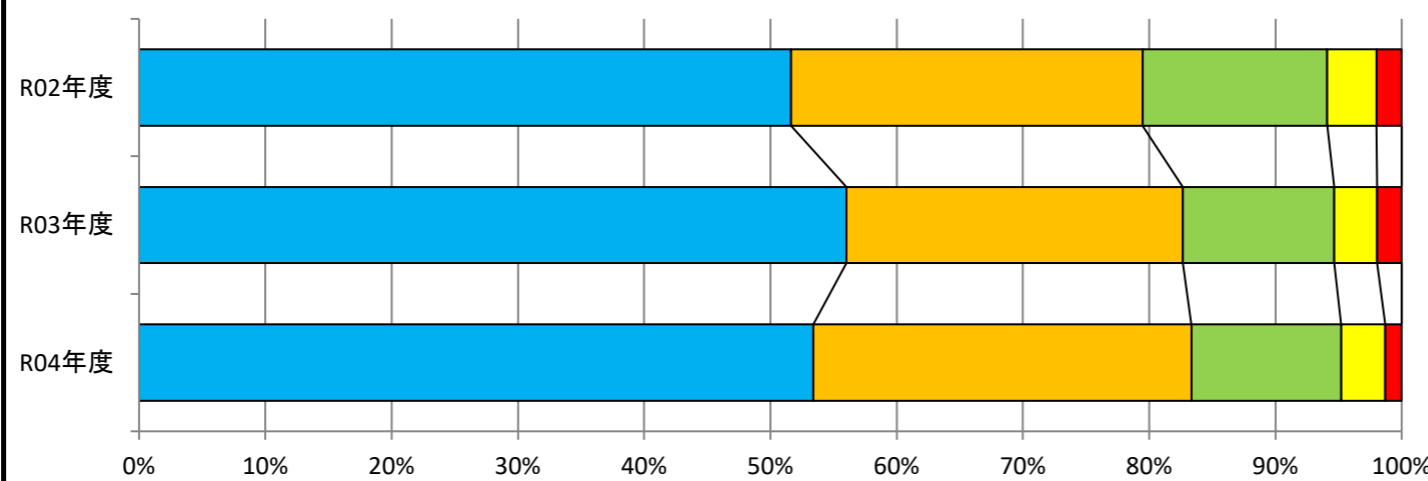
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
62.0	28.3	90.3	-
67.2	25.6	92.8	+ 2.4
64.3	27.1	91.4	△ 1.4

10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



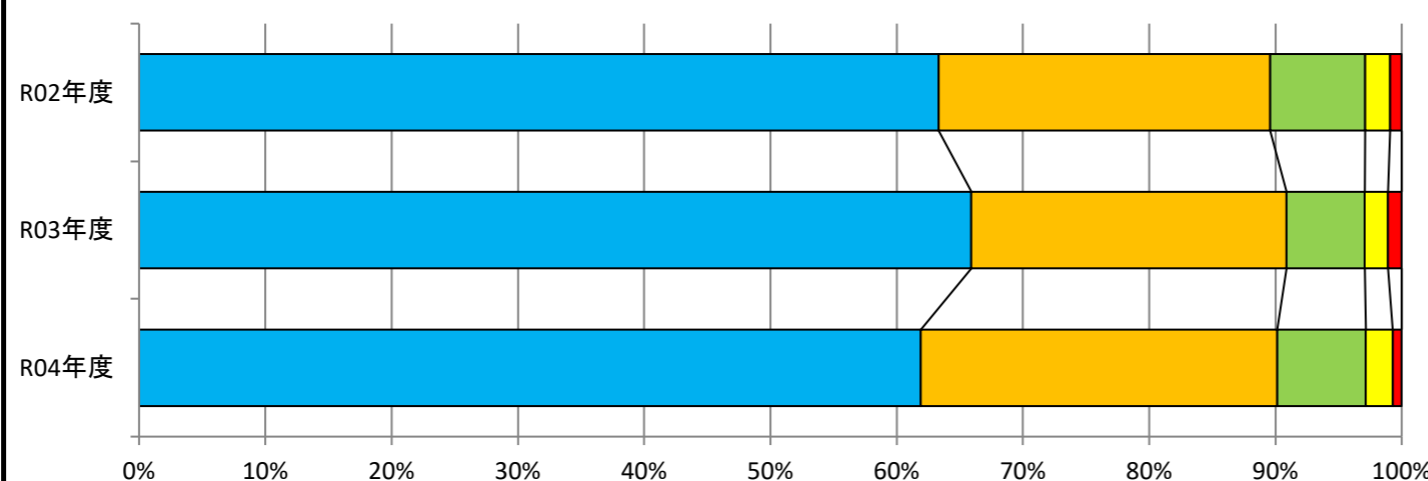
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
60.2	27.7	87.9	-
66.5	25.0	91.5	+ 3.7
62.2	28.3	90.6	△ 1.0

12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



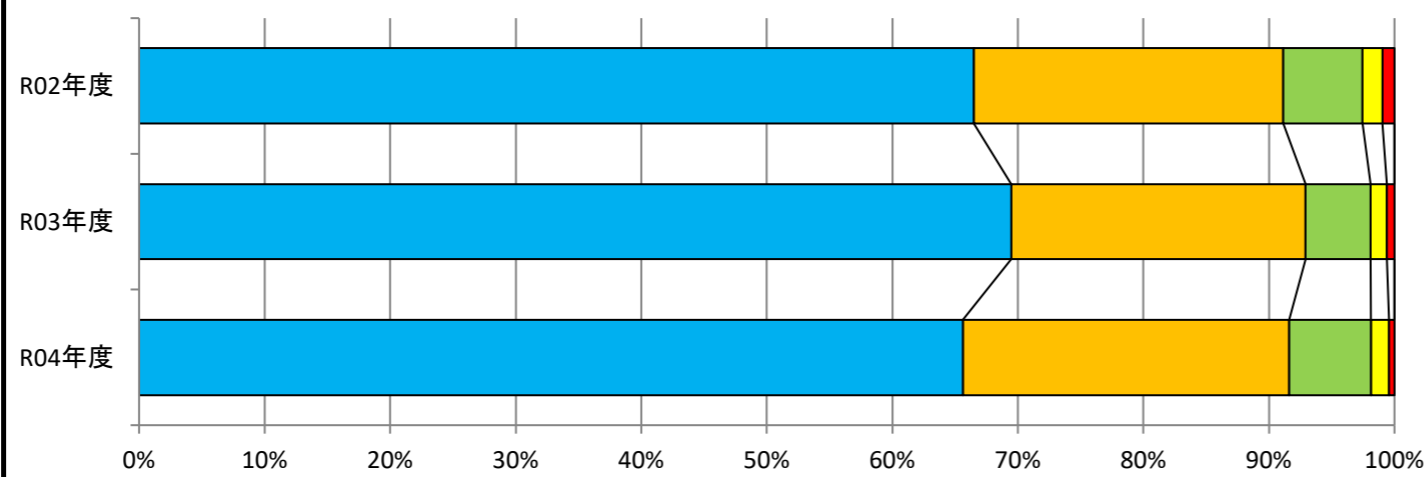
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
51.6	27.8	79.5	-
56.0	26.7	82.7	+ 3.2
53.4	30.0	83.3	+ 0.7

13(12) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。



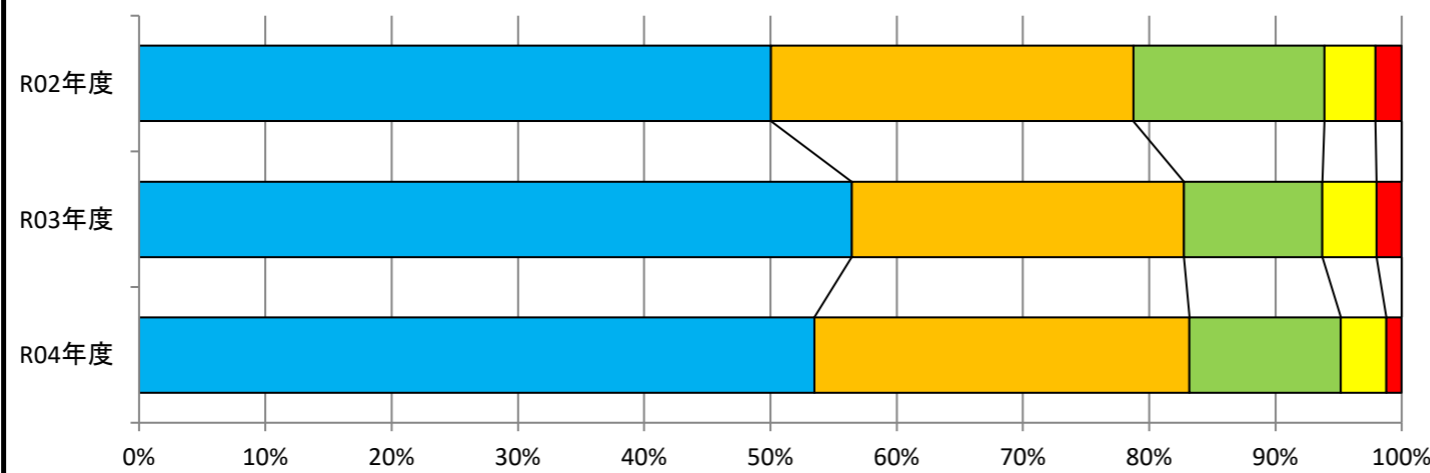
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
63.3	26.3	89.6	-
65.9	25.0	90.9	+ 1.3
61.9	28.2	90.1	△ 0.7

14(13) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。



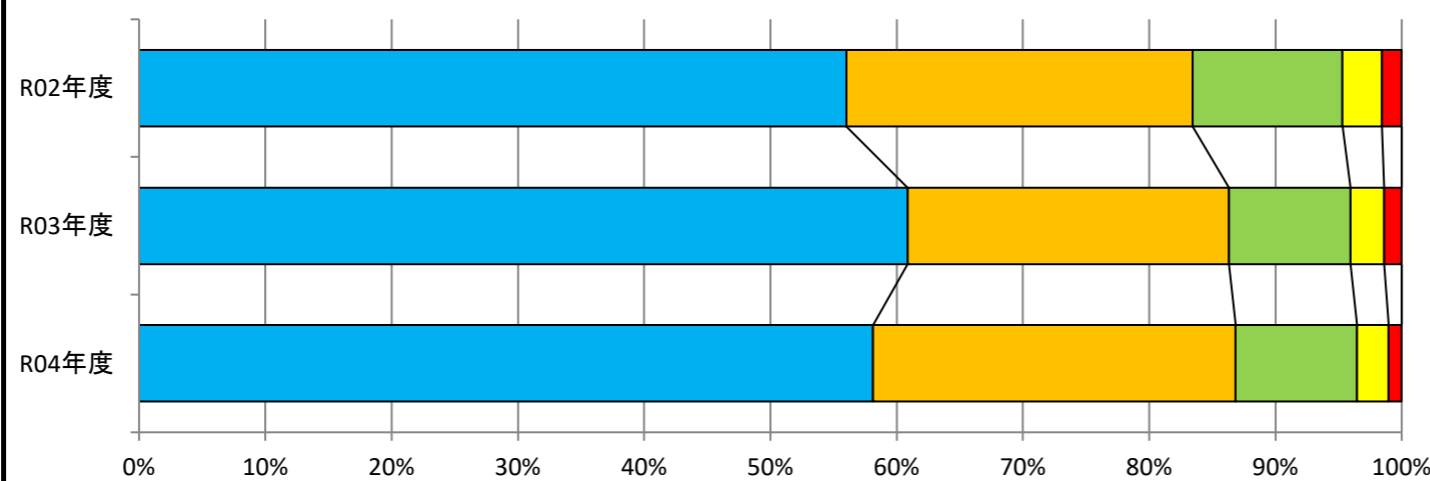
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
66.5	24.6	91.1	-
69.5	23.4	92.9	+ 1.8
65.6	26.0	91.6	△ 1.3

15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習・実験)を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
50.1	28.7	78.7	-
56.4	26.3	82.8	+ 4.0
53.5	29.7	83.2	+ 0.4

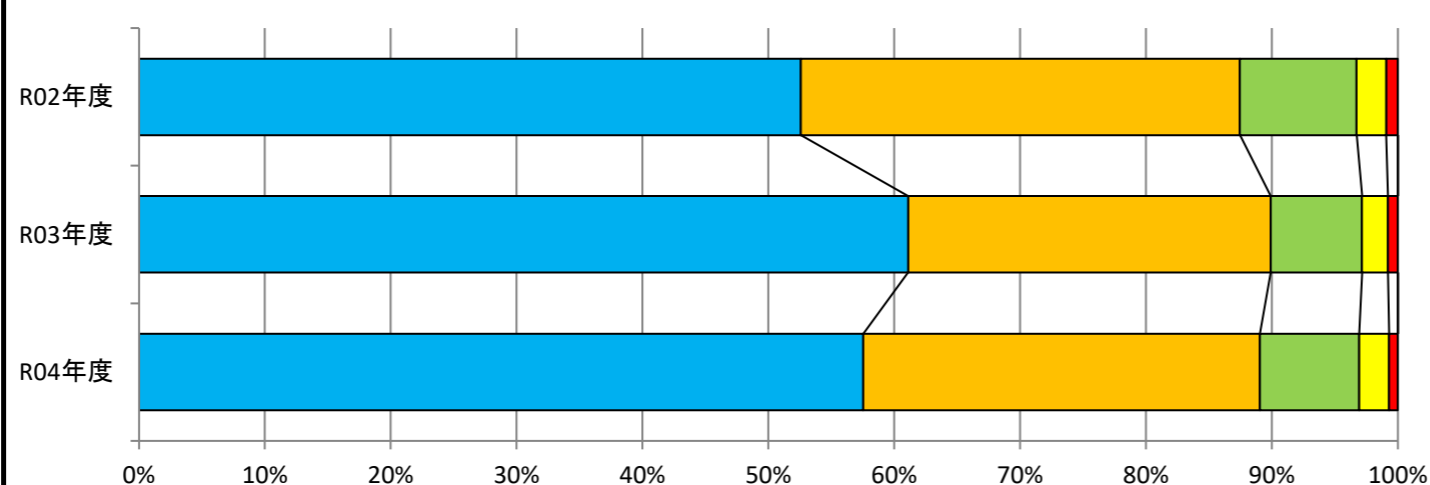
「計」(質問項目 8(8) ~ 15(14))



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
56.0	27.4	83.4	-
60.9	25.5	86.3	+ 2.9
58.1	28.7	86.9	+ 0.5

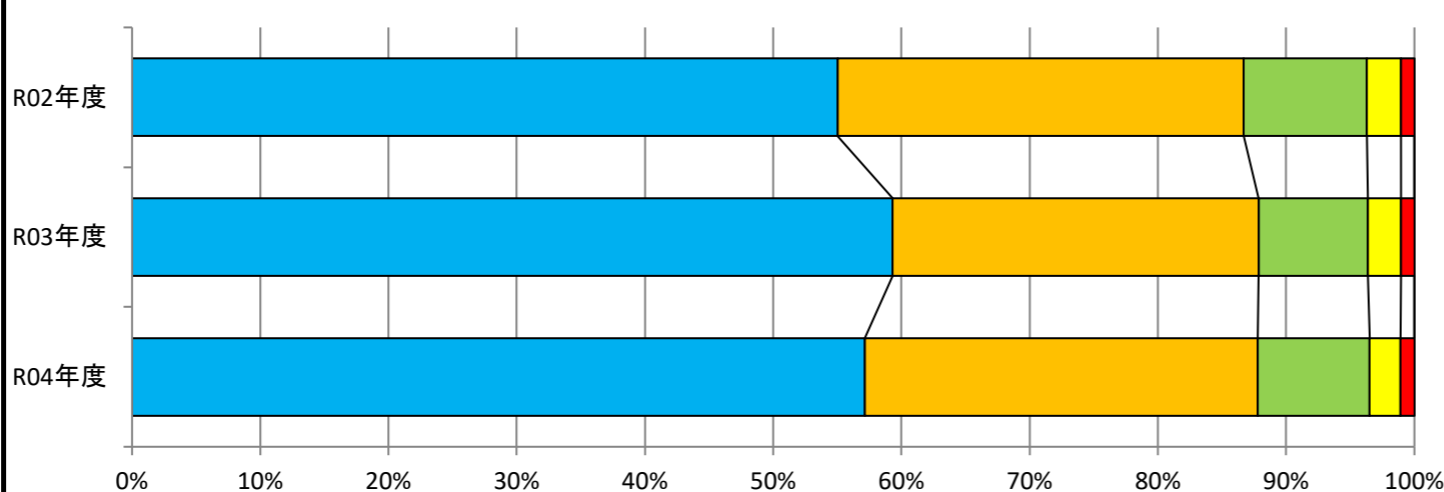
IV 総合評価

16(15) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
52.6	34.9	87.5	-
61.1	28.8	89.9	+ 2.4
57.5	31.5	89.0	△ 0.9

全質問項目の平均

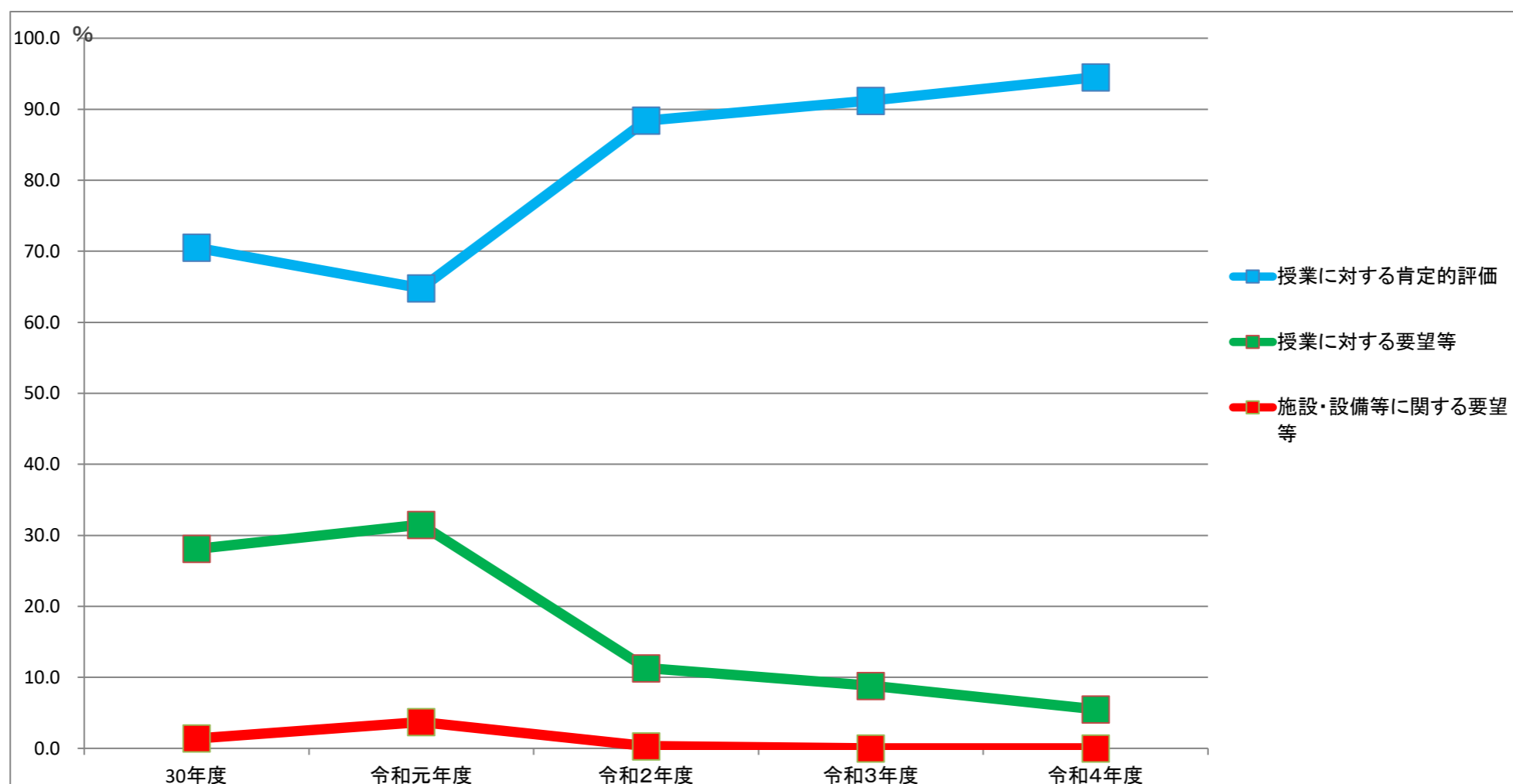


そう思う	やや そう思う	計	対前年度
55.0	31.7	86.7	-
59.3	28.5	87.8	+ 1.2
57.1	30.7	87.8	△ 0.1

◆ 年度別 自由記述集計結果

分類項目／年度	30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
授業に対する肯定的評価	(70.5%)	246	(64.8%)	243	(88.4%)	313	(91.2%)	572	(94.5%)	377
授業に対する要望等	(28.1%)	98	(31.5%)	118	(11.3%)	40	(8.8%)	55	(5.5%)	22
施設・設備等に関する要望等	(1.4%)	5	(3.7%)	14	(0.3%)	1	(0.0%)	0	(0.0%)	0
総件数	(100.0%)	349	(100.0%)	375	(100.0%)	354	(100.0%)	627	(100.0%)	399

※ () 内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容

分類項目	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	377	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生で老年について学ぶことがたくさんあると思うので1年に学んだことを活かせるように頑張りたいと思います。 ・COVID19の感染拡大下でどのくらい育児ストレスがあるのか知ることができ、また自分たちが看護師になってどのような介入ができるのか考えることができとても良い研究ができたと思います ・オンライン講義の際は、感染面でも安全ですし、孤立しないためにもグループワークを取り入れてくださったところや毎回印象に残りやすいご講義がとても良かったです。 ・ニュースを見ることや社会問題に対して興味を持つ事の大切さを改めて学び、自分の身近な問題に興味関心を持つことが大切だと学べました。 ・マズローの欲求5段階説やヘンダーソンの基本的欲求など学ぶことによって、患者が療養生活をよりよく過ごしてもらえる配慮ができるようになって感じました。
授業に対する要望等	22	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントガイドについて、どのように作成すれば良いのか想像がつかなく苦戦してしまったので、先輩の例などがあるともっと自由に作成できたと感じました。 ・レジュメのどこが大事なポイントなのかすごく見にくい。 ・授業資料の配布場所やレポートの提出先をWebCassに統一してほしい。 ・パワーポイントで流している画像がだいたい教科書で言う何ページなのか毎度言っていただければ良かったなあと思います。 ・試験問題が10問と少なく、一問あたりの配点が高くなっていたため、問題数を増やした方が良いと思う。 ・医療英語の教科書の答えはないのでしょうか。
施設・設備等に関する要望等	0	
計	399	

令和4年度 授業評価集計結果(講義・演習科目)

東京医療保健大学 東が丘看護学部 看護学科

○講義・演習科目数 107 科目

○調査対象者数 8,652 人(延人数)

○総回答数 5,115 件(回答率 59.1%)

◆ 質問項目別集計結果

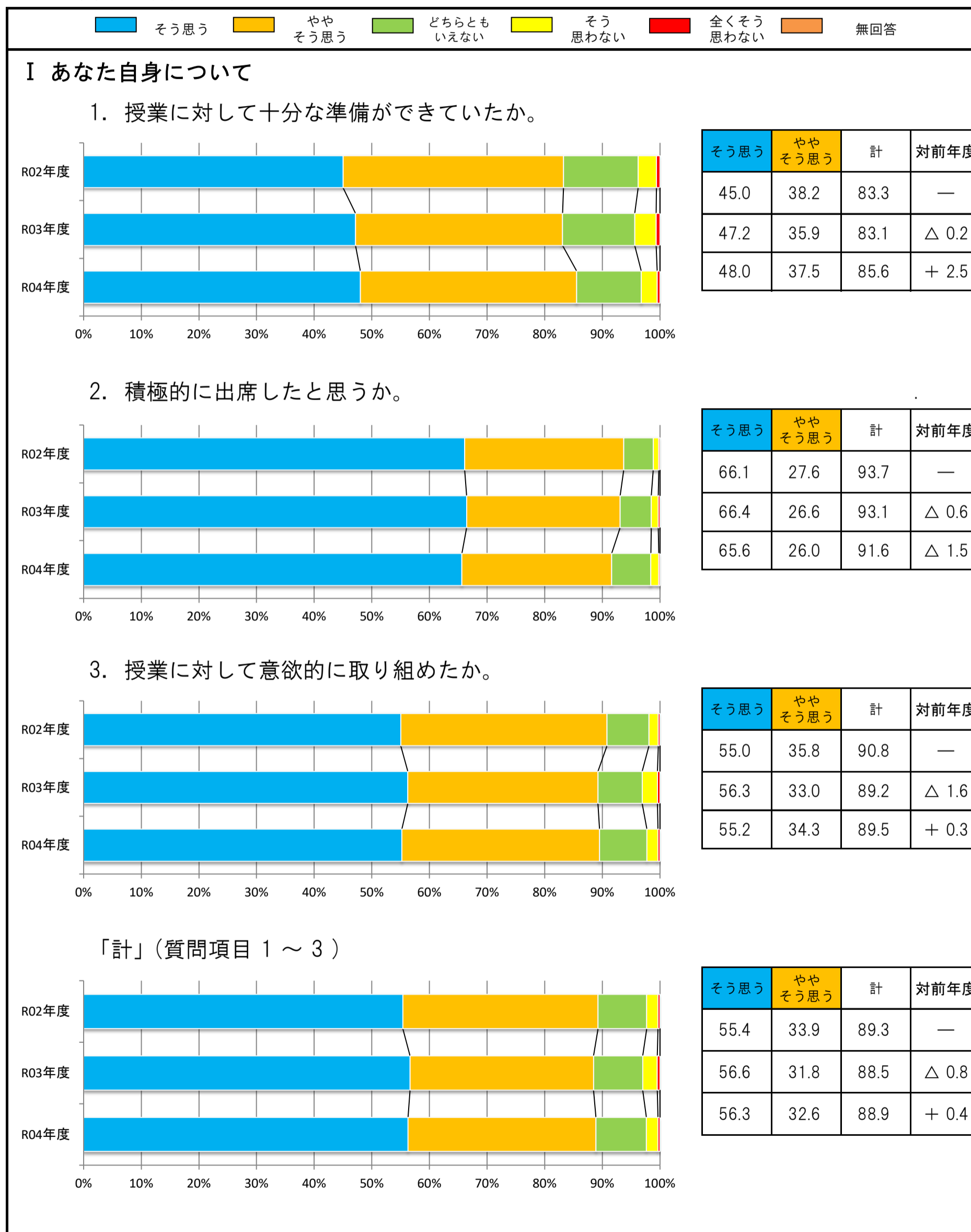
〈上段()は令和3年度アンケート結果〉

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 授業に対して十分な準備ができていたか。	(47.2)	(35.9)	(12.5)	(3.7)	(0.7)	0.0	(100)
	48.0	37.5	11.2	2.8	0.5		100
2. 積極的に出席したと思うか。	(66.4)	(26.6)	(5.4)	(1.2)	(0.3)	0.0	(100)
	65.6	26.0	6.8	1.3	0.2		100
3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。	(56.3)	(33.0)	(7.7)	(2.7)	(0.4)	0.0	(100)
	55.2	34.3	8.2	2.0	0.3		100
計	(56.6)	(31.8)	(8.5)	(2.5)	(0.5)	0.0	(100)
	56.3	32.6	8.7	2.0	0.4		100
II 授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 授業内容をよく理解できたと思うか。	(48.5)	(37.9)	(9.5)	(3.1)	(0.9)	0.0	(100)
	46.8	40.7	9.0	3.0	0.5		100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(66.3)	(28.4)	(4.2)	(0.9)	(0.2)	0.0	(100)
	55.7	34.5	7.6	1.6	0.5		100
6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(64.7)	(28.6)	(5.2)	(1.1)	(0.3)	0.0	(100)
	52.6	35.4	9.3	2.2	0.6		100
7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(68.8)	(26.1)	(4.2)	(0.7)	(0.2)	0.0	(100)
	56.1	33.9	7.3	2.1	0.6		100
計	(62.1)	(30.3)	(5.8)	(1.5)	(0.4)	0.0	(100)
	52.8	36.1	8.3	2.2	0.5	0.0	100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(44.0)	(27.2)	(21.2)	(5.0)	(2.7)	0.0	(100)
	44.7	32.9	16.5	3.7	2.2	0.0	100
9. 学習しやすい授業環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(65.9)	(26.6)	(5.8)	(1.3)	(0.5)	0.0	(100)
	63.1	27.9	7.0	1.4	0.6	0.0	100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(69.8)	(23.9)	(4.7)	(1.2)	(0.3)	0.0	(100)
	60.5	29.5	7.3	2.0	0.7	0.0	100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、 -1 わかりやすい板書であったと思うか。	(61.2)	(22.8)	(11.6)	(3.0)	(1.4)	0.0	(100)
	56.9	28.1	10.3	3.3	1.5	0.0	100
11. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、 -2 その実施内容はわかりやすかったと思うか。	(65.1)	(24.0)	(7.4)	(2.7)	(0.8)	0.0	(100)
	61.9	27.2	7.2	2.6	1.0	0.0	100
12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(52.6)	(28.1)	(13.3)	(3.8)	(2.1)	0.0	(100)
	50.7	31.2	12.9	3.9	1.4	0.0	100
13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	(63.8)	(26.4)	(6.6)	(2.0)	(1.2)	0.0	(100)
	60.0	29.5	7.5	2.2	0.8	0.0	100
14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(67.9)	(24.7)	(5.5)	(1.3)	(0.6)	0.0	(100)
	64.0	27.0	6.9	1.5	0.5	0.0	100
15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。	(53.5)	(27.5)	(12.2)	(4.7)	(2.2)	0.0	(100)
	51.2	30.6	13.0	3.9	1.3	0.0	100
計	(60.4)	(25.7)	(9.8)	(2.8)	(1.3)	0.0	(100)
	57.0	29.3	9.8	2.7	1.1	0.0	100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16. この講義・演習は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(59.5)	(25.3)	(10.0)	(3.4)	(1.9)	0.0	(100)
	58.1	25.8	10.6	3.4	2.1	0.0	100
17. この授業は総合的に満足できたと思うか。	(59.1)	(30.2)	(7.6)	(2.3)	(0.8)	0.0	(100)
	55.5	32.8	8.5	2.5	0.7	0.0	100
計	(59.3)	(27.8)	(8.8)	(2.8)	(1.3)	0.0	(100)
	56.8	29.3	9.5	3.0	1.4	0.0	100
全質問項目の平均	(59.6)	(28.9)	(8.2)	(2.4)	(0.9)	0.0	(100)
	55.7	31.8	9.1	2.5	0.9	0.0	100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（講義・演習科目）

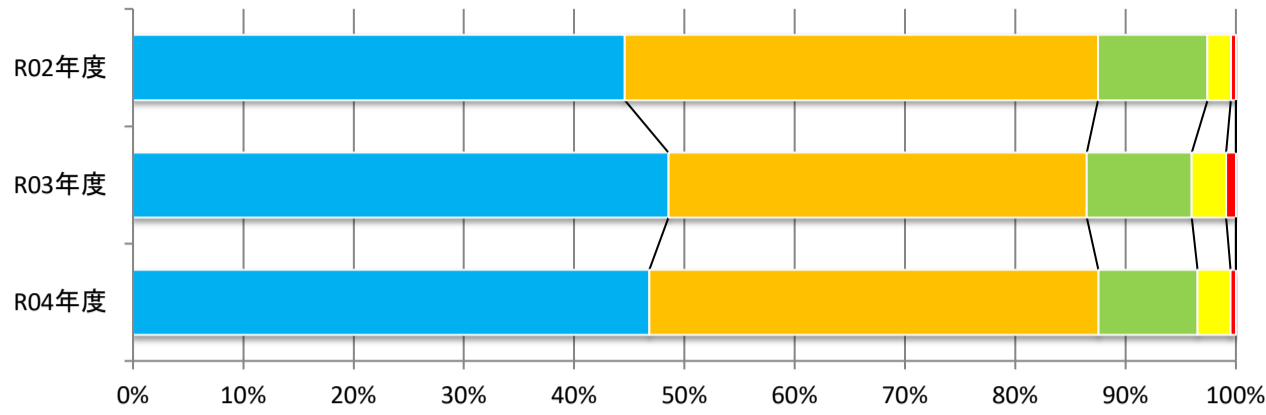
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全科目数	95科目	106科目	107科目
調査対象者数	8,286人	8,730人	8,652人
総回答数（回答率）	6,547件（79.0%）	6,295件（72.1%）	5,115件（59.1%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



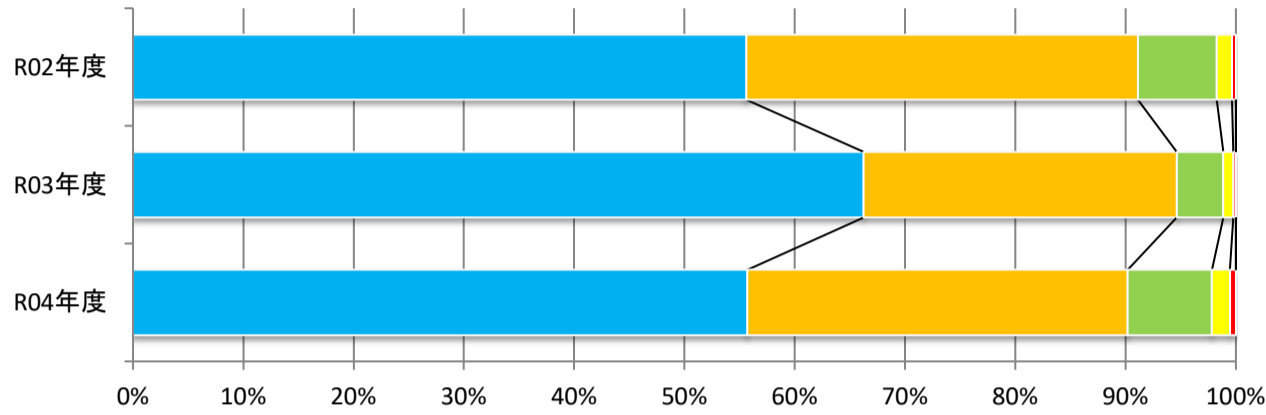
II 授業内容について

4. 授業内容をよく理解できたと思うか。



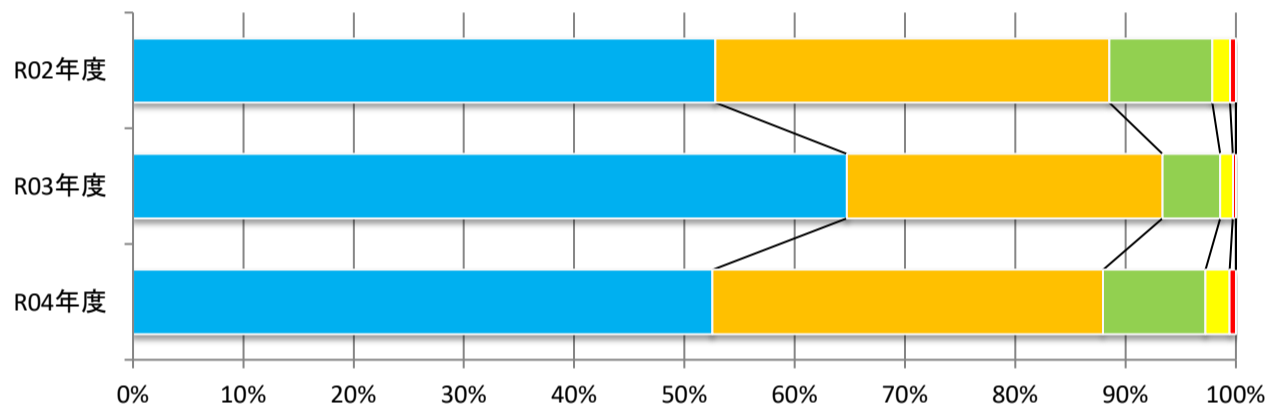
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
44.6	42.9	87.5	—
48.5	37.9	86.5	△ 1.0
46.8	40.7	87.5	+ 1.0

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



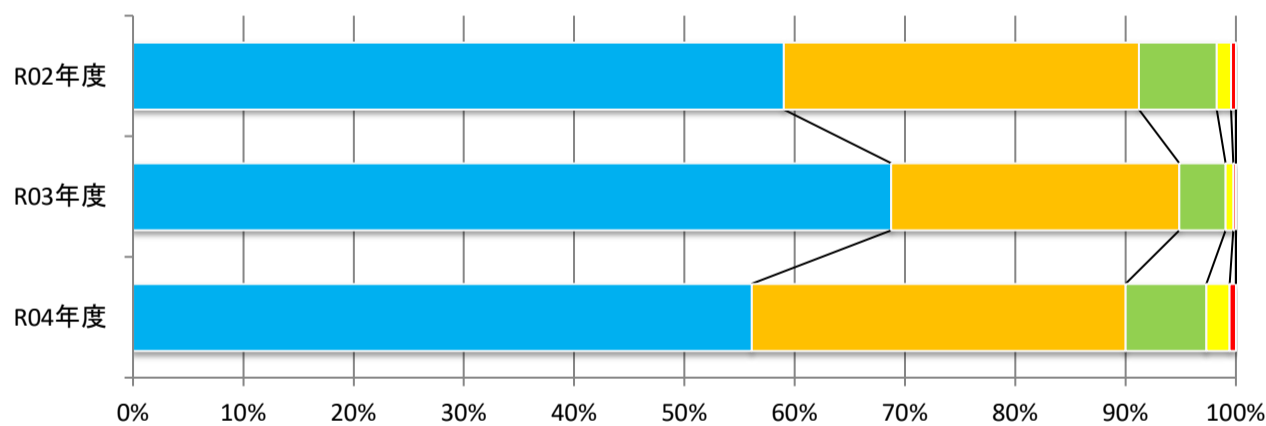
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
55.6	35.5	91.1	—
66.3	28.4	94.6	+ 3.5
55.7	34.5	90.2	△ 4.5

6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。



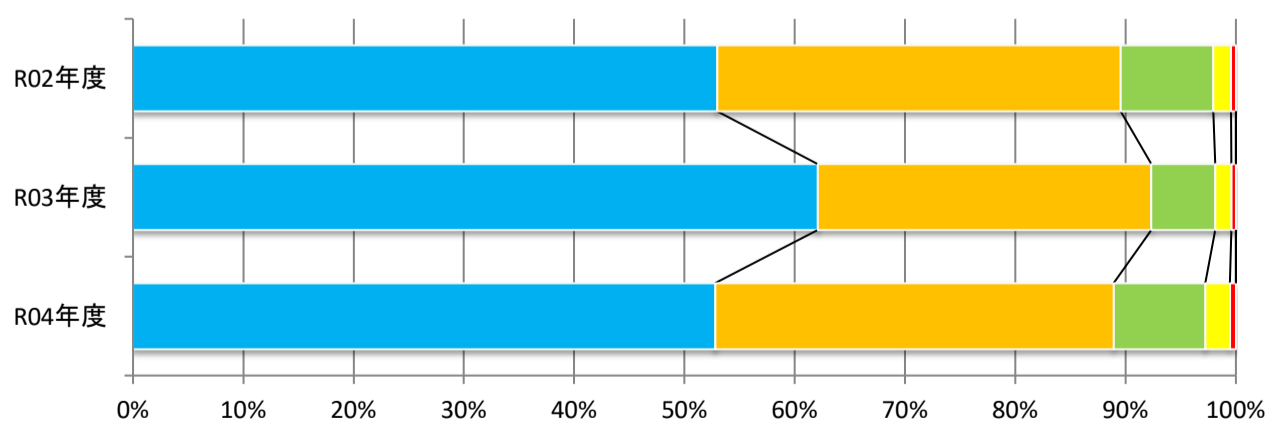
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
52.8	35.7	88.5	—
64.7	28.6	93.3	+ 4.8
52.6	35.4	88.0	△ 5.4

7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
59.0	32.2	91.2	—
68.8	26.1	94.9	+ 3.7
56.1	33.9	90.0	△ 4.9

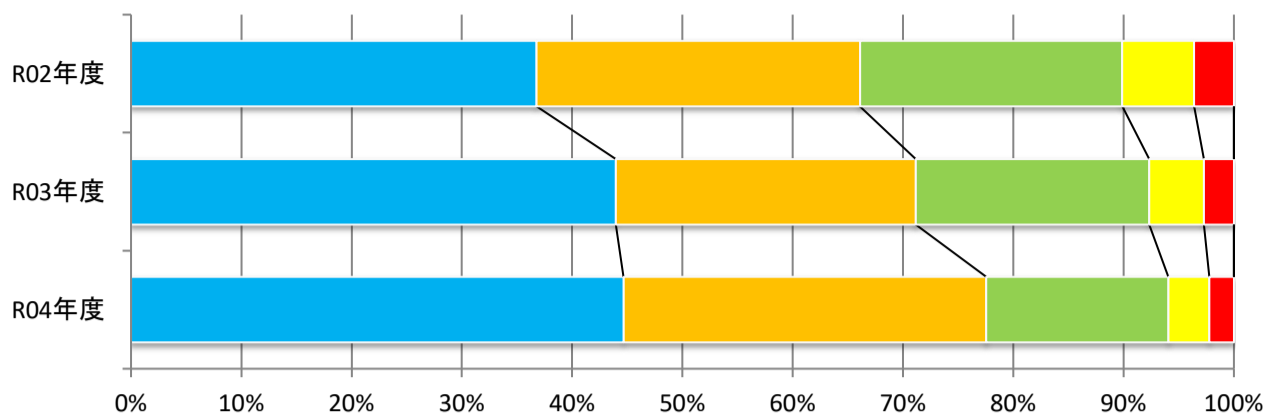
「計」(質問項目 4 ~ 7)



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
53.0	36.6	89.6	—
62.1	30.3	92.3	+ 2.8
52.8	36.1	88.9	△ 3.4

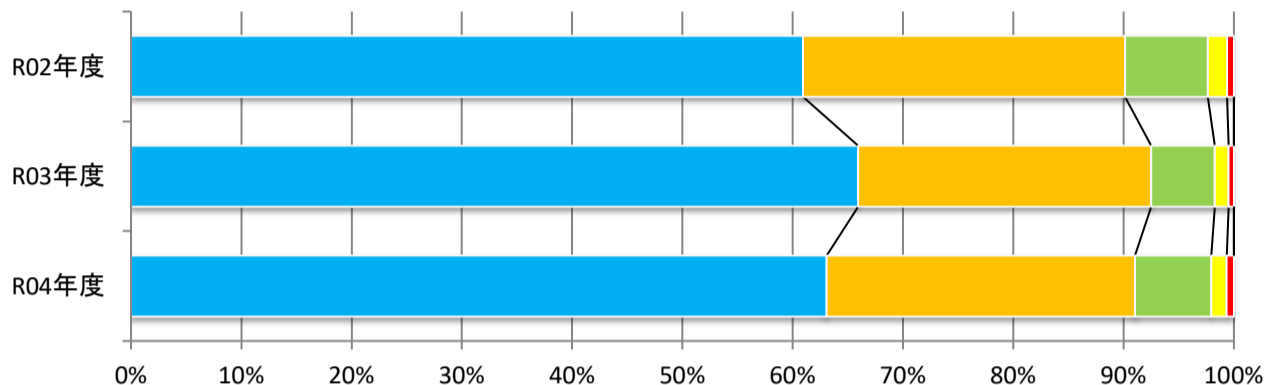
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



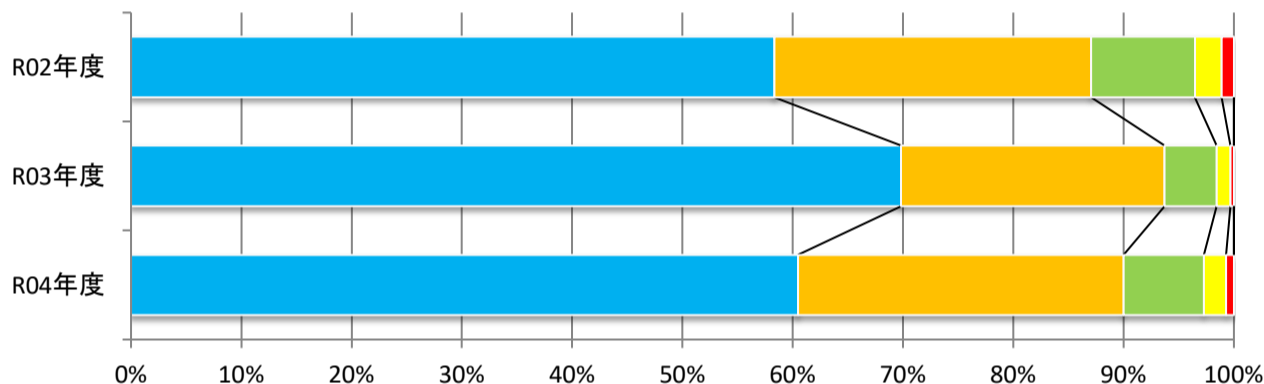
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.8	29.3	66.1	—
44.0	27.2	71.1	+ 5.0
44.7	32.9	77.6	+ 6.4

9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



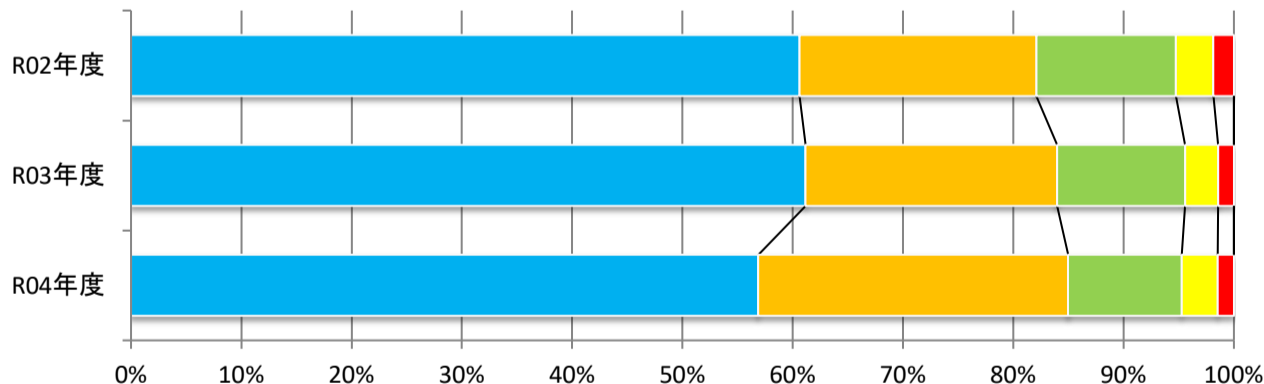
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
60.9	29.2	90.1	—
65.9	26.6	92.5	+ 2.4
63.1	27.9	91.0	△ 1.5

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



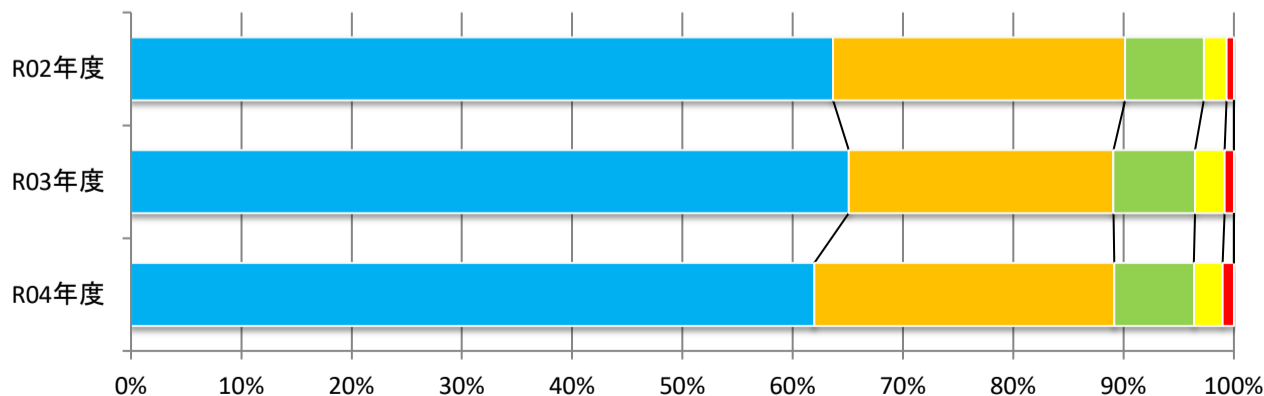
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
58.3	28.7	87.1	—
69.8	23.9	93.7	+ 6.7
60.5	29.5	90.0	△ 3.7

11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい
-1 板書であったと思うか。



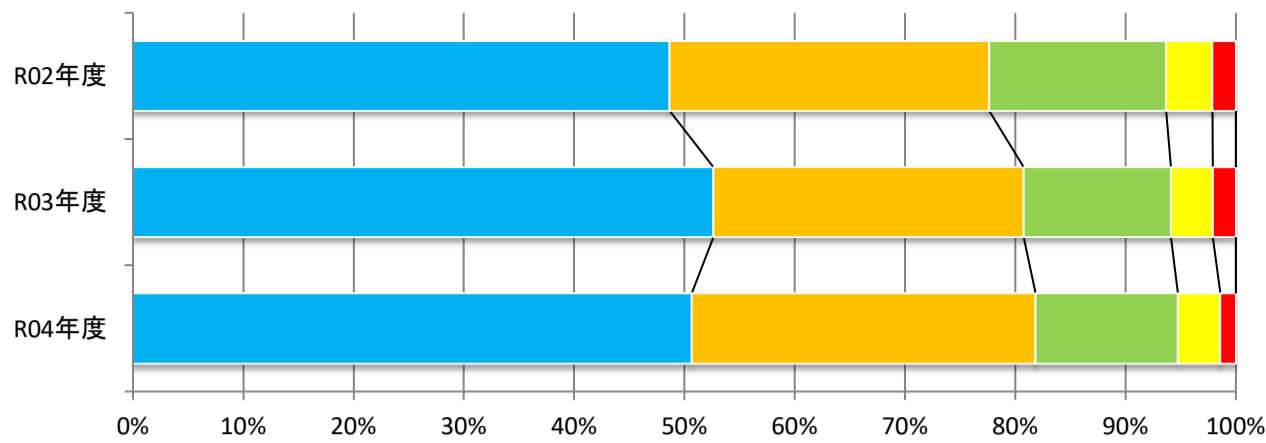
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
60.6	21.5	82.1	—
61.2	22.8	84.0	+ 1.9
56.9	28.1	85.0	+ 1.0

11. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容は
-2 わかりやすかったと思うか。



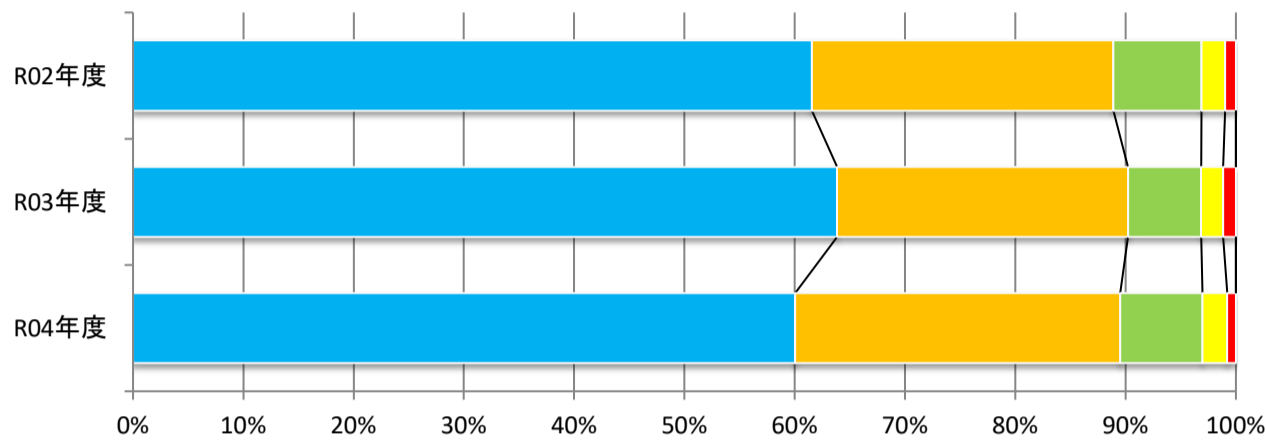
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
63.7	26.5	90.1	—
65.1	24.0	89.1	△ 1.1
61.9	27.2	89.1	+ 0.1

12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



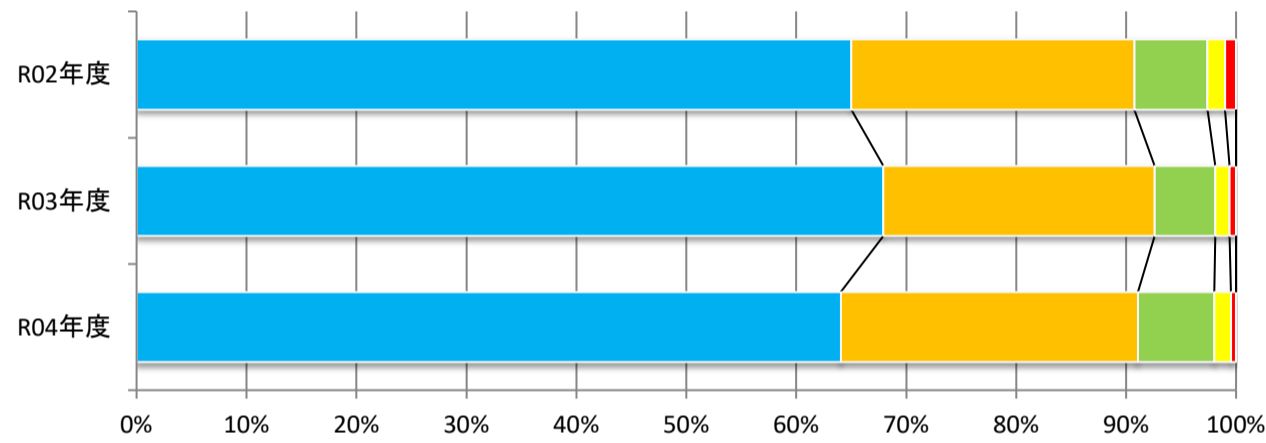
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
48.7	29.0	77.6	—
52.6	28.1	80.8	+ 3.1
50.7	31.2	81.8	+ 1.1

13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



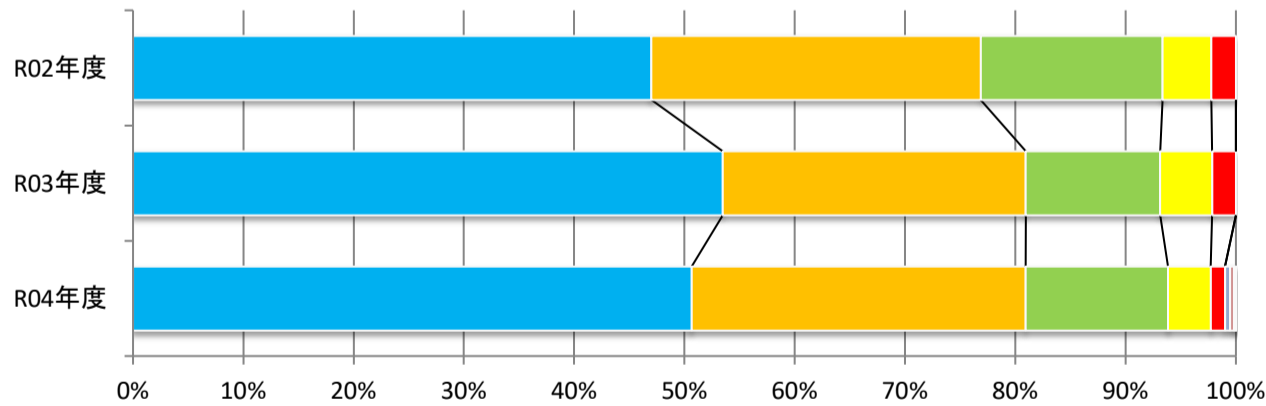
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
61.6	27.3	88.9	—
63.8	26.4	90.2	+ 1.3
60.0	29.5	89.5	△ 0.7

14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか



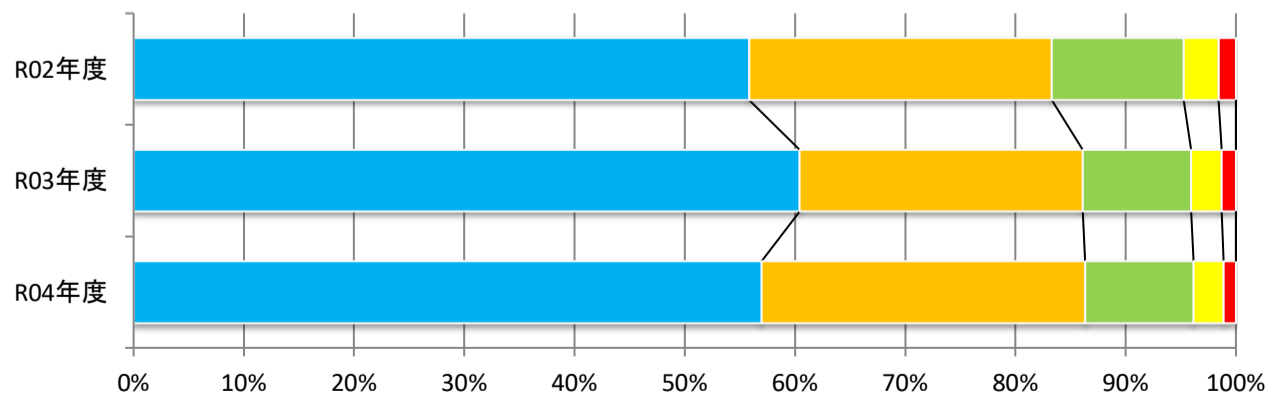
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
65.0	25.7	90.7	—
67.9	24.7	92.6	+ 1.9
64.0	27.0	91.1	△ 1.5

15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
47.0	29.8	76.9	—
53.5	27.5	81.0	+ 4.1
51.2	30.6	81.7	+ 0.8

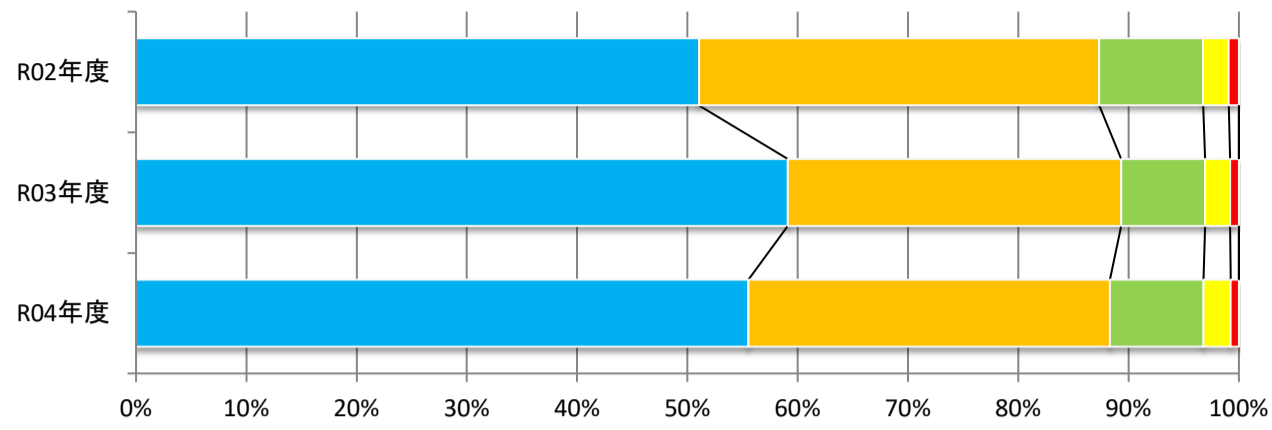
「計」(質問項目 8 ~ 15)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
55.8	27.5	83.3	—
60.4	25.7	86.1	+ 2.8
57.0	29.3	86.3	+ 0.2

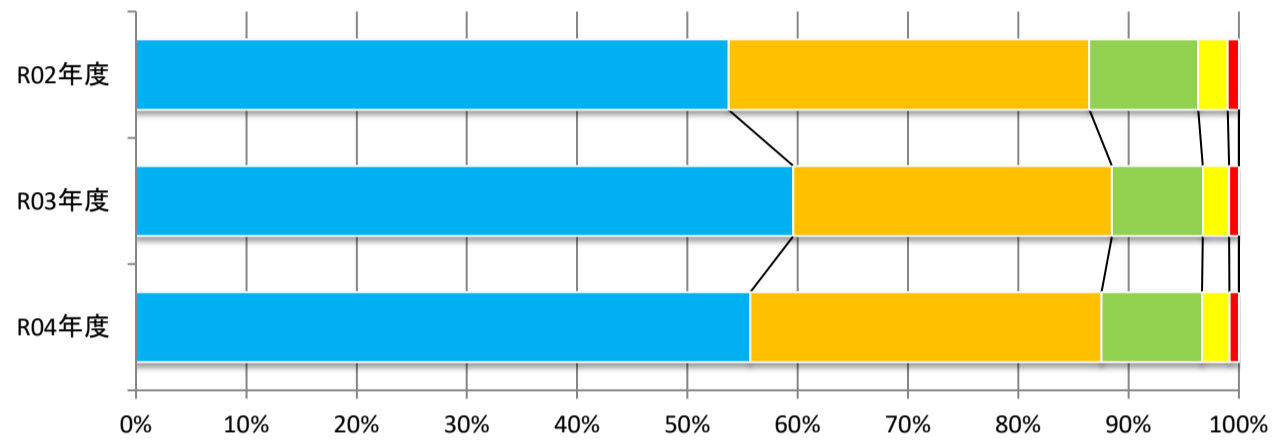
IV 総合評価

16. この授業は総合的に満足できたと思うか。



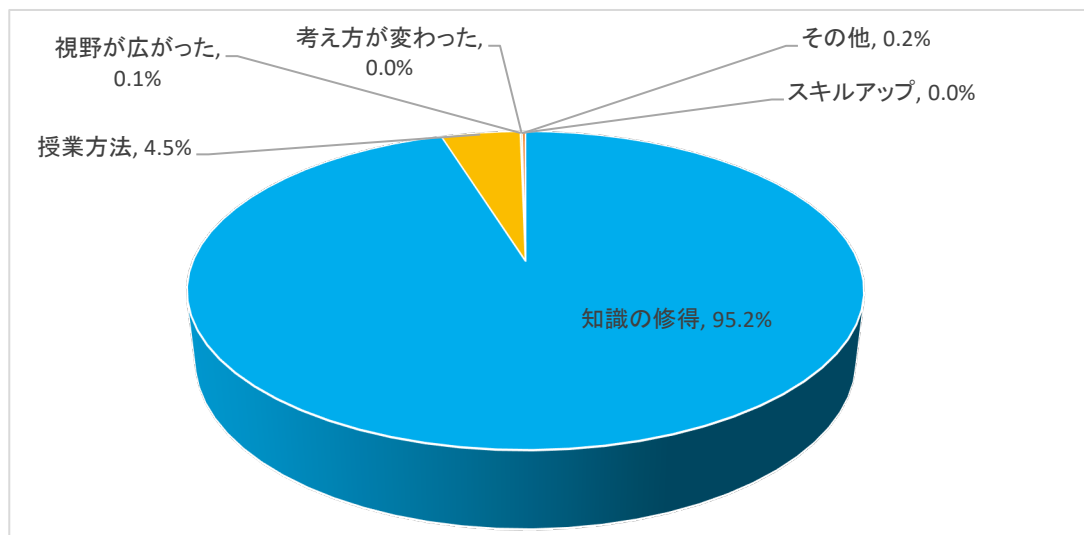
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
51.0	36.3	87.3	—
59.1	30.2	89.3	+ 2.0
55.5	32.8	88.3	△ 1.0

全質問項目の平均



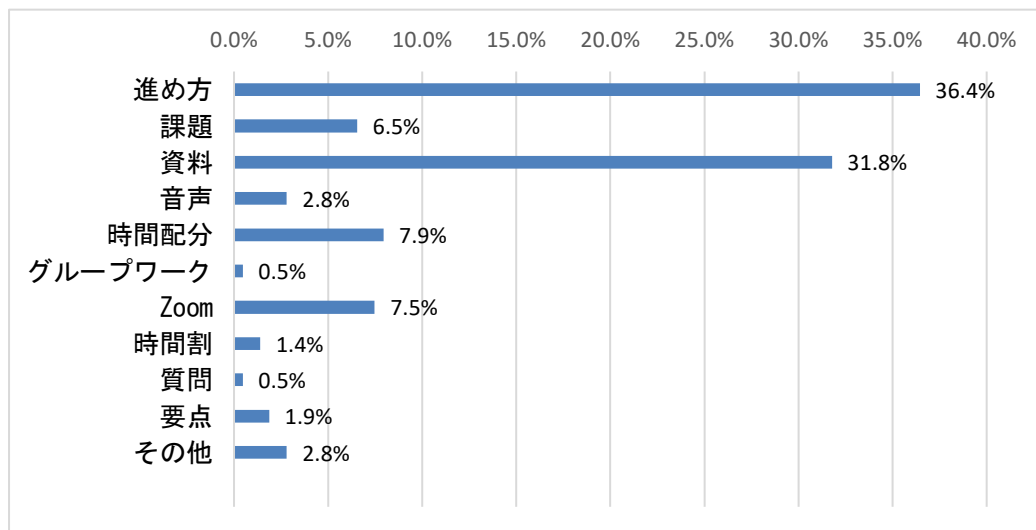
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
53.7	32.7	86.4	—
59.6	28.9	88.5	+ 2.0
55.7	31.8	87.6	△ 0.9

◆ VI この授業を受けて良かったと思うことがありますか。 【総数 997】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	論理学	37	一つの問いに対して様々な人の意見を聞くことが出来て良かったです。それによって新しい視点からの考えを身に付けることが出来た。 様々な人の意見を聞くことが出来それに対し反論できる、ディベートのような形で授業が進んでいくのがとても良かったです。看護師になった際にも自分の意見がきちんと周りに言える練習になると思ったので良かったです。
	スペイン語	35	日本語と英語以外の外国語に触れることが少ないため、新鮮な気持ちで取り組むことができて良かったです。 英語以外の言語を学ぶ機会はありませんため、大学の授業の中でスペイン語を学べて良かったです。また、海外に少し興味があったため毎回の授業でいろいろな国についての特色や観光地も学ぶことが出来て良かったです。
	ヘルスアセスメント	35	看護師には欠かせない、患者さんの観察についてやコミュニケーションについて、バイタルサインについてなどの知識が得られたとともに、バイタルサインは実技もあったため、実際に実技で練習できたのが良かった。 ヘルスアセスメントという看護の基礎の技術を時間をかけて学ぶことが出来た。また実習室も利用しながらの学びでは患者役になりきり、何に患者が不安を抱くかなどと患者の気持ちも考えることが出来た。
	地域看護学概論	34	地域で行われている医療体制や看護師の活躍を学ぶことができて良かったです。また、自分が住んでいる地域について学ぶことによってそこで行われている取り組みや地域医療体制について知ることもできたので良かったです。

◆ VII この授業の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。 【総数 214】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	医学概論	24	zoomで授業を行っていたが、教員側のインターネット接続の状態が悪く、教員がzoomを出たり入ったりを繰り返していた。 授業後に資料が配布されたため、可能であれば授業前に手元にあるようにしたかった。
	老年看護実践論	16	授業資料が分かりにくいので、大事なところやテスト・国試に出る部分を空欄や赤字にしてほしい。 配布資料とスライドの資料が穴埋めや内容の順序などずれている部分が多く、穴埋め箇所を探すところからしなければならぬので、穴埋めに時間がかかり、授業に集中できないところがあったので資料を一致させてほしいです。
	微生物学	13	授業で使用したPowerPointを全てもらえればレポート課題がよりやりやすかったのではないかと感じました。 先生の話をもっときく授業だったので、生徒に意見を聞いたり、グループワークで話し合いなどがあればもっと良いと感じました。
	解剖生理学Ⅱ	10	授業で学習した内容について、特に重要なところなどを教えて欲しいと思いました。また、授業で使用した資料を配布して欲しいと思いました。 線を引いている箇所が多くてどこが特に重要なのか分からず、資料をもらえない授業もあり理解できない部分が多かった。

令和4年度 授業評価集計結果(実習・実験科目)

東京医療保健大学 東が丘看護学部 看護学科

○実習・実験科目数 21 科目

○調査対象者数 1,393 人(延人数)

○総回答数 634件(回答率45.5%)

◆ 質問項目別集計結果

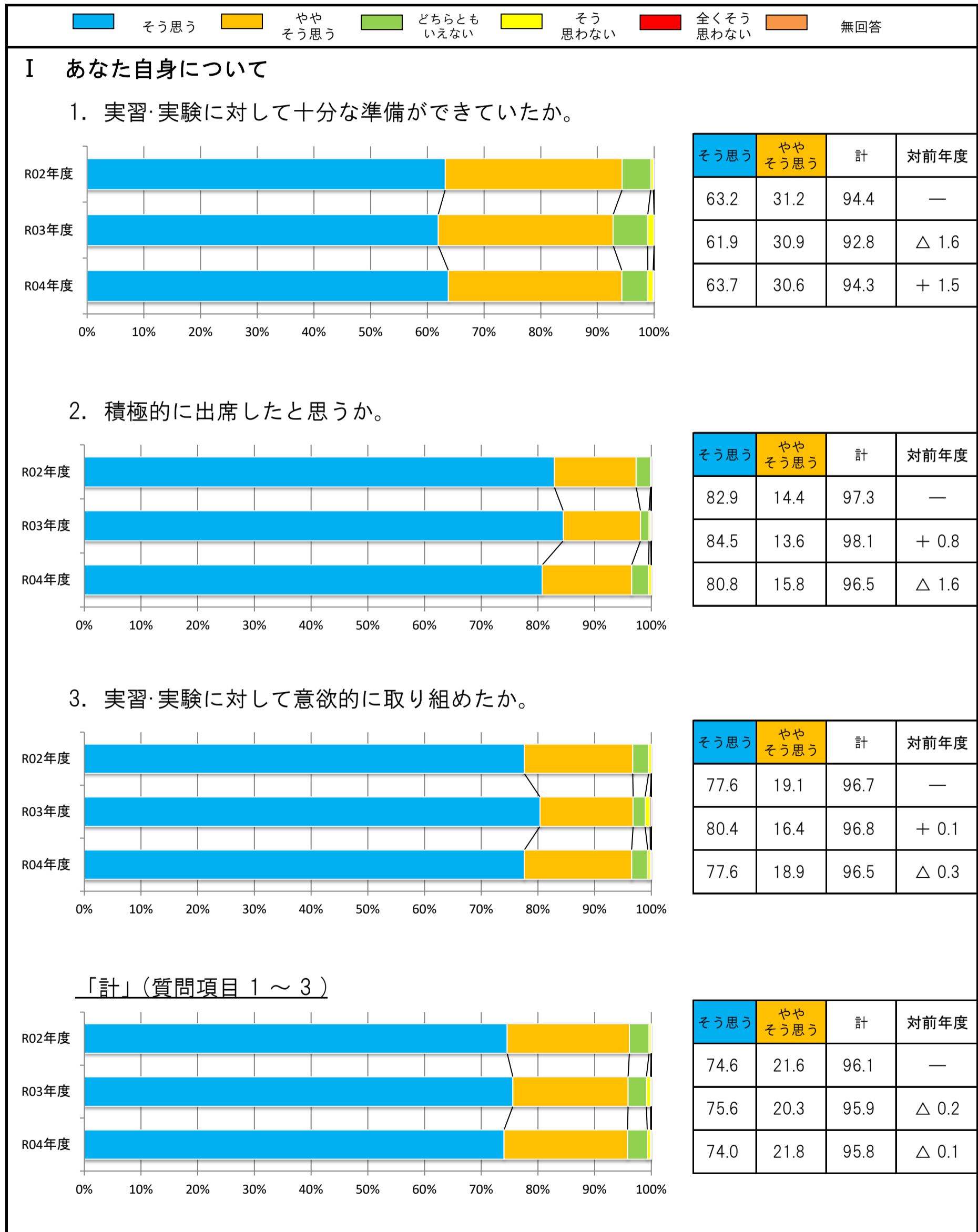
〈上段()は令和3年度アンケート結果〉

質問項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 実習・実験に対して十分な準備ができていたか。	(61.9)	(30.9)	(6.1)	(1.1)	0.0	0.0	(100)
	63.7	30.6	4.6	0.9	0.2	0.0	100
2. 積極的に出席したと思うか。	(84.5)	(13.6)	(1.5)	(0.3)	(0.1)	0.0	(100)
	80.8	15.8	3.0	0.5	0.0	0.0	100
3. 実習・実験に対して意欲的に取り組めたか。	(80.4)	(16.4)	(2.1)	(0.9)	(0.2)	0.0	(100)
	77.6	18.9	2.8	0.5	0.2	0.0	100
計	(75.6)	(20.3)	(3.2)	(0.8)	(0.1)	0.0	(100)
	74.0	21.8	3.5	0.6	0.1	0.0	100
II 実習・実験内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。	(73.9)	(22.1)	(3.2)	(0.6)	(0.1)	0.0	(100)
	70.7	25.4	2.8	0.9	0.2	0.0	100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(78.2)	(18.8)	(2.6)	(0.3)	(0.1)	0.0	(100)
	76.5	20.3	2.4	0.6	0.2	0.0	100
6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(79.0)	(17.6)	(2.8)	(0.4)	(0.2)	0.0	(100)
	78.1	19.1	1.9	0.6	0.3	0.0	100
7. この実習・実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(80.0)	(16.5)	(2.8)	(0.6)	(0.1)	0.0	(100)
	79.2	17.8	2.5	0.5	0.0	0.0	100
計	(77.8)	(18.8)	(2.9)	(0.5)	(0.1)	0.0	(100)
	76.1	20.7	2.4	0.7	0.2	0.0	100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(47.8)	(20.4)	(23.2)	(3.6)	(4.9)	0.0	(100)
	55.0	24.3	16.6	2.1	2.1	0.0	100
9. 学習しやすい実習・実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(75.1)	(19.5)	(3.5)	(1.5)	(0.4)	0.0	(100)
	74.1	20.3	3.5	1.4	0.6	0.0	100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(78.5)	(17.1)	(2.7)	(1.0)	(0.7)	0.0	(100)
	76.3	18.6	3.3	1.4	0.3	0.0	100
11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(77.5)	(17.2)	(3.3)	(1.1)	(0.9)	0.0	(100)
	75.4	20.0	3.5	0.6	0.5	0.0	100
12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。	(79.1)	(16.0)	(3.4)	(0.9)	(0.6)	0.0	(100)
	77.1	18.1	3.5	1.1	0.2	0.0	100
13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(79.3)	(15.7)	(3.1)	(1.2)	(0.7)	0.0	(100)
	78.4	17.7	3.0	0.8	0.2	0.0	100
14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習・実験を行ったと思うか。	(75.2)	(18.9)	(3.3)	(1.8)	(0.8)	0.0	(100)
	72.2	22.7	3.5	1.1	0.5	0.0	100
計	(73.2)	(17.9)	(6.1)	(1.6)	(1.3)	0.0	(100)
	72.7	20.3	5.3	1.2	0.6	0.0	100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
15. この実習・実験は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(48.2)	(17.3)	(15.9)	(10.1)	(8.4)	0.0	(100.0)
	40.9	14.8	14.5	8.5	21.3	0.0	100
16. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。	(73.6)	(19.8)	(5.1)	(0.8)	(0.6)	0.0	(100)
	73.8	21.0	3.3	1.6	0.3	0.0	100
計	(60.9)	(18.6)	(10.5)	(5.5)	(4.5)	0.0	(100)
	57.3	17.9	8.9	5.0	10.8	0.0	100
全質問項目の平均	(71.9)	(18.9)	(5.7)	(2.1)	(1.5)	0.0	(100)
	70.0	20.1	5.0	1.9	2.9	0.0	100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（実習・実験科目）

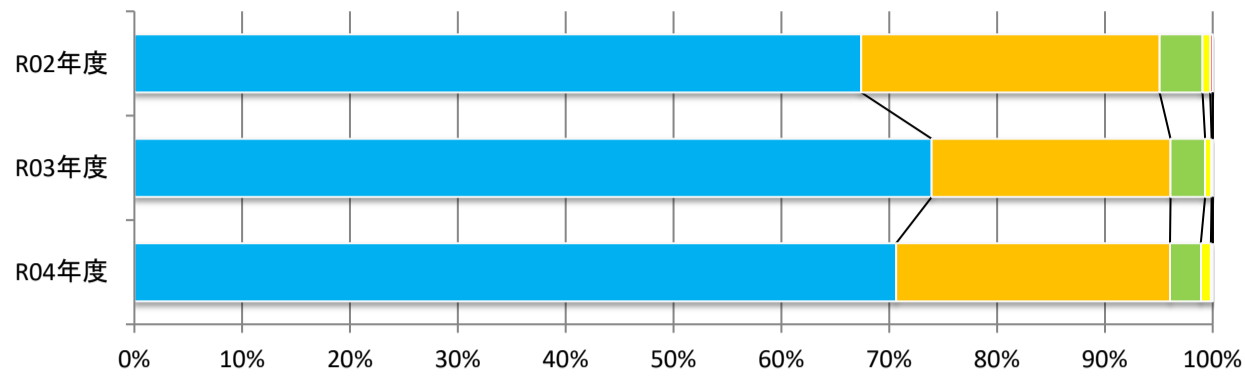
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全科目数	12科目	14科目	21科目
調査対象者数	1,211人	1,431人	1,393人
総回答数（回答率）	853件(70.4%)	998件(69.7%)	634件(45.5%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



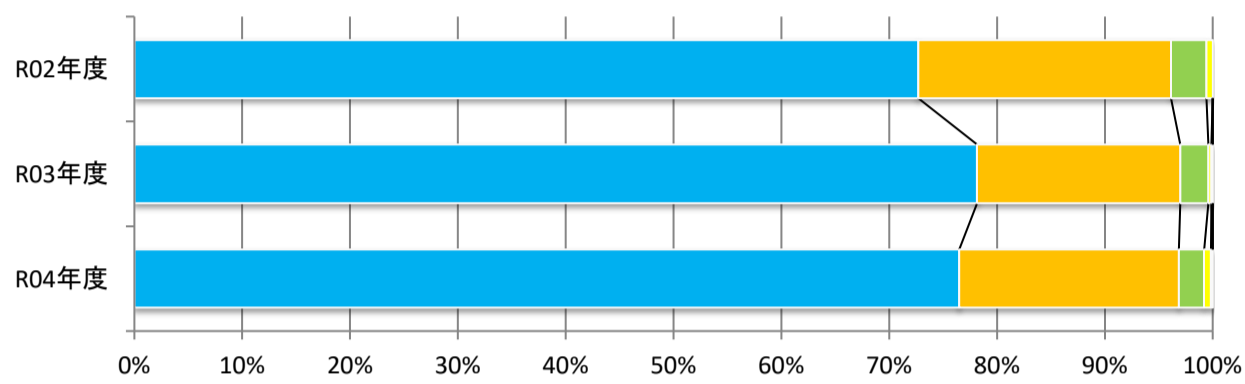
Ⅱ 実習・実験内容について

4. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。



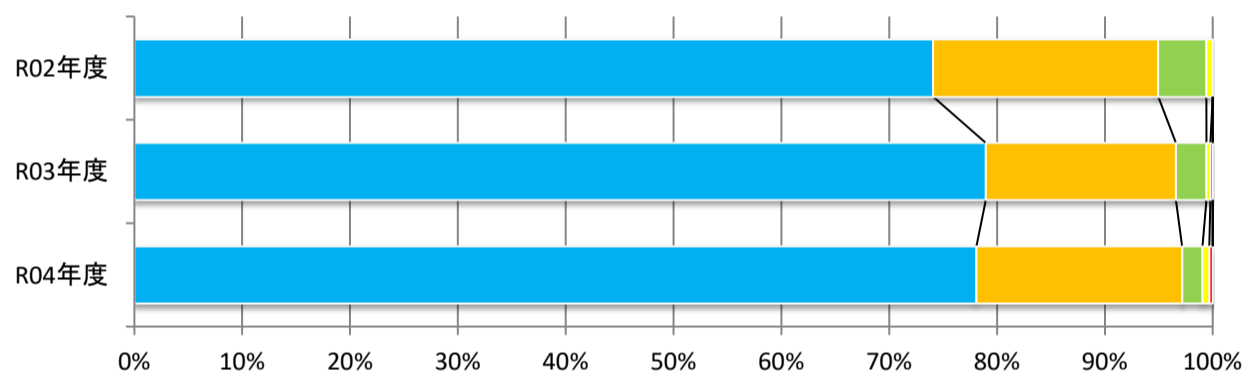
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
67.4	27.7	95.1	—
73.9	22.1	96.1	+ 1.0
70.7	25.4	96.1	△ 0.0

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



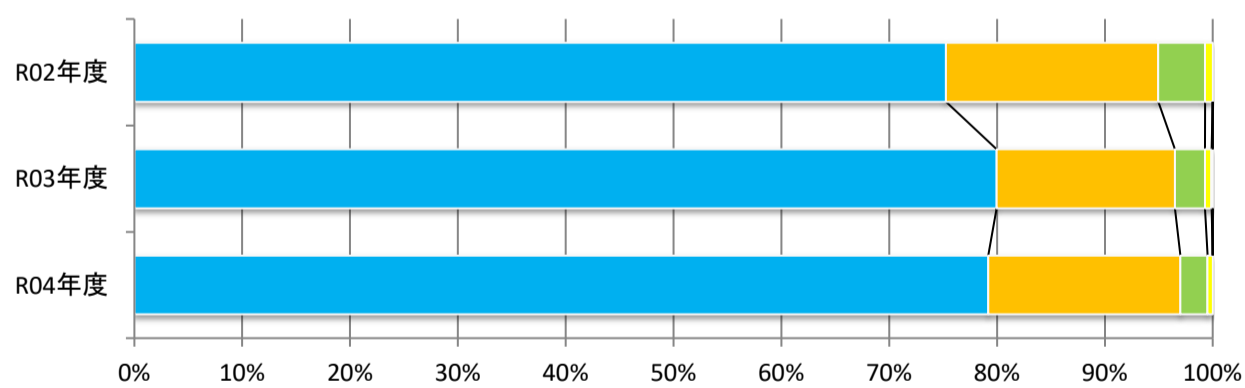
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
72.7	23.4	96.1	—
78.2	18.8	97.0	+ 0.9
76.5	20.3	96.8	△ 0.1

6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。



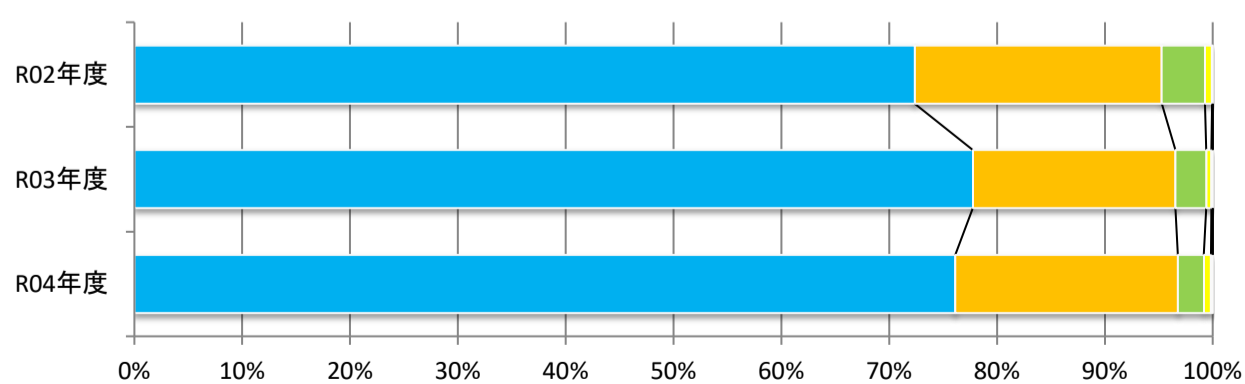
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
74.1	20.9	95.0	—
79.0	17.6	96.6	+ 1.6
78.1	19.1	97.2	+ 0.6

7. この実習・実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
75.3	19.7	95.0	—
80.0	16.5	96.5	+ 1.5
79.2	17.8	97.0	+ 0.5

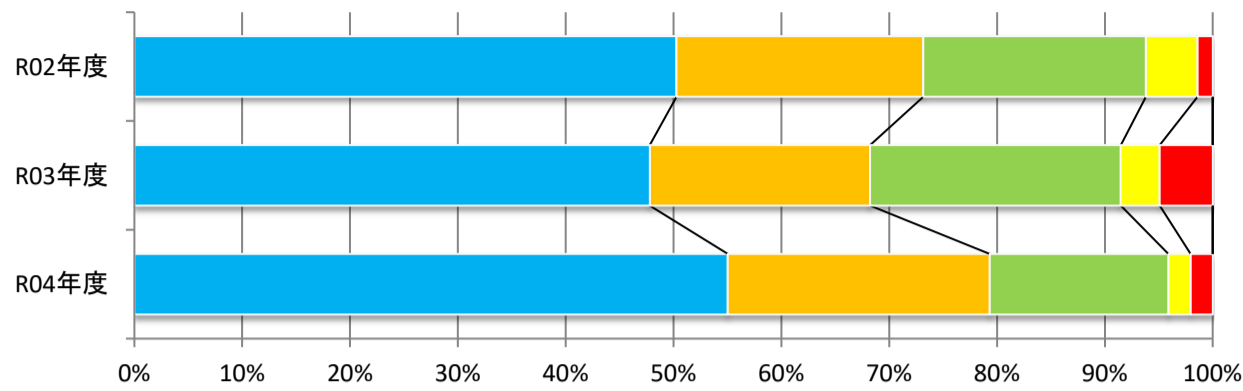
「計」(質問項目 4 ~ 7)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
72.4	22.9	95.3	—
77.8	18.8	96.5	+ 1.3
76.1	20.7	96.8	+ 0.2

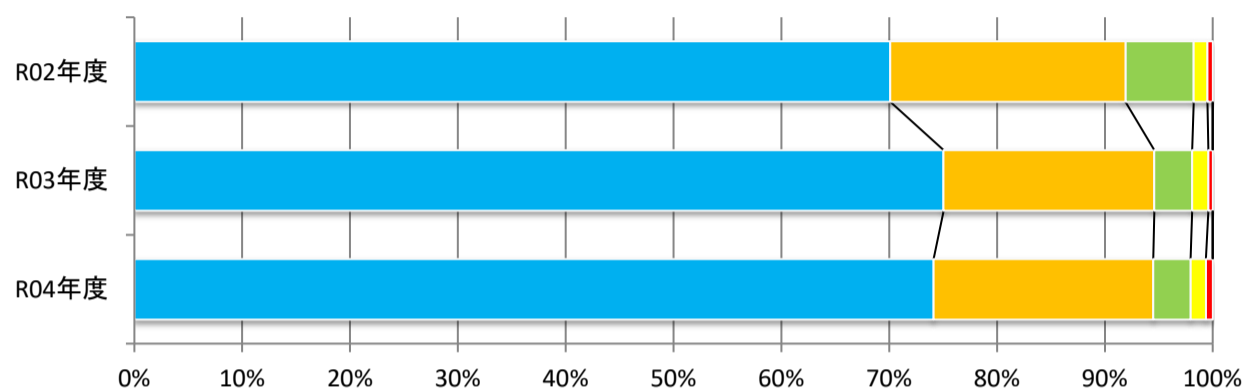
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



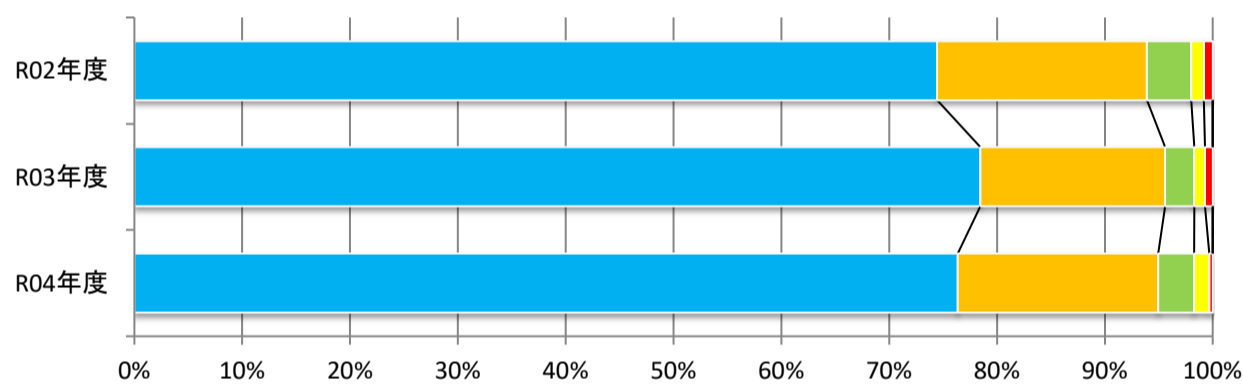
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
50.3	22.9	73.2	—
47.8	20.4	68.2	△ 4.9
55.0	24.3	79.3	+ 11.1

9. 学習しやすい実習・実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。



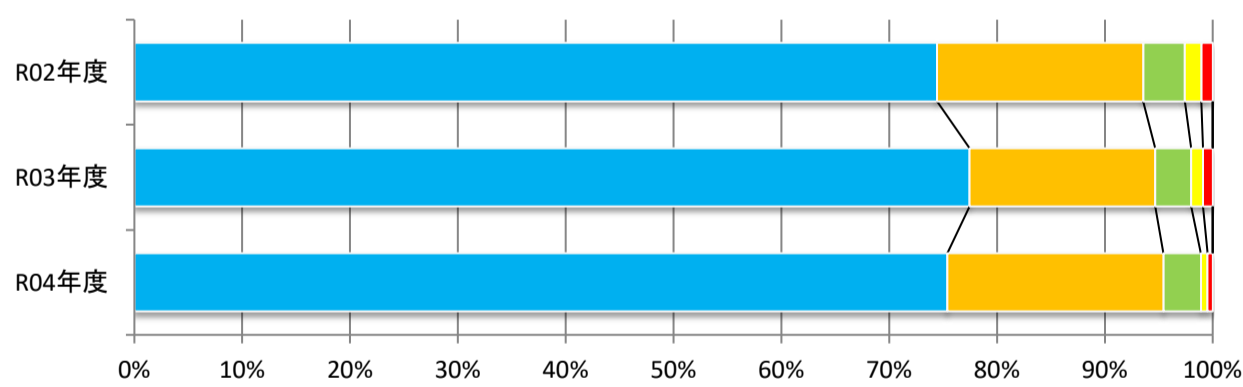
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
70.1	21.8	91.9	—
75.1	19.5	94.6	+ 2.7
74.1	20.3	94.5	△ 0.1

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



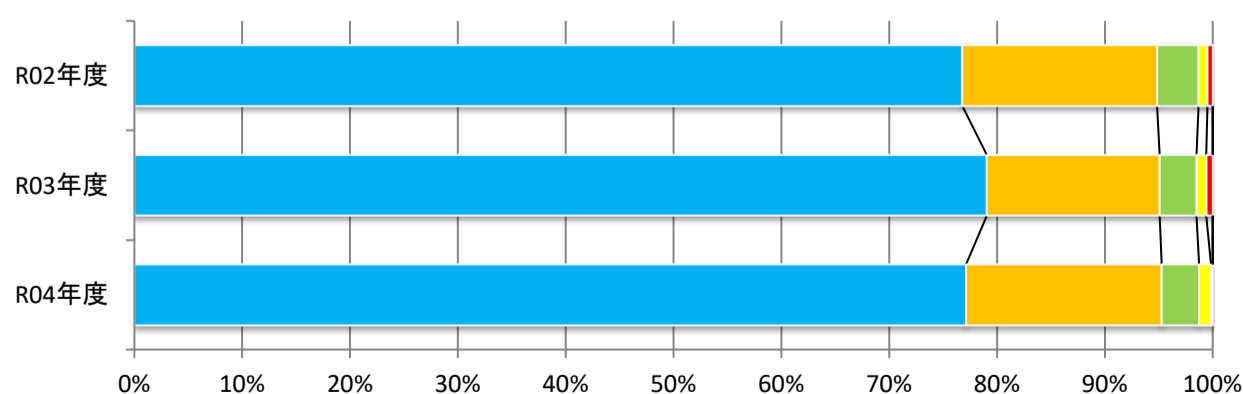
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
74.4	19.5	93.9	—
78.5	17.1	95.6	+ 1.7
76.3	18.6	95.0	△ 0.6

11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



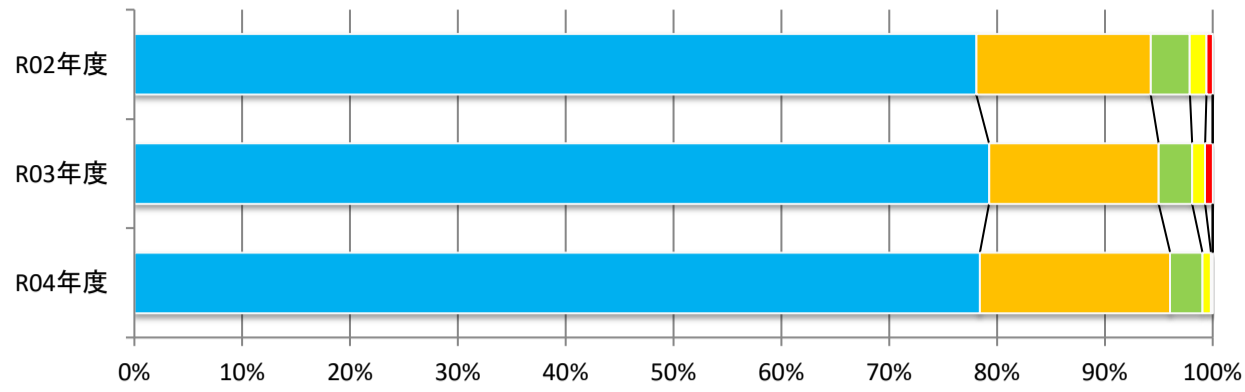
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
74.4	19.1	93.6	—
77.5	17.2	94.7	+ 1.1
75.4	20.0	95.4	+ 0.7

12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。



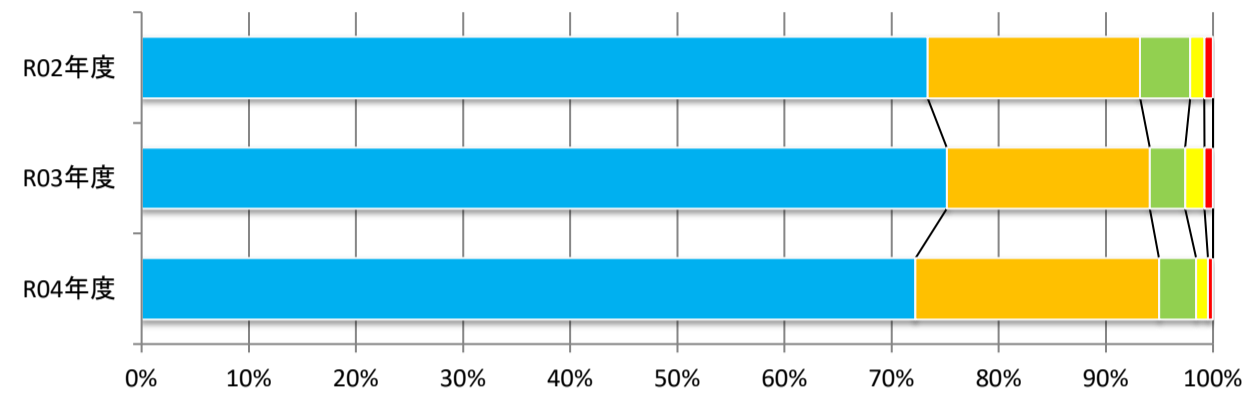
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
76.8	18.1	94.8	—
79.1	16.0	95.1	+ 0.2
77.1	18.1	95.3	+ 0.2

13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。



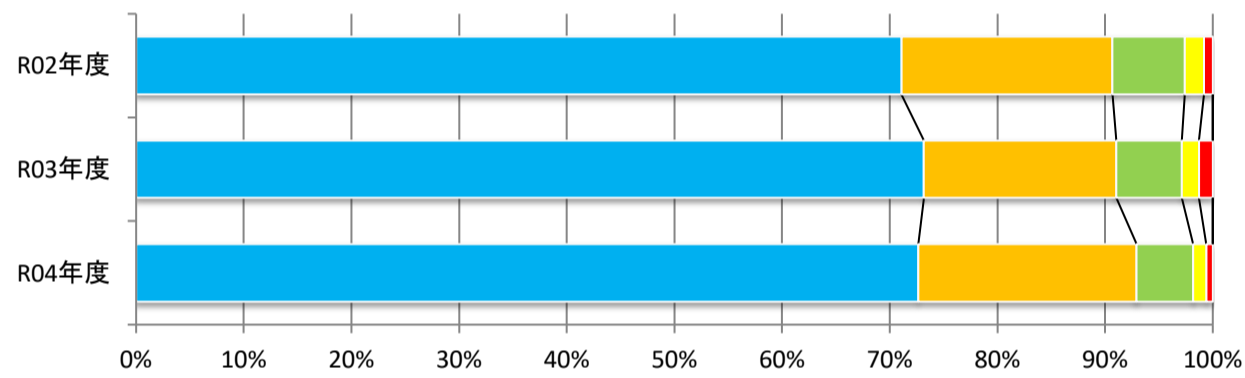
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
78.1	16.2	94.3	—
79.3	15.7	95.0	+ 0.7
78.4	17.7	96.1	+ 1.1

14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習・実験を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
73.4	19.8	93.2	—
75.2	18.9	94.1	+ 0.9
72.2	22.7	95.0	+ 0.9

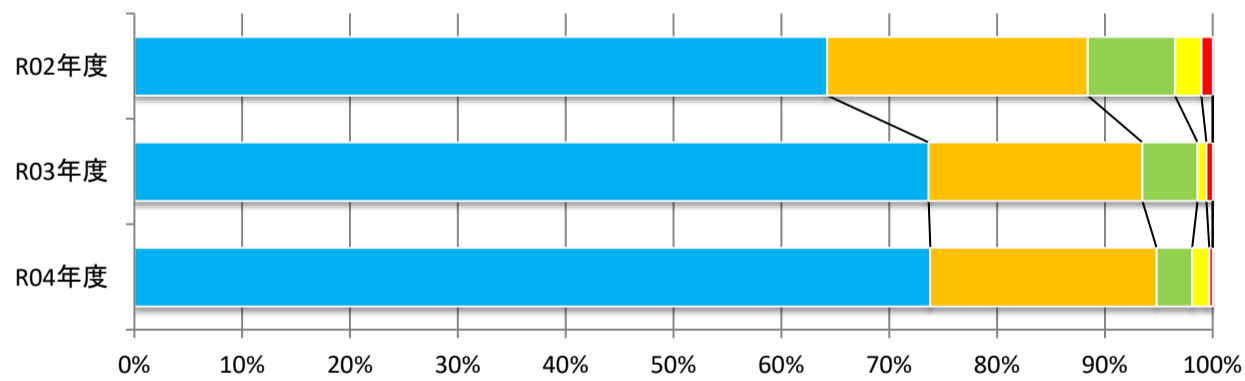
「計」(質問項目 8 ~ 14)



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
71.1	19.6	90.7	—
73.2	17.9	91.0	+ 0.4
72.7	20.3	92.9	+ 1.9

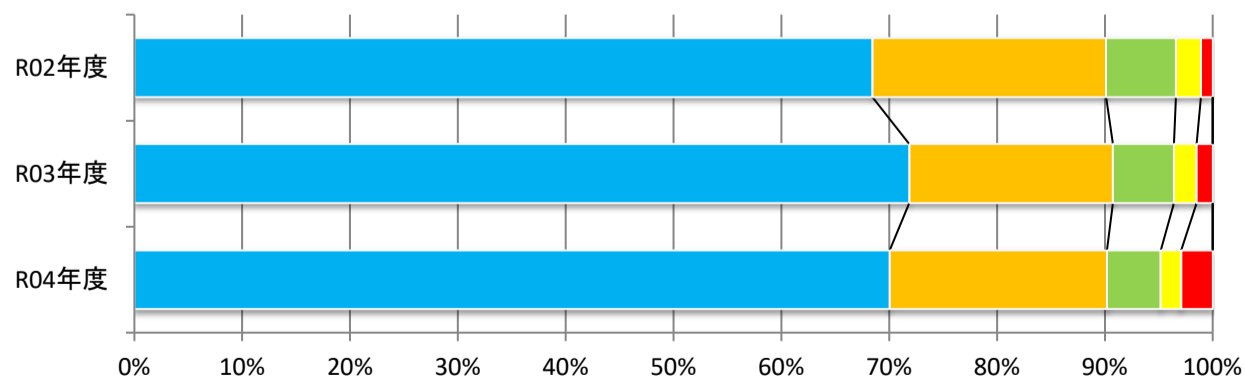
IV 総合評価

15. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。



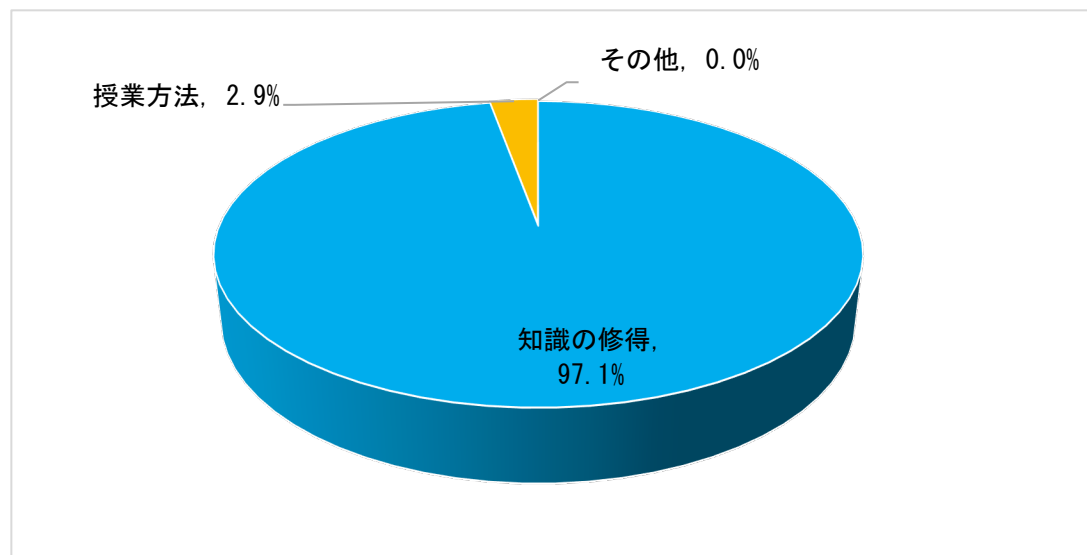
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
64.2	24.2	88.4	—
73.6	19.8	93.5	+ 5.1
73.8	21.0	94.8	+ 1.3

全質問項目の平均



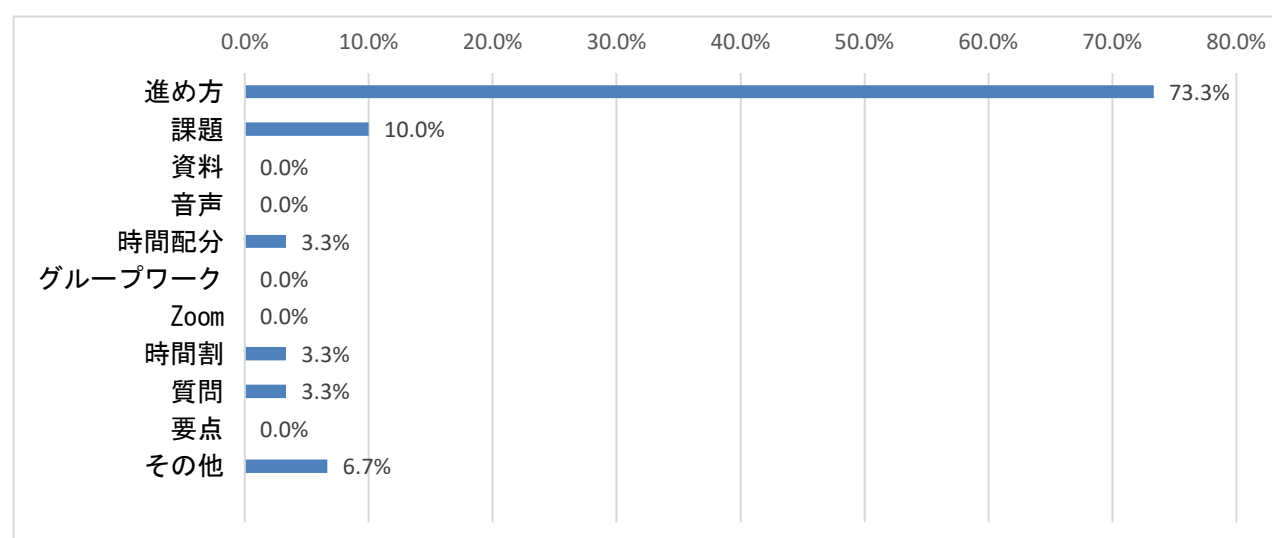
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
68.4	21.7	90.1	—
71.9	18.9	90.7	+ 0.6
70.0	20.1	90.2	△ 0.6

◆ VI この実習・実験を受けて良かったと思うことがありますか。 【総数 140】



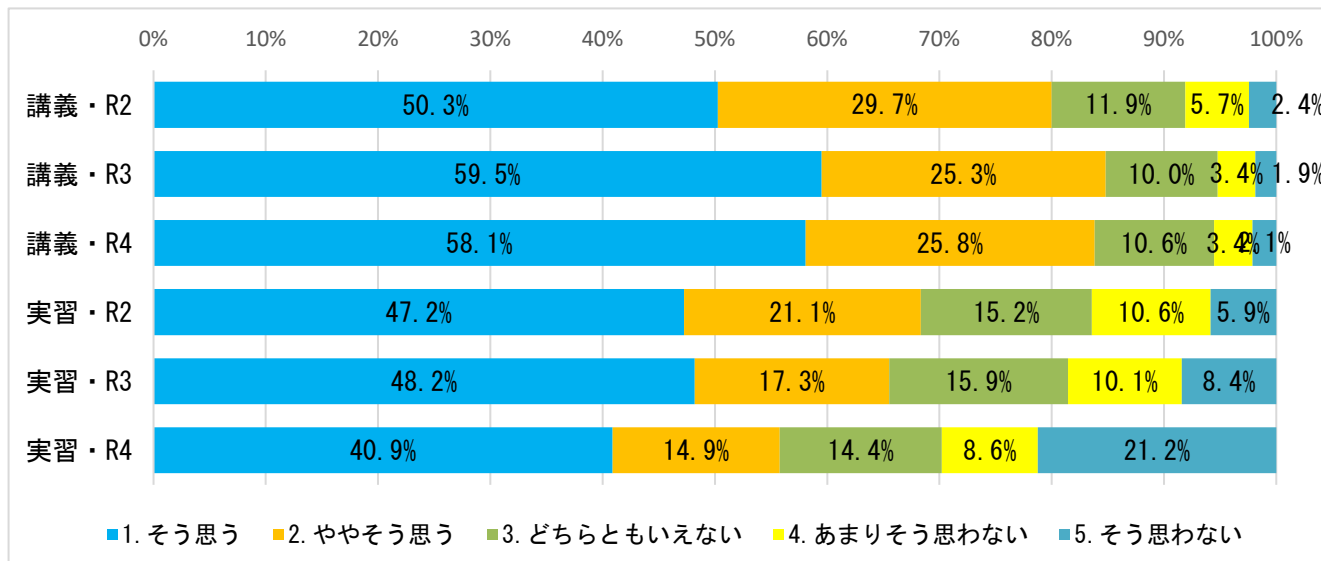
学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	看護学体験実習	38	<p>実際にカルテや病院内を見たり看護師から話を聞くなど今までに経験しなかったことを知ることができ自分の知識を増やすことができたので良かったです。特に地域包括支援センターという場所の実習に行くことができ病院とはまた違った役割があることに気が付くことができたので実習できて良かったです。</p> <p>看護学体験実習と聞いて、最初はすごく怖いイメージしかありませんでしたが、看護師さんも先生もすごく生徒に身近になってくれ、とても良い経験になったとともに、自分がどのような看護師になりたいのか考える機会になりました。</p>
	日常生活援助展開実習	18	<p>実際に患者さんに接して看護をしていく中で演習だけでは気づけなかったこと、実習だからこそ学べたことがたくさんあって実習を受けることができて良かったです。</p> <p>本格的な実習を行えたことで、学年が上がってから行われる実習で開始するまでに改善すべき点を見出すことが出来たことが良かったです。</p> <p>初めて受け持ち患者さんを持たせていただいて、不安の方が大きかったのですが、班ごとに先生がいて下さり安心して実習出来ました。</p>

◆ VII この実習・実験の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。 【総数 25】

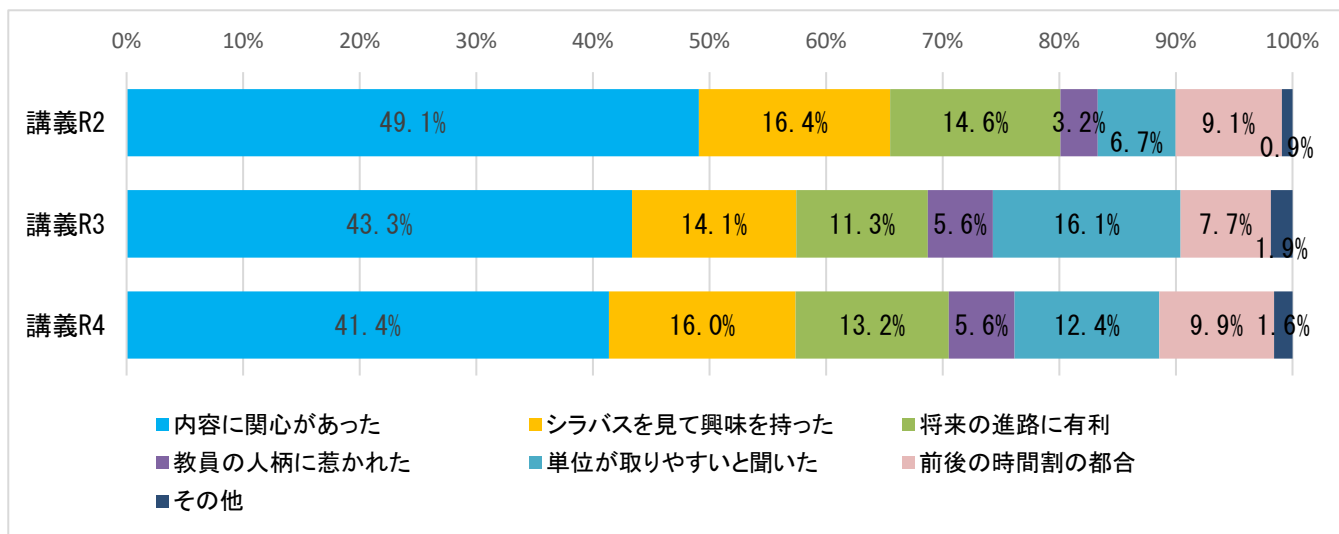


学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	日常生活援助展開実習	5	事前課題が、量があるのに提出期限が短いと思いました。また、課題についての変更した内容とその連絡がわかりにくかったので改善していただきたいです。
	看護学体験実習	4	立っているだけの時間もあったので仕方ないと思いますがそういった時間は他のことをするのに当てたかったです
	在宅看護学実習	4	実習施設が異なるので足並みを完璧にそろえることは難しいと思いますが、せめて記録物の提出日時(実習期間中の日々の記録物以外のデータベースや看護計画、関連図等)は同じ日にちだと良いと感じました。

この授業(実習・実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。



この選択科目の講義を履修した理由は何か



令和4年度 立川看護学部看護学科および東が丘・立川看護学部災害看護学コース の授業評価結果に対する考察

副学長・立川看護学部看護学科長
長田 恵子

1. 授業評価の結果について

○授業評価集計結果について

全 131 科目で対象延べ学生数 10,759 人、回答率は 95.1%と高い率の参加を得ました。2022 年度はアフターコロナに向けた経済活動の拡大や以前の日常の復帰が求められるようになり、学生が授業に対しても日常を取り戻した展開への期待と、自ら意欲的に学修に取り組もうとする意識が高い事が示されたと思います。

総合の設問区分別（講義）を昨年度比で見ますと、学生自身の評価が 4.3 から 4.5 へ、授業内容・教え方・遠隔授業・総合満足度 4.0~4.2 から 4.3~4.45 へと全体的に上向きとなっています。感染状況のその時々における制限に慣れてきた面もありますが、柔軟な対応と、ICT の活用では授業内容のわかりやすさを工夫し、オンラインでも双方向でのやり取りやグループワークなどを通して理解を深め、授業の感想などで都度確認するなどを行ってきたことが反映されたと考えます。特に総合評価の遠隔授業環境での学びやすさや授業の総合的な満足度において、前年度と比較し「そう思う」と明確に回答する学生の率がどちらも 5 ポイント上昇したことに現れていると考えます。

また、総合的な満足度において、実習・実験科目の方は肯定的回答が 93.5%と上昇してきています。特に「そう思う」と回答した学生の率は高く、逆に一昨年度から見ますと否定的回答は 12%程から 6.5%へと半減しています。実習が対面で可能となり、授業に意欲的に取り組めた事が影響しているのではないかと考えます。中でも 3 年生、4 年生はコロナ禍で臨地でも対面の実習はかなり困難で、1~2 年次のほとんどが学内実習であった経緯があり、臨地での実践の期待は大きかったと思います。反面、病院等での看護の展開や患者・家族はもとより指導者とのコミュニケーションにもイメージがつきにくく不安も強いと思われ、教員は、各実習につなげる実践論のところで演習の強化を図るとともに、実習施設の指導者との連携を強化してシームレスな教育体制を推進してきました。実習施設では学生のレディネスをよくご理解頂き、教員とともに取り組んで頂きました。IR 年報の卒業生アンケートでは、専門分野の知識、専門分野に関する技術・技能、チーム医療に関する知識が身についたと明確に回答する学生の割合はいずれも 60%を超え、否定的回答は数%に下降しています。実習での学習の統合や資格取得の自信が大きく影響していると考えます。

以上のように授業評価結果は全体的には、昨年度維持以上の傾向にはあります。しかし、総合の設問区分別（講義）評価結果を全学部で見ますと、遠隔授業評価結果を除き本学部は下方に位置しています。学生の評価への参加率から大方の学生の意見が反映されていると考えますので、授業評価項目に限らず別の視点からも検討する必要があると思います。IR 年報での卒業生アンケートを見ますと、チャレンジ精神が身についたと明確に回答した割合が 52.1%と伸び、否定的回答は

1割程度でした。専門的知識の獲得や論理的・批判的思考や文章表現力に自信をもってきている学生が増えています。その反面、リーダーシップや主体的に学ぶ力に関してはあまり変化がありません。また、IR年報の令和4年度学生の学修に関する実態調査を本学部全学年で見ますと、入学時には身につけていたという能力の割合から自己管理能力やコミュニケーション能力、論理的思考力、課題探求力、問題解決能力などはより伸びる事が期待できるところですし、卒業生アンケートにあるチャレンジ精神の高い学生が発展するためにも学修支援が重要であると考えます。学生の主体性を上げ、思考力を伸ばし発展的考えを広げていくには授業での双方向性の重視、アクティブラーニングの活用など少人数対応ができるような教員数の配置が必要と考えます。しかし、本学部においては教員一人当たりの学生数が圧倒的に多い状態にあります。教員数に対して授業数の分担や授業準備にかかる事の出来る時間、講義内容に演習の組み込みなど工夫を凝らす時間がかかることになり、学修支援に影響していくと考えられます。副専攻の災害看護学コースを中心に産学連携でVR教材開発と活用も始めており、このような開発を発展的なものとしていく上でも重要な観点と思います。

自由記述集計では総件数が昨年の574件から675件へと100件ほど伸びています。その中で、肯定的な評価は92.3%でした。内容を見ますと、学生の学びへの意欲が高く、学びえた事に喜びを感じている事が良くわかります。要望等でも教員との双方向による期待など前向きな意見があり、引き続き学生とともに作り上げる授業へ努力してまいります。具体的に評価されたところではさらに参考にしていくとともに、授業の改善を図っていくよう教員全員で取り組んでまいります。

○学生自身の授業態度について

講義・演習の科目においても実習の科目においても肯定的回答の評価割合は昨年度と同等ですが、「そう思う」と明確に回答する学生が「ややそう思う」から移行している傾向にあります。中でも授業への積極的な出席や、意欲的取組について「そう思う」学生のポイントが上昇しているのは、期待通り対面での授業や演習に切り替わってきているところで、教育内容に応じた対面授業とオンライン講義・演習の組み合わせの工夫や、実習においては前項で述べた取り組みの工夫が、学習意欲の高まりにつながり、学生の明確な意識につながったものと思います。

一方で、具体的項目の授業に対して「十分な準備ができていたか」については、1割程度の学生は否定的な回答であり、次の質問内容であるⅡ授業内容の理解の肯定的回答のポイントが伸びていないこと、Ⅲ教員の考え方・姿勢における「シラバスは学修する上で役に立ったと思うか」の否定的な回答が2割以上の学生となっている点から、シラバスの見直しを含め学修に対する準備性を高め、授業での理解を深めていけるように更なる工夫が必要です。

○授業内容について

総合評価では、肯定的な評価割合は昨年度と同等で、実習の科目においては95%以上の高い割合となっています。全体的な変化は少ないものの、項目毎で見ますと、基本的な専門知識が得られた、新しい考え方や発想が得られた、発展的な学びにつながるところでいずれにおいても「そう思う」との明確に回答する割

合と、講義・演習科目においては肯定的評価の割合が上昇傾向にあります。コロナ禍を経て対面による授業が増加し、タイムリーに学生の理解を確認できるようになったことや、ICTを活用した授業展開がスムーズに進められるようになってきたことなどの体制の影響は大きいと思いますが、専門的知識獲得に向けた学生の努力が強く感じられるとともに、教員もまた専門的知識を理解しやすいよう教授内容の工夫に努力した結果でもあると考えます。

一方で、総合評価の否定的に回答した学生の割合は12%ほどになります。カリキュラムの科目単位数が130単位と学修の幅の広さがある事やその中で専門知識を深めていくところでは、まず学修量を消化する力が必要になります。さらに学修の難易度が上がっていく過程では、例えば専門基礎科目の修得においてはIRの成績評価分布で見ますと、他分野に比較してSとA評価が一番低くC評価が一番高い、素点分布では平均点が低くばらつきが大きくなっているなど、苦手の傾向理由が見えてきています。難度が高くなり修得の難しさを感じたとしても、理解に至らないという結果にならないように、基礎的な医学・看護の知識を次の専門分野へつなげる、情報の分析力を高めるところの強化や効率的で教員フィードバックがタイムリーにできるような学習システムの活用などの工夫が必要と考えます。演習や実習では登校停止に伴う代替えや追実習の方法を検討する必要があります。

○ 教員の考え方・姿勢について

シラバスが学修に役に立つかの点は、肯定的回答が5.5ポイント上昇しました。実習科目において「そう思う」と明確に回答する学生の割合が10ポイント上昇し、否定的な回答の学生が半減したことが大きいですが、講義・演習科目と合わせますと、肯定的回答は全体の80%にも満たない状況です。引き続き学習の準備性や内容のわかりやすさに改善をはかるとともに教授方法にアクティブラーニングを増して学生の能動的学習を促すなどの改善を図る必要があります。

学習しやすい授業環境については、肯定的な意見は昨年度とほとんど変化はありませんが、「そう思う」と明確な回答に5ポイントシフトしており、やはり対面授業に移行してきたことが反映していると考えられます。実習科目においては、実習施設の多くがコロナ禍以前に戻す体制にご尽力いただいております。感染防止対策を図りつつも学生の学びやすさに寄り添っていただいた結果と考えます。

教員の考え方・姿勢では、学生の質問や意見を述べられるよう配慮したと思うか、学生の理解度を確認しているかが上昇傾向です。特に理解度の確認では「そう思う」と明確な回答が増加傾向です。実習科目では病棟配置のグループ毎でかわる体制は昨年度と同じであり、評価もさほど変化はありませんが、講義・演習科目においての「そう思う」回答の伸びと肯定的な評価の上昇が影響しています。教員がオンライン活用において学生に確認の必要性を実感したこと、学生に質問や意見を問う行動が習慣化されてきたなど、確認行動が積極的になり、対面となっても継続されている結果と思います。同様に授業時間の適切な活用においても、ICTの活用に慣れ、対面においてもICTの有効活用につながっているところが昨年度以上に評価されたと思います。総合的満足でも、昨年度より若干の増ではありますが、「そう思う」と明確な回答に5ポイントシフトしており、上記の改善がすすめられてきた結果と考えます。一方で、意見や質問を述べられるよう配慮した、理解度を確認をしているにおいては約15%の学生が否定的です。教

員の問いかけが伝わっていない・伝わりにくかった事も考えられ、明確に示していくこと、インタラクティブな学習へ学生とともに努力していく必要があります。

2. 授業において工夫した点について

○ICTの活用について

コロナ禍での試行錯誤による取り組みから授業展開に活用できるために、そして教員が共有して学部全体で運用するために、ICT ワーキンググループを立ち上げて手順を作成するなどの改善を進めてきました。LMSの有効活用を目標にあげ、特に看護過程の展開において学生の学修過程並びに学修成果を可視化できるシステム導入に繋がっています。

オンライン活用では、学生の反応や理解度を確認するために、課題レポートや、毎回の授業の感想などで都度確認する、ミニテストの実施など工夫を行っています。対面ではないことからの学生の反応をどのように確認していくのかを検討してきたことが対面になってからも活用され、授業内容に応じたオンライン活用につながっています。

○実習・実験の授業について

3~4年生の臨地での学習機会がコロナ禍で狭まっていたことから実習に出る前の準備として演習やオリエンテーションに重きを置きました。演習場を臨地に近づけるために、患者事例の検討を増やし、演習では実習指導者に実際の指導者役として協力頂いて実習しながらに指導を受ける、また臨床の実例や場を直接聞くことで理解を深めるなど工夫を行いました。実習では、学習内容に応じて学内実習に時間をかけて思考力を養い、指導者との連携においては学生の理解度にあわせて進捗を図って進めたこと、顔の見える関係が進んだことで、学生の安心感や実習に臨む姿勢や理解を深める意欲につながったと考えます。

3. 今後の授業への生かし方について

○学生の準備性を促す取り組みについて

学生の準備性を高めるために、シラバスの有効活用については改善をはかっているところですが、特に講義・演習科目では、学生にもっと分かりやすいように科目ごとにDP・CPとの連動性を明確に示していくことと、それぞれの科目の位置づけや科目間のつながり、発展的学びに繋げるための科目の広がりについて示して理解できるようにしていくことが必要と考えます。カリキュラムマップとカリキュラムツリー、シラバスをもとに全科目において学生に説明し、学生と教員が目的目標を十分共有した上で授業を展開できるようにすすめてまいります。

○学習成果の可視化へつなげる取り組みについて

学生の授業参加への意欲向上や、新しい考え方・発想、発展的学びに繋げていく点では、学生自身が自己認知してさらなる学習意欲の向上につなげていく必要があります。その一つとして看護技術到達度ポートフォリオの活用を進めていきます。学生が、カリキュラムの体系の全体像から学年の進行と演習や実習の進捗状況において自身の看護技術の到達度や次目標を明確にでき、修得意欲を増していけるようにポートフォリオとして形成的評価へつなげていきたいと考えます。

○ICTの活用の標準化をはかる取り組みについて

コロナ禍を経て、ICTの活用方法の改善が進み、授業評価でも評価されてきているところですが、全教員が現在のICT関連を効果的に効率的に活用していくためには、互いの工夫や有効活用事例等を共有して発展させていくことや、有効活用がされているのか評価が必要です。卒業生アンケートにも、ネットワークの問題もありますが、電子環境（Web Class等）の満足に否定的な回答が16.5%という結果となっています。対策としてDX推進担当者とICTワーキンググループを中心に、これらの課題には計画的に取り組み、教材開発も含めて学部全体として取り組んでいきます。

- ・講義、演習、実習における学修の連続性の推進をはかるために、教育用電子カルテの活用と実習記録・教員アドバイス・双方向評価が一体化されたシステムの有効活用を計画的に進めるとともに、効果について検討します。
- ・Web Classの活用において、学生の準備性を促し、学習課題・提出・試験の一体化を図るために、活用の共有化をすすめ全教員で取り組んでいきます。
- ・VR教材の作成と活用として、災害看護学、医療安全学、急性期看護の分野で教材開発を行い、事前学習や演習、登校停止時の有効活用などを図って活用の評価に取り組むとともに、他分野での検討をすすめていきます。
- ・ICT活用の実態調査、活用有効事例の収集を行い、FD委員会との連携において教員のスキル向上へつなげ、さらなる活用の推進を図ります。

4. その他

○ネットワーク環境について

ネットワーク環境に不具合が生じることについて、自由記載での意見並びにIRの学修に関する実態調査ネットワーク環境で22.7%に否定的回答がありません。ICT活用の推進、通常の授業においても課題となります。一方で、IR結果で学生のPCサポートやプリントサービスには高く満足している結果となっており、学生の学びやすさへの体制が厚いことは学修支援において大きなサポートとなっていると思います。

以上

令和4年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 立川看護学部 看護学科

○全科目数 131科目

○調査対象者数 10,759人(延人数)

○総回答数 10,230件(回答率95.1%)

◆ 講義・演習科目及び実習・実験科目における共通質問項目別集計結果
 〈質問項目番号の()は実習・実験科目における質問項目の番号である。〉
 〈上段()は令3年度アンケート結果〉

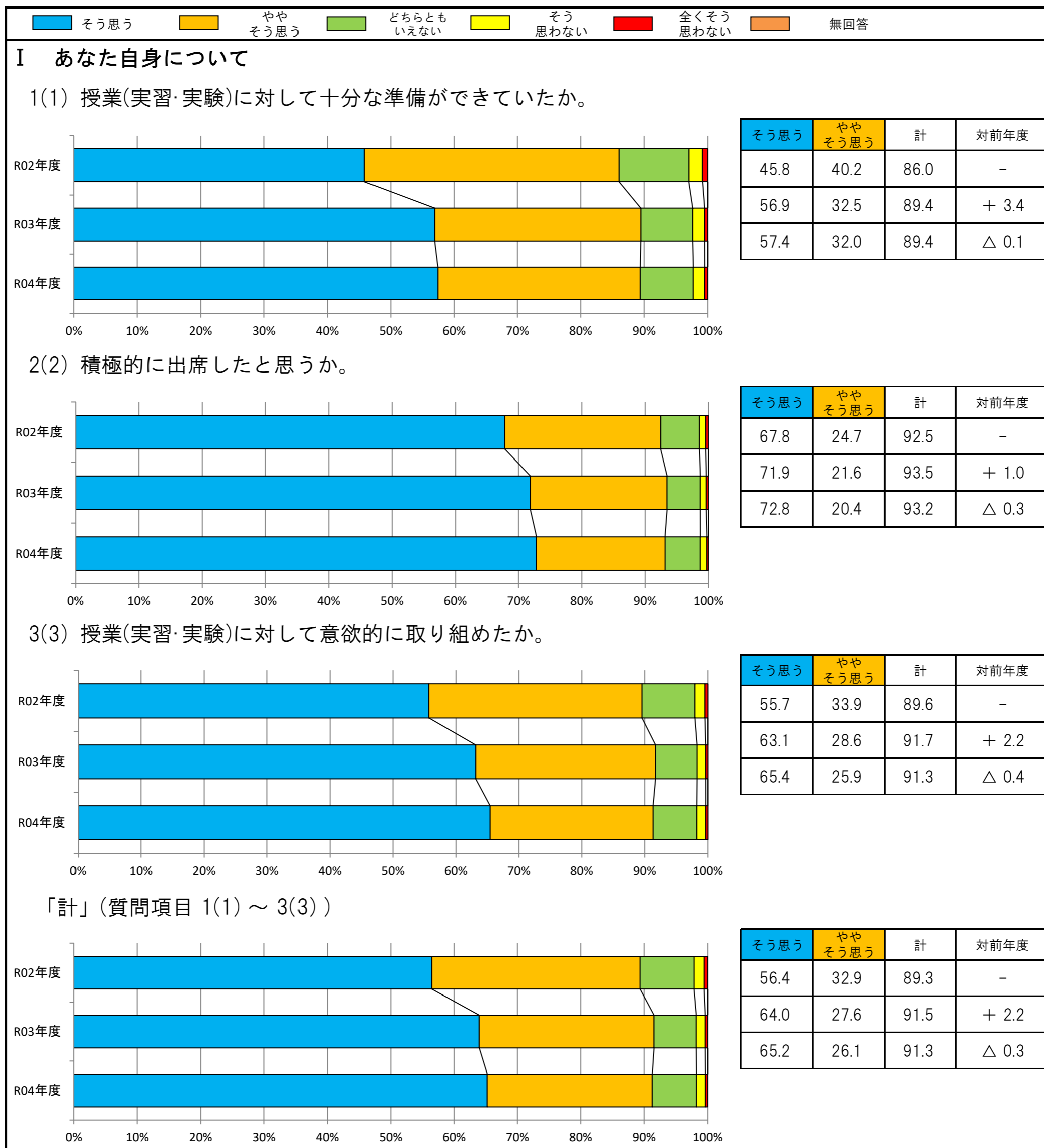
質問項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1(1) 授業(実習・実験)に対して十分な準備ができていたか。	(56.9) 57.4	(32.5) 32.0	(8.2) 8.3	(1.9) 1.8	(0.5) 0.5	0.0 0.0	(100) 100
2(2) 積極的に出席したと思うか。	(71.9) 72.8	(21.6) 20.4	(5.2) 5.5	(0.9) 1.0	(0.4) 0.3	0.0 0.0	(100) 100
3(3) 授業(実習・実験)に対して意欲的に取り組めたか。	(63.1) 65.4	(28.6) 25.9	(6.6) 6.9	(1.4) 1.4	(0.4) 0.3	0.0 0.0	(100) 100
計	(64.0) 65.2	(27.6) 26.1	(6.6) 6.9	(1.4) 1.4	(0.4) 0.4	0.0 0.0	(100) 100
II 授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4(4) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。	(53.5) 55.8	(34.8) 32.5	(8.8) 8.6	(2.2) 2.3	(0.7) 0.8	0.0 0.0	(100) 100
5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(63.1) 64.0	(28.3) 26.7	(6.3) 7.0	(1.7) 1.7	(0.6) 0.6	0.0 0.0	(100) 100
6(6) 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(60.3) 62.9	(28.2) 26.7	(8.6) 8.0	(2.0) 1.8	(0.8) 0.7	0.0 0.0	(100) 100
7(7) この授業(実習・実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(63.5) 65.2	(26.5) 25.0	(7.4) 7.5	(2.1) 1.6	(0.6) 0.7	0.0 0.0	(100) 100
計	(60.1) 62.0	(29.4) 27.7	(7.8) 7.8	(2.0) 1.9	(0.7) 0.7	0.0 0.0	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(47.4) 52.8	(26.9) 27.0	(18.8) 15.2	(4.3) 3.6	(2.6) 1.3	0.0 0.0	(100) 100
9(9) 学習しやすい授業(実習・実験)環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(62.5) 67.3	(28.1) 23.8	(6.6) 6.8	(2.0) 1.4	(0.8) 0.7	0.0 0.0	(100) 100
10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(62.5) 65.3	(26.0) 24.3	(7.8) 7.4	(2.6) 2.2	(1.1) 0.8	0.0 0.0	(100) 100
12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(54.6) 59.0	(28.7) 27.0	(11.7) 10.5	(3.2) 2.6	(1.7) 0.8	0.0 0.0	(100) 100
13(12) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。	(61.1) 64.8	(27.0) 24.6	(8.2) 7.8	(2.3) 2.1	(1.3) 0.8	0.0 0.0	(100) 100
14(13) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(66.5) 68.8	(25.4) 22.9	(5.9) 6.6	(1.4) 1.1	(0.8) 0.5	0.0 0.0	(100) 100
15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習・実験)を行ったと思うか。	(53.8) 57.8	(29.1) 27.0	(11.4) 11.3	(4.0) 2.7	(1.8) 1.2	0.0 0.0	(100) 100
計	(58.4) 62.3	(27.3) 25.2	(10.1) 9.4	(2.8) 2.2	(1.4) 0.9	0.0 0.0	(100) 100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16(15) この授業(実習・実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(53.5) 58.0	(25.6) 22.2	(12.1) 11.1	(4.9) 4.2	(3.9) 4.5	0.0 0.0	(100) 100
17(16) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。	(56.5) 61.7	(31.2) 27.6	(8.3) 7.7	(2.7) 2.1	(1.3) 0.8	0.0 0.0	(100) 100
計	(55.0) 59.8	(28.4) 24.9	(10.2) 9.4	(3.8) 3.2	(2.6) 2.7	0.0 0.0	(100) 100
全質問項目の平均	(59.4) 62.3	(28.2) 26.0	(8.7) 8.4	(2.5) 2.2	(1.3) 1.1	0.0 0.0	(100.0) 100

授業評価アンケート集計結果 年度別比較

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果

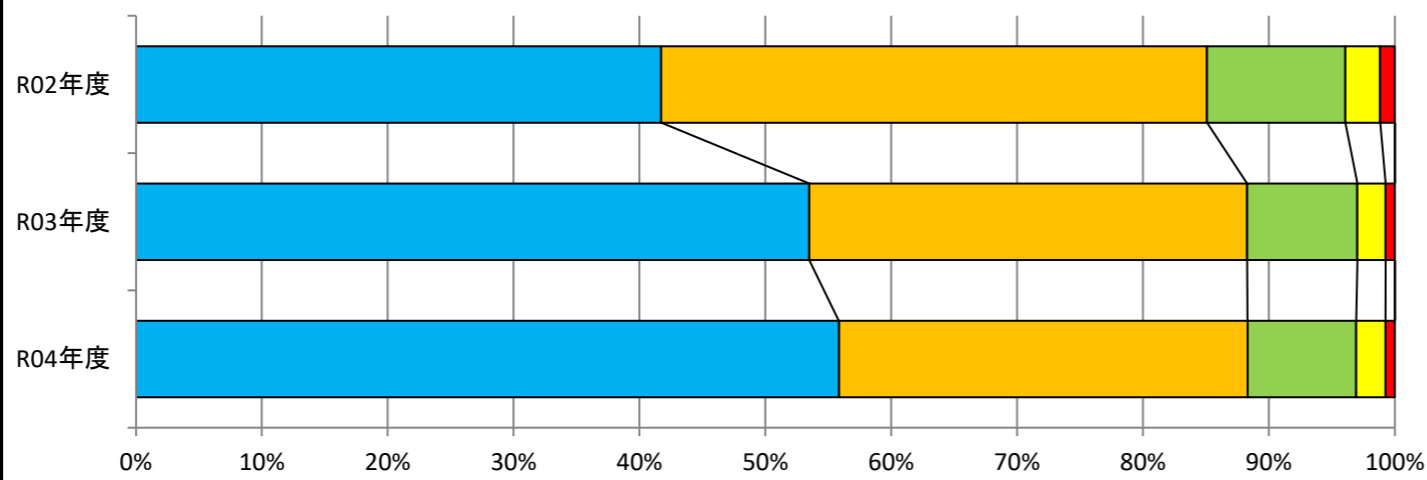
	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全科目数	195科目	192科目	83科目	137科目	131科目
調査対象者数	18,794人	18,211人	8,332人	10,769人	10,759人
総回答数(回答率)	17,185枚(91.4%)	17,510枚(96.2%)	6,778件(81.3%)	9,372件(87.0%)	10,230件(95.1%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



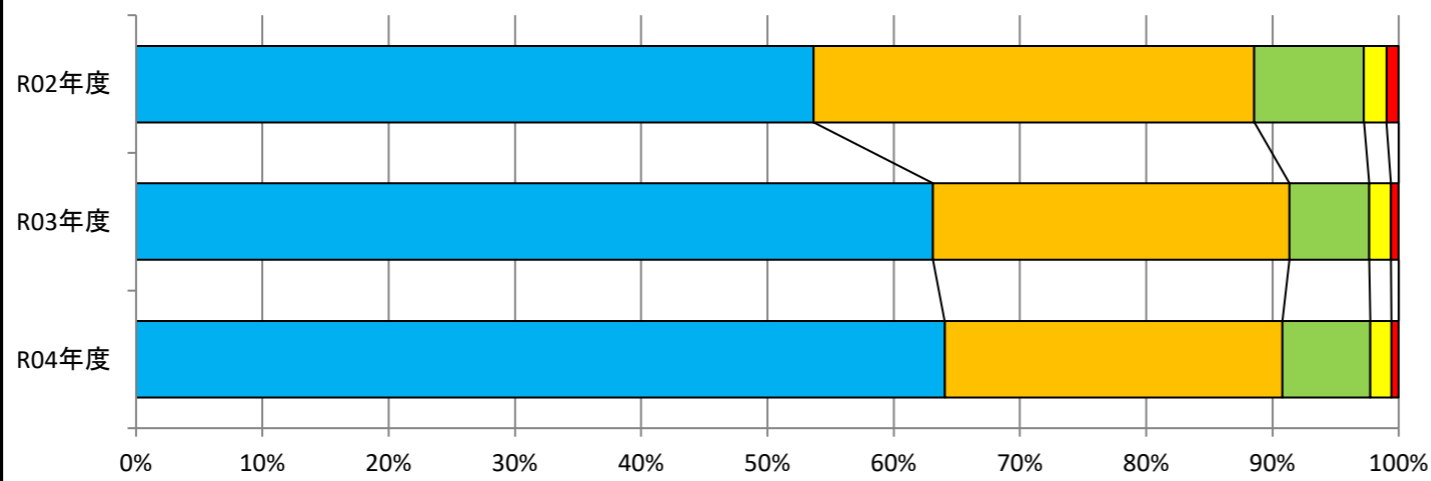
II 授業内容について

4(4) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。



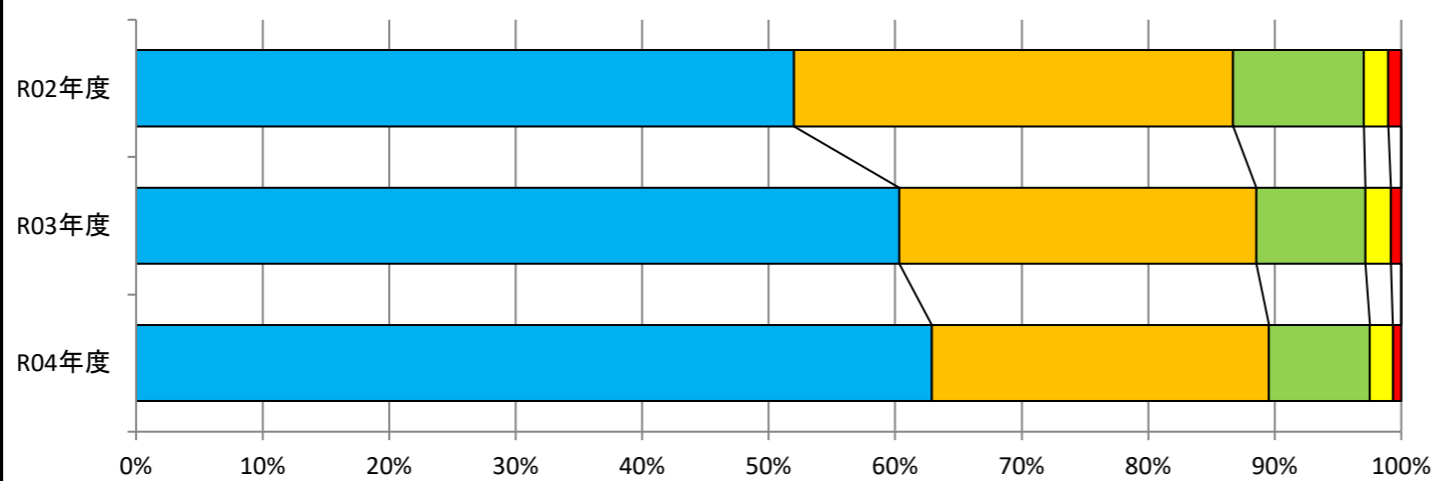
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
41.7	43.4	85.1	-
53.5	34.8	88.2	+ 3.2
55.8	32.5	88.3	+ 0.0

5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。



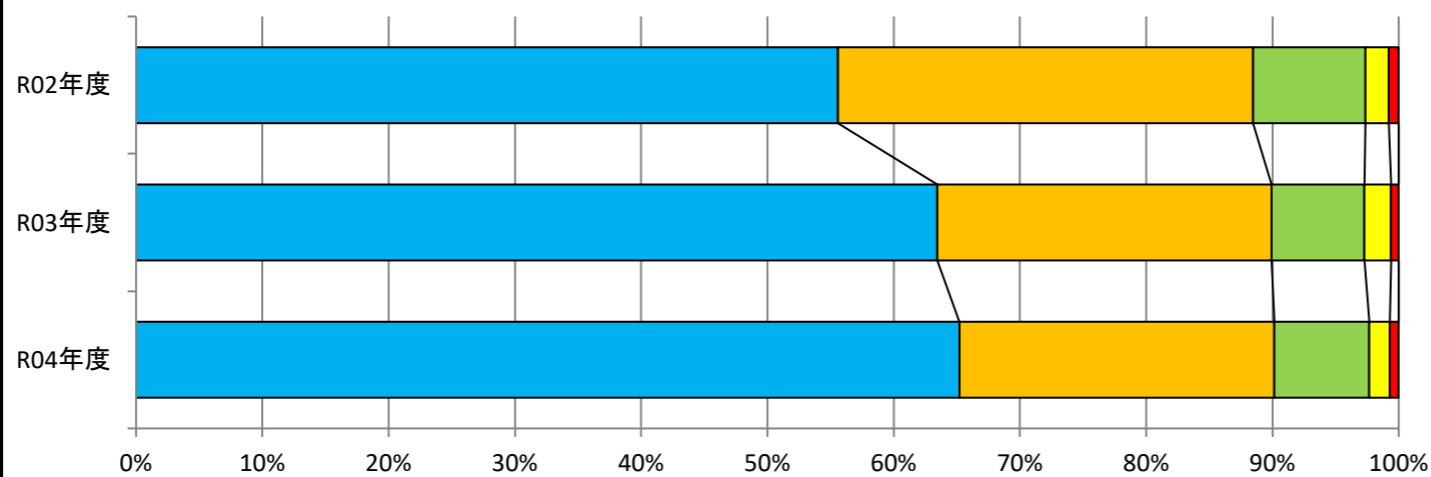
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
53.6	34.9	88.6	-
63.1	28.3	91.3	+ 2.8
64.0	26.7	90.8	△ 0.6

6(6) 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。



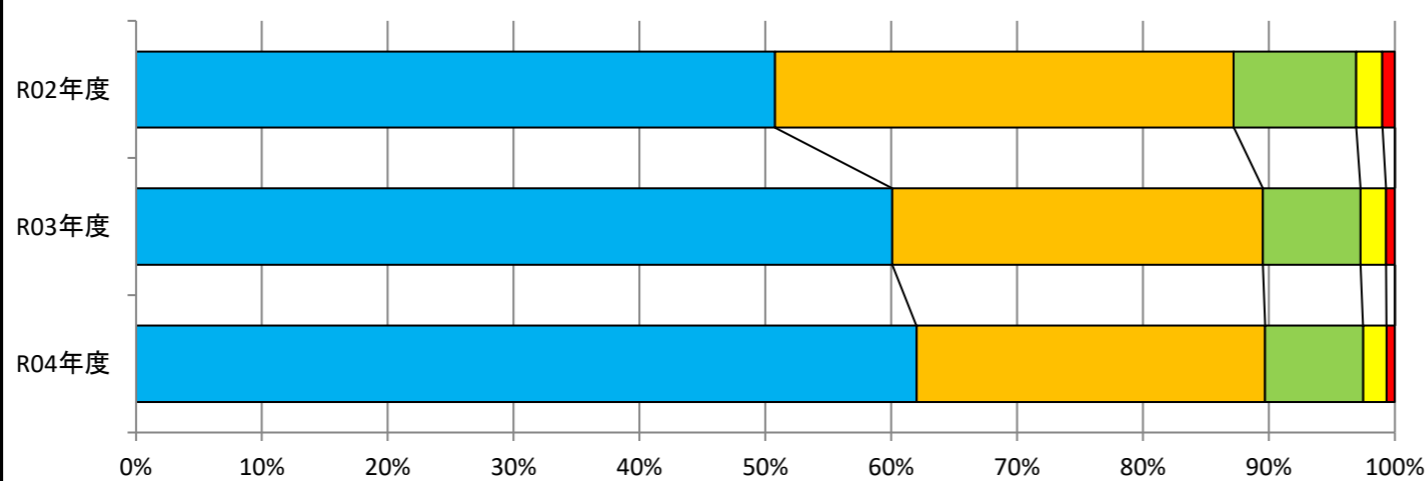
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
52.0	34.7	86.7	-
60.3	28.2	88.6	+ 1.8
62.9	26.7	89.6	+ 1.0

7(7) この授業(実習・実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
55.6	32.9	88.5	-
63.5	26.5	89.9	+ 1.5
65.2	25.0	90.2	+ 0.2

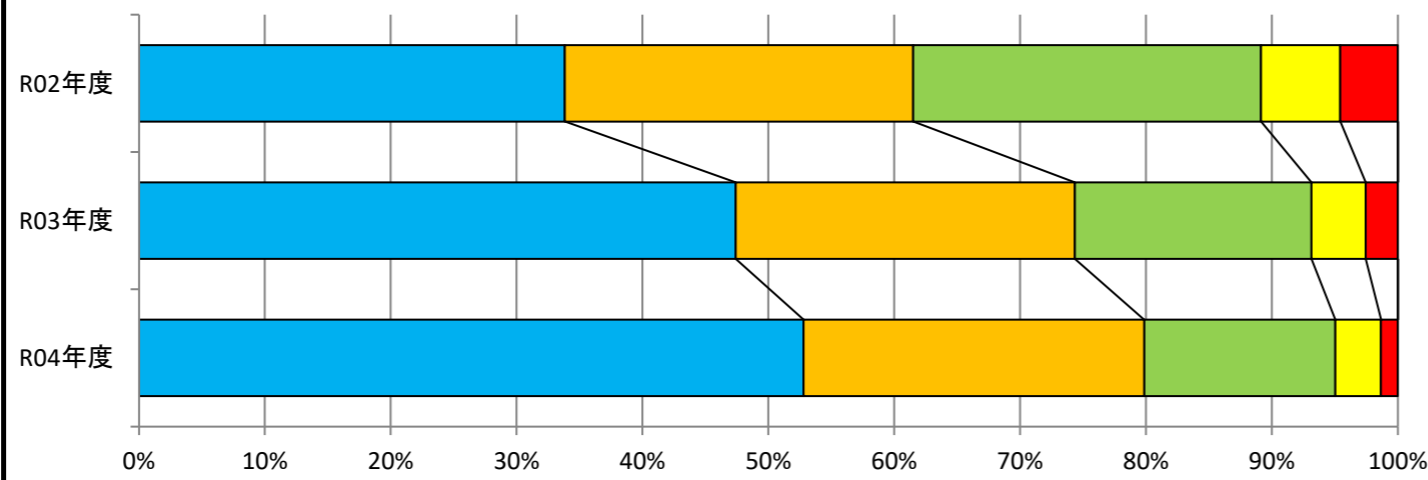
「計」(質問項目 4(4) ~ 7(7))



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
50.7	36.5	87.2	-
60.1	29.4	89.5	+ 2.3
62.0	27.7	89.7	+ 0.2

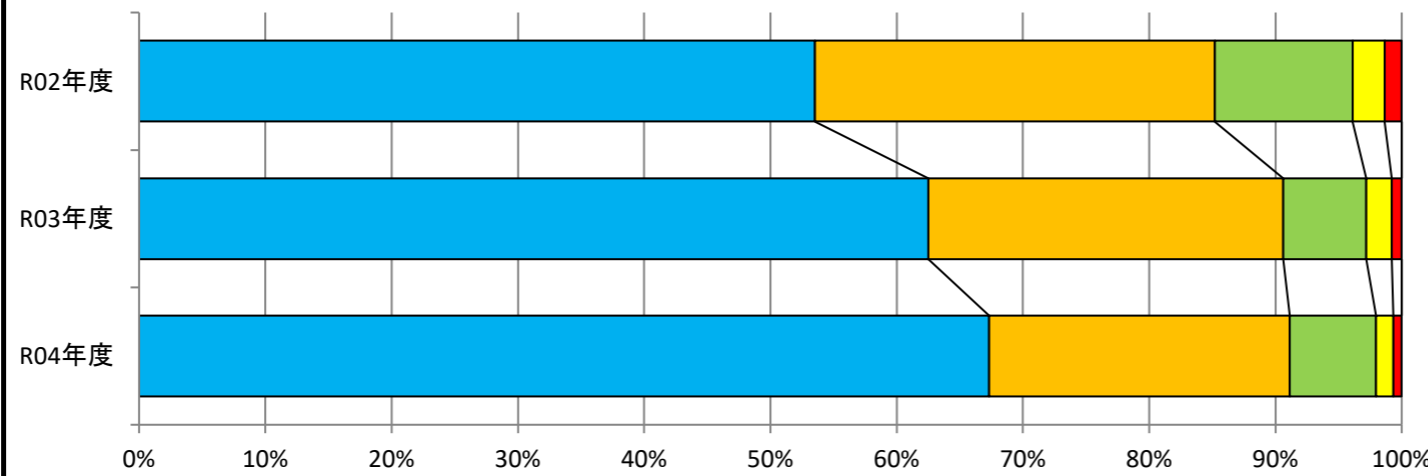
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



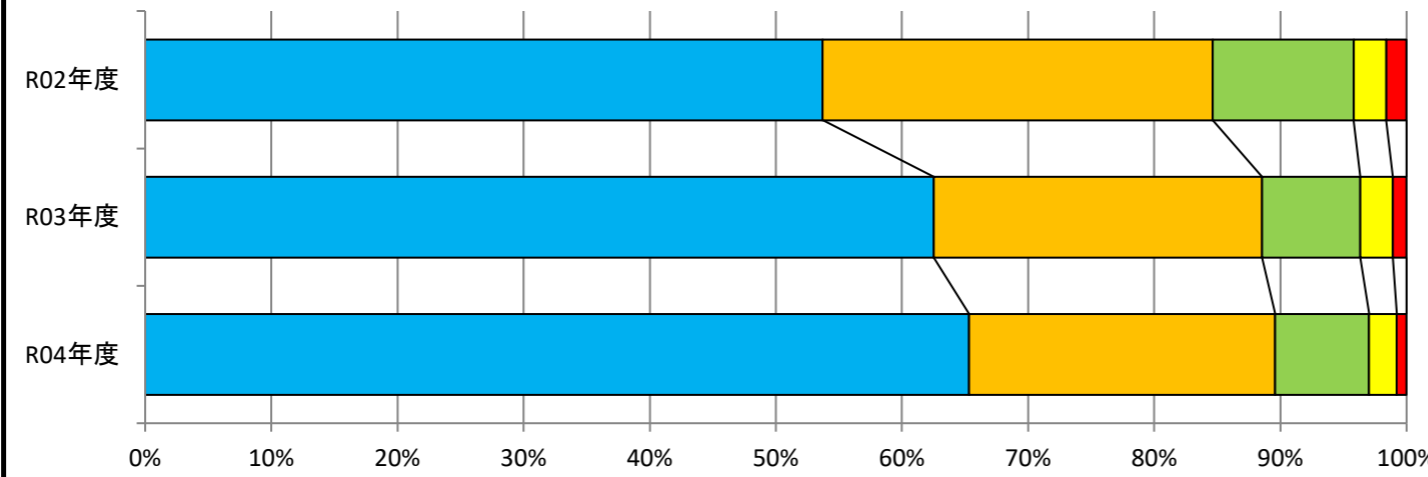
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
33.8	27.7	61.5	-
47.4	26.9	74.3	+ 12.8
52.8	27.0	79.9	+ 5.5

9(9) 学習しやすい授業(実習・実験)環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。



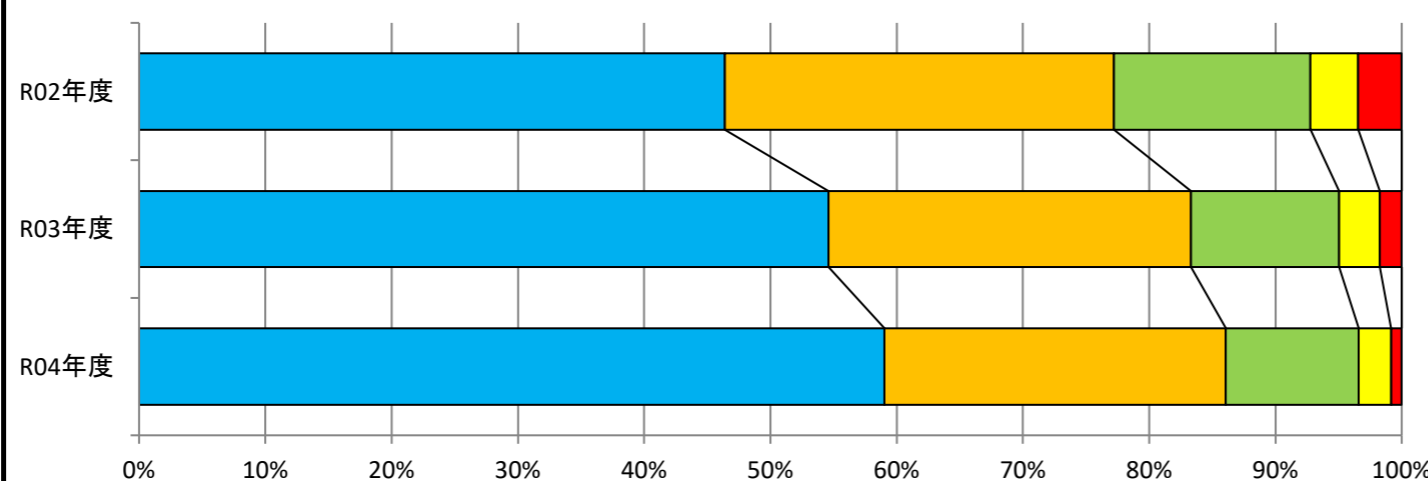
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
53.5	31.7	85.2	-
62.5	28.1	90.6	+ 5.4
67.3	23.8	91.1	+ 0.5

10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



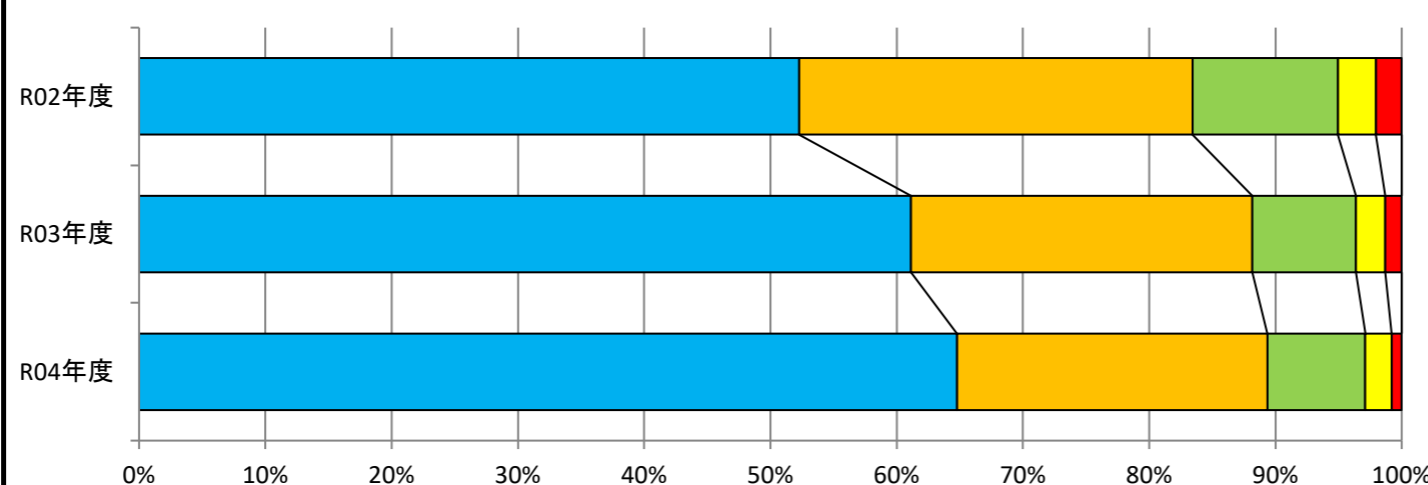
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
53.7	30.9	84.6	-
62.5	26.0	88.6	+ 3.9
65.3	24.3	89.6	+ 1.0

12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



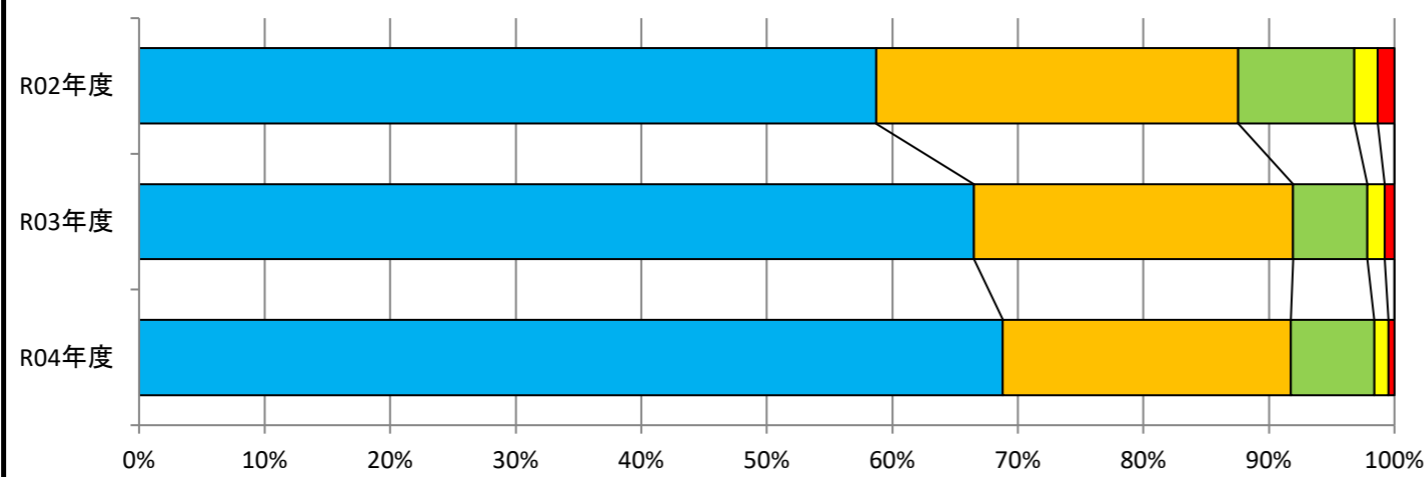
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
46.4	30.8	77.2	-
54.6	28.7	83.3	+ 6.1
59.0	27.0	86.1	+ 2.8

13(12) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。



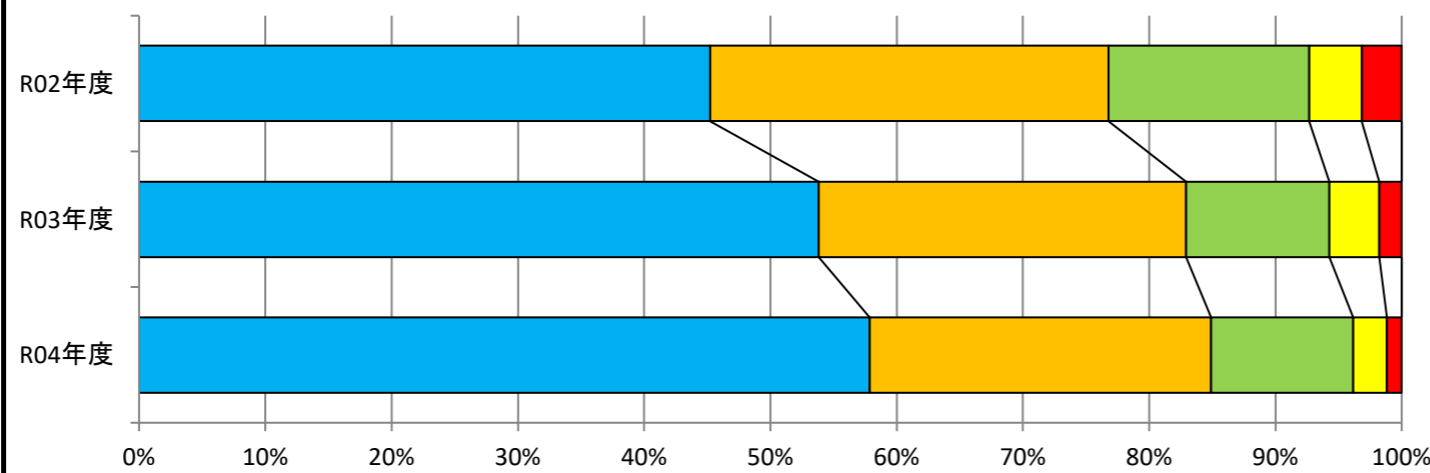
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
52.3	31.2	83.4	-
61.1	27.0	88.2	+ 4.7
64.8	24.6	89.4	+ 1.2

14(13) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。



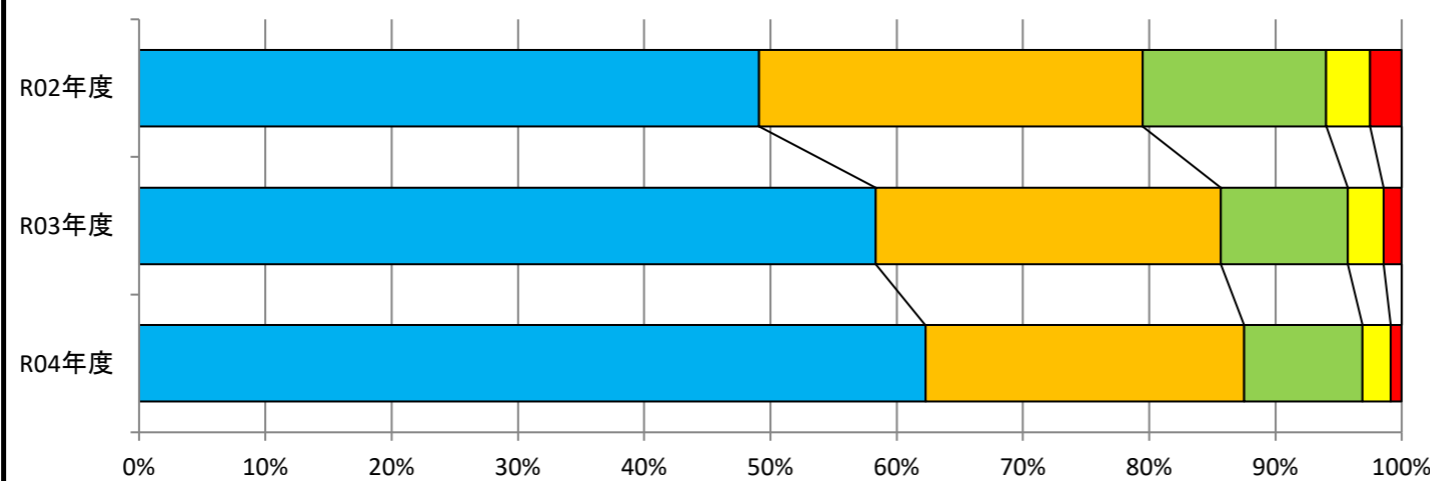
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
58.7	28.9	87.6	-
66.5	25.4	91.9	+ 4.4
68.8	22.9	91.7	△ 0.2

15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習・実験)を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
45.2	31.6	76.8	-
53.8	29.1	82.9	+ 6.1
57.8	27.0	84.9	+ 2.0

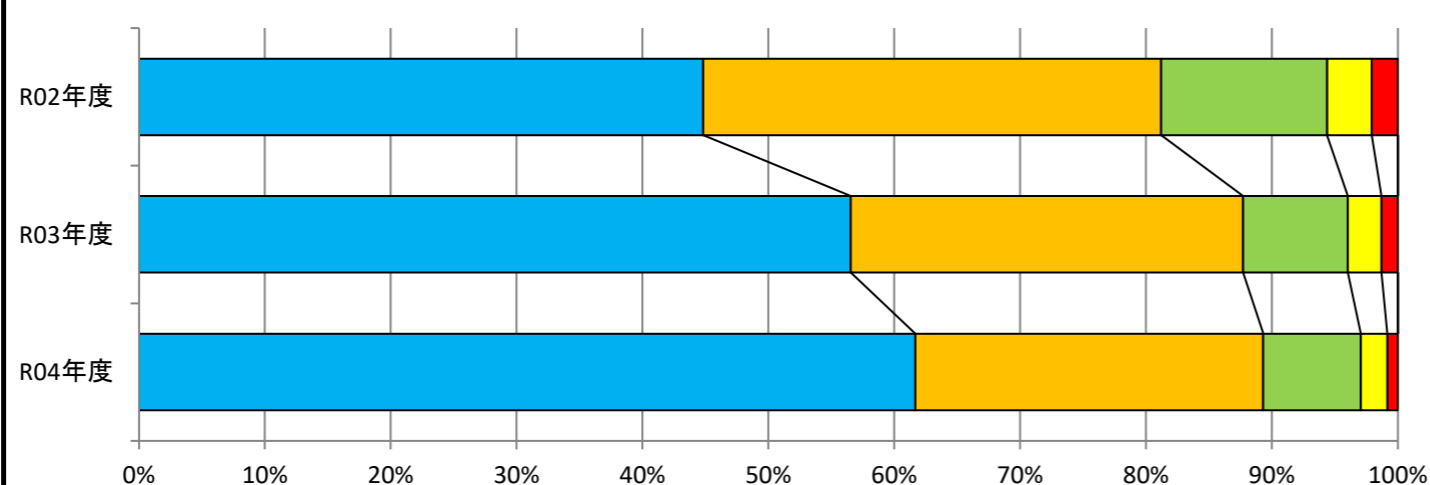
「計」(質問項目 8(8) ~ 15(14))



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
49.1	30.4	79.5	-
58.4	27.3	85.7	+ 6.2
62.3	25.2	87.5	+ 1.8

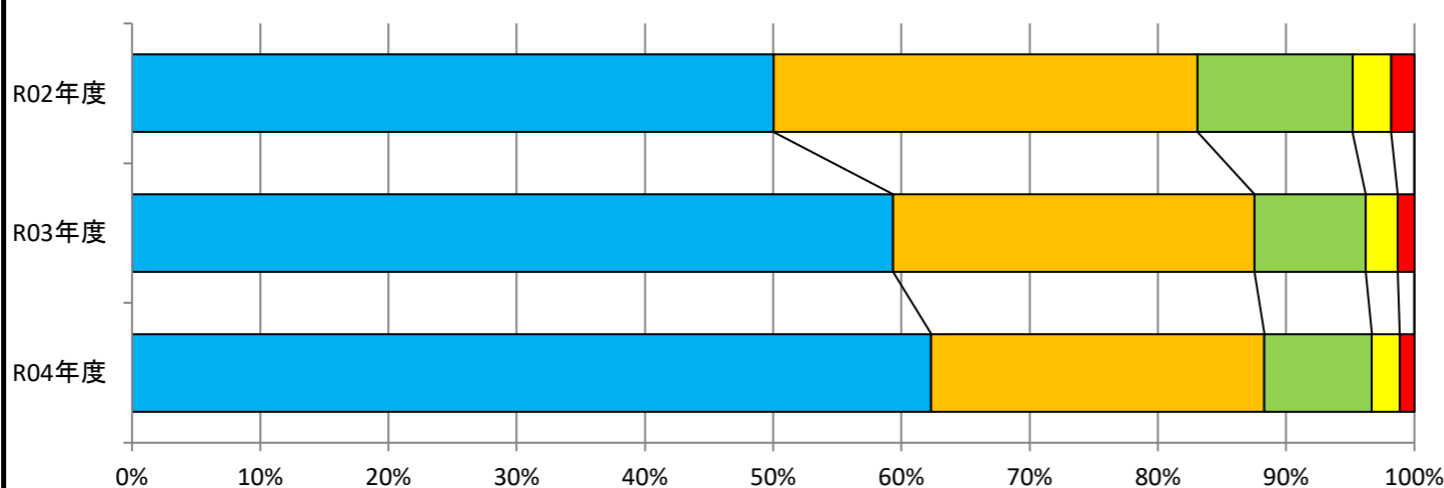
IV 総合評価

16(15) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
44.8	36.4	81.2	-
56.5	31.2	87.7	+ 6.5
61.7	27.6	89.3	+ 1.6

全質問項目の平均

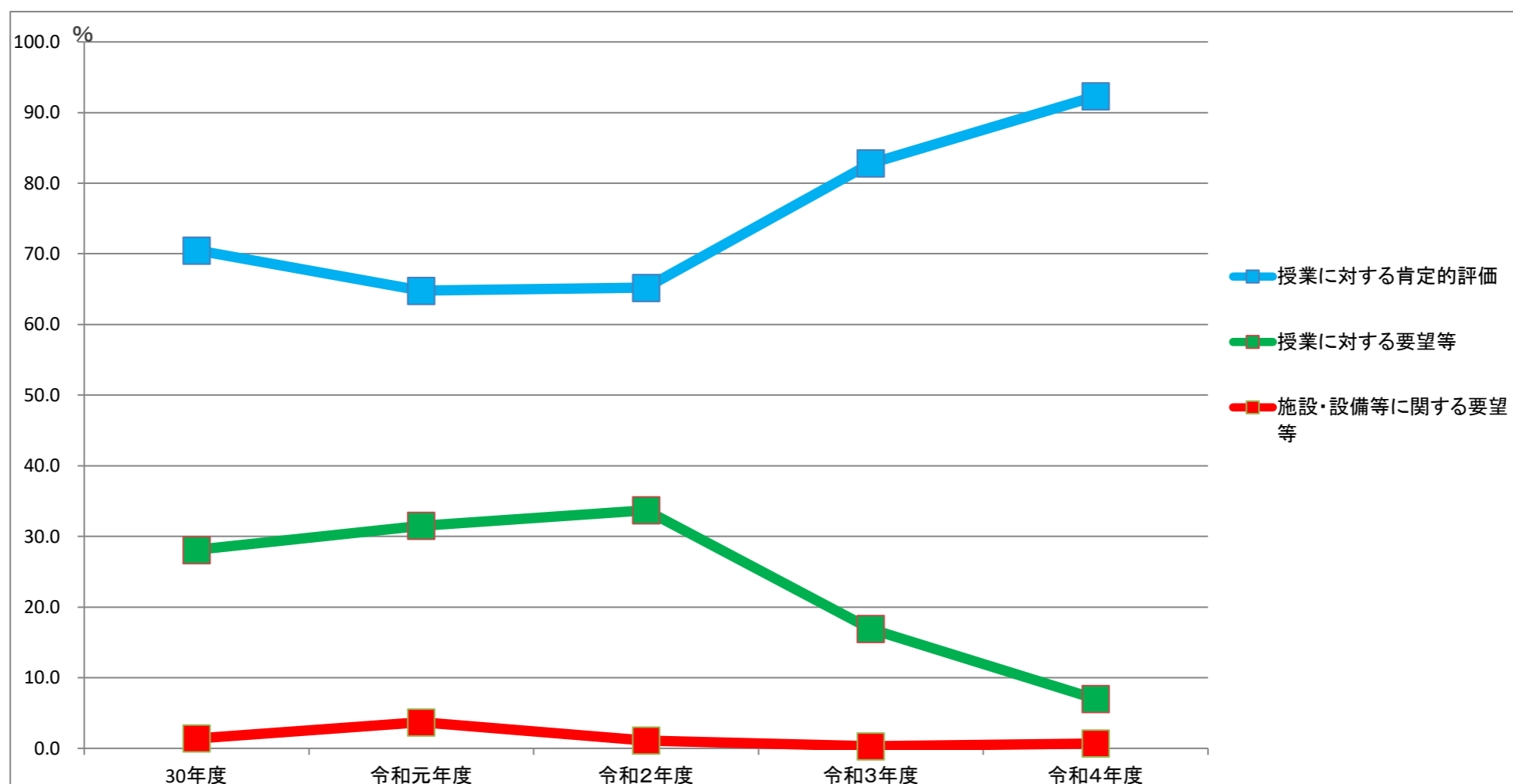


そう思う	やや そう思う	計	対前年度
50.0	33.1	83.1	-
59.4	28.2	87.5	+ 4.4
62.3	26.0	88.3	+ 0.8

◆ 年度別 自由記述集計結果

分類項目／年度	30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
授業に対する肯定的評価	(52.5%)	207	(55.1%)	207	(65.2%)	178	(82.8%)	475	(92.3%)	623
授業に対する要望等	(45.7%)	180	(41.4%)	156	(33.7%)	92	(16.9%)	97	(7.0%)	47
施設・設備等に関する要望等	(1.8%)	7	(3.5%)	13	(1.1%)	3	(0.3%)	2	(0.7%)	5
総件数	(100.0%)	394	(100.0%)	376	(100.0%)	273	(100.0%)	574	(100.0%)	675

※ () 内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	623	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで介護施設に関わる職種やどのような人を対象としている施設なのか知らなかったのですが少しずつ知ることが出来ました。これから知識不足な部分が多くあるので振り返りをしていきたいと思いました。 ・カウンセリングとかについても、細かく教えていただいたので、心のケアということについて具体的にわかった気がします。 ・捉え方や価値観の違いによって同じ事例でもいろんな考えがあって自分にない考えや発想を知ることができたので他の人の意見を聞くことはとても参考になりました。 ・コミュニケーション技法で学んだことを今回の実習に活かすことが出来ました。コミュニケーションは良好な人間関係を築く上で必要なことなのでこの講義で学んだことを大切にしていきます。
授業に対する要望等	47	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナについて知らなかったことを学べてよかったです。もっと他にも様々な細菌やウイルスについて学びたかったです。 ・レジュメがなく復習しにくかったため、レジュメを配布してほしいと思った ・課題の期限が短すぎるため、もう少し伸ばしてほしい ・講義資料を講義後に配るのではなく事前に配って欲しい。 ・学生と指導者さんが関わる時間も大切であるが教員からのフィードバックもとても学びになるから、学生と教員との時間が今回より多くあればより多くの知識をつけることができ学びを深めることができると感じた。 ・少し早口で、zoomの時に聞き取りづらい
施設・設備等に関する要望等	5	大学のwi-fiの環境が悪すぎます。どうかかしてほしいです。
計	675	

令和4年度 授業評価集計結果(講義・演習科目)

東京医療保健大学 立川看護学部 看護学科

○講義・演習科目数 113科目

○調査対象者数 9,493人(延人数)

○総回答数 9,046件(回答率95.3%)

◆ 質問項目別集計結果

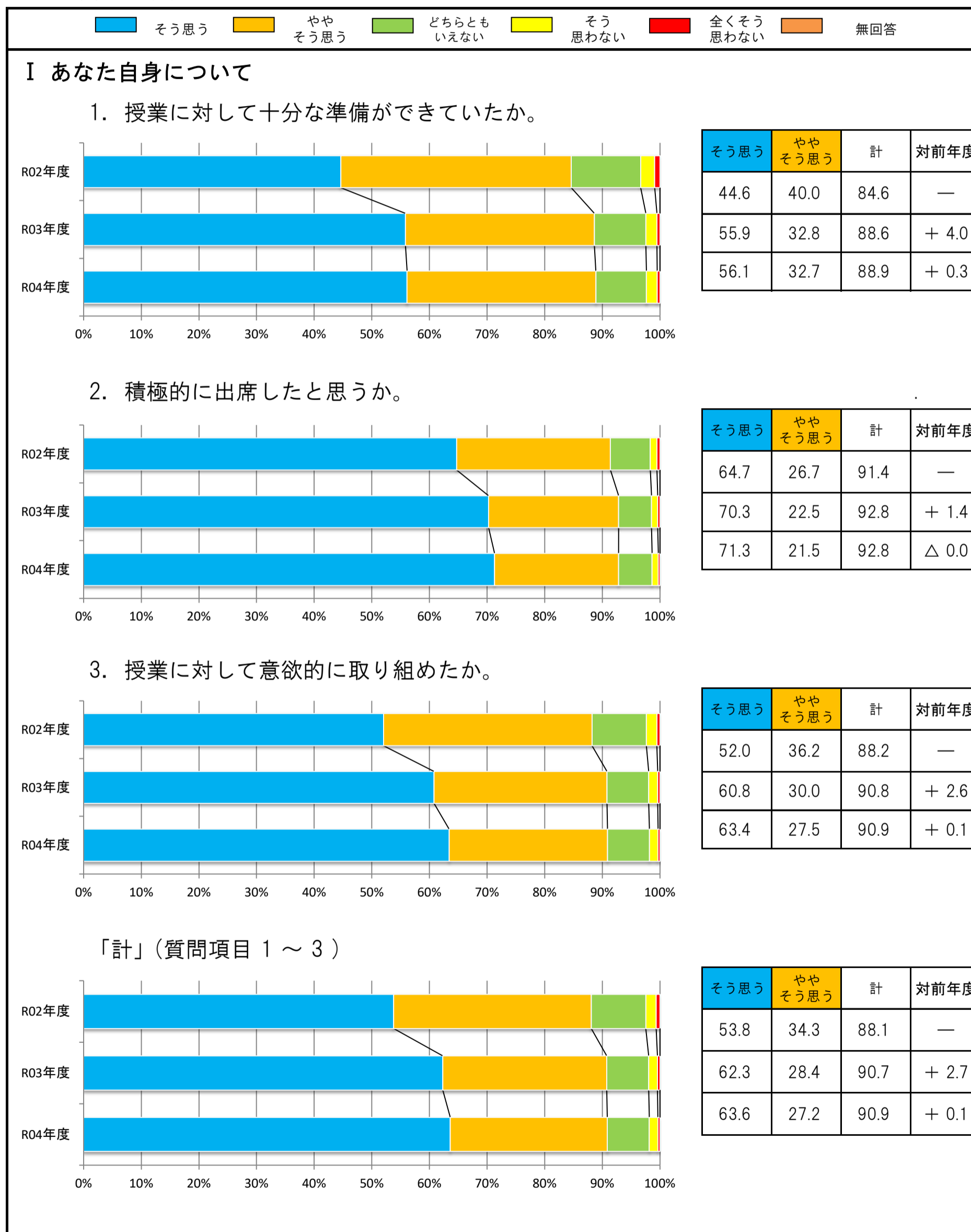
〈上段()は令和3年度アンケート結果〉

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 授業に対して十分な準備ができていたか。	(55.9)	(32.8)	(8.9)	(1.9)	(0.5)	0.0	(100)
	56.1	32.7	8.8	1.9	0.5		100
2. 積極的に出席したと思うか。	(70.3)	(22.5)	(5.7)	(1.1)	(0.4)	0.0	(100)
	71.3	21.5	5.8	1.1	0.3		100
3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。	(60.8)	(30.0)	(7.2)	(1.6)	(0.4)	0.0	(100)
	63.4	27.5	7.3	1.5	0.3		100
計	(62.3)	(28.4)	(7.3)	(1.5)	(0.4)	0.0	(100)
	63.6	27.2	7.3	1.5	0.4		100
II 授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 授業内容をよく理解できたと思うか。	(50.8)	(36.1)	(9.7)	(2.6)	(0.8)	0.0	(100)
	53.3	34.1	9.3	2.5	0.8		100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(61.0)	(29.5)	(6.9)	(1.9)	(0.7)	0.0	(100)
	62.3	27.9	7.5	1.8	0.6		100
6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(57.7)	(29.6)	(9.5)	(2.3)	(0.9)	0.0	(100)
	60.7	28.0	8.6	2.0	0.7		100
7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(61.1)	(27.8)	(8.1)	(2.3)	(0.7)	0.0	(100)
	63.1	26.4	8.1	1.7	0.8		100
計	(57.7)	(30.7)	(8.6)	(2.3)	(0.8)	0.0	(100)
	59.8	29.1	8.4	2.0	0.7	0.0	100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(46.9)	(27.6)	(19.1)	(4.2)	(2.2)	0.0	(100)
	51.9	27.9	15.2	3.8	1.3	0.0	100
9. 学習しやすい授業環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(61.5)	(28.8)	(6.9)	(2.2)	(0.7)	0.0	(100)
	66.3	24.6	7.0	1.4	0.7	0.0	100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(61.0)	(26.7)	(8.3)	(2.8)	(1.1)	0.0	(100)
	64.0	25.0	7.8	2.3	0.8	0.0	100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、 -1 わかりやすい板書であったと思うか。	(53.0)	(25.4)	(14.7)	(4.2)	(2.7)	0.0	(100)
	55.6	24.8	14.3	3.3	2.0	0.0	100
11. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、 -2 その実施内容はわかりやすかったと思うか。	(60.2)	(27.6)	(8.2)	(2.8)	(1.2)	0.0	(100)
	64.8	23.9	7.9	2.5	0.9	0.0	100
12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮した と思うか。	(51.4)	(30.2)	(13.0)	(3.6)	(1.8)	0.0	(100)
	56.9	28.3	11.2	2.7	0.9	0.0	100
13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	(59.2)	(28.1)	(8.9)	(2.5)	(1.3)	0.0	(100)
	63.3	25.5	8.2	2.1	0.8	0.0	100
14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(65.0)	(26.6)	(6.4)	(1.4)	(0.7)	0.0	(100)
	67.8	23.7	6.9	1.1	0.5	0.0	100
15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと 思うか。	(51.0)	(30.2)	(12.5)	(4.4)	(1.8)	0.0	(100)
	56.0	28.0	11.9	2.9	1.3	0.0	100
計	(56.6)	(27.9)	(10.9)	(3.1)	(1.5)	0.0	(100)
	60.7	25.7	10.1	2.5	1.0	0.0	100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16. この講義・演習は遠隔授業環境でも学びやすかったと思 うか。	(54.7)	(26.6)	(11.5)	(4.6)	(2.6)	0.0	(100)
	59.4	23.2	10.7	3.9	2.8	0.0	100
17. この授業は総合的に満足できたと思うか。	(54.9)	(32.2)	(8.8)	(2.8)	(1.3)	0.0	(100)
	60.0	28.8	8.2	2.1	0.9	0.0	100
計	(54.8)	(29.4)	(10.2)	(3.7)	(2.0)	0.0	(100.0)
	59.7	26.0	9.5	3.0	1.9	0.0	100
全質問項目の平均	(57.8)	(29.1)	(9.2)	(2.7)	(1.2)	0.0	(100)
	61.0	27.0	8.8	2.2	1.0	0.0	100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（講義・演習科目）

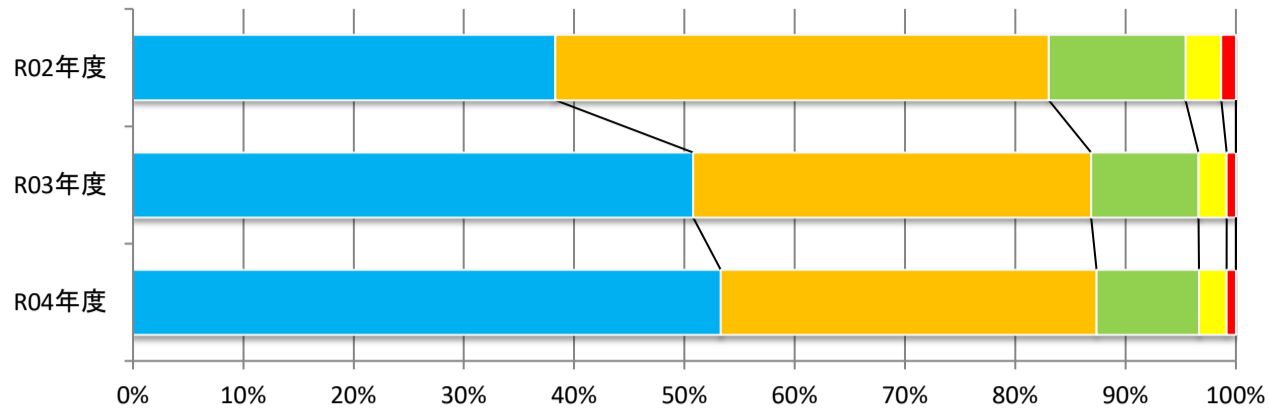
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全科目数	70科目	122科目	113科目
調査対象者数	7,001人	9,248人	9,493人
総回答数（回答率）	5,664件（80.9%）	8,012件（86.6%）	9,046件（95.3%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



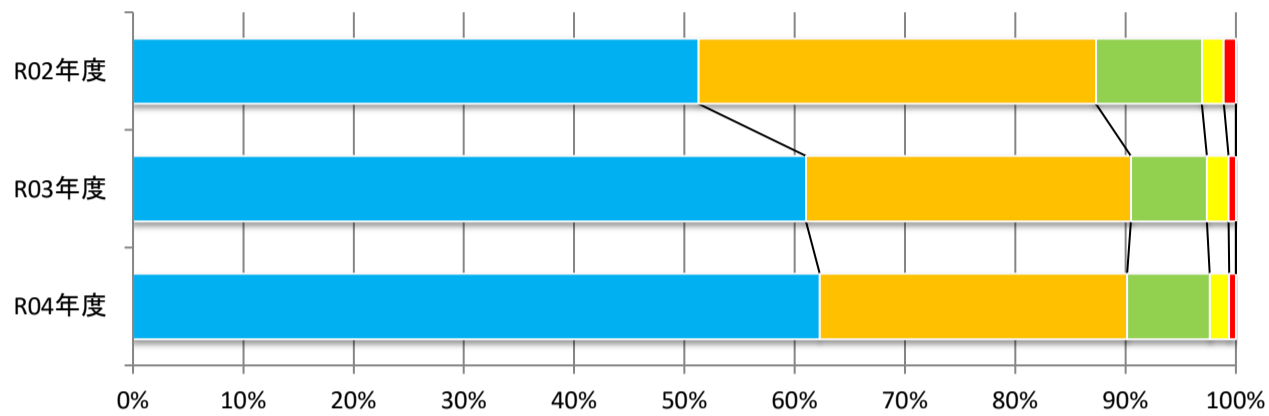
II 授業内容について

4. 授業内容をよく理解できたと思うか。



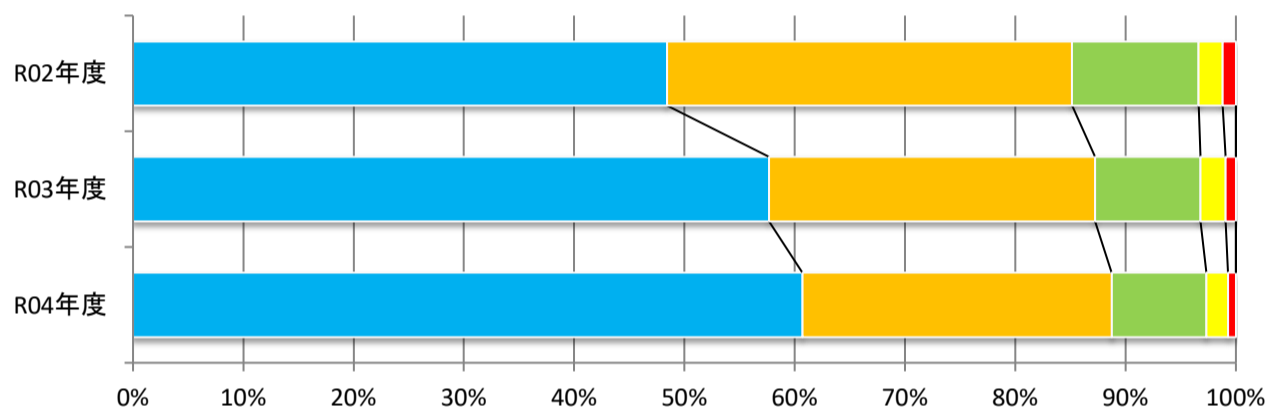
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.3	44.7	83.0	—
50.8	36.1	86.9	+ 3.8
53.3	34.1	87.4	+ 0.5

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



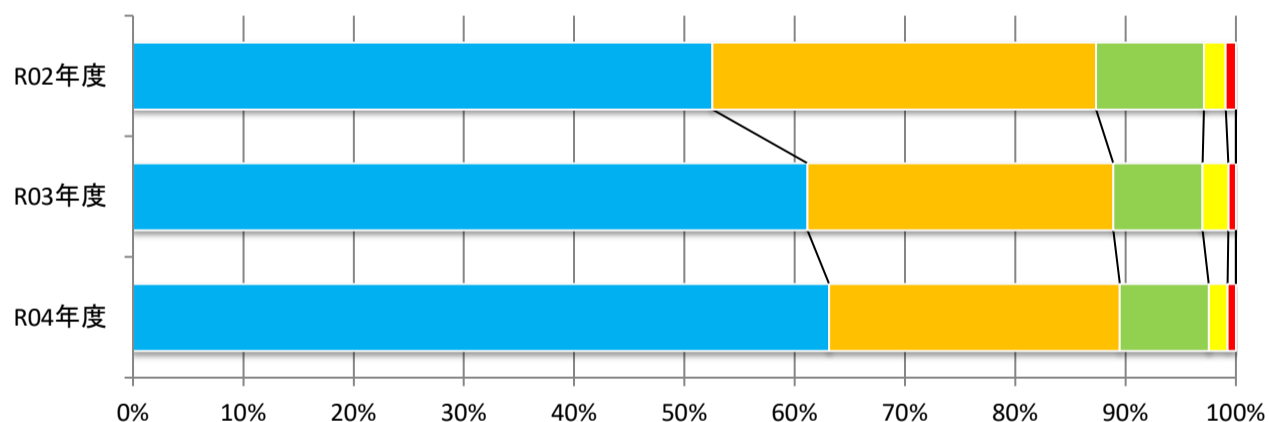
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
51.3	36.0	87.3	—
61.0	29.5	90.5	+ 3.2
62.3	27.9	90.1	△ 0.3

6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。



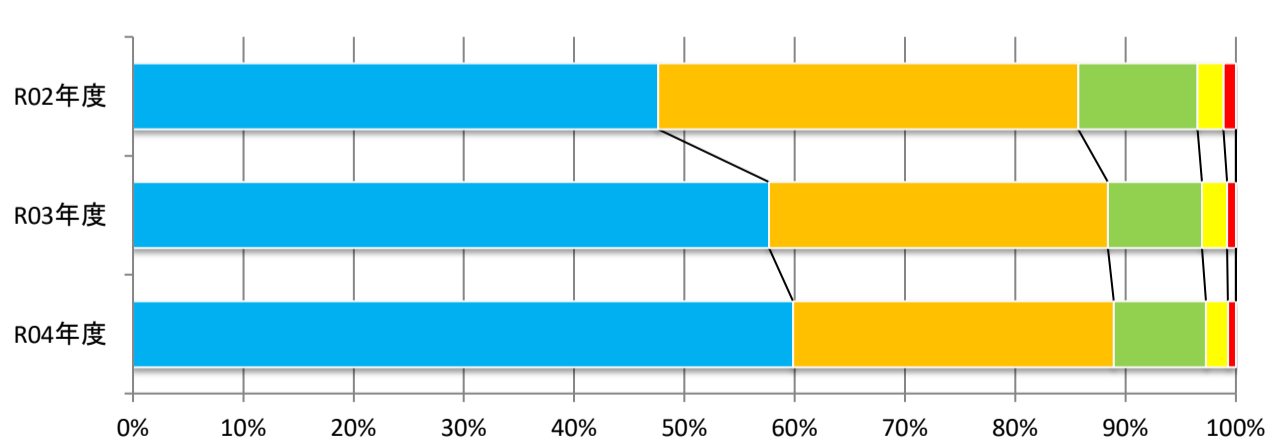
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
48.4	36.7	85.2	—
57.7	29.6	87.2	+ 2.1
60.7	28.0	88.7	+ 1.5

7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
52.5	34.8	87.3	—
61.1	27.8	88.9	+ 1.6
63.1	26.4	89.5	+ 0.6

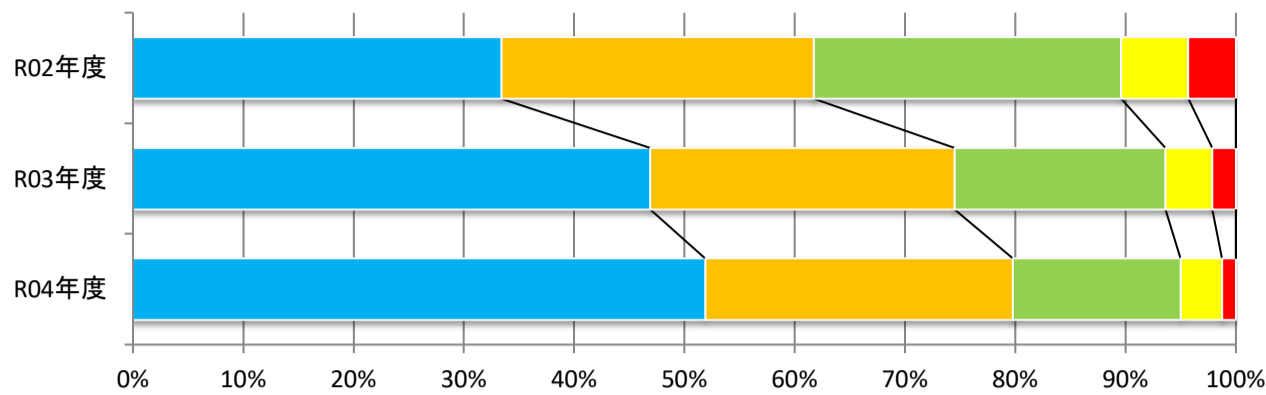
「計」(質問項目 4 ~ 7)



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
47.6	38.1	85.7	—
57.7	30.7	88.4	+ 2.7
59.8	29.1	88.9	+ 0.6

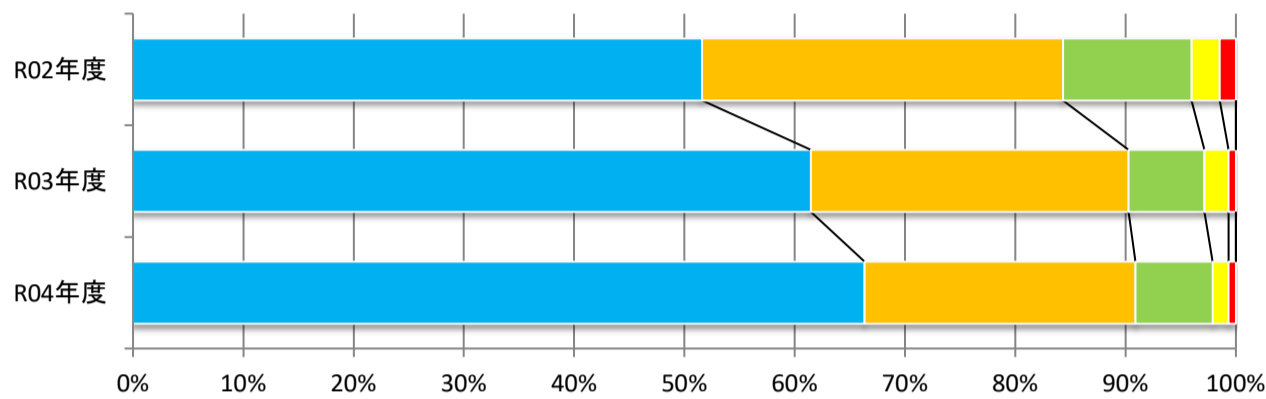
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



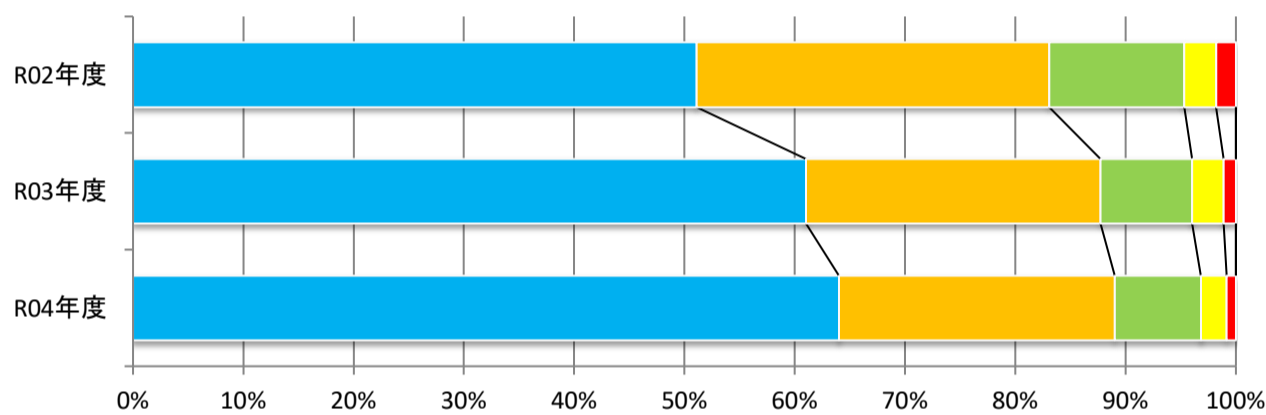
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
33.4	28.3	61.7	—
46.9	27.6	74.5	+ 12.8
51.9	27.9	79.8	+ 5.3

9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



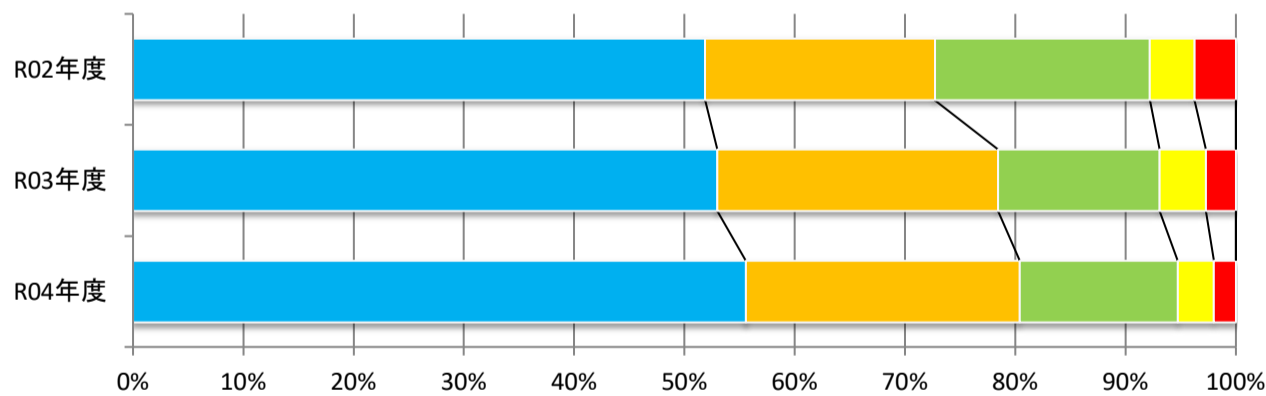
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
51.6	32.7	84.3	—
61.5	28.8	90.3	+ 5.9
66.3	24.6	90.9	+ 0.6

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



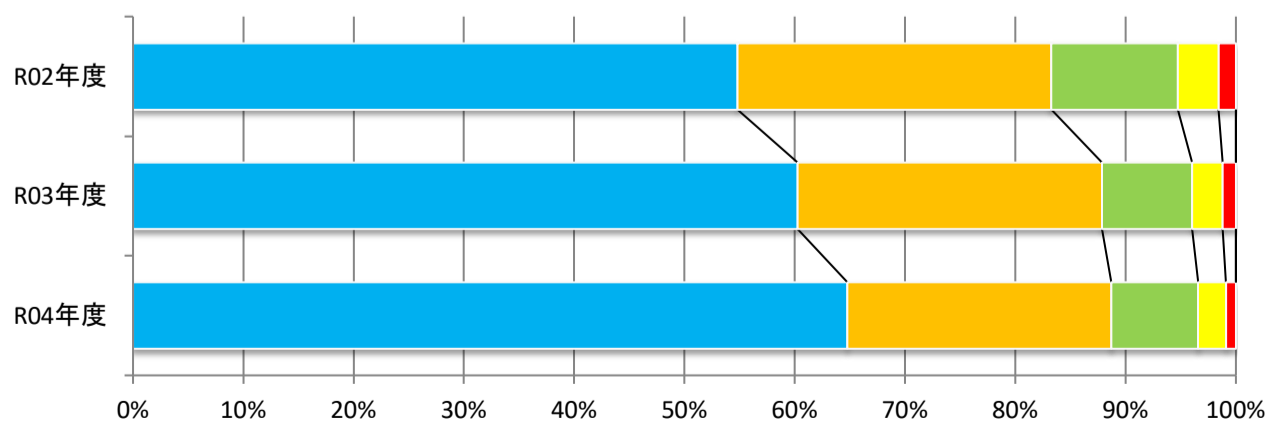
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
51.1	32.0	83.1	—
61.0	26.7	87.7	+ 4.7
64.0	25.0	89.0	+ 1.3

11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい
-1 板書であったと思うか。



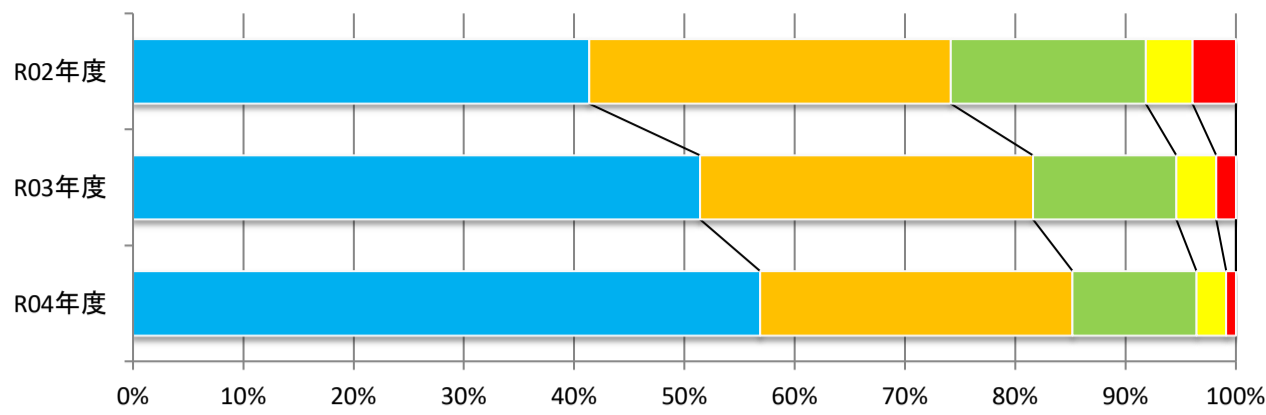
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
51.9	20.8	72.7	—
53.0	25.4	78.4	+ 5.7
55.6	24.8	80.4	+ 2.0

11. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容は
-2 わかりやすかったと思うか。



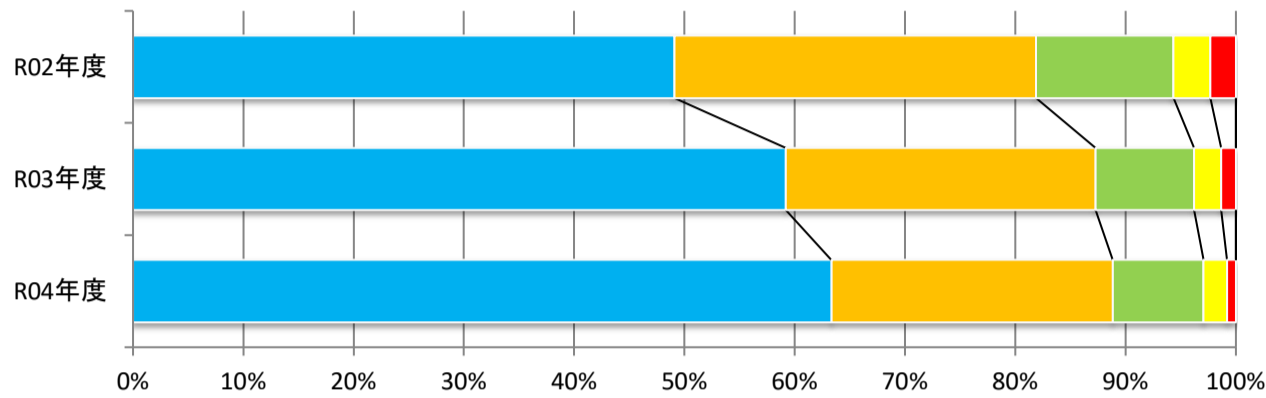
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
54.8	28.5	83.3	—
60.2	27.6	87.8	+ 4.6
64.8	23.9	88.7	+ 0.9

12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



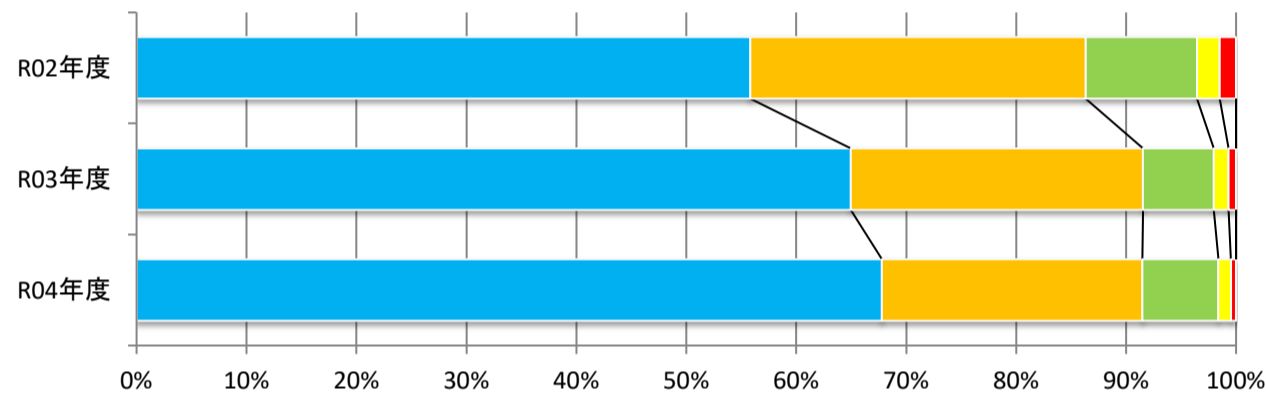
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
41.3	32.8	74.1	—
51.4	30.2	81.6	+ 7.5
56.9	28.3	85.2	+ 3.6

13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



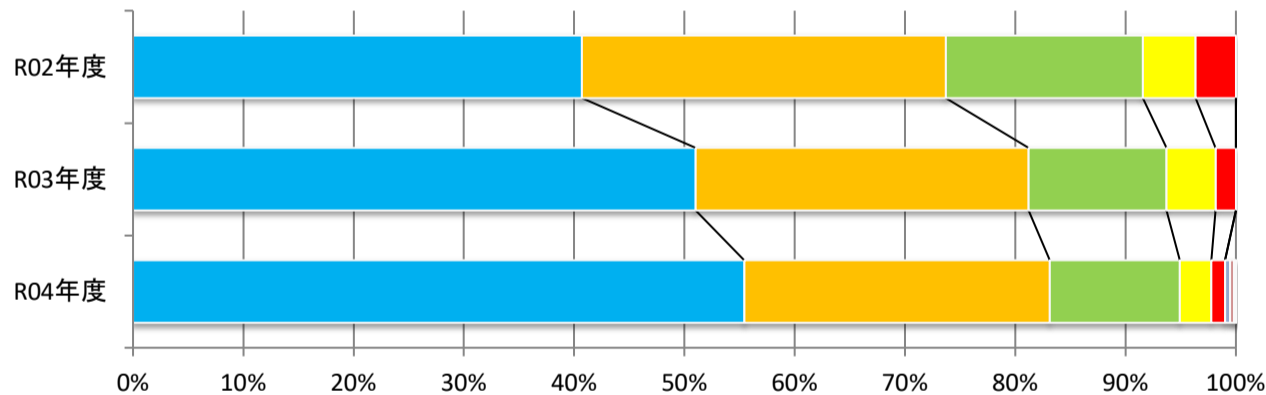
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
49.1	32.8	81.9	—
59.2	28.1	87.3	+ 5.4
63.3	25.5	88.8	+ 1.5

14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。



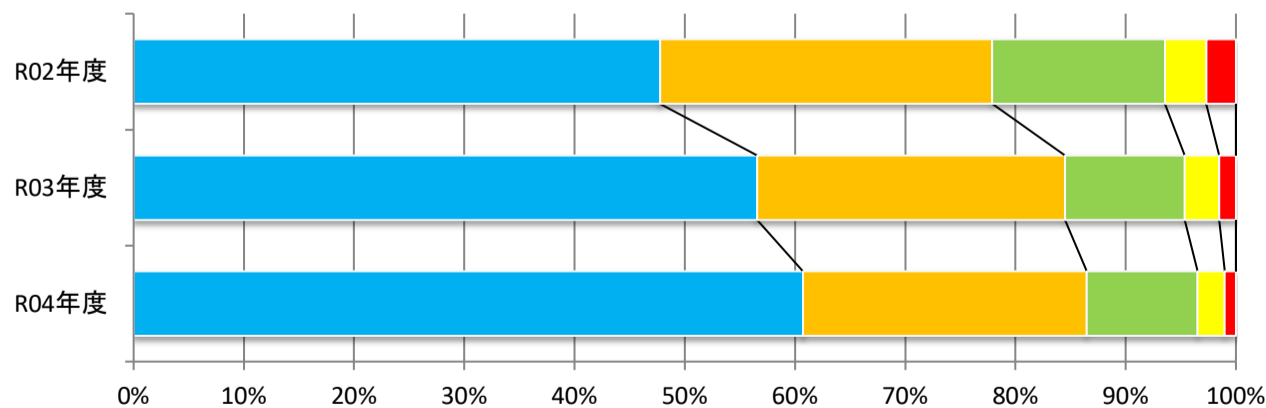
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
55.8	30.5	86.3	—
65.0	26.6	91.5	+ 5.2
67.8	23.7	91.5	△ 0.1

15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
40.7	33.0	73.7	—
51.0	30.2	81.2	+ 7.5
56.0	28.0	84.0	+ 2.7

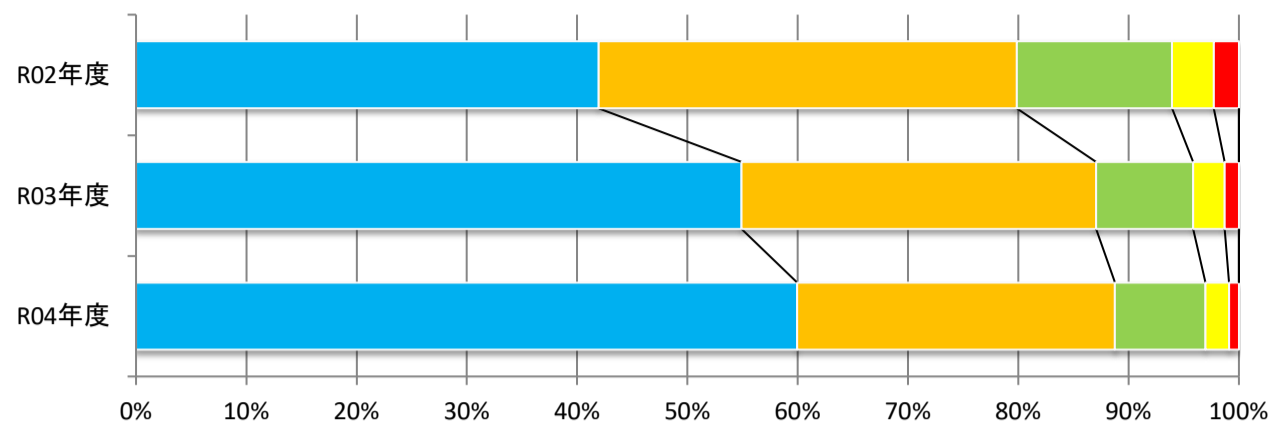
「計」(質問項目 8 ~ 15)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
47.8	30.2	77.9	—
56.6	27.9	84.5	+ 6.6
60.7	25.7	86.5	+ 2.0

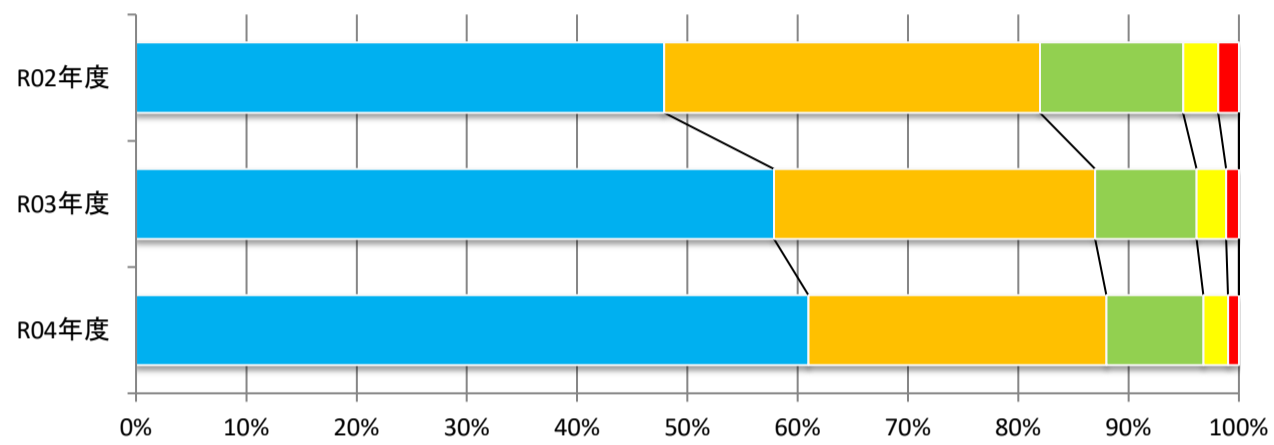
IV 総合評価

16. この授業は総合的に満足できたと思うか。



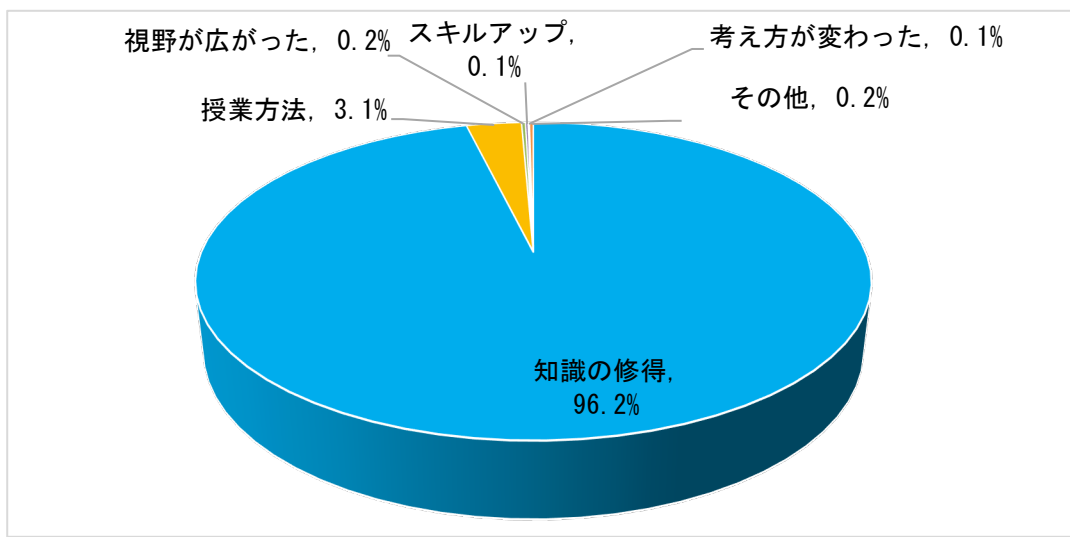
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
42.0	37.9	79.9	—
54.9	32.2	87.1	+ 7.2
60.0	28.8	88.8	+ 1.7

全質問項目の平均



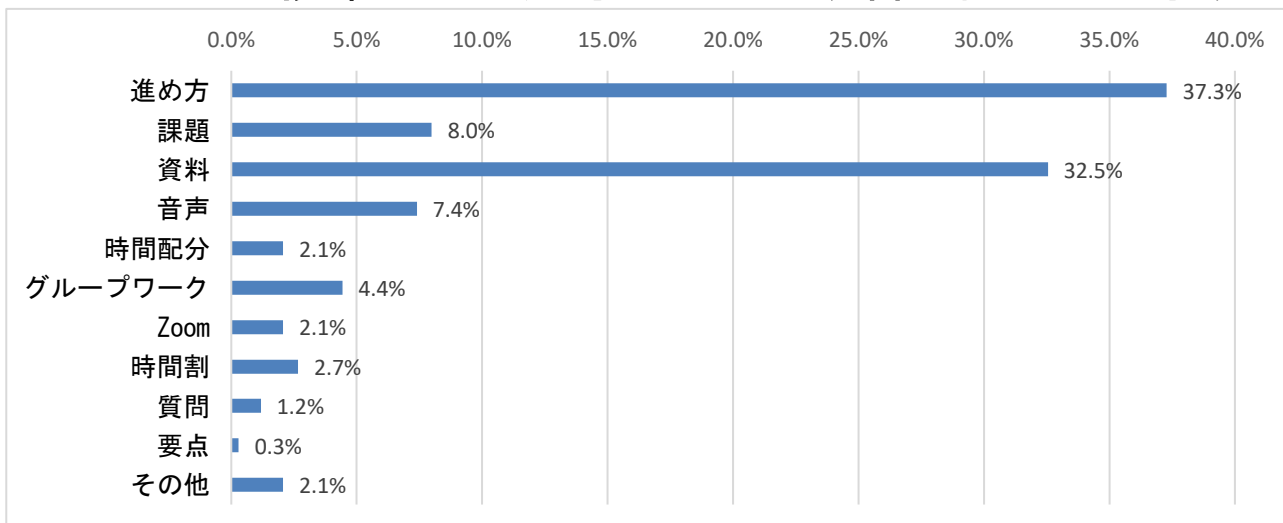
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
47.9	34.1	82.0	—
57.8	29.1	86.9	+ 5.0
61.0	27.0	88.0	+ 1.0

◆ VI この授業を受けて良かったと思うことがありますか。 【総数 1,335】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	論理学	50	普段あまり話さないような積極的安楽死や代理出産について考えられたことが良い機会になったと思います。極論正解は無い難しい問題ではありますが、自分なりの意見を持つことは重要だなと感じました。 様々な事柄を多角的な視点から、そして論理的思考力に基づいて自ら考え、賛成か反対かの決断をする能力を身に付けることができ、良かったです。また、論理学の講義を重ねていくごとに、自身の優柔不断さが少しずつ軽減し、レポートを書く力も伸びたと感じます。
	ヘルスアセスメント	48	問診を行う必要性から、ヘルスアセスメントの重要性を理解することができました。さらに、血圧測定のコツを知ることができました。 座学で学んだことを4時間の演習で実際に体感することが出来、イメージしながら授業を受けることが出来た。実際の現場に近いような状況を想定した授業で、同じグループのメンバーと考えながら演習を行えた。
	情報リテラシー	48	この授業を通し、パソコンの基本操作やWord・Excel・PowerPointの使い方をしっかり学ぶことが出来ました。高校の頃にも少し学んでいたのですが、詳しいところまでは触れていなかったため、大学の授業で1から丁寧に学ぶことができて良かったと思います。 看護師は臨床現場でパソコンを使う機会が多くあるので今のうちに勉強できてよかった。
	心理学	45	看護師に大事な患者の気持ちに寄り添うために必要な知識を学ぶことができた。また授業中や授業後の課題で、自分の立場で学んだことを応用して考える時間があることで、さらに理解を深めることができた。心理学は患者だけでなく、普段から身近にいる人にも、心理学の知識を理解していればその人にとっての心の支えにもなると考える。

◆ VII この授業の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。 【総数 338】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	自然科学の基礎	19	パワーポイントの資料すべて、プリントとして欲しい。 手元の資料が少なく授業が受けにくい。なので、授業の時のパワーポイントを資料として送ってくださるとありがたいです。 もう少しゆっくりと理解できるように教えてほしい。根拠などももっと明確に説明してほしい。 練習問題がもう少しあれば勉強しやすいです。
	微生物学	17	もっと色々な微生物や、微生物に関する病気について学びたかったです。 レジュメを毎回授業前に配るべき。授業の内容の多くが新型コロナウイルス感染症に関する事だったので、シラバスに書いてあるようなほかの微生物や感染症を学ぶ機会をもっと増やすべき。 事前に資料がなかった時があったため、できれば講義の前に資料をWeb上もしくは紙面でいただきたいです。
	解剖生理学Ⅱ	15	パワーポイントのみで授業を行う場合は、授業後もそのパワーポイントを見れるようにして頂くと、テスト勉強や復習の際にとっても助かります。 色々な先生に教えていただけることは嬉しいことですが、学ぶ内容が前後してわかりづらかったです。分野別に順番に学びたかった
	解剖生理学Ⅰ	14	教科書の順に学ぶことが出来たら、頭に入りやすかったと感じます。 同じ先生でも、日にちが空いてしまうと忘れてしまうことが多かったため学びづらかったと感じます。 資料や教科書の画像だけではわかりにくいところもあったので映像などの解説があるとより分かりやすく理解することができると思った。

令和4年度 授業評価集計結果(実習・実験科目)

東京医療保健大学 立川看護学部 看護学科

○実習・実験科目数 18科目

○調査対象者数 1,266人(延人数)

○総回答数 1,184件(回答93.5%)

◆ 質問項目別集計結果

〈上段()は令和3年度アンケート結果〉

質問項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 実習・実験に対して十分な準備ができていたか。	(63.2)	(31.3)	(3.8)	(1.5)	(0.4)	0.0	(100)
	67.4	25.9	4.9	1.4	0.4	0.0	100
2. 積極的に出席したと思うか。	(81.1)	(16.3)	(2.4)	(0.3)	0.0	0.0	(100)
	84.4	11.7	3.2	0.7	0.1	0.0	100
3. 実習・実験に対して意欲的に取り組めたか。	(76.9)	(20.1)	(2.6)	(0.2)	(0.1)	0.0	(100)
	80.7	13.9	4.3	0.8	0.3	0.0	100
計	(73.7)	(22.5)	(2.9)	(0.7)	(0.1)	0.0	(100)
	77.5	17.1	4.1	0.9	0.3	0.0	100
II 実習・実験内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。	(69.0)	(27.3)	(3.2)	(0.4)	(0.1)	0.0	(100)
	75.3	20.1	3.5	0.9	0.2	0.0	100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(75.3)	(21.2)	(2.9)	(0.5)	(0.1)	0.0	(100)
	77.5	18.2	3.0	0.9	0.3	0.0	100
6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(76.0)	(20.3)	(3.2)	(0.3)	(0.1)	0.0	(100)
	79.6	16.1	3.3	0.7	0.3	0.0	100
7. この実習・実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(77.1)	(18.8)	(3.2)	(0.8)	(0.1)	0.0	(100)
	81.2	14.2	3.4	1.1	0.2	0.0	100
計	(74.4)	(21.9)	(3.1)	(0.5)	(0.1)	0.0	(100)
	78.4	17.1	3.3	0.9	0.2	0.0	100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(50.4)	(22.9)	(17.3)	(4.6)	(4.9)	0.0	(100)
	59.8	20.5	15.1	2.7	1.9	0.0	100
9. 学習しやすい実習・実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(68.8)	(24.0)	(4.7)	(1.0)	(1.5)	0.0	(100)
	74.8	18.2	5.6	0.8	0.7	0.0	100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(71.5)	(21.9)	(4.6)	(1.2)	(0.9)	0.0	(100)
	75.5	18.5	4.7	1.0	0.3	0.0	100
11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(73.2)	(19.9)	(4.6)	(1.0)	(1.3)	0.0	(100)
	75.7	17.1	5.1	1.5	0.6	0.0	100
12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。	(72.6)	(20.7)	(4.2)	(1.3)	(1.2)	0.0	(100)
	75.8	17.5	4.2	1.7	0.8	0.0	100
13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(75.4)	(18.8)	(2.9)	(1.5)	(1.3)	0.0	(100)
	76.6	17.3	4.4	1.2	0.5	0.0	100
14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習・実験を行ったと思うか。	(70.2)	(22.6)	(4.6)	(1.3)	(1.3)	0.0	(100)
	72.1	19.9	6.3	1.3	0.4	0.0	100
計	(68.9)	(21.6)	(6.1)	(1.7)	(1.7)	0.0	(100)
	72.9	18.4	6.5	1.4	0.7	0.0	100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
15. この実習・実験は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(46.5)	(20.0)	(15.2)	(6.8)	(11.4)	0.0	(100)
	47.0	14.5	14.3	6.9	17.3	0.0	100
16. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。	(66.3)	(25.3)	(5.4)	(1.8)	(1.3)	0.0	(100)
	74.8	18.7	4.2	1.9	0.4	0.0	100
計	(56.4)	(22.6)	(10.3)	(4.3)	(6.4)	0.0	(100)
	60.9	16.6	9.2	4.4	8.9	0.0	100
全質問項目の平均	(68.3)	(22.2)	(5.6)	(1.8)	(2.1)	0.0	(100)
	72.4	17.3	5.8	1.9	2.5	0.0	100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（実習・実験科目）

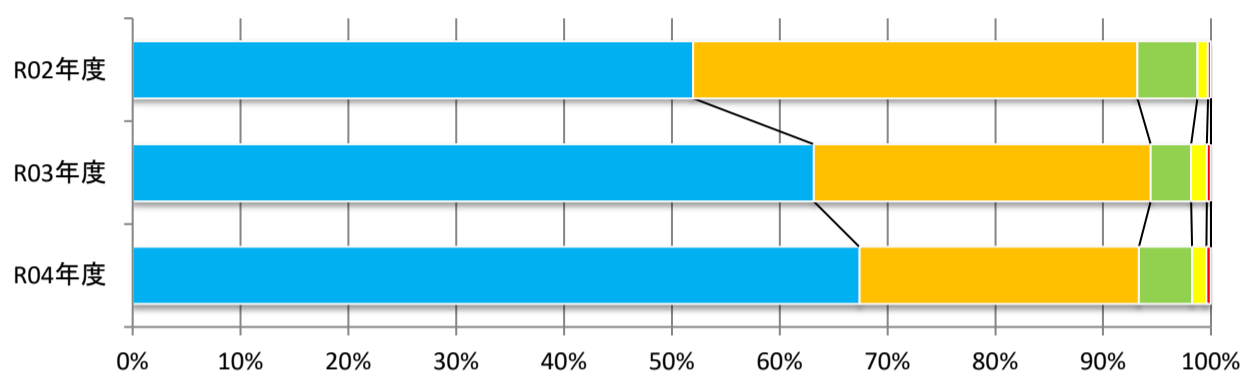
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全科目数	13科目	15科目	18科目
調査対象者数	1,331人	1,521人	1,266人
総回答数（回答率）	1,114件（83.7%）	1,360件（89.4%）	1,184件（93.5%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

■ そう思う	■ やや そう思う	■ どちらとも いえない	■ そう 思わない	■ 全くそう 思わない	■ 無回答
--	--	--	--	---	--

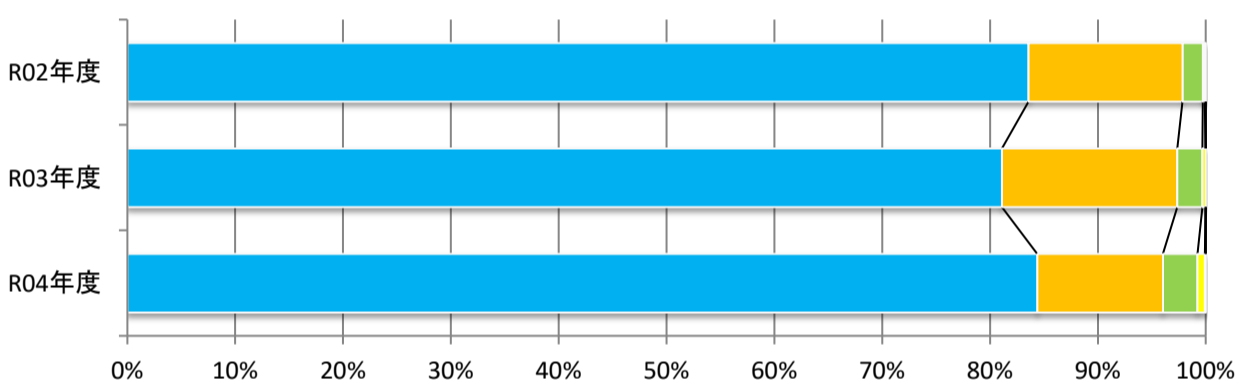
I あなた自身について

1. 実習・実験に対して十分な準備ができていたか。



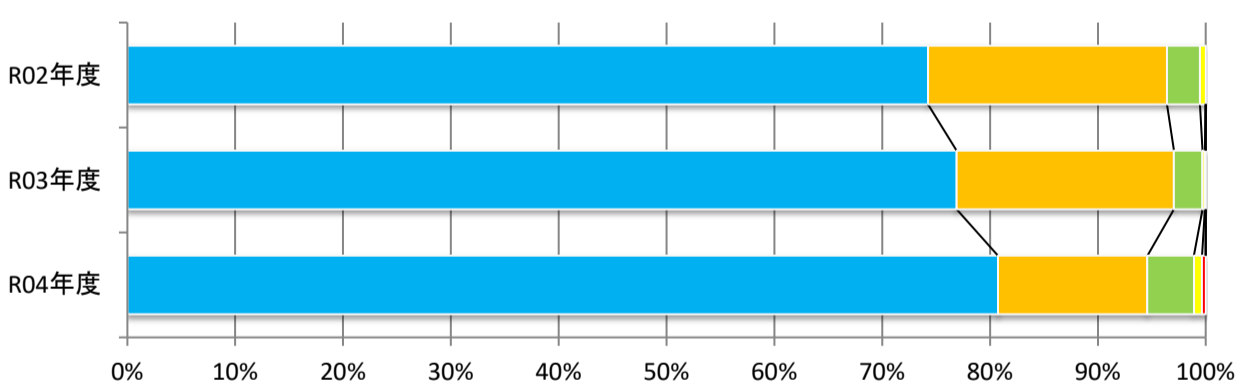
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
52.0	41.2	93.2	—
63.2	31.3	94.4	+ 1.2
67.4	25.9	93.3	△ 1.1

2. 積極的に出席したと思うか。



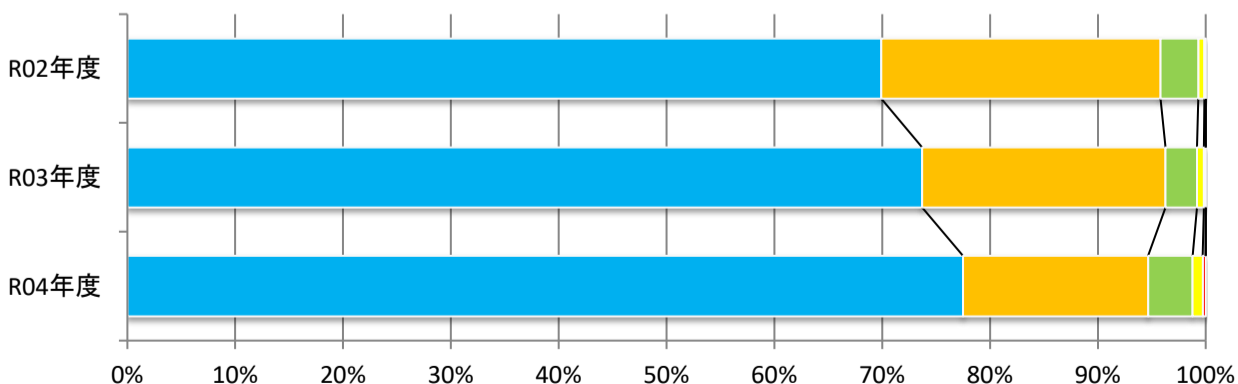
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
83.6	14.3	97.8	—
81.1	16.3	97.4	△ 0.5
84.4	11.7	96.0	△ 1.3

3. 実習・実験に対して意欲的に取り組めたか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
74.2	22.2	96.4	—
76.9	20.1	97.1	+ 0.6
80.7	13.9	94.6	△ 2.5

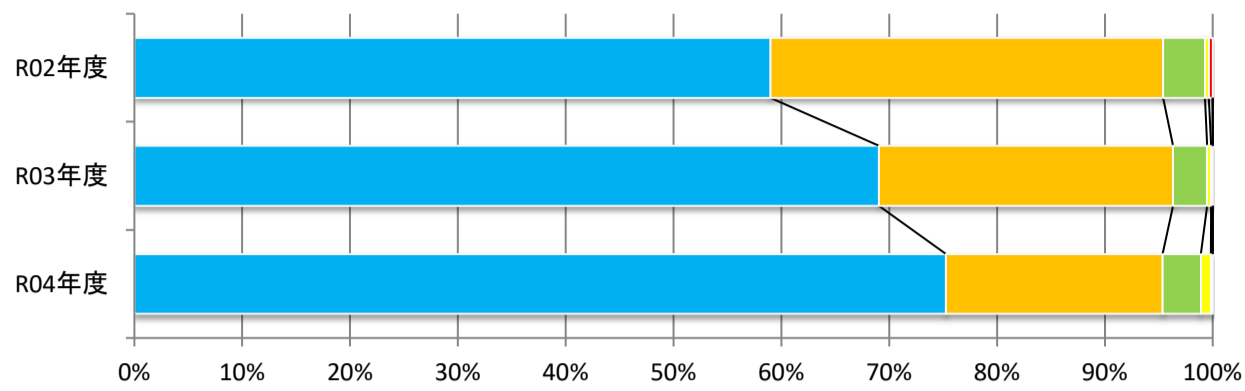
「計」（質問項目 1～3）



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
69.9	25.9	95.8	—
73.7	22.5	96.3	+ 0.5
77.5	17.1	94.7	△ 1.6

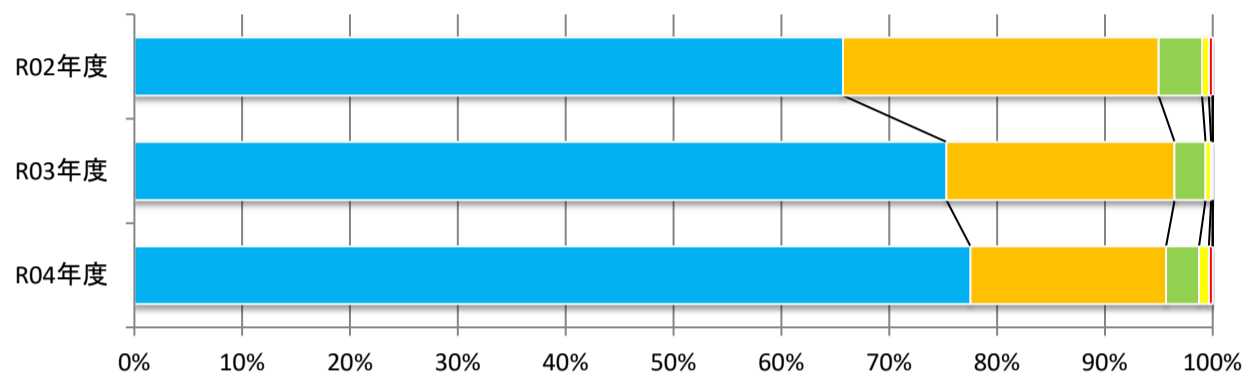
Ⅱ 実習・実験内容について

4. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。



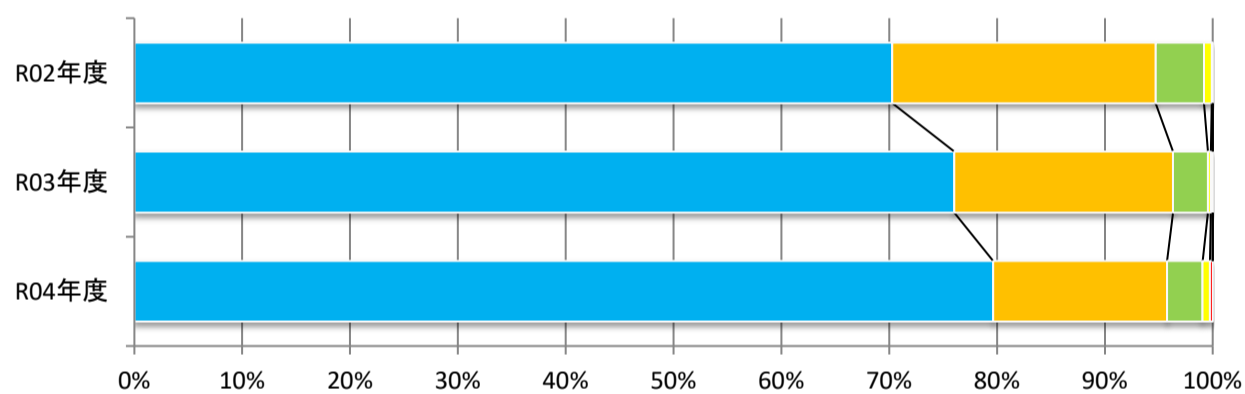
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
59.0	36.4	95.4	—
69.0	27.3	96.3	+ 0.9
75.3	20.1	95.4	△ 1.0

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



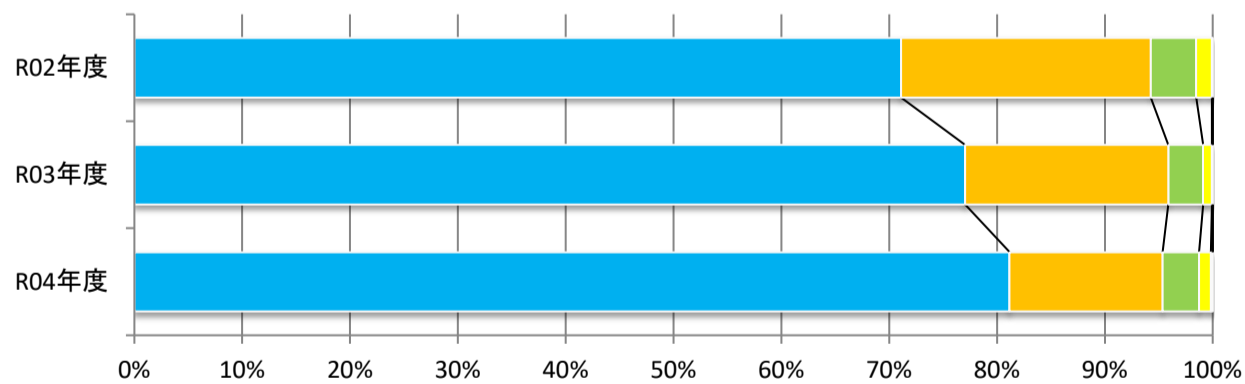
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
65.7	29.3	95.0	—
75.3	21.2	96.5	+ 1.5
77.5	18.2	95.7	△ 0.8

6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。



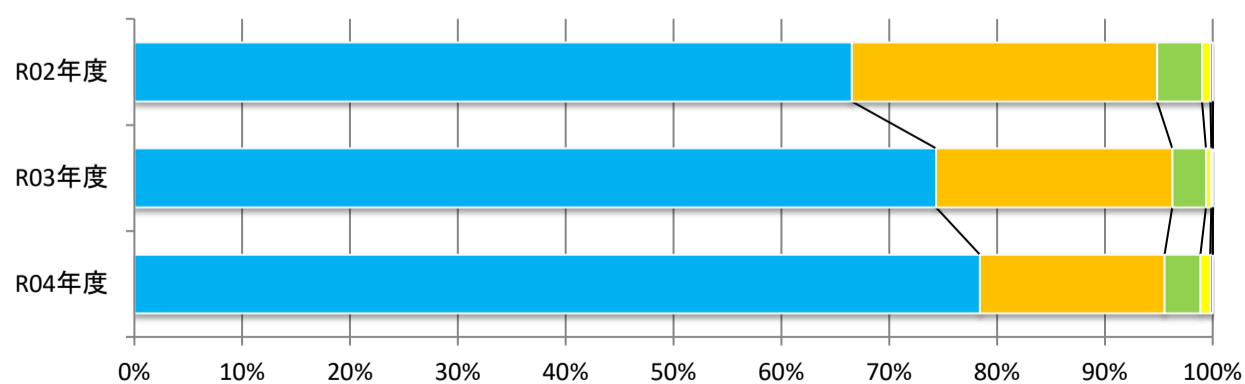
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
70.3	24.4	94.7	—
76.0	20.3	96.3	+ 1.6
79.6	16.1	95.8	△ 0.5

7. この実習・実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
71.1	23.2	94.3	—
77.1	18.8	95.9	+ 1.6
81.2	14.2	95.4	△ 0.5

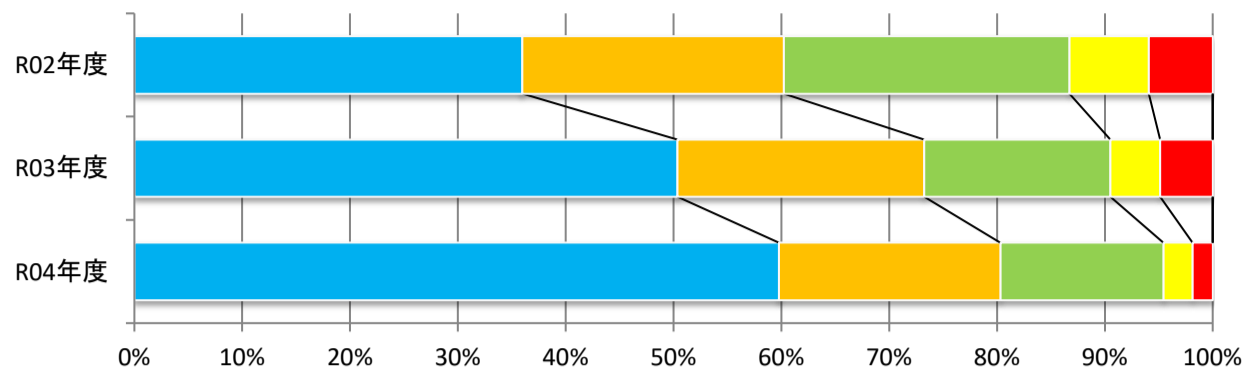
「計」(質問項目 4～7)



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
66.5	28.3	94.8	—
74.4	21.9	96.3	+ 1.4
78.4	17.1	95.5	△ 0.7

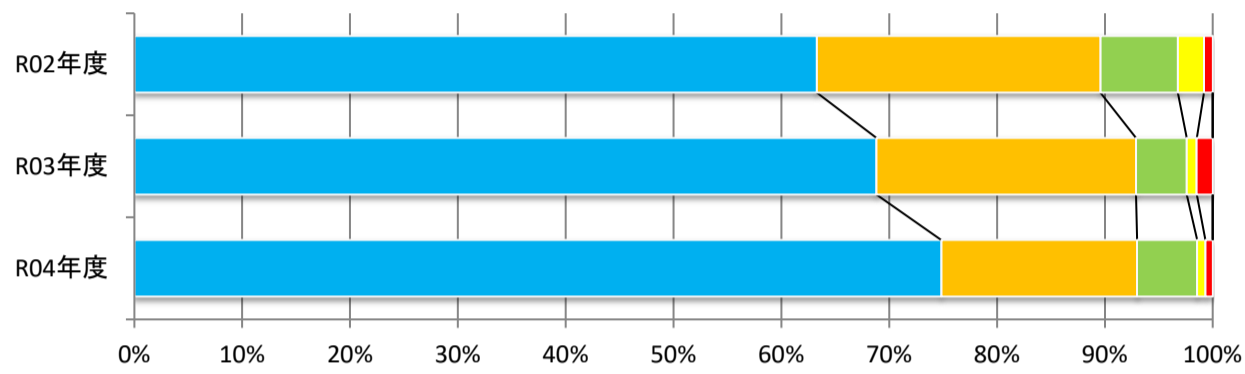
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



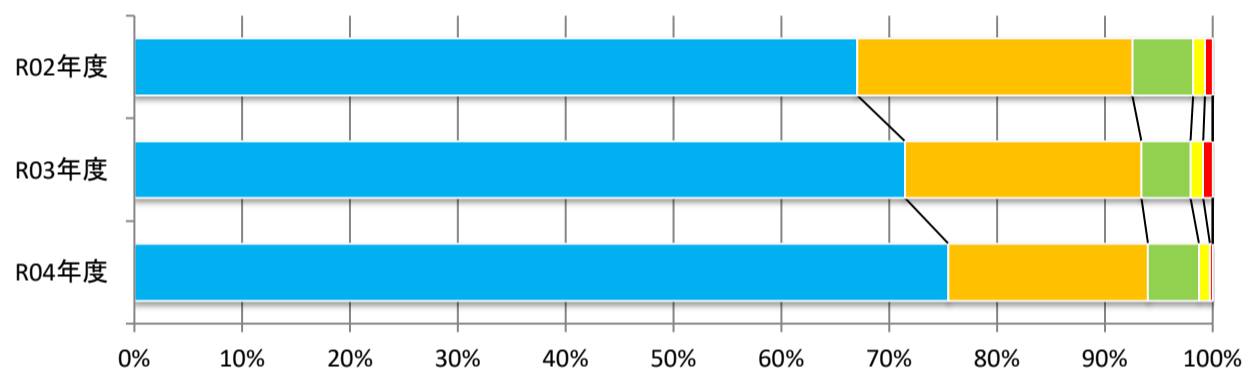
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
36.0	24.2	60.2	—
50.4	22.9	73.2	+ 13.0
59.8	20.5	80.3	+ 7.1

9. 学習しやすい実習・実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。



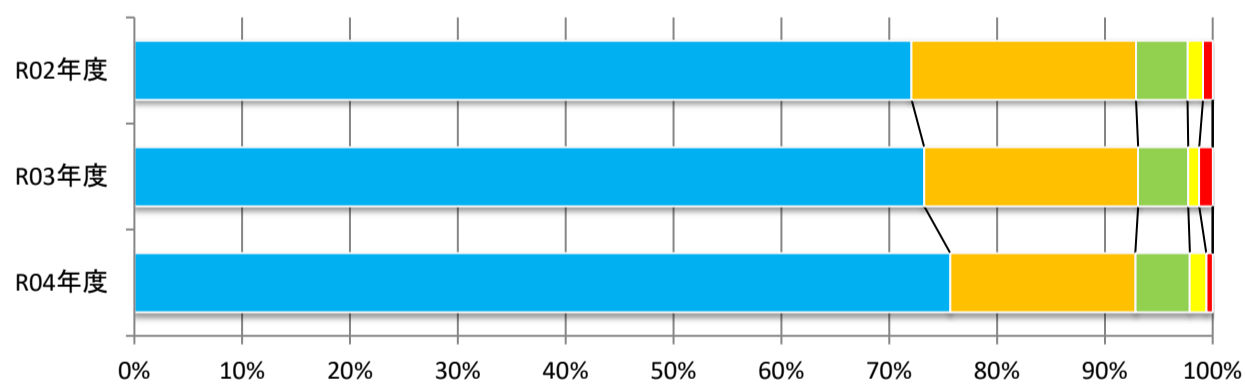
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
63.3	26.3	89.6	—
68.8	24.0	92.9	+ 3.3
74.8	18.2	93.0	+ 0.1

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



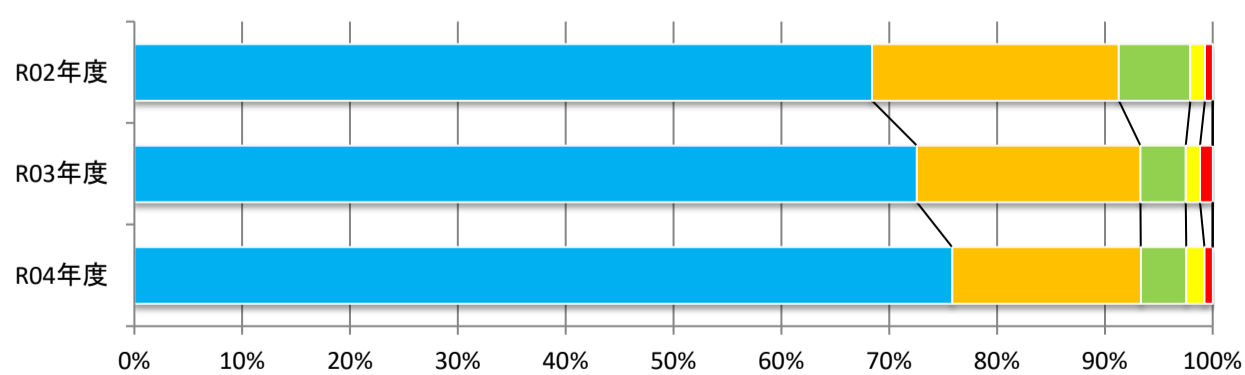
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
67.1	25.5	92.5	—
71.5	21.9	93.4	+ 0.8
75.5	18.5	94.0	+ 0.6

11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



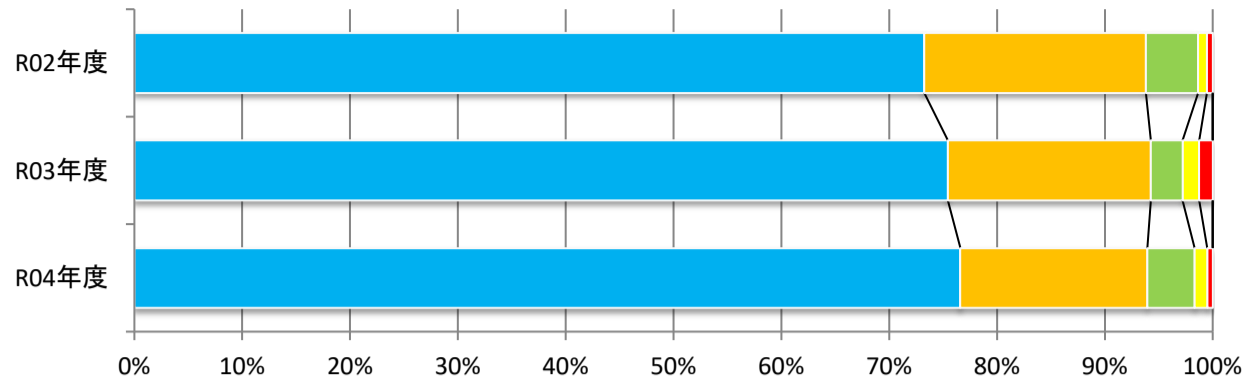
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
72.1	20.8	92.9	—
73.2	19.9	93.1	+ 0.2
75.7	17.1	92.8	△ 0.3

12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。



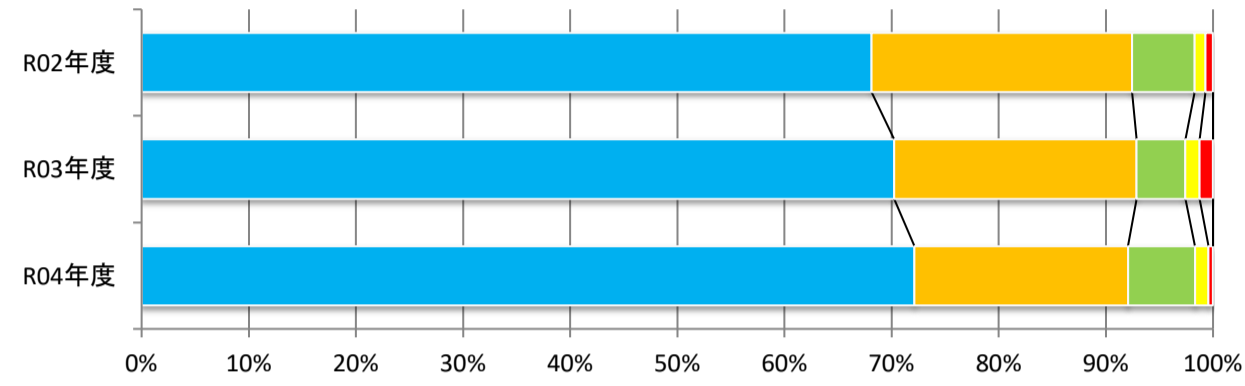
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
68.4	22.9	91.3	—
72.6	20.7	93.3	+ 2.0
75.8	17.5	93.3	+ 0.0

13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。



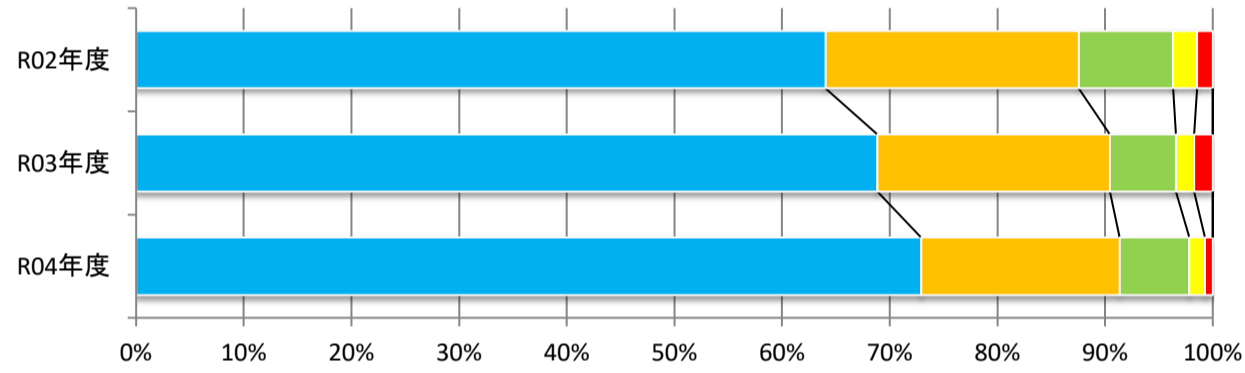
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
73.2	20.6	93.8	—
75.4	18.8	94.3	+ 0.5
76.6	17.3	93.9	△ 0.3

14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習・実験を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
68.1	24.3	92.5	—
70.2	22.6	92.9	+ 0.4
72.1	19.9	92.1	△ 0.8

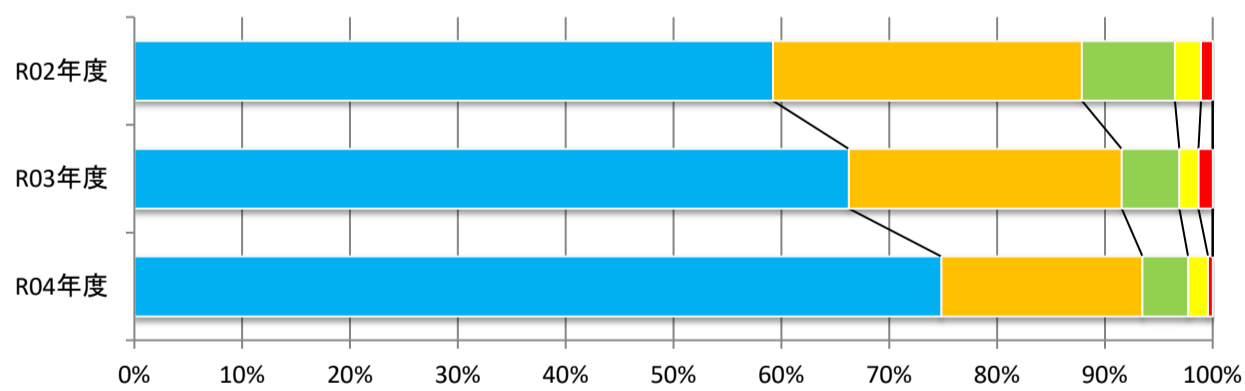
「計」(質問項目 8 ~ 14)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
64.0	23.5	87.5	—
68.9	21.6	90.4	+ 2.9
72.9	18.4	91.3	+ 0.9

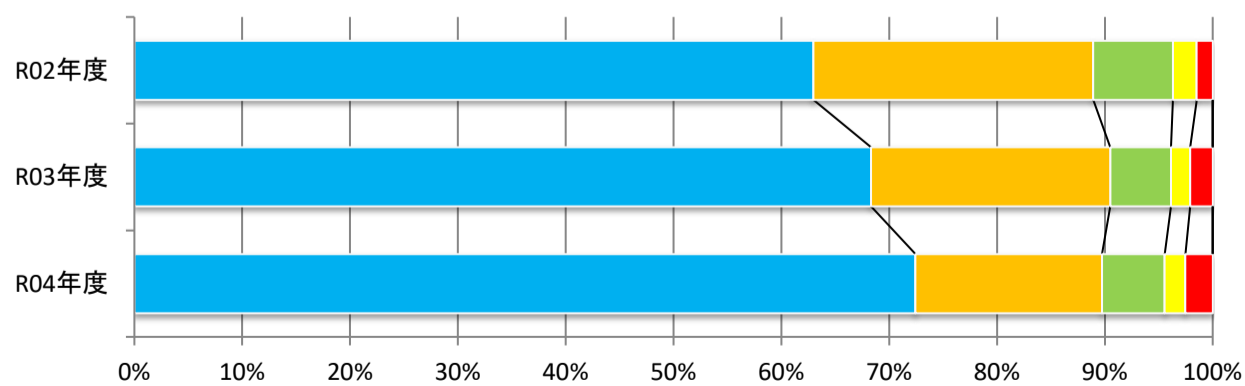
IV 総合評価

15. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。



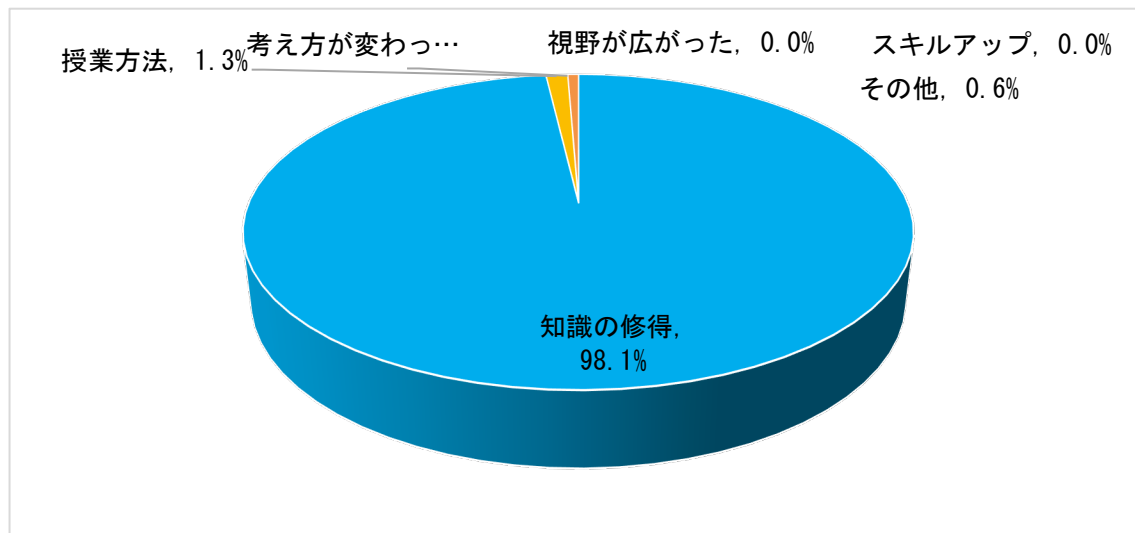
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
59.2	28.6	87.9	—
66.3	25.3	91.5	+ 3.7
74.8	18.7	93.5	+ 2.0

全質問項目の平均



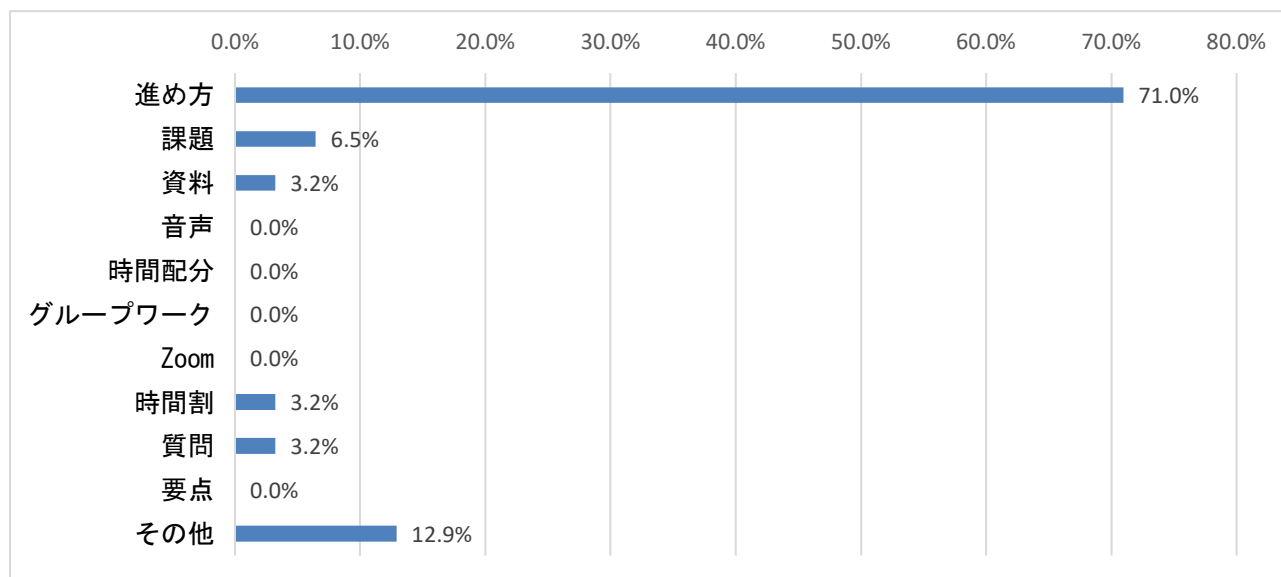
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
63.0	25.9	88.9	—
68.3	22.2	90.5	+ 1.6
72.4	17.3	89.8	△ 0.7

◆ VI この実習・実験を受けて良かったと思うことがありますか。 【総数 160】



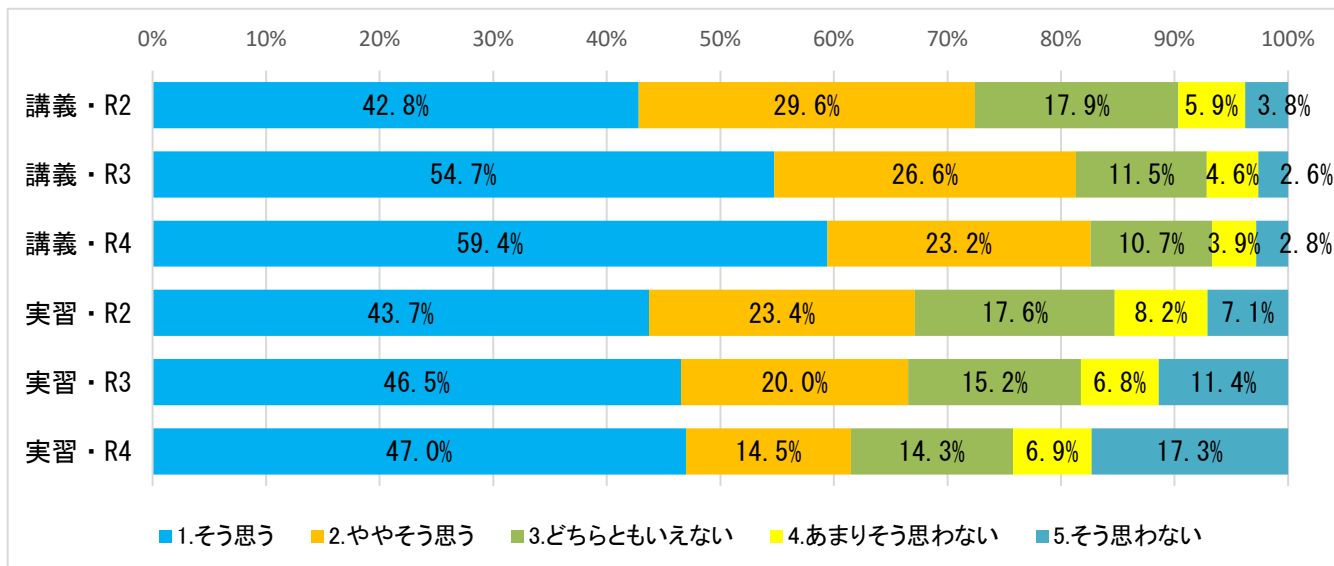
学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	看護学体験実習	41	看護大学に入学し、はじめての体験実習でしたが、実際に働く医師や看護師の方々のお話を聞く・見るという貴重な経験をすることができたと思いました。この実習を通して、病院や地域包括支援センターなどの仕組みや、状況を知ることができたので良かったです。 実際の看護師の動きを間近で観察できたため、とてもいい経験になりました。スムーズに行うのが難しかったカンファレンスをもっとスムーズに行えるよう、グループワークや話し合いの際は積極的に参加していきたいと思いました。
	日常生活援助展開実習	22	実際に患者の療養環境の場に足を踏み入れてみることで、その人の個性を感じることができ、実習を通して自己の課題が明確に見え、次に向けて頑張ろうと思えた。 実際に患者と接するという機会は初めてだったのでどのようなことに配慮しながら会話をしていけばいいかよく考えながら実施できて、大変だったけどこの仕事のやりがいを初めて肌で実感できたこと。 実際に疾患を抱えた患者を相手にすることで、学生同士で行う演習では得られないことを多く学ぶことができたこと。 今まで看護のやりがいをあまり感じるができずにきたけれど、自分が計画して行ったケアによって患者が喜んでくださったり、良い方向に変化させることができたのはとても嬉しく、やりがいを感じる事ができた。

◆ VII この実習・実験の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。 【総数 31】

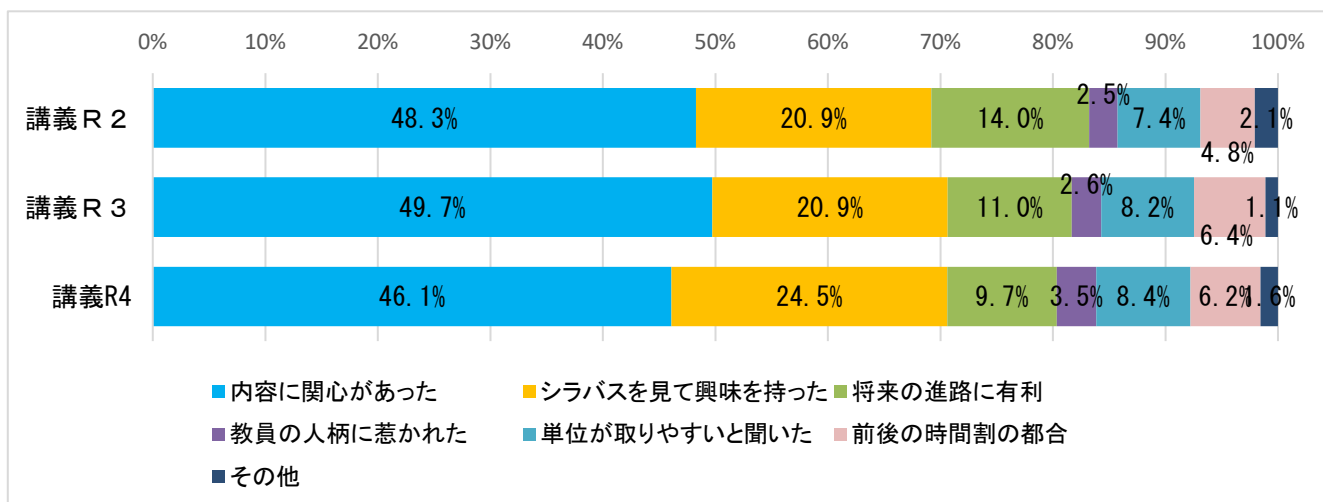


学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	母性看護学実習	9	記録の書き方をもう少し共有したほうが良いと思った。 指導者と連携が取れていないように感じたので、改善する必要があると考える。
	成人看護学実習Ⅱ	4	教員が実習以外のことで忙しく、いないことが多かった。指導者と連携は取れていたが、学生の活動を実際に見る時間が少なかったように感じるので改善してほしい。 指導者さんと先生の実習時間や記録の記入方法の解釈が大きく異なる部分があり、学生が戸惑う瞬間が多くあったと感じました。
	成人看護学実習Ⅰ	3	手術室の見学に行きたかったです。 記録の訂正の仕方が分かりにくかった。

この授業(実習・実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。



この選択科目の講義を履修した理由は何か



令和4年度 千葉看護学部看護学科の授業評価結果に対する考察

副学長・千葉看護学部長
宮本 千津子

1. 授業評価の結果について

- 講義・演習科目について、総合評価“この授業は総合的に満足できたと思うか”をみると、必修科目については1年生では3.99であった1科目を除いて4.32～4.88、2年生では4.31～4.96、3年生では4.47～4.81、4年生では3.78だった1科目を除いて4.35～4.53の範囲となっていました。また選択科目では全学年を通して3.71であった1科目を除いて4.18～5.00でした。これらを割合でみると、必修科目では全科目の83%が、選択科目では90%が4.5以上となっていました。
- このように多くの科目がややそう思う(4)からそう思う(5)の間の上方に位置しており、評価としては良好といえます。昨年度は、4.5以上の科目が必修科目で66%、選択科目で86%でありましたので、大いに評価が高まったといえ、Covid-19拡大に対応した授業が実施されていると考えます。
- 必修／選択の違いをみると、選択科目の評価が高くなっており、前年度までと同様の結果でした。選択科目の自由記載には、“個人の力と全員の実力を見極め、対応してくれた”“他の科目での学修にも応用できるスキルが学べた”等がありました。評価が高い科目は教員の工夫もさることながら、学生自身が意欲的に取り組む姿勢が授業を活性化し、良循環となって、学生のニーズを反映させたより質の高い授業へと発展したと推測します。
- 必修科目のなかで総合的な満足が4.8以上であったのは基礎看護援助方法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅴであり、全て演習科目でした。いずれも初めて実施する看護技術ですので、学生自身が達成感を得やすい内容であるといえるでしょう。一方、これらの科目の自由記載には、“授業前の動画があったので予習がしやすかった”“演習プリントがわかりやすかった”“復習のパワーポイントがあったので何度も復習ができた”“既習の内容を発展させた課題が出たため自分の成長がはっきりわかった”等、学生自身の関心をさらに高め学修意欲へとつなげる工夫がなされていたと考えます。
- 選択科目で4.8以上であった科目のうち、いのち・人間の教育分野の自由記載をみると、“普段の生活にあるからこそ意識していなかったが、看護だけではなく日常生活でも活用できる内容であった”“人の命について考えさせられた”“固定概念を取り払って一から様々なことを考え直すことができた”“ものの見方がひとつではなく複数になった”“研究の内容から深く学ぶことができた”等、リベラルアーツの学修により視野の広がりや科学的なものの見方が獲得されたと考えます。
- 学年別にみると、4年生の科目で少し低い傾向がみられました。上位学年に

なると、授業内容が専門的で難易度の高いものになることを反映していると思われる。しかし、卒業を控えてそれまでの学修を集大成し“看護に活用できる”ものとするべき学年において、Covid-19 拡大による活動制限が影響し、授業目標を達成しづらくしていたとも考えます。

- 一方、総合評価が比較的低かった科目についてみると、“パワーポイント等の資料がわかりやすかったか”および“教員は学生の理解を確認しながら授業を行ったか”の評価が低くなっており、例年と同様の傾向でした。自由記載をみると、“スピードが速くて追いつけなかった”“質問が募集されたが回答がなされなかった”“フィードバックが欲しかった”等がありました。対面授業であれば学生の反応から気づくことであっても、遠隔授業においては全体をとらえることが容易ではないことが背景にあると推測します。これは特に履修人数の多い授業に共通する課題です。評価を真摯に受け止め、改善をはかっていく努力が必要と考えます。
- 質問項目別に評価をみると、学生自身についての項目では、“授業に積極的に出席したと思う”が前期で平均 4.73、後期で 4.71、授業内容についての項目では、“この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか”および“基本的な専門知識が得られたと思うか”が前期でそれぞれ 4.64、4.63、後期で 4.65、4.64、教員の教え方・姿勢についての項目では、“教員が授業に熱意をもって取り組んでいたか”が前期で 4.72、後期で 4.90 と高くなっていました。これらの傾向は昨年度とほぼ同様の結果でした。
- これらの結果からは学生・教員ともに前向きで真剣に授業に取り組み、それにより専門知識を発展につながるよう学ぶことができたといえると思います。
- 一方、評価の高かった科目についても、授業評価を読んだ教員からは、レポートの書き方や発展的な内容に対する理解、また、高校までの学習が基盤となっている内容について理解状況の評価に差があるようだという感想が寄せられました。分からない内容については積極的に質問をする姿勢を期待したいと思います。
- 評価得点が最も低かった質問項目は、例年同様に“シラバスが学修の役に立ったか”でした。平均は前期が 4.44、後期で 4.48 でしたが、昨年度より少し改善がみられました（昨年度：前期 4.32、後期 4.45）。引き続きシラバスを活用する工夫がされたと考えます。しかし中にはこの項目が 4.80 や 4.76 といった科目もあり、活用しやすいシラバスに向け、情報交換を行うことも効果的であると考えます。
- その他、昨年度まで自由記載にみられていた教員による出席確認方法や、評価視点の違いへの指摘や Covid-19 感染対策に関する意見はあまりみられませんでした。これまでの意見をもとに、ガイダンスや授業の環境整備が行われた結果であると考えています。
- 実習科目についてみると、全科目が“遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか”への回答を除いた全項目について 4 点以上となっており、“総合的に満足できたと思うか”については必修科目で 4.35～4.82 の範囲となっていました。

た。令和4年度はCovid-19感染状況が変化するなかで、臨地の施設ごとに対応方針が異なり、同じ科目でも多様な対応が要求されました。特に高学年に配当されている病院以外での臨地実習において、施設ごとの対応を要する状況が顕著でしたので、学生の評価に差が生じたのではないかと考えます。

- 自由記載をみると、“**看護に興味をもつようになった” “患者と関わることで実際を知ることができた” “自分の改善点を見つけていながら実習を進めることが出来た” という意見が述べられており、Covid-19拡大に対応しながらも短い臨地実習の機会を最大限に活かす工夫がされたと考えます。一方で、“共通して必要な情報の共有が教員間でできておらず、課題を行う時間が短縮された” “夜間にメール連絡があり、いつも確認していなければいけない…と不安になった” というものもあり、臨地の実習方針が多様ななかで、教員間の情報共有が不足したり、対策立案が間際となり、学生の不利益につながったことが否めません。実習指導における教員の基礎的なスキルを再度確認し、効果的な臨地実習となるよう努力を継続することが必要と考えます。

2. 授業において工夫した点について

- いずれの科目についても、前年度の評価を活かし、授業の内容と方法が改善されていました。
- 学生も教員も遠隔授業に習熟してきたことに加えて、基礎的なICTスキルにとどまらず、ICTならではの機能を取入れ、アクティブラーニングや学生の主体的な授業参加を意識した授業展開が行われていました。
- 学生の評価に対する教員コメントにも、“遠隔授業は不安だったが、これまで通り学生の反応を得て能力の獲得に導けた” “対面から開始したため、その後遠隔になってもコミュニケーションをとりながら授業が展開できた” 等が寄せられ、遠隔授業であっても双方向の授業が展開されたことがわかりました。
- 次に、具体的な工夫の例を示します。
- ICTのさらなる活用による授業目標達成にむけた工夫
 - オンデマンド授業と対面授業を交互に行い、学生の理解をはかった。
 - ブレイクアウトルーム機能を多く取入れ、ペアワークを行った。
 - 昨年度のオンデマンド教材も視聴可とした。
- 学内授業と臨地実習との相乗効果を高める効果
 - 実習日数が少ないことを鑑み、授業に視聴覚教材を多用した。
 - 学内での代替実習において臨場感を確保するため、シミュレーターや模擬電子カルテ、教員による模擬患者等を導入した。
- Covid-19感染拡大予防と演習授業の目標を達成する工夫
 - 対面の演習科目では、感染予防に努めながらも、演習キットを自宅に持ち帰れるようにする、学生同士での演習ではなくシミュレーターを導入する等、工夫をした。
- 理論的知識の活用能力育成をねらった工夫
 - 授業においても、可能な範囲内で現場の医師・看護師をゲストスピーカー

- として招いた。
- 演習に実習で経験するであろう項目を多く取入れた
- 考える授業を心掛けた。
- 遠隔授業での学生-学生／学生-教員間の相互作用促進の工夫
 - オンラインでのグループワークは、課題の出し方、資料の準備等、学生が進めていきやすいよう工夫した。
 - 遠隔授業でもロールプレイの発表等を行った。
 - 学生からのコメントをとりあげフィードバックした。
 - 遠隔授業において、匿名性が担保されるチャットを取入れ、意見が言いやすいようにした。
 - 遠隔授業では一方向とならないよう意見や感想を聞く努力をした。
 - 遠隔授業で学生同士の交流ができるようにした。
- 学生のモチベーションを維持し、主体性を育む工夫
 - レポート評価についてルーブリックで示した。
 - アラカルト選択方式を導入し、自由度の高いレポート課題とした。
 - ノートをとる時間よりも、考える時間を多くとれるよう資料を工夫した。
 - 集中力が続かないように見受けられたので、毎回、小さい演習や、休憩を取入れた。
 - WebClass を利用した小テストと、短いレポートを評価に取入れた。
 - 資格試験に関連する科目については、試験問題等もとりあげた。
- 難易度の高い内容について、理解しやすい工夫
 - 難易度の高い単元については、学生に身近な事例を取入れた。
 - 学外演習科目との連動に心がけた。
- 前年度の評価を活かし、より理解しやすい工夫
 - 昨年度の評価を活かして、より理解しやすい内容となるよう工夫した。
 - 昨年度の評価を活かして、余裕をもたせた内容とした。

3. 今後の授業への生かし方について

- 授業評価から得られた課題を活かし、次のように取り組んでいきたいと思いをます。
- 本学では、今後も ICT 活用と DX を推進する方針です。ICT を活かしたハイブリッド授業の効果を高めるため、授業評価を活かし、効果的な授業運営に必要な ICT スキルを高めるとともに、対面授業を行う科目・単元と遠隔授業およびオンデマンド授業を行うものとを精選していきます。
- どのような授業形態であっても学生の主体性が活かされ、またさらに育むことのできる授業となるよう、双方向性の強化に引き続き取り組みます。
 - 授業の達成目標が学生のレディネスに適しているかを点検・改善し、シラバスやガイダンスを通して、どのような能力の獲得を、どのような方法でめざしていくのかを説明し、見通しをもって学修ができるようにします。
 - 学生が自らの成長を適宜評価できるようフィードバックを行います。
 - 資料や課題の早期提示を含め、授業を効果的に受けるための準備学習と、

知識・技術の定着をはかる事後学習の工夫をはかります。

- 授業前後の課題提示については、他科目やテストとの重複による過負荷に配慮し、科目間の情報共有を行います。
 - レポートの書き方や ICT 活用方法については、動画を配信していますが、活用されていない状況があります。ガイダンスを充実させるとともに、授業においても機会をとらえて紹介していきます。
- 低学年では、重要点をピンポイントで示唆して欲しい、もっと事前に説明してほしいといった等が、4年生では国家試験の勉強に集中したいといった意見がありました。
- 教員として授業内容を振り返り真摯に対応するとともに、高等教育の場として高校までの授業とは異なり、単語の暗記ではなく理論の理解や課題の発見を求められているということや、卒業時到達目標を達成するためには4年間の学修が必要であり、だからこそ各科目での学修の積み重ねが試験合格に求められる知識の定着ともなるよう日々取り組むことが効果的であることを、機会を得て説明していきます。
- 他には、学生が自らの学修達成状況を自己点検していけるようポートフォリオの活用を促進すること、マイルストーンとなる共通試験の導入についても検討を開始します。
- リベラルアーツに関する選択科目の評価の高さがより活かされるよう、ガイダンスの充実をはかります。授業内容に加えて、先輩からの体験談等を伝えることで履修を考えている学年の関心に触れるようにし、貴重な学修の機会がより有効に活かされるよう工夫します。
- 臨地実習は、Covid-19 感染への取り組みを経て、With コロナのフェイズへと大きく変わろうとしています。新たな実習のあり方について教員間での情報収集と学習・検討を重ね、貴重な機会である臨地実習が、より効果的なものとなるよう、プログラム改善を行い、教員スキルを向上します。
- 医療系の大学として、引き続き Covid-19 感染への対応が必要です。一方で、学生が充実した大学生活を送ることができるよう、活動の機会も必要です。With コロナを当然のこととして実施していけるよう、感染管理に関するガイダンスを継続させていくとともに、エビデンスに基づいためりはりのある授業運営方法と学修環境をめざします。

4. その他

- 令和4年度の評価は、回答率も高く、多くの学生の率直な評価が反映されたと考えています。同時に、学生が授業評価の意味を理解し、改善に向け参画意識をもって取り組んだ結果と考えています。今後も、学生と教職員が共に創り上げていく授業をめざし、共有していきたいと思えます。
- 一方で、Covid-19 感染拡大の影響として、感染対策に関する作業の増加や、

出席停止学生への緊急対応の必要性、臨地実習の調整等も継続しています。そのような中、教員からは、学生の遠隔授業への参加状況に関して“ログインしたまま退席していた”“飲食しながら参加していた”等の指摘がありました。こういった態度は授業をしている教員に対して、また共に学ぶ学友に対して非常に失礼であり、とても残念に感じます。医療系の学問分野では、人の尊厳を重んじる価値観が大前提です。授業をより有意義なものとするためにも、お互いへのリスペクトと思いやりをもって臨んでいきたいと思えます。

令和4年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 千葉看護学部 看護学科

○全科目数 141科目

○調査対象者数 8,671人(延人数)

○総回答数 7,919件(回答率 91.3%)

◆ 講義・演習科目及び実習・実験科目における共通質問項目別集計結果
 〈質問項目番号の()は実習・実験科目における質問項目の番号である。〉
 〈上段()は令和3年度アンケート結果〉

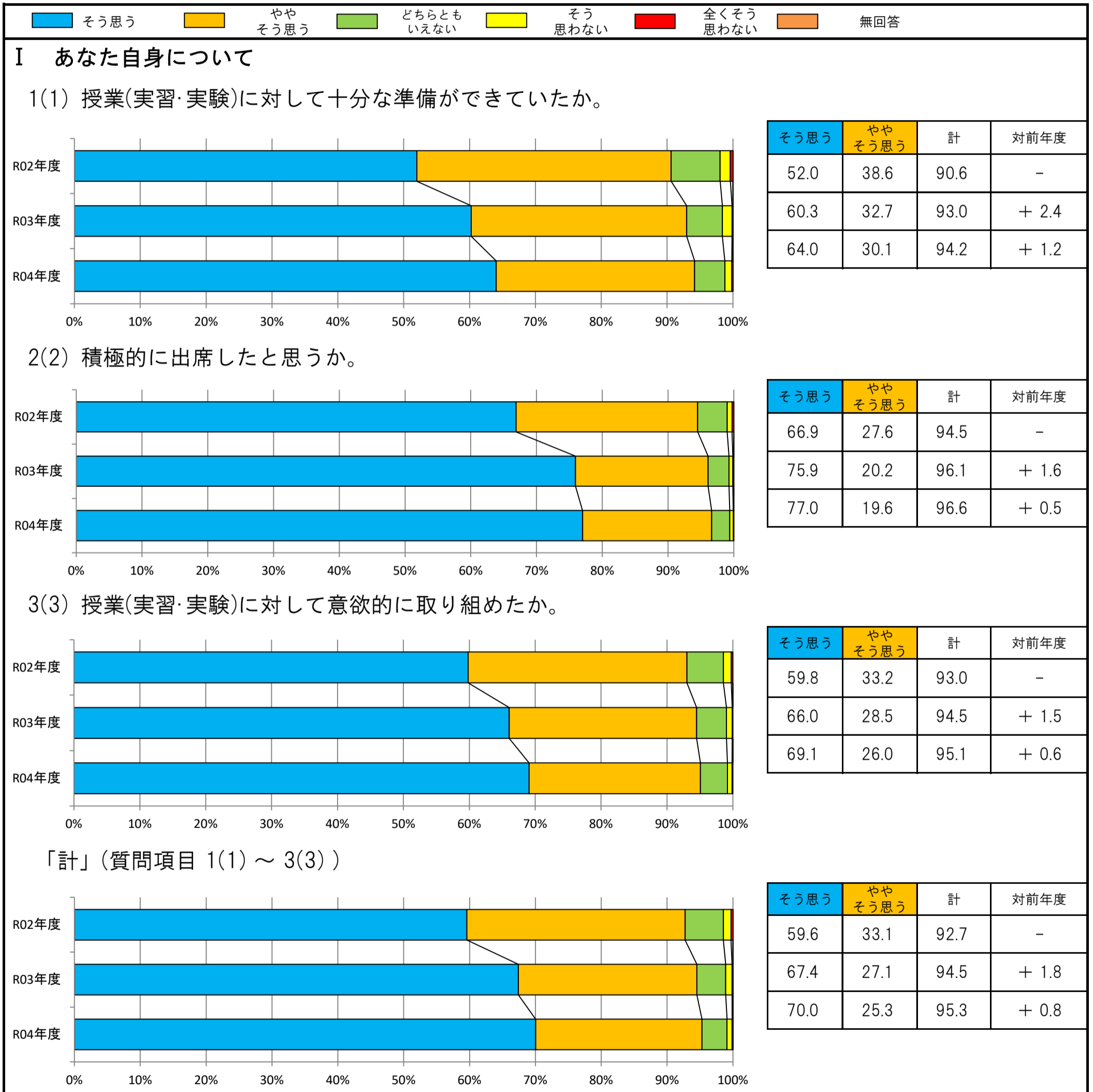
質問項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1(1) 授業(実習・実験)に対して十分な準備ができていたか。	(60.3) 64.0	(32.7) 30.1	(5.4) 4.6	(1.5) 1.0	(0.1) 0.2	0.0 0.0	(100) 100
2(2) 積極的に出席したと思うか。	(75.9) 77.0	(20.2) 19.6	(3.1) 2.8	(0.6) 0.5	(0.2) 0.1	0.0 0.0	(100) 100
3(3) 授業(実習・実験)に対して意欲的に取り組めたか。	(66.0) 69.1	(28.5) 26.0	(4.5) 4.1	(0.9) 0.7	(0.1) 0.1	0.0 0.0	(100) 100
計	(67.4) 70.0	(27.1) 25.3	(4.4) 3.8	(1.0) 0.8	(0.1) 0.1	0.0 0.0	(100) 100
II 授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4(4) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。	(52.8) 59.5	(38.7) 33.4	(6.4) 5.4	(1.7) 1.5	(0.3) 0.2	0.0 0.0	(100) 100
5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(67.2) 69.6	(27.7) 25.8	(4.1) 3.7	(0.8) 0.7	(0.2) 0.2	0.0 0.0	(100) 100
6(6) 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(65.7) 67.8	(28.0) 26.4	(5.0) 4.7	(1.0) 1.0	(0.3) 0.2	0.0 0.0	(100) 100
7(7) この授業(実習・実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(69.5) 71.3	(25.7) 23.9	(4.0) 3.7	(0.6) 0.9	(0.2) 0.2	0.0 0.0	(100) 100
計	(63.8) 67.1	(30.0) 27.4	(4.9) 4.4	(1.1) 1.0	(0.2) 0.2	0.0 0.0	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(55.0) 60.0	(30.5) 28.1	(11.6) 9.3	(2.0) 1.8	(0.8) 0.8	0.0 0.0	(100) 100
9(9) 学習しやすい授業(実習・実験)環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(69.9) 73.0	(25.0) 23.0	(4.2) 3.4	(0.7) 0.5	(0.2) 0.1	0.0 0.0	(100) 100
10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(69.9) 71.6	(24.0) 23.5	(4.6) 4.0	(1.2) 0.7	(0.3) 0.2	0.0 0.0	(100) 100
12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(62.0) 65.6	(27.7) 26.3	(8.1) 6.3	(1.7) 1.4	(0.5) 0.4	0.0 0.0	(100) 100
13(12) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。	(67.6) 70.7	(25.5) 24.2	(4.9) 3.9	(1.5) 1.0	(0.5) 0.3	0.0 0.0	(100) 100
14(13) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(75.2) 75.2	(21.2) 21.6	(3.0) 2.5	(0.4) 0.5	(0.1) 0.1	0.0 0.0	(100) 100
15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習・実験)を行ったと思うか。	(60.7) 64.9	(28.1) 26.4	(8.1) 6.4	(2.4) 1.7	(0.6) 0.6	0.0 0.0	(100) 100
計	(65.8) 68.7	(26.0) 24.7	(6.3) 5.1	(1.4) 1.1	(0.4) 0.3	0.0 0.0	(100) 100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16(15) この授業(実習・実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(59.7) 60.5	(22.8) 20.5	(9.9) 9.3	(4.3) 4.6	(3.3) 5.1	0.0 0.0	(100) 100
17(16) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。	(63.7) 67.9	(29.4) 26.9	(5.3) 4.1	(1.3) 0.9	(0.3) 0.2	0.0 0.0	(100) 100
計	(61.7) 64.2	(26.1) 23.7	(7.6) 6.7	(2.8) 2.8	(1.8) 2.6	0.0 0.0	(100) 100
全質問項目の平均	(64.7) 67.5	(27.3) 25.3	(5.8) 5.0	(1.6) 1.4	(0.7) 0.8	0.0 0.0	(100) 100

授業評価アンケート集計結果 年度別比較

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果

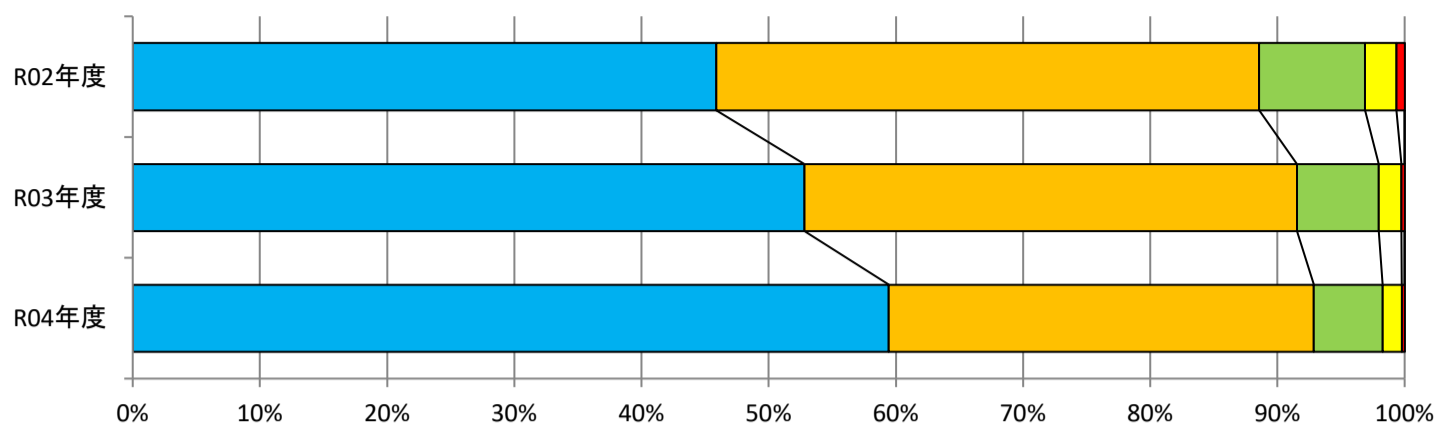
	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全科目数	44科目	80科目	101科目	141科目	141科目
調査対象者数	3,134人	6,093人	7,626人	8,619人	8,671人
総回答数(回答率)	3038枚(96.9%)	5,955枚(97.7%)	7,424件(97.4%)	6,992件(81.1%)	7,919件(91.3%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



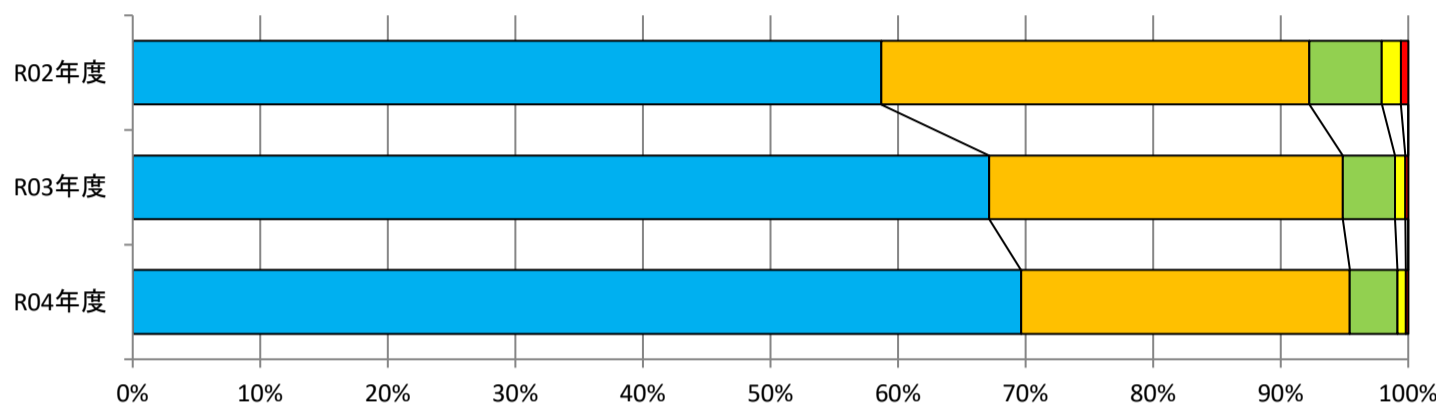
Ⅱ 授業内容について

4(4) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。



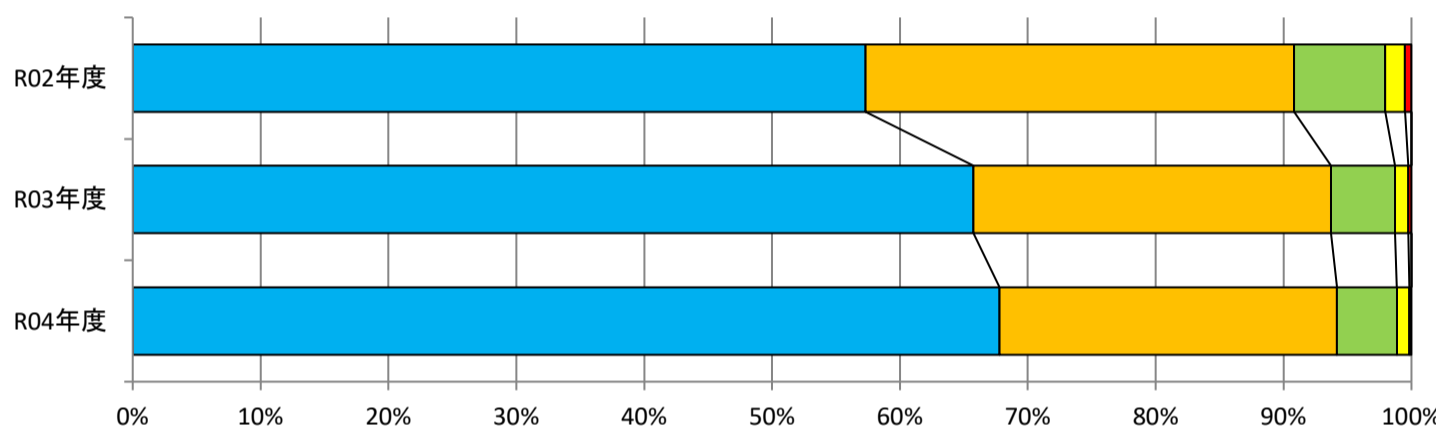
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
45.9	42.7	88.6	-
52.8	38.7	91.5	+ 3.0
59.5	33.4	92.9	+ 1.3

5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。



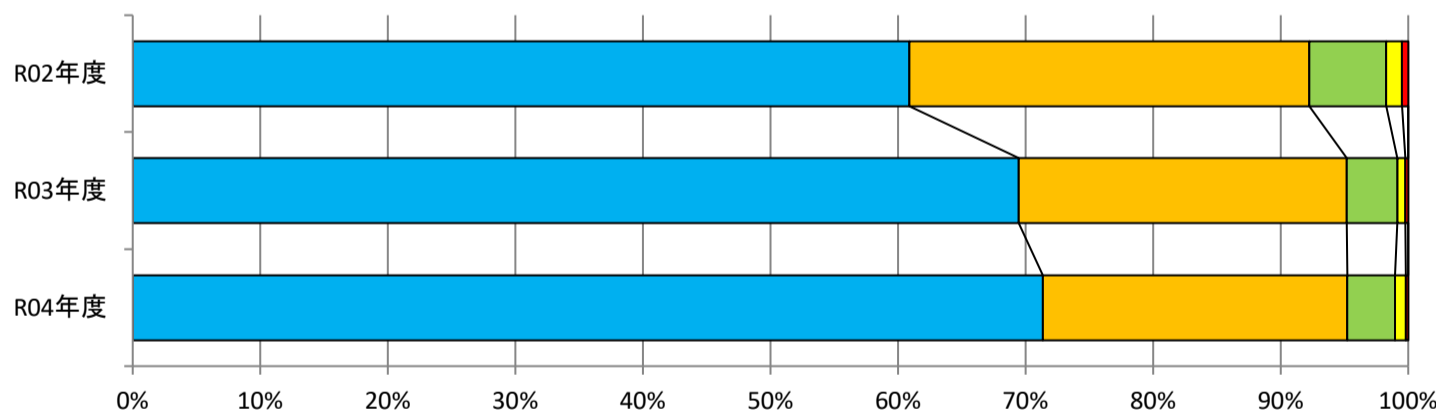
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
58.7	33.6	92.3	-
67.2	27.7	94.9	+ 2.6
69.6	25.8	95.4	+ 0.5

6(6) 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。



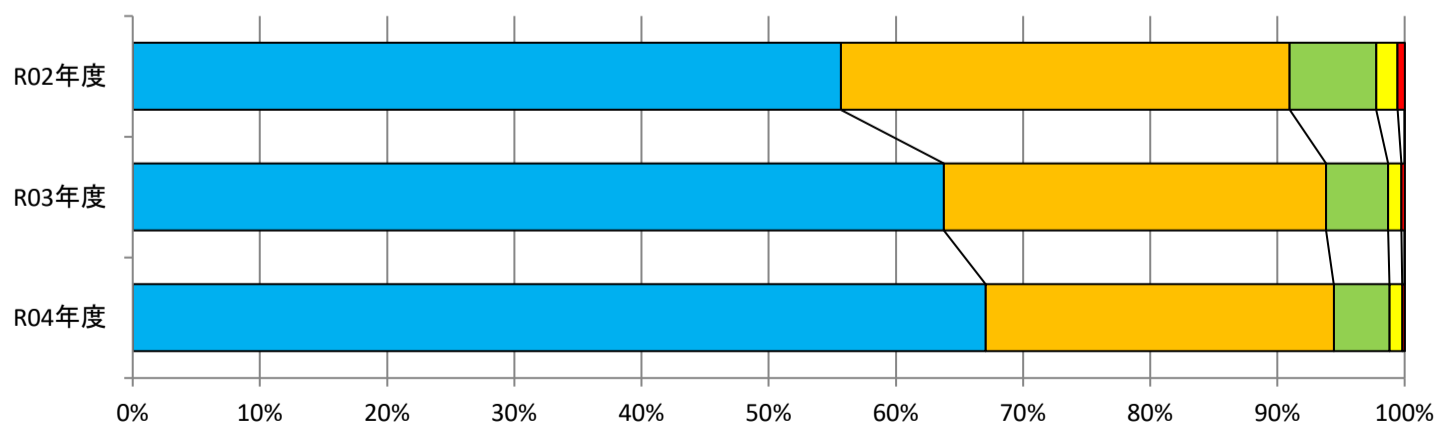
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
57.3	33.5	90.8	-
65.7	28.0	93.7	+ 2.9
67.8	26.4	94.2	+ 0.5

7(7) この授業(実習・実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
60.9	31.4	92.2	-
69.5	25.7	95.2	+ 2.9
71.3	23.9	95.2	+ 0.0

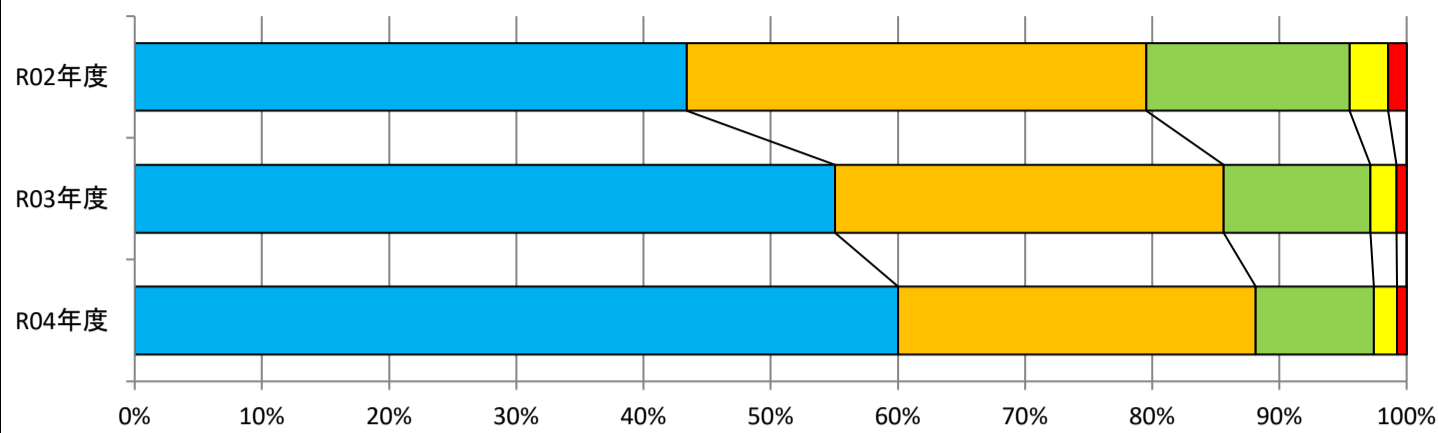
「計」(質問項目 4(4) ~ 7(7))



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
55.7	35.3	91.0	-
63.8	30.0	93.8	+ 2.9
67.1	27.4	94.4	+ 0.6

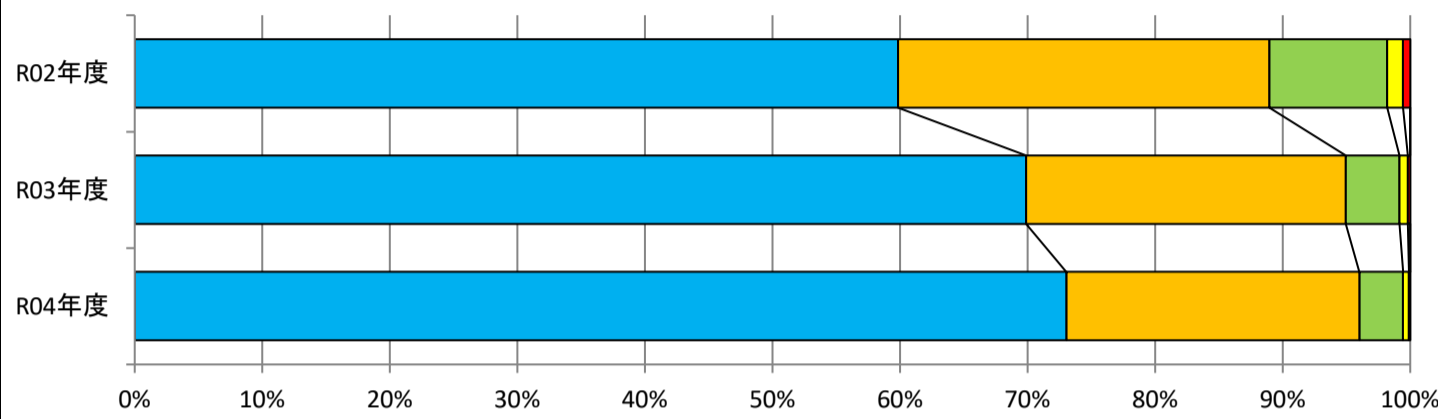
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



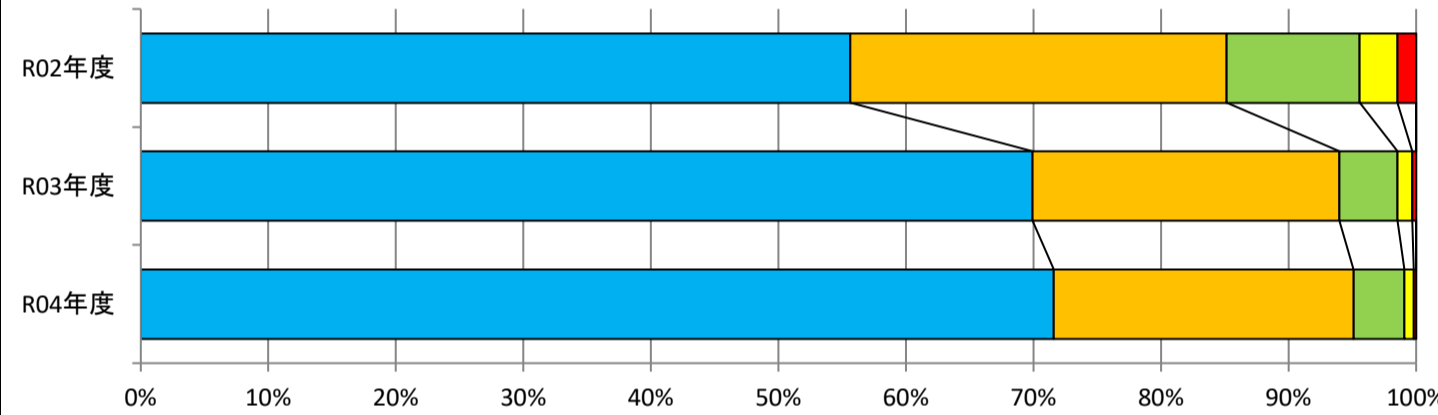
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
43.4	36.1	79.5	-
55.0	30.5	85.6	+ 6.1
60.0	28.1	88.1	+ 2.5

9(9) 学習しやすい授業(実習・実験)環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



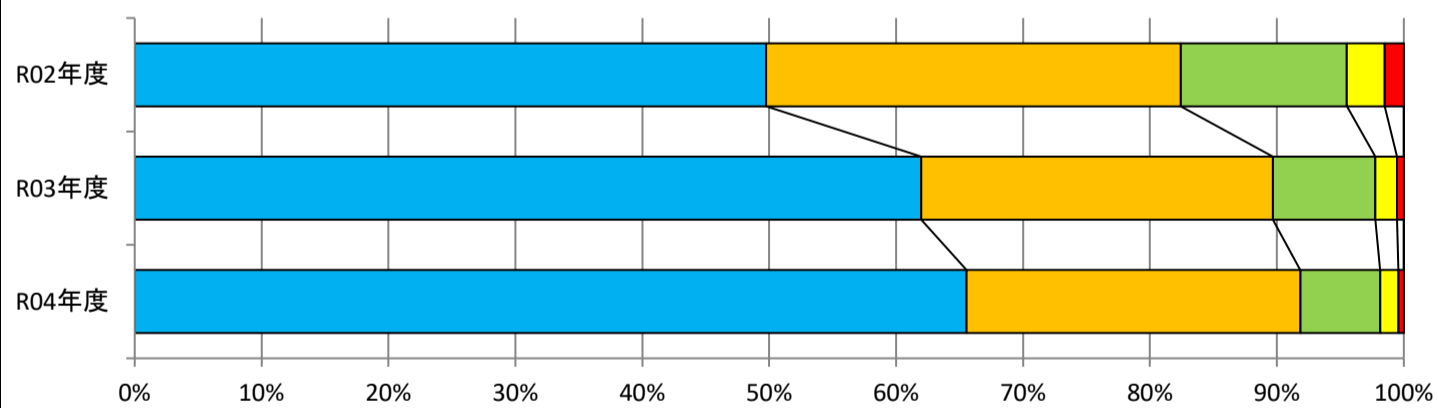
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
59.8	29.1	89.0	-
69.9	25.0	94.9	+ 6.0
73.0	23.0	96.0	+ 1.1

10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



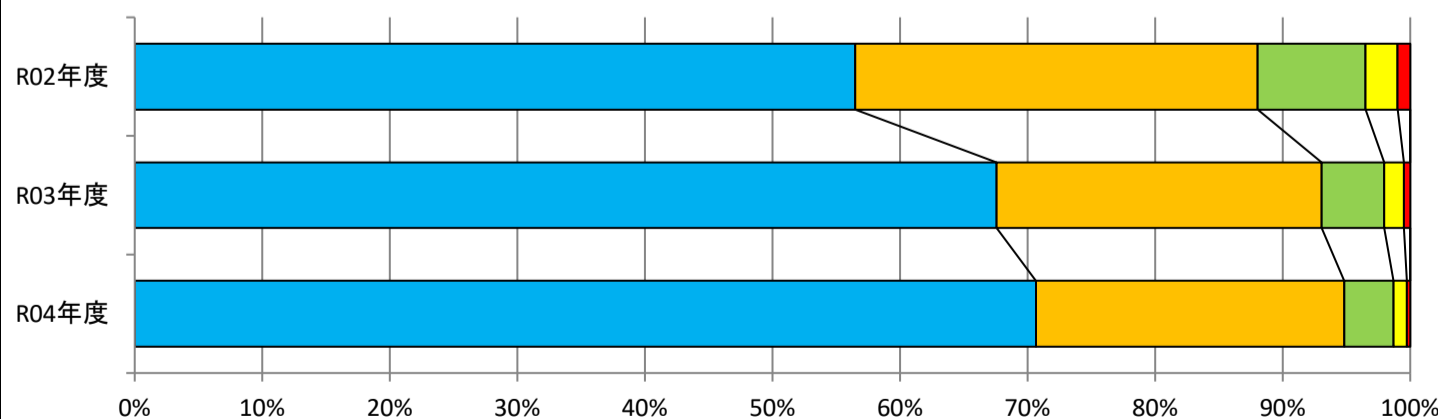
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
55.6	29.5	85.2	-
69.9	24.0	94.0	+ 8.8
71.6	23.5	95.1	+ 1.1

12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



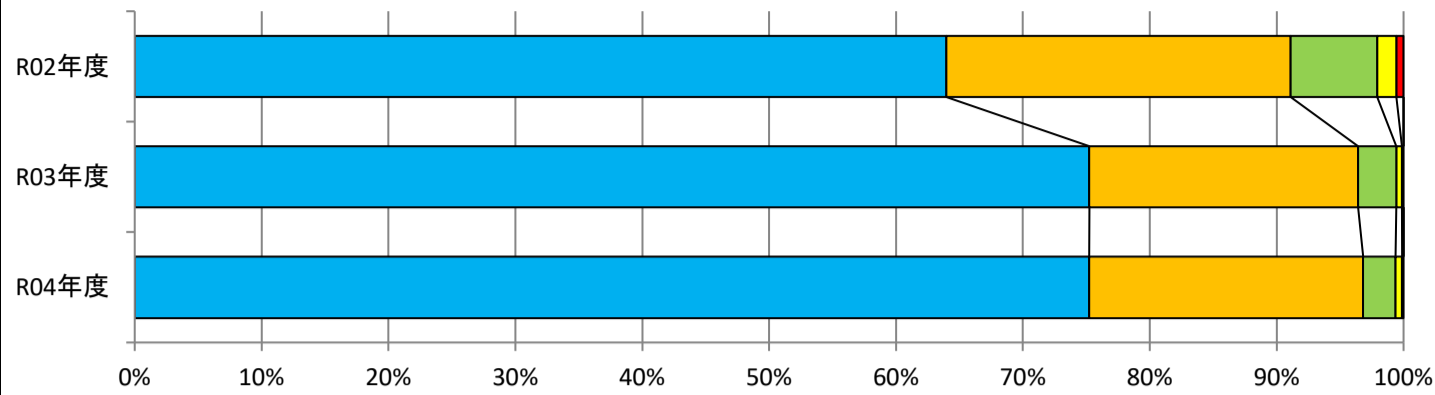
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
49.7	32.7	82.4	-
62.0	27.7	89.7	+ 7.3
65.6	26.3	91.8	+ 2.1

13(12) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。



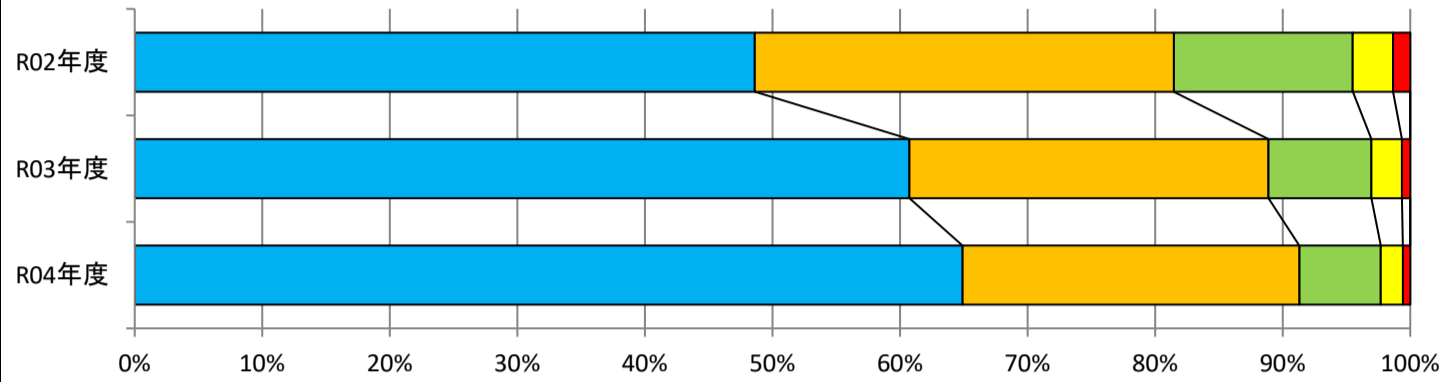
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
56.5	31.6	88.0	-
67.6	25.5	93.0	+ 5.0
70.7	24.2	94.8	+ 1.8

14(13) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。



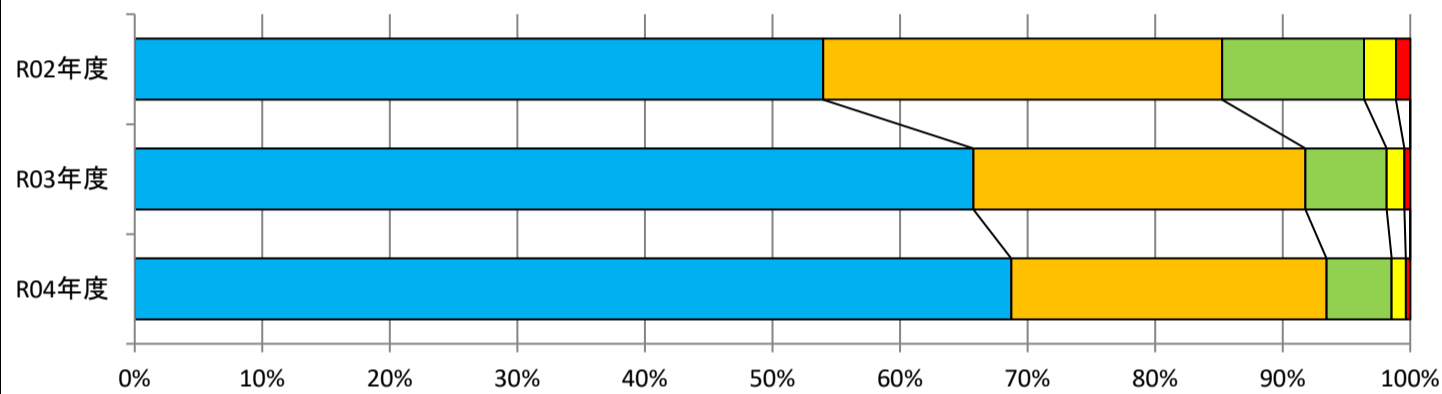
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
64.0	27.1	91.1	-
75.2	21.2	96.4	+ 5.3
75.2	21.6	96.8	+ 0.4

15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習・実験)を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
48.6	32.8	81.5	-
60.7	28.1	88.9	+ 7.4
64.9	26.4	91.3	+ 2.4

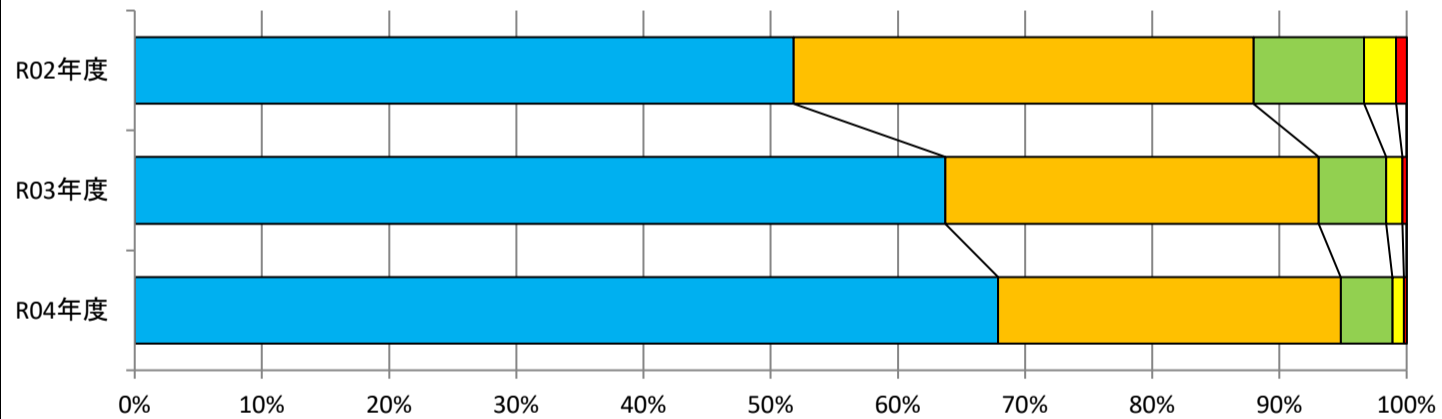
「計」(質問項目 8(8) ~ 15(14))



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
54.0	31.3	85.2	-
65.8	26.0	91.8	+ 6.6
68.7	24.7	93.4	+ 1.6

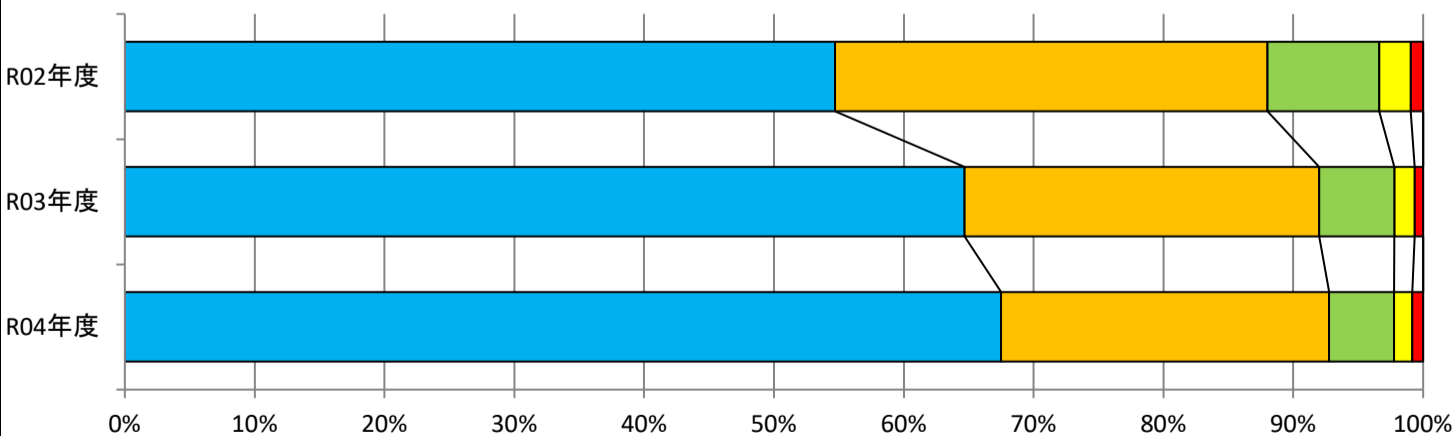
IV 総合評価

16(15) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
51.8	36.1	88.0	-
63.7	29.4	93.1	+ 5.1
67.9	26.9	94.8	+ 1.7

全質問項目の平均

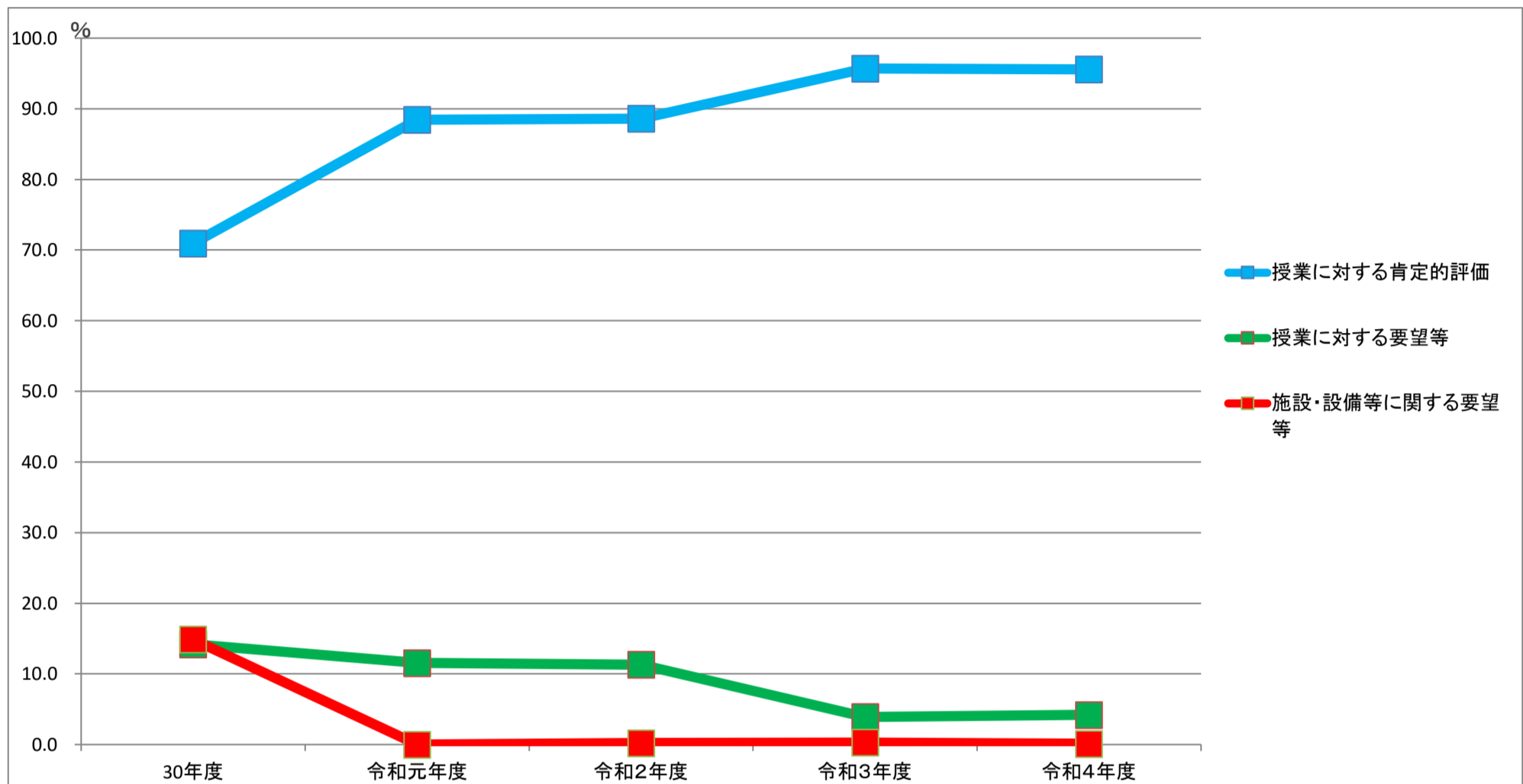


そう思う	ややそう思う	計	対前年度
54.7	33.3	88.0	-
64.7	27.3	92.0	+ 4.0
67.5	25.3	92.8	+ 0.8

◆ 年度別 自由記述集計結果

分類項目／年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
授業に対する肯定的評価	(52.5%) 207	(55.1%) 207	(88.6%) 480	(95.7%) 1,146	(95.6%) 791
授業に対する要望等	(45.7%) 180	(41.4%) 156	(11.3%) 61	(3.9%) 47	(4.2%) 35
施設・設備等に関する要望等	(1.8%) 7	(3.5%) 13	(0.2%) 1	(0.3%) 4	(0.1%) 1
総件数	(100%) 394	(100%) 376	(100%) 542	(100%) 1,197	(100%) 827

※ () 内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	791	<ul style="list-style-type: none"> ・アロマのハンドマッサージを母にしてあげたら喜んでくれました。 ・クリティークというとても難しいように思いましたが、先生方は私たちのレベルにあった課題やグループ、発表の方法をとってくださったので、有意義に学びました。 ・グループの様子や、課題に取り組む際に、相談に乗ってくださり、安心することができました。記載方法についても丁寧に教えてくださりありがとうございました。 ・ボランティア活動についての知識を得ることができ、また、ボランティア活動は社会問題を解決するために自分にできることや関心のある活動を自ら探し、そして自らの意思で実行することが大事だということに気づくことができました。 ・パワーポイントで他のグループの発表を見ると全然違ったりするので見ていて楽しかったです。家族について学んだ後にそれぞれの発表を見ると、家族の全体性などを考えることができた。
授業に対する要望等	35	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンターの数が少なく、事前に印刷できない時もあり、混みあってしまうため、授業資料を印刷していただくとありがたいです。 ・レジュメの中で資料の一部を載せているところがあったのですがズームしても見えないところがあったので、見える大きさの字にしてほしい。 ・各実習と実習の間に1週間程度の準備期間があればよいと感じた。 ・病棟内で大きな声を出すことは患者の刺激になるのでよくないと思うが学生に指示を出すときの声が小さすぎて一部にしか伝わらないことや実習の流れが分からないことがあった。 ・毎回の授業のパワーポイントで、配布された資料に書かれていないことが多く、授業中にメモできなかった部分が多いので、そのパワーポイントをWebClassに載せて頂けるとありがたいです。
施設・設備等に関する要望等	1	ネット環境の影響で音声が遅くなる現象が起こるのは改善して頂きたい
計	827	

令和4年度 授業評価集計結果(講義・演習科目)

東京医療保健大学 千葉看護学部 看護学科

○講義・演習科目数 131科目 ○調査対象者数 7,890人(延人数)
○総回答数 7,207件(回答率 91.35%)

◆ 質問項目別集計結果

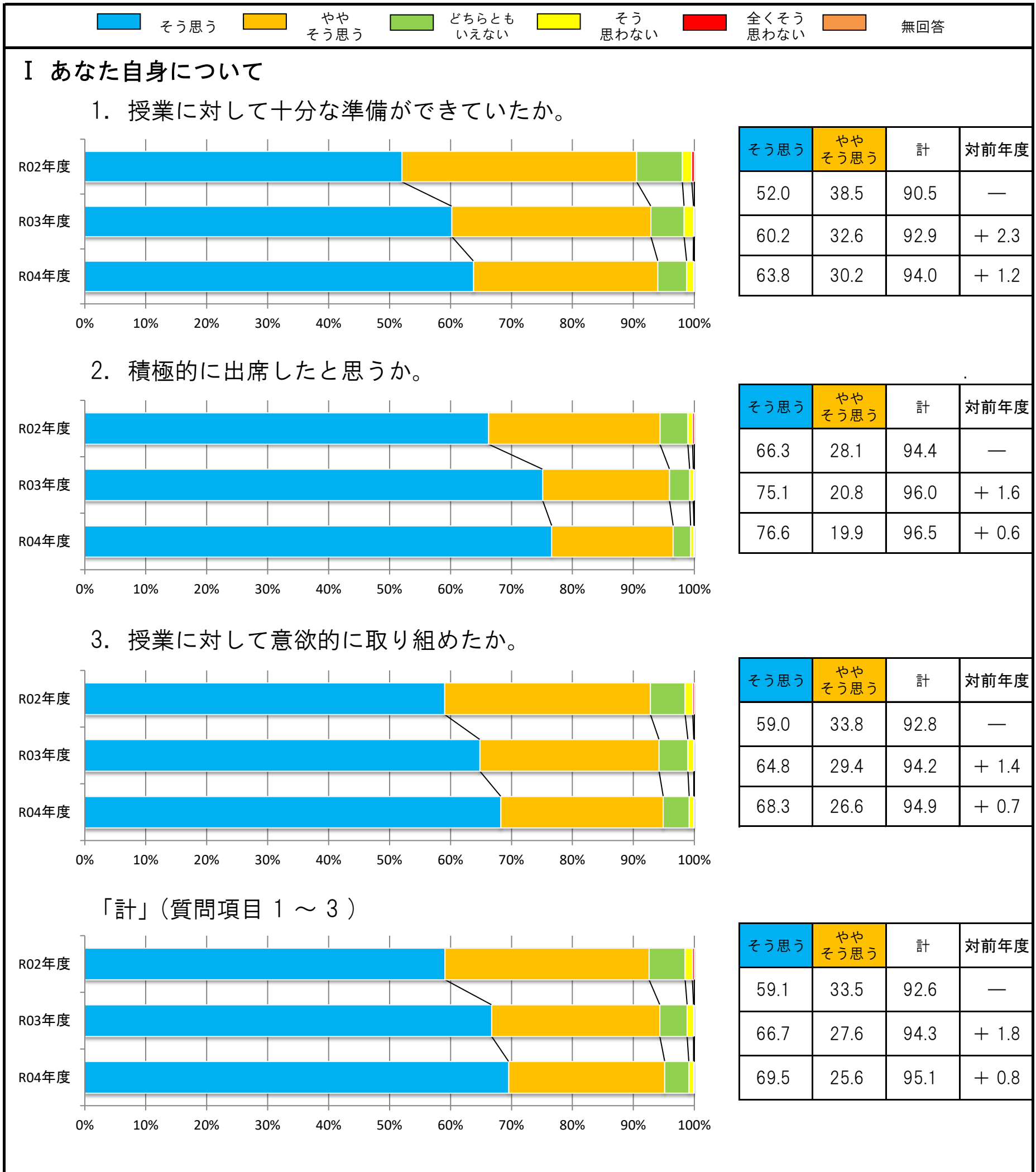
〈上段()は令和3年度アンケート結果〉

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 授業に対して十分な準備ができていたか。	(60.2)	(32.6)	(5.5)	(1.5)	(0.1)	0.0	(100)
	63.8	30.2	4.7	1.1	0.2		100
2. 積極的に出席したと思うか。	(75.1)	(20.8)	(3.3)	(0.6)	(0.2)	0.0	(100)
	76.6	19.9	2.9	0.5	0.1		100
3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。	(64.8)	(29.4)	(4.7)	(0.9)	(0.1)	0.0	(100)
	68.3	26.6	4.3	0.7	0.1		100
計	(66.7)	(27.6)	(4.5)	(1.0)	(0.1)	0.0	(100)
	69.5	25.6	3.9	0.8	0.1		100
II 授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 授業内容をよく理解できたと思うか。	(51.6)	(39.4)	(6.8)	(1.9)	(0.3)	0.0	(100)
	58.7	33.9	5.6	1.6	0.2		100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(66.3)	(28.4)	(4.2)	(0.9)	(0.2)	0.0	(100)
	69.2	26.2	3.7	0.7	0.2		100
6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(64.7)	(28.6)	(5.2)	(1.1)	(0.3)	0.0	(100)
	67.2	26.7	4.9	1.0	0.2		100
7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(68.8)	(26.1)	(4.2)	(0.7)	(0.2)	0.0	(100)
	70.8	24.2	3.8	0.9	0.2		100
計	(62.8)	(30.6)	(5.1)	(1.2)	(0.3)	0.0	(100)
	66.5	27.7	4.5	1.1	0.2	0.0	100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(55.6)	(30.1)	(11.5)	(2.0)	(0.7)	0.0	(100)
	60.7	27.8	9.0	1.8	0.8	0.0	100
9. 学習しやすい授業環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(70.1)	(24.8)	(4.1)	(0.6)	(0.2)	0.0	(100)
	73.3	22.8	3.5	0.4	0.1	0.0	100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(69.8)	(23.9)	(4.7)	(1.2)	(0.3)	0.0	(100)
	71.7	23.6	3.9	0.6	0.1	0.0	100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、 -1 わかりやすい板書であったと思うか。	(64.4)	(22.6)	(9.8)	(2.4)	(0.9)	0.0	(100)
	68.5	23.2	6.8	1.0	0.6	0.0	100
11. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、 -2 その実施内容はわかりやすかったと思うか。	(69.4)	(23.3)	(5.2)	(1.7)	(0.5)	0.0	(100)
	70.4	23.0	4.7	1.5	0.4	0.0	100
12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(61.1)	(28.2)	(8.4)	(1.7)	(0.6)	0.0	(100)
	65.2	26.4	6.5	1.5	0.4	0.0	100
13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	(67.4)	(25.6)	(4.9)	(1.5)	(0.5)	0.0	(100)
	71.0	24.1	3.8	0.9	0.2	0.0	100
14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(74.9)	(21.5)	(3.1)	(0.4)	(0.1)	0.0	(100)
	75.3	21.7	2.5	0.5	0.1	0.0	100
15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。	(59.8)	(28.4)	(8.5)	(2.6)	(0.7)	0.0	(100)
	64.7	26.4	6.6	1.7	0.6	0.0	100
計	(65.8)	(25.4)	(6.7)	(1.6)	(0.5)	0.0	(100)
	69.0	24.3	5.3	1.1	0.4	0.0	100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16. この講義・演習は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(61.6)	(22.5)	(9.3)	(3.9)	(2.6)	0.0	(100)
	62.6	20.3	8.9	4.4	3.8	0.0	100
17. この授業は総合的に満足できたと思うか。	(63.7)	(29.2)	(5.4)	(1.3)	(0.3)	0.0	(100)
	68.0	26.8	4.1	0.8	0.2	0.0	100
計	(62.7)	(25.9)	(7.4)	(2.6)	(1.5)	0.0	(100.0)
	65.3	23.6	6.5	2.6	2.0	0.0	100
全質問項目の平均	(64.5)	(27.4)	(5.9)	(1.6)	(0.6)	0.0	(100)
	67.6	25.3	5.1	1.4	0.7	0.0	100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（講義・演習科目）

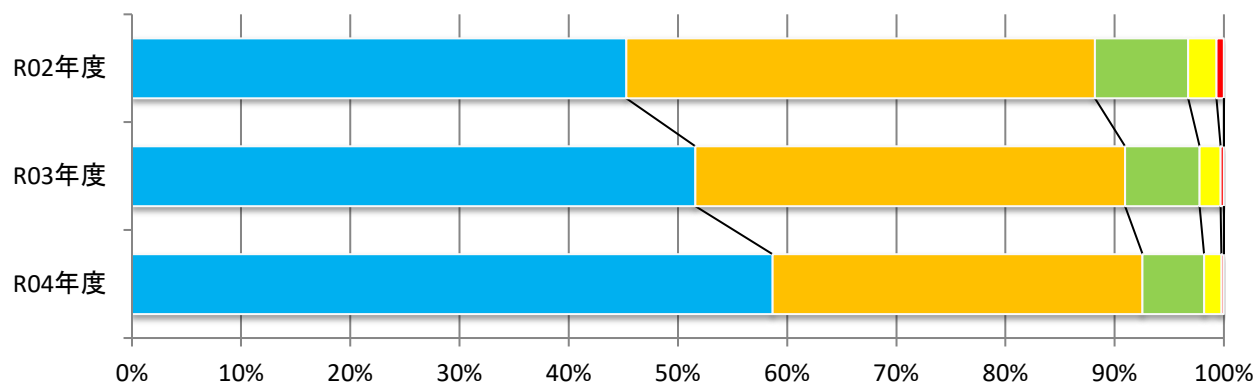
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全科目数	97科目	131科目	131科目
調査対象者数	7,197人	7,851人	7,890人
総回答数（回答率）	7,026件（97.6%）	6,322件（80.5%）	7,207件（91.3%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



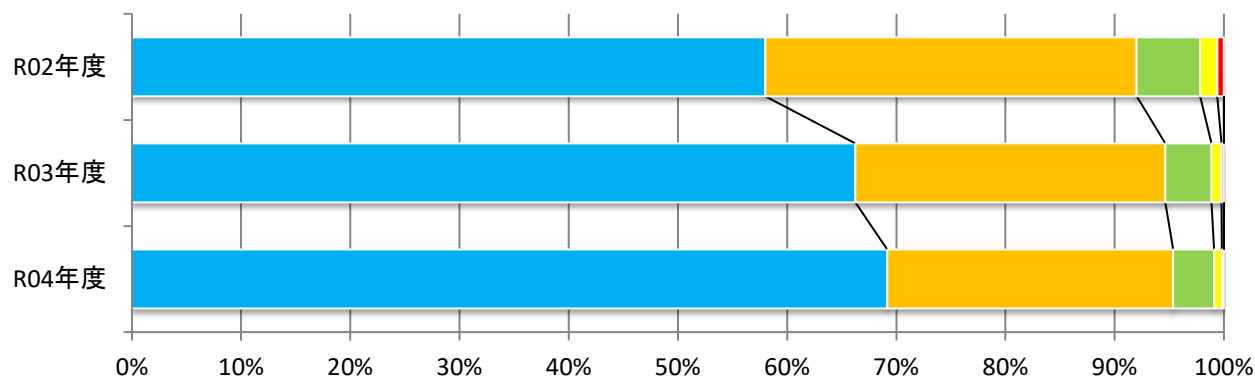
II 授業内容について

4. 授業内容をよく理解できたと思うか。



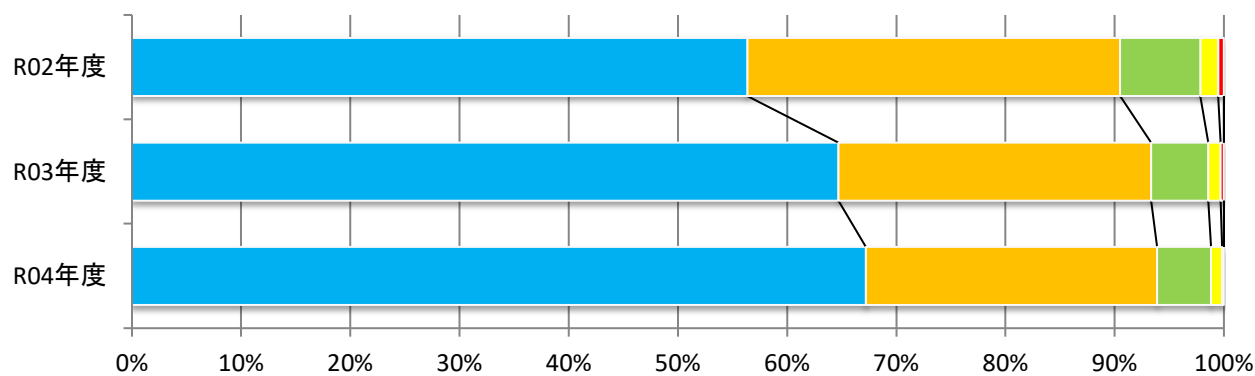
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
45.3	42.9	88.2	—
51.6	39.4	91.0	+ 2.8
58.7	33.9	92.5	+ 1.6

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



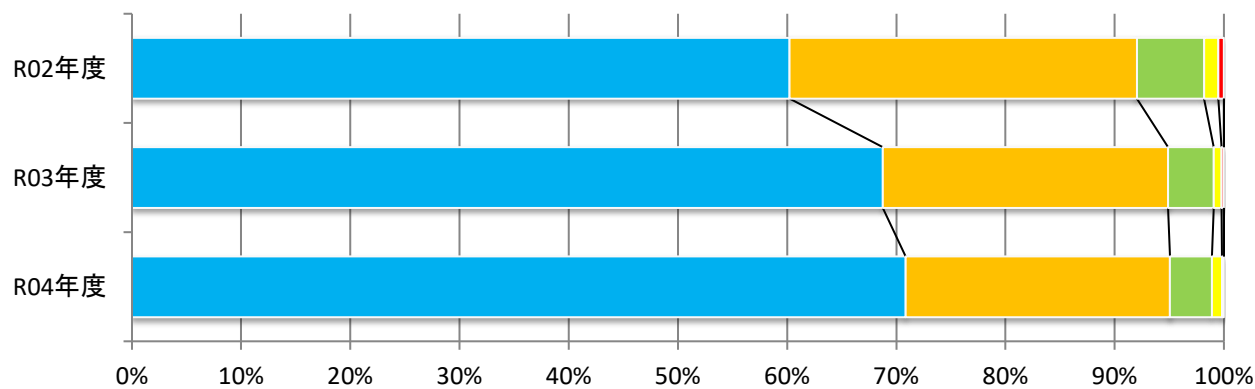
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
58.0	34.0	92.0	—
66.3	28.4	94.6	+ 2.6
69.2	26.2	95.4	+ 0.7

6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。



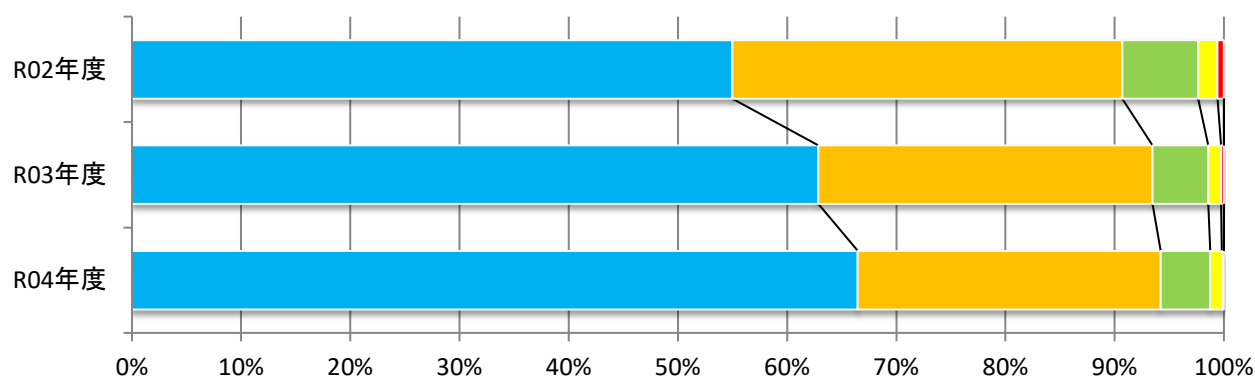
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
56.4	34.1	90.5	—
64.7	28.6	93.3	+ 2.8
67.2	26.7	93.9	+ 0.5

7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
60.2	31.8	92.0	—
68.8	26.1	94.9	+ 2.8
70.8	24.2	95.1	+ 0.2

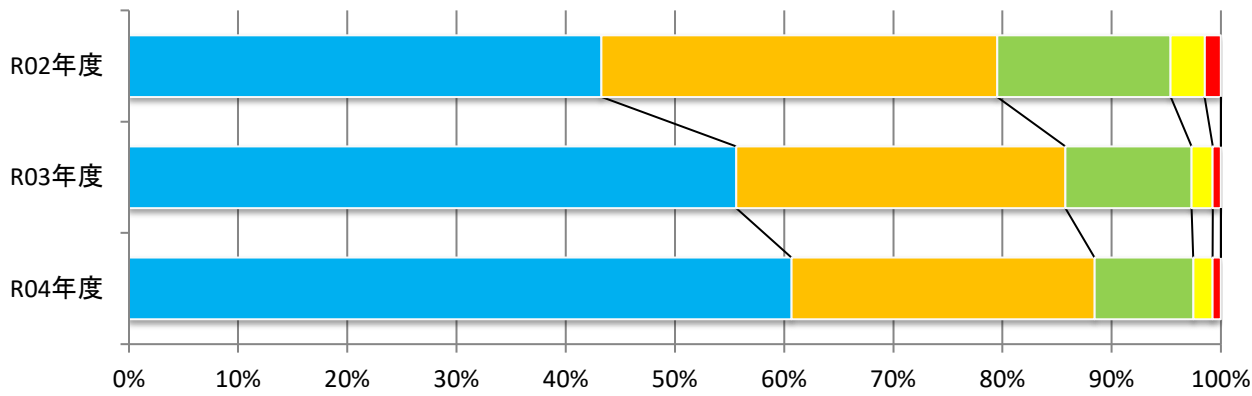
「計」(質問項目 4 ~ 7)



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
55.0	35.7	90.7	—
62.8	30.6	93.5	+ 2.8
66.5	27.7	94.2	+ 0.8

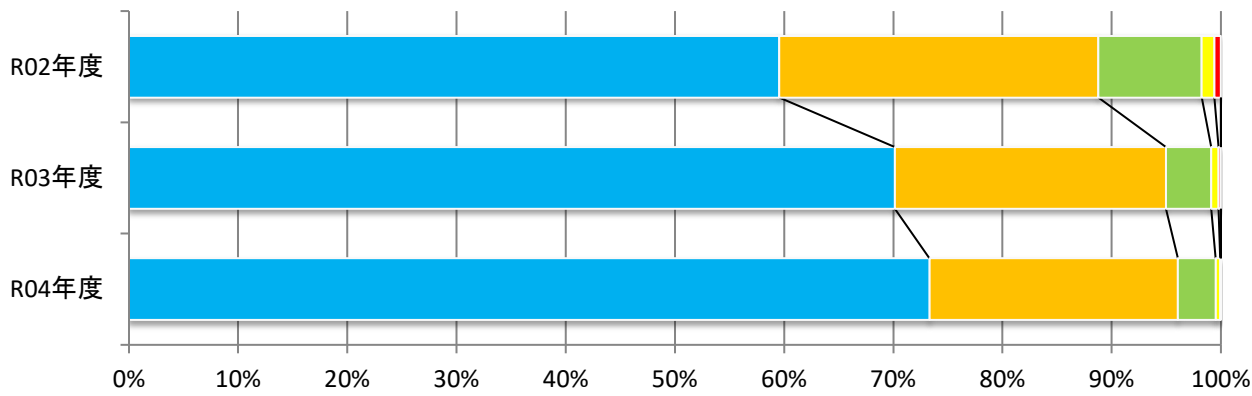
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



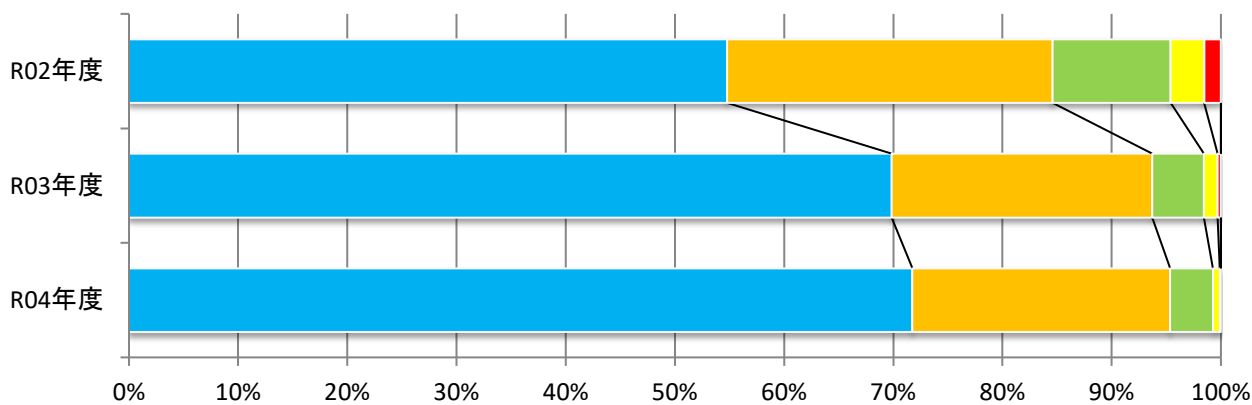
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
43.3	36.2	79.5	—
55.6	30.1	85.8	+ 6.3
60.7	27.8	88.4	+ 2.7

9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



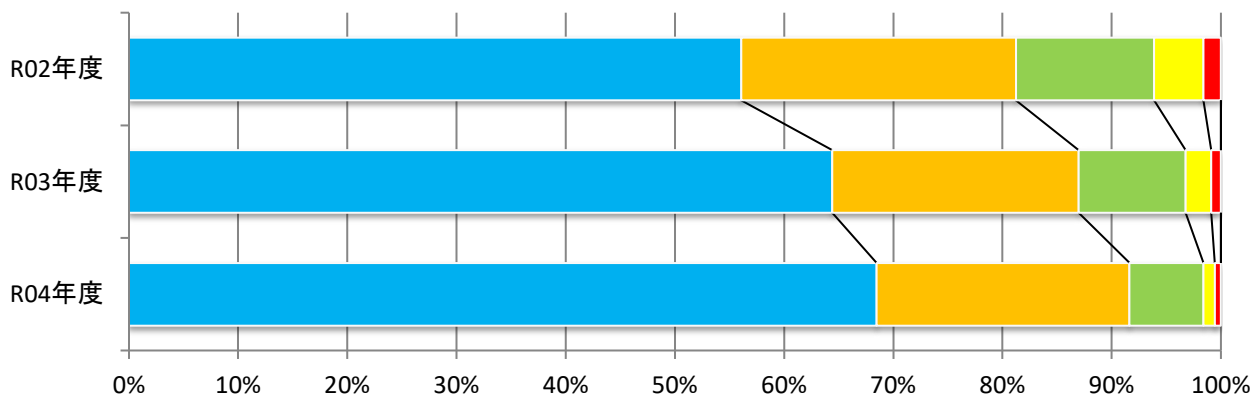
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
59.6	29.2	88.8	—
70.1	24.8	95.0	+ 6.2
73.3	22.8	96.1	+ 1.1

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



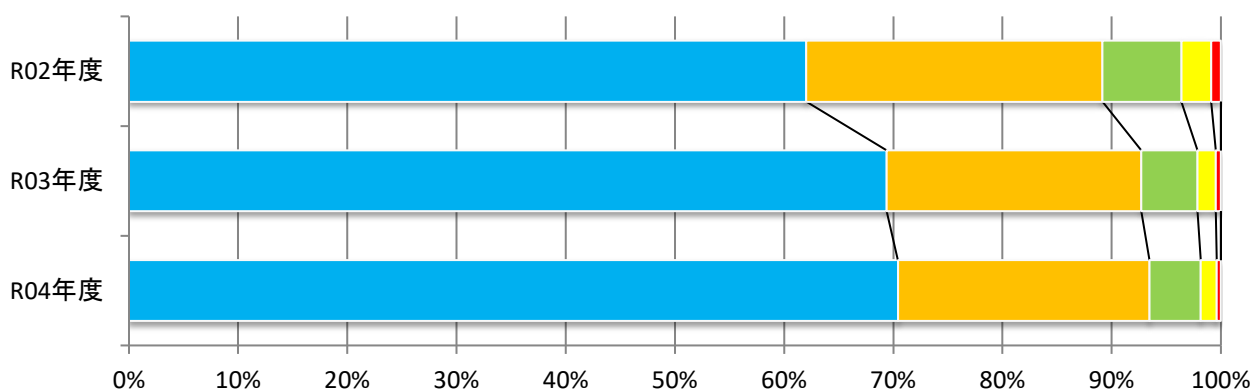
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
54.8	29.8	84.6	—
69.8	23.9	93.7	+ 9.1
71.7	23.6	95.4	+ 1.6

11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい
-1 板書であったと思うか。



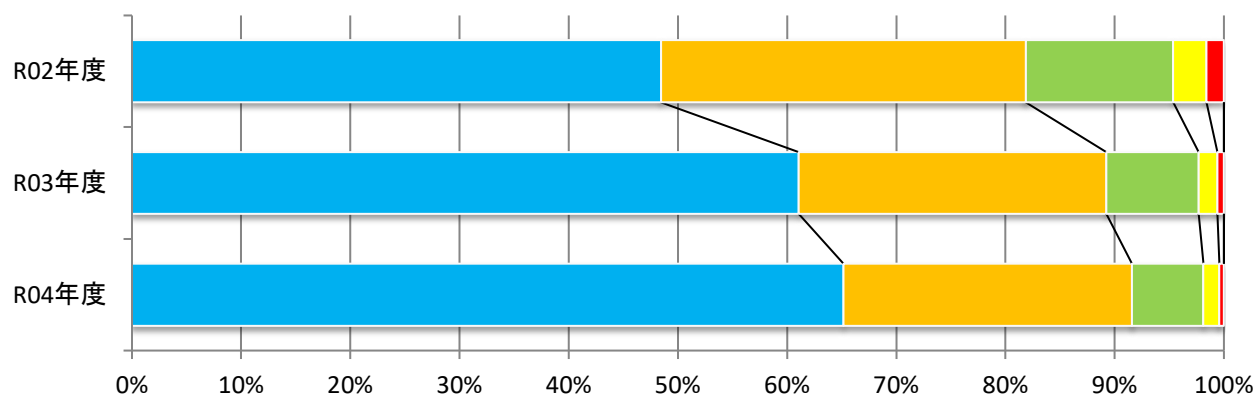
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
56.1	25.2	81.2	—
64.4	22.6	87.0	+ 5.8
68.5	23.2	91.6	+ 4.7

11. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容は
-2 わかりやすかったと思うか。



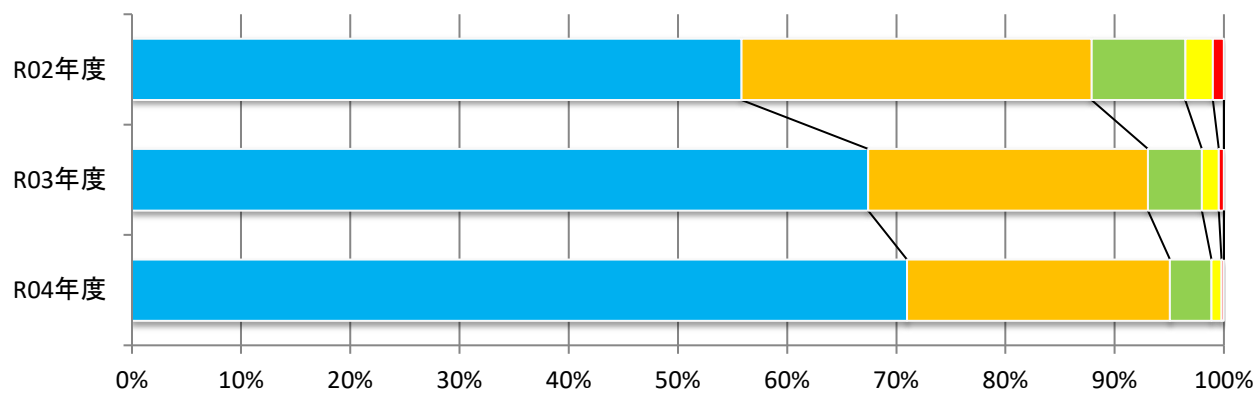
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
62.0	27.1	89.2	—
69.4	23.3	92.7	+ 3.5
70.4	23.0	93.5	+ 0.8

12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



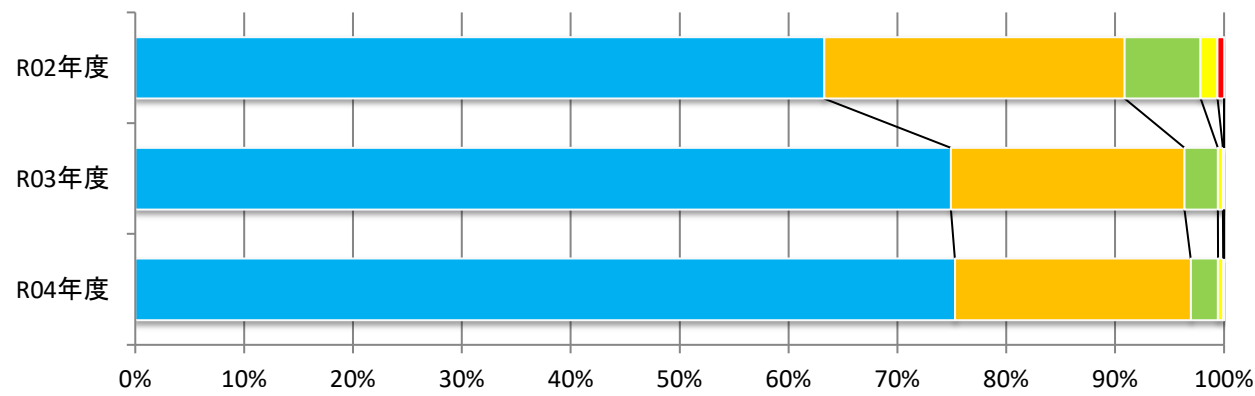
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
48.4	33.4	81.9	—
61.1	28.2	89.2	+ 7.4
65.2	26.4	91.6	+ 2.3

13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



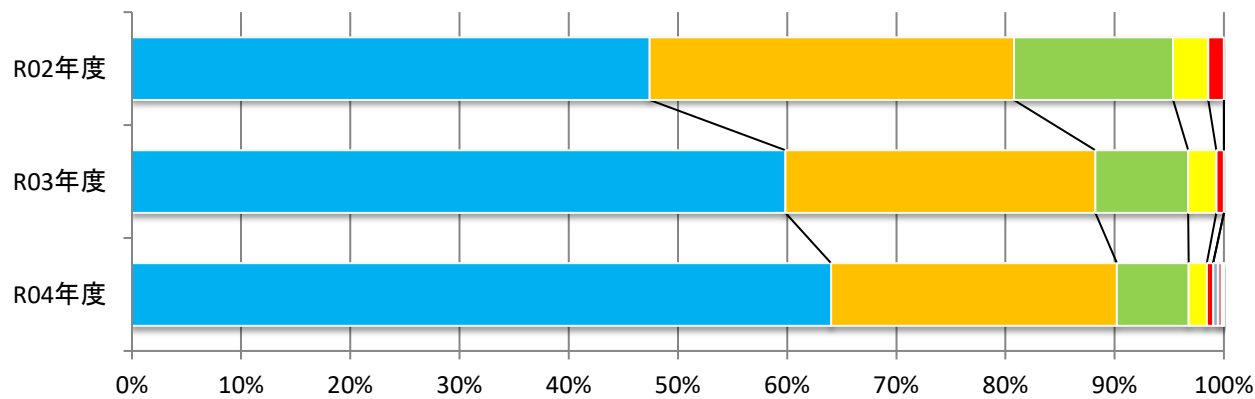
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
55.8	32.1	87.9	—
67.4	25.6	93.1	+ 5.2
71.0	24.1	95.1	+ 2.0

14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか



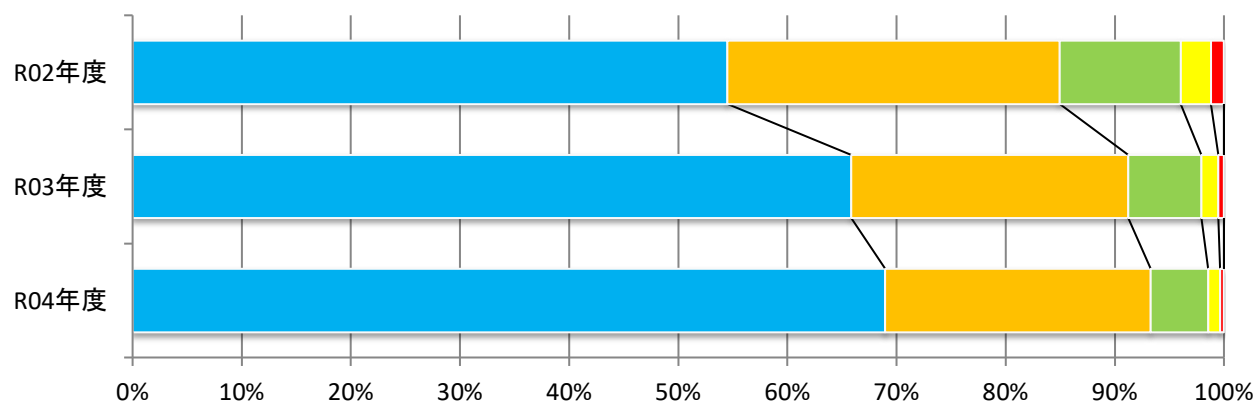
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
63.3	27.6	90.9	—
74.9	21.5	96.4	+ 5.5
75.3	21.7	96.9	+ 0.6

15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
47.4	33.3	80.8	—
59.8	28.4	88.2	+ 7.5
64.7	26.4	91.1	+ 2.9

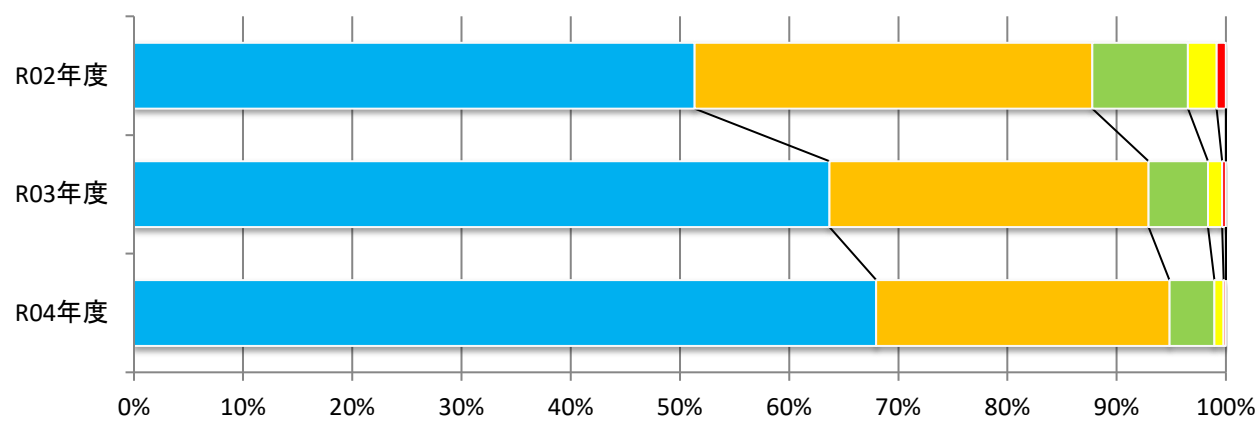
「計」(質問項目 8 ~ 15)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
54.5	30.4	85.0	—
65.8	25.4	91.2	+ 6.3
69.0	24.3	93.3	+ 2.1

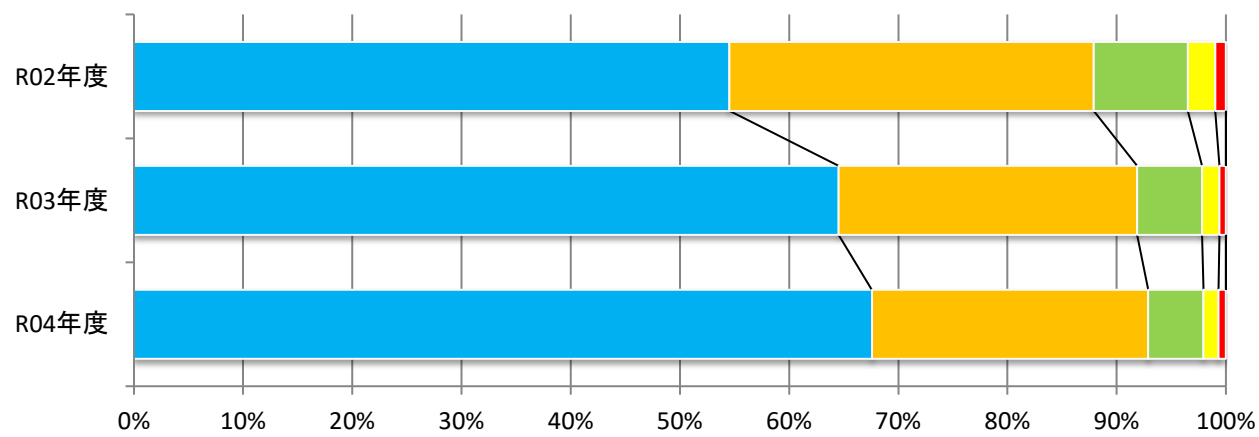
IV 総合評価

16. この授業は総合的に満足できたと思うか。



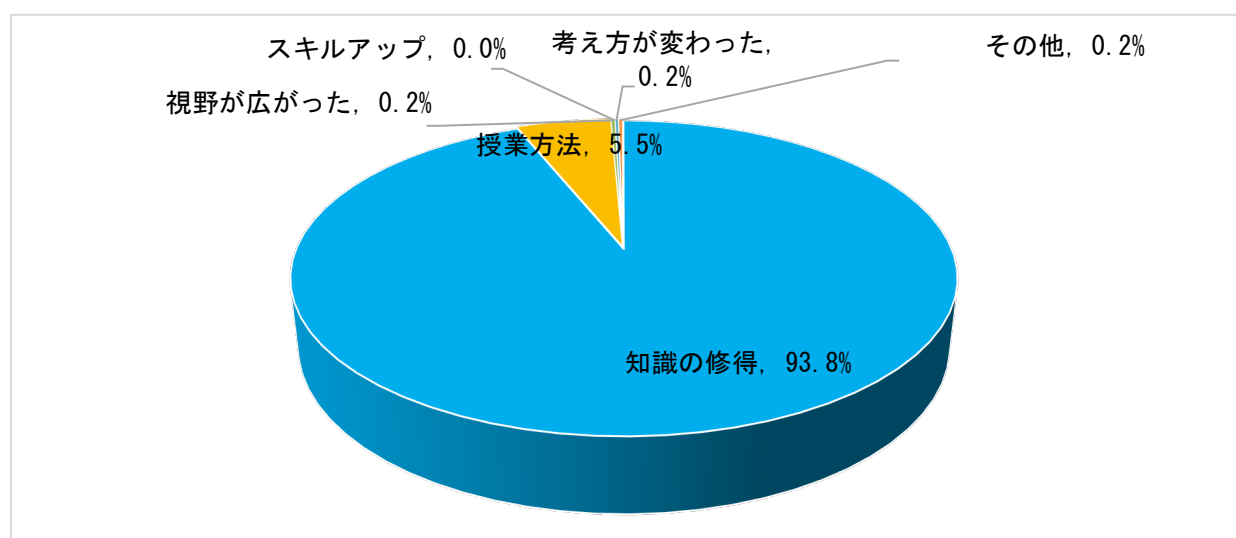
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
51.3	36.4	87.8	—
63.7	29.2	92.9	+ 5.1
68.0	26.8	94.8	+ 1.9

全質問項目の平均



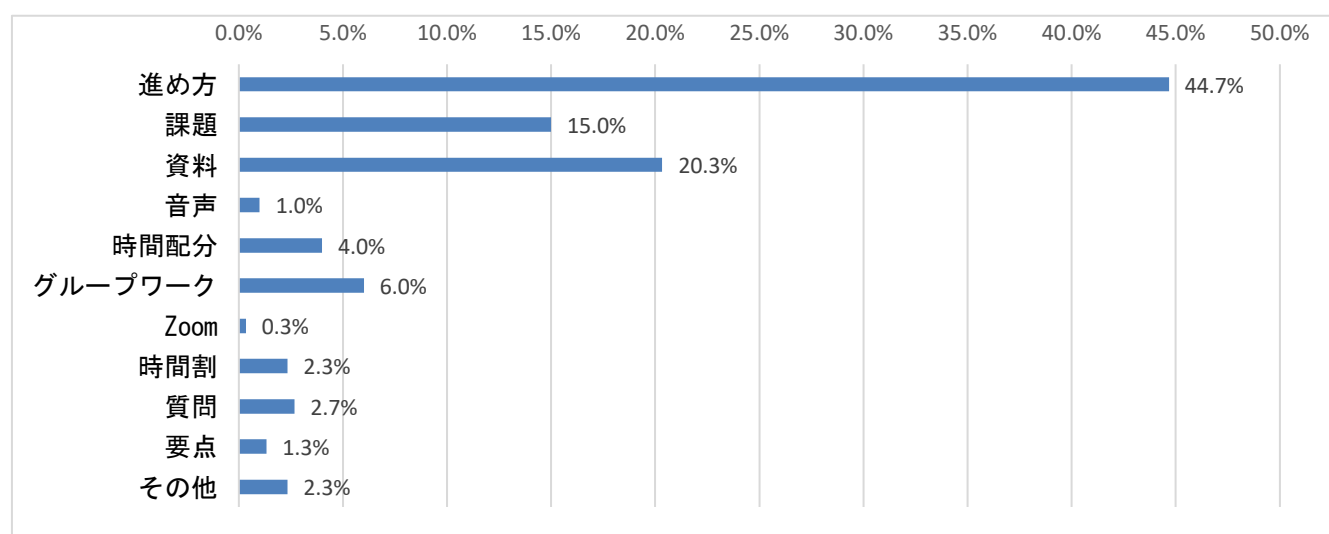
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
54.5	33.4	87.9	—
64.5	27.4	91.9	+ 4.0
67.6	25.3	92.9	+ 1.0

◆ VI この授業を受けて良かったと思うことがありますか。 【総数 2,023】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	医療における質の保証Ⅱ	60	医療安全についてや、医療事故を防止するためにできることなど、看護師になった時に、質のよい、安全な看護を行えるようになるための知識を得ることができて良かった。 医療現場での医療事故についてどのように防ぐ方法があるのか、どのような環境だと医療事故が起こりやすいのか知ることができたことです。
	看護学概論	48	患者さんの事を考えるうえで見方が広がったと感じるので、よかったと思います。最終的に自分の将来像まで考えることができ、これからの授業への取り組み方もはっきりしてよかったです。 看護とはどういう事なのかを言葉から考え、療養環境を様々な視点からも考えることができ、自分では思いつかなかったこともグループワークなどで知ることができてとても良い機会になりました。また、1年生の6月の時点で見学演習に行かせていただき、実際の現場の様子も観察させていただいたので、より深く学習することができたのでこの授業を受けて良かったと思いました。
	心理学	47	初めての大学の講義でわからないこと、不安なことが多い中リモートということもありストレスを感じる環境だった中、阿部先生の講義は学生を気遣いながら講義をしてくれていた。阿部先生の人柄や、講義の進め方、講義形態は全てにおいて良いものだと感じた。質問にも丁寧に答えてくれて、この講義が受けられて本当に良かった。 看護師に必要な基礎的な知識を学ぶことができて良かったと思います。また、看護師になってからも大切な内容だと思うので、非常に為になりました。
	クリティカルシンキングⅡ	43	グループワークがあったことで、自分になかった考えや視点をすることができた。また、段階ごとにグループワークや様式があったことで、より理解を深めることができた。

◆ VII この授業の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。 【総数 300】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	ボランティア論	13	スクリーンに映る資料（手元の資料に載ってないこと）の切り替えが早くて、メモできなかった ボランティア活動はボランティア論の延長戦と言っていたので、組み合わせで（講義と実技で）同じ科目にしてもいいのではないかと思います。
	臨床薬理学	11	板書や資料のない授業が進みが早く、教科書にメモをとりながらついていくのが大変だったため、先生方のご負担が増えるとは思いますが、毎授業ごとに資料を頂きたかったです。 範囲がとても広いので、重要なことをまとめていただくとより理解を深めやすくなると思いました。
	経済学	11	レポートの量が多いのに、テスト期間の真っ只中に課題が出されて、期限が短い。せめてもう少し前に内容を発表してほしい。 最終レポート課題が3000字以上と多い字数指定のものであれば、もう少し早めにアナウンスしていただきたいです。テスト1週間前のアナウンスだったため、テスト勉強にもおわれていたことから、集中的に課題に取り組みづらかったです。
	疾病治療論Ⅰ	9	メモしたくてもスピードが早くてメモしきれなかったことが多かったり、声が聞こえづらい時があったので改善してもらえると嬉しいです。 内容が難しく範囲が広いので、重要なところをわかりやすくしてもらえるとより良くなると感じた。

令和4年度 授業評価集計結果(実習・実験科目)

東京医療保健大学 千葉看護学部 看護学科

○実習・実験科目数 10 科目

○調査対象者数 781 人(延人数)

○総回答数 712 件(回答率91.2%)

◆ 質問項目別集計結果

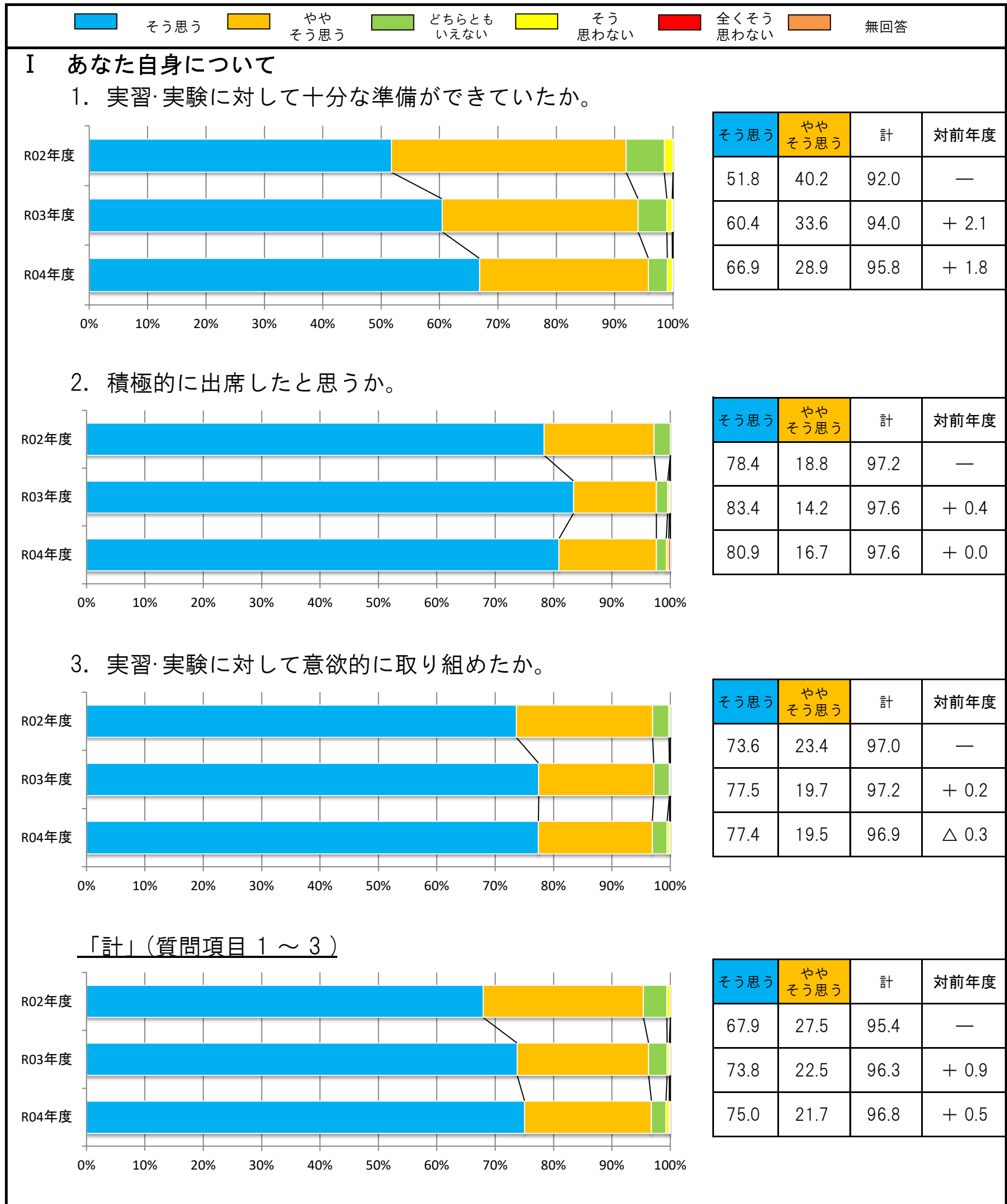
〈上段()は令和3年度アンケート結果〉

質問項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 実習・実験に対して十分な準備ができていたか。	(60.4)	(33.6)	(4.9)	(0.9)	(0.1)	0.0	(100)
	66.9	28.9	3.2	0.8	0.1	0.0	100
2. 積極的に出席したと思うか。	(83.4)	(14.2)	(1.9)	(0.3)	(0.1)	0.0	(100)
	80.9	16.7	1.7	0.4	0.3	0.0	100
3. 実習・実験に対して意欲的に取り組めたか。	(77.5)	(19.7)	(2.7)	0.0	(0.1)	0.0	(100)
	77.4	19.5	2.5	0.4	0.1	0.0	100
計	(73.8)	(22.5)	(3.2)	(0.4)	(0.1)	0.0	(100)
	75.0	21.7	2.5	0.6	0.2	0.0	100
II 実習・実験内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。	(64.0)	(33.0)	(2.8)	(0.1)	0.0	0.0	(100)
	67.6	28.5	3.1	0.7	0.1	0.0	100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(75.7)	(21.5)	(2.7)	(0.1)	0.0	0.0	(100)
	74.4	21.8	3.5	0.1	0.1	0.0	100
6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(75.5)	(21.6)	(2.7)	(0.1)	0.0	0.0	(100)
	73.6	23.6	2.0	0.7	0.1	0.0	100
7. この実習・実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(76.0)	(22.1)	(1.8)	0.0	(0.1)	0.0	(100)
	76.4	20.5	2.7	0.1	0.3	0.0	100
計	(72.8)	(24.6)	(2.5)	(0.1)	(0.0)	0.0	(100)
	73.0	23.6	2.8	0.4	0.2	0.0	100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(49.6)	(34.5)	(11.9)	(2.7)	(1.3)	0.0	(100)
	53.5	31.7	11.8	2.2	0.7	0.0	100
9. 学習しやすい実習・実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(67.6)	(26.9)	(4.8)	(0.7)	0.0	0.0	(100)
	70.4	25.1	3.2	0.8	0.4	0.0	100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(70.9)	(25.4)	(3.3)	(0.4)	0.0	0.0	(100)
	69.9	22.5	4.8	1.8	1.0	0.0	100
11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(70.4)	(23.6)	(4.3)	(1.5)	(0.1)	0.0	(100)
	69.5	25.0	3.7	1.3	0.6	0.0	100
12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。	(69.1)	(23.9)	(4.8)	(1.8)	(0.4)	0.0	(100)
	67.4	25.0	4.5	2.4	0.7	0.0	100
13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(78.5)	(18.5)	(2.4)	(0.3)	(0.3)	0.0	(100)
	74.6	21.1	2.8	1.1	0.4	0.0	100
14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習・実験を行ったと思うか。	(69.3)	(25.8)	(4.0)	(0.7)	(0.1)	0.0	(100)
	67.3	26.0	3.9	2.2	0.6	0.0	100
計	(67.9)	(25.5)	(5.1)	(1.2)	(0.3)	0.0	(100)
	67.5	25.2	5.0	1.7	0.6	0.0	100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
15. この実習・実験は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(41.8)	(25.1)	(15.4)	(8.1)	(9.7)	0.0	(100)
	39.2	21.9	13.3	7.6	18.0	0.0	100
16. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。	(63.9)	(31.0)	(3.9)	(1.2)	0.0	0.0	(100)
	66.9	27.8	3.5	1.5	0.3	0.0	100
計	(52.8)	(28.1)	(9.6)	(4.6)	(4.9)	0.0	(100)
	53.0	24.9	8.4	4.6	9.1	0.0	100
全質問項目の平均	(66.8)	(25.2)	(5.1)	(1.6)	(1.3)	0.0	(100)
	67.1	23.8	4.7	1.8	2.5	0.0	100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（実習・実験科目）

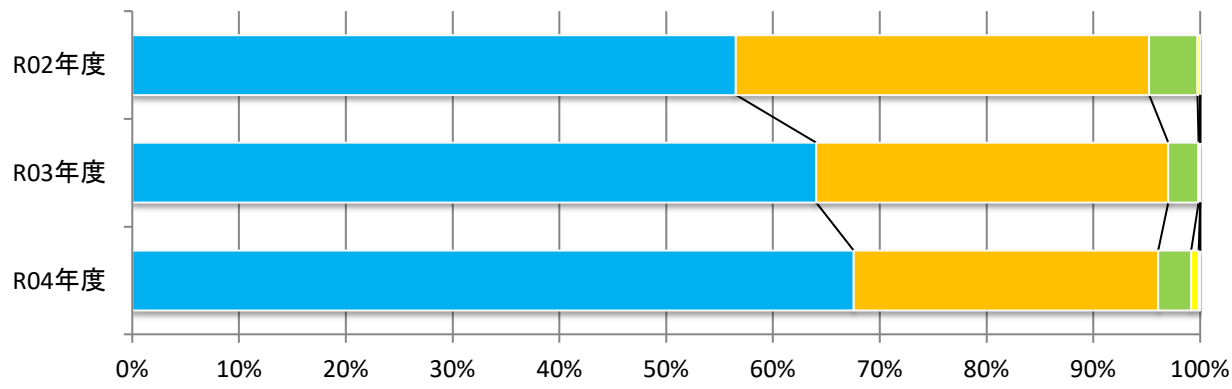
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全科目数	2科目	4科目	10科目
調査対象者数	213人	429人	781人
総回答数（回答率）	209枚（98.1%）	398件（92.8%）	712件（91.2%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



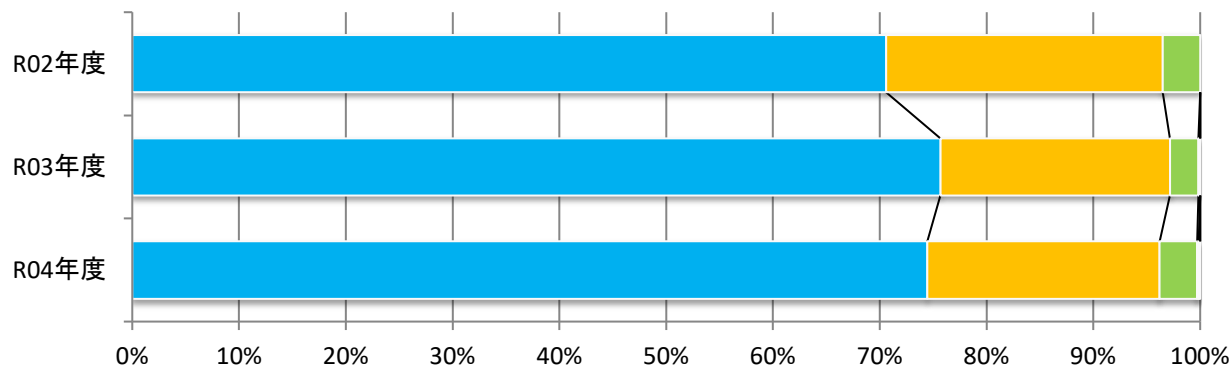
Ⅱ 実習・実験内容について

4. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。



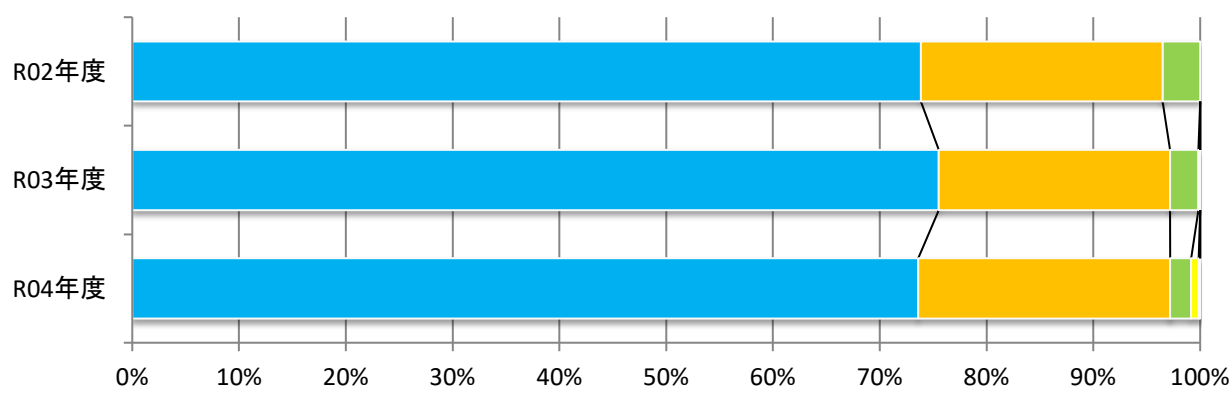
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
56.5	38.7	95.2	—
64.0	33.0	97.0	+ 1.8
67.6	28.5	96.1	△ 0.9

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



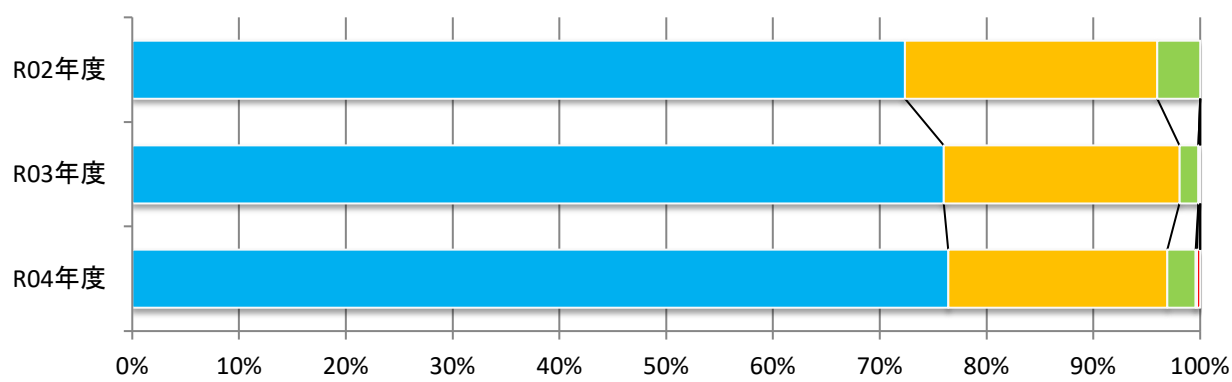
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
70.6	25.9	96.5	—
75.7	21.5	97.2	+ 0.7
74.4	21.8	96.2	△ 1.0

6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。



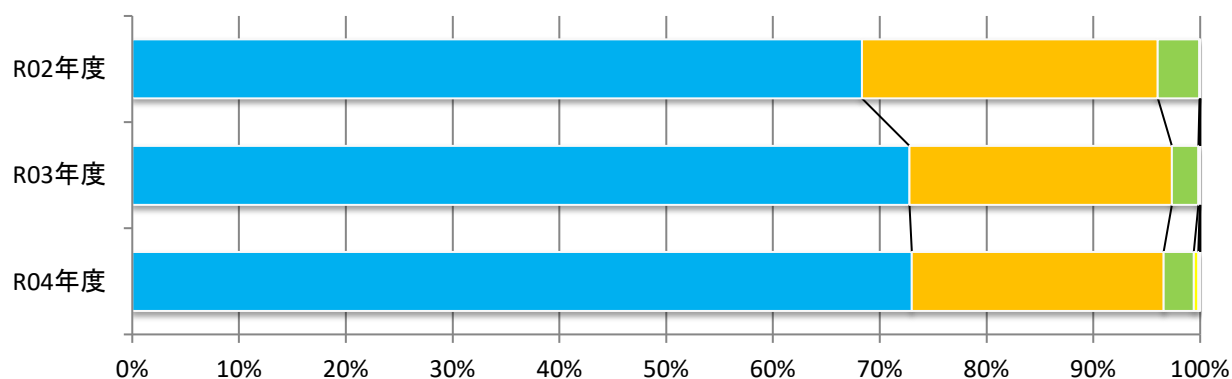
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
73.9	22.6	96.5	—
75.5	21.6	97.2	+ 0.7
73.6	23.6	97.2	+ 0.0

7. この実習・実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
72.4	23.6	96.0	—
76.0	22.1	98.1	+ 2.1
76.4	20.5	96.9	△ 1.1

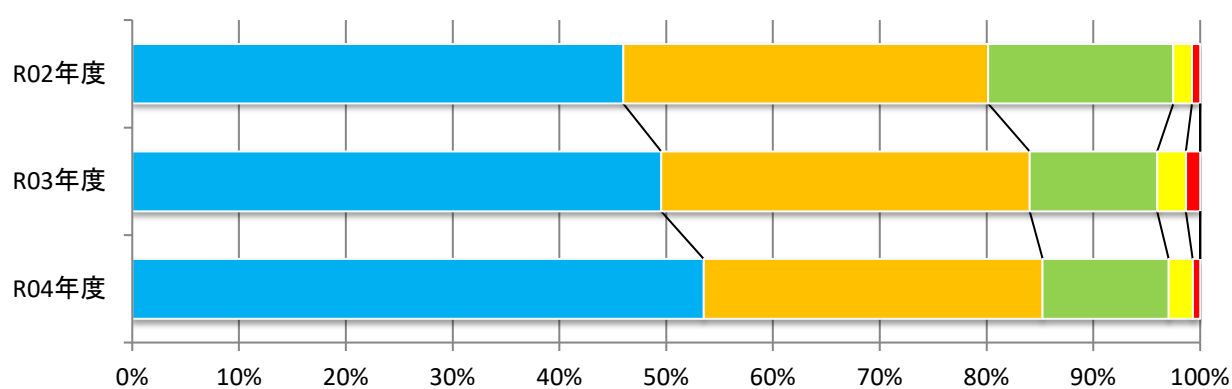
「計」(質問項目 4～7)



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
68.3	27.7	96.0	—
72.8	24.6	97.4	+ 1.3
73.0	23.6	96.6	△ 0.8

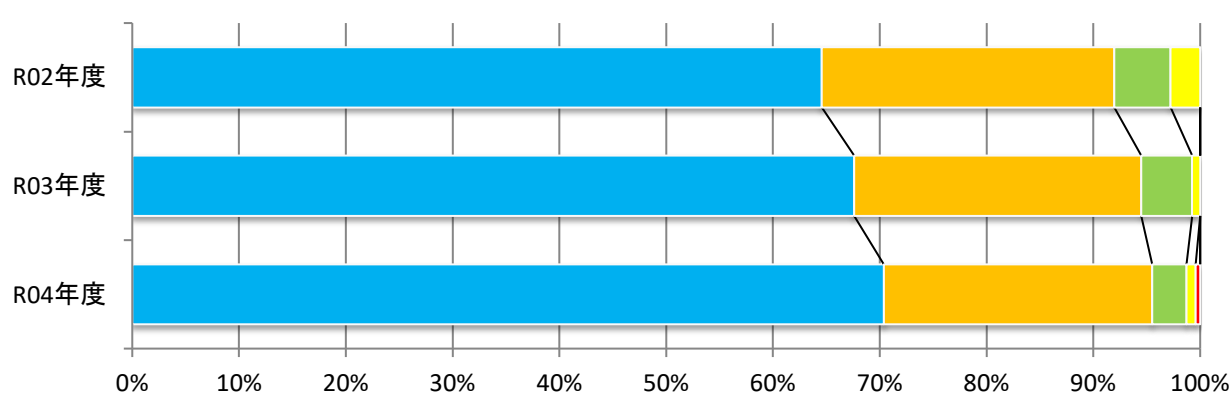
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



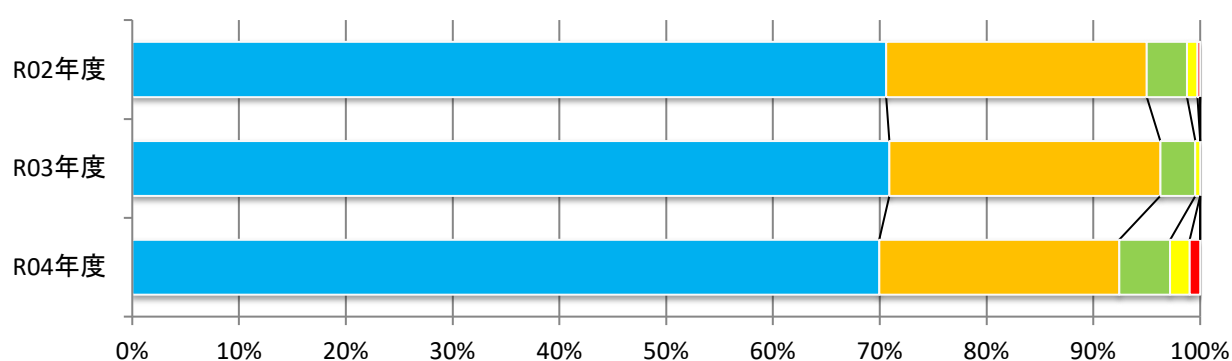
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
46.0	34.2	80.2	—
49.6	34.5	84.0	+ 3.9
53.5	31.7	85.3	+ 1.2

9. 学習しやすい実習・実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。



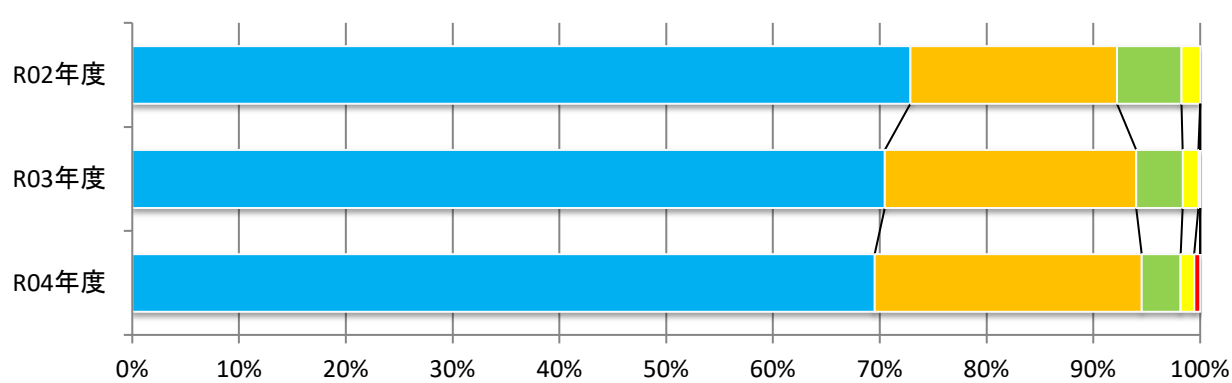
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
64.6	27.4	92.0	—
67.6	26.9	94.5	+ 2.5
70.4	25.1	95.5	+ 1.0

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



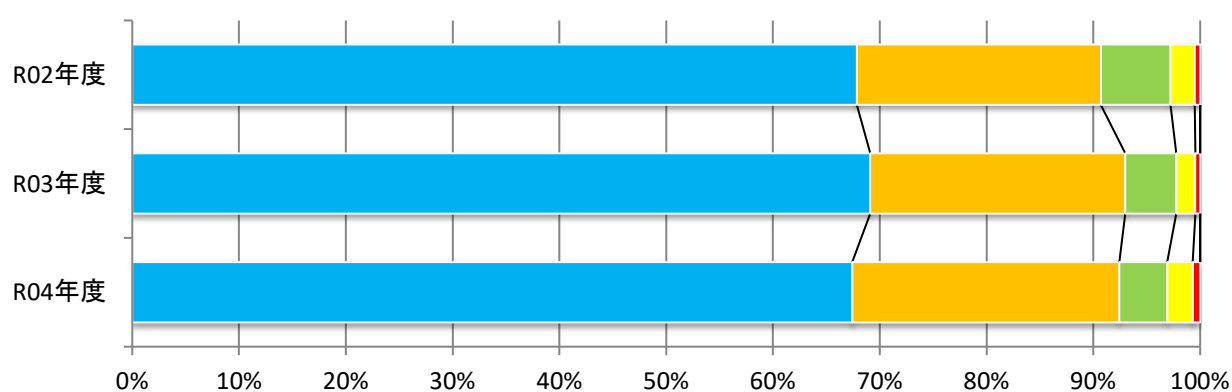
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
70.6	24.4	95.0	—
70.9	25.4	96.3	+ 1.3
69.9	22.5	92.4	△ 3.9

11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



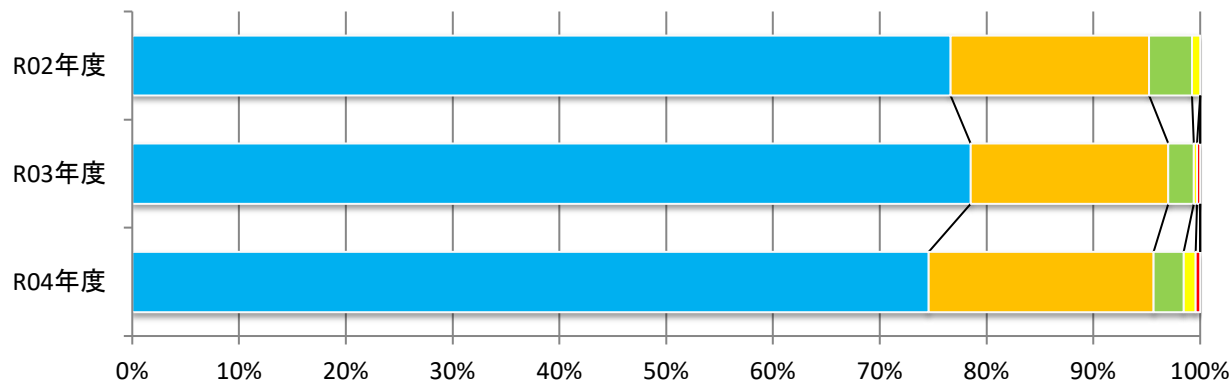
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
72.9	19.3	92.2	—
70.4	23.6	94.0	+ 1.8
69.5	25.0	94.5	+ 0.5

12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。



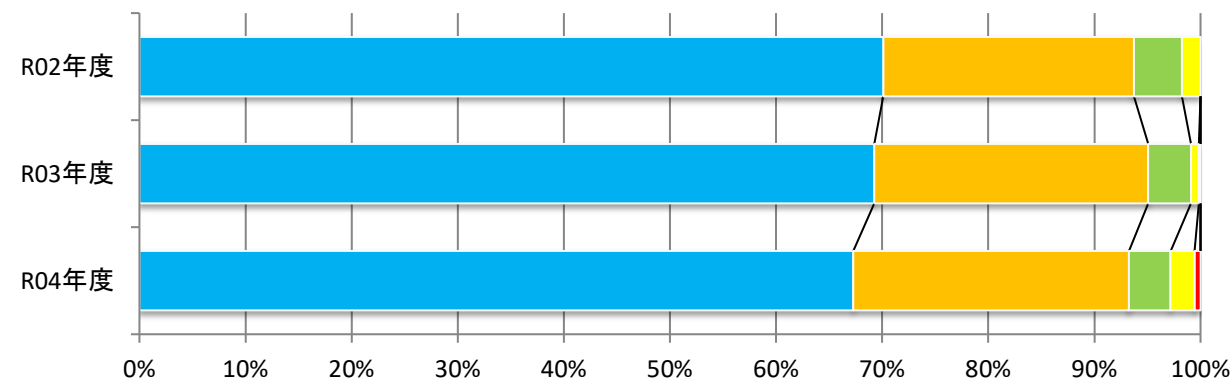
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
67.8	22.9	90.7	—
69.1	23.9	93.0	+ 2.3
67.4	25.0	92.4	△ 0.6

13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。



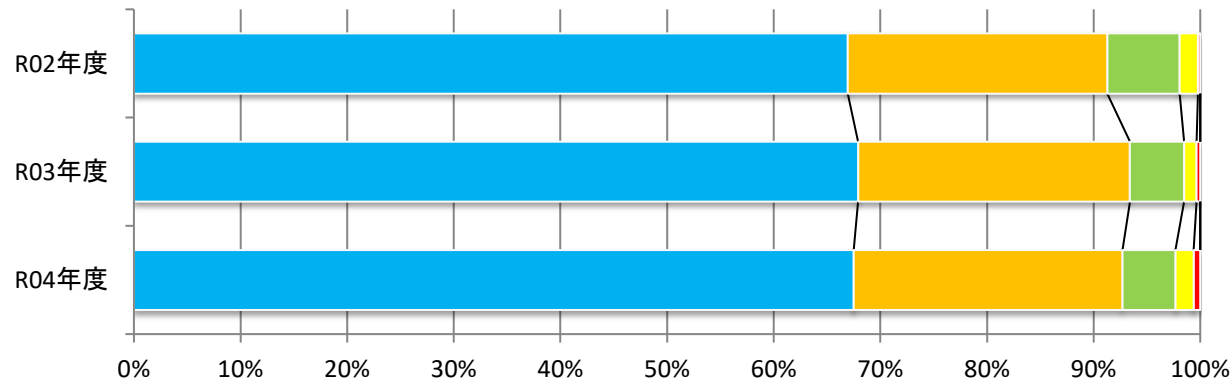
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
76.6	18.6	95.2	—
78.5	18.5	97.0	+ 1.8
74.6	21.1	95.6	△ 1.4

14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習・実験を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
70.1	23.6	93.7	—
69.3	25.8	95.1	+ 1.4
67.3	26.0	93.3	△ 1.8

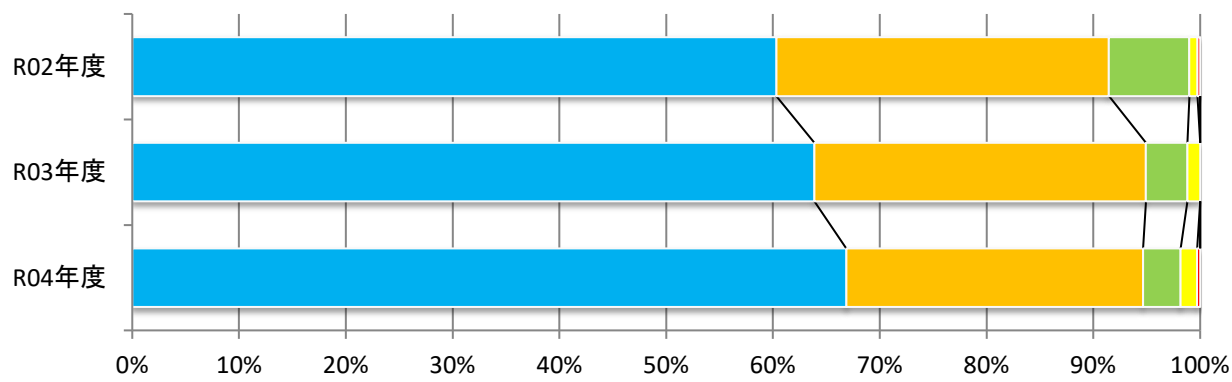
「計」(質問項目 8 ~ 14)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
66.9	24.3	91.3	—
67.9	25.5	93.4	+ 2.1
67.5	25.2	92.7	△ 0.7

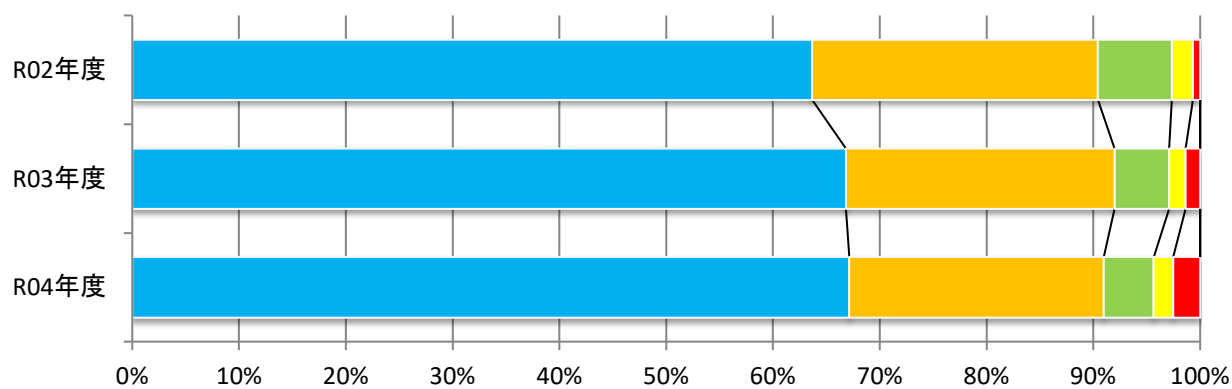
IV 総合評価

15. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。



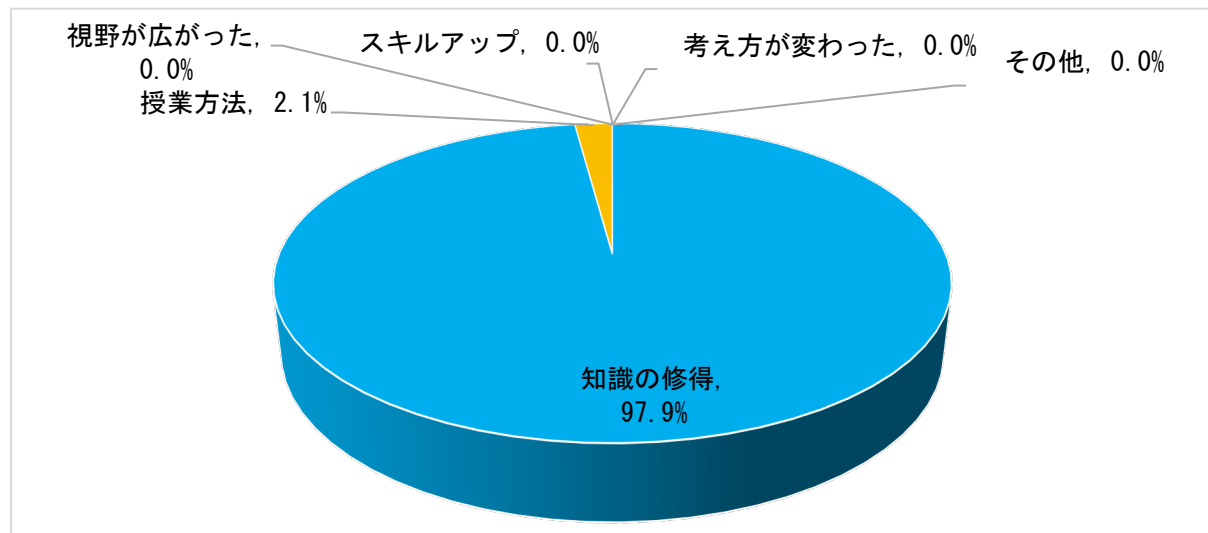
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
60.3	31.2	91.5	—
63.9	31.0	94.9	+ 3.5
66.9	27.8	94.7	△ 0.3

全質問項目の平均



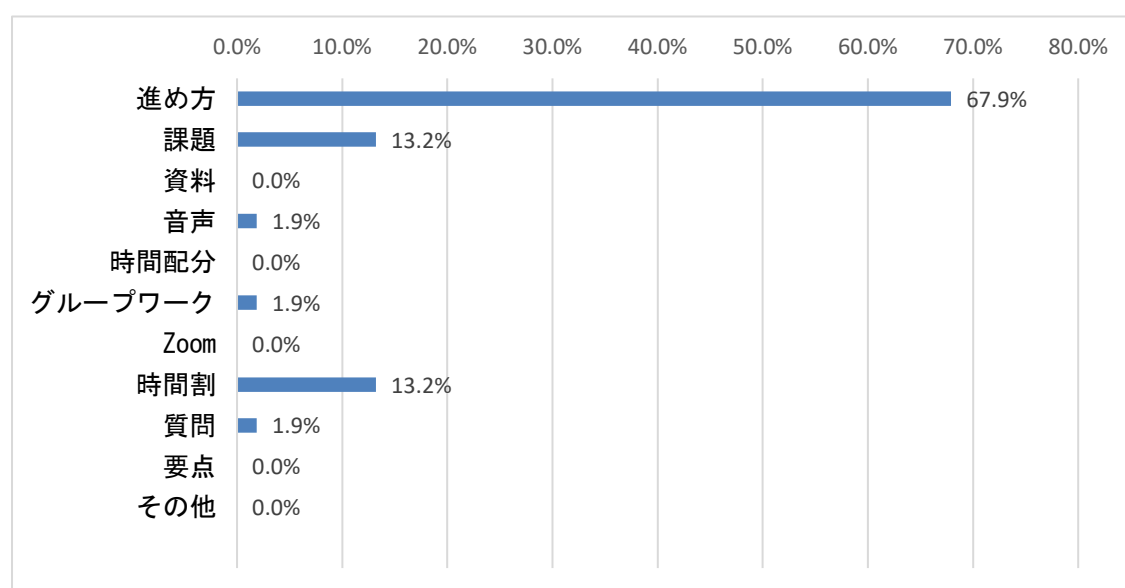
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
63.7	26.8	90.4	—
66.8	25.2	92.0	+ 1.5
67.1	23.8	91.0	△ 1.0

◆ VI この実習・実験を受けて良かったと思うことがありますか。 【総数 141】



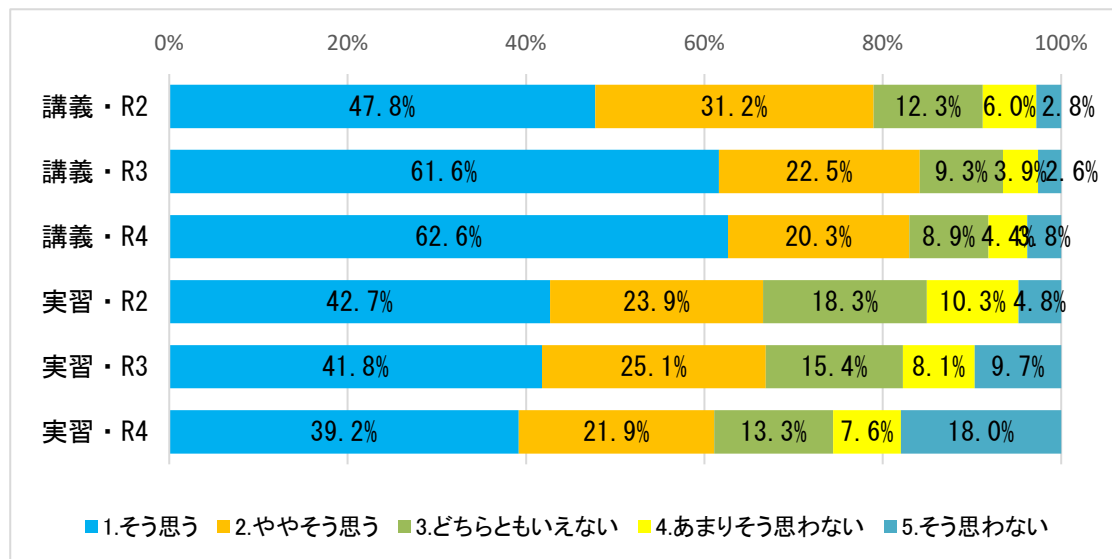
学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	精神看護学実習	34	精神疾患患者に必要な看護とは何かを個別性を意識して自分自身で考えること、グループワークで学びを共有することができた。また、実際に社会福祉施設に行き関わりを持たせてもらうことで、雰囲気や関わり方を学ぶことができた。 患者さんの言動や反応などを観察し、その反応に合わせて自分のコミュニケーション方法を変えるということを学べた。あと、患者さんと心を通わすことが出来たときは、本当に嬉しかった。精神看護に学べた。
	臨床看護学実習	34	看護を実践し、看護のあり方、看護の必要性の理解を深めることができ、臨床看護実践能力を高めることができたため良かった。 自分が興味がある診療科を考える機会になるだけでなく臨床の現場の実際を看護師・患者や治療環境などを含めて急性期・回復期について学ぶことができたと思います。 自分が実施する看護を考える上での癖について知ることができた。担当教員との面談を通じて、自分が気付かなかった自身の短所について知ることができた。 班のメンバーとの活動や、学内実習での他の人との関わりと通じて、自分には無かった考えを知れたり自分の考えを深めたりすることができた。

◆ VII この実習・実験の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。 【総数 53】

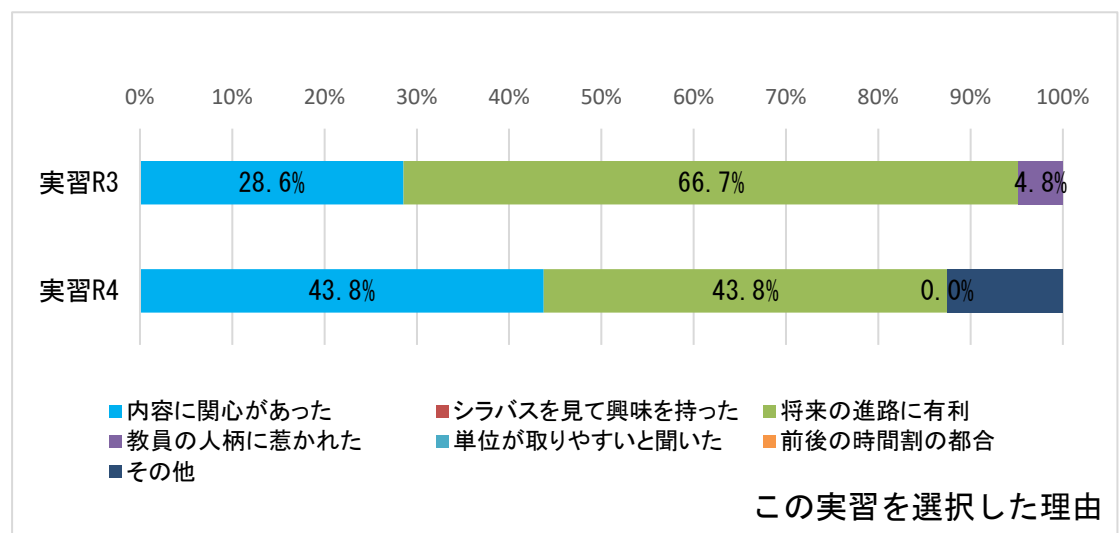
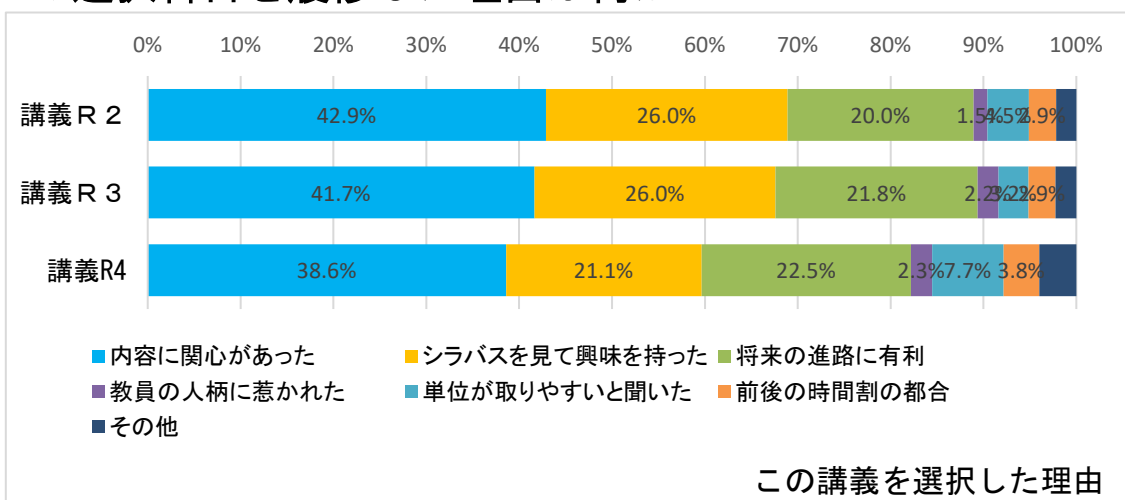


学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	基礎看護援助実習Ⅱ	16	患者情報を実習が始まる直前に手渡されたため、もう少し早くもらえることができれば、余裕を持って患者の病態などを調べられると思った。
	精神看護学実習	13	電子カルテの使い方が実習の半分が終わるまで理解できておらず、先生や指導者さんからも説明がなかったため、情報収集に大変時間がかかったため、クール(グループ)が変わる際には必ず電子カルテや担当看護師さんなどが書いてある場所の説明などが欲しかったです。 病院に行ける人と学内での事例に分けない方が良いと思う。実際に話をすると、実際の病院の理解の差や、知識の差がありすぎる。
	老年・在宅看護学実習	9	説明が不十分もしくは学生が理解しきれていないのに、学内のまとめや実習が進んでいた時があったので、学生の理解度も確認しながら進行すると良いと感じました。

この授業(実習・実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。



この選択科目を履修した理由は何か



令和4年度 和歌山看護学部看護学科の授業評価結果に対する考察

副学長・和歌山看護学部長
八島 妙子

1. 授業評価の結果について

- 回収率が34.8%と低く、回収率を上げることにより学生全体の意見を聞くように検討する必要があると感じました。
- 講義・演習及び実習の全質問項目平均で「そう思い」「ややそう思う」が9割以上であり、総合評価は平均4.6と高い評価が得られたと感じました。しかし、講義・演習科目で1割程度の学生は、シラバスを主体的な学修に活用されていないことがわかりました。
- 実習では総合評価の学びやすい環境と回答した学生が6割程度、総合評価は3.59であったことは、昨年同様に新型コロナ感染状況により臨地での実習、学内または遠隔による実習と目まぐるしく学習環境が変化し、変更への切り替え困難、他のグループとの比較、臨地での実習ができない、学生個々の出席停止なども影響したと思われます。また、グループメンバーが学びに影響するという記述も見られ、グループダイナミクスを考えて実習指導に当たる必要性を感じました。
- 授業への自由記述では肯定的評価の記述割合が多いが、昨年に比較し記述件数が少ないのは回収率が低く、授業評価を提出した学生の評価が高かったとも推測されます。授業に対する要望で、教員間の連携の問題、オンライン試験について課題が出されたために、検討が必要と思いました。

分類項目/年度	30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
授業に対する肯定的評価	(52.5%)	207	(55.1%)	207	(92.6%)	525	(93.3%)	490	(96.0%)	167
授業に対する要望等	(45.7%)	180	(41.4%)	156	(7.4%)	42	(5.9%)	31	(4.0%)	7
施設・設備等に関する要望	(1.8%)	7	(3.5%)	13	(0.0%)	0	(0.8%)	4	(0.0%)	0
総件数	(100%)	394	(100%)	376	(100%)	567	(100%)	525	(100%)	174

※ () 内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す

2. 授業において工夫した点について

- ハイブリッド型授業による学習環境が教員・学生共に適応してきました。各科目で、学生の参加を促す授業を工夫し、授業内容や進め方の修正をするなど学生からのフィードバックを確認し、理解度に応じた授業展開をしていました。特に、臨地での実習が困難な状況から、多くのシミュレーションを活用した実践の学びを促していました。また、オンデマンドとして何回でも確認できる教材の準備や、参加できなかったzoomでの授業を希望に応じて視聴できることも行いました。講義資料はWebClassから得て、授業前の一定期間に予習も可能にしました。

3. 今後の授業への生かし方について

- さらにDxが充実してきているので、教員が理解して効果的な教育への活用を推進していきます。これまでの学ぶための環境に加え、学生が自宅で学べるツールが整ってきていますので、効果的に活用し学生が自ら学べるようにしていきたいと思えます。
- 実習指導に非常勤の実習指導担当教員を配置する科目があるために、教員の指導によって混乱を招いた学生もいたため、適時教員間で指導内容を共有しながら進めていきたいと思えました。
- シラバスをさらに充実して、より主体的に学習が進めるように充実していく必要があると感じました。

4. その他

対面での授業が中心になる中、対面授業の必要性は理解しつつも、通学や多くの学生との交流に対する不安、負担感、億劫さ、抵抗感もあるように思えます。少しずつ人と触れ合う環境に適応し、人との交流を深めていって頂きたいと思えます。

令和4年度 和歌山助産学専攻科の授業評価結果に対する考察

和歌山助産学専攻科長

福山 智子

1. 授業評価の結果について

学生数8名の全科目平均回答率は63.1%と高くはなく、少数意見で結果が偏ることのないように全学生の声を聴くための回答率向上への工夫が必要だと思いました。

1) 講義・演習科目について

講義・演習科目は全部で21科目あり、アンケートの18の質問項目毎に全科目の平均値を算出致しました。【Ⅰ. あなた自身について】の学生の準備性、積極性、意欲の平均値はそれぞれ4.31、4.67、4.42と高く、学生の学修姿勢は大変優れていると判断できます。【Ⅱ. 授業内容について】の4項目もすべて4.3以上あり、専門知識の獲得や、新しい発想、発展的な学びにつながったと思われます。次に、【Ⅲ. 教員の教え方・姿勢について】9項目と【Ⅳ総合評価】の「総合的な満足度」もすべて4.01以上で、教員の教え方・姿勢も含めて専攻科の講義・演習に満足して頂いたと考えます。しかし、ごく一部の科目ですが「教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したか」3.50、「教員は授業に熱意をもって取り組んでいたか」3.75、「パワーポイントやその他の資料のわかりやすさ」3.83など3点台も見られ、個別に改善すべき点が明らかとなりました。

講義・演習科目については概ね良評価を頂いたことから、今後もよりわかりやすく満足度の高い授業を目指していきたいと思えます。

2) 実習科目について

講義・演習科目同様に実習4科目(12単位)の平均値を算出致しました。実習科目においても【Ⅰ. あなた自身について】の学生の準備性、積極性、意欲の自己評価の平均値は4.39から4.64と高く、実習についても学生は高い意識で臨んでいたことがわかり、それを大切に育む必要があると再確認できました。一方で【Ⅲ. 教員の教え方・姿勢について】は「教員が学生の質問や意見を述べられるように配慮したか」と「教員は熱意をもって取り組んでいたか」が3.87と低い結果でした。しかし、【Ⅳ総合評価】の「総合的な満足度」は4.10であり、不十分な点はありますが、実習全体を通しては満足して頂いたと考えます。

【Ⅲ. 教員の教え方・姿勢について】では、非常勤実習助手も実習指導にあたりましたが、開学初年度ということもあり、全員が実習指導未経験者でした。非常勤実習助手への実習指導方法の説明をもう少し丁寧にすべきだったと考えます。同時に実習終了後に実習施設からも要望を頂いており、実習に関してはいくつか課題が明らかになったため、既に改善に取り組んでおります。助産学実習は、一部の期間や施設ですが休日や夜間も実習があります。学生の気持ちに寄り添い、それぞれの

学びの課題を支援し、全員が学修目標を達成できるように、個別性のある丁寧な実習指導を心がけたいと思います。

2. 授業において工夫した点について

学生が大学で母性看護学等の領域実習を行った時期はコロナ禍初期の混乱期に該当し、領域実習をほとんど学内で行った者や、母性看護学実習が短時間で終わった者、分娩期を全く見学や経験していない者がいる状態でした。そのため、動画教材を作成し webclass から自由に視聴できるようにアップロードしたり、講義でも産婦人科機器・器具に触れる時間を設けたり、施設で活用している実物の資料を提示したりして、臨地実習と分娩をイメージできるように工夫を行いました。また、演習科目ではシミュレーション教育を活用し、講義科目でもグループワークやプレゼンテーションなどのアクティブラーニングを積極的に取り入れました。学生は多重課題になりやすく、自己学習量の調整のために一方向型の講義も入れるなど教授方法を工夫いたしました。個別な意見としては、「国家試験に対応できるように過去問を導入した」「絵、図、写真をスライドにたくさん挿入した」など、講義での教授方法の工夫が述べられていました。

3. 今後の授業への生かし方について

令和5年度から COVID-19 感染対策として大学が示す活動レベルが A に変更となり、対面が主の授業方法となりました。アンケートでも「遠隔授業環境でも学びやすかった」は講義・演習科目の平均値が 3.93、実習科目では分娩介助や外来での保健指導を目的とした実習ⅠとⅡはそれぞれ 2.1、3.0 と低く、対面で学ぶ重要性が示されました。

講義・演習科目については、個別な意見として「用意するスライドの枚数を減らし、聞く人の反応をみながらゆっくり話をする」「発言を求めるだけでなく、学生が自分で記載するような時間を作る」などの改善策が挙げられており、対面の強みを活かして双方向型の授業方法を更に工夫し、引き続き高い学修効果を得られるように努めたいと思います。

実習科目については、幸い令和4年度もすべての実習を臨地で行うことができ、正規の時間数を履修することができましたが、令和5年度は実習内容を充実させるために実習指導方法を改善していきたいと思います。

また、非常勤講師の医師がオムニバスで行う産科の科目と、教員が行う助産の科目の内容に重なりがあることがわかりました。令和5年度は可能な限り時間割を調整し、教員が重複箇所を把握し、学生の理解度を確認しながら進められるように努めています。

4. その他

和歌山助産学専攻科では1年間に12単位の実習があり、7月の実習開始までに講義や演習で多くの課題を処理しなければなりません。実習開始後も実践的な実習を行うことから高いリスク管理能力が求められ、学生だけではなく教員も疲弊していきます。そこで、学生のメンタルヘルスの安定は学修に欠かせない基盤となるため今後もしっかり支援していきますが、教員も相互に支援しあって、本学の建学の精神、和歌山助産学専攻科の教育理念や目標に沿った助産師を育成できるように努めてまいります。

令和4年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 和歌山看護学部・和歌山助産学専攻科

○全科目数 141科目

○調査対象者数 8,925人(延人数)

○総回答数 3,143件(回答率 35.2%)

- ◆ 講義・演習科目及び実習・実験科目における共通質問項目別集計結果
 〈質問項目番号の()は実習・実験科目における質問項目の番号である。〉
 〈上段()は令和3年度アンケート結果〉

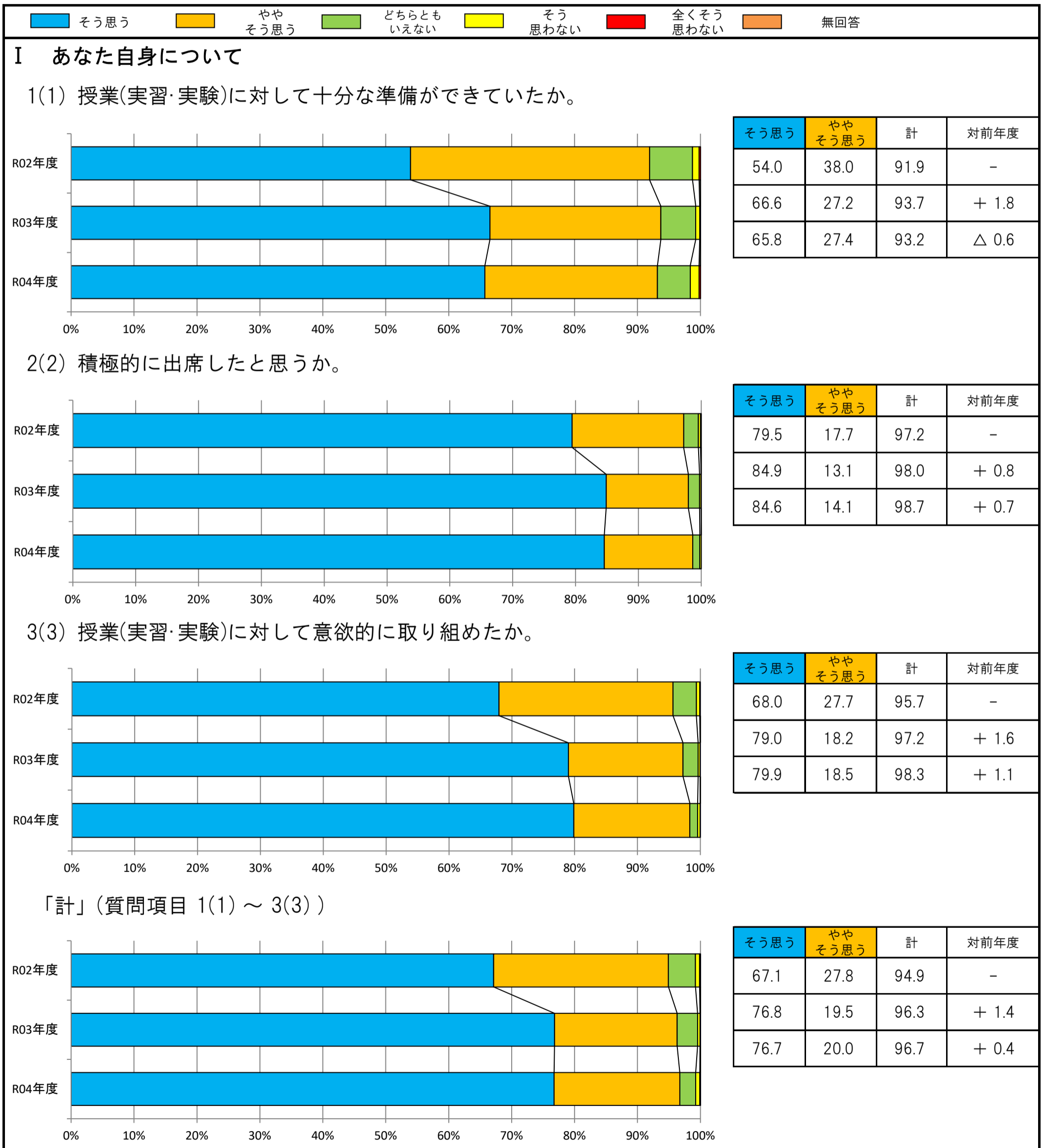
質問項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1(1) 授業(実習・実験)に対して十分な準備ができていたか。	(66.6) 65.8	(27.2) 27.4	(5.5) 5.2	(0.6) 1.4	(0.1) 0.2	0.0 0.0	(100) 100
2(2) 積極的に出席したと思うか。	(84.9) 84.6	(13.1) 14.1	(1.8) 1.1	(0.2) 0.2	(0.0) 0.0	0.0 0.0	(100) 100
3(3) 授業(実習・実験)に対して意欲的に取り組めたか。	(79.0) 79.9	(18.2) 18.5	(2.4) 1.2	(0.3) 0.4	(0.1) 0.0	0.0 0.0	(100) 100
計	(76.8) 76.7	(19.5) 20.0	(3.2) 2.5	(0.4) 0.7	(0.1) 0.1	0.0 0.0	(100) 100
II 授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4(4) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。	(63.6) 67.5	(31.2) 28.2	(4.2) 3.2	(0.8) 1.0	(0.1) 0.2	0.0 0.0	(100) 100
5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(74.1) 76.3	(22.1) 21.1	(3.3) 2.0	(0.4) 0.5	(0.1) 0.1	0.0 0.0	(100) 100
6(6) 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(72.4) 75.1	(23.0) 21.6	(3.9) 2.9	(0.5) 0.4	(0.2) 0.1	0.0 0.0	(100) 100
7(7) この授業(実習・実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(76.3) 77.0	(19.9) 19.9	(3.2) 2.7	(0.4) 0.4	(0.1) 0.0	0.0 0.0	(100) 100
計	(71.6) 74.0	(24.0) 22.7	(3.7) 2.7	(0.5) 0.6	(0.1) 0.1	0.0 0.0	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(56.0) 63.3	(25.4) 22.0	(15.2) 11.8	(1.9) 2.2	(1.6) 0.8	0.0 0.0	(100) 100
9(9) 学習しやすい授業(実習・実験)環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(78.9) 81.3	(17.1) 16.3	(3.2) 1.7	(0.6) 0.3	(0.2) 0.3	0.0 0.0	(100) 100
10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(76.4) 78.7	(17.9) 17.5	(4.0) 2.4	(1.2) 1.1	(0.4) 0.3	0.0 0.0	(100) 100
12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(70.0) 70.1	(22.1) 22.2	(6.4) 5.5	(1.2) 1.7	(0.4) 0.5	0.0 0.0	(100) 100
13(12) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。	(77.5) 78.2	(17.7) 18.3	(3.7) 2.6	(0.9) 0.5	(0.3) 0.4	0.0 0.0	(100) 100
14(13) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(82.8) 81.7	(14.1) 16.1	(2.7) 1.7	(0.3) 0.3	(0.2) 0.2	0.0 0.0	(100) 100
15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習・実験)を行ったと思うか。	(67.4) 69.6	(23.7) 22.6	(6.8) 5.5	(1.6) 1.7	(0.5) 0.7	0.0 0.0	(100) 100
計	(72.7) 74.7	(19.7) 19.3	(6.0) 4.5	(1.1) 1.1	(0.5) 0.4	0.0 0.0	(100) 100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16(15) この授業(実習・実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(67.0) 69.5	(18.9) 16.0	(8.7) 8.1	(3.5) 3.1	(2.0) 3.1	0.0 0.0	(100) 100
17(16) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。	(72.1) 74.0	(23.1) 21.7	(3.8) 3.2	(0.8) 0.8	(0.2) 0.3	0.0 0.0	(100) 100
計	(69.6) 71.8	(21.0) 18.9	(6.2) 5.7	(2.1) 2.0	(1.1) 1.7	0.0 0.0	(100) 100
全質問項目の平均	(72.7) 74.3	(21.1) 20.2	(4.8) 3.8	(1.0) 1.1	(0.5) 0.6	0.0 0.0	(100.0) 100

授業評価アンケート集計結果 年度別比較

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果

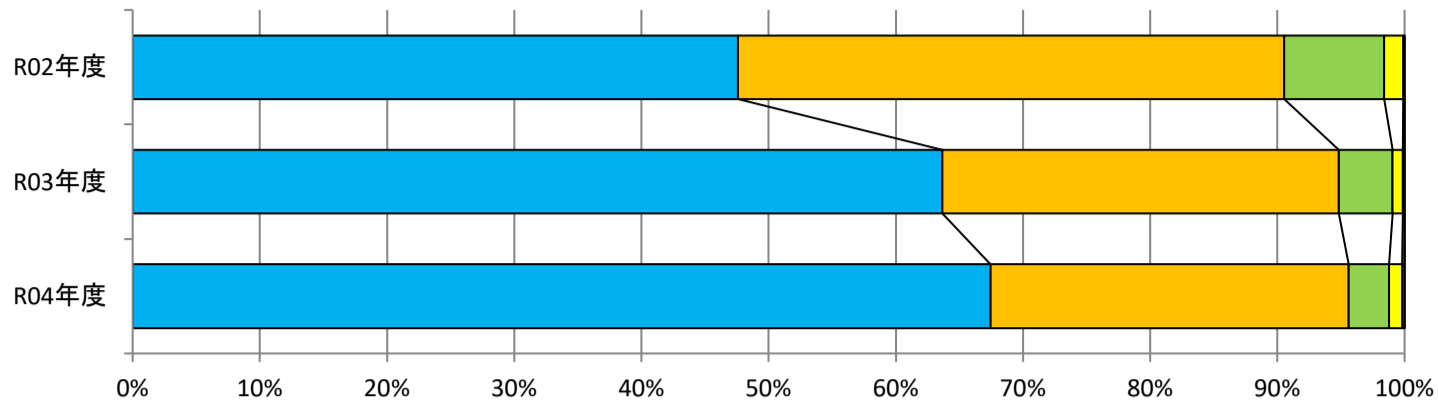
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全科目数	85科目	108科目	116科目	141科目
調査対象者数	6,323人	8,145人	8,470人	8,925人
総回答数(回答率)	5,807枚(91.8%)	6,420件(78.8%)	5,122件(60.5%)	3,143件(35.2%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



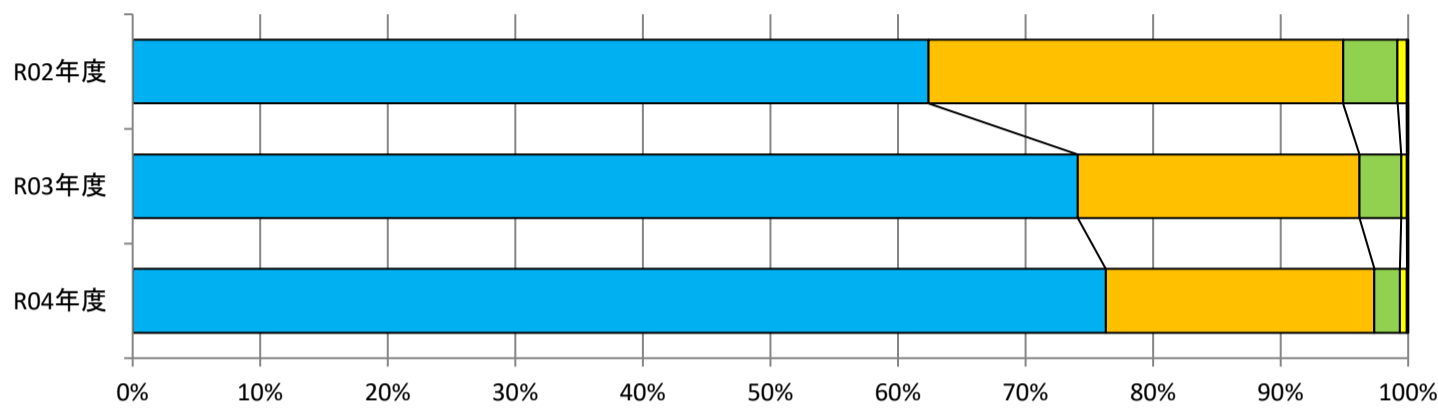
Ⅱ 授業内容について

4(4) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。



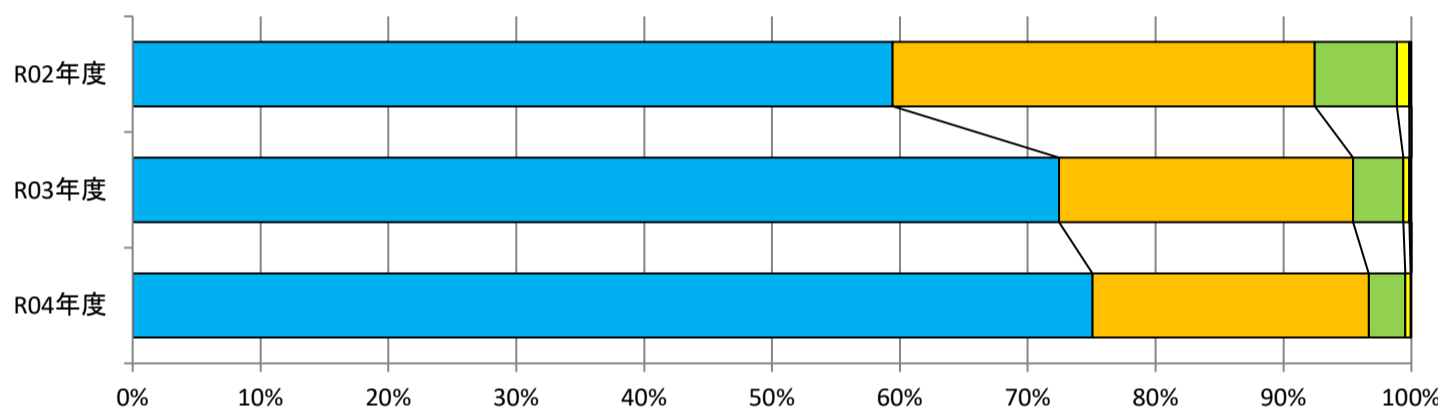
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
47.6	43.0	90.5	-
63.6	31.2	94.8	+ 4.3
67.5	28.2	95.6	+ 0.8

5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。



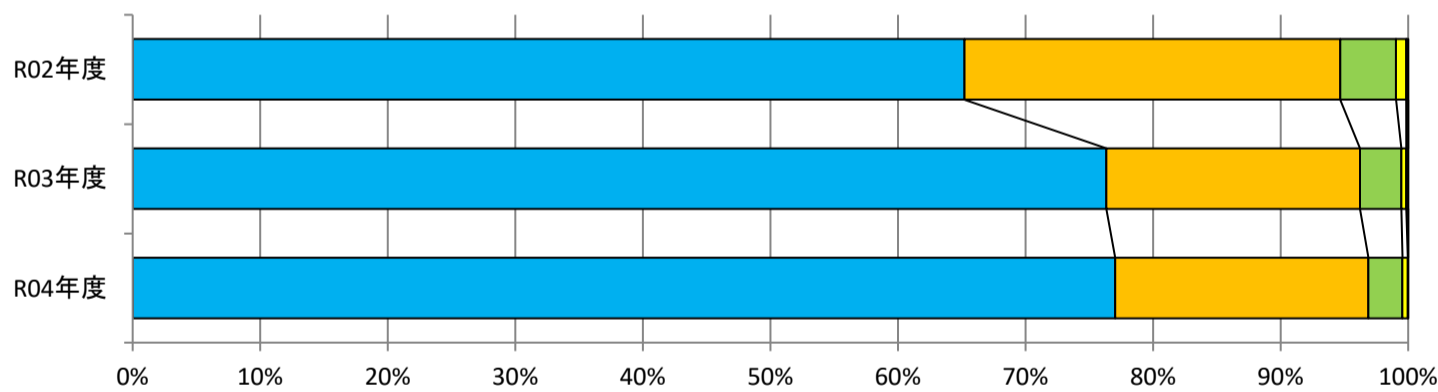
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
62.4	32.5	94.9	-
74.1	22.1	96.2	+ 1.3
76.3	21.1	97.4	+ 1.2

6(6) 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。



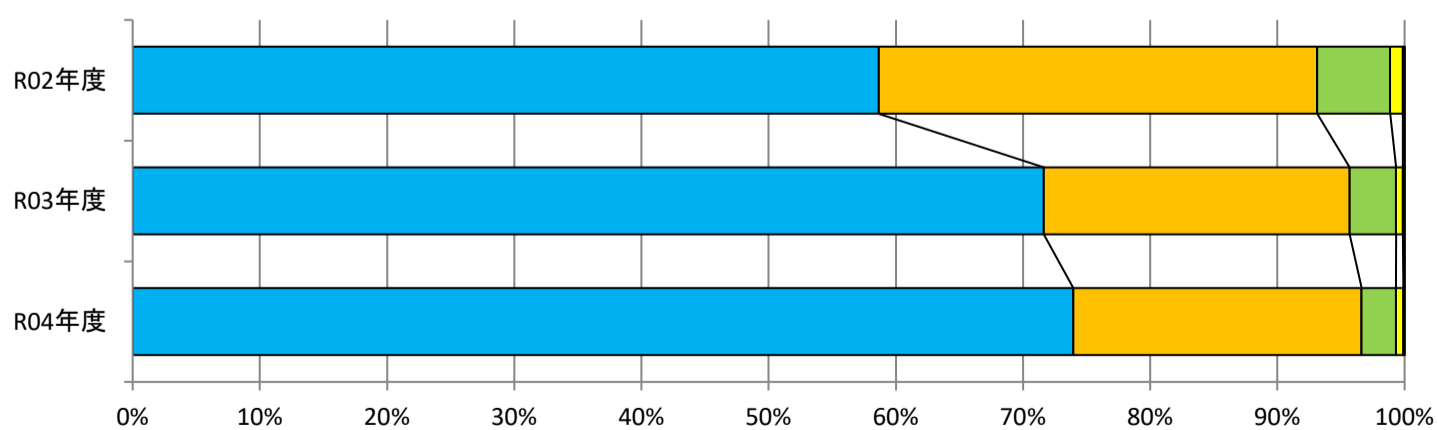
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
59.4	33.0	92.4	-
72.4	23.0	95.4	+ 3.0
75.1	21.6	96.7	+ 1.2

7(7) この授業(実習・実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
65.2	29.4	94.7	-
76.3	19.9	96.2	+ 1.6
77.0	19.9	96.9	+ 0.7

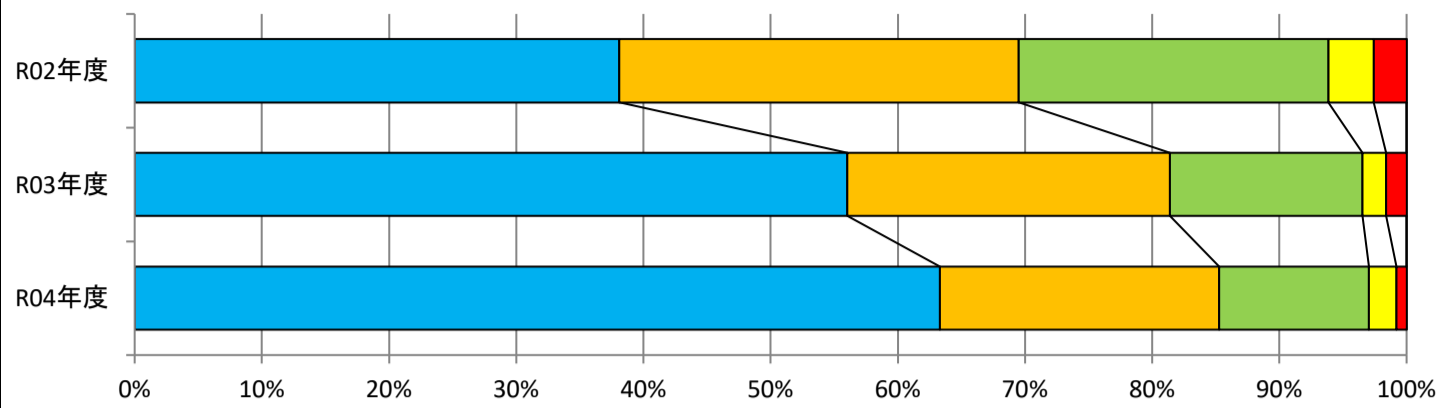
「計」(質問項目 4(4) ~ 7(7))



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
58.7	34.5	93.1	-
71.6	24.0	95.7	+ 2.5
74.0	22.7	96.6	+ 1.0

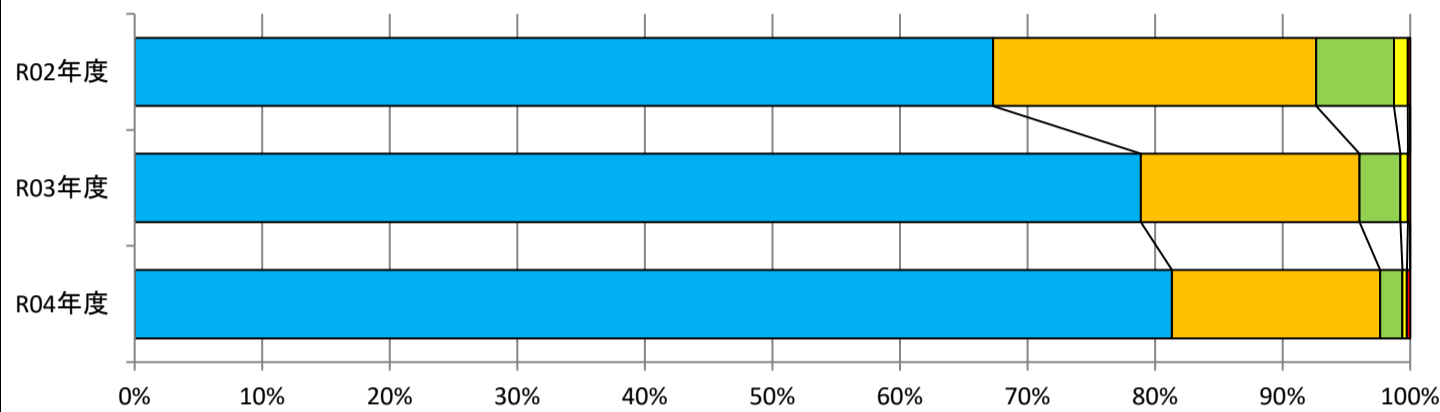
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



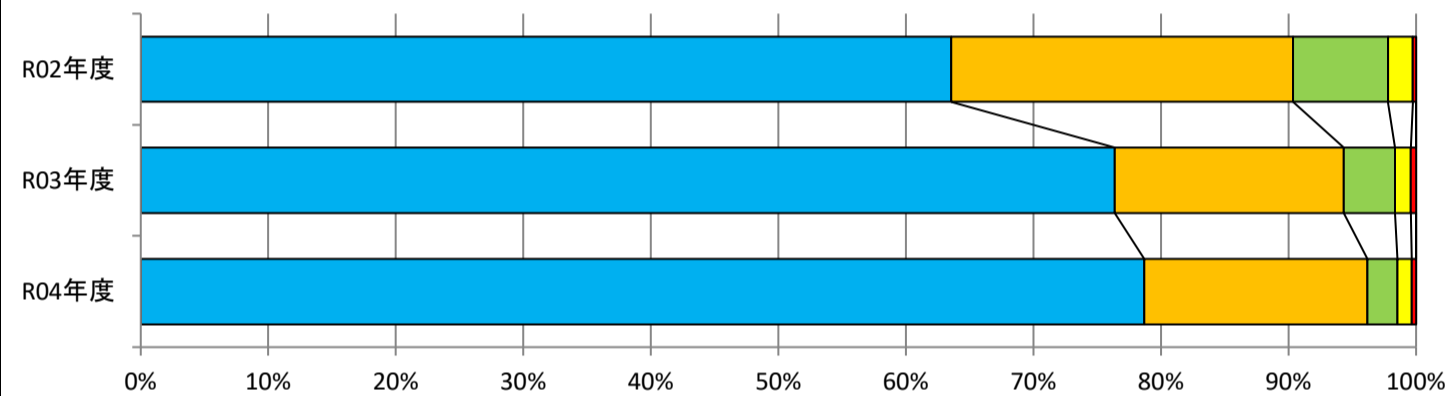
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.1	31.4	69.5	-
56.0	25.4	81.4	+ 11.9
63.3	22.0	85.3	+ 3.9

9(9) 学習しやすい授業(実習・実験)環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。



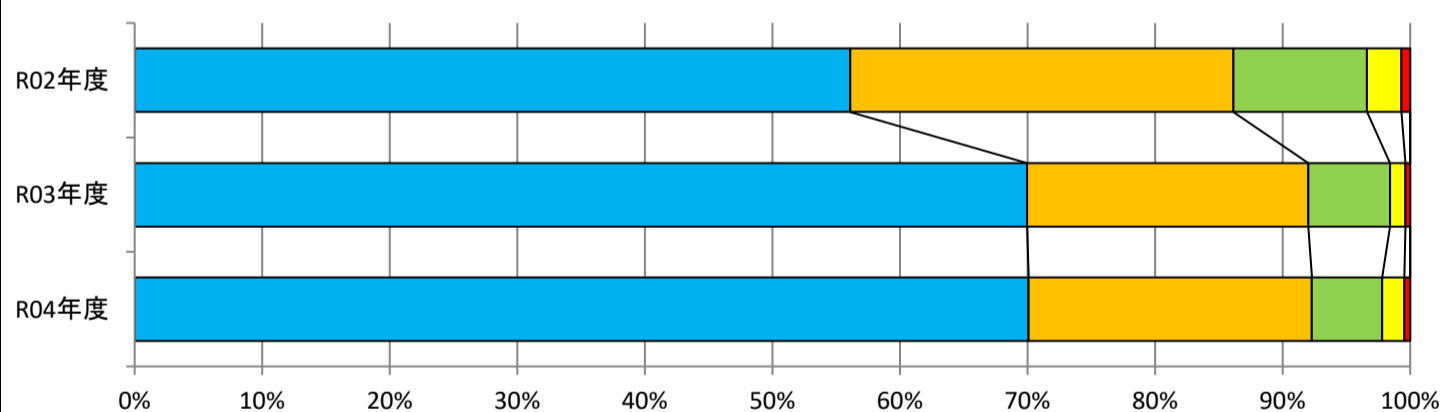
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
67.3	25.3	92.6	-
78.9	17.1	96.0	+ 3.4
81.3	16.3	97.6	+ 1.6

10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



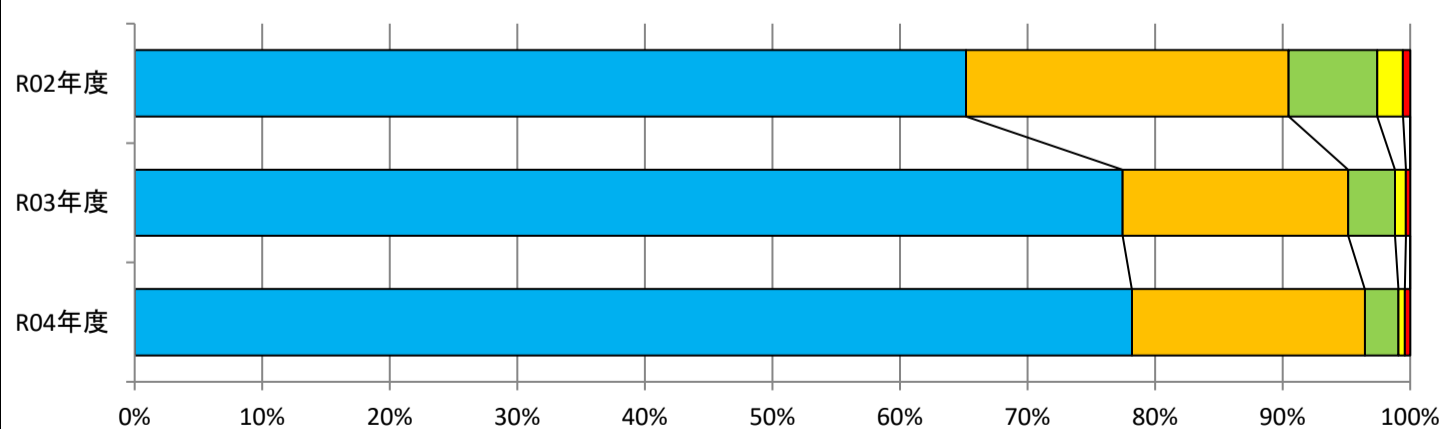
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
63.6	26.8	90.4	-
76.4	17.9	94.3	+ 4.0
78.7	17.5	96.2	+ 1.9

12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



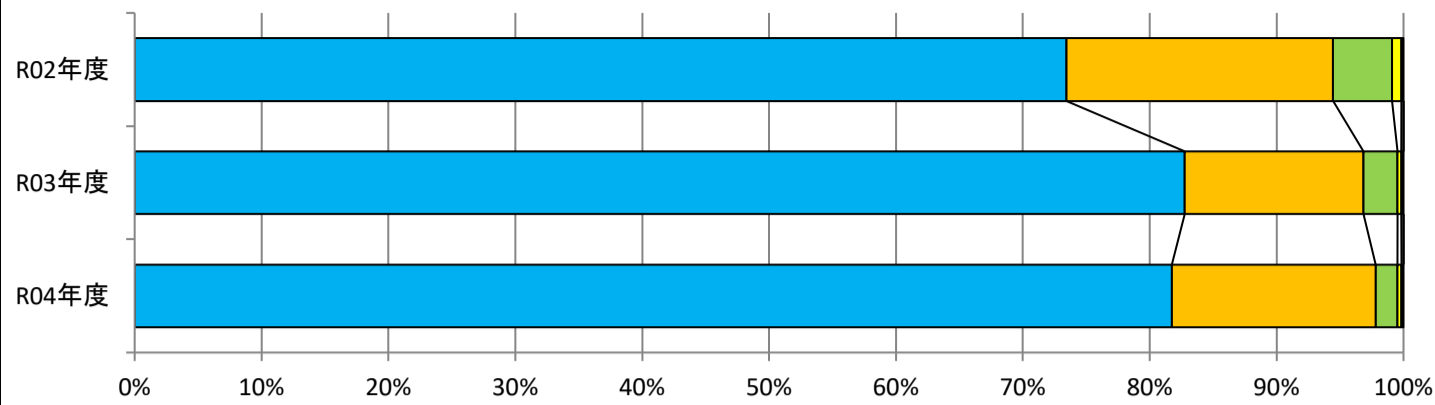
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
56.1	30.0	86.1	-
70.0	22.1	92.0	+ 5.9
70.1	22.2	92.3	+ 0.3

13(12) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。



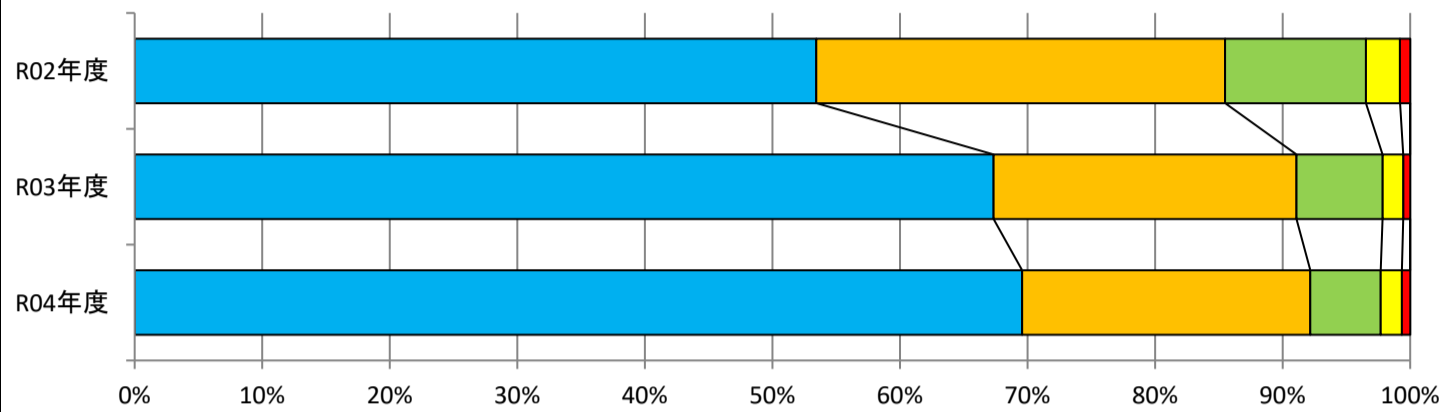
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
65.2	25.3	90.5	-
77.5	17.7	95.2	+ 4.7
78.2	18.3	96.4	+ 1.3

14(13) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。



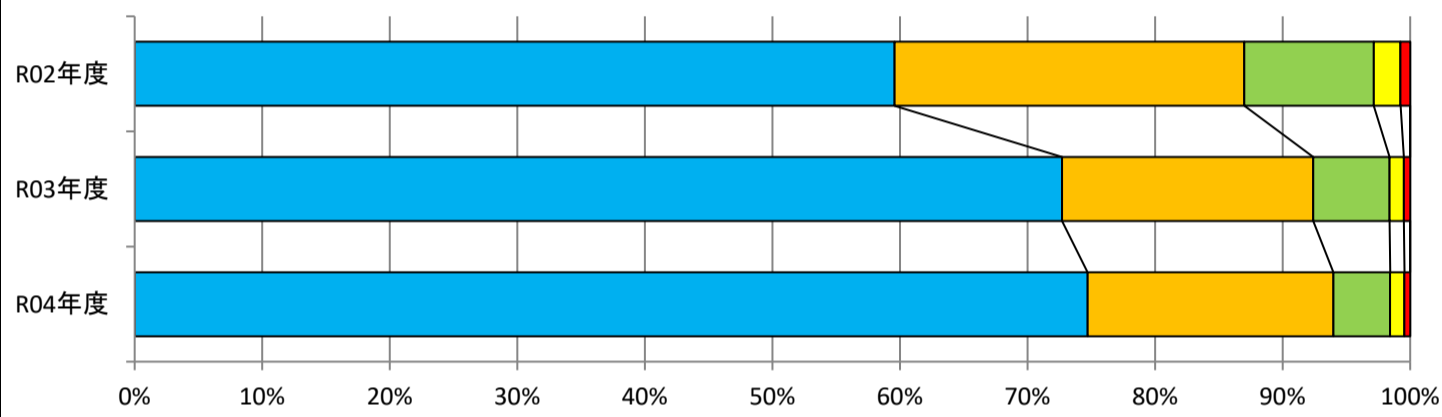
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
73.4	21.0	94.5	-
82.8	14.1	96.8	+ 2.4
81.7	16.1	97.8	+ 1.0

15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習・実験)を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
53.4	32.1	85.5	-
67.4	23.7	91.1	+ 5.6
69.6	22.6	92.2	+ 1.1

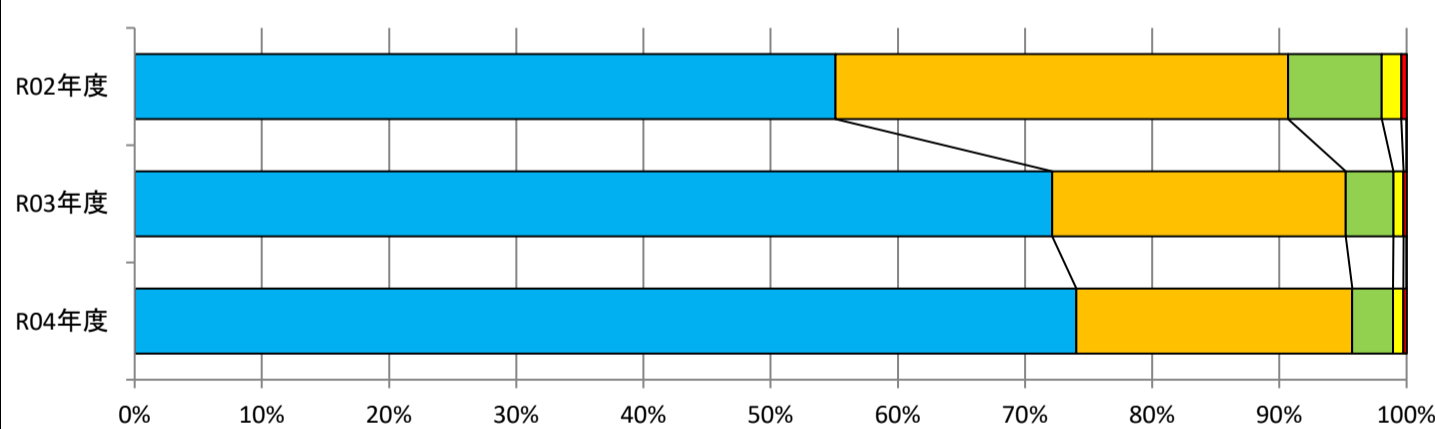
「計」(質問項目 8(8) ~ 15(14))



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
59.6	27.4	87.0	-
72.7	19.7	92.4	+ 5.4
74.7	19.3	94.0	+ 1.6

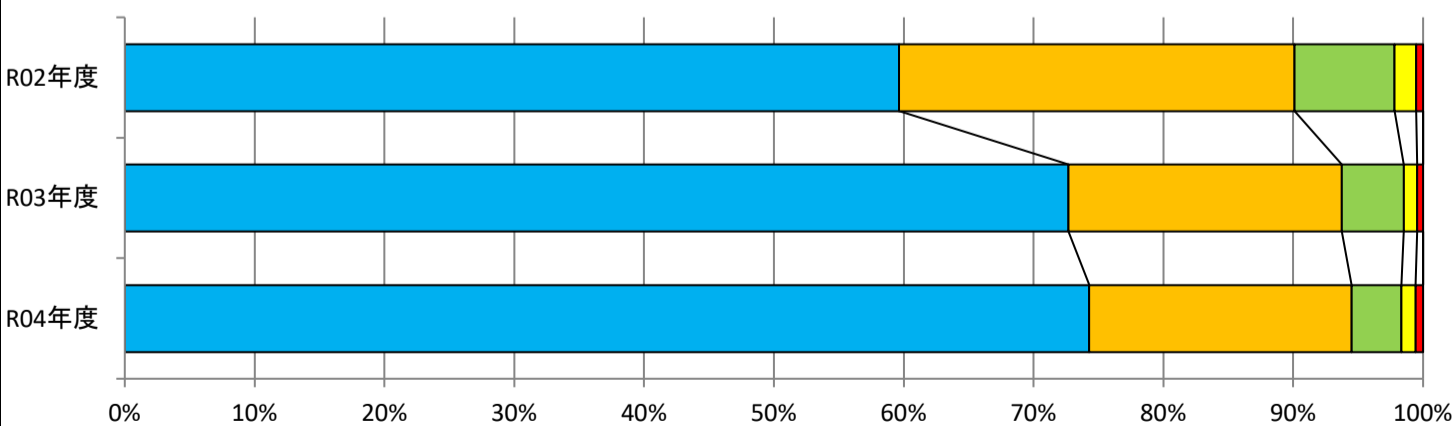
IV 総合評価

16(15) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
55.1	35.6	90.7	-
72.1	23.1	95.2	+ 4.5
74.0	21.7	95.7	+ 0.5

全質問項目の平均

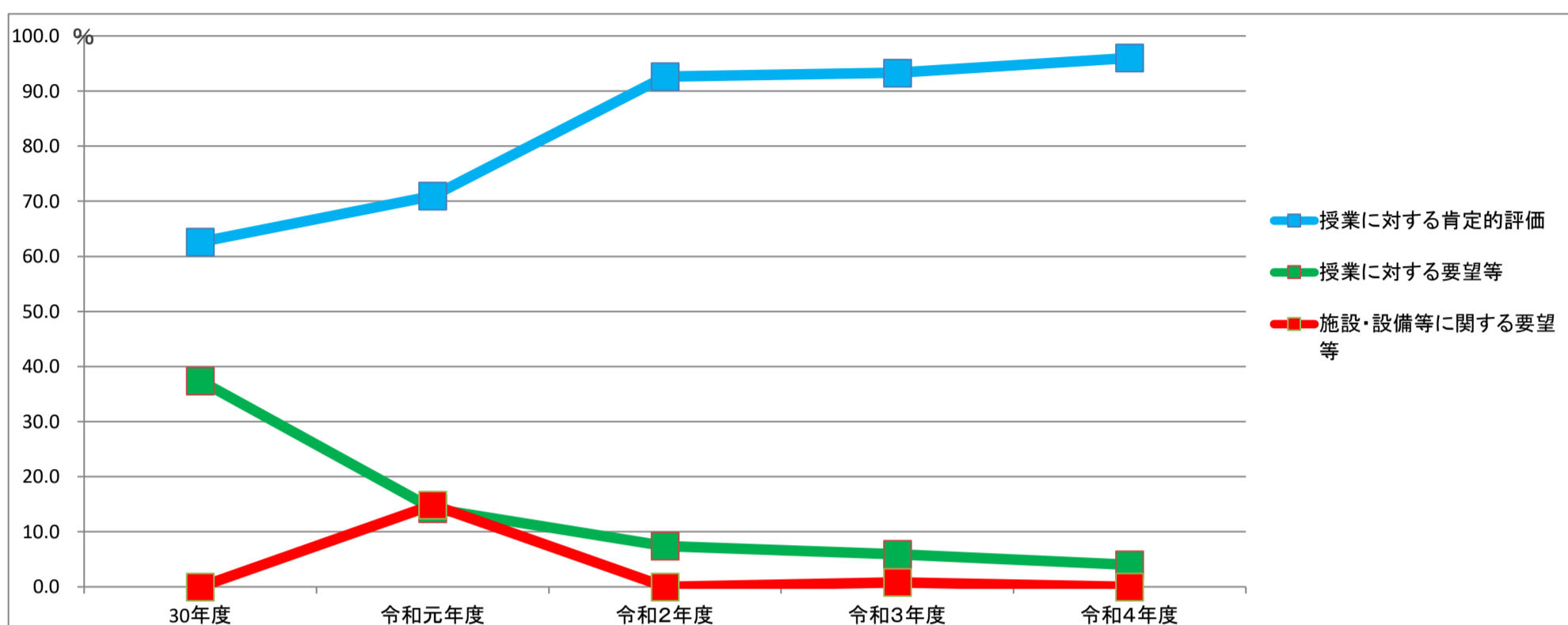


そう思う	やや そう思う	計	対前年度
59.6	30.5	90.1	-
72.7	21.1	93.7	+ 3.6
74.3	20.2	94.5	+ 0.8

◆ 年度別 自由記述集計結果

分類項目／年度	30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
授業に対する肯定的評価	(52.5%)	207	(55.1%)	207	(92.6%)	525	(93.3%)	490	(96.0%)	167
授業に対する要望等	(45.7%)	180	(41.4%)	156	(7.4%)	42	(5.9%)	31	(4.0%)	7
施設・設備等に関する要望等	(1.8%)	7	(3.5%)	13	(0.0%)	0	(0.8%)	4	(0.0%)	0
総件数	(100%)	394	(100%)	376	(100%)	567	(100%)	525	(100%)	174

※ () 内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	167	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育Ⅲでは、様々なゲストスピーカーを呼んで貴重な体験談を聞く機会が沢山あったので非常に良かったと思います。 ・テスト問題形式の練習プリントを作ってくれて、とても勉強しやすかったです！ ・レポートをどんな風に行けばいいのかすごく悩んでいたため、グループでどんな感じにするのか話し合う時間を作ってくれたのでよかったです。 ・看護師として最低限必要なスキルについて学ぶことができ良かったです。 ・急性期看護で学んだことは自分にとってとても難しかったですが、まだまだこれから学ぶことも踏まえて学びを積み重ねていきたいです。 ・在宅看護では、演習としてグループで発表をしましたが、お互いの理解を深められ、自分にはないアイデアを得ることができたので良かったです。 ・資料を事前に配らずに必要なところをメモしながら講義を受けるという新しい講義のスタイルでしたが普段の講義より集中して講義に取り組むことができました。 ・事例では、個人でもグループワークでも難しい問題がいくつかあり、非常に考えさせられましたが、自分の知識となり、正確に看護倫理について学ぶことができました。 ・実習室での自己練習の時間を設けてくださったので、技術練習を行う機会が多くありとても良かったです。
授業に対する要望等	7	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の間で連携がとれていなかったところが気になった(情報共有不足)。 ・オンライン試験の際に、騒音がする音声が入って集中できなかったため、オンライン試験は辞めて欲しいです。 ・質問に対する答えが欲しい。 ・教科書に書かれている内容をそのままパワポにしていた。 ・生徒に対して不適切な発言が多々見られていた。
施設・設備等に関する要望等	0	
計	174	

令和4年度 授業評価集計結果(講義・演習科目)

東京医療保健大学 和歌山看護学部 看護学科

○講義・演習科目数 126科目

○調査対象者数 7,810人(延人数)

○総回答数 2,717件(回答率 34.8%)

◆ 質問項目別集計結果

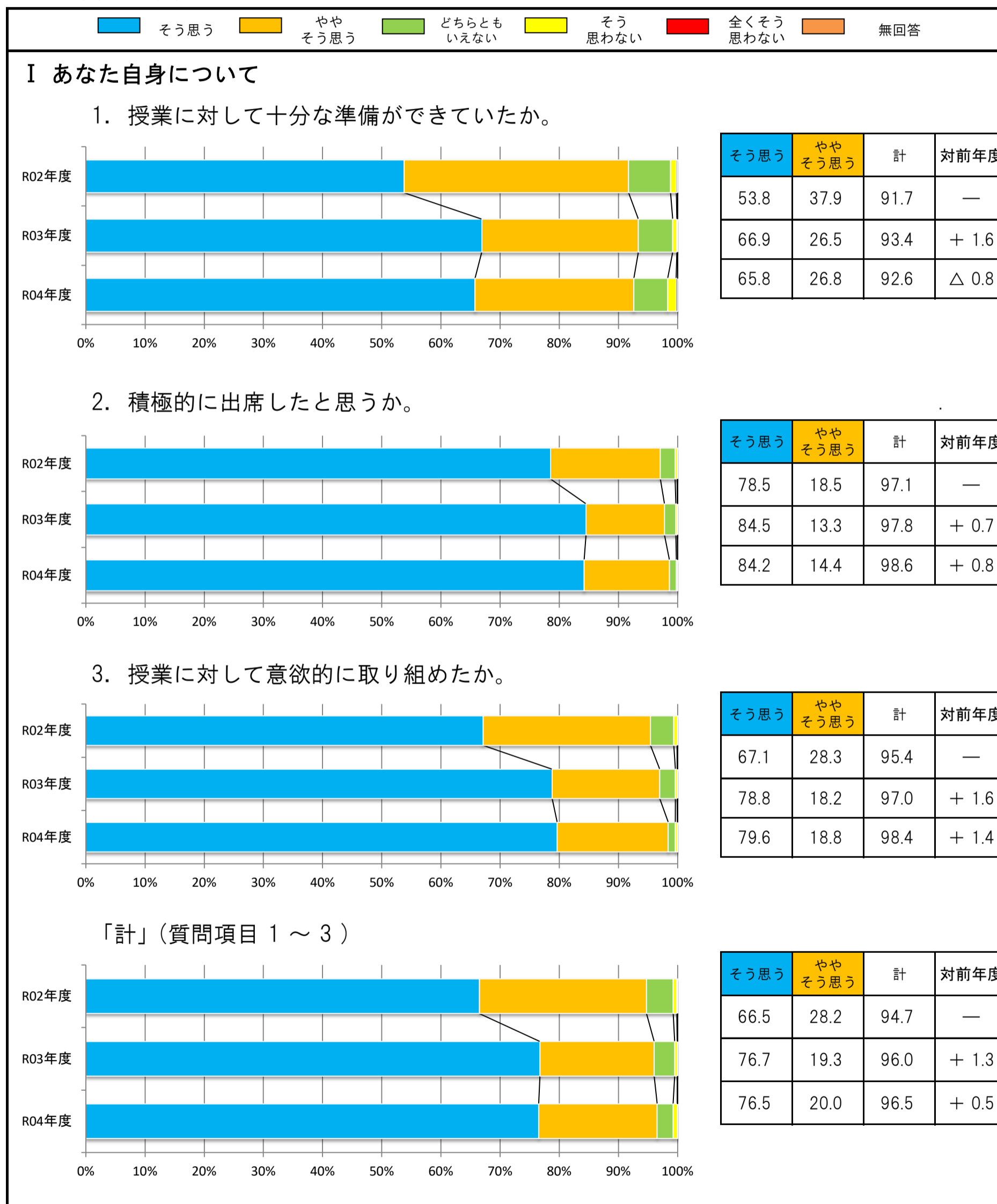
〈上段()は令和3年度アンケート結果〉

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
I あなた自身について							
1. 授業に対して十分な準備ができていたか。	(66.9) 65.8	(26.5) 26.8	(5.8) 5.7	(0.7) 1.4	(0.1) 0.3	0.0	(100) 100
2. 積極的に出席したと思うか。	(84.5) 84.2	(13.3) 14.4	(1.9) 1.2	(0.2) 0.2	(0.0) 0.0	0.0	(100) 100
3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。	(78.8) 79.6	(18.2) 18.8	(2.6) 1.2	(0.3) 0.4	(0.1) 0.0	0.0	(100) 100
計	(76.7) 76.5	(19.3) 20.0	(3.5) 2.7	(0.4) 0.7	(0.1) 0.1	0.0	(100) 100
II 授業内容について							
4. 授業内容をよく理解できたと思うか。	(63.5) 67.5	(31.0) 27.7	(4.5) 3.5	(0.9) 1.1	(0.1) 0.2	0.0	(100) 100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(74.9) 76.6	(21.2) 20.7	(3.3) 2.0	(0.5) 0.6	(0.1) 0.1	0.0	(100) 100
6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(72.4) 74.9	(23.0) 21.6	(3.9) 2.9	(0.5) 0.4	(0.2) 0.1	0.0	(100) 100
7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(76.7) 77.0	(19.5) 19.8	(3.3) 2.8	(0.3) 0.4	(0.1) 0.0	0.0	(100) 100
計	(71.9) 74.0	(23.7) 22.5	(3.8) 2.8	(0.5) 0.6	(0.1) 0.1	0.0 0.0	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について							
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(57.6) 65.1	(25.4) 22.0	(14.1) 10.3	(1.6) 2.1	(1.2) 0.5	0.0 0.0	(100) 100
9. 学習しやすい授業環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(80.4) 82.6	(16.1) 15.6	(3.0) 1.5	(0.4) 0.3	(0.1) 0.1	0.0 0.0	(100) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(77.1) 79.4	(17.4) 17.1	(3.9) 2.2	(1.2) 1.0	(0.4) 0.3	0.0 0.0	(100) 100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、 -1 わかりやすい板書であったと思うか。	(71.4) 75.4	(19.3) 15.5	(7.3) 5.8	(1.4) 2.4	(0.6) 0.9	0.0 0.0	(100) 100
11. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、 -2 その実施内容はわかりやすかったと思うか。	(75.5) 78.2	(18.6) 17.2	(4.4) 2.8	(1.3) 1.4	(0.3) 0.4	0.0 0.0	(100) 100
12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮した と思うか。	(69.9) 69.6	(21.9) 22.7	(6.7) 5.5	(1.2) 1.7	(0.3) 0.4	0.0 0.0	(100) 100
13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	(78.6) 79.1	(17.0) 17.7	(3.4) 2.5	(0.8) 0.4	(0.2) 0.3	0.0 0.0	(100) 100
14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(83.8) 82.9	(13.3) 15.5	(2.5) 1.3	(0.2) 0.2	(0.1) 0.1	0.0 0.0	(100) 100
15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと 思うか。	(67.4) 69.4	(23.6) 23.0	(7.0) 5.6	(1.6) 1.4	(0.5) 0.6	0.0 0.0	(100) 100
計	(73.5) 75.7	(19.2) 18.5	(5.8) 4.2	(1.1) 1.2	(0.4) 0.4	0.0 0.0	(100) 100
IV 総合評価							
16. この講義・演習は遠隔授業環境でも学びやすかったと思 うか。	(70.7) 74.3	(18.6) 15.5	(7.1) 6.3	(2.7) 2.4	(1.0) 1.5	0.0 0.0	(100) 100
17. この授業は総合的に満足できたと思うか。	(73.2) 75.2	(22.1) 20.9	(3.8) 3.0	(0.8) 0.7	(0.2) 0.2	0.0 0.0	(100) 100
計	(71.9) 74.7	(20.3) 18.2	(5.5) 4.6	(1.7) 1.5	(0.6) 0.8	0.0 0.0	(100) 100
全質問項目の平均	(73.5) 75.2	(20.6) 19.8	(4.6) 3.6	(0.9) 1.0	(0.3) 0.4	0.0 0.0	(100) 100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（講義・演習科目）

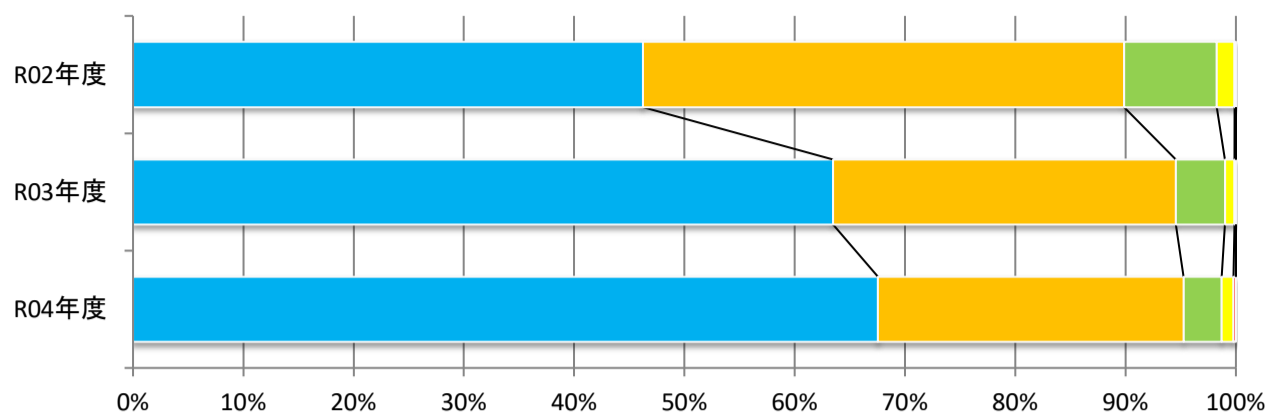
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全科目数	97科目	95科目	126科目
調査対象者数	7,056人	7,180人	7,810人
総回答数（回答率）	5,816件（82.4%）	4,410件（61.4%）	2,717件（34.8%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



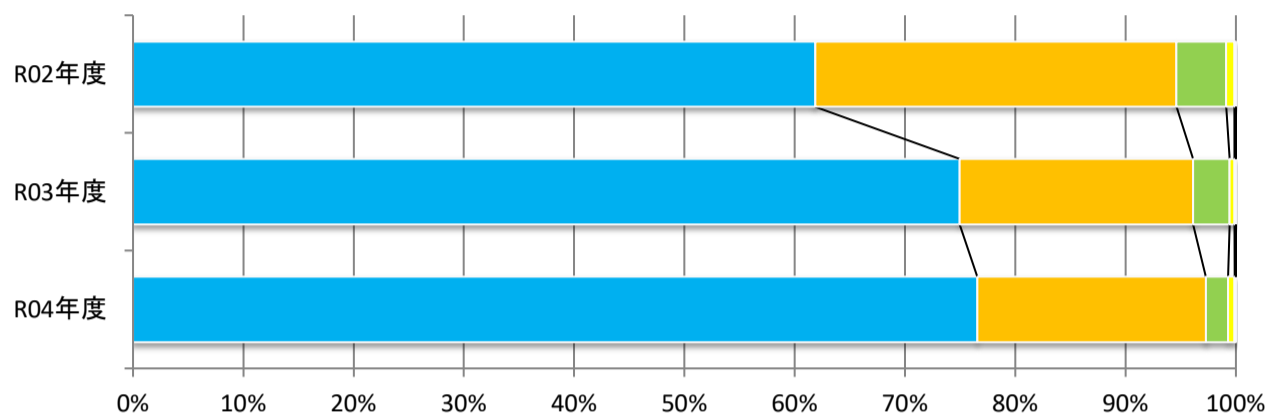
Ⅱ 授業内容について

4. 授業内容をよく理解できたと思うか。



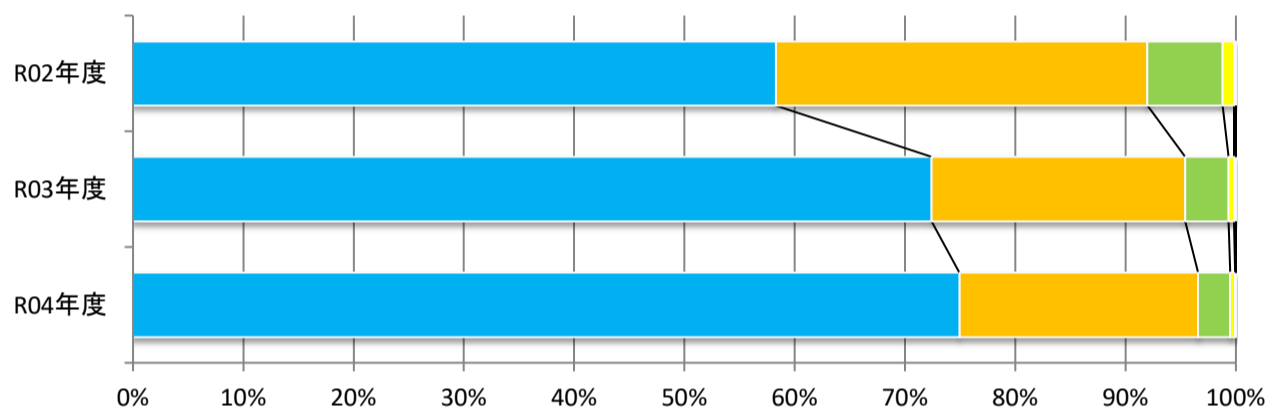
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
46.2	43.6	89.9	—
63.5	31.0	94.5	+ 4.7
67.5	27.7	95.3	+ 0.7

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



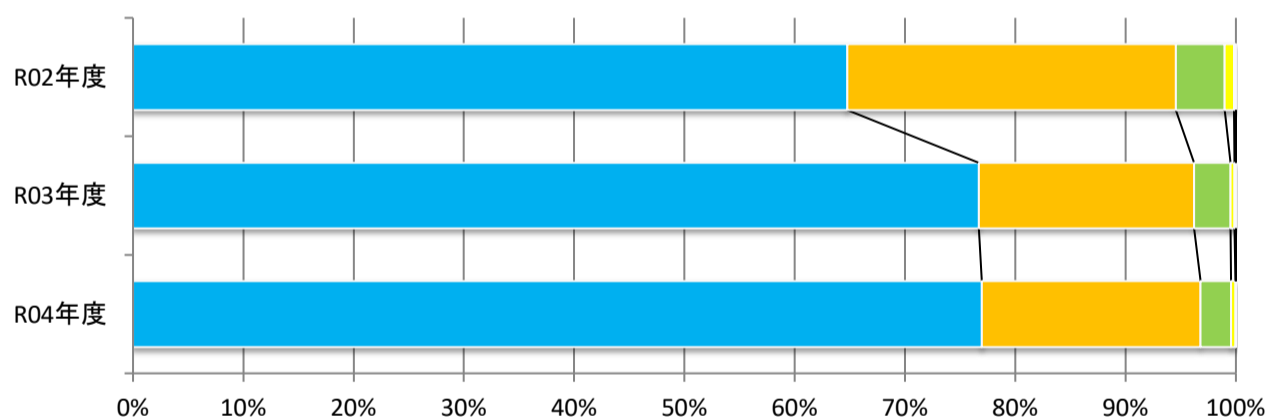
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
61.8	32.8	94.6	—
74.9	21.2	96.1	+ 1.5
76.6	20.7	97.3	+ 1.2

6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。



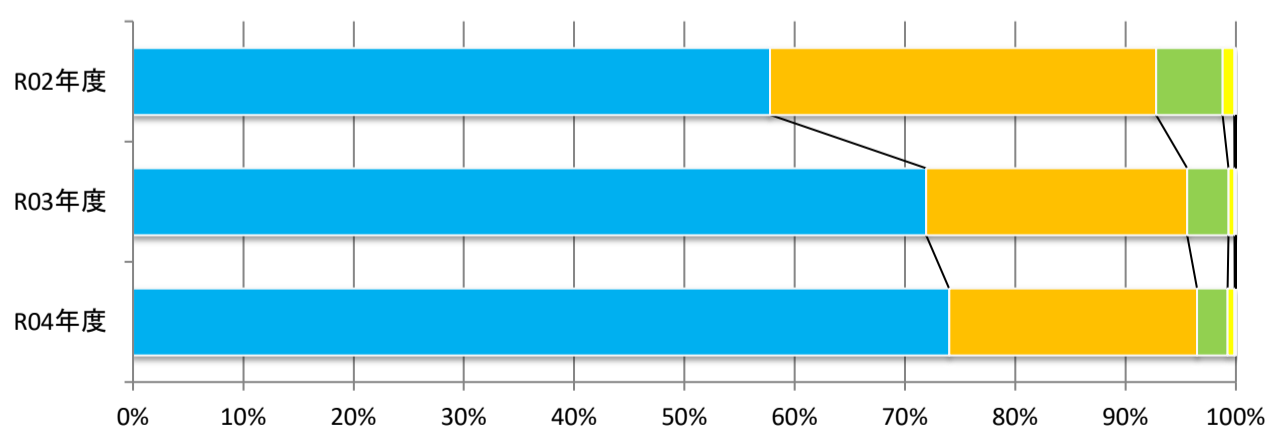
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
58.3	33.7	92.0	—
72.4	23.0	95.4	+ 3.4
74.9	21.6	96.6	+ 1.2

7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
64.8	29.8	94.5	—
76.7	19.5	96.2	+ 1.6
77.0	19.8	96.8	+ 0.6

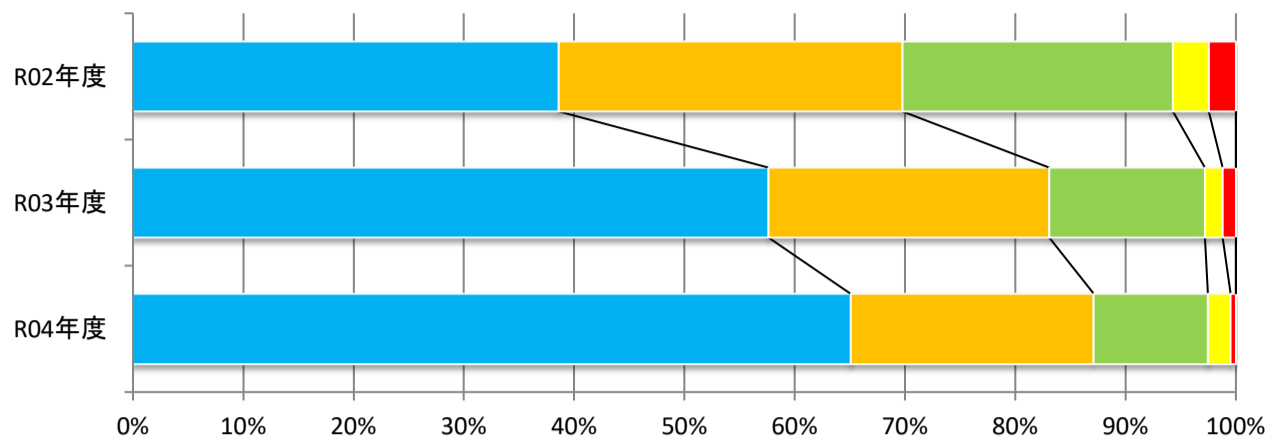
「計」(質問項目 4 ~ 7)



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
57.8	35.0	92.8	—
71.9	23.7	95.6	+ 2.8
74.0	22.5	96.5	+ 0.9

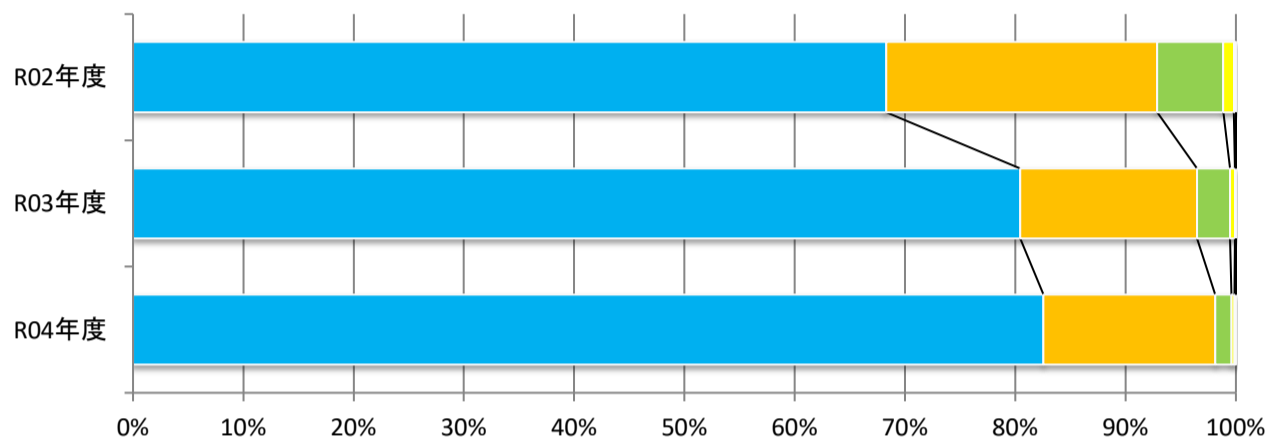
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



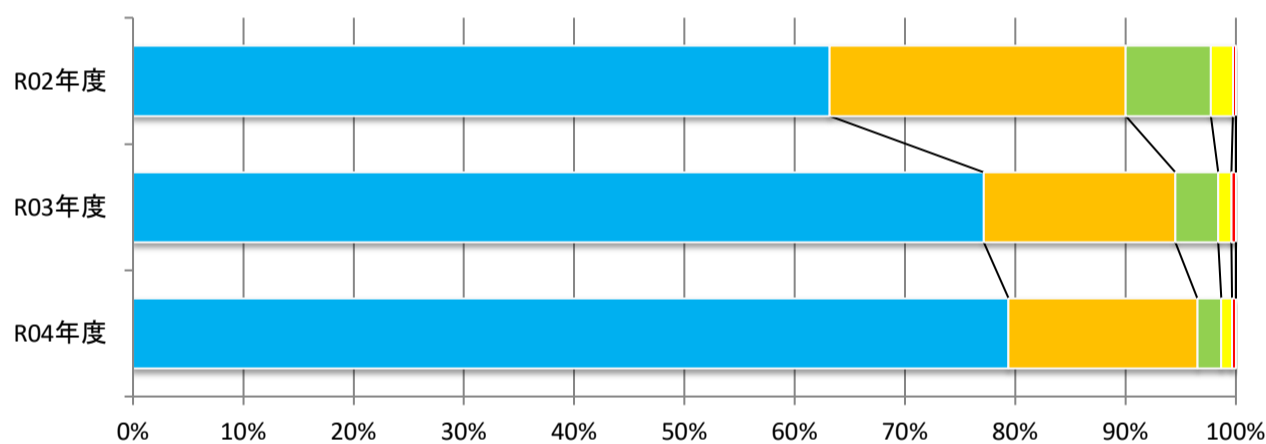
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.6	31.2	69.8	—
57.6	25.4	83.1	+ 13.3
65.1	22.0	87.1	+ 4.0

9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



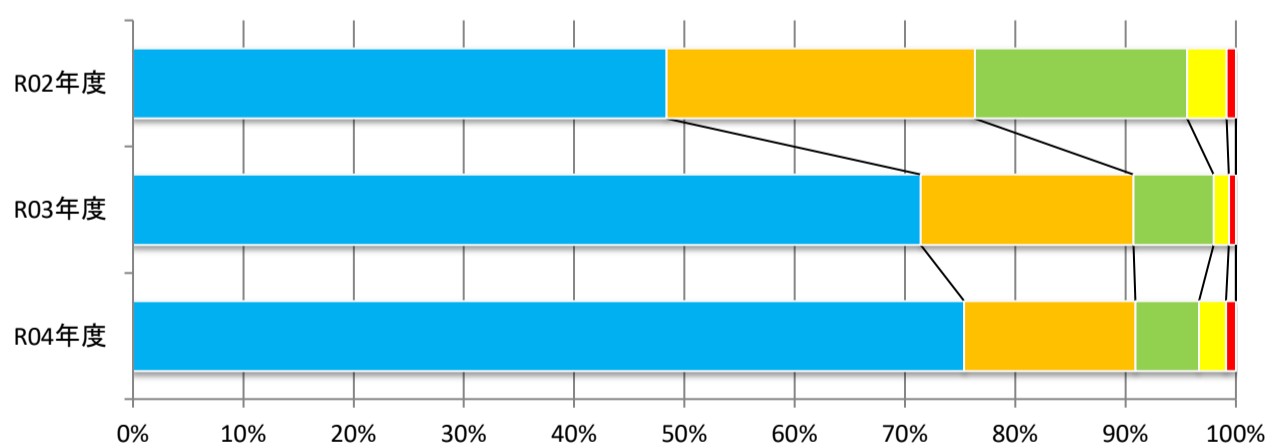
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
68.3	24.6	92.9	—
80.4	16.1	96.5	+ 3.6
82.6	15.6	98.1	+ 1.6

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



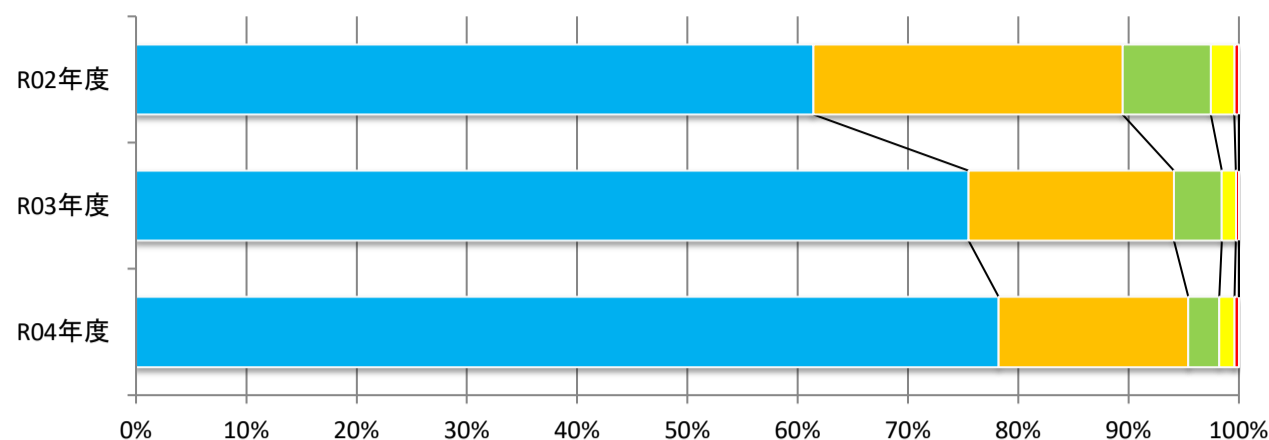
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
63.2	26.9	90.0	—
77.1	17.4	94.5	+ 4.5
79.4	17.1	96.5	+ 2.0

11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい -1 板書であったと思うか。



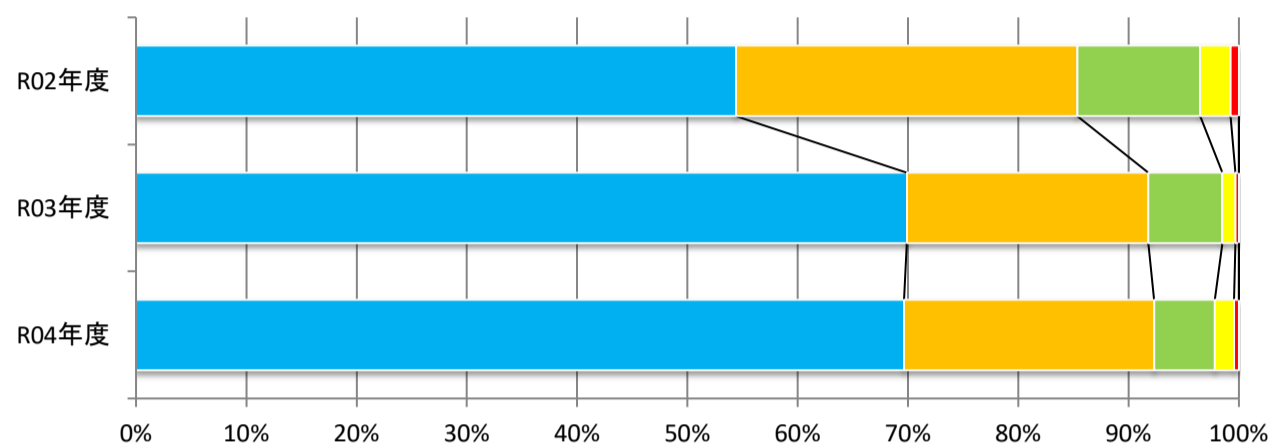
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
48.4	27.9	76.3	—
71.4	19.3	90.7	+ 14.4
75.4	15.5	90.9	+ 0.2

11. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容は
-2 わかりやすかったと思うか。



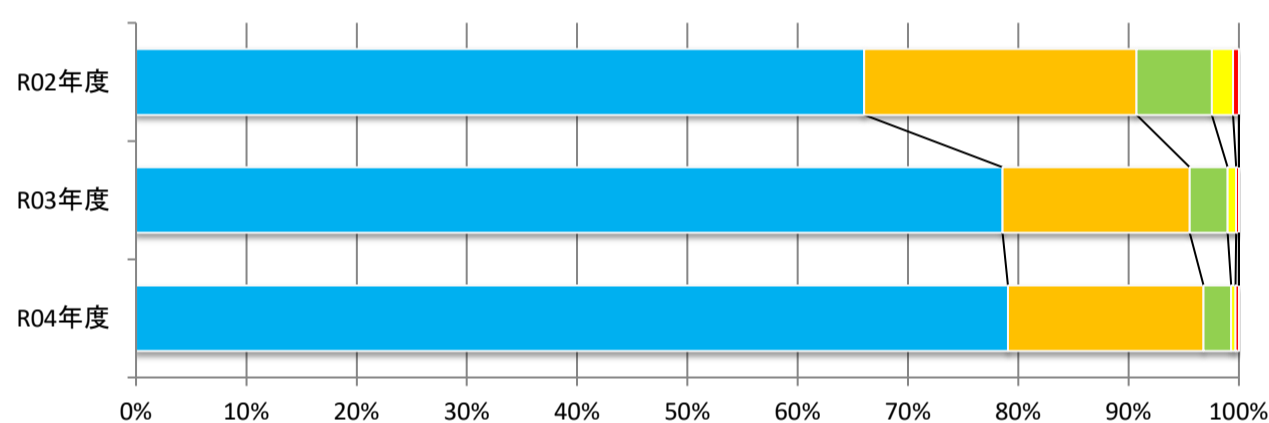
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
61.4	28.0	89.5	—
75.5	18.6	94.1	+ 4.6
78.2	17.2	95.4	+ 1.3

12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



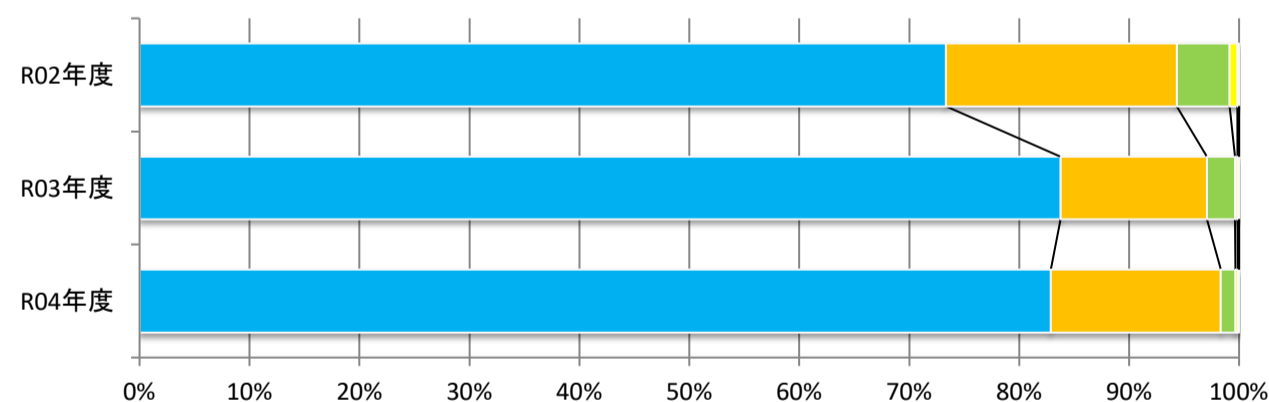
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
54.4	30.9	85.4	—
69.9	21.9	91.8	+ 6.4
69.6	22.7	92.3	+ 0.5

13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



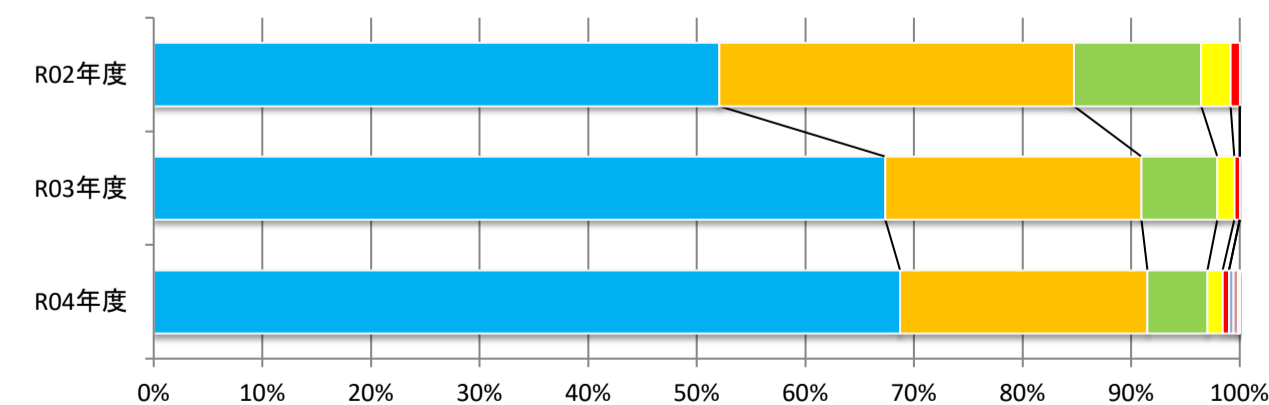
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
66.0	24.7	90.7	—
78.6	17.0	95.6	+ 4.8
79.1	17.7	96.8	+ 1.2

14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか



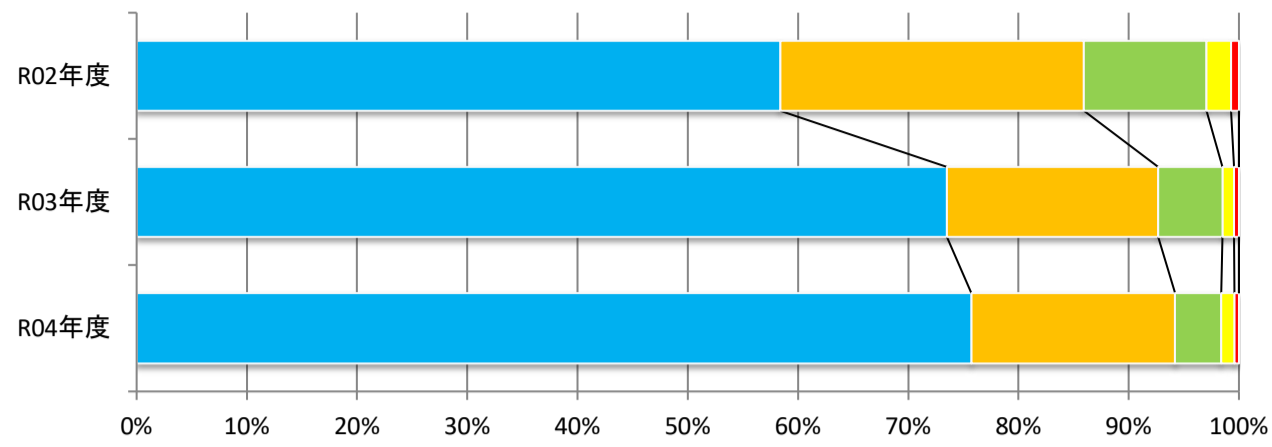
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
73.3	21.0	94.3	—
83.8	13.3	97.1	+ 2.8
82.9	15.5	98.3	+ 1.2

15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
52.1	32.7	84.7	—
67.4	23.6	91.0	+ 6.2
69.4	23.0	92.4	+ 1.5

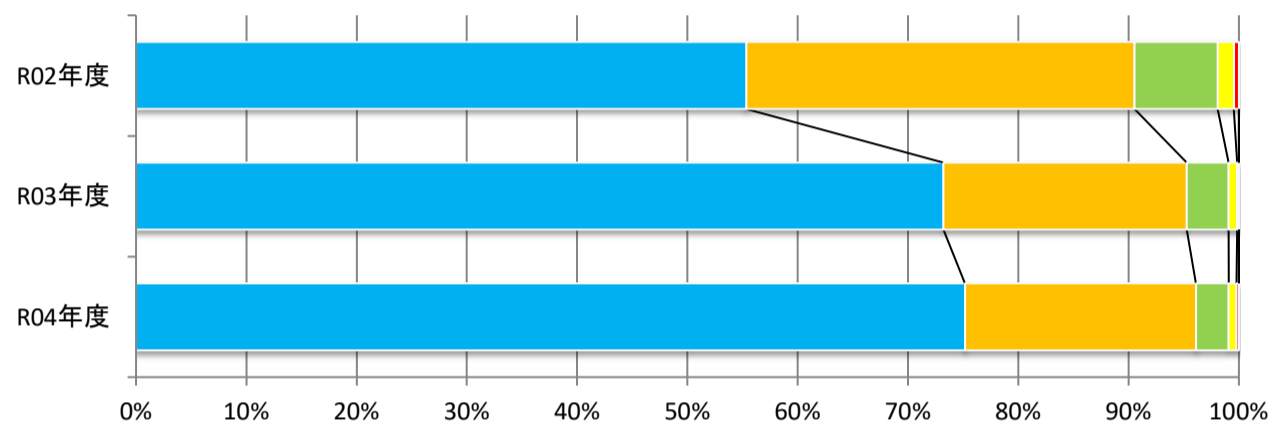
「計」(質問項目 8 ~ 15)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
58.4	27.5	85.9	—
73.5	19.2	92.7	+ 6.7
75.7	18.5	94.2	+ 1.5

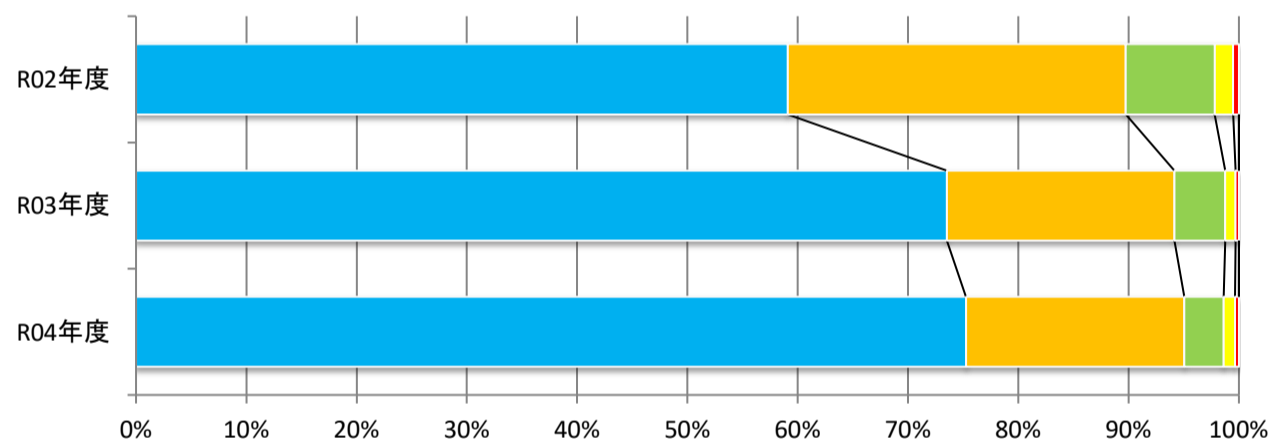
IV 総合評価

16. この授業は総合的に満足できたと思うか。



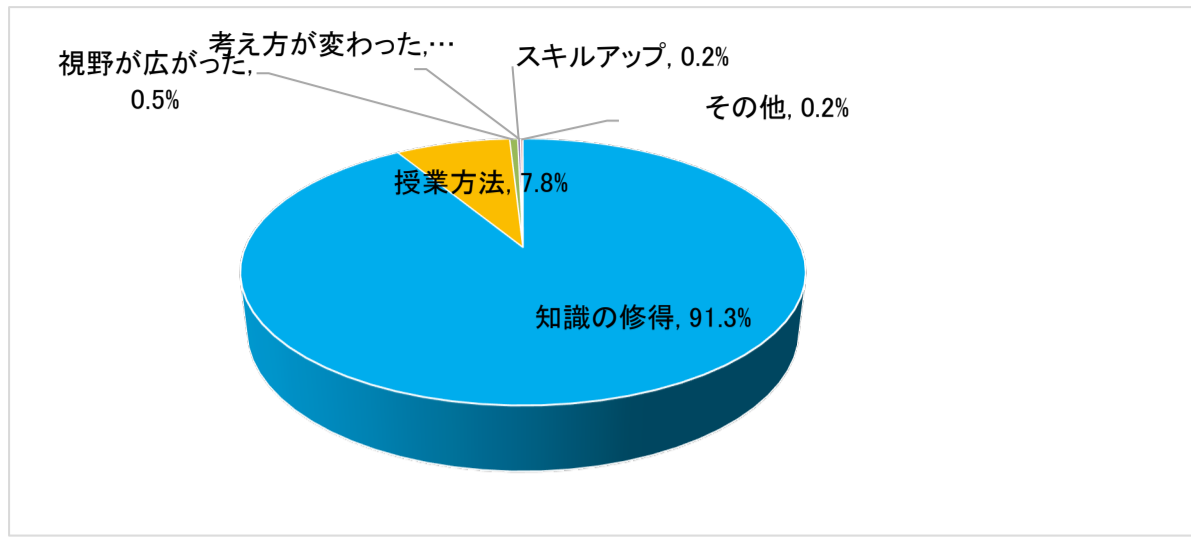
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
55.4	35.2	90.5	—
73.2	22.1	95.3	+ 4.7
75.2	20.9	96.1	+ 0.8

全質問項目の平均



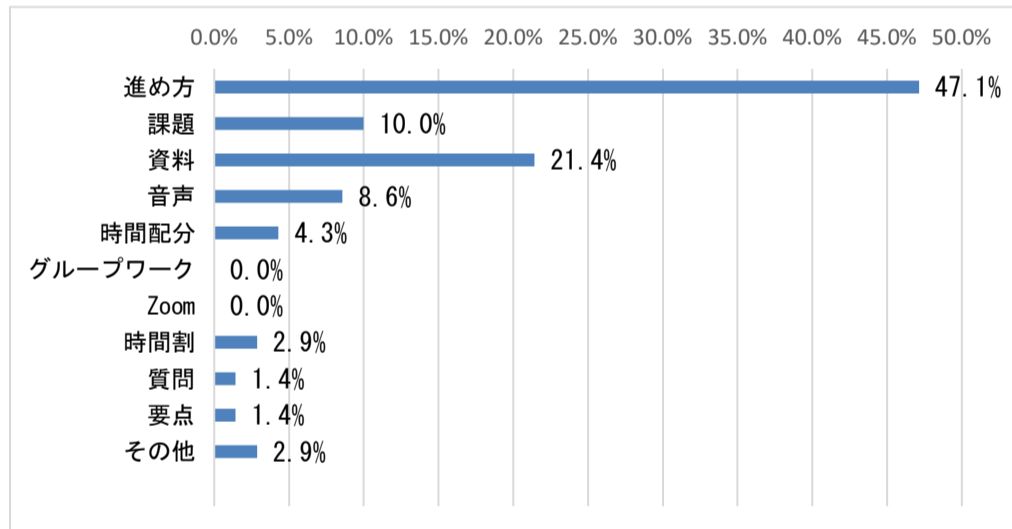
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
59.1	30.7	89.7	—
73.5	20.6	94.1	+ 4.4
75.2	19.8	95.0	+ 0.9

◆ VI この授業を受けて良かったと思うことがありますか。 【総数 549】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	心理学	36	心理学というあまり、学んだことや考えたことのないことまでに理由があったらするのがよく、看護に活かせる面が多かった。 グループワークがあり、様々な意見を聞くことが出来て良かった。自分の性格と向き合うこともでき、人間の心理について学ぶことが出来たので、これからいろいろな人とかかわる上で役立つと思う。
	スポーツ科学	23	○×形式を用いた授業で、取り組みやすい授業でした。 友達と話し合う時間を多くとってくれたので楽しく授業を受けることができました。 自分自身が間違った知識を覚えてしまっていることもあったため、この講義で正しい答えを知ることができてよかったです。
	体の仕組みと働きⅠ	19	定期テストや国家試験に出題されやすい問題を教えてくださったのでとてもよかったです。先生の声の抑揚が授業に集中できるものでした。面白かったしとても分かりやすかったです。 全身の骨の名称や筋肉の名称を知り、覚えることができたので良かったです。また、骨の構造や高齢者の四大骨折についても学ぶことができて良かったです。
	看護理論	17	さまざまな看護観について学ぶことができ、今後看護を行っていくうえで自分なりの看護観を見つけたり、学んだことを活用しながらより良い看護に向けて頑張りたいと思います。
助産	助産診断・技術学Ⅱ	1	CTGの読み取り方を何回も授業で考えさせてくれたので良かった。

◆ VII この授業の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。 【総数 70】



学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	体の仕組みと働きⅠ	8	資料がウェブ上にもアップされておらず、メモなどをしていて授業についていくことができなかった。出来れば前日にあげてほしいと思った。 遠隔授業をしているときは、喋るスピードが速くて理解に苦しんだので改善していただきたいです。
	公衆衛生学	6	レジュメが多すぎて印刷が大変でした。 問題の量が多くてテスト勉強の時に大変だったので小テストをするのも一つかなと思う。
	韓国語	5	wordで韓国語を書く際、読み方が少し特殊なときはカタカナで読み方を書いたり、日本語で意味を書いたりしてさらに理解が深まるように書いてほしいです。 発音や答えを言ってくれますが、まだ慣れていないため、板書に詳しく書いてほしいです。
	心理学	4	自分たちが楽しく受けられるということに着目していたので、授業が進んだり進まなかったりで用意していた資料とずれるということもあったので、そこが少し困ったりしました。 指名されない生徒は、授業に参加している感覚が薄れてしまう可能性があるため限定した人ばかりをあてない方がよいと思いました。
助産	英語文献講読	1	英文を読んでいるとき、どこを読んでいるか分からないのでその都度教えてほしかった。

令和4年度 授業評価集計結果(実習・実験科目)

東京医療保健大学 和歌山看護学部 看護学科

○実習・実験科目数 15科目

○調査対象者数 1,115人(延人数)

○総回答数 426件(回答率 38.2%)

◆ 質問項目別集計結果

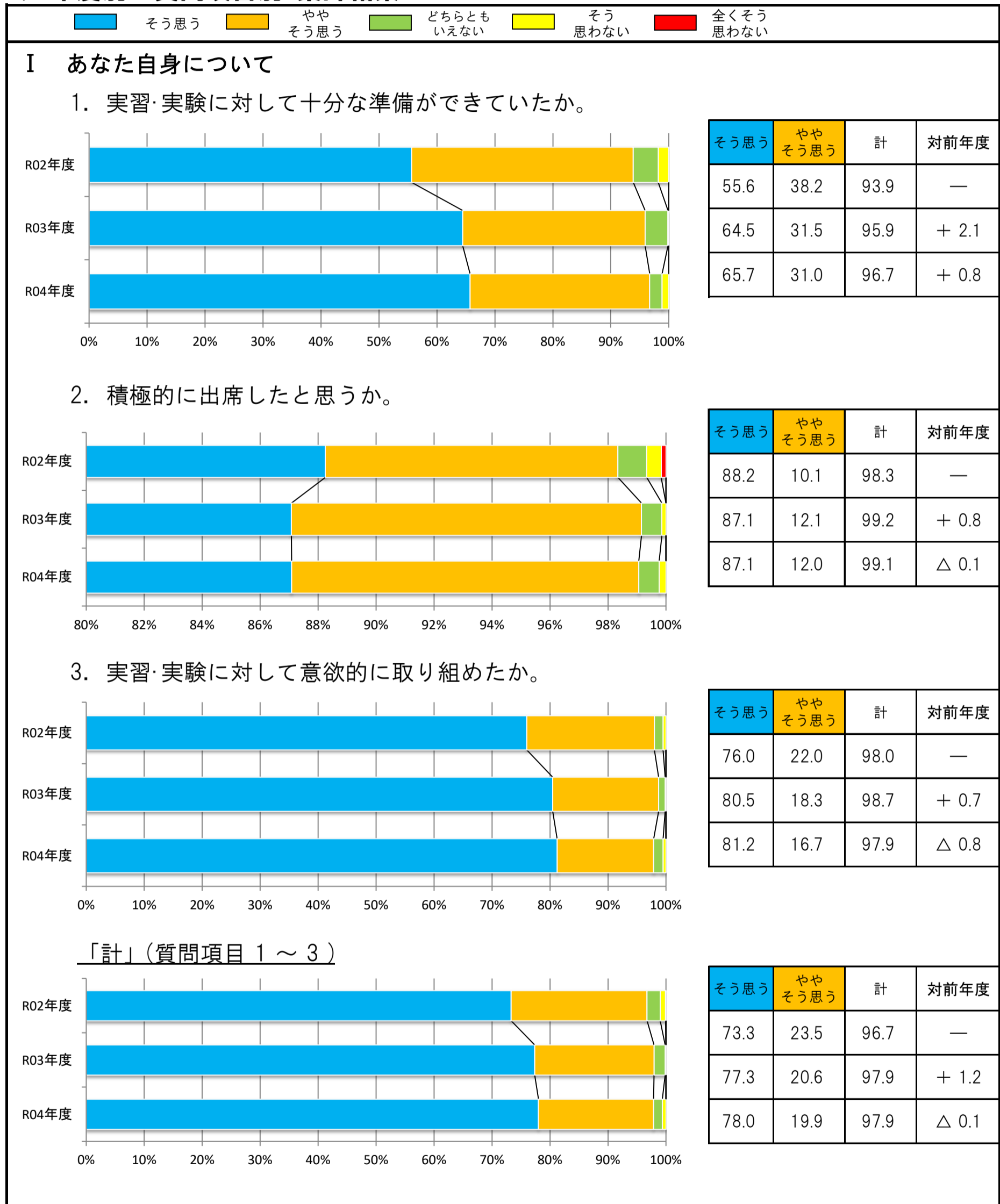
〈上段()は令和3年度アンケート結果〉

質問項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
I あなた自身について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 実習・実験に対して十分な準備ができていたか。	(64.5) 65.7	(31.5) 31.0	(3.9) 2.1	(0.1) 1.2	0.0 0.0	0.0 0.0	(100) 100
2. 積極的に出席したと思うか。	(87.1) 87.1	(12.1) 12.0	(0.7) 0.7	(0.1) 0.2	0.0 0.0	0.0 0.0	(100) 100
3. 実習・実験に対して意欲的に取り組めたか。	(80.5) 81.2	(18.3) 16.7	(1.1) 1.6	(0.1) 0.5	0.0 0.0	0.0 0.0	(100) 100
計	(77.3) 78.0	(20.6) 19.9	(1.9) 1.5	(0.1) 0.6	0.0 0.0	0.0 0.0	(100) 100
II 実習・実験内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。	(64.6) 66.9	(32.2) 31.0	(2.7) 1.4	(0.4) 0.7	(0.1) 0.0	0.0 0.0	(100) 100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(69.0) 74.6	(27.7) 23.2	(2.9) 1.9	(0.3) 0.2	(0.1) 0.0	0.0 0.0	(100) 100
6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(72.5) 75.8	(23.0) 21.4	(4.1) 2.6	(0.3) 0.2	(0.1) 0.0	0.0 0.0	(100) 100
7. この実習・実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(73.9) 77.5	(22.6) 20.0	(2.5) 2.1	(0.8) 0.5	(0.1) 0.0	0.0 0.0	(100) 100
計	(70.0) 73.7	(26.4) 23.9	(3.1) 2.0	(0.5) 0.4	(0.1) 0.0	0.0 0.0	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(45.9) 52.1	(25.0) 21.4	(21.5) 20.9	(3.5) 2.8	(4.1) 2.8	0.0 0.0	(100) 100
9. 学習しやすい実習・実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(69.2) 73.5	(23.9) 21.1	(4.5) 3.5	(1.7) 0.9	(0.7) 0.9	0.0 0.0	(100) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(71.8) 74.2	(21.5) 20.0	(4.8) 3.5	(1.5) 1.9	(0.4) 0.5	0.0 0.0	(100) 100
11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(70.4) 73.0	(23.2) 19.2	(4.4) 5.4	(1.4) 1.6	(0.7) 0.7	0.0 0.0	(100) 100
12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。	(70.6) 72.5	(22.1) 21.6	(5.2) 3.5	(1.3) 1.2	(0.8) 1.2	0.0 0.0	(100) 100
13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(76.5) 74.4	(18.7) 20.0	(3.8) 4.2	(0.6) 0.9	(0.4) 0.5	0.0 0.0	(100) 100
14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習・実験を行ったと思うか。	(67.3) 70.7	(24.6) 20.0	(5.3) 5.2	(2.0) 3.1	(0.8) 1.2	0.0 0.0	(100) 100
計	(67.4) 70.1	(22.7) 20.5	(7.1) 6.6	(1.7) 1.8	(1.1) 1.1	0.0 0.0	(100) 100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
15. この実習・実験は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(44.2) 39.0	(20.9) 19.2	(18.3) 20.0	(8.3) 8.0	(8.3) 13.8	0.0 0.0	(100) 100
16. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。	(65.6) 66.9	(29.2) 26.5	(3.5) 4.7	(1.0) 1.4	(0.7) 0.5	0.0 0.0	(100) 100
計	(54.9) 52.9	(25.1) 22.9	(10.9) 12.3	(4.6) 4.7	(4.5) 7.2	0.0 0.0	(100) 100
全質問項目の平均	(67.4) 68.7	(23.7) 21.8	(5.7) 5.6	(1.7) 1.9	(1.4) 2.1	0.0 0.0	(100) 100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（実習・実験科目）

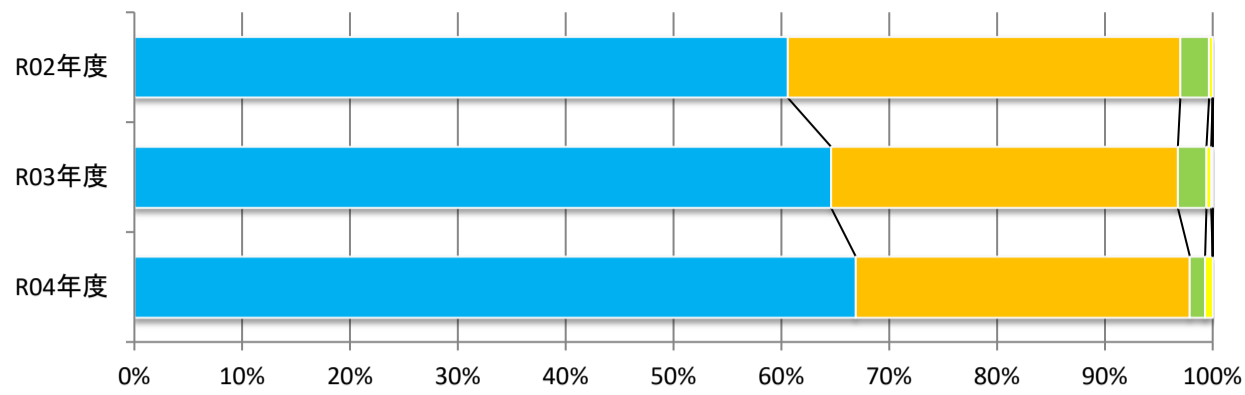
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全科目数	11科目	21科目	15科目
調査対象者数	1,089人	1,290人	1,115人
総回答数（回答率）	604件（55.5%）	712件（55.2%）	426件（38.2%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



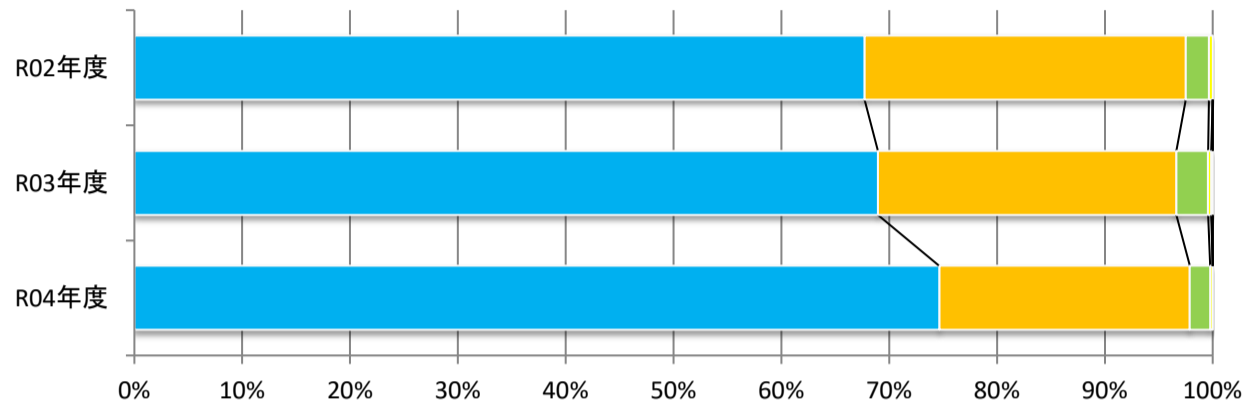
Ⅱ 実習・実験内容について

4. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。



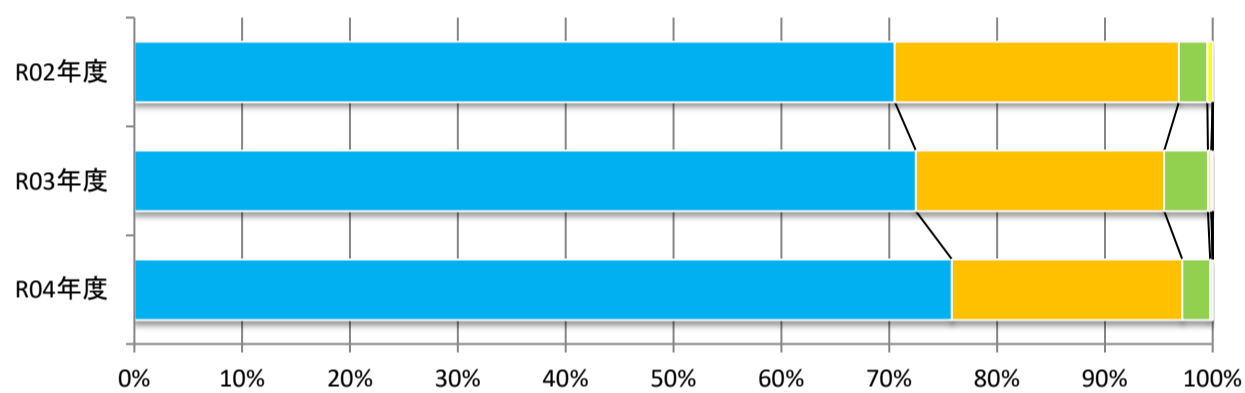
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
60.6	36.4	97.0	—
64.6	32.2	96.8	△ 0.3
66.9	31.0	97.9	+ 1.1

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



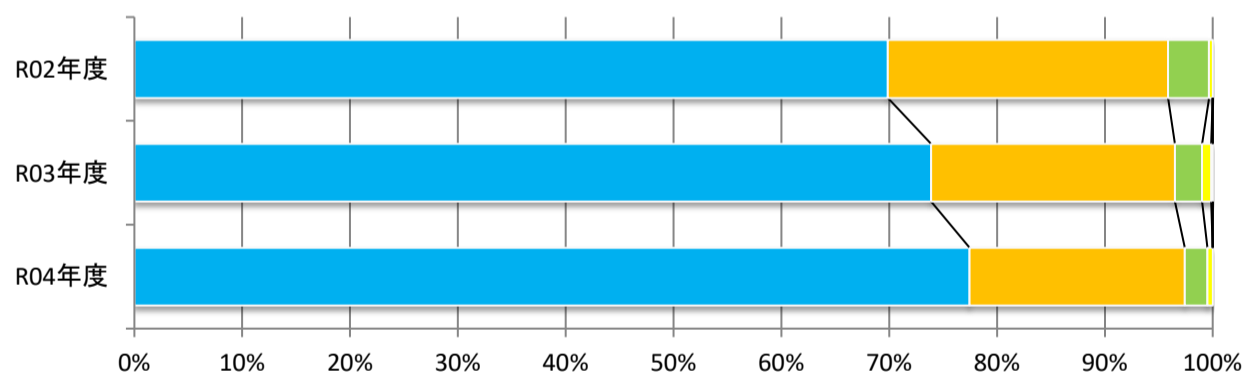
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
67.7	29.8	97.5	—
69.0	27.7	96.6	△ 0.9
74.6	23.2	97.9	+ 1.3

6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。



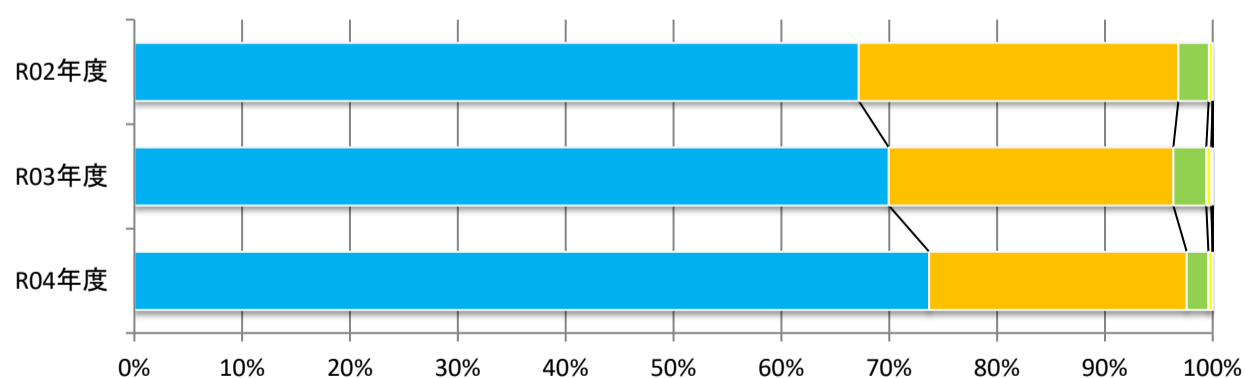
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
70.5	26.3	96.9	—
72.5	23.0	95.5	△ 1.3
75.8	21.4	97.2	+ 1.7

7. この実習・実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
69.9	26.0	95.9	—
73.9	22.6	96.5	+ 0.6
77.5	20.0	97.4	+ 0.9

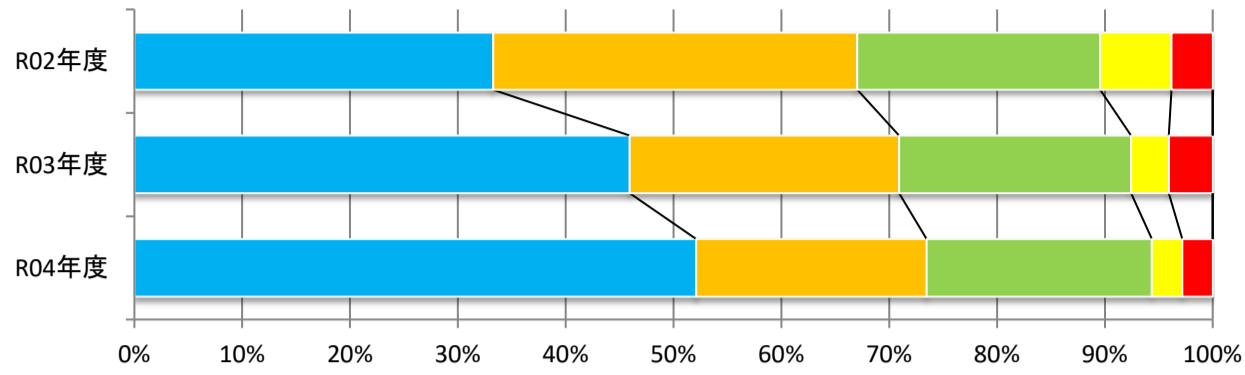
「計」(質問項目 4～7)



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
67.2	29.6	96.8	—
70.0	26.4	96.3	△ 0.5
73.7	23.9	97.6	+ 1.2

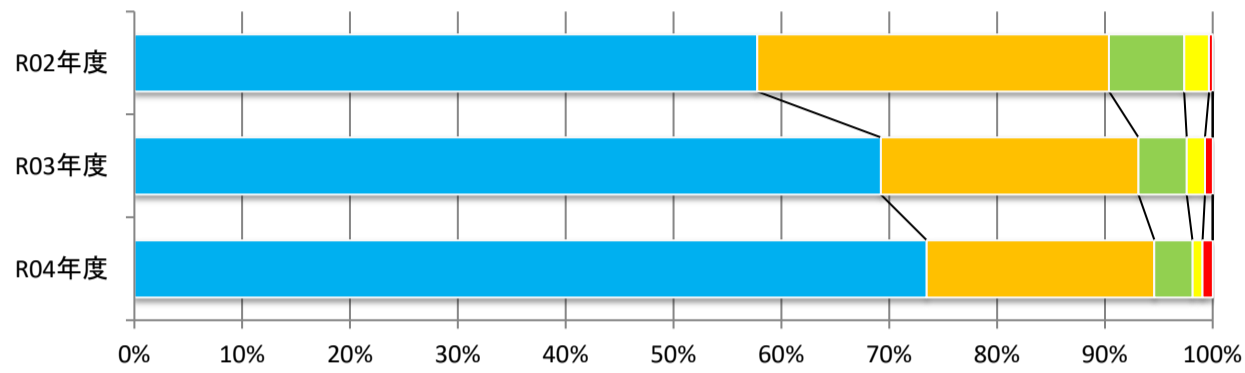
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



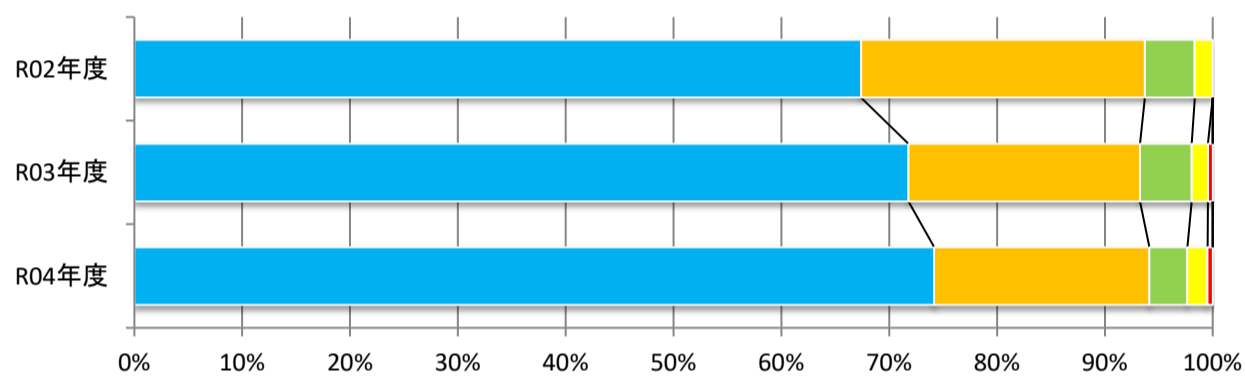
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
33.3	33.8	67.1	—
45.9	25.0	70.9	+ 3.9
52.1	21.4	73.5	+ 2.5

9. 学習しやすい実習・実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。



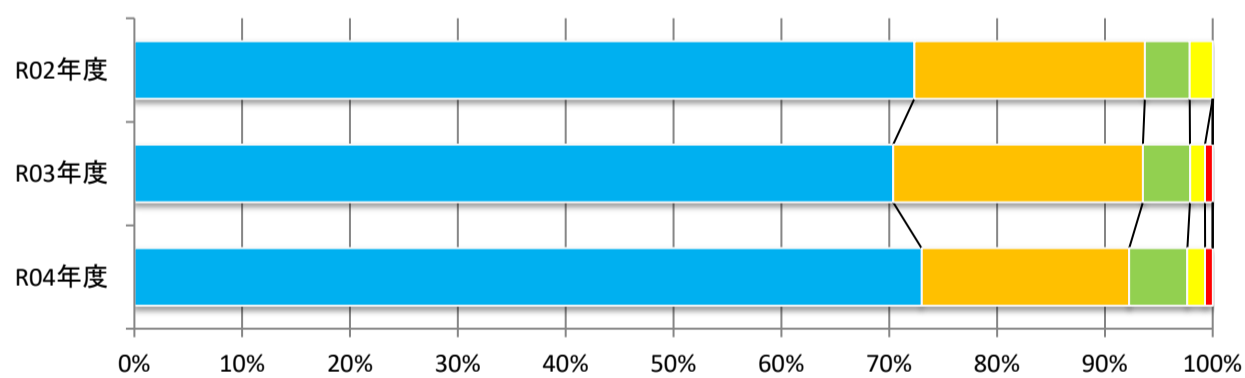
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
57.8	32.6	90.4	—
69.2	23.9	93.1	+ 2.7
73.5	21.1	94.6	+ 1.5

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



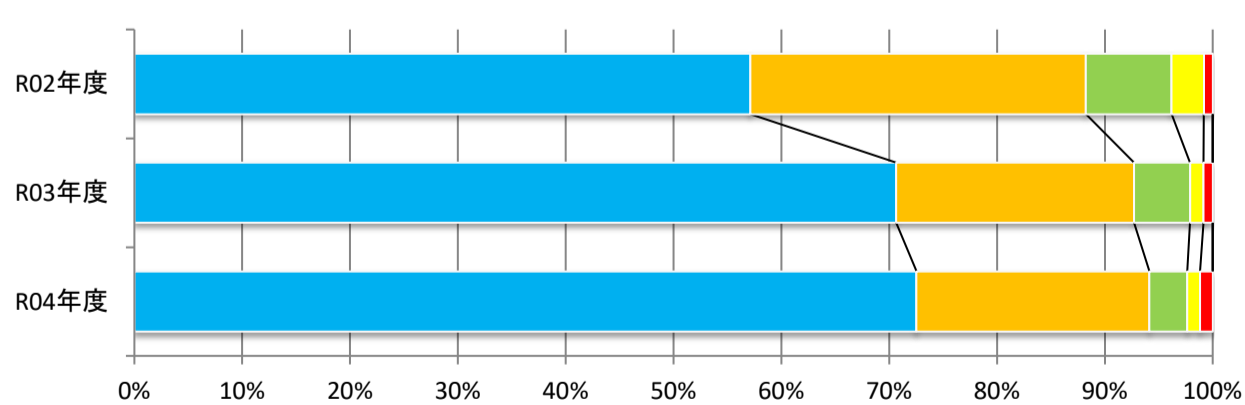
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
67.4	26.3	93.7	—
71.8	21.5	93.3	△ 0.5
74.2	20.0	94.1	+ 0.9

11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



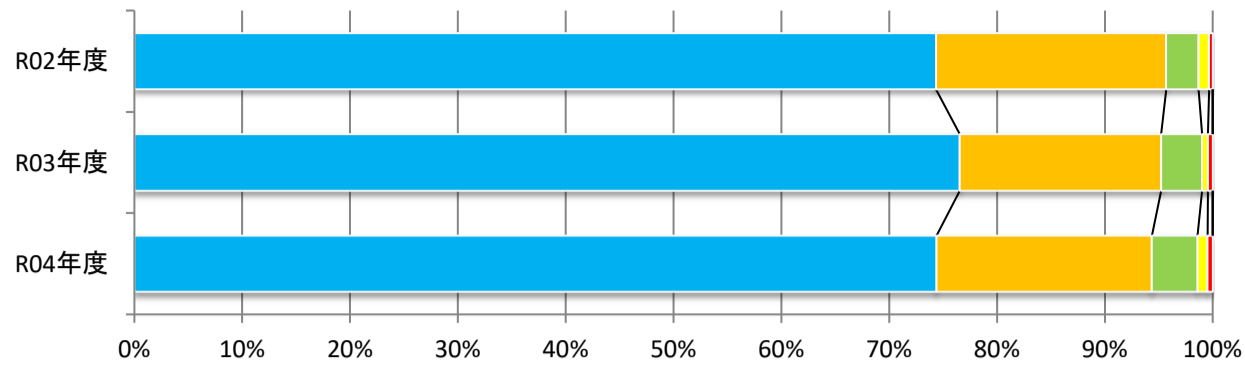
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
72.4	21.4	93.7	—
70.4	23.2	93.5	△ 0.2
73.0	19.2	92.3	△ 1.3

12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。



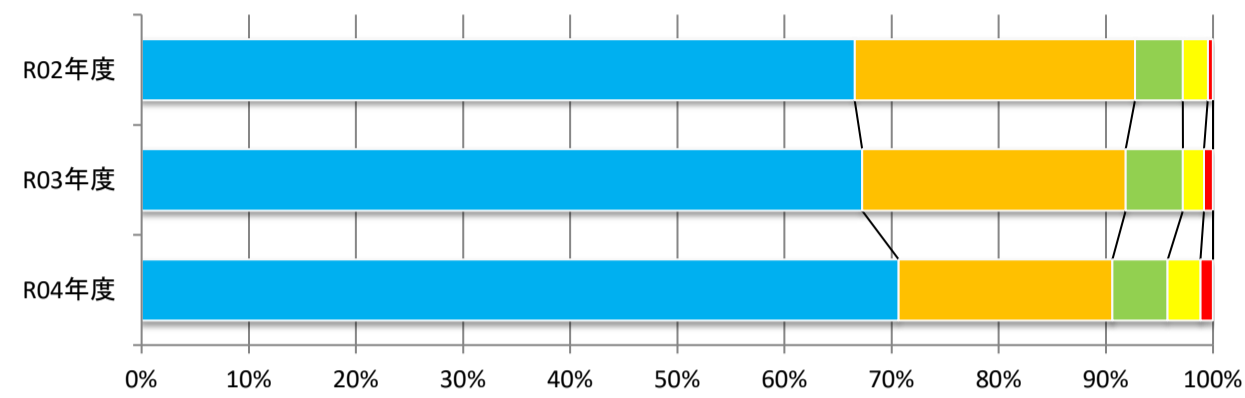
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
57.1	31.1	88.2	—
70.6	22.1	92.7	+ 4.5
72.5	21.6	94.1	+ 1.4

13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。



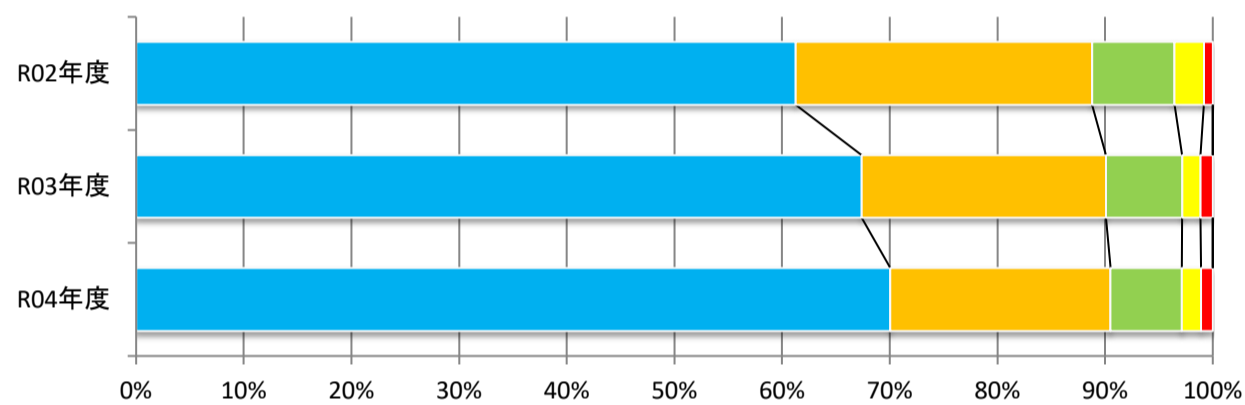
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
74.3	21.4	95.7	—
76.5	18.7	95.2	△ 0.5
74.4	20.0	94.4	△ 0.9

14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習・実験を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
66.6	26.2	92.7	—
67.3	24.6	91.9	△ 0.9
70.7	20.0	90.6	△ 1.2

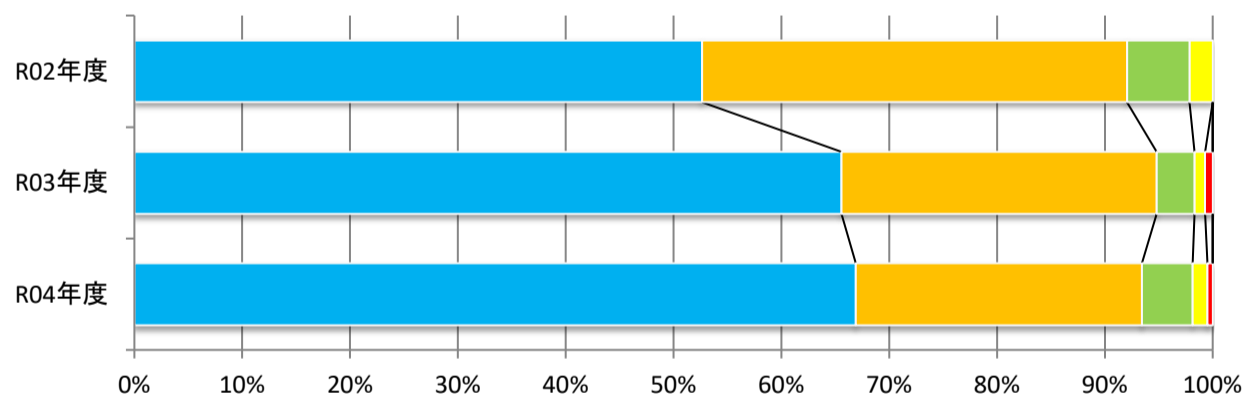
「計」(質問項目 8 ~ 14)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
61.3	27.5	88.8	—
67.4	22.7	90.1	+ 1.3
70.1	20.5	90.5	+ 0.4

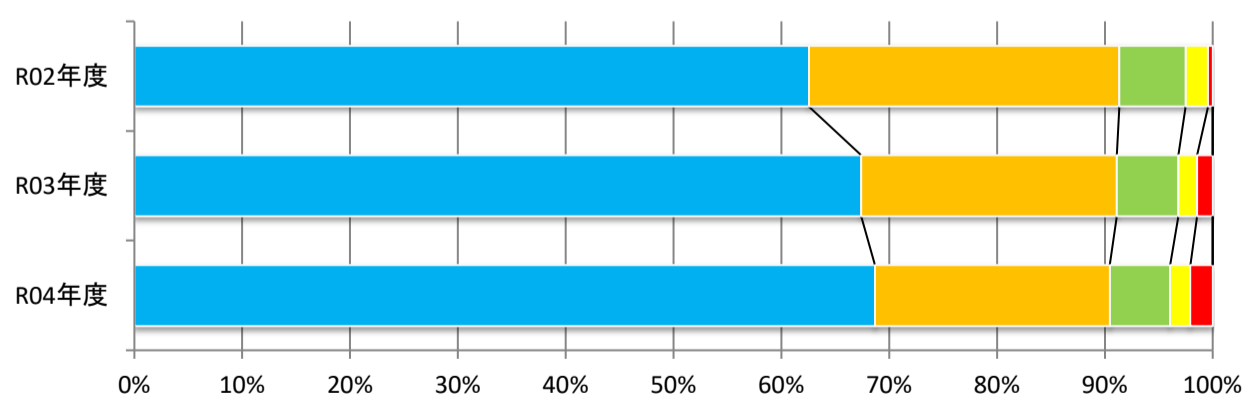
IV 総合評価

15. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。



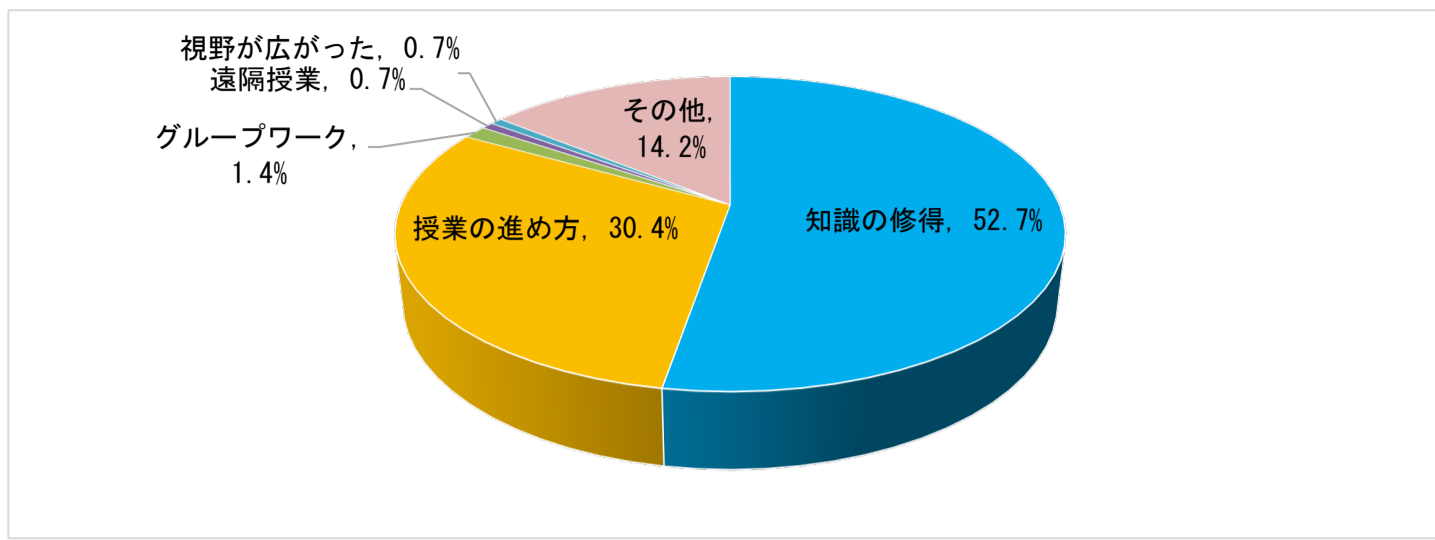
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
52.6	39.4	92.1	—
65.6	29.2	94.8	+ 2.8
66.9	26.5	93.4	△ 1.4

全質問項目の平均



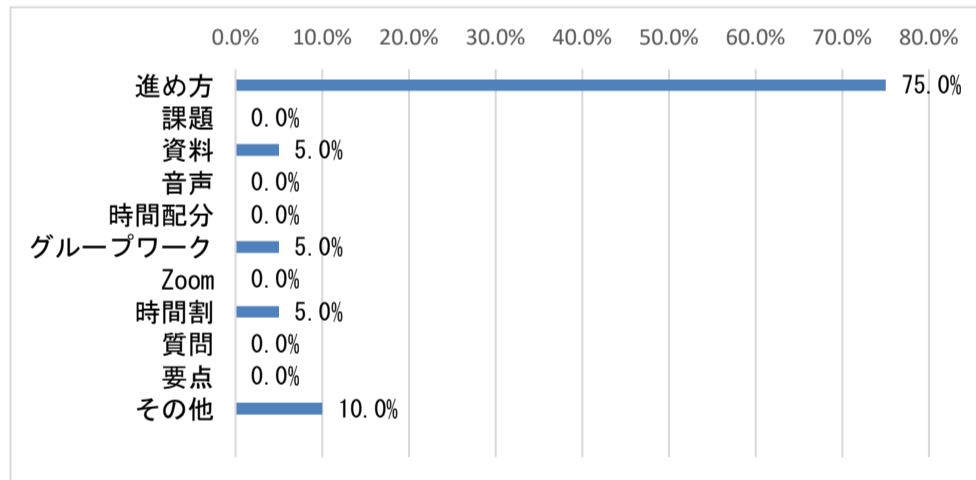
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
62.6	28.8	91.3	—
67.4	23.7	91.1	△ 0.3
68.7	21.8	90.5	△ 0.6

◆ VI この実習・実験を受けて良かったと思うことがありますか。 【総数 67】



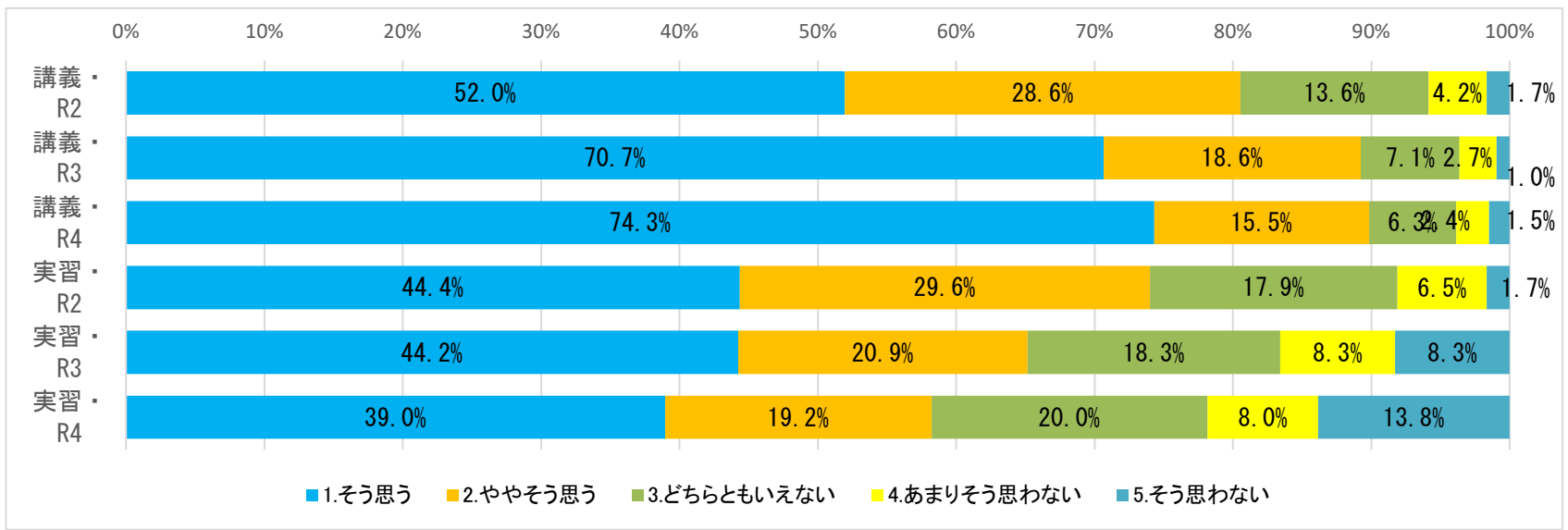
学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	在宅看護学実習	11	この実習をうけてより訪問看護に興味を持つことができた。また、楽しみながら実習ができ、自分の強みも見つけることができたので良かった。 在宅でその人らしく生活できるように訪問看護師さんがどのように看護をしているかや在宅療養者の方と実際に関わることができてとても良かったです。
	精神看護学実習	11	この実習を受けて、精神看護がどういったものなのかを学ぶことができました。また、精神看護学では、特にコミュニケーション技術が重要になることが分かり、患者の立場になって物事を考えることが重要だと学びました。 精神疾患を抱えている方と実際に関わることができて、治療的コミュニケーションを意図的に活用していく事の重要性を改めて理解できて良かったです。 実際病院での実習は叶わなかったが、実際にピアサポーターの方がきてくださりコミュニケーションの点に関して実際の難しさや緊張というところを実感することができた。
助産		0	

◆ VII この実習・実験の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。 【総数 20】

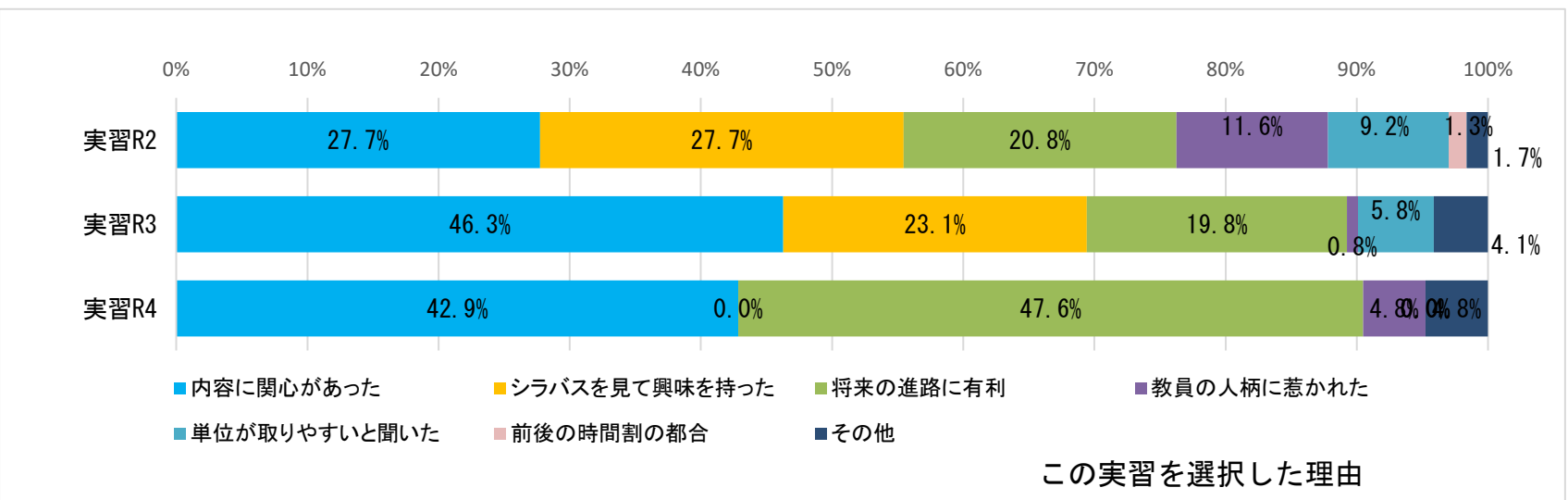
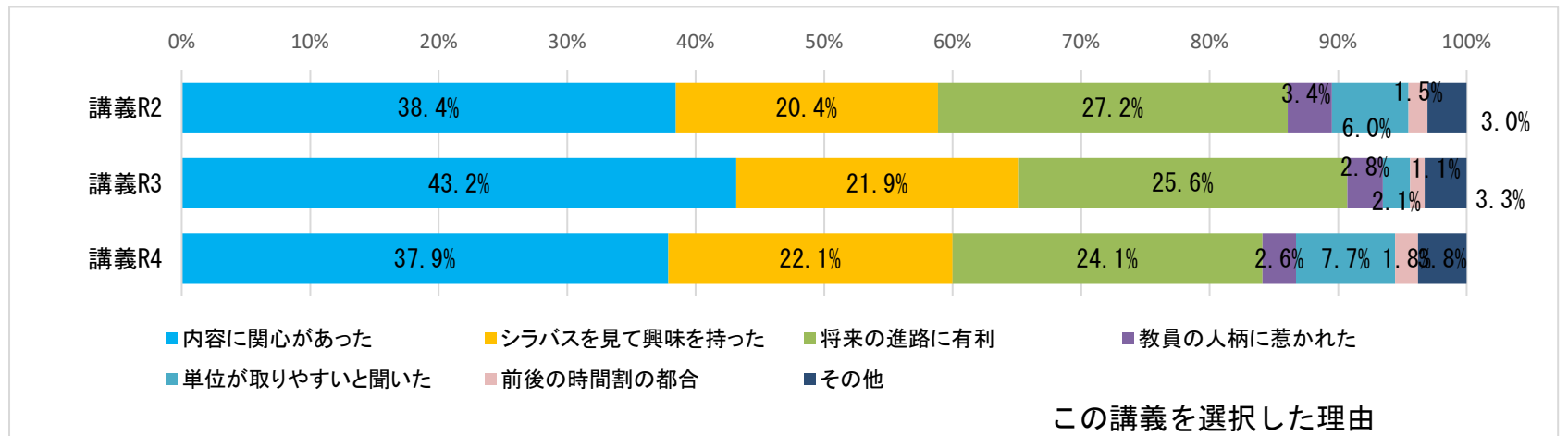


学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	看護統合実習	4	もう少し連絡事項を早めに円滑に教えて頂ければよかった。自分のしたいことを考える時間をもう少し欲しかった。
	公衆衛生看護学実習	4	実習場所によっては公共交通機関のみでの移動が難しい場合もあるため、レンタル自転車等の移動手段について検討して頂きたい グループに意欲がないメンバーがいると実習内容に影響をきたしたり、実習先の指導者にも迷惑をかけてしまう。
	小児看護学実習	3	実習の際、先生から技術面で完璧にしないとだめと言われたが、できないこともあるので、最初からできると思わずに教えてほしかったです。
助産	助産学実習Ⅲ	1	もう少し早く実習したかった。(国試間近だったため)

この授業(実習・実験)は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。



この選択科目を履修した理由は何か



令和4年度 大学院医療保健学研究科の授業評価結果に対する考察

副学長・医療保健学研究科長
坂本 すが

社会人としてリーダーシップをとっている大学院生たちが、さらに、医療人として、さらに、人としてキャリアアップし、地域社会のリーダーとして活躍の場を拡大していくことは、本研究科のめざすところです。

1. 授業評価の結果について

評価は、概ね肯定的評価を頂き、授業評価の評点も4以上の高い評価を頂いたと思います。コロナ禍より、オンデマンド、リアルタイムオンラインなど、ICT教育も落ち着いてきた感じとなっていると思われませんが、未だ、リアルタイムオンラインなど。難しい点もあること、また、課題や資料の公開日程の延長などのご指摘も頂きました。

大学院教育において、想定以上に学ぶことがあり、学修に対する満足感や学びを楽しんで頂いているご意見が得られ、とてもうれしく思いました。今後も教員一同、頑張っていきたいと思えます。

2. 授業において工夫した点について

ICT教育上での授業の工夫などをしてきましたが、課題とする意見をいただき、さらに工夫していきたいと思えます。

新カリキュラムを導入して、研究方法特論など、共通科目の充実や担当教授の授業内容の工夫などに対して、授業評価が高評価を頂いたことは効果が得られたものと考えられます。継続して取り組んで参ります。

3. 今後の授業への生かし方について

英語教育等のコミュニケーションを学修に活かす授業は、リアルタイムで質問できる環境や、オンデマンド講義では課題に対する回答などのご指摘がありました。オンラインでの授業は軌道に乗ってきましたが、ご指摘については、教員間で共有し、改善策の検討を継続して、今後の課題としたいと思えます。

4. その他

感染対策による規制がなくなったため、対面授業の効果を再確認しながら、社会人であり、遠方からの学習者も多い大学院ですので、オンデマンド、リアルタイムオンライン授業の利点も活用し、質の高い授業運営を目指していきたいと思えます。教員も教育力を高めていけるよう、努めておりますが、院生の皆さまも、大学院生としてよい学びが得られるように一緒に頑張っていきたいと思います。

令和4年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 大学院 医療保健学研究科 修士課程

○講義・演習科目数 45科目

○調査対象者数 412人（延人数）

○総回答数 381件（回答率 92.5%）

◆ 質問項目別集計結果

〈上段（ ）は令和3年度アンケート結果〉

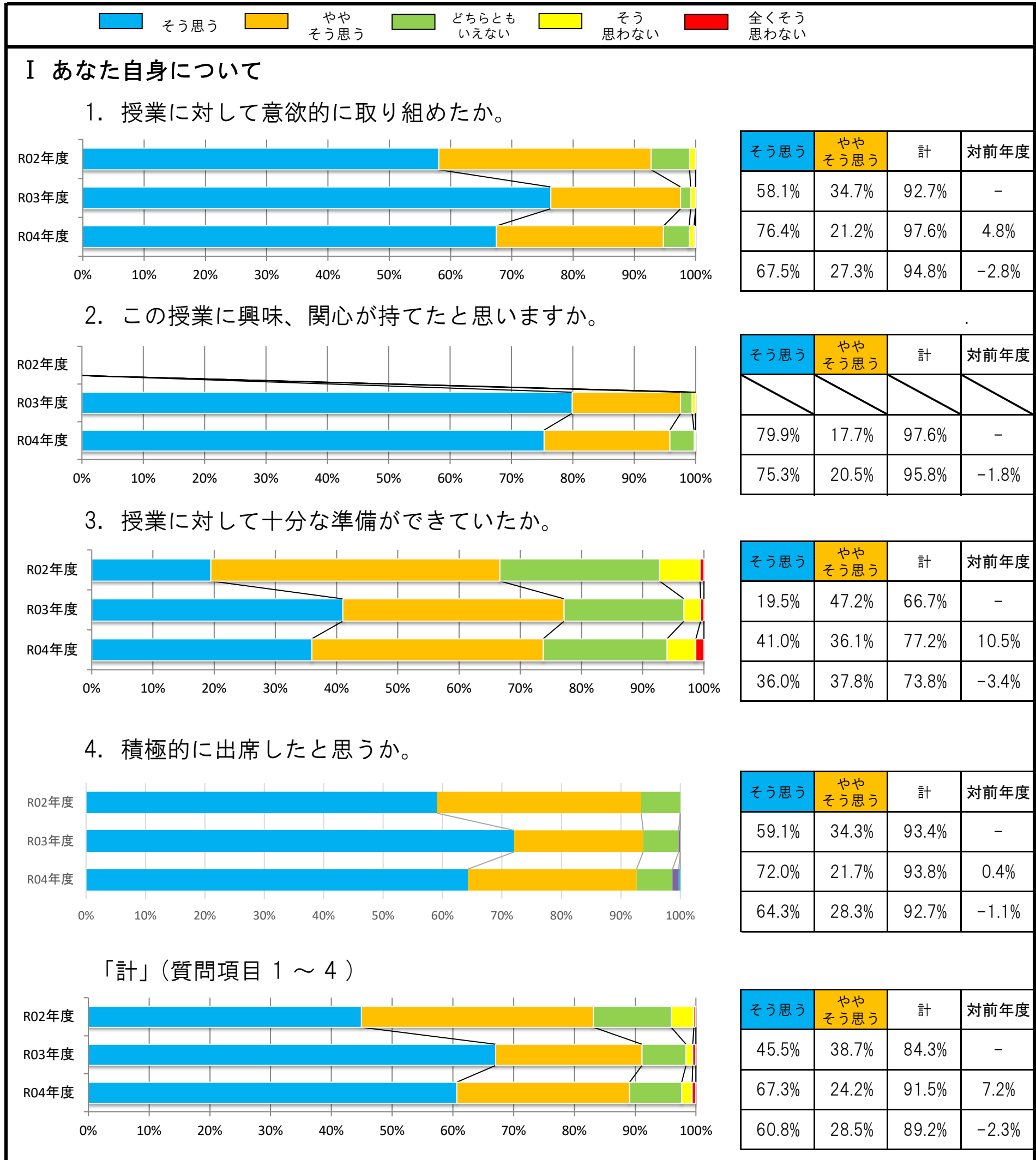
	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	計
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
I あなた自身について						
1. 授業に対して意欲的に取り組めたか。	(76.4) 67.5	(21.2) 27.3	(1.6) 4.2	(0.8) 0.8	(0.0) 0.3	(100) 100
2. この授業に興味、関心が持てたと思いますか。	(79.9) 75.3	(17.7) 20.5	(1.9) 3.9	(0.5) 0.3	(0.0) 0.0	(100) 100
3. 授業に対して十分な準備ができていたか。	(41.0) 36.0	(36.1) 37.8	(19.6) 20.2	(2.7) 4.7	(0.5) 1.3	(100) 100
4. 積極的に出席したと思うか。	(72.0) 64.3	(21.7) 28.3	(6.0) 6.0	(0.3) 1.0	(0.0) 0.3	(100) 100
計	(67.3) 60.8	(24.2) 28.5	(7.3) 8.6	(1.1) 1.7	(0.5) 0.6	(100) 100
II 授業内容について						
5. 授業内容をよく理解できたと思うか。	(46.7) 42.8	(42.4) 43.0	(8.2) 9.7	(2.4) 2.9	(0.3) 1.6	(100) 100
6. この授業内容は将来役立つと思いますか。	(81.8) 75.1	(16.0) 21.8	(2.2) 2.6	(0.0) 0.3	(0.0) 0.3	(100) 100
7. この授業は期待していた通りの内容でしたか。	(66.6) 60.6	(24.7) 29.7	(7.1) 7.9	(1.4) 1.3	(0.3) 0.5	(100) 100
8. この授業をほかの人にも勧めたいと思いますか。	(69.3) 65.1	(21.7) 25.2	(7.3) 8.4	(1.4) 1.0	(0.3) 0.3	(100) 100
9. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(72.6) 65.9	(23.6) 28.1	(3.3) 4.5	(0.5) 1.3	(0.0) 0.3	(100) 100
10. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(78.5) 71.1	(19.3) 23.1	(1.6) 5.2	(0.5) 0.5	(0.0) 0.0	(100) 100
11. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(80.4) 71.1	(15.8) 22.3	(3.5) 6.3	(0.3) 0.3	(0.0) 0.0	(100) 100
計	(70.8) 64.5	(23.4) 27.6	(4.7) 6.4	(1.1) 1.1	(0.3) 0.6	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について						
12. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(62.8) 56.2	(28.3) 32.8	(6.5) 10.0	(2.2) 0.8	(0.3) 0.3	(100) 100
13. シラバスに沿って行われたと思いますか。	(71.2) 66.1	(22.3) 27.3	(6.0) 6.0	(0.5) 0.5	(0.0) 0.0	(100) 100
14. この授業の進め方は適切だったと思いますか。	(73.1) 69.6	(19.8) 24.4	(5.2) 5.0	(1.4) 0.5	(0.5) 0.5	(100) 100
15. 学習しやすい授業環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(83.7) 81.4	(13.0) 14.7	(2.4) 3.4	(0.5) 0.5	(0.3) 0.0	(100) 100
16. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(80.4) 76.6	(13.9) 16.0	(5.4) 5.0	(0.3) 2.4	(0.0) 0.0	(100) 100
17. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい -1 板書であったと思うか。	(79.2) 62.5	(9.7) 16.7	(9.7) 18.1	(0.0) 2.8	(1.4) 0.0	(100) 100
17. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、その実施 -2 内容はわかりやすかったと思うか。	(80.4) 80.2	(17.4) 14.8	(1.2) 4.7	(0.6) 0.3	(0.3) 0.0	(100) 100
17-3. この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。	(79.2) 10.8	(15.8) 71.4	(3.4) 12.6	(1.2) 4.2	(0.3) 1.0	(100) 100
18. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(74.5) 77.2	(19.8) 16.8	(4.1) 5.0	(1.6) 1.0	(0.0) 0.0	(100) 100
19. 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思いますか。	(79.9) 76.9	(14.4) 17.1	(4.1) 5.5	(1.4) 0.3	(0.3) 0.3	(100) 100
20. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	(79.3) 75.9	(16.8) 19.4	(3.0) 4.2	(0.3) 0.5	(0.5) 0.0	(100) 100
21. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(82.3) 80.8	(14.1) 16.3	(3.3) 2.6	(0.3) 0.0	(0.0) 0.3	(100) 100
22. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。	(72.0) 67.5	(16.3) 23.9	(8.7) 6.6	(2.4) 1.8	(0.5) 0.3	(100) 100
計	(76.8) 67.8	(17.1) 24.0	(4.8) 6.8	(1.1) 1.3	(0.5) 0.4	(100) 100

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	計
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
23. この講義は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(73.6) 70.6	(16.3) 21.8	(7.6) 5.8	(1.9) 1.0	(0.5) 0.8	(100) 100
24. この授業は総合的に満足できたと思うか。	(73.4) 66.7	(21.2) 26.0	(3.8) 6.0	(1.4) 0.8	(0.3) 0.5	(100) 100
計	(73.5) 68.6	(18.8) 23.9	(5.7) 5.9	(1.6) 0.9	(0.4) 0.7	(100) 100
全質問項目の平均	(72.1) 65.4	(20.8) 26.0	(5.6) 6.9	(1.2) 1.3	(0.4) 0.6	(100) 100

授業評価集計結果 年度別比較

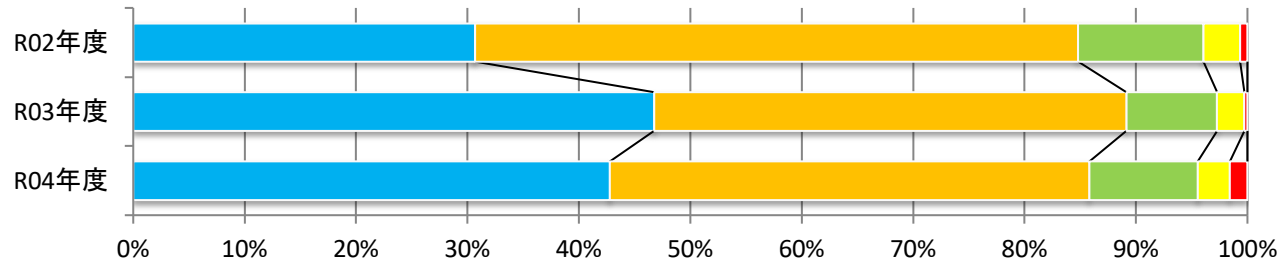
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全科目数	46科目	46科目	45科目
調査対象者数（延人数）	380人	425人	412人
総回答数（回答率）	303件（79.7%）	368件（86.6%）	381件（92.5%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



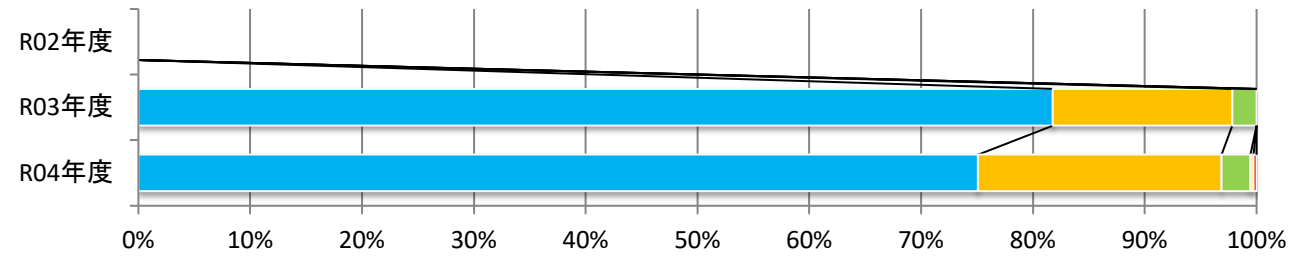
Ⅱ 授業内容について

5. 授業内容をよく理解できたと思うか。



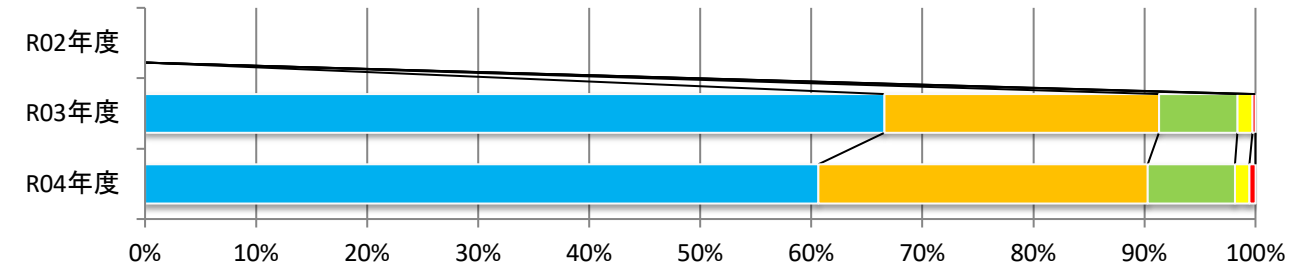
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
30.7%	54.1%	84.8%	-
46.7%	42.4%	89.1%	4.3%
42.8%	43.0%	85.8%	-3.3%

6. この授業内容は将来役立つと思いますか。



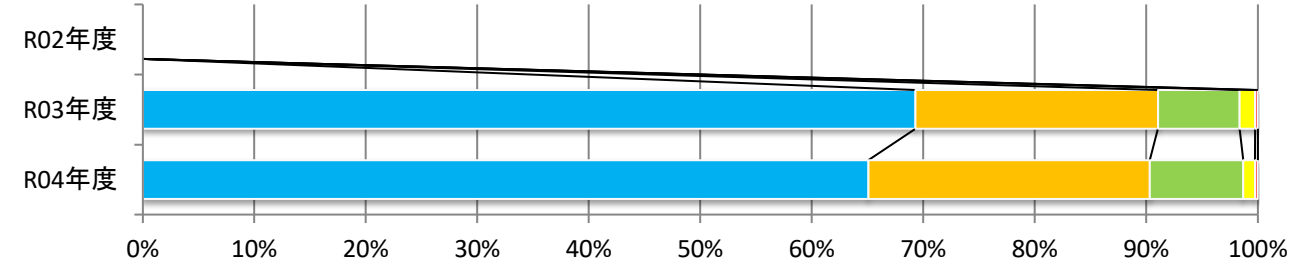
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
81.8%	16.0%	97.8%	-
75.1%	21.8%	96.9%	-1.0%
75.1%	21.8%	96.9%	-1.0%

7. この授業は期待していた通りの内容でしたか。



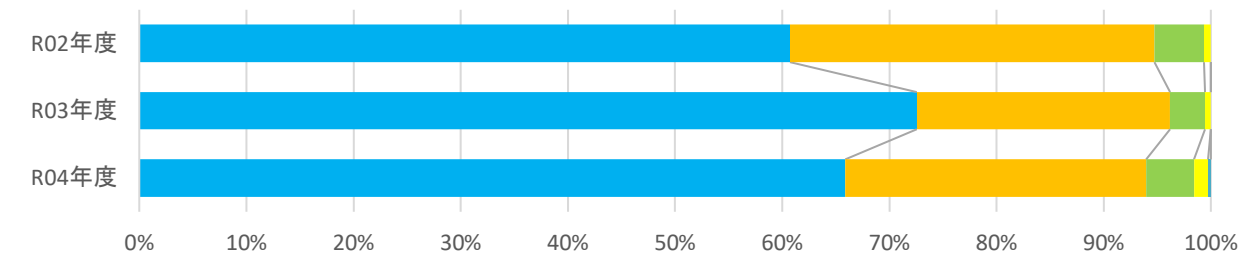
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
66.6%	24.7%	91.3%	-
60.6%	29.7%	90.3%	-1.0%
60.6%	29.7%	90.3%	-1.0%

8. この授業をほかの人にも勧めたいと思いますか。



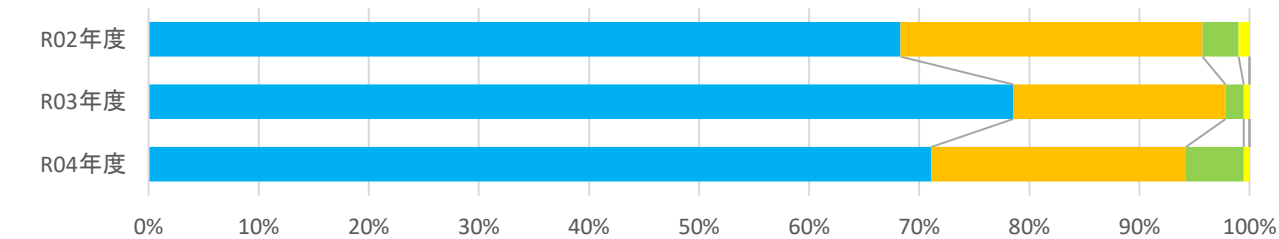
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
69.3%	21.7%	91.0%	-
65.1%	25.2%	90.3%	-0.7%
65.1%	25.2%	90.3%	-0.7%

9. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



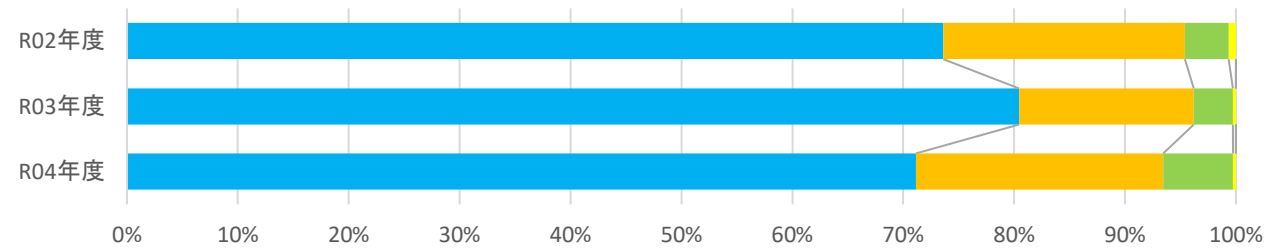
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
60.7%	34.0%	94.7%	-
72.6%	23.6%	96.2%	1.5%
65.9%	28.1%	94.0%	-2.2%

10. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。



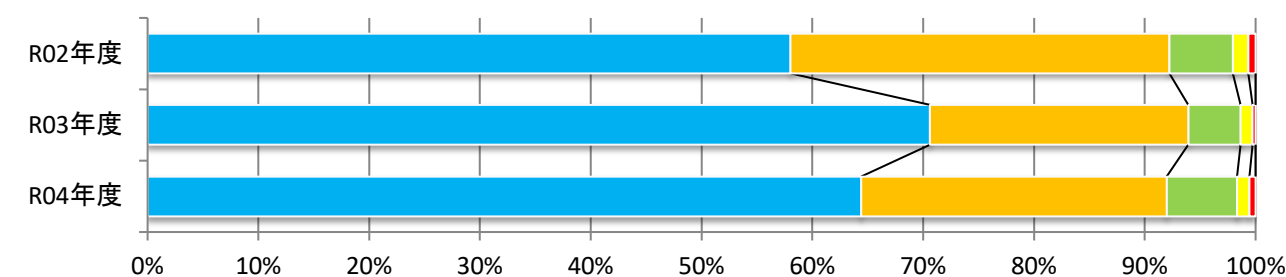
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
68.3%	27.4%	95.7%	-
78.5%	19.3%	97.8%	2.1%
71.1%	23.1%	94.2%	-3.6%

11. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
73.6%	21.8%	95.4%	-
80.4%	15.8%	96.2%	0.8%
71.1%	22.3%	93.4%	-2.8%

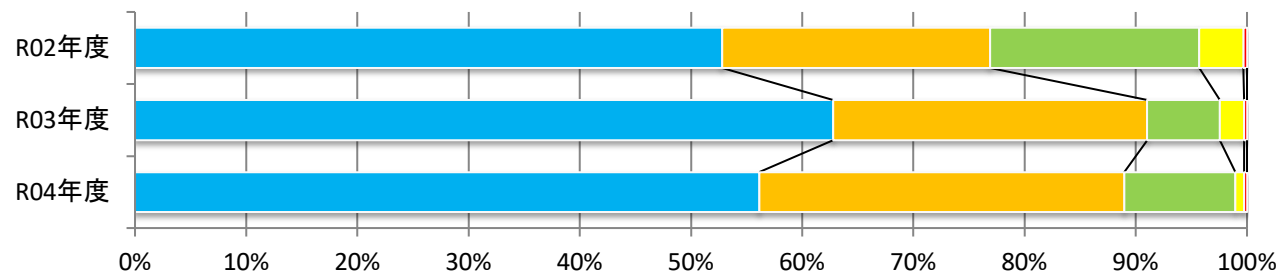
「計」(質問項目5～11)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
58.3%	34.3%	92.7%	-
70.8%	23.4%	94.2%	1.6%
64.5%	27.6%	92.1%	-2.1%

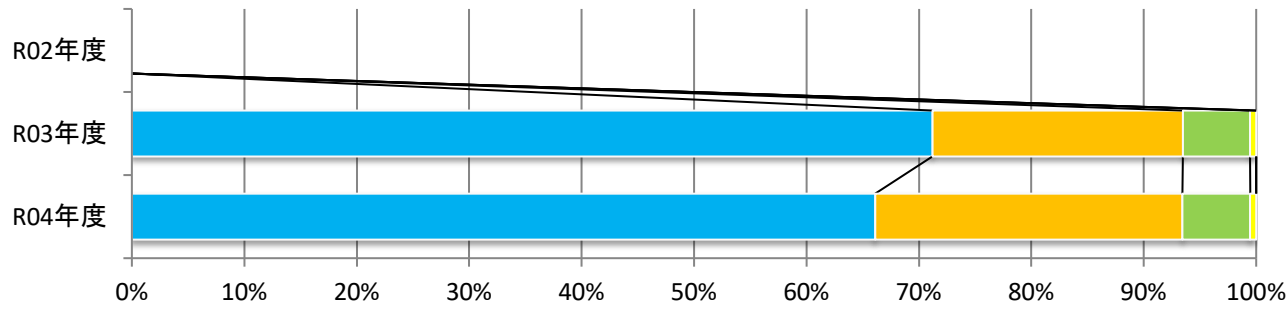
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

12. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



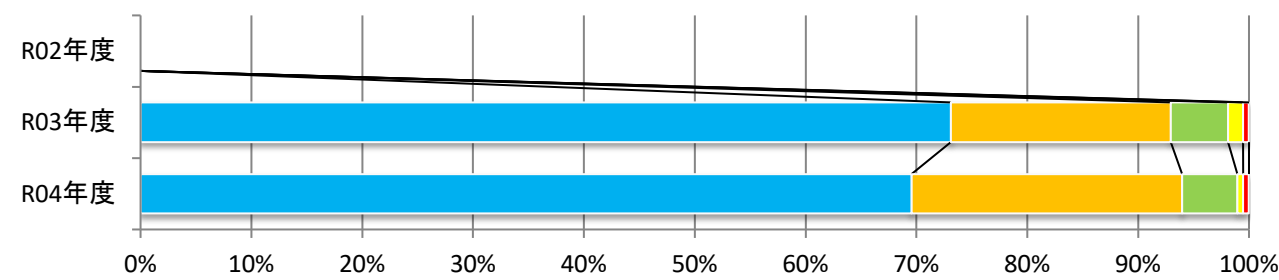
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
52.8%	24.1%	76.9%	-
62.8%	28.3%	91.0%	14.1%
56.2%	32.8%	89.0%	-2.1%

13. シラバスに沿って行われたと思いますか。



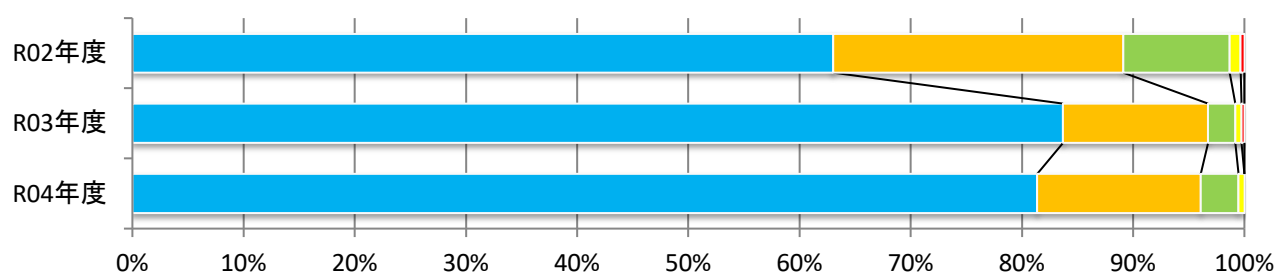
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
71.2%	22.3%	93.5%	-
66.1%	27.3%	93.4%	0.0%

14. この授業の進め方は適切だったと思いますか。



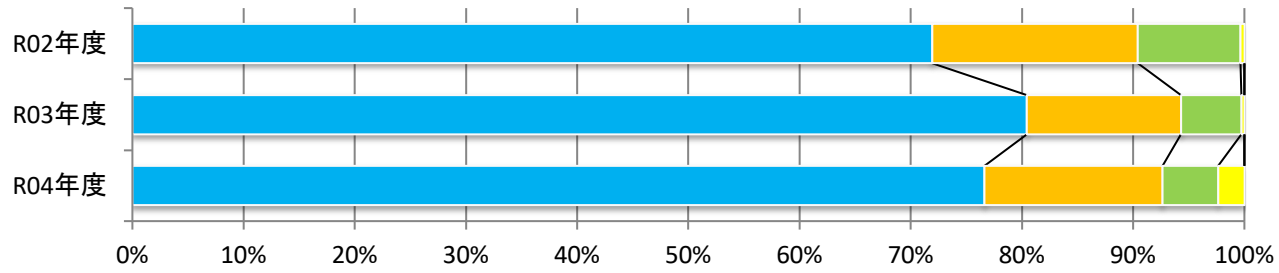
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
73.1%	19.8%	92.9%	-
69.6%	24.4%	94.0%	-1.0%

15. 学習しやすい授業環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。



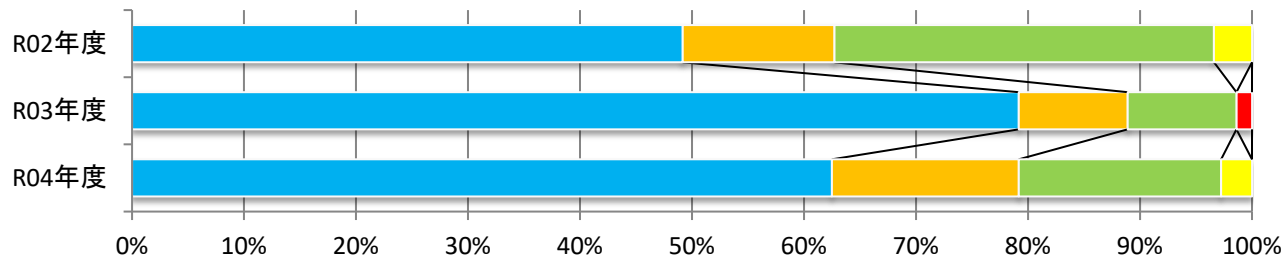
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
63.0%	26.1%	89.1%	-
83.7%	13.0%	96.7%	7.6%
81.4%	14.7%	96.1%	-0.7%

16. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



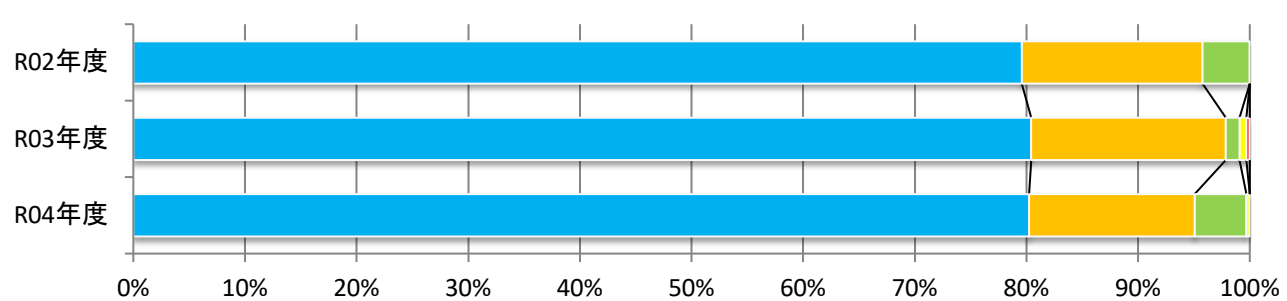
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
71.9%	18.5%	90.4%	-
80.4%	13.9%	94.3%	3.9%
76.6%	16.0%	92.7%	-1.6%

17. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい
-1 板書であったと思うか。



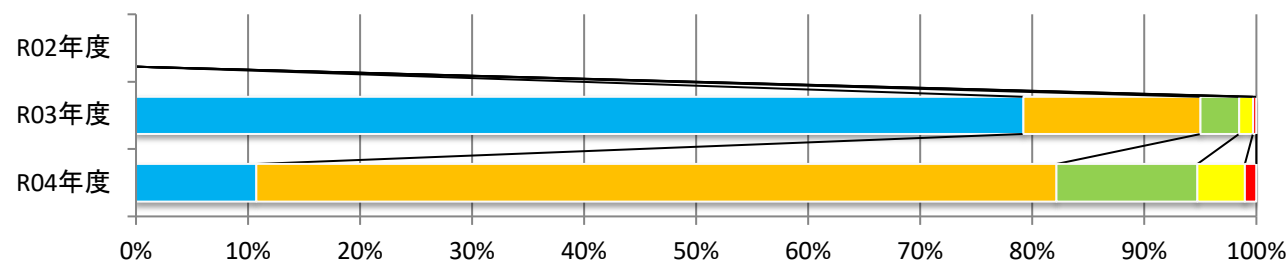
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
49.2%	13.6%	62.7%	-
79.2%	9.7%	88.9%	26.2%
62.5%	16.7%	79.2%	-9.7%

17. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、その実施
-2 内容はわかりやすかったと思うか。



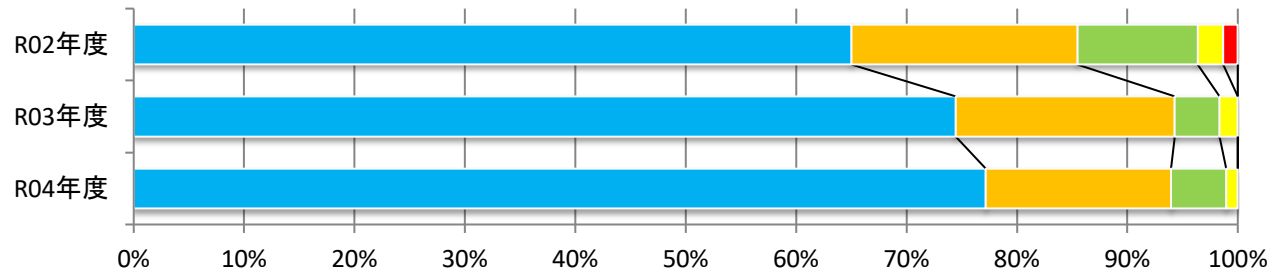
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
79.6%	16.2%	95.8%	-
80.4%	17.4%	97.9%	2.1%
80.2%	14.8%	95.1%	-2.8%

17-3. この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。



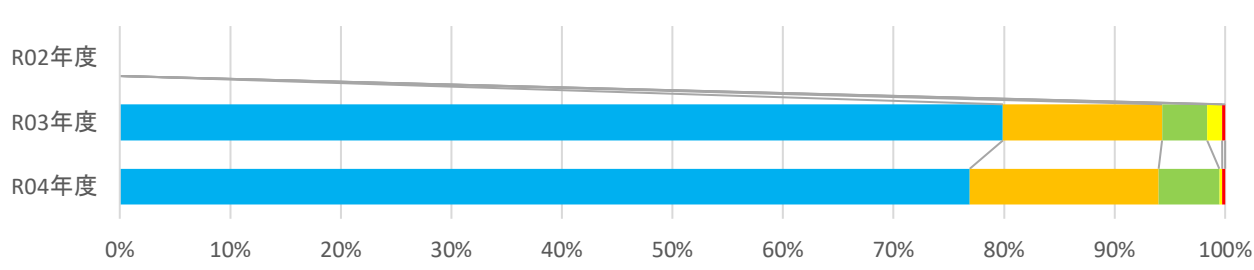
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
79.2%	15.8%	95.0%	-
10.8%	71.4%	82.2%	-12.9%

18. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



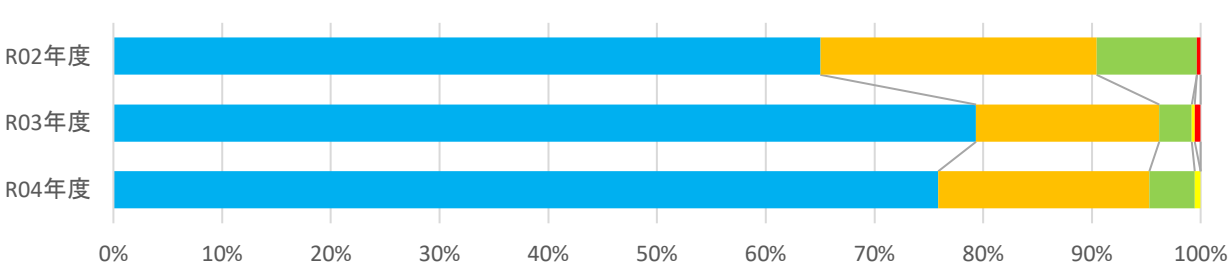
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
65.0%	20.5%	85.5%	-
74.5%	19.8%	94.3%	8.8%
77.2%	16.8%	94.0%	-0.3%

19. 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思いますか。



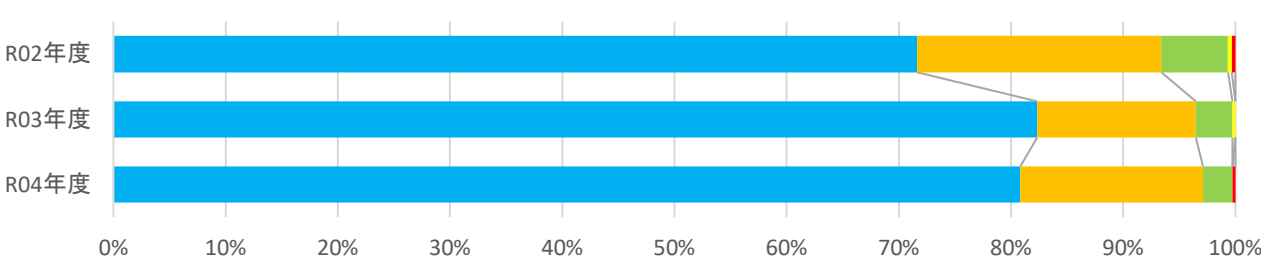
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
79.9%	14.4%	94.3%	-
76.9%	17.1%	94.0%	-0.3%

20. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



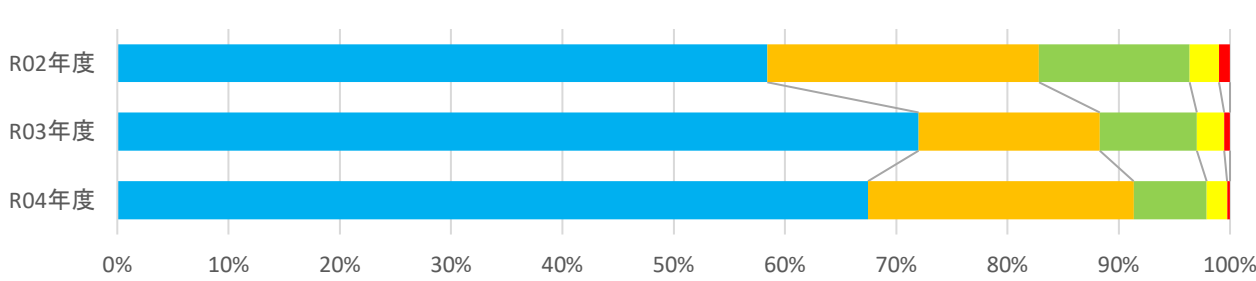
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
65.0%	25.4%	90.4%	-
79.3%	16.8%	96.2%	5.8%
75.9%	19.4%	95.3%	-0.9%

21. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。



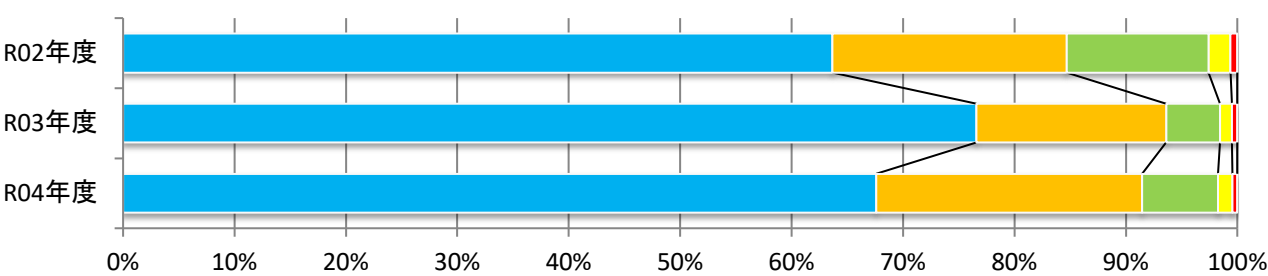
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
71.6%	21.8%	93.4%	-
82.3%	14.1%	96.5%	3.1%
80.8%	16.3%	97.1%	0.6%

22. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
58.4%	24.4%	82.8%	-
72.0%	16.3%	88.3%	5.5%
67.5%	23.9%	91.3%	3.0%

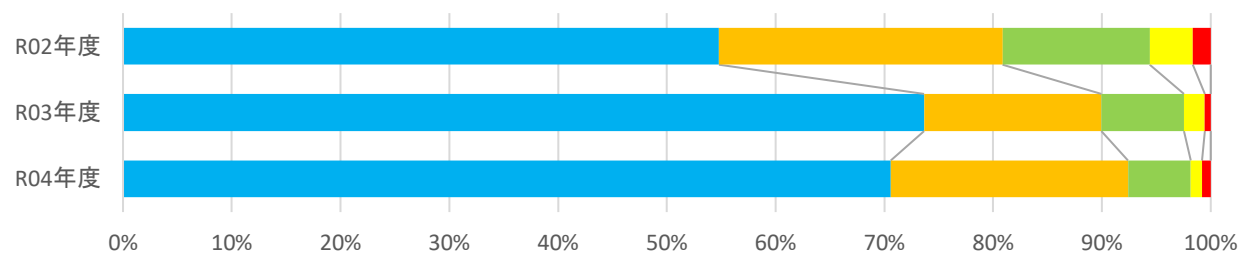
「計」(質問項目12～22)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
64.1%	21.2%	85.2%	-
76.8%	17.1%	93.8%	8.6%
67.8%	24.0%	91.8%	-2.1%

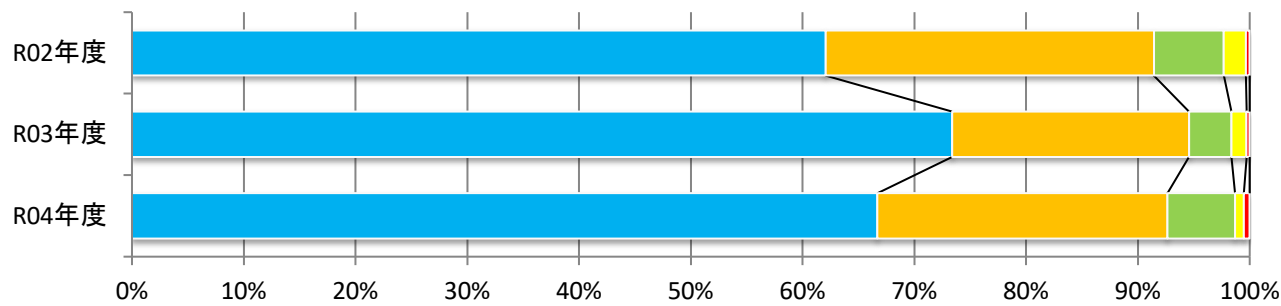
IV 総合評価

23. この講義は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。



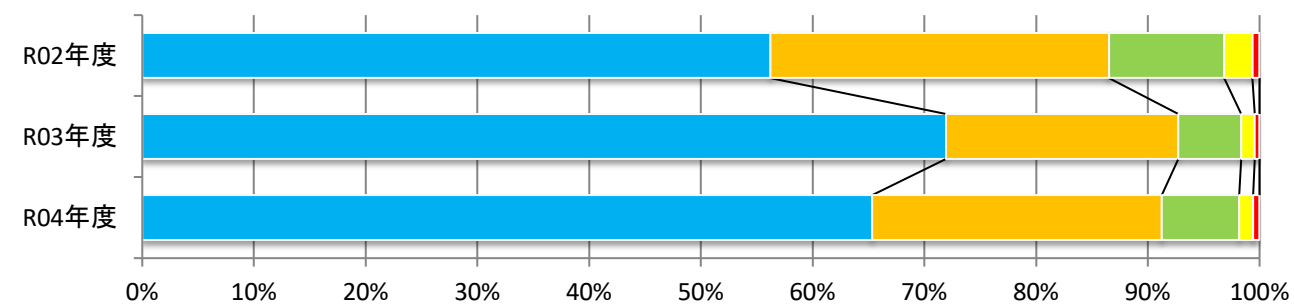
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
54.8%	26.1%	80.9%	-
73.6%	16.3%	89.9%	9.1%
70.6%	21.8%	92.4%	2.4%

24. この授業は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
62.0%	29.4%	91.4%	-
73.4%	21.2%	94.6%	3.1%
66.7%	26.0%	92.7%	-1.9%

全質問項目の平均

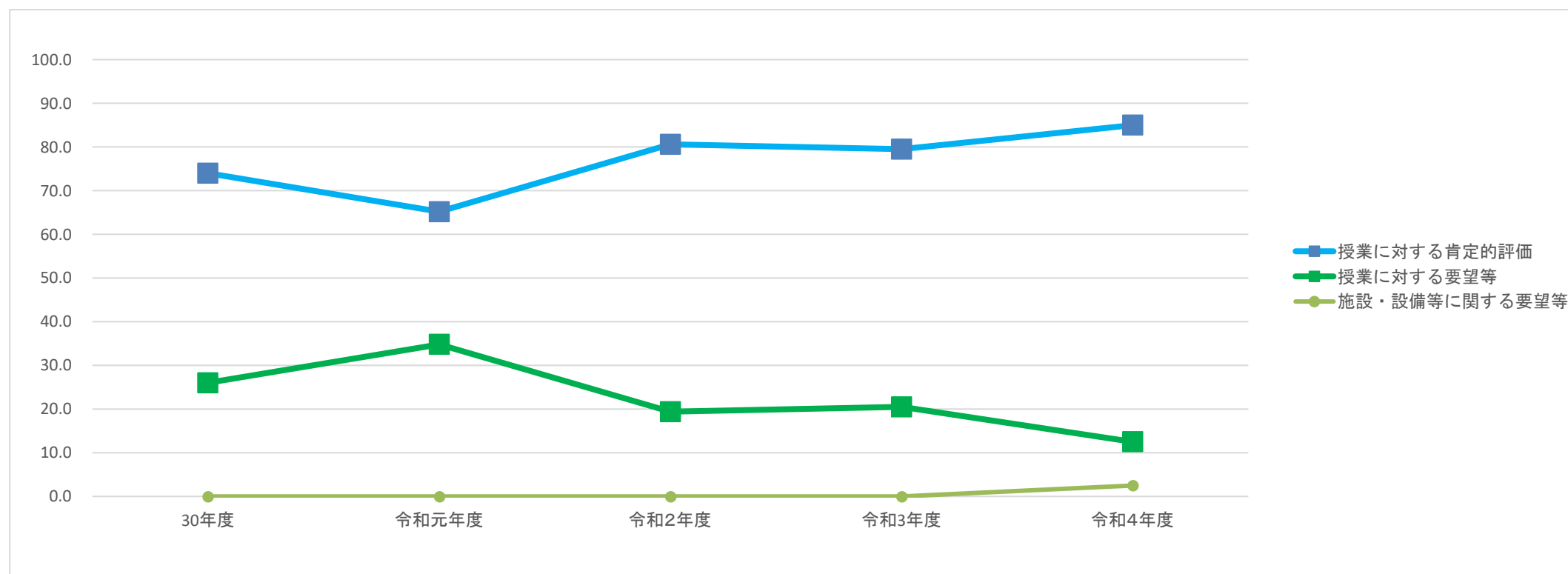


そう思う	やや そう思う	計	対前年度
56.6%	30.5%	87.1%	-
72.1%	20.8%	93.0%	5.9%
65.4%	26.0%	91.4%	-1.5%

◆ 年度別 自由記述集計結果

分類項目／年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
授業に対する肯定的評価	(74.0%) 108	(65.2%) 88	(80.6%) 54	(79.5%) 175	(85.0%) 34
授業に対する要望等	(26.0%) 38	(34.8%) 47	(19.4%) 13	(20.5%) 45	(12.5%) 5
施設・設備等に関する要望等	(0.0%) 0	(0.0%) 0	(0.0%) 0	(0.0%) 0	(2.5%) 1
総件数	(100.0%) 146	(100.0%) 135	(100.0%) 67	(100.0%) 220	(100.0%) 40

※ () 内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	34	<ul style="list-style-type: none"> ・この授業を境に研究の指導をしてくれる先生とのやり取りがすごくしやすくなった印象があります。偶然にもマンツーマンの授業だったことも影響していると思いますが、ざっくばらんにお話ができる機会でもとてもありがたかったです。 ・確認テストが毎回あり、正誤だけでなく、詳しい説明があったのでとてもよく分かり、統計の基礎知識を身に付けられたと思います。 ・学生の日程に配慮した授業をしていただきありがとうございました。事前にはしっかりと学習を深めておけばさらに理解が深まったと感じています。 ・経営の視点で考えることが、大変面白いと感じる授業でした。戦略を考えるには、やはりシステムを理解し、必要な情報を得ていく必要があると学びました。新たな視点を得たと思います。 ・臨床でよく使われる薬剤のさらに詳しい勉強ができると、より興味深い講義になると感じました。例) 痛み止めにも種類があるが、どのような作用などの違いがあるのかなど。 ・今後の業務に生かすことができるかどうかはわかりませんが、自身の知識として薬学のことを学んだいい機会でした。 ・倫理審査の書類作成や論文作成の過程はとても大変でしたが、ゼミやメールで丁寧なご指導をいただき、自分の研究成果をまとめあげることができました。
授業に対する要望等	5	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎から学ぼうとしている人たち・理解できていない人対象の授業としては、難易度が高くわかりにくかったと感じる ・講義資料や課題レポート様式の閲覧期限がギリギリすぎるものがあり、ダウンロードが間に合わないことがあります。講義までに印刷もできなかつたり、提出する前に再度課題を確認しようとしてももう期限が終了しているものがあり確認さえできないので改善してもらいたいです。 ・本講義の直接的な内容ではないが、分析方法、その解釈については、内容では不足が多い。 ・録画などを保存して繰り返し視聴できるオンデマンド制度があると、論文執筆時期に再度復習として視聴したいと思った。 ・授業で講師が2人いたのでこのアンケートだと評価しにくいです。 ・自ら調べることは今後の力になると思うが、基礎知識として「研究方法特論」でもう一步踏み込んだ内容の講義があると良かったと思う。
施設・設備等に関する要望等	1	音声が途切れがちなのでWiFi環境を改善していただきたい。
計	40	

令和4年度 大学院看護学研究科の授業評価結果に対する考察

副学長・看護学研究科長 大島 久二

1. 授業評価の結果について：授業評価の対象科目数は、それぞれ高度実践看護コース 20 科目、高度実践助産コース 31 科目、高度実践公衆衛生看護コース 34 科目であり、授業評価に回答した大学院生は、各コース延べ 454 名（回答率：93.4%）、166 名（89.2%）、106 名（100%）であった。高度実践助産コースの回答率が若干低かったが昨年より改善していた。授業評価の結果はカリキュラム編成、シラバス、教育方法等の改善に活用しており、今後も安定した高い回答率が得られるように学生に働きかけをしていく必要がある。

高度実践看護、高度実践助産、高度実践公衆衛生看護の全授業評価対象科目についての総合的な満足度は、「非常にそう思う」「そう思う」の回答は、それぞれ 87.0%、90.9%、99.1%、であり、公衆衛生看護コースのみ前年と同程度の高率であったが、その他のコースは前年度を上回っており、過去の平均より高かった。このことは、COVID-19 の影響が残る中で対面授業が制限されていたにもかかわらず、遠隔授業の質向上がなされ、対面形式の演習・実習が確保されてきたことによると思われる。遠隔授業は、今後その利点を活かしてさらに成熟させていく必要もあると思われる。また、自由記載からみると、約 7 割が肯定的評価であり、担当教員への感謝の気持ちと今後の学びへの方向性を確認できた。一方、要望等も約 3 割あり、配布資料の充実や授業編成に関する事などがあり、今後の検討・改善点と考えられた。

学生自身の授業態度に対する自己評価では、「授業に意欲的に取り組めたか」の質問に対して、高度実践看護、高度実践助産、高度実践公衆衛生看護の学生はそれぞれ 92.5%、93.9%、99.1%が「非常にそう思う」または「そう思う」と肯定的な回答であり、昨年度と同様であった。「よく自己学習をしたか」の質問に関しても、それぞれ 74.2%、85.5%、84.0%が肯定的な回答をしていた。これらは、学生が満足する授業の展開をすることが学生の学修意欲を高めることにつながることを示していると考えられる。

大学院教育は、より専門性が高く、教育内容に合致した優れた外部の非常勤講師や臨床教授による授業及び実習指導を行っている。上記の結果は、これら教員が大変協力的であり教育熱心であることも、より高い評価につながっているものと推察される。

2. 授業に於いて工夫した点について：令和4年度は、各コースでカリキュラムの変更があったが、教職員の的確な対応により適切な授業が行われたと思われる。また、依然として COVID-19 の影響を受けた年度であったが、その一方遠隔授業の割合は減少し、対面での実習と演習は概ね確保できた。全学及び国立病院機構キャンパスの教務委員会等での検討を基にした遠隔授業の開拓と実践が順調に稼働し、さらに個々の工夫も充実してきており、その中でも、学生の理解度を測り学習意欲を増進させる内容となってきた。また、引き続き可能な限り対面授業と演習・実習の時間を確保し、学外実習施設との調整を行うとともに、COVID-19 に対する感染予防策の徹底、ワクチン接種の推進、PCR 検査の実施を行ってきた。

高度実践看護コースでは、コロナ禍の中でも年 2 回臨床教授会を開催しており、実習指導医と我が国の NP の最新動向を共有するとともに、実習・授業に関する詳細な打ち合わせを行ってきた。

3. 今後の授業への活かし方について：遠隔と対面授業が当初から導入されており、対面授業の機会も未だ制限されていた。この状況で、自由意見のなかでは教員及び学生同士のコミュニケーションの不足に関する指摘は昨年度より減少していた。このことは遠隔授業での工夫が生かされてきたためと思われるが、今後はさらなる個人的なフィードバックの充実とともに教員及び学生間のコミュニケーションを促進する手法を拡充していく必要があると考えられた。
また、引き続き外部講師・臨床教授へのフィードバックと密な連携を重ね、さらなる教育の質向上を図っていきたい。

4. その他：大学院課程におけるアウトカム評価と社会への発信は重要と考えられる。アウトカム評価の一つとして、高度実践看護コースの学生に対しては日本 NP 教育大学院協議会の実施する「NP 資格認定試験」の合格率、高度実践助産コースに対しては「助産師国家試験」の合格率、高度実践公衆衛生看護コースでは「保健師国家試験」の合格率が挙げられる。令和 4 年度修了生では、助産師国家試験のみ不合格者が出たが、その他はいずれも 100%と高率であった。高度実践助産コースにおいては、国家試験も重要目標ととらえ、早期より他のカリキュラムと並行して勉学できるよう丁寧に指導していく必要があると考えられる。高度実践看護コースでは毎年 20 名以上の NP 資格試験合格者を輩出していること、助産師教育が大学院教育、学部教育、専攻科教育等多様化している現状の中で大学院教育により研究力のある助産師を育成している高度実践助産コース、並びに充実した実習と研究力育成を含む保健師の大学院教育をしている高度実践公衆衛生看護コースを、さらに社会にアピールしていく必要があると考えている。

令和4年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程

○全科目数 85科目

○調査対象者数 778人（延人数）

○総回答数 726枚（回答率93.3%）

◆ 質問項目別集計結果

【上段（ ）は令和3年度集計結果】

（%）

質問項目	非常に そう思う 5	そう思う 4	どちらとも 言えない 3	そう 思わない 2	全くそう 思わない 1	計	
1. この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。	(50.7)	(43.0)	(5.6)	(0.7)	(0.0)	(100.0)	
	49.9	43.9	5.4	0.7	0.1	100.0	
2. 授業内容をよく理解できたと思いますか。	(38.5)	(46.5)	(12.3)	(2.5)	(0.1)	(100.0)	
	35.7	50.6	12.1	1.4	0.1	100.0	
3. 授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。	(39.4)	(41.2)	(17.2)	(1.9)	(0.3)	(100.0)	
	39.4	38.8	17.5	4.0	0.3	100.0	
4. この授業内容は将来役に立つと思いますか。	(59.3)	(32.1)	(7.1)	(1.5)	(0.0)	(100.0)	
	61.0	32.3	5.8	0.7	0.3	100.0	
5. この授業は期待していた通りの内容でしたか。	(44.0)	(39.3)	(13.3)	(2.2)	(1.2)	(100.0)	
	41.4	44.3	10.9	2.9	0.6	100.0	
6. この授業の進め方は適切だったと思いますか。	(42.5)	(41.2)	(12.7)	(3.3)	(0.3)	(100.0)	
	41.4	39.4	14.3	4.1	0.7	100.0	
7. この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。	(42.8)	(42.5)	(11.1)	(3.1)	(0.4)	(100.0)	
	39.4	42.2	14.0	4.0	0.4	100.0	
8. この授業は総合的に満足できたと思いますか。	(44.5)	(42.7)	(10.1)	(1.9)	(0.7)	(100.0)	
	45.9	43.7	6.6	3.3	0.4	100.0	
全質問項目の平均	令和3年度	(45.2)	(41.1)	(11.2)	(2.1)	(0.4)	(100.0)
	令和4年度	44.3	41.9	10.8	2.6	0.4	100.0

授業評価集計結果 年度別比較

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程

◆ 年度別 授業評価集計結果

【平成30年度は令和元年度開設「高度実践公衆衛生看護コース」を除く】
【令和4年度は「看護科学コース」を除く】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全科目数	64科目	91科目	100科目	86科目	85科目
調査対象者数（延人数）	462人	667人	697人	730人	778人
総回答数（回答率）	382枚（82.7%）	612枚（91.8%）	639枚（91.7%）	675枚（92.5%）	726枚（93.3%）

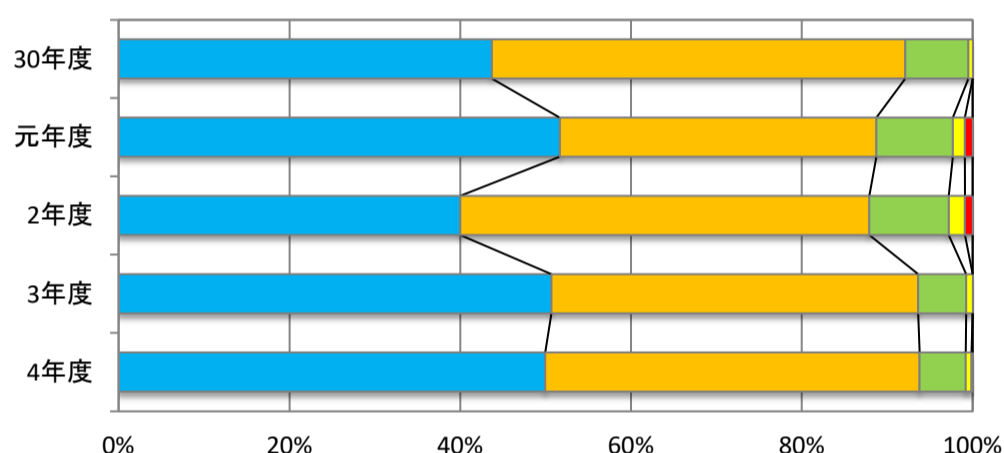
◆ 年度別・質問項目別 集計結果

【平成30年度は令和元年度開設「高度実践公衆衛生看護コース」を除く】
【令和4年度は在学生のいない「看護科学コース」を除く】

評価項目	非常に そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そう思わない	全くそう 思わない
------	-------------	------	---------------	--------	--------------

Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。

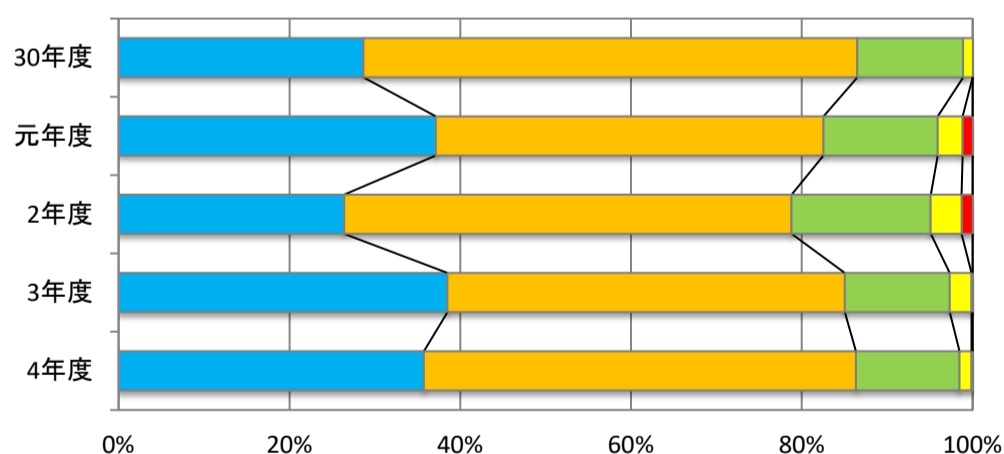
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成30年度	43.7	48.4	92.1	—
令和元年度	51.7	37.1	88.8	△ 3.3
令和2年度	40.0	47.9	87.9	△ 0.9
令和3年度	50.7	43.0	93.6	+5.7
平成4年度	49.9	43.9	93.8	+0.2

Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。

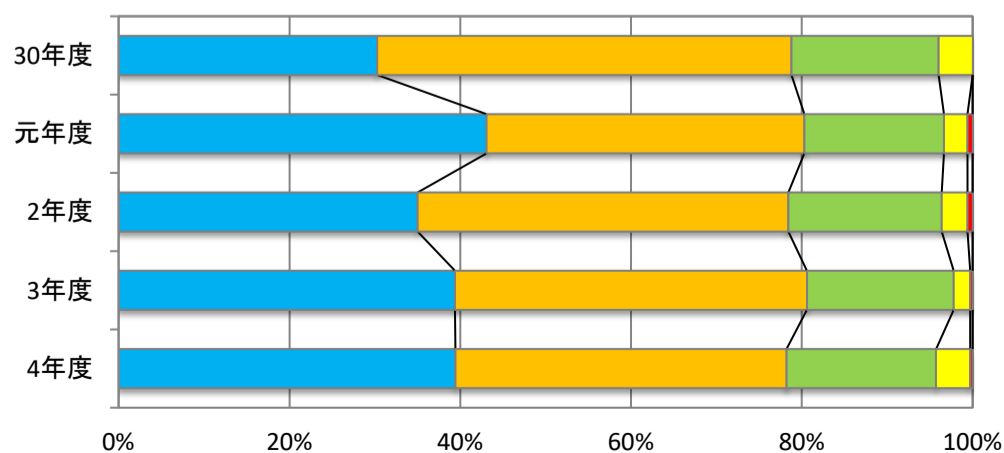
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成30年度	28.7	57.9	86.6	—
令和元年度	37.2	45.4	82.6	△ 4.0
令和2年度	26.4	52.4	78.9	△ 3.7
令和3年度	38.5	46.5	85.0	+6.1
令和4年度	35.7	50.6	86.3	+1.3

Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。

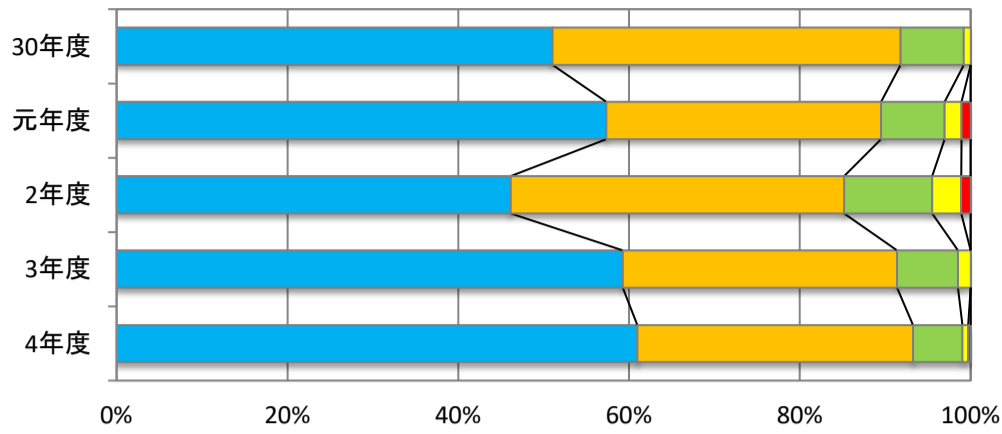
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成30年度	30.3	48.5	78.8	—
令和元年度	43.1	37.2	80.3	+1.5
令和2年度	35.0	43.4	78.4	△ 1.9
令和3年度	39.4	41.2	80.6	+2.2
令和4年度	39.4	38.8	78.2	△ 2.4

Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。

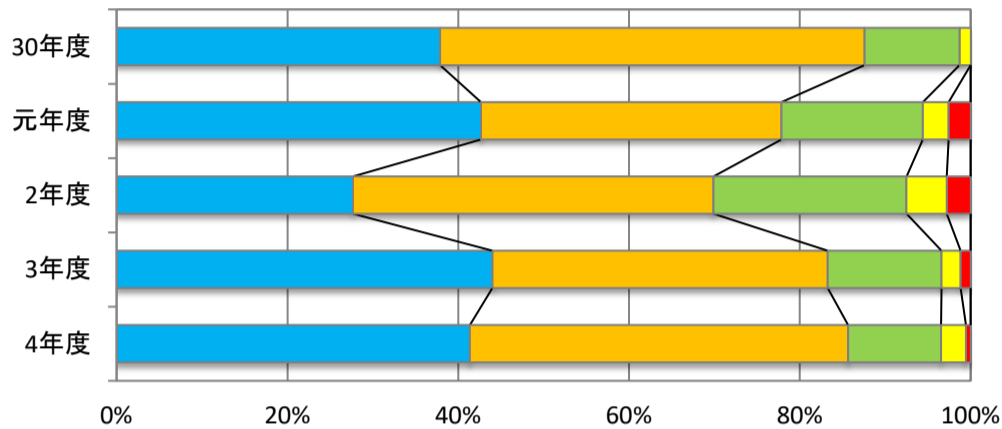
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成30年度	51.1	40.8	91.9	—
令和元年度	57.4	32.2	89.5	△ 2.4
令和2年度	46.1	39.0	85.1	△ 4.4
令和3年度	59.3	32.1	91.4	+6.3
令和4年度	61.0	32.3	93.2	+1.8

Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。

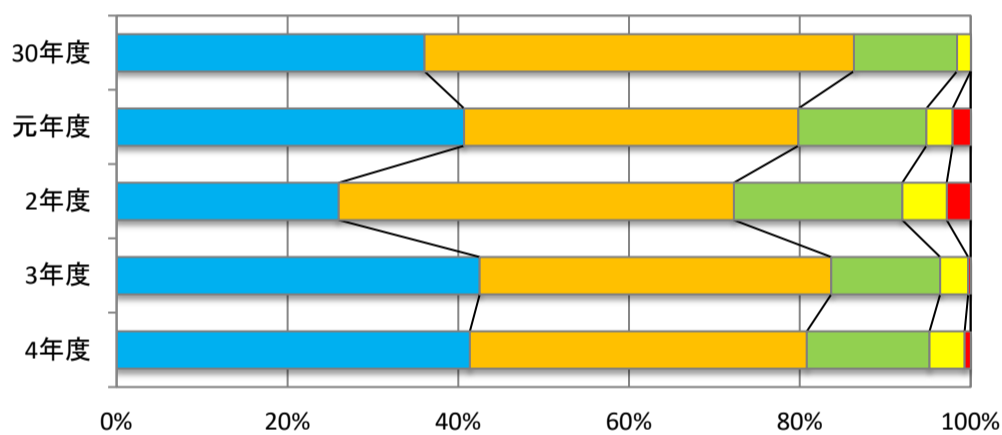
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成30年度	37.9	49.7	87.6	—
令和元年度	42.6	35.2	77.8	△ 9.8
令和2年度	27.7	42.2	69.9	△ 7.9
令和3年度	44.0	39.3	83.3	+13.4
令和4年度	41.4	44.3	85.7	+2.4

Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。

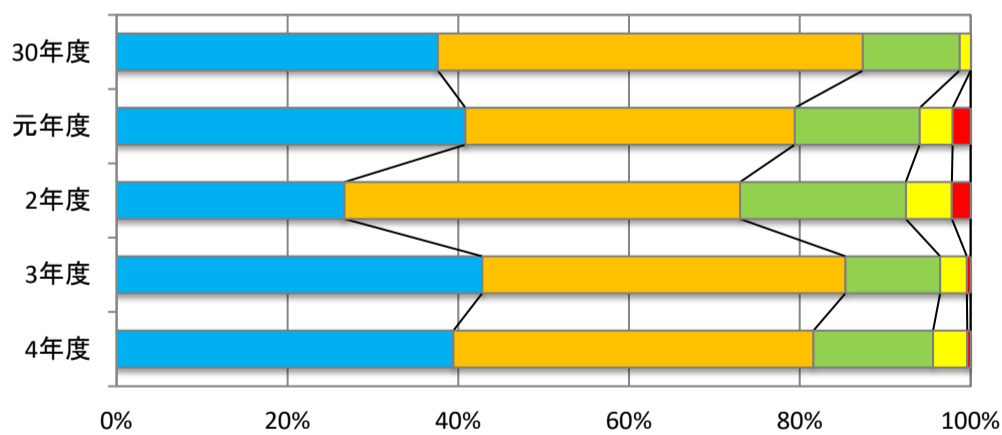
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成30年度	36.1	50.3	86.4	—
令和元年度	40.7	39.2	79.8	△ 6.6
令和2年度	26.0	46.2	72.2	△ 7.6
令和3年度	42.5	41.2	83.7	+11.5
令和4年度	41.4	39.4	80.8	△ 2.9

Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。

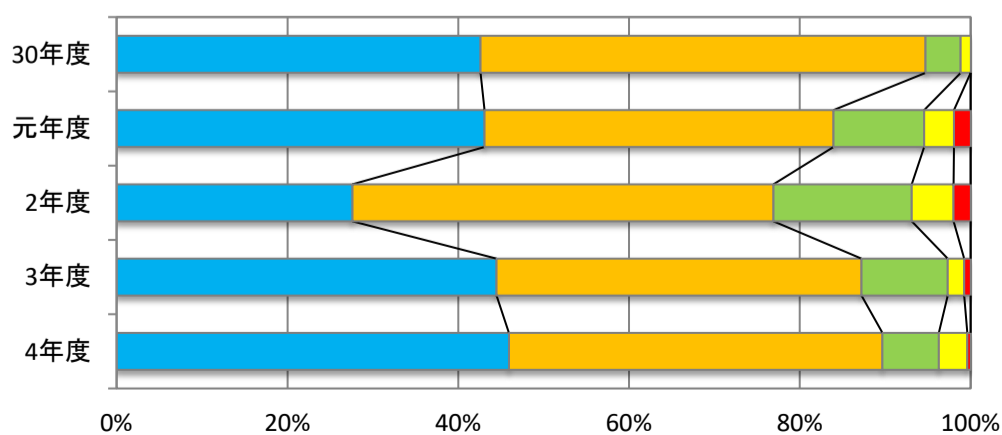
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成30年度	37.6	49.7	87.3	—
令和元年度	40.9	38.6	79.4	△ 7.9
令和2年度	26.7	46.3	73.0	△ 6.4
令和3年度	42.8	42.5	85.3	+12.3
令和4年度	39.4	42.2	81.6	△ 3.7

Q8.この授業は総合的に満足できましたか。

(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成30年度	40.5	49.5	90.0	—
令和元年度	43.1	40.8	83.9	△ 6.1
令和2年度	27.6	49.3	76.9	△ 7.0
令和3年度	44.5	42.7	87.2	+10.3
令和4年度	45.9	43.7	89.7	+2.4

◆ 年度別 自由記述集計結果

【平成30年度は翌令和元年度開設「高度実践公衆衛生看護コース」を除く】
 【令和4年度は在学生がいない「看護科学コース」を除く】

高度実践看護コース

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
授業に対する肯定的評価	(75.5%)	123	(61.0%)	105	(49.3%)	132	(50.0%)	79	(65.5%)	211
授業に対する要望等	(24.5%)	40	(39.0%)	67	(50.7%)	136	(50.0%)	79	(34.5%)	111
計	(100.0%)	163	(100.0%)	172	(100.0%)	268	(100.0%)	158	(100.0%)	322

高度実践助産コース

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
授業に対する肯定的評価	(48.6%)	18	(64.9%)	24	(61.8%)	55	(50.0%)	10	(74.3%)	55
授業に対する要望等	(51.4%)	19	(35.1%)	13	(38.2%)	34	(50.0%)	10	(25.7%)	19
計	(100.0%)	37	(100.0%)	37	(100.0%)	89	(100.0%)	20	(100.0%)	74

高度実践公衆衛生看護コース

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
授業に対する肯定的評価	-	-	(83.3%)	10	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(79.5%)	58
授業に対する要望等	-	-	(16.7%)	2	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(20.5%)	15
計	-	-	(100.0%)	12	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(100.0%)	73

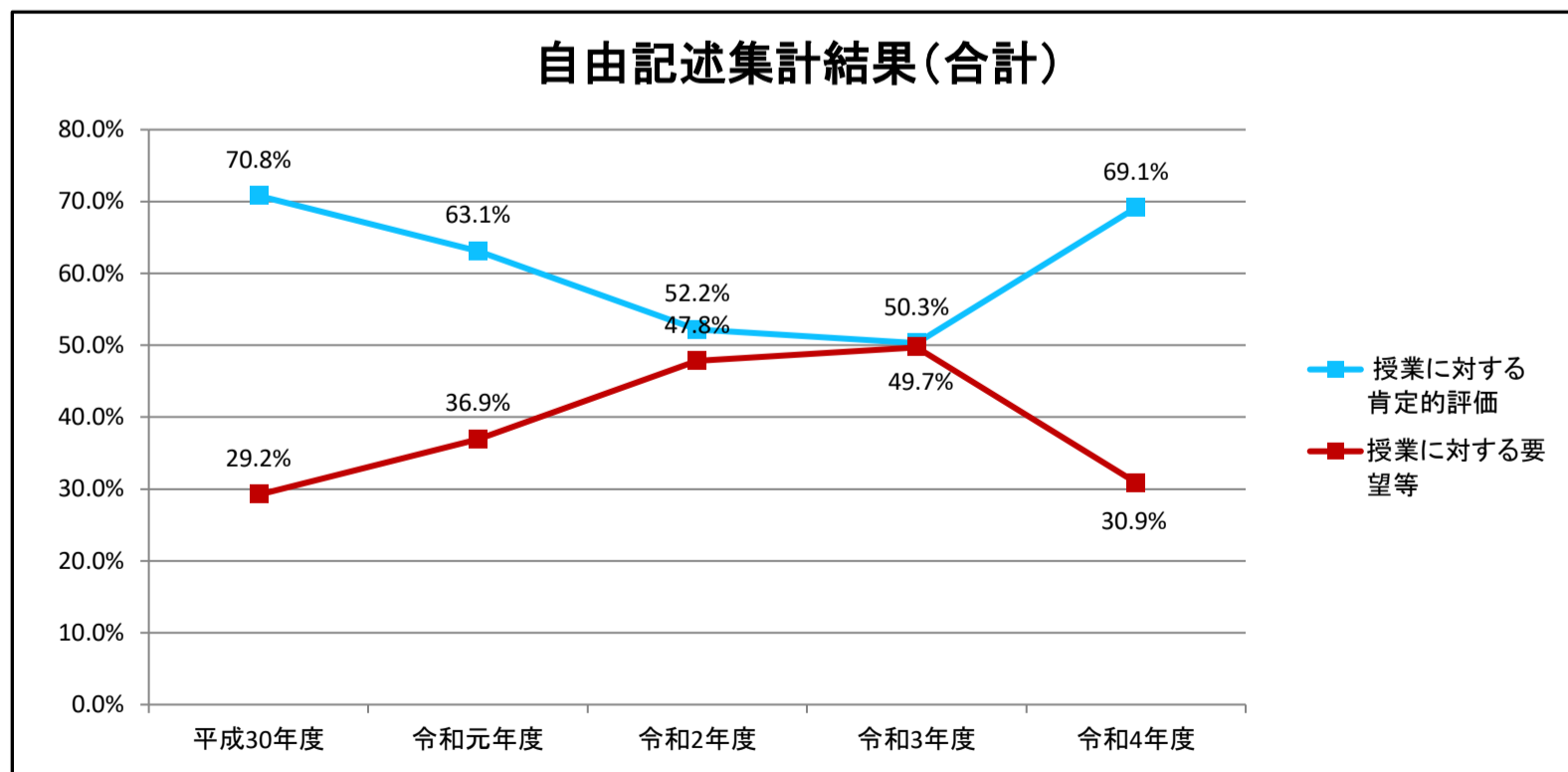
看護科学コース

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
授業に対する肯定的評価	(77.8%)	7	(100.0%)	1	(40.0%)	2	(100.0%)	1	-	-
授業に対する要望等	(22.2%)	2	(0.0%)	0	(60.0%)	3	(0.0%)	0	-	-
計	(100.0%)	9	(100.0%)	1	(100.0%)	5	(100.0%)	1	-	-

4コースの合計

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
授業に対する肯定的評価	(70.8%)	148	(63.1%)	140	(52.2%)	189	(50.3%)	90	(69.1%)	324
授業に対する要望等	(29.2%)	61	(36.9%)	82	(47.8%)	173	(49.7%)	89	(30.9%)	145
合計	(100.0%)	209	(100.0%)	222	(100.0%)	362	(100.0%)	179	(100.0%)	469

※ () 内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容（令和4年度）

高度実践看護コース

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	211	実際に臨床で働くNPの方の話を聞けるのは大変勉強になると感じた。
		助産コース、公衆衛生コースの院生とともにディスカッション出来たのは、色々意見を聞くことが出来たためとても意義があった
		医師の思考過程を学ぶことができたことや、何を基に推論しているのか、医療面接の方法など臨床に活かせる授業と感じた。
		第一人者の先生方から貴重な講義を受けることができ、ふつうでは受けることができないような内容で大変勉強になりました。
授業に対する要望等	111	もう少し講義の回数があってもいいと思いました。
		科目名が酷似しており、整理する際に分かりづらいと感じました。可能であれば科目名を分かりやすいものにして頂ければと思います。
		発表に備えた講師とのやりとりをもう少しできるともっといいと思います。 ▪
計	322	

高度実践助産コース

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	55	難しい内容も丁寧な説明で理解できた。
		公衆衛生コースの方と実施することで、新たな視点も得ることができ有意義な講義であったと思います。
		研究をどのように実施していくのかイメージがつかしました。
授業に対する要望等	19	授業プリントの量が多く、授業内にプリントすべての内容を網羅できなかったことが多かった。
		プリントと教科書や参考書を行き来することでどこが重要なかわかりにくかった。
計	74	

高度実践公衆衛生看護コース

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	58	実際に訪問に同行させて頂くことで医師や看護師がどのように関わり対応しているかを知ることが出来た。
		助産コースの学生とグループになって課題に取り組んだことで、助産師・保健師のそれぞれの強みを生かしたグループワークができ、多職種連携の重要性を実感できた演習でした。
		授業内容自体がとても難しい内容でしたが、先生方がとてもわかりやすく解説してくれるため、結果とても楽しい授業となりました。
授業に対する要望等	15	内容はとてもよかったし、授業構成も満足であったが、授業のタイミングがあまり良くなかった。
		学生1人で実習に赴くのではなく、数名で行うことでリアルタイムで意見交換等を行えるとと思いました。
計	73	

令和4年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程
高度実践看護コース

○全科目数 20科目

○調査対象者数 486人（延人数）

○総回答数 454枚（回答率93.4%）

◆ 質問項目別集計結果 【上段（）は令和3年度集計結果】

(%)

質問項目	非常に そう思う 5	そう思う 4	どちらとも 言えない 3	そう 思わない 2	全くそう 思わない 1	計	
1. この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。	(34.0)	(56.8)	(8.0)	(1.2)	(0.0)	(100.0)	
	37.9	54.6	6.4	0.9	0.2	100.0	
2. 授業内容をよく理解できたと思いますか。	(24.4)	(56.3)	(15.7)	(3.3)	(0.2)	(100.0)	
	20.3	60.6	17.4	1.5	0.2	100.0	
3. 授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。	(24.6)	(50.9)	(21.8)	(2.1)	(0.5)	(100.0)	
	28.4	45.8	21.4	4.2	0.2	100.0	
4. この授業内容は将来役に立つと思いますか。	(50.2)	(39.7)	(8.7)	(1.4)	(0.0)	(100.0)	
	53.3	37.7	7.7	0.9	0.4	100.0	
5. この授業は期待していた通りの内容でしたか。	(29.6)	(50.0)	(16.9)	(2.1)	(1.4)	(100.0)	
	27.5	54.6	14.1	3.3	0.4	100.0	
6. この授業の進め方は適切だったと思いますか。	(27.9)	(51.9)	(16.4)	(3.5)	(0.2)	(100.0)	
	26.2	48.7	19.2	5.3	0.7	100.0	
7. この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。	(27.9)	(53.5)	(14.3)	(3.8)	(0.5)	(100.0)	
	22.6	52.4	20.1	4.2	0.7	100.0	
8. この授業は総合的に満足できたと思いますか。	(29.8)	(54.5)	(13.1)	(1.6)	(0.9)	(100.0)	
	32.6	54.4	8.6	4.0	0.4	100.0	
全質問項目の平均	令和3年度	(31.1)	(51.7)	(14.4)	(2.4)	(0.5)	(100.0)
	令和4年度	31.1	51.1	14.4	3.0	0.4	100.0

授業評価集計結果 年度別比較

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程
高度実践看護コース

◆ 年度別 授業評価集計結果

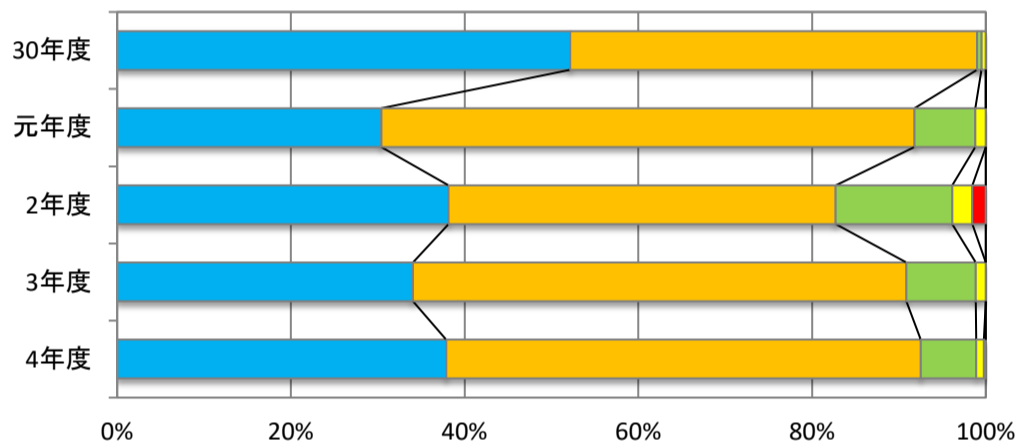
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全科目数	20科目	21科目	22科目	22科目	20科目
調査対象者数（延人数）	233人	372人	443人	430人	486人
総回答数（回答率）	210枚（90.1%）	342枚（91.9%）	389枚（87.8%）	426枚（99.1%）	454枚（93.4%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

■ 非常に そう思う	■ そう思う	■ どちらとも いえない	■ そう思わない	■ 全くそう 思わない
---	--	--	--	---

Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。

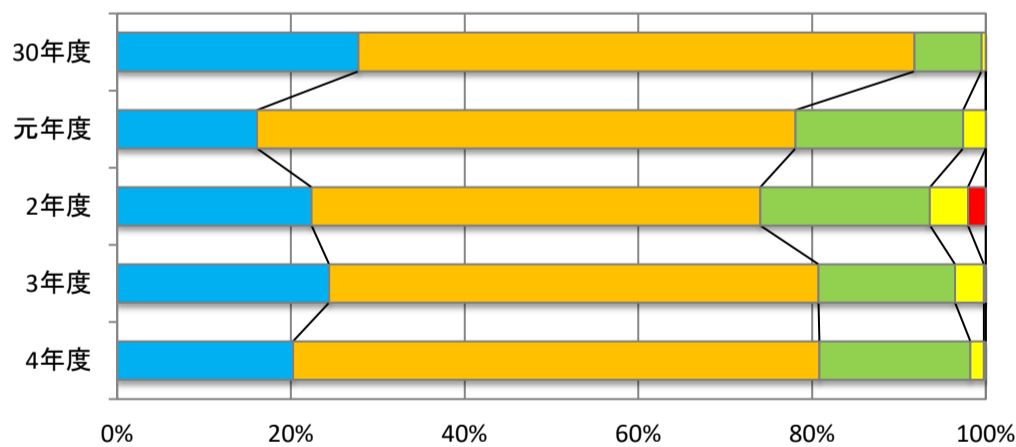
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成30年度	52.2	46.9	99.1	—
令和元年度	30.4	61.4	91.8	△ 7.3
令和2年度	38.1	44.6	82.7	△ 9.1
令和3年度	34.0	56.8	90.8	+8.1
令和4年度	37.9	54.6	92.5	+1.7

Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。

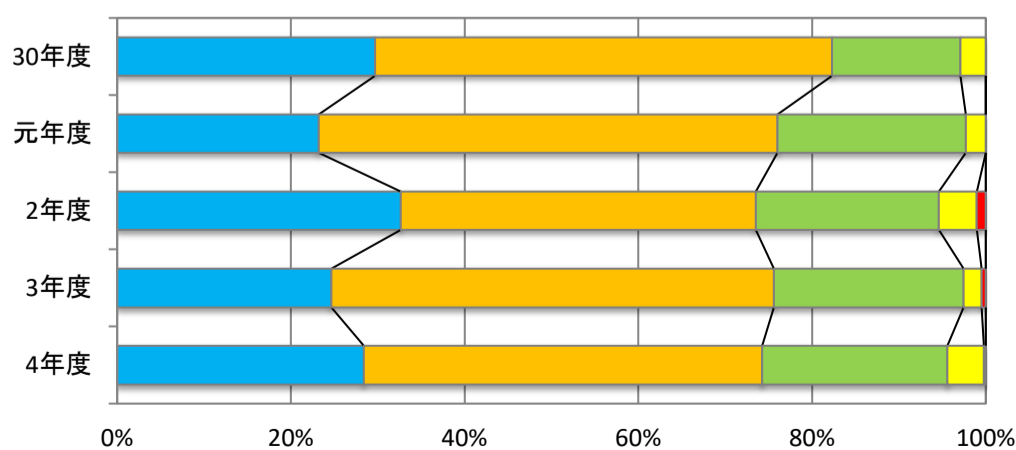
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成30年度	27.8	64.1	91.9	—
令和元年度	16.1	62.0	78.1	△ 13.8
令和2年度	22.4	51.7	74.0	△ 4.1
令和3年度	24.4	56.3	80.7	+6.7
令和4年度	20.3	60.6	80.8	+0.1

Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。

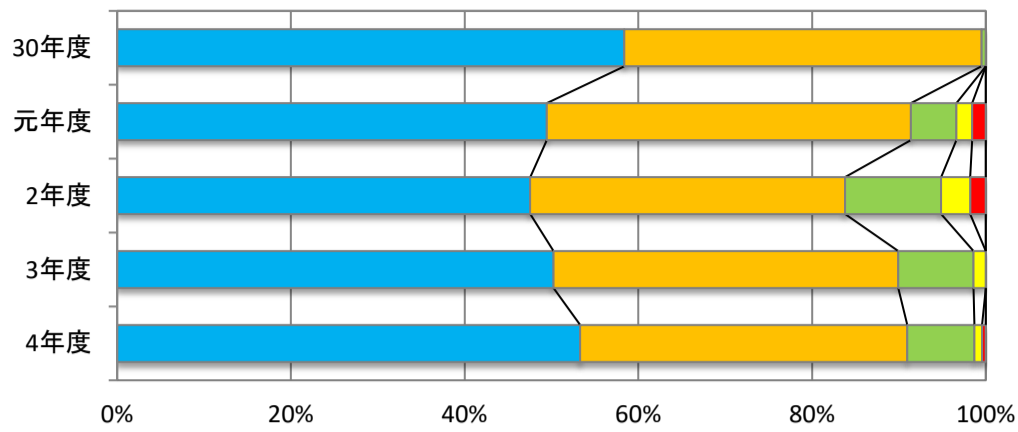
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成30年度	29.7	52.6	82.3	—
令和元年度	23.2	52.8	76.0	△ 6.3
令和2年度	32.6	40.9	73.5	△ 2.5
令和3年度	24.6	50.9	75.6	+2.1
令和4年度	28.4	45.8	74.2	△ 1.4

Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。

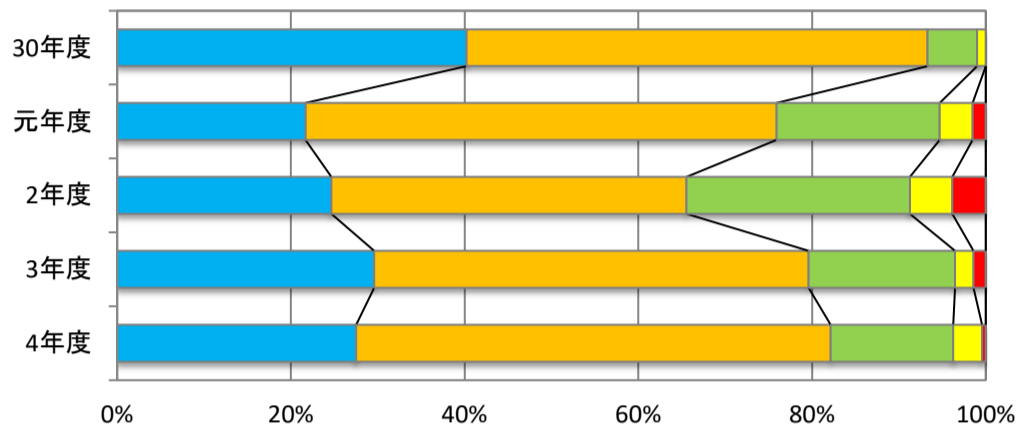
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成30年度	58.4	41.1	99.5	—
令和元年度	50.0	42.4	92.4	△ 7.1
令和2年度	47.6	36.2	83.8	△ 8.6
令和3年度	50.2	39.7	89.9	+6.1
令和4年度	53.3	37.7	91.0	+1.1

Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。

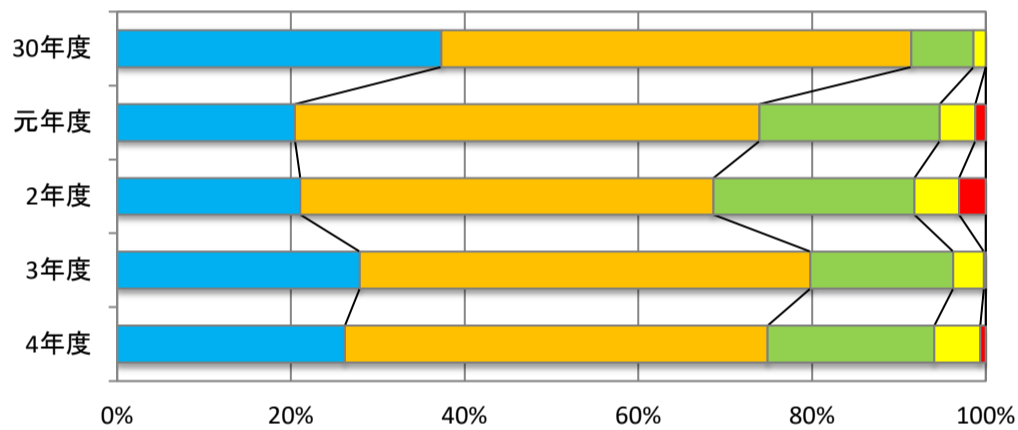
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成30年度	40.2	53.1	93.3	—
令和元年度	21.7	54.3	76.0	△ 17.3
令和2年度	24.7	40.9	65.6	△ 10.4
令和3年度	29.6	50.0	79.6	+14.0
令和4年度	27.5	54.6	82.2	+2.6

Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。

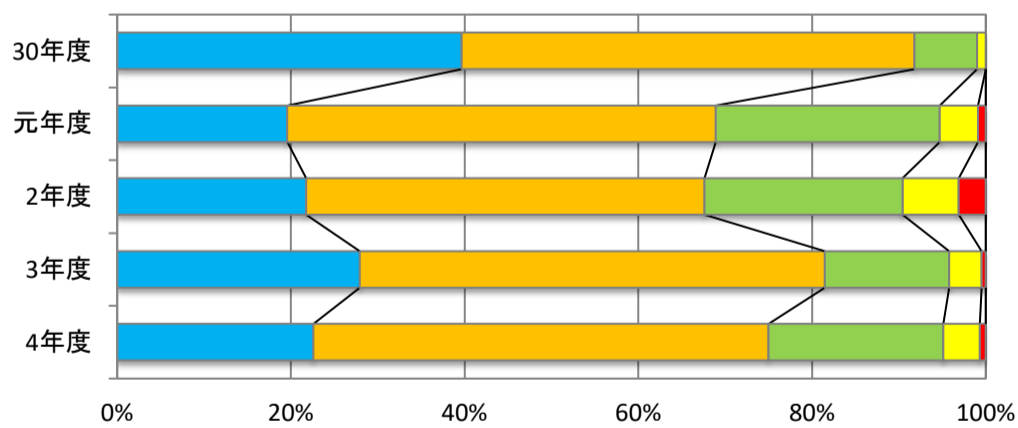
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成30年度	37.3	54.1	91.4	—
令和元年度	20.5	53.5	74.0	△ 17.4
令和2年度	21.1	47.6	68.6	△ 5.4
令和3年度	27.9	51.9	79.8	+11.2
令和4年度	26.2	48.7	74.9	△ 4.9

Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。

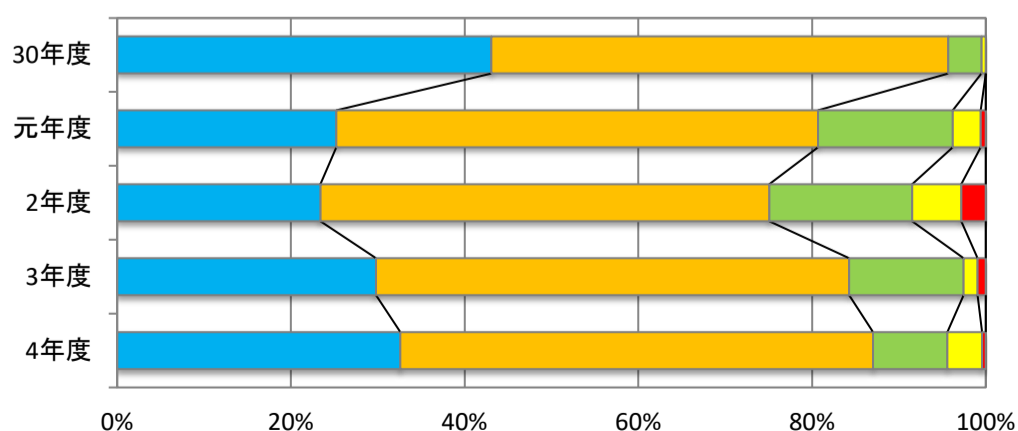
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成30年度	39.7	52.2	91.9	—
令和元年度	19.6	49.3	68.9	△ 23.0
令和2年度	21.8	45.9	67.6	△ 1.3
令和3年度	27.9	53.5	81.5	+13.8
令和4年度	22.6	52.4	75.0	△ 6.5

Q8.この授業は総合的に満足できたと思いますか。

(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成30年度	43.1	52.6	95.7	—
令和元年度	25.2	55.4	80.6	△ 15.1
令和2年度	23.4	51.7	75.1	△ 5.5
令和3年度	29.8	54.5	84.3	+9.2
令和4年度	32.6	54.4	87.0	+2.7

令和4年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程
高度実践助産コース

○全科目数 31科目

○調査対象者数 186人（延人数）

○総回答数 166枚（回答率89.2%）

◆ 質問項目別集計結果 【上段（ ）は令和3年度集計結果】

(%)

質問項目	非常に そう思う 5	そう思う 4	どちらとも 言えない 3	そう 思わない 2	全くそう 思わない 1	計	
1. この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。	(59.3)	(37.4)	(3.3)	(0.0)	(0.0)	(100.0)	
	72.7	21.2	5.5	0.6	0.0	100.0	
2. 授業内容をよく理解できたと思いますか。	(39.0)	(45.5)	(13.0)	(2.4)	(0.0)	(100.0)	
	61.8	32.1	4.2	1.8	0.0	100.0	
3. 授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。	(40.7)	(38.2)	(17.9)	(3.3)	(0.0)	(100.0)	
	54.5	30.9	12.7	1.2	0.6	100.0	
4. この授業内容は将来役に立つと思いますか。	(52.8)	(35.0)	(8.9)	(3.3)	(0.0)	(100.0)	
	77.0	20.0	2.4	0.6	0.0	100.0	
5. この授業は期待していた通りの内容でしたか。	(40.7)	(39.0)	(13.8)	(4.9)	(1.6)	(100.0)	
	69.7	18.8	6.7	3.6	1.2	100.0	
6. この授業の進め方は適切だったと思いますか。	(39.8)	(41.5)	(12.2)	(5.7)	(0.8)	(100.0)	
	70.9	17.6	6.7	3.6	1.2	100.0	
7. この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。	(40.7)	(43.1)	(11.4)	(4.1)	(0.8)	(100.0)	
	72.1	17.6	4.8	5.5	0.0	100.0	
8. この授業は総合的に満足できたと思いますか。	(42.3)	(42.3)	(9.8)	(4.9)	(0.8)	(100.0)	
	71.5	19.4	4.8	3.6	0.6	100.0	
全質問項目の平均	令和3年度	(44.4)	(40.2)	(11.3)	(3.6)	(0.5)	(100.0)
	令和4年度	68.8	22.2	6.0	2.6	0.5	100.0

授業評価集計結果 年度別比較

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程
高度実践助産コース

◆ 年度別 授業評価集計結果

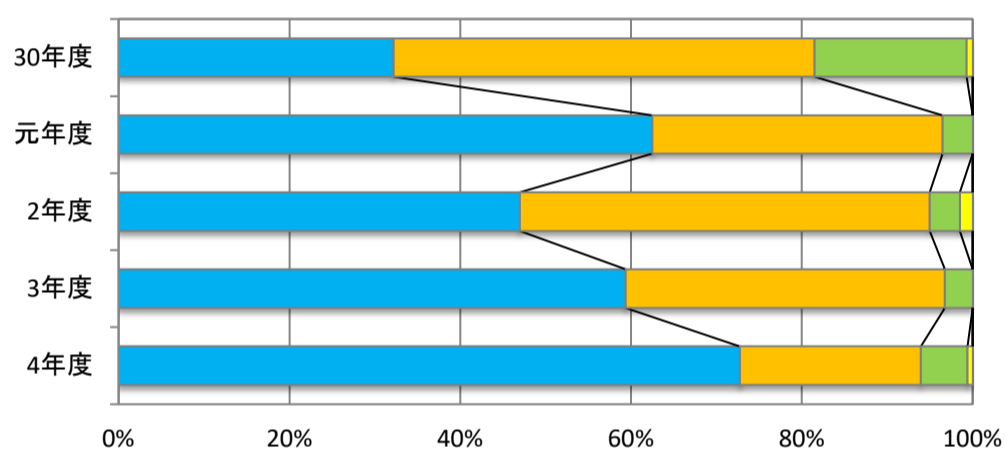
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全科目数	28科目	31科目	31科目	28科目	31科目
調査対象者数（延人数）	210人	225人	204人	171人	186人
総回答数（回答率）	152枚（72.4%）	200枚（88.9%）	200枚（98.0%）	123枚（71.9%）	166枚（89.2%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

■ 非常に そう思う	■ そう思う	■ どちらとも いえない	■ そう思わない	■ 全くそう 思わない
---	--	--	--	---

Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。

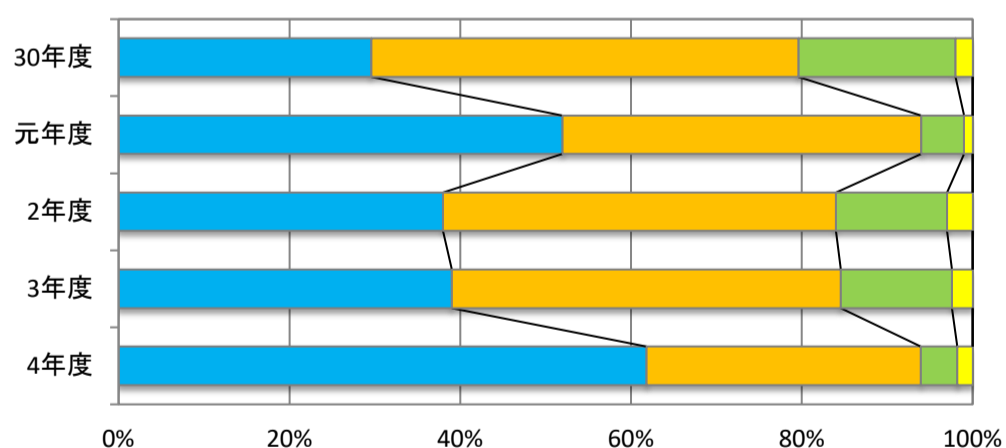
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成30年度	32.2	49.3	81.5	—
令和元年度	62.5	34.0	96.5	+15.0
令和2年度	47.0	48.0	95.0	△ 1.5
令和3年度	59.3	37.4	96.7	+1.7
令和4年度	72.7	21.2	93.9	△ 2.8

Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。

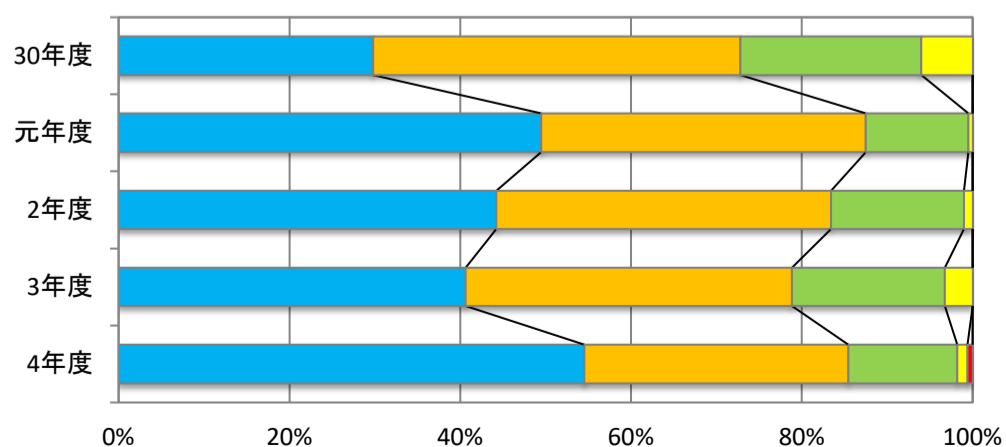
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成30年度	29.6	50.0	79.6	—
令和元年度	52.0	42.0	94.0	+14.4
令和2年度	38.0	46.0	84.0	△ 10.0
令和3年度	39.0	45.5	84.6	+0.6
令和4年度	61.8	32.1	93.9	+9.4

Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。

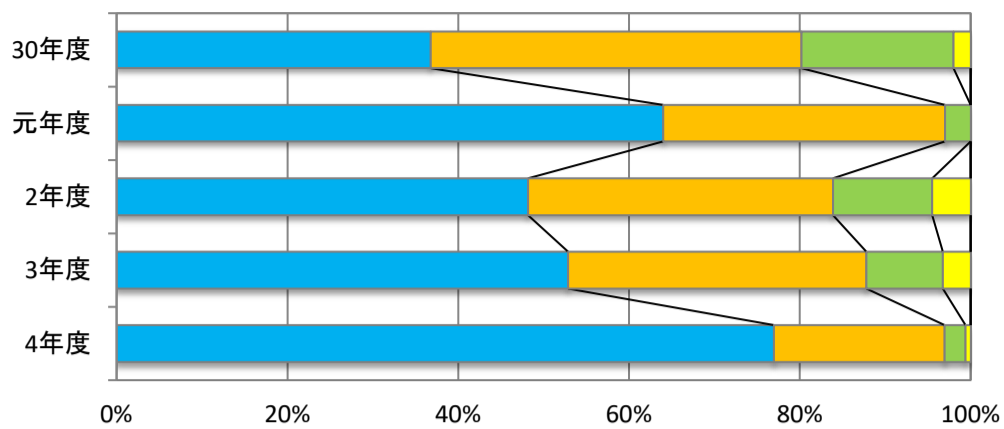
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成30年度	29.8	43.0	72.8	—
令和元年度	49.5	38.0	87.5	+14.7
令和2年度	44.2	39.2	83.4	△ 4.1
令和3年度	40.7	38.2	78.9	△ 4.6
令和4年度	54.5	30.9	85.5	+6.6

Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。

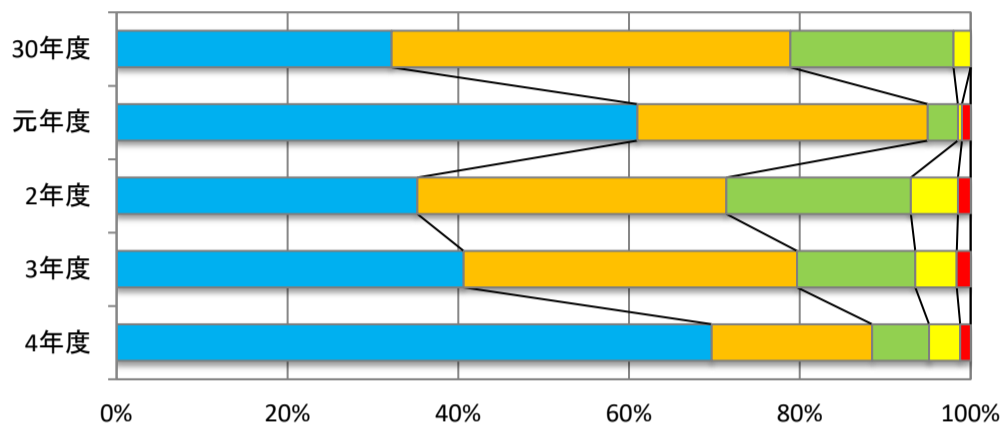
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成30年度	36.8	43.4	80.2	—
令和元年度	64.0	33.0	97.0	+16.8
令和2年度	48.2	35.7	83.9	△ 13.1
令和3年度	52.8	35.0	87.8	+3.9
令和4年度	77.0	20.0	97.0	+9.2

Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。

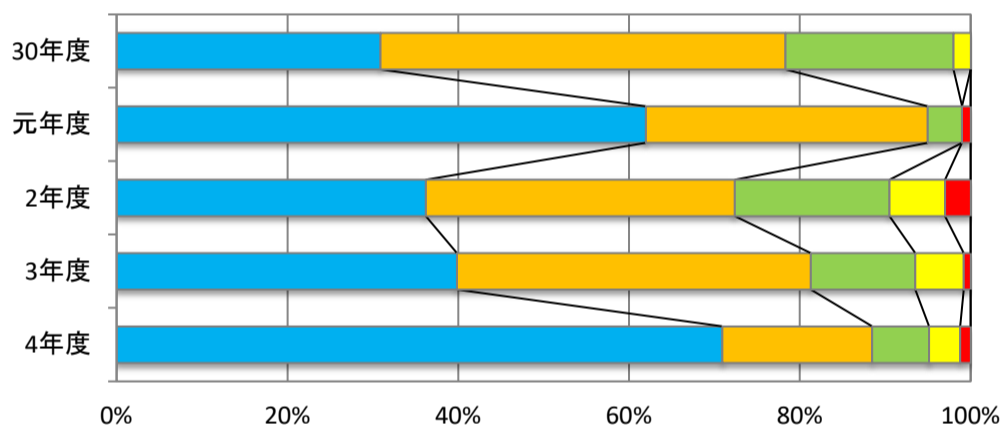
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成30年度	32.2	46.7	78.9	—
令和元年度	61.0	34.0	95.0	+16.1
令和2年度	35.2	36.2	71.4	△ 23.6
令和3年度	40.7	39.0	79.7	+8.3
令和4年度	69.7	18.8	88.5	+8.8

Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。

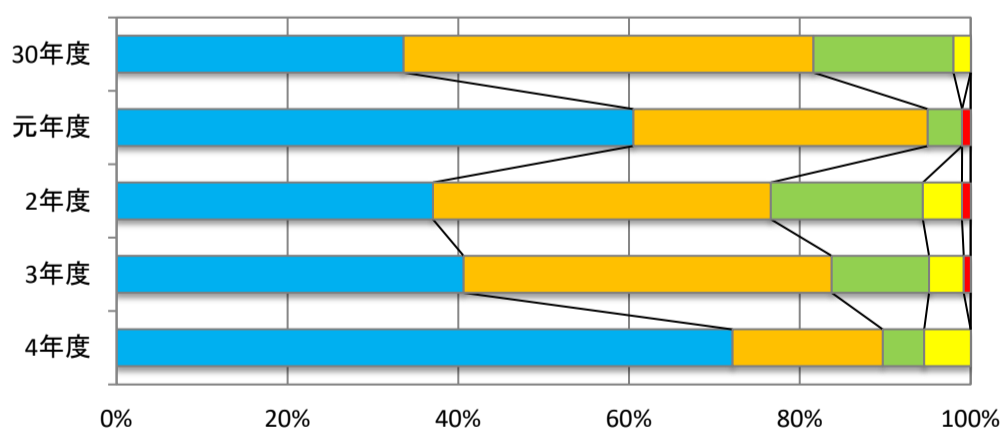
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成30年度	30.9	47.4	78.3	—
令和元年度	62.0	33.0	95.0	+16.7
令和2年度	36.2	36.2	72.4	△ 22.6
令和3年度	39.8	41.5	81.3	+8.9
令和4年度	70.9	17.6	88.5	+7.2

Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。

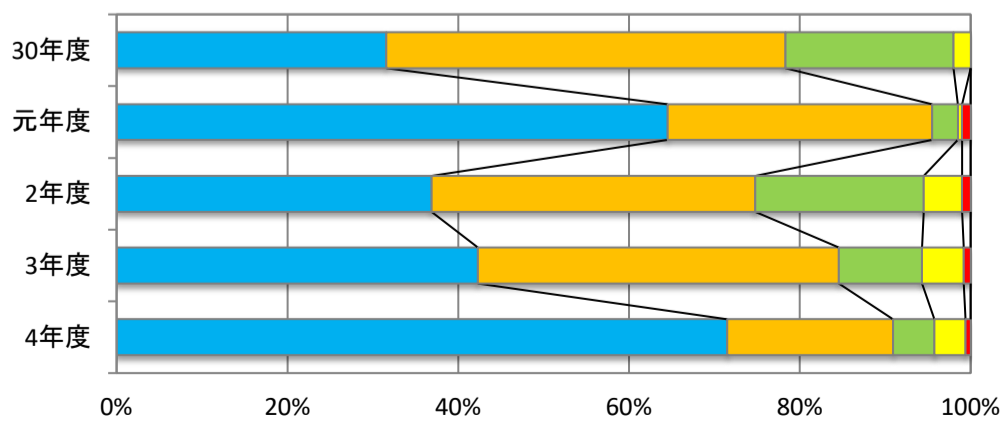
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成30年度	33.6	48.0	81.6	—
令和元年度	60.5	34.5	95.0	+13.4
令和2年度	37.1	39.6	76.7	△ 18.3
令和3年度	40.7	43.1	83.7	+7.0
令和4年度	72.1	17.6	89.7	+6.0

Q8.この授業は総合的に満足できましたか。

(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
平成30年度	31.6	46.7	78.3	—
令和元年度	64.5	31.0	95.5	+17.2
令和2年度	36.9	37.9	74.8	△ 20.7
令和3年度	42.3	42.3	84.6	+9.8
令和4年度	71.5	19.4	90.9	+6.4

令和4年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程
高度実践公衆衛生看護コース

※令和元年度設置

○全科目数 34科目

○調査対象者数 106人（延人数）

○総回答数 106枚（回答率100.0%）

◆ 質問項目別集計結果 【上段（ ）は令和3年度集計結果】

(%)

質問項目	非常に そう思う 5	そう思う 4	どちらとも 言えない 3	そう 思わない 2	全くそう 思わない 1	計	
1. この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。	(98.4)	(1.6)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)	
	66.0	33.0	0.9	0.0	0.0	100.0	
2. 授業内容をよく理解できたと思いますか。	(85.6)	(14.4)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)	
	61.3	36.8	1.9	0.0	0.0	100.0	
3. 授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。	(88.0)	(11.2)	(0.8)	(0.0)	(0.0)	(100.0)	
	63.2	20.8	8.5	7.5	0.0	100.0	
4. この授業内容は将来役に立つと思いますか。	(96.0)	(4.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)	
	68.9	28.3	2.8	0.0	0.0	100.0	
5. この授業は期待していた通りの内容でしたか。	(96.0)	(3.2)	(0.8)	(0.0)	(0.0)	(100.0)	
	56.6	39.6	3.8	0.0	0.0	100.0	
6. この授業の進め方は適切だったと思いますか。	(94.4)	(4.8)	(0.8)	(0.0)	(0.0)	(100.0)	
	60.4	34.0	5.7	0.0	0.0	100.0	
7. この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。	(95.2)	(4.8)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)	
	60.4	36.8	1.9	0.9	0.0	100.0	
8. この授業は総合的に満足できたと思いますか。	(96.8)	(3.2)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)	
	63.2	35.8	0.9	0.0	0.0	100.0	
全質問項目の平均	令和3年度	(93.8)	(5.9)	(0.3)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
	令和4年度	62.5	33.1	3.3	1.1	0.0	100.0

授業評価集計結果 年度別比較

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程
高度実践公衆衛生看護コース
※令和元年度設置

◆ 年度別 授業評価集計結果

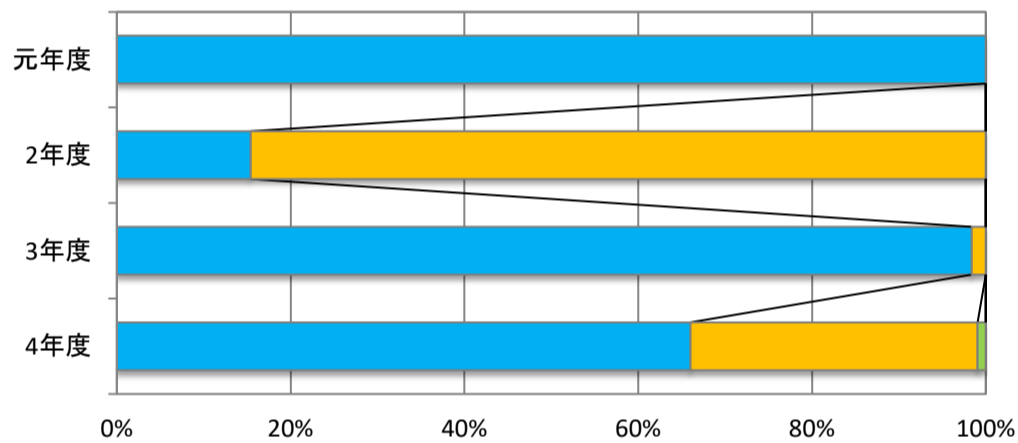
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全科目数	30科目	36科目	35科目	34科目
調査対象者数（延人数）	60人	40人	128人	106人
総回答数（回答率）	60枚（100.0%）	40枚（100%）	125枚（97.7%）	106枚（100.0%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

■ 非常に そう思う	■ そう思う	■ どちらとも いえない	■ そう思わない	■ 全くそう 思わない
---	--	--	--	---

Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。

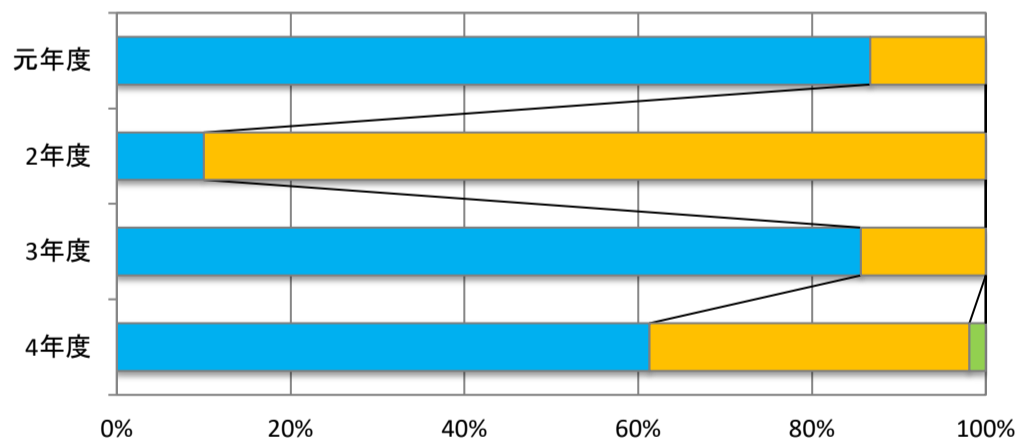
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
令和元年度	100.0	0.0	100.0	—
令和2年度	15.4	84.6	100.0	+0.0
令和3年度	98.4	1.6	100.0	+0.0
令和4年度	66.0	33.0	99.1	△ 0.9

Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。

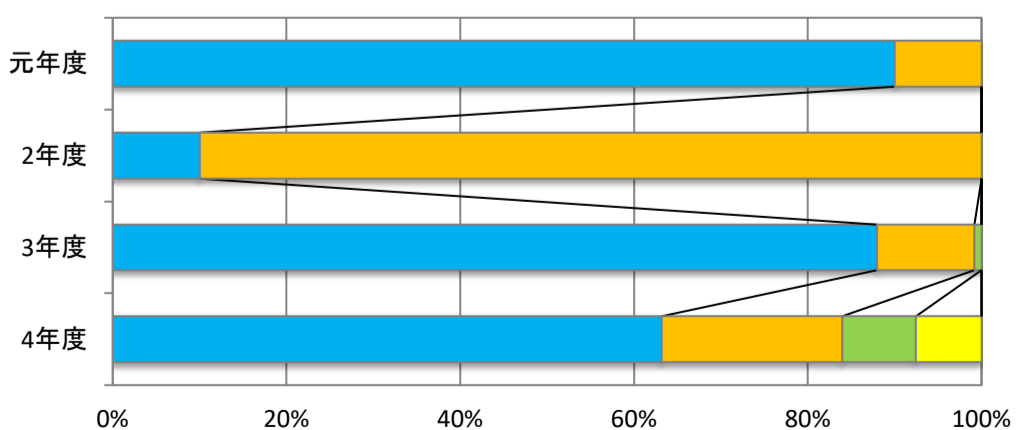
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
令和元年度	86.7	13.3	100.0	—
令和2年度	10.0	90.0	100.0	+0.0
令和3年度	85.6	14.4	100.0	+0.0
令和4年度	61.3	36.8	98.1	△ 1.9

Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。

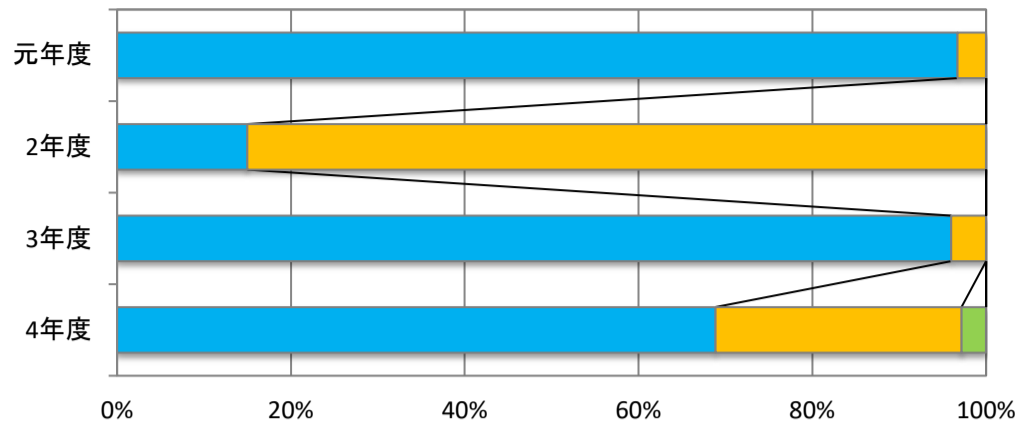
(%)



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
令和元年度	90.0	10.0	100.0	—
令和2年度	10.0	90.0	100.0	+0.0
令和3年度	88.0	11.2	99.2	△ 0.8
令和4年度	63.2	20.8	84.0	△ 15.2

Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。

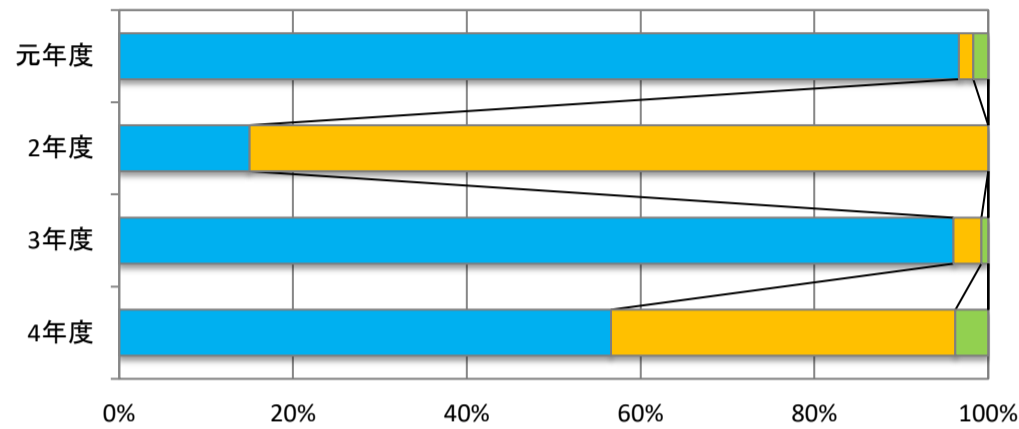
(%)



	非常に 思う	そう思う	計	対前年度
令和元年度	96.7	3.3	100.0	—
令和2年度	15.0	85.0	100.0	+0.0
令和3年度	96.0	4.0	100.0	+0.0
令和4年度	68.9	28.3	97.2	△ 2.8

Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。

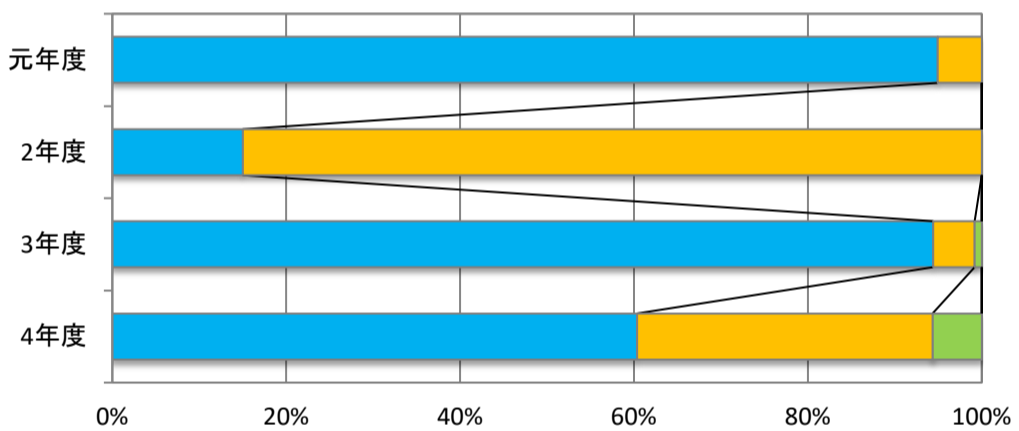
(%)



	非常に 思う	そう思う	計	対前年度
令和元年度	96.7	1.7	98.4	—
令和2年度	15.0	85.0	100.0	+1.6
令和3年度	96.0	3.2	99.2	△ 0.8
令和4年度	56.6	39.6	96.2	△ 3.0

Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。

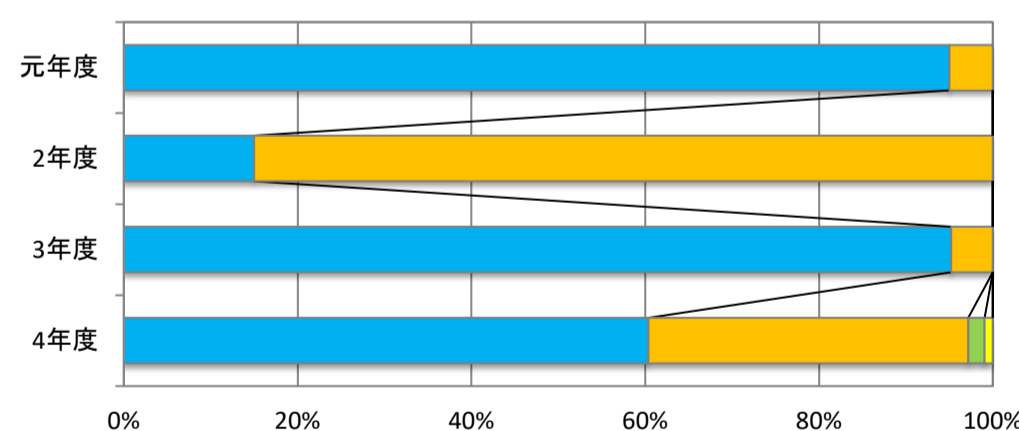
(%)



	非常に 思う	そう思う	計	対前年度
令和元年度	93.3	5.0	98.3	—
令和2年度	15.0	85.0	100.0	+1.7
令和3年度	94.4	4.8	99.2	△ 0.8
令和4年度	60.4	34.0	94.3	△ 4.9

Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。

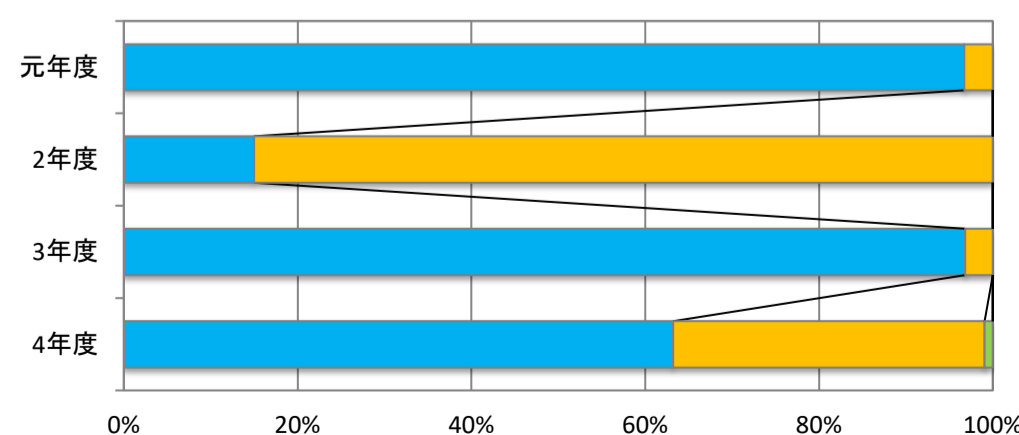
(%)



	非常に 思う	そう思う	計	対前年度
令和元年度	95.0	5.0	100.0	—
令和2年度	15.0	85.0	100.0	+0.0
令和3年度	95.2	4.8	100.0	+0.0
令和4年度	60.4	36.8	97.2	△ 2.8

Q8.この授業は総合的に満足できましたか。

(%)



	非常に 思う	そう思う	計	対前年度
令和元年度	96.7	3.3	100.0	—
令和2年度	15.0	85.0	100.0	+0.0
令和3年度	96.8	3.2	100.0	+0.0
令和4年度	63.2	35.8	99.1	△ 0.9

令和4年度 大学院和歌山看護学研究科の授業評価結果に対する考察

副学長・和歌山看護学研究科長
八島 妙子

1. 授業評価の結果について

全質問項目平均で、9割以上が「そう思う」「ややそう思う」と高い評価でした。ハイブリッド型授業により、感染状況や業務の都合に応じて選択できたため、仕事との両立を無理なくして学べた結果と思われます。教員もその環境でできる教育内容・手法を用いて学生の教育ニーズに応じる努力をしました。社会人である学生の問題意識を引き出し、理論的背景をもとに解説し、学生同士のディスカッションにより、実践での疑問や迷いが自分で整理できたことを実感できたのではないかと考えます。しかし、授業内容の理解が「どちらともいえない」「そう思わない」が2割程度いました。伝えることがなかなか困難であると感じているという教員の感想もあり、学生の理解度を確認しながらの進め方の工夫が必要と感じました。ハイブリッド型授業の良さもありますが、教員と密な意思疎通が困難であることを互いに感じていたことから、学生といつでも相談できる環境や気軽に話し合えるなど学ぶ環境を整える必要を感じました。

2. 授業において工夫した点について

学生は、指示待ちの傾向があり、主体的に学習する習慣が身につけていないと複数の教員が感じていました。各授業において、学生の課題発表に関しても学生の意見を取り入れて進め、発表は学生主体で進行し、ディスカッションに十分な時間を取り、学生と教員が学びあう場として意識して行っていました。学生の体験に即した内容を多く取り上げ、興味関心に合わせた文献を準備する、ハイブリッド型授業においても双方向で授業が進め学生の参加できる工夫がされていました。実践している外部講師の招聘により、視野が広がり、より理解が深まったと思われます。

3. 今後の授業への生かし方について

一つの科目をオムニバスで進めているために教員同士の話し合いを行い、内容や進め方を学生に理解しやすいように整えていくようにしたいと思います。

ハイブリッド講義が続くと思いますので、双方向のディスカッションがスムーズにできるよう工夫していきたいと思います。社会人である学生なので、より実践でも活かせる課題を取り上げ、課題にかかる時間と準備期間を考慮して学生に無理なく、授業に臨めるように学生の意見も取り入れて進めていきたいと思います。

4. その他

ハイブリッド授業環境を改善するための環境整備を進めていけるといいかと思います。

社会人学生の受け入れにあたっては、入学後の学習にスムーズに入れるよう、入学前教育は有効と思われますので、学生のニーズに対応して継続していきます。合わせて学生のレディネスに応じた指導に心がけます。

令和4年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 大学院 和歌山看護学研究科 修士課程

○講義・演習科目数 20科目

○調査対象者数 107人（延人数）

○総回答数 96件（回答率89.7%）

◆ 質問項目別集計結果

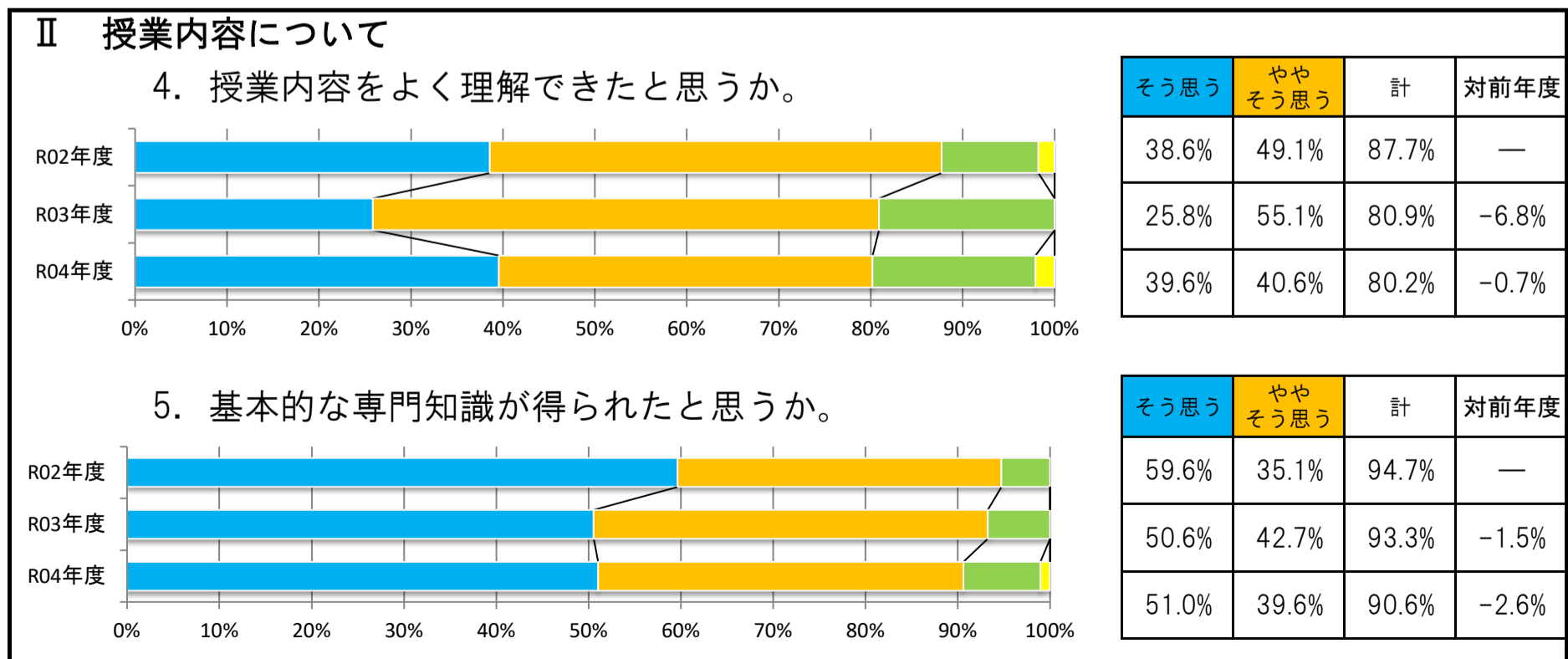
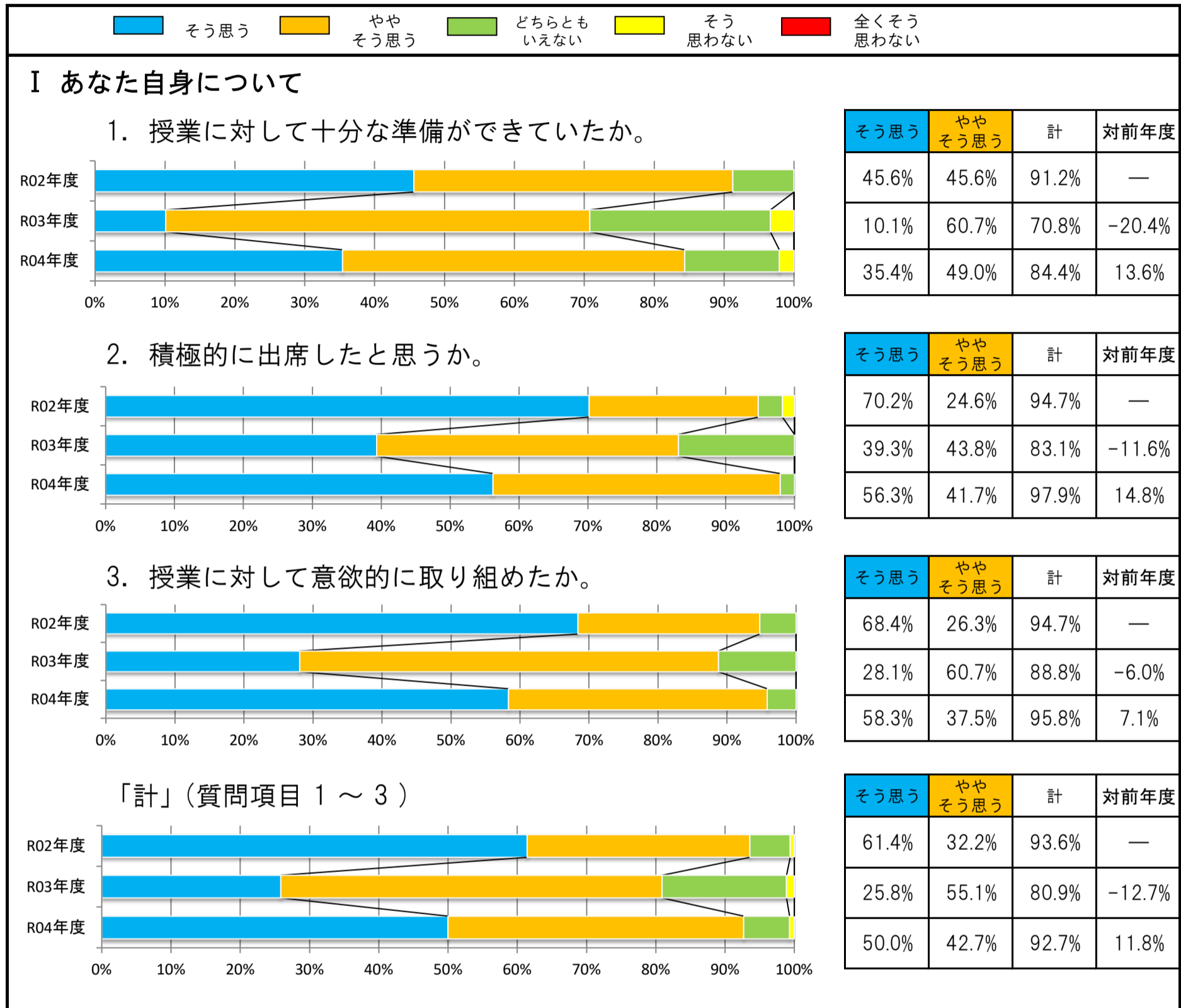
〈上段（ ）は令和3年度アンケート結果〉

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	計
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
I あなた自身について						
1. 授業に対して十分な準備ができていたか。	(10.1)	(60.7)	(25.8)	(3.4)	(0.0)	(100)
	35.4	49.0	13.5	2.1	0.0	100
2. 積極的に出席したと思うか。	(39.3)	(43.8)	(16.9)	(0.0)	(0.0)	(100)
	56.3	41.7	2.1	0.0	0.0	100
3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。	(28.1)	(60.7)	(11.2)	(0.0)	(0.0)	(100)
	58.3	37.5	4.2	0.0	0.0	100
計	(25.8)	(55.1)	(18.0)	(1.1)	(0.0)	(100)
	50.0	42.7	6.6	0.7	0.0	100
II 授業内容について						
4. 授業内容をよく理解できたと思うか。	(25.8)	(55.1)	(19.1)	(0.0)	(0.0)	(100)
	39.6	40.6	17.7	2.1	0.0	100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(50.6)	(42.7)	(6.7)	(0.0)	(0.0)	(100)
	51.0	39.6	8.3	1.0	0.0	100
6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(69.7)	(22.5)	(7.9)	(0.0)	(0.0)	(100)
	51.0	42.7	6.3	0.0	0.0	100
7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(70.8)	(20.2)	(9.0)	(0.0)	(0.0)	(100)
	59.4	34.4	6.3	0.0	0.0	100
計	(54.2)	(35.1)	(10.7)	(0.0)	(0.0)	(100)
	50.3	39.3	9.6	0.8	0.0	100
III 教員の考え方・姿勢について						
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(39.3)	(41.6)	(13.5)	(5.6)	(0.0)	(100)
	50.0	31.3	12.5	6.3	0.0	100
9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	(82.0)	(18.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100)
	58.3	37.5	4.2	0.0	0.0	100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(82.0)	(16.9)	(1.1)	(0.0)	(0.0)	(100)
	71.9	26.0	2.1	0.0	0.0	100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、 -1 わかりやすい板書であったと思うか。	(57.7)	(38.5)	(3.8)	(0.0)	(0.0)	(100)
	63.9	13.9	22.2	0.0	0.0	100
11. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、 -2 その実施内容はわかりやすかったと思うか。	(78.8)	(17.6)	(3.5)	(0.0)	(0.0)	(100)
	81.9	13.9	4.2	0.0	0.0	100
12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(78.7)	(18.0)	(3.4)	(0.0)	(0.0)	(100)
	63.5	33.3	2.1	1.0	0.0	100
13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	(74.2)	(19.1)	(5.6)	(1.1)	(0.0)	(100)
	63.5	26.0	9.4	1.0	0.0	100
14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(89.9)	(7.9)	(2.2)	(0.0)	(0.0)	(100)
	67.7	27.1	5.2	0.0	0.0	100
15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。	(73.0)	(23.6)	(3.4)	(0.0)	(0.0)	(100)
	64.6	29.2	5.2	1.0	0.0	100
計	(75.3)	(20.2)	(4.5)	(0.0)	(0.0)	(100)
	65.0	26.5	7.4	1.0	0.0	100
IV 総合評価						
16. この講義・演習は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(53.9)	(33.7)	(10.1)	(2.2)	(0.0)	(100)
	56.3	28.1	7.3	5.2	3.1	100
17. この授業は総合的に満足できたと思うか。	(75.3)	(20.2)	(4.5)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
	59.4	33.3	5.2	2.1	0.0	100
計	(75.3)	(20.2)	(4.5)	(0.0)	(0.0)	(100)
	57.8	30.7	6.3	3.6	1.6	100
全質問項目の平均	(57.0)	(33.2)	(9.3)	(0.5)	(0.0)	(100)
	55.8	34.8	7.5	1.5	0.4	100

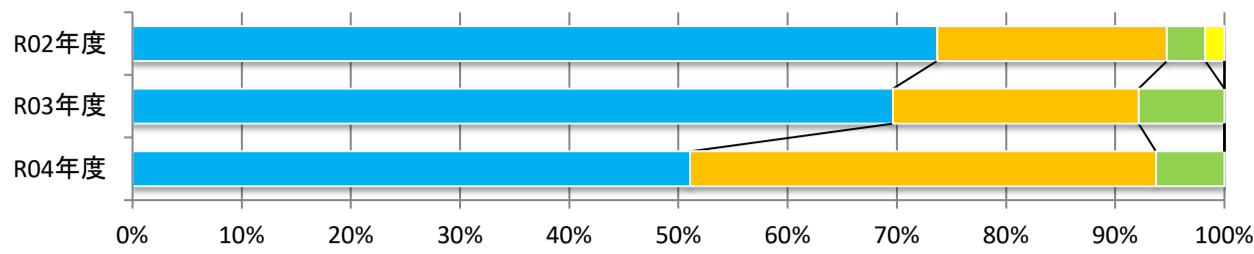
授業評価集計結果 年度別比較

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全科目数	17科目	17科目	20科目
調査対象者数（延人数）	124人	119人	107人
総回答数（回答率）	57枚（46.0%）	89枚（74.8%）	96枚（89.7%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

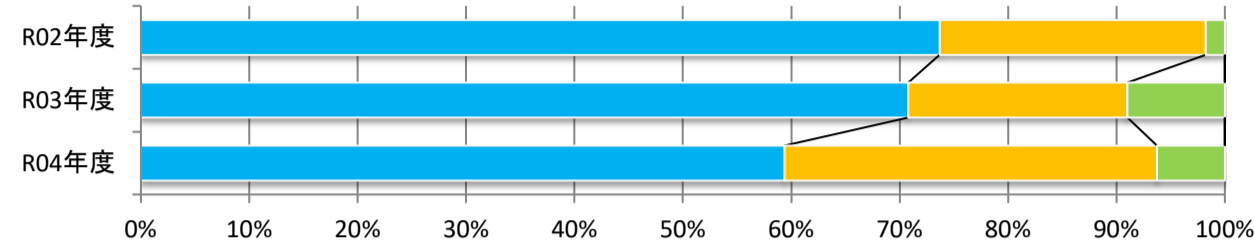


6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。



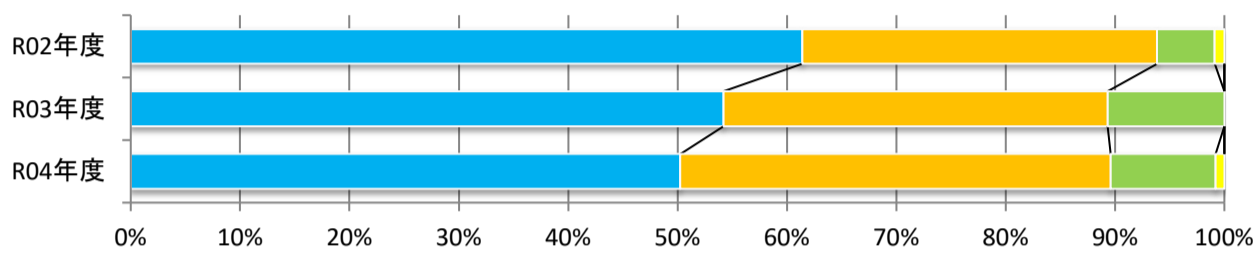
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
73.7%	21.1%	94.7%	—
69.7%	22.5%	92.1%	-2.6%
51.0%	42.7%	93.8%	1.6%

7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
73.7%	24.6%	98.2%	—
70.8%	20.2%	91.0%	-7.2%
59.4%	34.4%	93.8%	2.7%

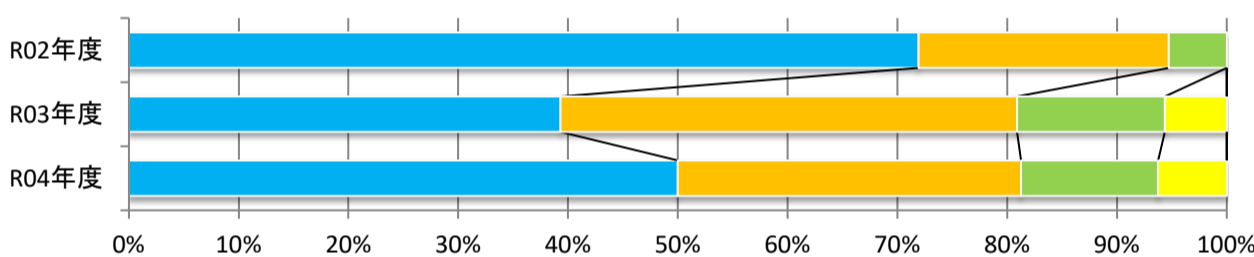
「計」(質問項目 4 ~ 7)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
61.4%	32.5%	93.9%	—
54.2%	35.1%	89.3%	-4.5%
50.3%	39.3%	89.6%	0.3%

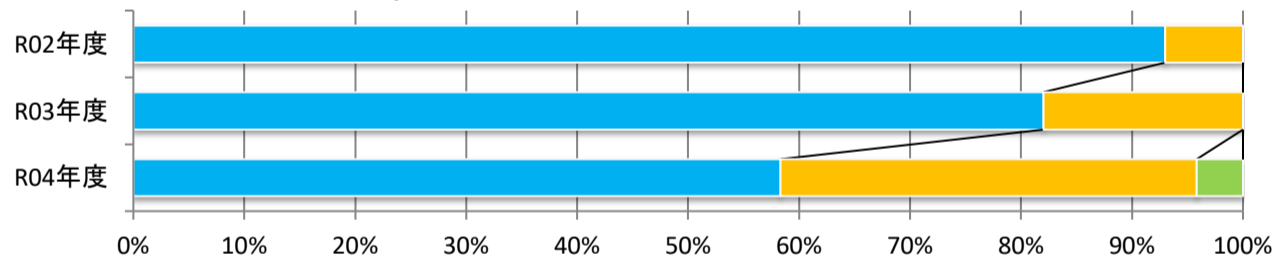
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



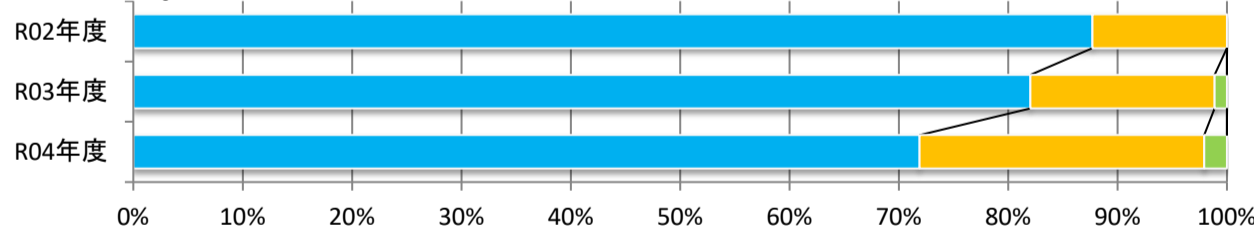
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
71.9%	22.8%	94.7%	—
39.3%	41.6%	80.9%	-13.8%
50.0%	31.3%	81.3%	0.4%

9. 学習しやすい授業環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。



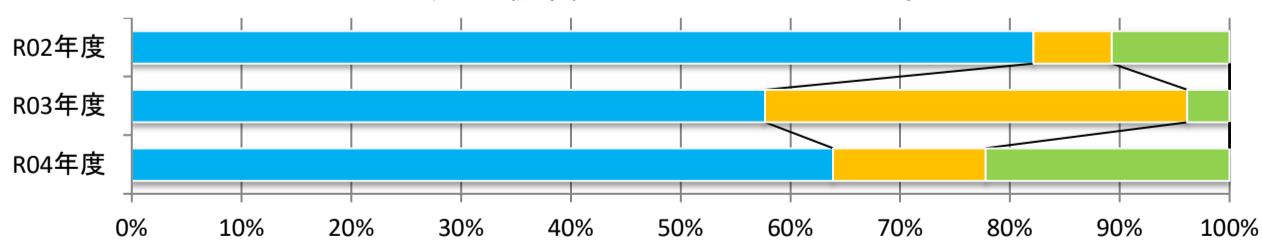
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
93.0%	7.0%	100.0%	—
82.0%	18.0%	100.0%	0.0%
58.3%	37.5%	95.8%	-4.2%

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



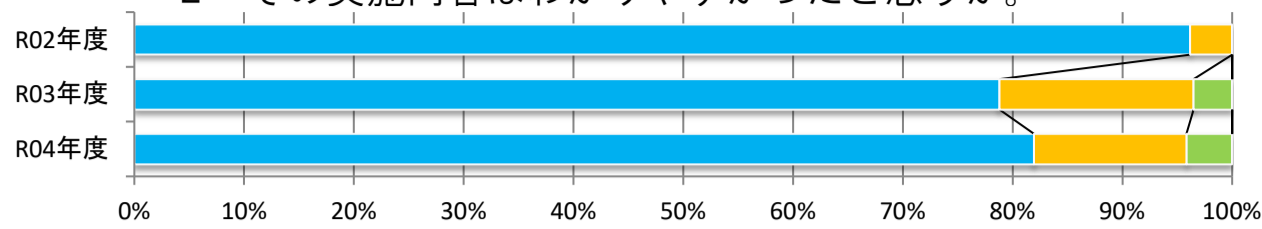
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
87.7%	12.3%	100.0%	—
82.0%	16.9%	98.9%	-1.1%
71.9%	26.0%	97.9%	-1.0%

11. 主として板書による授業が行われた場合には、
-1 わかりやすい板書であったと思うか。



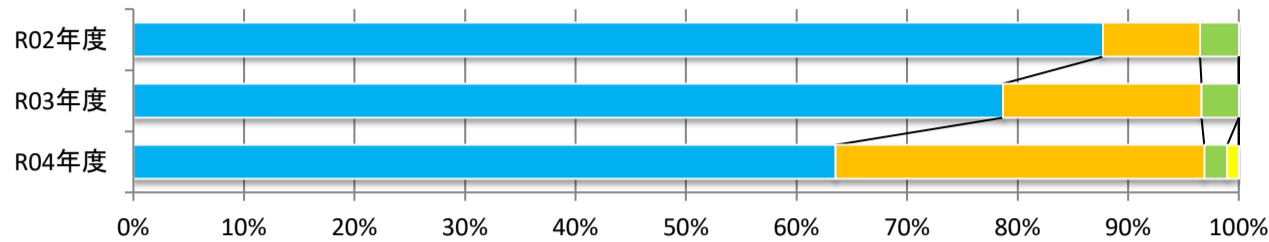
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
82.1%	7.1%	89.3%	—
57.7%	38.5%	96.2%	6.9%
63.9%	13.9%	77.8%	-18.4%

11. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、
-2 その実施内容はわかりやすかったと思うか。



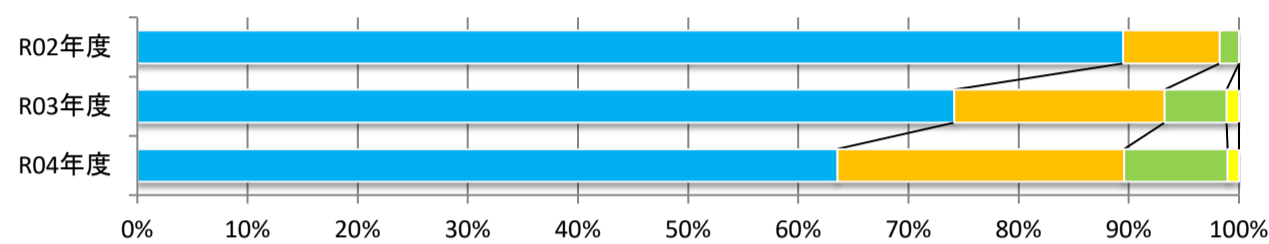
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
96.2%	3.8%	100.0%	—
78.8%	17.6%	96.5%	-3.5%
81.9%	13.9%	95.8%	-0.6%

12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



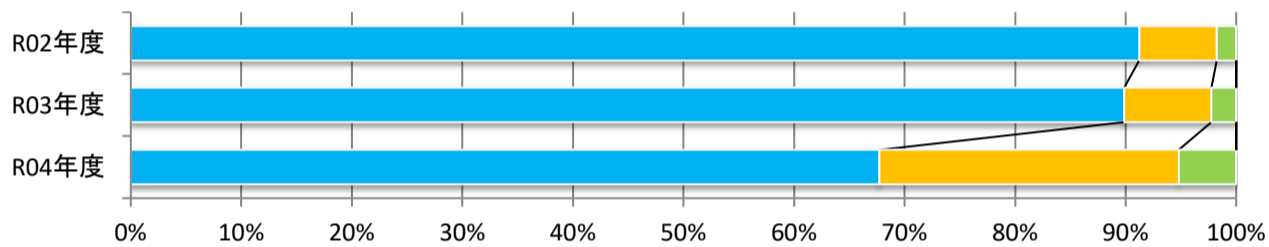
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
87.7%	8.8%	96.5%	—
78.7%	18.0%	96.6%	0.1%
63.5%	33.3%	96.9%	0.2%

13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



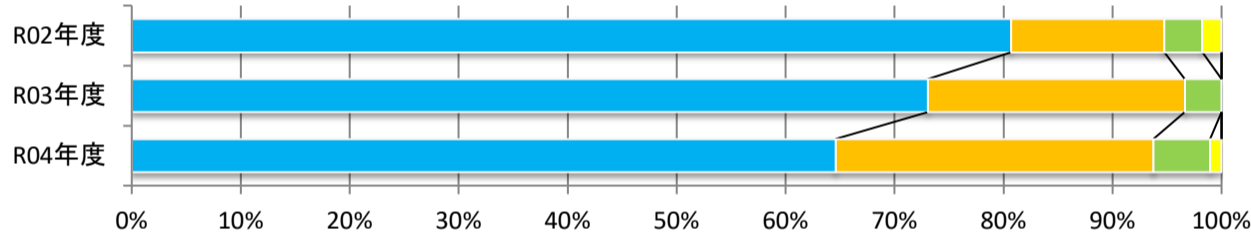
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
89.5%	8.8%	98.2%	—
74.2%	19.1%	93.3%	-5.0%
63.5%	26.0%	89.6%	-3.7%

14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。



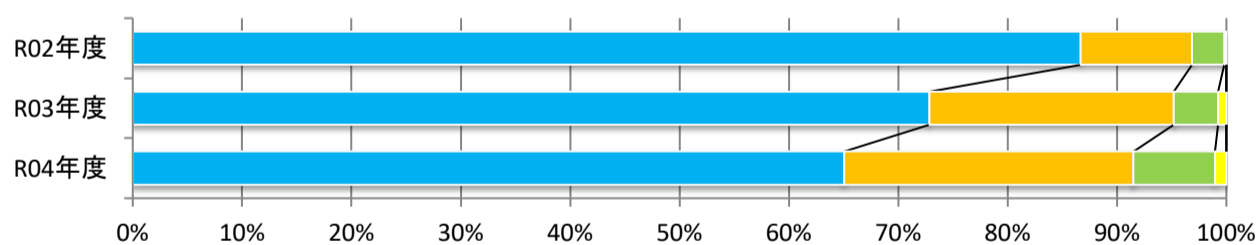
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
91.2%	7.0%	98.2%	—
89.9%	7.9%	97.8%	-0.5%
67.7%	27.1%	94.8%	-3.0%

15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
80.7%	14.0%	94.7%	—
73.0%	23.6%	96.6%	1.9%
64.6%	29.2%	93.8%	-2.9%

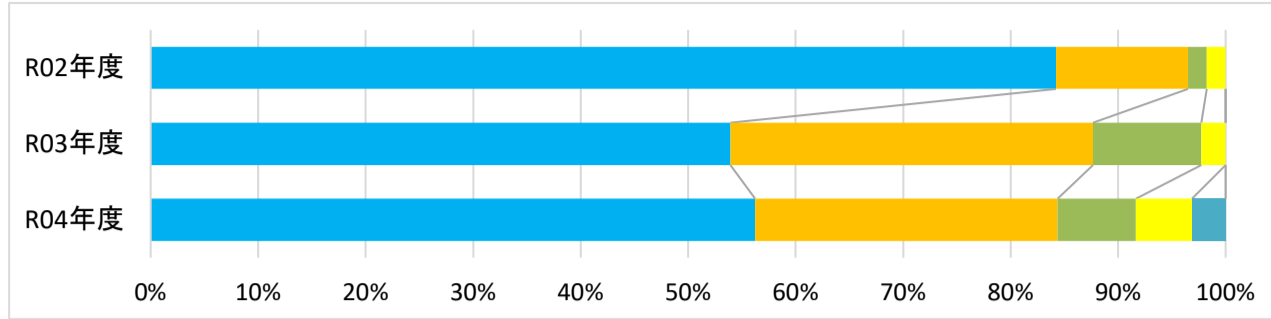
「計」(質問項目 8 ~ 15)



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
86.7%	10.2%	96.9%	—
72.8%	22.3%	95.2%	-1.7%
65.0%	26.5%	91.5%	-3.7%

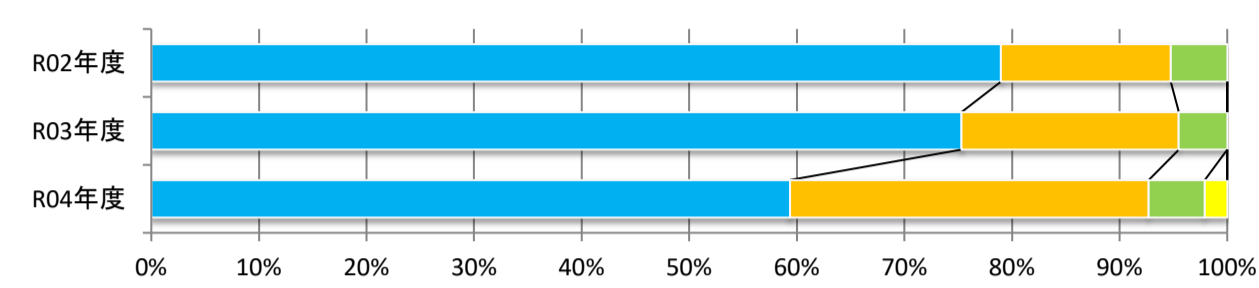
IV 総合評価

16. この授業は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。



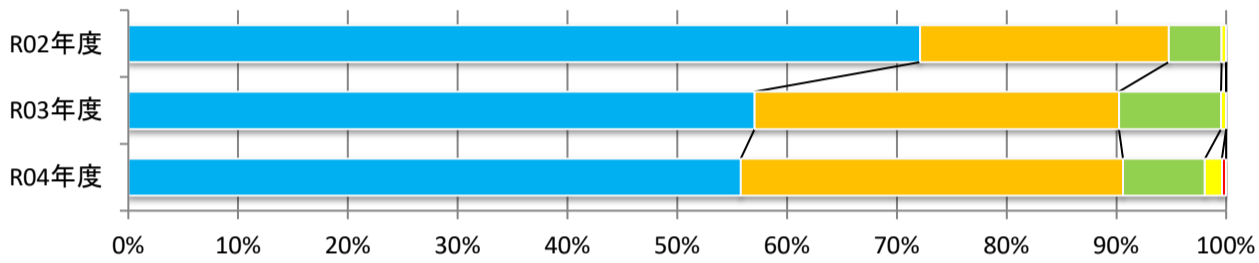
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
84.2%	12.3%	96.5%	—
53.9%	33.7%	87.6%	-8.9%
56.3%	28.1%	84.4%	-3.3%

17. この授業は総合的に満足できたと思うか。



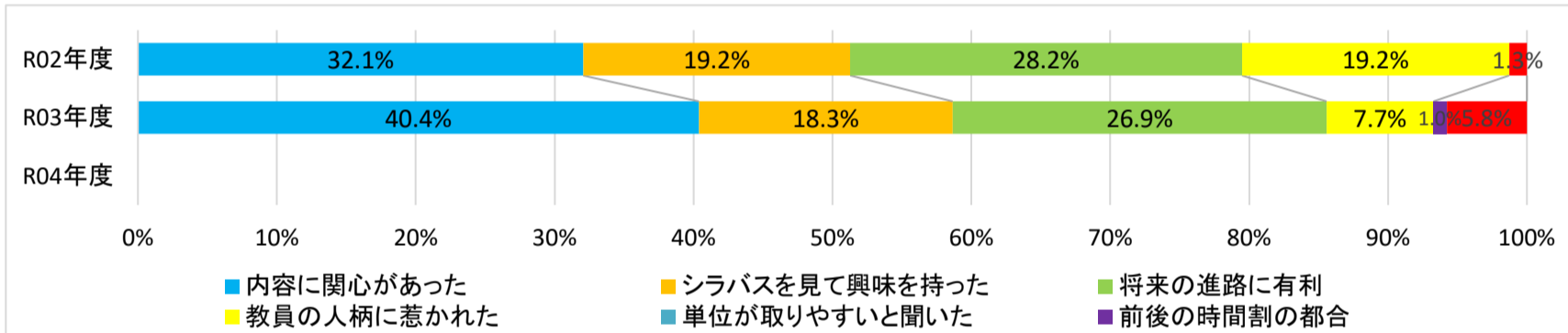
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
78.9%	15.8%	94.7%	—
75.3%	20.2%	95.5%	0.8%
59.4%	33.3%	92.7%	-2.8%

全質問項目の平均



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
72.1%	22.6%	94.8%	—
57.0%	33.2%	90.2%	-4.5%
55.8%	34.8%	90.6%	0.4%

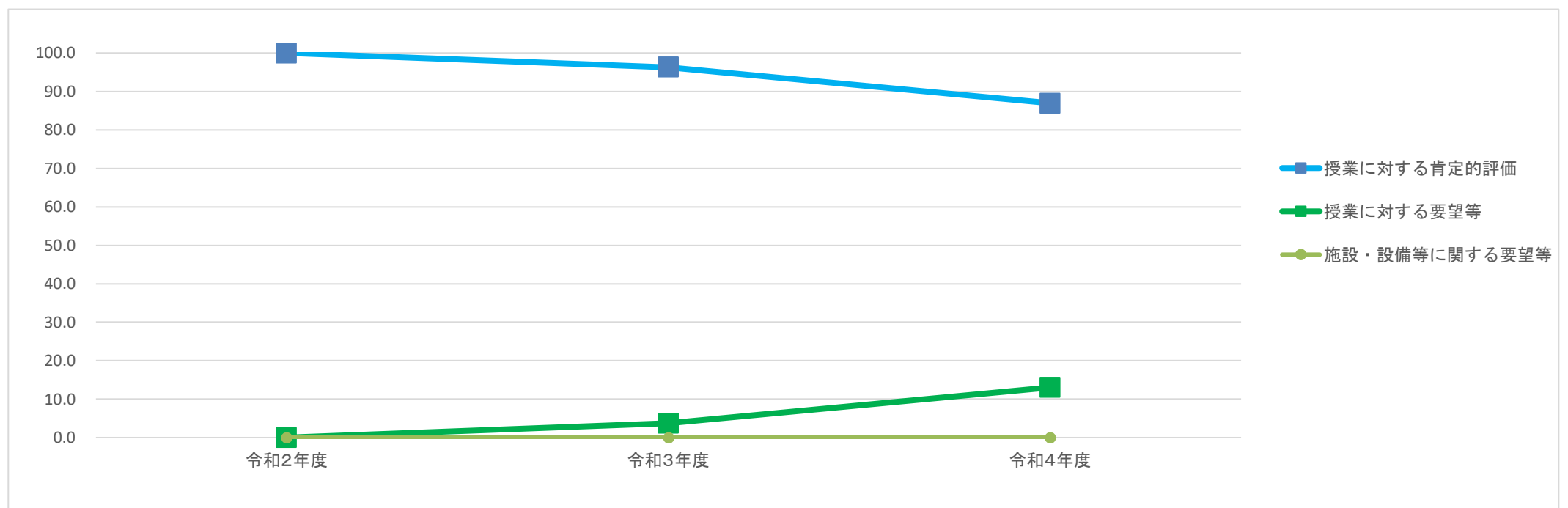
○選択科目を履修した理由は何か



◆ 年度別 自由記述集計結果

%	令和2年度	令和3年度	令和4年度
授業に対する肯定的評価	(100.0%) 24	(96.3%) 26	(87.0%) 20
授業に対する要望等	(0.0%) 0	(3.7%) 1	(13.0%) 3
施設・設備等に関する要望等	(0.0%) 0	(0.0%) 0	(0.0%) 0
総件数	(100.0%) 24	(100.0%) 27	(100.0%) 23

※ () 内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	20	<ul style="list-style-type: none"> ・ ZOOMの環境を整えてくださっているの、仕事をしながらでも充実した授業を受けられた事がとても嬉しかったです。今後も、授業で学んだ内容を現場に広げ、看/護師の質の向上につながる役目を続けたいと思います ・ どの先生も熱意をもって授業を行っている印象を受け、いつも楽しく意欲的に受講することができました。 ・ 後期から看護研究をするにあたって、今の認識では少し不安を感じる事がありますが、自己学習も深めたいと考えます。 ・ 今後も、教育とは何かを 自己の答えが出るまで追求し、今後も、医療現場での教育に関わり続けたいと思います。自らも学ぶ必要性を教えてくださいました。思い付きではなく、一つの言葉を重んじる事を学びました。 ・ 受講している院生よりもご担当して下さる先生の人数が多く、とても緊張していましたが、院生のプレゼンテーションをよく聞いてくださり、アドバイスやご指導も共感して下さりながら進めてくださっていました。たくさんの先生方に様々な視点から教えていただけなので、このような環境も今はありがたく感じています。 ・ 先生は講義の中でもポジティブな言葉かけをしてくださり、とても有難かったです。仕事との両立は正直厳しいものがありますが、先生の言葉かけがモチベーションをアップさせてくれる原動力となりました。 ・ 毎回、先生ごとにヘルスケアシステムに関する様々な知識を吸収でき、とても有意義な学習ができたと思います。 ・ 倫理の分析手法を詳しく学ぶことができました。今まで倫理的課題に対してはもやもやする気持ちが強くありましたが、多様な意見・価値観をもとに分析手法を用いて課題解決をしていきたいと思えます。 ・ まだまだ 学びは浅いですが、なぜ昔の理論家の理論が現在に残され それを受け継いでいけるのか？ 誰のための医療なのかを真剣に考える時間でした。
授業に対する要望等	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先生方はいつも丁寧に授業を行ってくださっていたのですが、提出物に関する指定が多く、窮屈な印象を受けました。最低限の指定にしていただけると自由な発想でレポートに取り組むことができると考えます。
計	23	

令和4年度 千葉看護学研究科の授業評価結果に対する考察

副学長・千葉看護学研究科長
宮本 千津子

1. 授業評価の結果について

- 千葉看護学研究科は開設2年目を迎えて2学年が揃いました。1年次7月から開始となった特別研究（修士論文）についても、ほとんどの院生が倫理審査を2年次に受審する進捗状況であり、教職員ともども千葉看護学研究科として初めての論文作成に取り組みました。その結果、“つかむ力”“つなぐ力”“示す力”を育成するという学位授与方針（DP）のもと、令和4年度に第1回の修了生5名を送り出すことができました。新たな価値の創造に取り組んだ2年間を振り返り、評価したいと思います。
- 総合評価の“この授業は総合的に満足できたか”では前期で学科平均4.65、後期で4.78と高い評価を得ることができほっとしています。得点範囲は4.25～5.00で前年度の3.67～5.00に比べ改善がなされていました。
- 評価を項目別科目別にみると、学生自身についての評価が平均3.00～5.00、授業内容についてが3.88～5.00、教員の教え方・姿勢についてが3.50～5.00であり、いずれも最低が前年度より下回っていました。
- 項目のうち学生自身についての自己評価では、“授業に対して意欲的に取り組んだか”の平均が前期で4.46、後期で4.51と高かった一方で、“授業に対して十分な準備ができていたか”はそれぞれ3.76と3.80と低く、中でも特別研究は3.00でした。研究科での学修に対する期待と自らに課した目標が高かったこと、にもかかわらず職業をもつ社会人であることために学修を最優先とするわけにはいかない状況や、本格的な研究活動が初めてであること等を反映していると考えます。
- 授業内容についての評価では最も低い項目でも4.24であり、基本的な知識や新しい考え方の獲得、さらに発展的な学びへのつながりについての満足度は高いと考えます。自由記載をみても、“新しい知識に触れ学びが多かった”“社会の問題を自分ごととしてとらえることができた”“異なる立場の学生同士のディスカッションで刺激を得た”“課題に取り組み達成感があった”等が記されていました。
- しかし、科目別にみると“授業内容をよく理解できたか”について3.88や3.99というものもありました。教員の感想においても、専門文献の読解や、データの解釈に困難を感じる学生が少なくないことが記載されており、知識の獲得にとどまらず、理論やエビデンスを自分なりに解釈し、意見を論理的かつ経験を活かしながら整理しプレゼンテーションすることが求められるなかで、厳しい自己評価となったと考えます。
- 教員の教え方・姿勢に対する評価では、“教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか”が前期で4.72、後期で4.78と高くなっていました。自由記載でも、教員がロールモデルとなったというものや、研究に向ける熱意か

ら学ぶことが多かったという記述もありました。

- 一方、評価の低かった項目は“パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容はわかりやすかったと思うか”の前期 3.70、後期 3.82 でした。研究科では研究論文や理論書を教材とすることが多いことにより、評価が低くなったと推測します。
- その他、自由記載には、理論を学んだ後、これを応用させ演習やディスカッションを行う方法への効果を述べたものが多かった半面、“もっと思考を促す方法が良い”というものもあり、講義科目であっても演習を取り入れることが理解を促進する手法として効果的であったことがわかりました。また、科目配当の時期について“より早期に学べればよかった”、オムニバス形式の授業について“ひとつひとつをより深く学びたかった”、グループに分かれてのワークについて“学生の背景が多様であるため共通理解を測ることに時間がかかった”といった記述があり、課題が指摘されたと考えます。

2. 授業において工夫した点について

- 令和4年度は2学年がそろい、DPで示した能力育成をめざしながら、学生個々のニーズに応えるべく、各科目が授業内容と方法とを工夫しました。また、前年度と同様に全科目がオンラインで開講されたことについては、初年度の経験を活かし、学生へのICT活用に関するガイダンスも充実させました。これにより初年度に比べICT環境への導入はスムーズに進んだと考えています。
- 各科目が行った授業運営や教材選定に関する工夫は次のようです。
- 少人数であることを活かし学生個々の関心を授業内容に反映させる工夫
 - 初回に学生の関心領域を尋ね、授業内容や進行方法の参考とした。
 - 社会人としての経験を教材として取り入れた。
 - 履修学生の理解度に応じて、教材の難易度を調整した。
 - 所属組織で活かすことができるようファシリテーションを行った
- 経験や立場が多様であることに對し、心理的安全性を保って効果的な授業が進行できるような工夫
 - 多様な学生が効果的なディスカッションを行えるよう、初回の授業ではアイスブレイキングを導入した。
 - レディネスの異なる学生が、安全を感じながら受講できるよう問いかけや解説に配慮した。
 - 相互学修が効果的に行われるようグループ分けに配慮した。
- 職業との両立を支援するための工夫
 - 学生が社会人であるため時間管理が行いやすいよう、早めに課題を提示し、準備の期間を確保した。
 - 集中講義であったため、課題学習を時間内に実施した。
- ひとつの科目を複数の教員が担当することのメリットを活かす工夫

- 複数教員担当の科目において、それぞれの教員の専門が活かされるよう分担当した。
- 複数教員担当科目であったが、完全なオムニバスではなく、リレー形式でつないでいった。
- DP 達成に向かい、各科目が有機的に連動するための工夫
 - ディスカッションテーマや教材が、各自の特別研究につながるよう工夫した。

3. 今後の授業への生かし方について

- 上記の評価と課題を踏まえ、学生の多様なレディネスと就業状況にも配慮し、より効果的な授業展開がなされるよう次のような改善と工夫を行っていきたいと考えます。
 - 授業内容については高い評価を得られているためこれを継続し、オンライン環境にあっても教職員との効果的な相互交流が行えるようにします。
 - 授業に対する準備がしやすいよう学生への負荷にも配慮しながら準備学修の内容と方法を精選しシラバスおよびガイダンスにおいて提示し、授業資料の早期配信を行います。
 - 加えて、事前学習の方法を提示したり、オンデマンド教材を活用することで、当日の授業ではディスカッションや演習に注力できるようにします。
 - 学生の理解を促進するため、理解状況と達成感を確認しながら授業を進行し、フィードバックを行います。
 - 学生自身の自己評価に応じて補足的/発展的な学修が行えるよう、授業後に向けた学習を提案します。
 - 2年を終了し、評価を活かして科目配置順序の見直しを行うとともに、カリキュラム改定の準備を開始します。

4. その他

- 研究科の授業内容は高度で、かつ専門的な理解を求められること、多様なレディネスをもつ学生が共に学ぶスタイルであること等により、自らの学修状況を客観的に評価した際、厳しい結果となるのは当然のことと考えます。
- そのようななかでも、総合評価が平均 4.65~4.78 であったことは、学生の高い意欲と多大なる努力、教員の学生個々のニーズに応えた授業としようとする姿勢、そして学習環境を整え学生を支えようとする事務職員の配慮によるものと考えます。
- 令和5年度には、修了生が学会発表や論文投稿といった他流試合に臨みます。加えて、所属組織においてその力を発揮する機会が増えることが想定されます。修了生の活躍を期待するとともに、それらの活動を本研究科の理念がどう達成されたか示すものとしてとらえ見守り、今後の授業展開の改善に反映させていきたいと考えます。

令和4年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 大学院 千葉看護学研究科 修士課程

○講義・演習科目数 20科目

○調査対象者数 164人（延人数）

○総回答数 144件（回答率 87.8%）

◆ 質問項目別集計結果

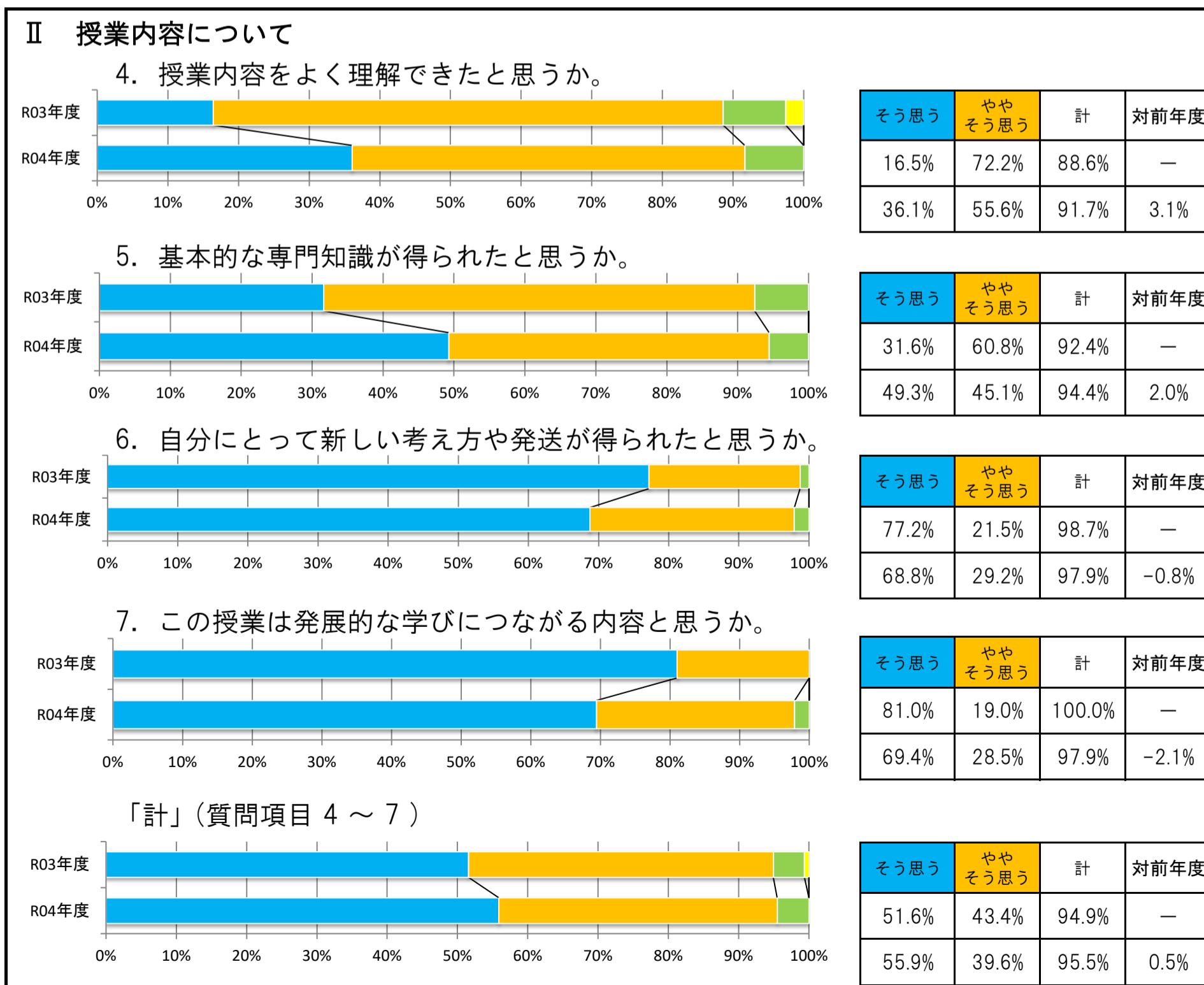
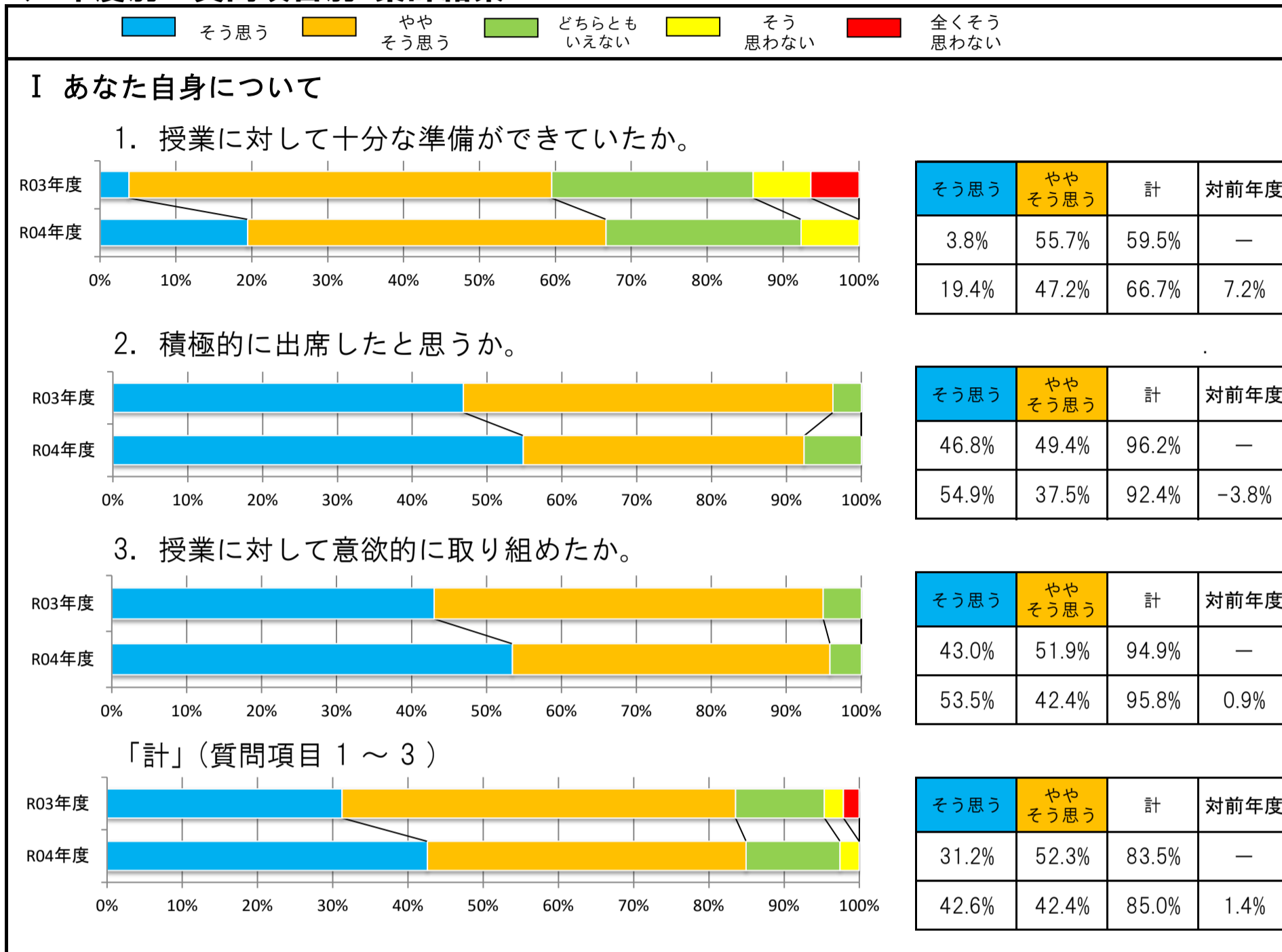
〈上段（ ）は令和3年度アンケート結果〉

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	計
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
I あなた自身について						
1. 授業に対して十分な準備ができていたか。	(3.8) 19.4	(55.7) 47.2	(26.6) 25.7	(7.6) 7.6	(6.3) 0.0	(100) 100
2. 積極的に出席したと思うか。	(46.8) 54.9	(49.4) 37.5	(3.8) 7.6	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(100.0) 100
3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。	(43.0) 53.5	(51.9) 42.4	(5.1) 4.2	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(100) 100
計	(31.2) 42.6	(52.3) 42.4	(11.8) 12.5	(2.5) 2.5	(2.1) 0.0	(100) 100
II 授業内容について						
4. 授業内容をよく理解できたと思うか。	(16.5) 36.1	(72.2) 55.6	(8.9) 8.3	(2.5) 0.0	(0.0) 0.0	(100) 100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(31.6) 49.3	(60.8) 45.1	(7.6) 5.6	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(100) 100
6. 自分にとって新しい考え方や発想が得られたと思うか。	(77.2) 68.8	(21.5) 29.2	(1.3) 2.1	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(100) 100
7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(81.0) 69.4	(81.0) 28.5	(81.0) 2.1	(81.0) 0.0	(81.0) 0.0	(405) 100
計	(51.6) 55.9	(43.4) 39.6	(4.4) 4.5	(0.6) 0.0	(0.0) 0.0	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について						
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(68.4) 54.2	(30.4) 43.8	(1.3) 2.1	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(100) 100
9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。	(84.8) 71.5	(7.6) 27.1	(7.6) 1.4	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(100) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(91.1) 76.4	(7.6) 20.8	(1.3) 2.8	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(100) 100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、 -1 わかりやすい板書であったと思うか。	(80.0) 65.0	(13.3) 17.5	(6.7) 17.5	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(100) 100
11. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、 -2 その実施内容はわかりやすかったと思うか。	(92.2) 79.1	(6.5) 15.1	(1.3) 5.8	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(100) 100
12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(89.9) 75.0	(10.1) 25.0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(100) 100
13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	(88.6) 75.0	(10.1) 20.1	(1.3) 4.9	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(100) 100
14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(93.7) 80.6	(6.3) 18.8	(0.0) 0.7	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(100) 100
15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。	(82.3) 68.8	(17.7) 27.1	(0.0) 4.2	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(100) 100
計	(85.7) 71.7	(12.2) 23.9	(2.2) 4.4	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(100) 100
IV 総合評価						
16. この講義・演習は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。	(96.2) 75.0	(2.5) 22.9	(1.3) 2.1	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(100) 100
17. この授業は総合的に満足できたと思うか。	(91.1) 66.7	(6.3) 30.6	(1.3) 2.1	(0.0) 0.7	(1.3) 0.0	(100) 100
計	(93.7) 70.8	(4.4) 26.7	(1.3) 2.1	(0.0) 0.3	(0.6) 0.0	(100) 100
全質問項目の平均	(65.5) 60.3	(28.1) 33.1	(4.9) 5.9	(0.8) 0.7	(0.7) 0.0	(100) 100

授業評価集計結果 年度別比較

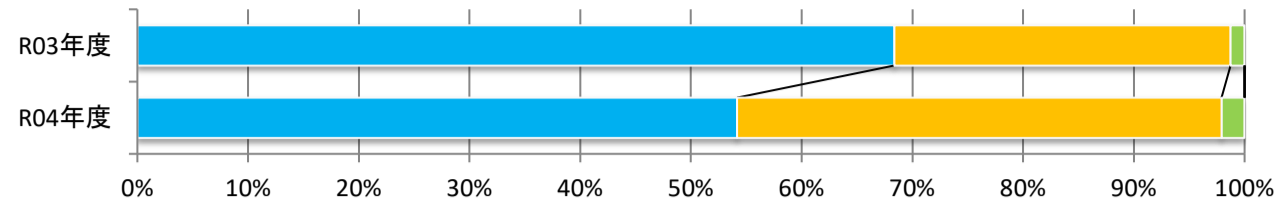
	令和3年度	令和4年度
全科目数	18科目	20科目
調査対象者数（延人数）	109人	164人
総回答数（回答率）	79件（72.5%）	144件（87.8%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



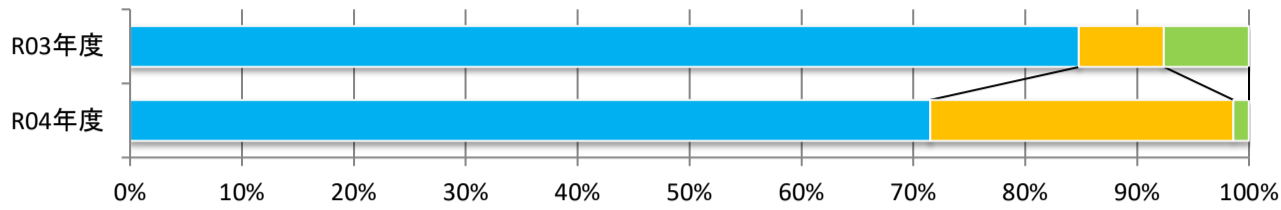
Ⅲ 教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



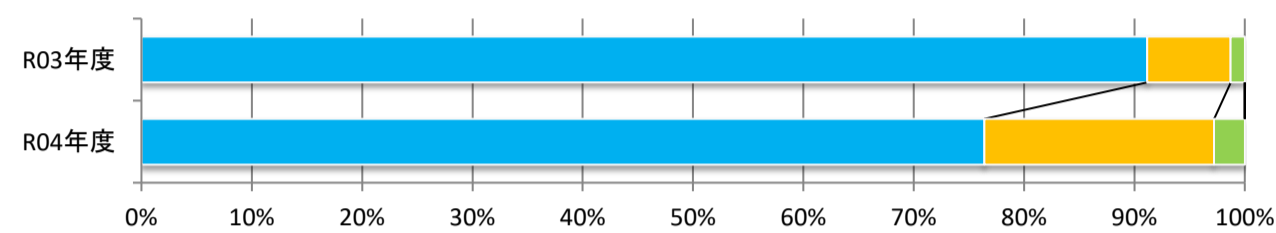
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
68.4%	30.4%	98.7%	—
54.2%	43.8%	97.9%	-0.8%

9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



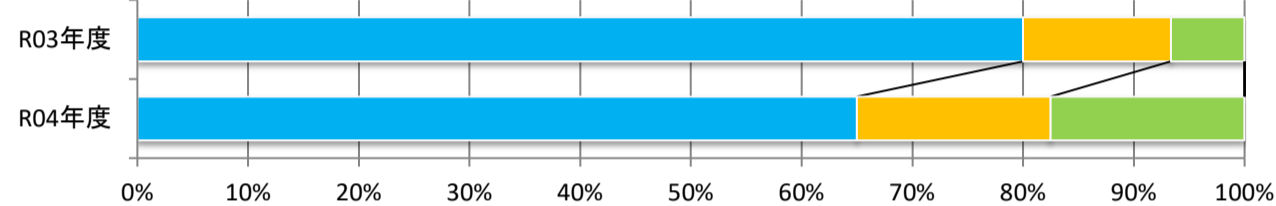
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
84.8%	7.6%	92.4%	—
71.5%	27.1%	98.6%	6.2%

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



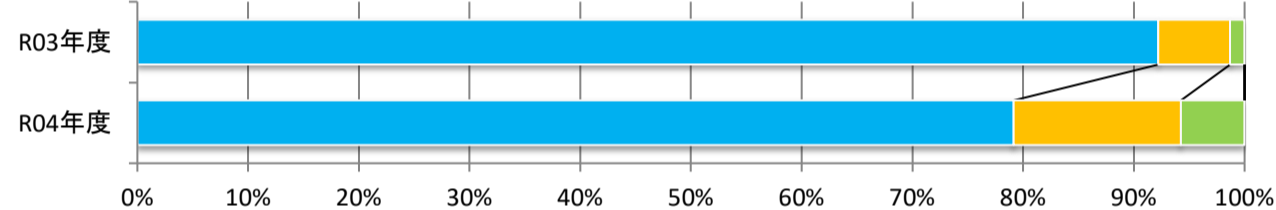
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
91.1%	7.6%	98.7%	—
76.4%	20.8%	97.2%	-1.5%

11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい
-1 板書であったと思うか。



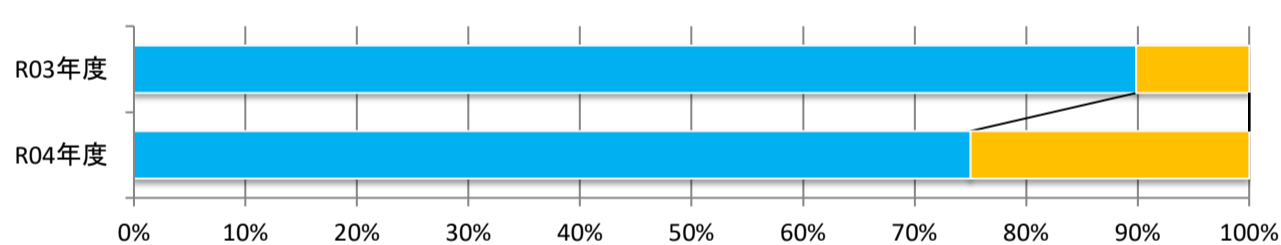
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
80.0%	13.3%	93.3%	—
65.0%	17.5%	82.5%	-10.8%

11. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容は
-2 わかりやすかったと思うか。



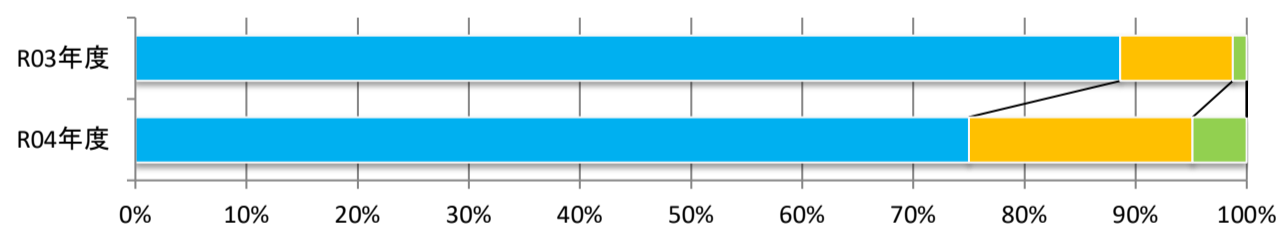
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
92.2%	6.5%	98.7%	—
79.1%	15.1%	94.2%	-4.5%

12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



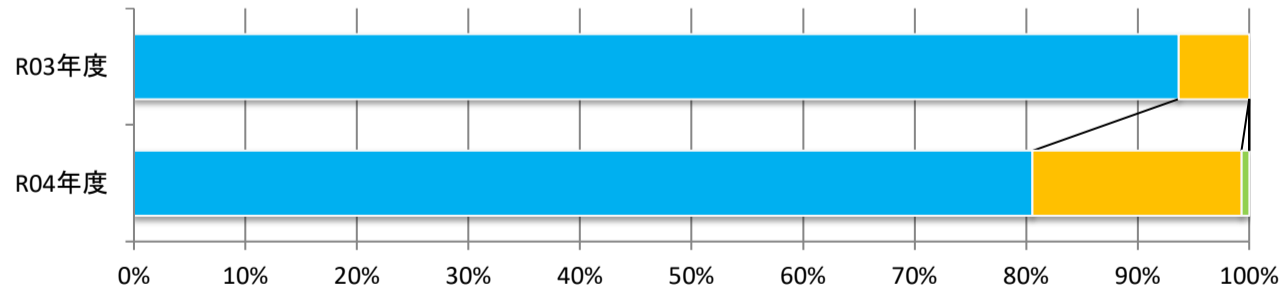
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
89.9%	10.1%	100.0%	—
75.0%	25.0%	100.0%	0.0%

13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



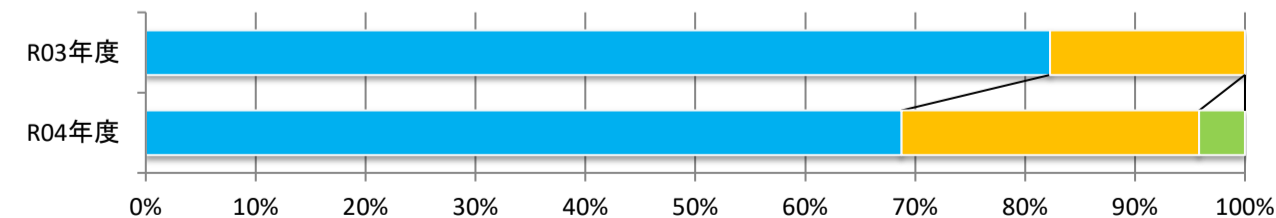
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
88.6%	10.1%	98.7%	—
75.0%	20.1%	95.1%	-3.6%

14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか



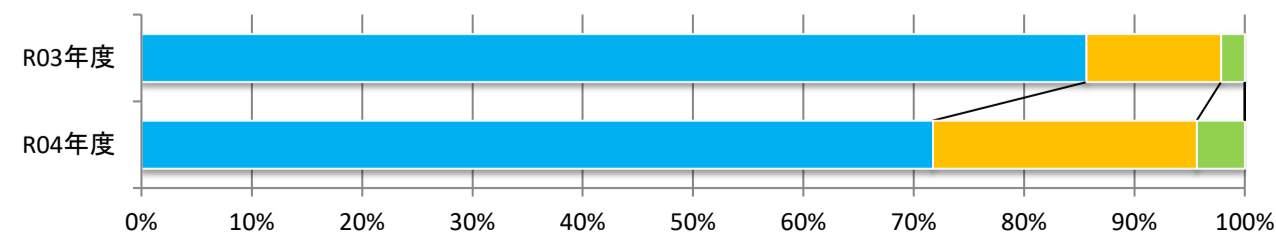
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
93.7%	6.3%	100.0%	—
80.6%	18.8%	99.3%	-0.7%

15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
82.3%	17.7%	100.0%	—
68.8%	27.1%	95.8%	-4.2%

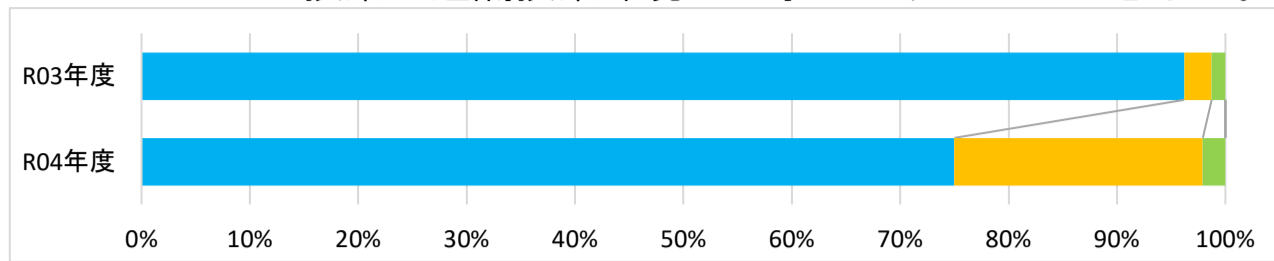
「計」（質問項目 8 ～ 15）



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
71.7%	23.9%	95.6%	—
85.7%	12.2%	97.8%	2.2%

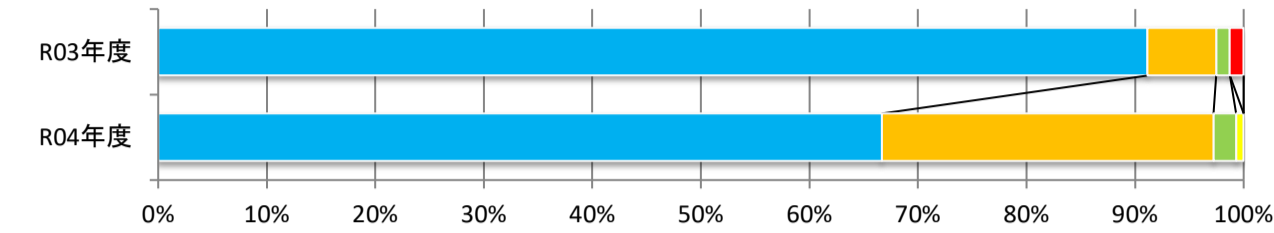
IV 総合評価

16. この授業は遠隔授業環境でも学びやすかったと思うか。



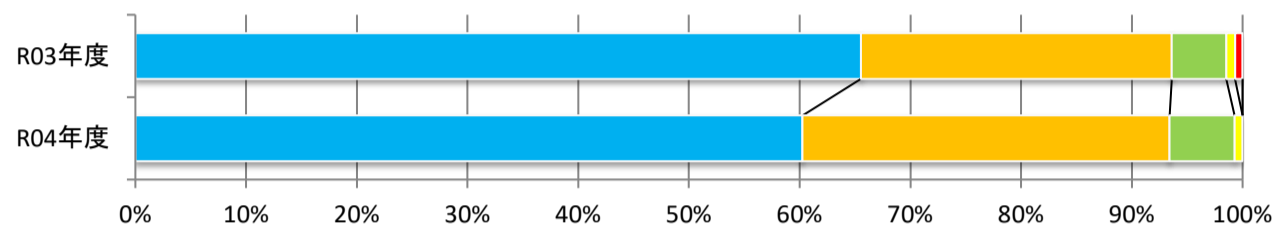
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
96.2%	2.5%	98.7%	—
75.0%	22.9%	97.9%	-0.8%

17. この授業は総合的に満足できたと思うか。



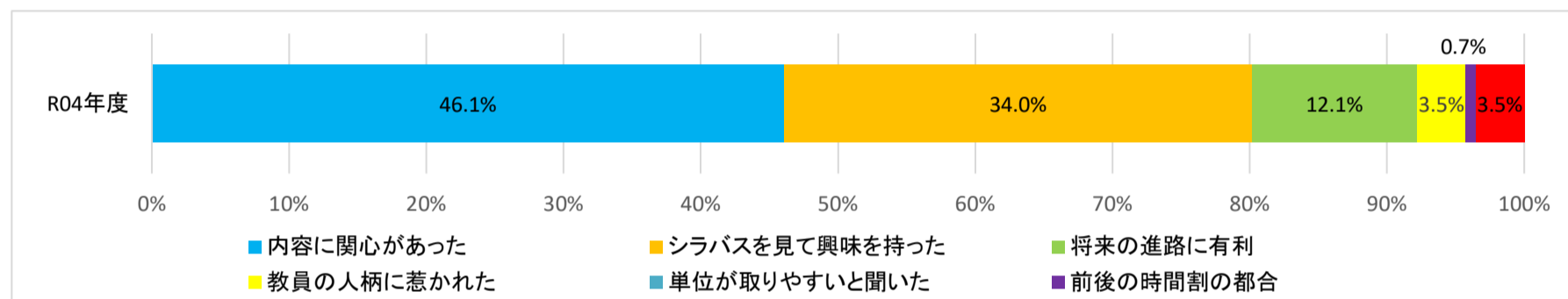
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
91.1%	6.3%	97.5%	—
66.7%	30.6%	97.2%	-0.2%

全質問項目の平均



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
65.5%	28.1%	93.6%	—
60.3%	33.1%	93.4%	-0.2%

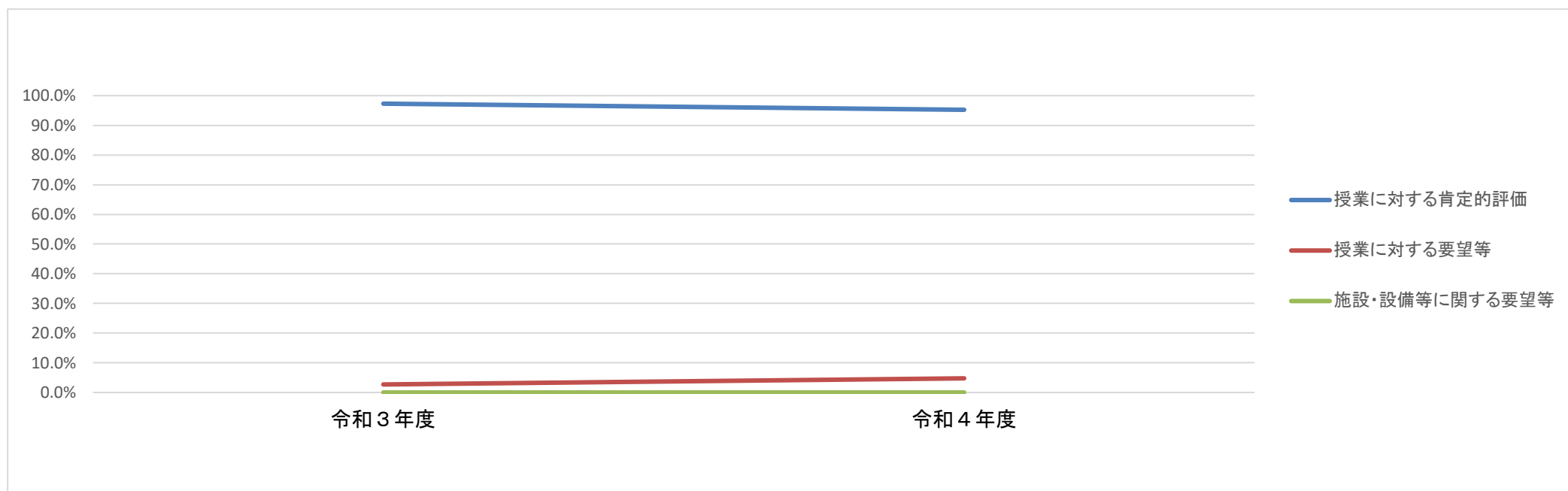
○選択科目を履修した理由は何か



◆ 年度別 自由記述集計結果

%	令和3年度	令和4年度
授業に対する肯定的評価	(97.3%) 110	(95.2%) 40
授業に対する要望等	(2.7%) 3	(4.8%) 2
施設・設備等に関する要望等	(0.0%) 0	(0.0%) 0
総件数	(100.0%) 113	(100.0%) 42

※ () 内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	40	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークの時間が不足し、発表内容を完成させるのに時間を要した。しかし、外国人の健康を考えることを今まで経験したことがなかったため、とても充実した学習ができた。 ・まだまだ学会に向けてのブラッシュアップは続きますので、他の授業と比較しても満足感や達成感が少し薄いのが現状です。しかし、本当にご指導いただいた宮本先生、安藤先生には、お忙しい中お時間を割いてご指導いただき感謝しております。学び続ける大切さを体感することができました。 ・研究についてはまだまだ理解の途上だが、これから研究をしていくのに何度も戻っている。難しいですが、これからも頑張っていきたい。 ・講師の先生方が、看護職のキャリア発達の支援について深い見識があって、日ごろの実践においてもそのことを非常に大切にしておられることが伝わり、ロールモデルだと感じられる場面がたくさんあった。 ・自分の研究課題に関する論文の解釈を、指導教員の解釈や読み解きかたと合わせられたことが、自分にとって大変貴重な経験でした。自分の課題も明確になりました。 ・職場では教育する側として関わることが多いが、教育方法が適切であったか効果があったのか評価しきれなかったと感じた。教育についてさらに学んでいきたいと思う。 ・大学院が始まってすぐの授業で、広く看護の機能を考えるということに戸惑った。でも、そうすることが多職種連携を進める上で必要不可欠であるということを感じることができた。 ・自分でプランを考えることによって、どうやってプランだけで終わらずに実効性が高まるかを考えることができた。机上の空論に終わらずに、日々、仕事をしていくうえでも、看護職としての自分たちなら何ができるか、自部署はどう関わっていけるのかを自分の問題として考える癖がついたことが良かった。
授業に対する要望等	2	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷すると1枚にしか印刷できず、資料の枚数がかさみ、見直した時どこにあったか探すのが大変だった。できればもう少し、PPTを1枚に対し、2分割・4分割等にしていただけると幸いです。 ・先生方が研究の初学者だった時に、その内容の理解にたどり着くまでに役立つ文献などを、もっとご紹介いただければありがたかったと感じます。
計	42	